

余市町

# 大川遺跡

(1999年度)

大川橋線街路事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

2001. 3

北海道余市町教育委員会

## 序

余市川改修事業にかかわる発掘調査は終了し、大川橋線街路事業に伴う発掘調査が行われ、次第に遺跡の全体像が明らかになってきました。

本年度の調査では大川遺跡において不明であった続縄文時代初頭の墓壙や中世の墓壙が発見されたことが大きな成果と言えます。

特に中世の墓壙の一つでは和鏡が伴う火葬墓があり、他に例を見ないものであります。

北海道の中世遺跡の発掘調査は道南地方以外はほとんどなく、道央地方の和人定住はいつごろなのかという問題に一石を投じるものと思われます。

近世後半においては林家文書によって余市の状況を知ることができますが、それ以前については限られた史料であるため、考古資料に委ねられております。

大川遺跡は連綿と続いた遺物の変遷を知る上で重要な過去の歴史であり、一連の報告書は貴重なわが町の財産となることを願っております。

最後に今回の調査にあたりまして北海道教育委員会をはじめ関係各位から寄せられましたご協力、ご支援に対し深く感謝申し上げます。

平成13年3月

余市町教育委員会  
教育長 利 輝 夫

# 例 言

1. 本書は平成11年度に実施された北海道小樽土木現業所による大川橋線街路事業に伴う発掘調査報告である。

2. 本書は安西雅希が主体となり岡崎次郎、乾 芳宏が執筆編集した。

3. 発掘調査及び整理体制

発掘期間 平成11年5月10日～平成11年10月31日

整理期間 平成11年11月1日～平成12年3月31日

事業主体 北海道小樽土木現業所

発掘主体 余市町教育委員会

(1) 大川遺跡迂回路地点

所在地 余市町大川町1丁目11-1他

調査面積 340㎡

(2) 大川遺跡服部地点

所在地 余市町大川町1丁目85-1他

調査面積 185㎡

(3) 大川遺跡道道地点

所在地 道道豊丘余市停車場線下他

調査面積 595㎡

調査担当者 乾 芳宏

調査補助員 安西雅希、岡崎次郎、小川康和

発掘作業員 阿部正徳、荒岡民雄、柏谷忠勝、鎌田 忠、工藤忠幸、今 和明  
滝川 博、福岡春夫、涌井大輔、渡部昭哉、阿部栄子、新谷美香  
内田豊子、大森朋恵、北川千登世、久保照代、腰越洋子、合谷幸代  
斉藤朱美、佐藤糸穂、佐藤洋子、白銀富子、千葉貴子、富岡昭子  
仲鉢悦子、野田真紀子、橋本文子、畑澤理佳、久未洋子、古田千穂  
松原智子、水田るり子、森久美子、渡部優子

整理作業 遺物実測 阿部栄子、内田豊子、北川千登世、久保照代

(分担) 遺物トレース 阿部栄子、北川千登世、水田るり子

拓 本 富岡昭子、水田るり子

洗浄、注記 新谷美香、斉藤朱美、白銀富子、畑澤理佳、橋本文子

漆器貼りつけ 古田千穂

遺物復元 阿部正徳、荒岡民雄、柏谷忠勝、鎌田 忠、工藤忠幸

滝川 博、渡部昭哉

撮 影 今 和明

遺構実測 岡崎次郎、安西雅希

遺構トレース 阿部栄子、大森朋恵、橋本文子

大川遺跡道道地点P-6・14・17出土の剥片石器の実測とトレースについてはシン技術コンサル文化財調査部に委託した。

4. 発掘調査及び整理作業には次の方々の指導、助言、協力を得た。
- 北海道教育委員会 大沼忠春・田才雅彦、仁木町教育委員会 嶋井康夫  
小樽市教育委員会 石川直章・青木 誠、石狩市教育委員会 石橋孝夫  
伊達市教育委員会 青野友哉、上ノ国町教育委員会 松崎水穂  
石川県埋蔵文化財センター 小嶋芳孝、瀬戸市埋蔵文化財センター 藤澤良祐  
北海道開拓記念館 小林幸雄・手塚 薫・三野紀男  
青森県埋蔵文化財調査センター 福田友之  
札幌医科大学 乗安整而、くらしき作陽大学 北野信彦  
田部 淳、小柳リラ子、近藤芳二、青木延広、佐藤利雄、仲鉢 浩  
Conor O' Callaghan (敬称略)

## 凡 例

- 本文中で使用した遺構の略称は以下の通りである。  
H (House) 竪穴住居址      P (Pit) 墓壇・土壇      S M (Shell Mound) 貝塚  
MO (Moat) 壕状遺構      F P (Fire Prace) 焼土  
F C (Flake Tip) 但し遺構配置図のみに図示
- 実測図で使用した略称は以下の通りである。  
P (Pottery) 土器      F (Flake) 剥片  
R・F (Retouched Flake) 一部に二次加工のある剥片
- 実測図の縮尺については以下の通りである。  
遺構関係 1 / 20  
土器・陶磁器 1 / 3      その他遺物 (石器・骨角器・鉄製品など) 1 / 2  
上記以外の縮尺にはスケールで示した。
- 写真図版の縮尺については任意である。

## 本文目次

序	i
例言	ii
第I章 大川遺跡発掘調査の概要	
1 発掘調査の経緯	2
2 遺跡の立地と層序	2
3 調査と整理の方法	3
第II章 迂回路地点	
1 概要	9
2 遺構と遺物	14
3 包含層の遺物	72
第III章 服部地点	
1 概要	104
2 遺構と遺物	106
3 包含層出土の遺物	122
第IV章 道道地点	
1 概要	138
2 遺構と遺物	143
3 包含層出土の遺物	212
第V章 まとめ	251
第VI章 付編	
1 墓壙から出土した炭化材	253
2 墓壙から出土した木製品の樹種	255
3 墓壙から出土した木製品の塗膜構造分析	256

## 図 版 目 次

第1図	遺跡の位置図	1	第55図	SM-1、2、3 平面図と出土遺物・石組炉1平面図	71
第2図	大川遺跡周辺図(迂回路・服部・道道地点)	4	第56図	包含層出土の土器(1)	74
第3図	発掘区位置図	5	第57図	包含層出土の土器(2)	75
第4図	1998・1999年・2000年度(予定)発掘調査区域	7~8	第58図	包含層出土の土器(3)	76
第5図	迂回路地点遺構配置図	10	第59図	包含層出土の土器(4)	77
第6図	迂回路地点南北土層断面図	11	第60図	包含層出土の土器(5)	78
第7図	迂回路地点東西土層断面図(1)	12	第61図	包含層出土の土器(6)	79
第8図	迂回路地点東西土層断面図(2)	13	第62図	包含層出土の土器と土製品(7)	80
第9図	P-1 平面図と出土遺物	25	第63図	包含層出土の土器(8)	81
第10図	P-1 出土遺物	26	第64図	包含層出土の土器(9)	82
第11図	P-2、3 平面図と出土遺物	27	第65図	包含層出土の土器(10)	83
第12図	P-4、5 平面図と出土遺物	28	第66図	包含層出土の土器(11)	84
第13図	P-6 平面図と出土遺物	29	第67図	包含層出土の土器(12)	85
第14図	P-7、8 平面図と出土遺物	30	第68図	包含層出土の土器(13)	86
第15図	P-9 平面図と出土遺物	31	第69図	包含層出土の土器(14)	87
第16図	P-9 出土遺物	32	第70図	包含層出土の石器(1)	88
第17図	P-10 平面図と出土遺物	33	第71図	包含層出土の石器(2)	89
第18図	P-12、13 平面図と出土遺物	34	第72図	包含層出土の石器(3)	90
第19図	P-14 平面図と出土遺物	35	第73図	包含層出土の石器(4)	91
第20図	P-15 平面図と出土遺物	36	第74図	包含層出土の金属製品	92
第21図	P-16 平面図と出土遺物	37	第75図	大川遺跡服部地点遺構配置図	104
第22図	P-17、18 平面図と出土遺物	38	第76図	東西・南北土層断面図	105
第23図	P-19、20、21 平面図	39	第77図	P-1、2、3 平面図と出土遺物	109
第24図	P-22、23 平面図と出土遺物	40	第78図	P-4、5、6、7、8 平面図と出土遺物	110
第25図	P-24、25、26、28 平面図と出土遺物	41	第79図	P-9 平面図と出土遺物(1)	111
第26図	P-29 平面図と出土遺物	42	第80図	P-9 出土遺物(2)	112
第27図	P-30 平面図と出土遺物	43	第81図	P-9 出土遺物(3)	113
第28図	P-32 平面図と出土遺物	44	第82図	P-10 平面図と出土遺物	114
第29図	P-33、35、37 平面図と出土遺物	45	第83図	P-11、12 平面図と出土遺物	115
第30図	P-38 平面図	46	第84図	P-13 平面図と出土遺物	116
第31図	P-38 出土遺物	47	第85図	P-13 出土遺物	117
第32図	P-39、43 平面図と出土遺物	48	第86図	P-15、16、18、19 FP-1、石組炉 平面図と出土遺物	118
第33図	P-40 平面図と出土遺物	49	第87図	P-17 平面図と出土遺物	119
第34図	P-41 平面図	50	第88図	H-1 平面図と出土遺物	120
第35図	P-41 出土遺物(1)	51	第89図	SM-1 平面図と出土遺物	121
第36図	P-41 出土遺物(2)	52	第90図	包含層出土の土器(1)	123
第37図	P-41 出土遺物(3)	53	第91図	包含層出土の土器(2)	124
第38図	P-41 出土遺物(4)	54	第92図	包含層出土の土器(3)	125
第39図	P-42 平面図と出土遺物	55	第93図	包含層出土の土器(4)	126
第40図	P-44、45 平面図と出土遺物	56	第94図	包含層出土の土器(5)	127
第41図	P-47、48、50 平面図と出土遺物	57	第95図	包含層出土の土器(6)	128
第42図	P-52、53 平面図と出土遺物	58	第96図	包含層出土の土器(7)	129
第43図	P-54、55 平面図	59	第97図	包含層出土の土器と土製品(8)	130
第44図	P-56、58 平面図と出土遺物	60	第98図	包含層出土の石器(1)	131
第45図	P-59 平面図と出土遺物	61	第99図	包含層出土の石器(2)	132
第46図	P-60、62 平面図	62	第100図	大川遺跡道道地点遺構配置図	139
第47図	P-63、68 平面図と出土遺物	63	第101図	道道地点南北土層断面図	140
第48図	H-1 平面図と出土遺物	64	第102図	道道地点東西土層断面図(1)	141
第49図	H-1 出土遺物、H-3 平面図と出土遺物	65	第103図	道道地点東西土層断面図(2)	142
第50図	柱穴群平面図・木枠遺構平面図と出土遺物	66	第104図	P-1、2 平面図と出土遺物	153
第51図	MO-1 平面図と出土遺物	67	第105図	P-3、5 平面図と出土遺物	154
第52図	FP-1、2、3、4、5 平面図	68	第106図	P-4 平面図と出土遺物	155
第53図	FP-6 平面図と出土遺物	69	第107図	P-6、7 平面図と出土遺物	156
第54図	FP-7、8、9、10、11 平面図	70	第108図	P-6 出土遺物	157
			第109図	P-6、7 出土遺物	158
			第110図	P-8、13 平面図と出土遺物	159

第111図	P-9、12	平面図と出土遺物	160
第112図	P-10、11	平面図と出土遺物	161
第113図	P-10、16	平面図と出土遺物	162
第114図	P-14	平面図と出土遺物(1)	163
第115図	P-14	出土遺物(2)	164
第116図	P-14	出土遺物(3)	165
第117図	P-15	平面図と出土遺物	166
第118図	P-17	平面図と出土遺物(1)	167
第119図	P-17	出土遺物(2)	168
第120図	P-17	出土遺物(3)	169
第121図	P-17	出土遺物(4)	170
第122図	P-19	平面図と出土遺物	171
第123図	P-20、21	平面図と出土遺物	172
第124図	P-22、23、24	平面図と出土遺物	173
第125図	P-25、27	平面図と出土遺物	174
第126図	P-28、29	平面図と出土遺物	175
第127図	P-30、35、36	平面図と出土遺物	176
第128図	P-31、32	平面図と出土遺物	177
第129図	P-37	平面図と出土遺物	178
第130図	P-38	平面図と出土遺物	179
第131図	P-40、41	平面図と出土遺物	180
第132図	P-42、45	平面図と出土遺物	181
第133図	P-43、46	平面図と出土遺物	182
第134図	P-47	平面図と出土遺物	183
第135図	P-48、50	平面図と出土遺物	184
第136図	P-49	平面図と出土遺物	185
第137図	P-51	平面図と出土遺物	186
第138図	P-52	平面図と出土遺物	187
第139図	P-53、54	平面図と出土遺物	188
第140図	P-55、56、57	平面図と出土遺物	189
第141図	P-58、59	平面図と出土遺物	190
第142図	P-60	平面図と出土遺物	191
第143図	H-1	平面図と出土遺物	192
第144図	H-1	出土遺物	193
第145図	H-2	平面図	194
第146図	H-2	出土遺物	195
第147図	H-3	平面図	196
第148図	H-3	出土遺物	197
第149図	MO-10、17、18	平面図	198
第150図	MO-10	出土遺物、FP-1 平面図	199
第151図	FP-1	出土遺物	200
第152図	FP-2、3	平面図と出土遺物	201
第153図	FP-4、6	平面図と出土遺物	202
第154図	FP-7	平面図と出土遺物	203
第155図		土器集中範囲平面図	204
第156図		土器集中範囲出土遺物(1)	205
第157図		土器集中範囲出土遺物(2)	206
第158図		土器集中範囲出土遺物(3)	207
第159図		土器集中範囲出土遺物(4)	208
第160図		土器集中範囲出土遺物(5)	209
第161図		土器集中範囲出土遺物(6)	210
第162図		土器集中範囲出土遺物(7)	211
第163図		包含層出土の土器(1)	214
第164図		包含層出土の土器(2)	215
第165図		包含層出土の土器(3)	216
第166図		包含層出土の土器(4)	217
第167図		包含層出土の土器(5)	218
第168図		包含層出土の土器(6)	219
第169図		包含層出土の土器(7)	220
第170図		包含層出土の土器(8)	221
第171図		包含層出土の土器(9)	222
第172図		包含層出土の土器(10)	223
第173図		包含層出土の土器(11)	224
第174図		包含層出土の土器(12)	225
第175図		包含層出土の土器(13)	226
第176図		包含層出土の石器(1)	227
第177図		包含層出土の石器(2)	228
第178図		包含層出土の石器(3)	229
第179図		包含層出土の石器(4)	230

## 写真目次

写真1	道道地点 P-11	出土状況と遺物	259
写真2	道道地点	遺構出土のコハク製品	260
写真3	道道地点 P-47	出土の漆製品と鏡	261
写真4	迂回路地点	遺構出土の遺物	262
写真5	迂回路地点	遺構・遺物検出状況	263
写真6	迂回路地点	遺構・遺物検出状況と遺跡完掘状況	264
写真7	迂回路地点	遺構出土の遺物	265
写真8	迂回路地点 P-42	検出木製品塗膜構造	266
写真9	迂回路地点	遺構(P-9)出土の遺物	267
写真10	迂回路地点	遺構出土の遺物	268
写真11	迂回路地点	遺構出土の土器	269
写真12	迂回路地点	遺構出土の遺物	270
写真13	迂回路地点	遺構(P-41)出土の遺物	271
写真14	迂回路地点	包含層出土の土器	272
写真15	迂回路地点	包含層出土の石器	273
写真16	服部地点	遺構・遺物検出状況と遺跡完掘状況	274
写真17	服部地点	遺構出土の遺物	275
写真18	道道地点	遺構・遺物検出状況	276
写真19	道道地点	遺構出土の土器	277
写真20	道道地点	遺構出土の土器と石器	278
写真21	道道地点	遺構(P-6)出土の石器	279
写真22	道道地点	遺構出土の遺物	280
写真23	道道地点	包含層出土の土器	281
写真24	道道地点	包含層出土の土器	282
写真25	迂回路地点 P-42	検出の木製品顕微鏡写真	283

# 余市町要図



第1図 遺跡位置図 (1:50000)



# 第Ⅰ章 大川遺跡発掘調査の概要

## 1. 発掘調査の経緯

大川遺跡は大正時代から知られており、学術的な発掘調査は1958年に名取武光・峰山巖氏と郷土文化研究会が中心となって実施したのが最初である。その結果、縄文時代晩期の墓壙群であることが判明し、後志地方の縄文時代晩期遺跡の基準資料となっている。

さて、町の中央を流れる2級河川余市川は、暴れ川として知られ、度々洪水を起こすため治水対策が急務であることから1984年から余市川改修事業が着工されることになった。しかし、すでに知られている大川遺跡が右岸の低地に立地していることから、事業内容の詳細な聴取をしたところ、当該地区の除外及び変更は不可能との判断により文化財保護法に基づく手続きをすることになった。

1987年5月25日に北海道小樽土木現業所から余市川改修事業に伴う埋蔵文化財の事前協議書が余市町教育委員会に提出された。余市町教育委員会ではこれを受けて北海道教育庁に進達して協議を行った。

北海道教育委員会文化課では1988年5月から数回の範囲確認調査を実施し、発掘調査が必要との判断がなされ、記録保存としての発掘調査を実施することになった。

また、河川改修事業とともに、道道豊丘余市停車場線の道路拡幅、大川橋の掛け替えのため大川橋線街路事業が1998年度から着手することになり、従前の発掘調査地区と隣接しているため1997年から北海道教育委員会文化課と協議をして範囲確認調査を実施し、発掘調査が必要との判断がなされた。

1998年度は道道につながる道路整備のため旧公民館跡地の発掘調査が実施されており、この調査区はかつて名取・峰山氏が最初に学術調査された地点付近に相当し縄文時代晩期の墓壙群が発見されている。

今年度の発掘調査は余市川右岸の大川遺跡と左岸の入舟遺跡の発掘調査がこの事業の対象地区となったため両者の遺跡をそれぞれ同時に発掘調査を進めることになった。

入舟遺跡については続縄文時代の恵山文化期の貝塚や住居跡、近世から近代の貝塚などが発見されすでに報告書を刊行している。

大川遺跡の発掘調査区は大川橋の掛け替えに伴う現道および迂回道路下であり、NTTメインケーブル、30cm水道管、排水管などの地下埋設物があるため移設を行い関係機関と綿密な協議をした。特に注意したのは、交通渋滞の無いようにすることで工事日程を常に確認しながら発掘調査を実施した。

このようなことから大川遺跡の発掘調査区は面積が狭いにもかかわらず3地点に分断され、かつ一部分では同時進行の調査となった。

なお迂回路地点での中世墓P-41については、発掘区の関係から半分しか調査できなかったが次年度の発掘区予定地となっているため完掘できるものと期待している。

## 2. 遺跡の立地と層序

余市川河口から約40mの右岸に位置し標高約5mの砂丘上に立地する。調査区は小面積であるが住宅の移転、橋脚工事の日程の関係で同時発掘のため河口側の川沿いに迂回路地

点、道道豊丘余市停車場線をはさみ南側に位置する道道地点および服部地点の3地点に区分した。発掘区は会社社屋、道道、店舗、住宅などによる攪乱をうけている。迂回路地点は部分的に特に攪乱が著しく地下3mにも及んでいる。

層序としては基本的には以下の3層である。

- I 表 土 攪乱が著しい
- II 黒色土層 攪乱が及んでいる。続縄文時代～近世・近代の遺物包含層である。厚さは約0.1mほどである。攪乱が及んでおり、道道地点では特に著しく、ほとんど失われている。
- III 茶褐色砂層 厚さ0.2～0.3mほどの続縄文時代～縄文時代晩期の遺物包含層である。
- IV 黄褐色砂層 縄文時代晩期の遺物包含層である。上面にはラミナが発達している。

### 3. 調査と整理の方法

#### 調査区の設定

大川遺跡1989年～1994年の調査の際に用いられた5mグリッド設定を踏襲し道道豊丘余市停車場線歩道上の起点を基準とし、北西－南東にアルファベット、北東－南西にアラビア数字を付したが、グリッド表示についてはそれらのグリッド北東交点の名称を使用した。

#### 調査の方法

遺物の取り上げは基本的に5mグリッドを1mの小グリッドにより25分割し、小グリッド単位で行った。一括遺物や遺構に伴う遺物については地点実測と写真撮影を行い取り上げた。

発掘では表土及び攪乱層は重機によって取り除きII・III・IV層については移植ゴテによって掘り下げた。

遺構の実測については1mグリッドを基準とした水系実測を行い、墓壙・土壙については10分の1で住居址・壕状遺構については20分の1での記録を行った。

写真撮影はカラーリバーサルの35mmフィルムを使用した。

近世アイヌ墓等から漆器が検出されたが実測・写真撮影終了後、形状が崩れないようすみやかに取り上げ、水をいれたタッパ等の容器に入れ保存した。

遺体は頭部、胴部、脚部などの部位が明確なものはそれらの部位ごとに取り上げを行い、壙底の土壌については篩をかけ微細な遺物の取りこぼしのないよう心掛けた。

遺体の鑑定・保管は札幌医科大学に依頼した。

#### 遺物の整理

発掘と併行して遺物の整理作業を行った。遺物には遺跡名、発掘年度、大グリッド、小グリッド、層位を示した注記を行った。

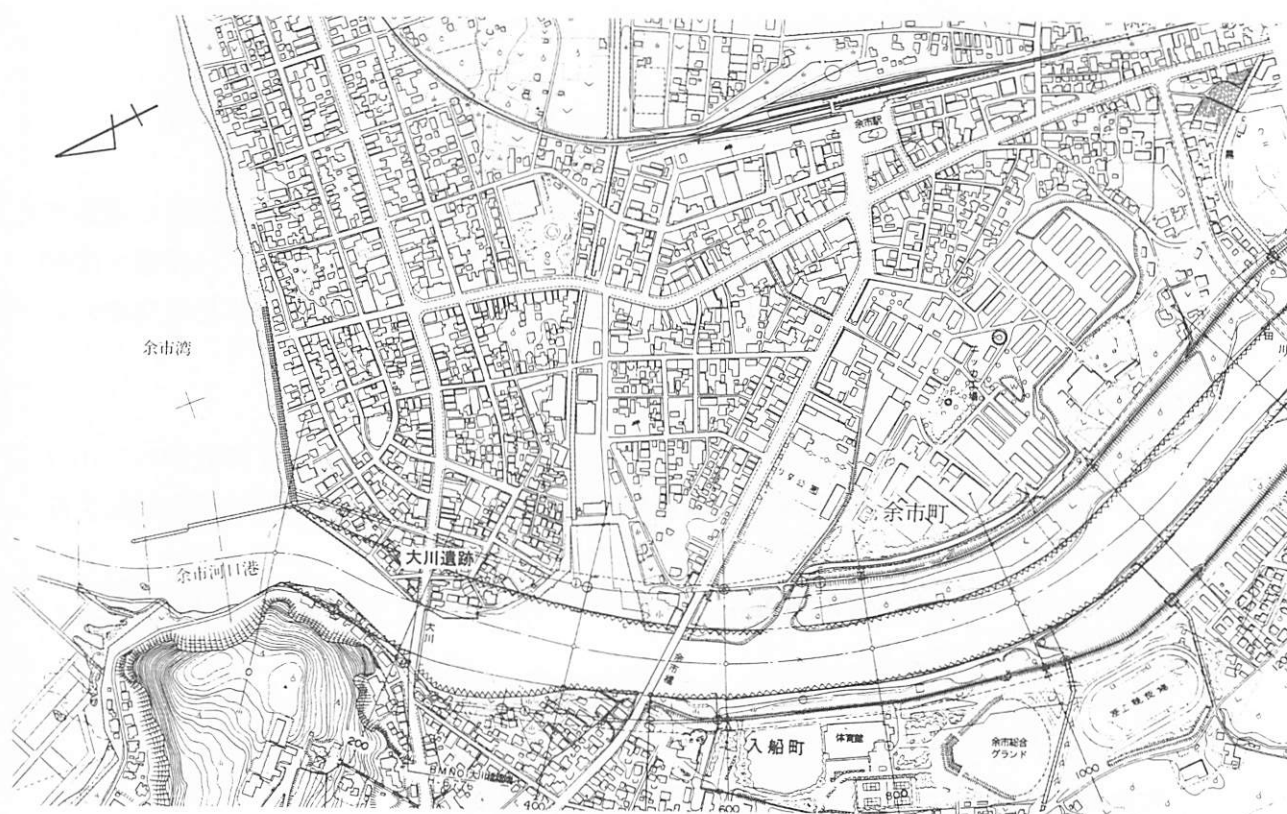
漆器については漆の表層のみが残っているもの、表層及びわずかに木質が残ってい

るものの2種類に大別できたが、表層のみのものについては洗浄を行った後、小片をピンセットで小片ごとにつなぎ合わせ和紙に大和のりで貼り合わせ、ガラス板にはさみ保管した。木質が残るものについては水の入った容器に入れ保管した。

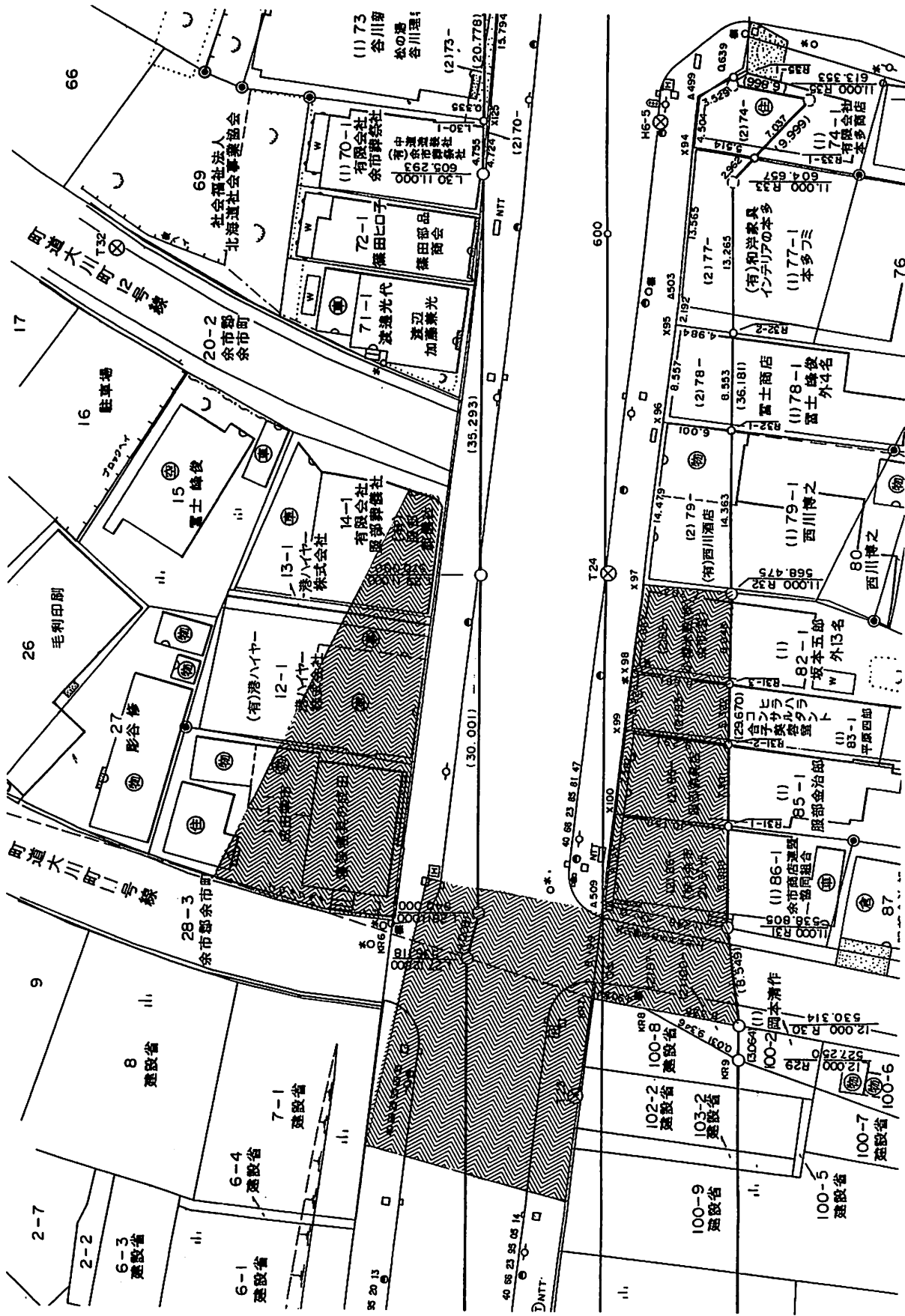
実測については形態が失われていること等から行わず、観察と分析のみを行った。迂回路地点P-42検出の漆製品の保存処理、塗膜分析及び樹種同定については吉田生物研究所に依頼した。

鉄製品についてはさび落としを行い実測したが、一部の遺物については岩手県立博物館に保存処理を委託した。

迂回路地点P-9、P-38、P-41検出の炭化材についての樹種同定は北海道開拓記念館の三野紀雄氏に依頼した。

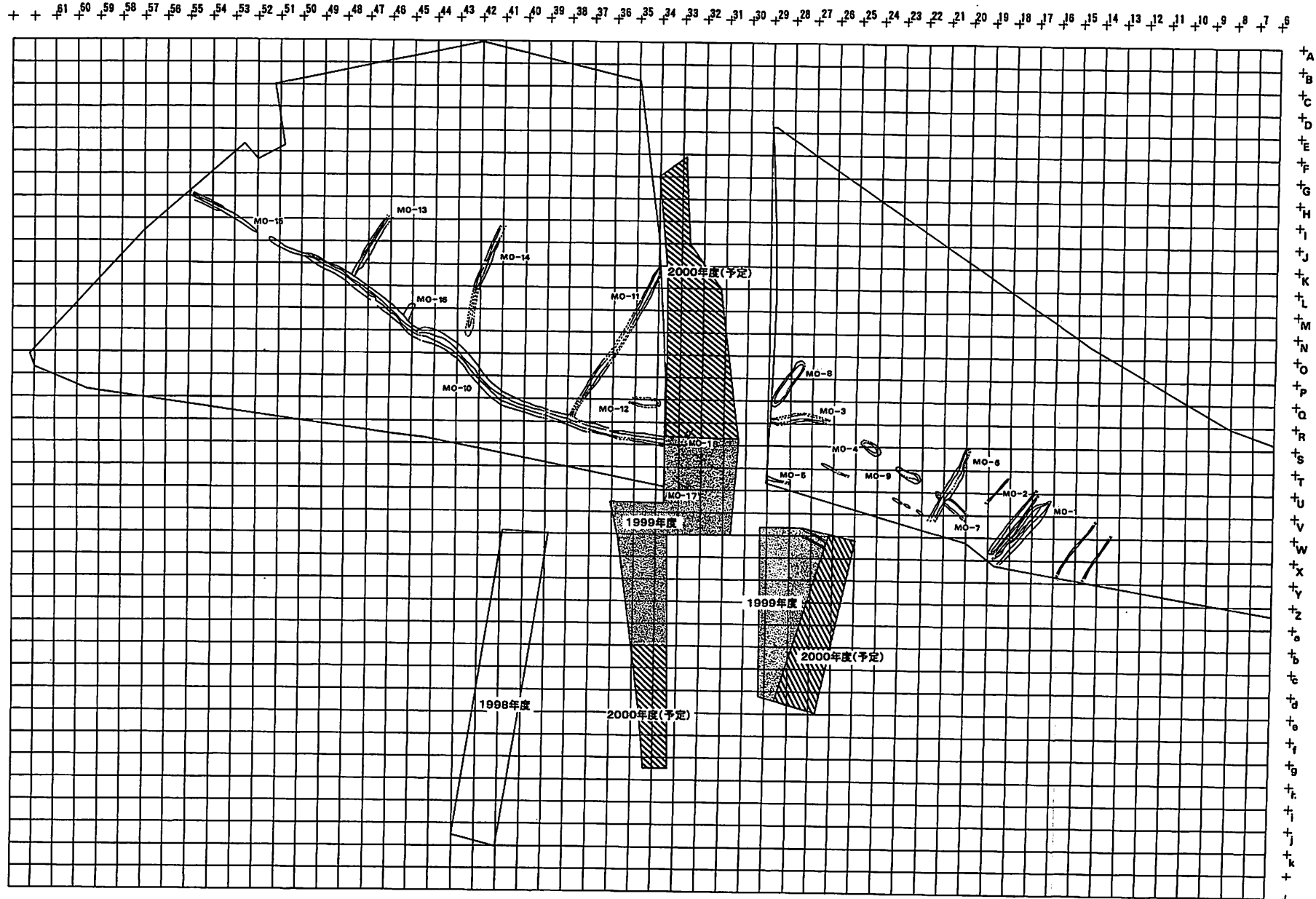


第2図 遺跡周辺図



第3図 発掘位置図 (1/500)

# 1998年、1999年、2000年（予定）発掘調査区域



第4図 1998年、1999年、2000年度（予定）発掘調査区域

## 第Ⅱ章 迂回路地点

### 1. 概要

縄文時代晩期後葉から擦文時代、中世から近代にかけての遺物が出土されているが主体となるものは縄文時代晩期後葉から続縄文時代前葉の遺物であり土器15,757点、石器227点、フレイク3,801点、骨角器69点等の22,609点の遺物が出土している。

遺構の時期と概要は以下の通りである。

住居址2基（時期不明）

墓壙44基（縄文時代晩期～続縄文時代29基、中世3基、近世9基、時期不明3基）

土壙10基（続縄文時代2基、中世1基、近世・近代1基、時期不明6基）

壕状遺構1基（中・近世）

柱穴群1ヵ所（中世？）

石組炉1基（縄文時代晩期）

貝塚3基（近世末～近代）

木柁1基（近代）

焼土11基（縄文時代晩期8基、不明3基）

縄文時代晩期から続縄文時代前葉の墓壙を主体とする地点である。続縄文時代恵山期の墓壙が比較的多く検出されているが、遺物が伴出しないために遺構の形態や検出された層位等から縄文時代晩期から続縄文時代の時期に属すると判断したものが大半を占めた。

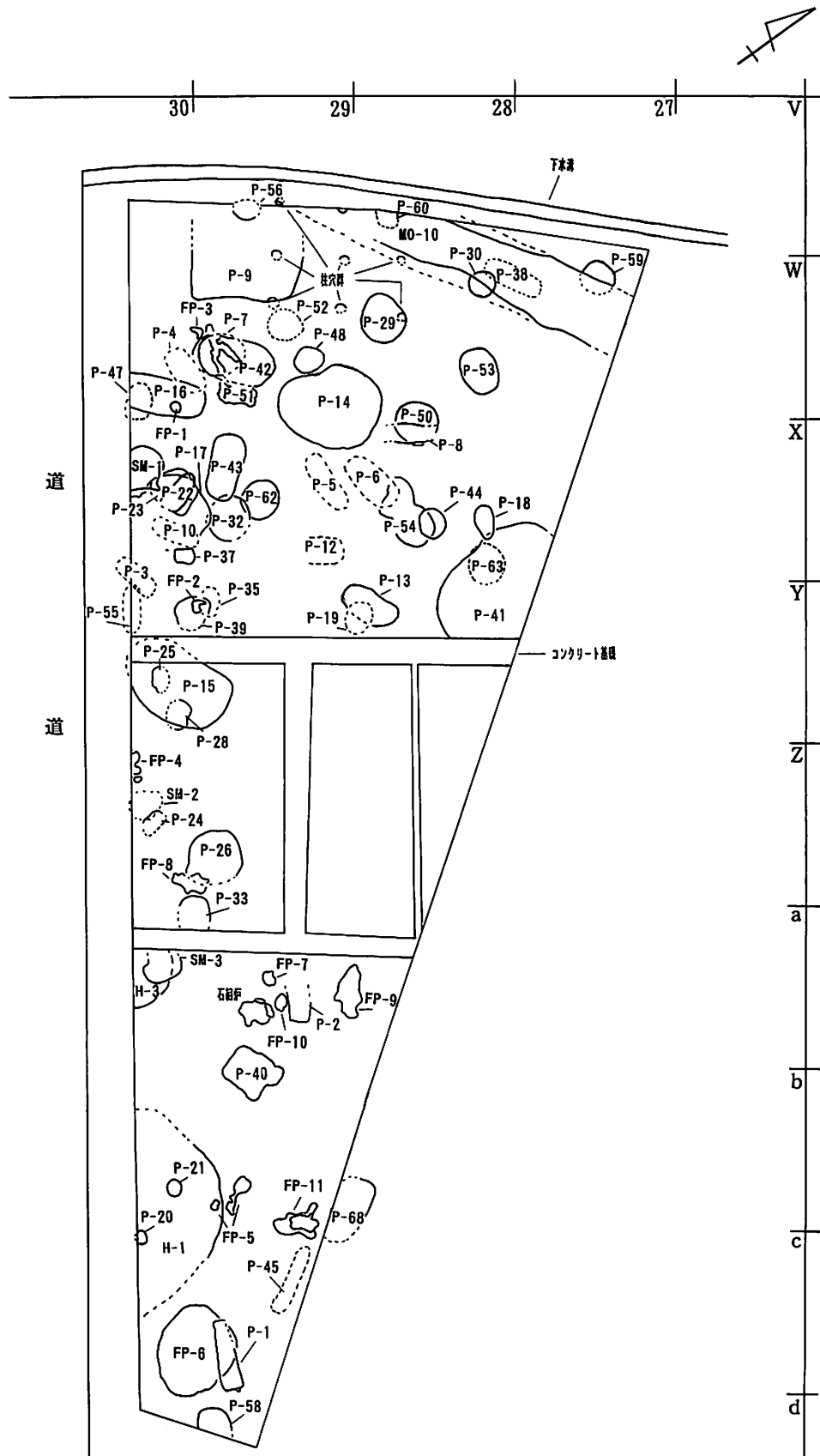
遺体の依存状態からか頭位を明確に把握できた墓壙は少なかった。

中世に属すると思われる墓壙が3基検出している。平面形が隅丸方形を呈すると思われる火葬墓が2基、楕円形を呈する土葬墓が1基であり、火葬墓から太刀、和鏡、青磁碗等の和人によって製作あるいは搬入された遺物と骨鏃等の骨角器といったアイヌ民族が製作したと思われる遺物とが共伴して検出されている。

近世に属する墓壙は9基検出されているが、墓壙の形態や副葬品の状況から、いずれもアイヌ墓と思われる。平面形は長方形を呈するものが2基、楕円形5基、形態不明2基である。遺体の頭位が把握できるものは歯片から推定されるものを含めると7基であり東南東から北東までの幅がみられた。

住居址は2基検出されているが時期は不明であり、発掘区境界に位置しているため平面形についても不明である。

発掘区北側に北東－南西方向の壕状遺構が構築されているが1992～1994年検出のMO-10に接続するものと思われるため、遺構番号を統一し、MO-10と呼称した。いくつかの遺構との切り合い関係が確認され、MO-10の属する時期を一定の期間に限定する材料となった。

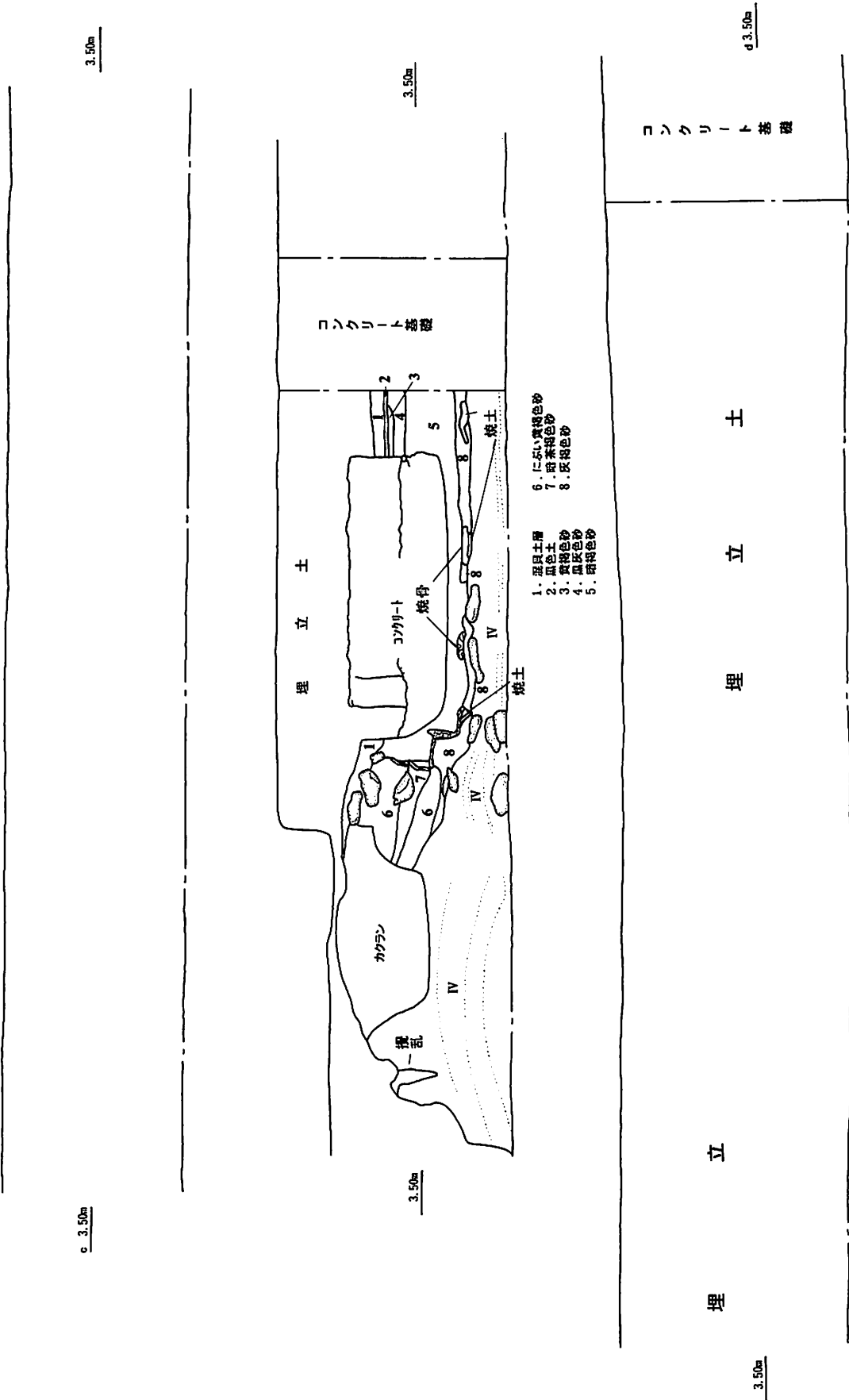


第5図 迂回路地点遺構配置図



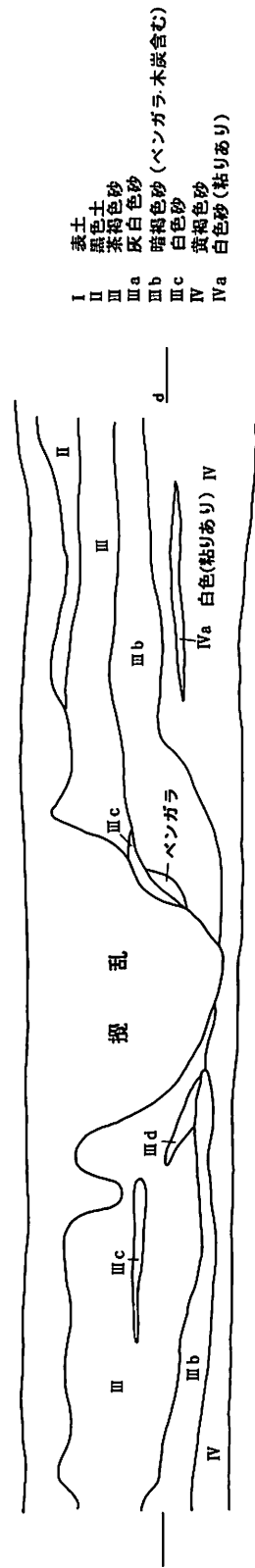
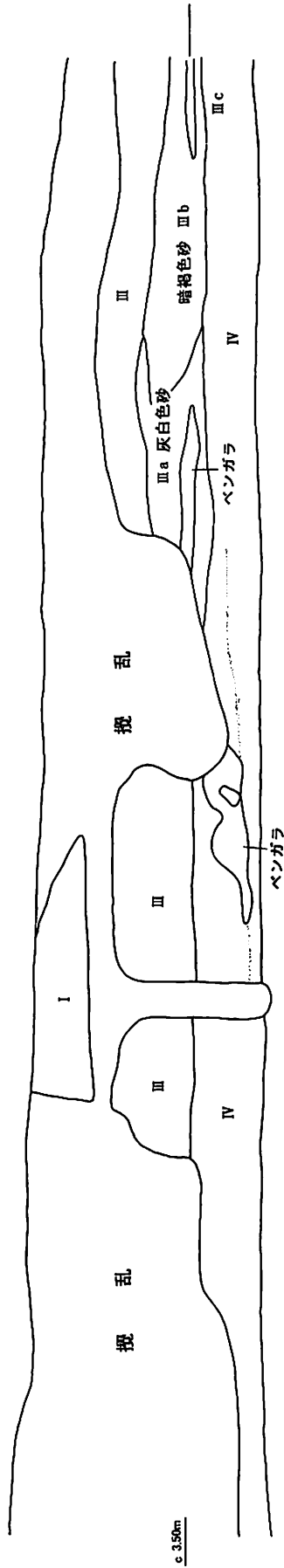


東西土層断面図



第7図 迂回路地点東西土層断面図(1)

東西土層断面図



- I 赤土
- II 黒色土
- IIIa 灰白色砂
- IIIb 暗褐色砂 (ベンガラ・木炭含む)
- IIIc 白色砂
- IV 黄色砂
- IVa 白色砂(粘りあり)

第8図 迂回路地点東西土層断面図(2)

## 2. 遺構と遺物

### P-1 (第9・10図)

b-29グリッドに位置する約2.1×0.7mの長方形を呈する墓壙である。遺体頭位は東南東であり顔面は左側を向いている。

遺体頭部右上には漆器椀・舟釘が右脇には太刀(エムシ)・刀子(マキリ)・矢筒(イカヨブ)、足元には煙管が配されている。墓壙東側には墓標穴がみられる。煙管の形態から17世紀後半以降の近世アイヌ墓と思われる。

### P-2 (第11図)

X-30グリッドに位置する幅約0.6mの墓壙である。攪乱の影響を受け墓壙の大半は削平され遺体は頭部の一部を残すのみであった。残存部分から墓壙は長方形を呈し、遺体頭位は東南東であると思われる。

頭部より東南には漆器椀2点が配されている。漆器椀の1点は金蒔絵であり近世アイヌ墓と思われる。

### P-3 (第11図)

a-29グリッドに位置する楕円形を呈すると思われる墓壙で約1.5×0.6mの規模で一部に攪乱を受けている。遺体頭位は東北東である。

遺体の頭部左右には耳飾り(ニンカリ)、右腕には古銭が胴部には鏝が、脚部には刀子(マキリ)がそれぞれ配されている。近世アイヌ墓と思われる。

### P-4 (第12図)

W-30グリッドに位置する長軸方向が東-西の約1.6×0.8mの楕円形を呈すると思われる墓壙である。遺体は屈葬のような状態で確認されている。頭位は判然としない。伴出遺物は検出されず時期不明の墓壙である。

### P-5 (第12図)

X-29グリッドに位置する約1.9×0.6mの楕円形を呈する墓壙である。遺体は歯片しか残存しておらず歯片から頭位は東向きと思われる。

頭部右側と思われる位置から青色のガラス玉が検出されており、近世アイヌ墓と思われる。

### P-6 (第13図)

X-28グリッドに位置する長軸方向が東北東-西南西の約2×0.6mの楕円形を呈する墓壙である。壙底より太刀(エムシ)・漆器が検出されている。遺体は確認されなかったが遺物の検出状況等から近世アイヌ墓と判断した。

### P-7 (第14図)

W-29グリッドに位置する直径約1.4mの円形を呈する墓壙である。遺体の頭位は北北

西である。伴出遺物は検出されなかった。時期不明の墓壙である。

#### P-8 (第14図)

X-28グリッドに位置する長軸方向北北東-南南西、攪乱により形態不明の墓壙である。遺体はほとんど確認されず頭位は不明である。墓壙中央部分に漆器・刀子（マキリ）・煙管が配置されている。煙管の形態から17世紀後半以降の近世アイヌ墓と思われる。

#### P-9 (第15・16図)

V-27・W-29グリッドに位置する墓壙である。墓壙の上面及び西側部分は攪乱を受けているが一辺約3.5mほどの方形を呈していると思われる。覆土の暗褐色砂層中には多量の木炭や焼土粒子が混在しており、部分的に炭化材が見られる。人骨は3体以上が密集しているが部位は散在し、すべて火葬されている。頭蓋骨の断片などから頭位は北東方向と思われる。副葬品は和鏡、太刀、刀子、刀装具の金物、骨鏃等があり、いずれも被熱している。特に和鏡はまとまって3面が出土し、背面を下方にして検出している。鏡は直角式縁で背面の模様として内区に双雀が見られる。太刀は71cmを測る細身のもので足金物が装着した状態で出土していることから鞘に納めたままのものと思われる。骨鏃は先端部は小さく柄部が長いもので、10cm程度のものである。覆土上部では大形の自然礫がみられ、一部に被熱しているものもある。これらについては墳丘の葺石としていたことも考えられる。また、この墓壙は掘立の柱穴群によって切られている。

年代については、副葬された和鏡から中世に属すると考えられ、合葬火葬墓と言えるもので、P-41との類似性が強いと思われる。

#### P-10 (第17図)

X-30グリッドに位置する墓壙である。長軸方向北東-南西の約1.7×0.6mの楕円形を呈していると推定される墓壙であり遺体頭位は北東である。遺体の顔面には金蒔絵の漆器椀が被せられ、胴部右側には太刀（エムシ）、胴部左側には刀子（マキリ）が配されている。遺物から近世アイヌ墓と思われる。

#### P-12 (第18図)

X-28グリッドに位置する墓壙である。攪乱のため墓壙の大半が失われており明確な墓壙プランは不明である。遺体頭位方向は北東である。

遺体は頭部から胸部にかけての部分が確認されており、顔面には漆器の盆がのせられている。頭部には鎧の小札と思われる鉄製品の漆器椀が、左肩部には寛永通宝が配されている。遺物取り上げ後、頭部に配置された漆器椀に沈金技法が施されている別の漆器椀の破片が付着していることが確認されたことから漆器椀は2点が重ねられていたことが推察された。近世アイヌ墓であると思われる。

P-13 (第18図)

Y-28グリッドに位置する。長軸方向は北東-南西で約1.9×0.9mの楕円形を呈する土壌である。壙底より漆器片が検出されている。時期不明の土壌である。

P-14 (第19図)

W-28・29・X-28・29グリッドに位置する長軸方向が北北東-南南西の約3.6×3mの楕円形を呈する土壌である。壙底は傾斜しており東側が深く、西側が浅く掘り込まれている。伴出する遺物は検出されず時期不明の土壌である。

P-15 (第20図)

Y-29・30グリッドに位置する長軸方向北東-南面の約1.7×1mの楕円形を呈すると思われる土壌である。覆土及び壙底より獣骨とともに鎌・煙管の火皿・舟釘・漆器片等が検出されている。近世あるいは近代に属する廃棄壙と思われる。

P-16 (第21図)

W-30グリッドに位置する長軸方向は北東-南西であり約2.4×1.2mの長楕円形を呈する墓壙である。伴出する遺物は確認されなかったが検出された層位等から縄文時代晚期から続縄文時代に属すると思われる。

P-17 (第22図)

X-30グリッドに位置する長軸方向東-西であり、約2.3×2mの隅丸方形を呈する土壌で壙底から開元通寶、慶元通寶等の渡来銭と思われる古銭9枚が散乱した状態で検出している。覆土より焼土が検出されているが攪乱と思われる。中世に属する土壌であるが、墓壙の可能性はある。

P-18 (第22図)

X-28グリッドに位置する長軸方向東南東-西北西であり、約1.1×0.5mの楕円形を呈する土壌である。壙底から完形の恵山式土器が検出されている。続縄文時代恵山期に属する土壌である。

P-19 (第23図)

Y-28・29グリッドに位置する長軸方向北北西-南南東の約1×0.7mの楕円形を呈する土壌である。伴出遺物は検出されなかった。時期不明の土壌である。

P-20 (第23図)

c-30グリッドに位置し、H-1を調査中に検出された直径約0.4mの土壌である。H-1の床面より約10cm程高い面より掘り込まれており、H-1廃棄後に覆土から掘り込まれた土壌と思われる。伴出遺物は検出されなかった。時期不明の土壌である。

P-21 (第23図)

b-30グリッドに位置し、H-1を調査中に検出された直径約0.5mの土壙である。これもP-20と同様にH-1の廃棄後、覆土から掘り込んで形成された土壙と思われる。伴出遺物は検出されなかった。時期不明の土壙である。

P-22 (第24図)

X-30グリッドに位置する長軸方向北北西-南南東の約1.4×0.9mの楕円形を呈する墓壙である。P-23を切って構築されている。伴出する遺物は確認されなかった。壙底にはベンガラまじりの遺体の痕跡が確認された。P-23を切っていること等より縄文時代晩期後葉から続縄文時代前葉に属すると思われる。

P-23 (第24図)

X-30グリッドに位置する長軸方向北東-南西であり、約1.4×1mの楕円形を呈すると思われる墓壙である。墓壙上面をP-22によって切られている。覆土より琥珀製平玉・管玉が検出されている。琥珀製の玉より縄文時代晩期後葉から続縄文時代前葉にかけての墓壙と思われる。

P-24 (第25図)

Z-30グリッドに位置する。長軸方向は北西-南東の約0.8×0.4mの楕円形を呈すると思われる墓壙である。伴出遺物は確認されなかったが墓壙の形態や検出された層位等より縄文時代晩期から続縄文時代に属すると思われる。

P-25 (第25図)

Y-30グリッドに位置する。長軸方向は北西-南東の約0.8×0.4mの楕円形を呈すると思われる墓壙である。伴出遺物は確認されなかったが墓壙の形態や検出された層位等より縄文時代晩期から続縄文時代に属すると思われる。

P-26 (第25図)

Z-29グリッドに位置する直径約1.6mの墓壙であり遺体頭位は南向きである。遺体は屈葬で周囲にベンガラが散布されていた。頭部付近に石製ナイフが脚部直上には礫が配されていた。石製ナイフより縄文時代晩期から続縄文時代前葉に属する墓壙と思われる。

P-28 (第25図)

Y-30グリッドに位置する。長軸方向北西-南東の約1×0.6mの楕円形を呈すると思われる墓壙である。伴出遺物は確認されなかったが墓壙の形態や検出された層位より縄文時代晩期から続縄文時代に属すると思われる。

P-29 (第26図)

W-28グリッドに位置する直径約1.5mの墓壙である。墓壙上面より恵山式土器が検出

されており墓壙に伴うものと考えられる。続縄文時代恵山期の墓壙と思われる。

P-30 (第27図)

W-28グリッドに位置する直径約1.4mの墓壙である。墓壙半分をMO-10に切られている。遺体は壙底の北側に痕跡的にみられ、遺体の北側には角礫が南側には続縄文時代恵山期に属する土器と石鏃が配されている。また墓壙覆土にはベンガラが散布されており、続縄文時代恵山期に属する台付鉢と小形の異形土器が配置されている。続縄文時代恵山期の墓壙である。

P-32 (第28図)

X-29グリッドに位置する直径約1.4mの墓壙である。壙底東側に遺体痕跡が確認され遺体直上より続縄文時代恵山期の土器が検出されている。墓壙西側に礫が配されている。続縄文時代恵山期に属する墓壙である。

P-33 (第29図)

a-29・30グリッドに位置する墓壙である。東半分はコンクリートによって攪乱をうけている。伴出する遺物は確認されなかったが、検出された層位等より縄文時代晩期から続縄文時代にかけての墓壙と思われる。

P-35 (第29図)

Y-29グリッドに位置する長軸方向東南東-西北西の約0.9×0.6mの楕円形を呈すると思われる墓壙である。遺体痕跡が墓壙東側にみられ西側には縄文時代晩期に属する土器底部が検出されている。縄文時代晩期に属する墓壙である。

P-37 (第29図)

X-30グリッドに位置する楕円形を呈すると思われる墓壙である。遺体直上より縄文時代晩期に属する小型の壺形土器が検出している。縄文時代晩期に属する墓壙である。

P-38 (第30・31図)

W-27・28グリッドに位置する長軸方向北東-南西の楕円形を呈すると思われる墓壙である。遺体頭位は北東であり、顔面は右側を向いている。MO-10の窪みを掘り込んで構築されたと思われる。遺体右脇には漆器・鉞が、左脇には煙管、脚部右側及び内側に漆器椀、足元に刀子(マキリ)と火打ち金が配されている。煙管の形態から18世紀前半以降の墓壙と思われる。

P-39 (第32図)

Y-29・30グリッドに位置し長軸方向北-南の1.2×1mの楕円形を呈する墓壙である。墓壙東側はコンクリートによって攪乱をうけている。墓壙覆土上面からは恵山式土器が検出している。続縄文時代恵山期に属すると思われる。

P-40 (第33図)

a-29・b-29グリッドに位置する1.4×1.3mの隅丸方形を呈する墓壙である。遺体は脚を折り曲げており、屈葬に近い状態で検出された。頭位は東北東である。

遺体胴部直上には刀子が、墓壙中央には砥石が配されていた。墓壙プランや遺体の状況が近世アイヌ墓とは異なる時期不明の墓壙である。

P-41 (第33・34・35・36・37・38図)

X-27・28、Y-27・28グリッドに位置する墓壙である。竪穴状に掘り込まれた遺構の壙底に角礫が直線的に配列されており、刀・刀子・骨角器・漆器等を副葬した後に焼成し、人為的に埋めた後に礫、青磁碗を配し再度焼成を行っている。

壙底からは骨角器とともに焼骨が検出されている。明確に人骨と思われるものは確認されなかったが遺構の形態や遺物の配置状況は伊達市オヤコツ遺跡検出の方形配石墓と呼称された遺構に類似していること等から墓壙と判断した。伴出した青磁碗等から当墓壙は15世紀に属する中世墓壙と思われる。

P-42 (第39図)

W-29グリッドに位置する長軸方向北東-南西であり、約2.5×1.3mの楕円形を呈する墓壙である。壙底より遺体痕跡が確認されており、北東側から箱状の板と楡・紐状の繊維の上に中世に属すると思われる和鏡と中世に特徴的なスタンプ紋が施された漆器が重なって検出されている。楡の歯は大きさが2種類確認されており、2個副葬されていた可能性がある。壙底南側より弓削刀子に類似した刀子が検出している。中世に属すると思われる墓壙である。

P-43 (第32図)

X-29グリッドに位置する長軸方向北西-南西の約2×1.2mの楕円形を呈する墓壙である。墓壙の状態より縄文時代晩期から続縄文時代にかけての墓壙と思われる。

P-44 (第40図)

X-28グリッドに位置する直径約0.9mの円形を呈する墓壙である。壙底より遺体痕跡と共に倒立した恵山式土器が検出されている。続縄文時代恵山期に属する墓壙である。

P-45 (第40図)

b-29グリッドに位置する長軸方向北北西-南南東であり約2×1mの楕円形を呈すると思われる墓壙である。壙底より遺体と思われる暗茶褐色砂直上に琥珀製垂飾2点、土器片、フレイクが検出されている。遺物等より縄文時代晩期後葉に属する墓壙と思われる。

P-47 (第41図)

W-30グリッドに位置する長軸方向北西-南東の約1.4×1mの楕円形を呈する墓壙で



ある。伴出遺物は検出されなかったが、墓壙の形態や検出された層位より縄文時代晩期から続縄文時代に属すると思われる。

P-48 (第41図)

W-29グリッドに位置する約1×0.8mで長軸方向北北西-南南東の楕円形を呈する土壙である。壙底より続縄文時代恵山期の土器と石鏃が検出されている。続縄文時代恵山期に属する土壙である。

P-50 (第41図)

W-28・X-28グリッドに位置する直径約1.3mの円形を呈する墓壙である。伴出遺物は確認されなかったが墓壙の形態や検出された層位より縄文時代晩期から続縄文時代に属すると思われる。

P-52 (第42図)

W-29グリッドに位置する長軸方向北北東-南南西の約1.2×1mの楕円形を呈する墓壙である。壙底北側にベンガラが少量散布されている。伴出する遺物は検出されなかったが、墓壙の形態や検出された層位より縄文時代晩期から続縄文時代に属すると思われる。

P-53 (第42図)

W-28グリッドに位置する長軸方向西北西-東南東であり、約1.4×1.1mの楕円形を呈する墓壙である。覆土より恵山式土器と石斧が出土しているが墓壙に共伴する遺物は検出しなかった。壙底には遺体痕跡が広く確認され中央および南側に礫が配されている。続縄文時代恵山期に属する可能性のある墓壙である。

P-54 (第43図)

X-28グリッドに位置する長軸方向東-西の約1.4×1.2mの楕円形を呈する墓壙である。伴出遺物は検出されなかったが墓壙の形態や検出された層位より縄文時代晩期から続縄文時代に属すると思われる。

P-55 (第43図)

Y-30グリッドに位置する長軸方向東南東-西北西であり、約1.6×0.8mの楕円形を呈すると思われる墓壙である。墓壙南側が発掘区外である。伴出遺物は検出されなかったが墓壙の形態や検出された層位より縄文時代晩期から続縄文時代に属すると思われる。

P-56 (第44図)

V-29グリッドに位置する長軸方向北東-南西であり、約1.2×0.7mの楕円形を呈する墓壙である。伴出遺物が検出されなかったが墓壙の形態や検出された層位より縄文時

代晩期から統縄文時代に属する墓壙と思われる。

P-58 (第44図)

b-29グリッドに位置する土壙である。東半分は調査区外である。伴出遺物は検出されなかった。時期不明の土壙である。覆土より縄文時代晩期に属すると思われる壺形土器が検出している。

P-59 (第45図)

W-27グリッドに位置する直径約1.1mの円形を呈すると思われる墓壙である。南東側をMO-10によって切られている。墓壙中央より恵山式土器と後北A式土器に類する土器が重なった状態で検出されており副葬品と思われる。統縄文時代恵山期後半の墓壙である。

P-60 (第46図)

V-28グリッドに位置する墓壙である。大半が発掘区外に位置するため形態は不明である。南東側をMO-10で切られている。ベンガラを含む遺体痕跡が検出している。伴出遺物は検出されなかったが、検出された層位等より縄文時代晩期から統縄文時代の墓壙と思われる。

P-62 (第46図)

X-29グリッドに位置する直径1.2mの円形を呈する墓壙である。伴出遺物は検出されなかったが、墓壙の形態や検出された層位より縄文時代晩期から統縄文時代に属すると思われる。

P-63 (第47図)

X-28グリッドに位置する直径約1.3mの円形を呈する墓壙である。墓壙上面はP-41に切られている。伴出遺物は確認されなかったが、墓壙の形態や検出された層位等より縄文時代晩期から統縄文時代に属すると思われる。

P-68 (第47図)

b-28グリッドに位置する長軸方向北西-南東の約1.3×0.8mの楕円形を呈する墓壙である。墓壙中央に恵山式土器と北側に礫を配している。墓壙中央には柱穴状の掘り込みが一か所みられる。

遺体は確認されなかったが遺構の形態や伴出遺物の状態から統縄文時代恵山期の墓壙と思われる。

H-1 (第48図)

b-29・30、c-29・30グリッドに位置する竪穴住居址である。南側は発掘区外のため調査が行われておらず全体の形状は不明である。中央に炉と思われる礫が配されてい

る。柱穴は確認されなかった。床面より炭化したクルミと砥石が検出されているが遺構の属する時期は不明である。覆土より縄文時代晩期に属する土器と石鏃・R.F等が検出されている。

### H-3 (第49図)

a-30グリッドに位置する竪穴住居址である。発掘区境界に接することやコンクリート基礎により全体の形状は不明である。覆土より恵山期の土器が出土したが床面遺物は確認されなかった。時期不明の竪穴住居址である。

### 柱穴群 (第50図)

V-28・29、W-28・29グリッドに位置する柱穴群である。直径約30cm前後の円形を呈する柱穴が8基(それぞれNo.1～8と呼称する)が約2mほどの間隔で規則的に並んで検出している。北西方向に柱穴列が続く可能性が考えられるが発掘区外のため不明である。掘立柱建物址と考えられる。

柱穴No.4はMO-10によって切られており、またNo.2、No.3は中世墓であるP-9を切っていることからP-9とMO-10の間に属する中・近世の建物跡と思われる。

### 木枠遺構 (第50図)

W-28グリッドに位置する1×0.8m程の板材を組み合わせた遺構の底部で古銭や煙管・指輪等と思われる銅製品が散乱した状態でのせられている。時期や用途等については不明である。

### MO-10 (第51図)

V-27～29・W-27～28グリッドに跨がって位置し北東-南西方向に約7m程続く壕状遺構である。両端は発掘区外に続いているが1991年度検出のMO-10に接続すると思われるため遺構名を統一した。幅約2m、深さ約0.7mであり断面はU字状を呈する。

MO-10埋没過程での窪みを掘り込んで18世紀以降に属する近世アイヌ墓であるP-38が構築されており、また中・近世に属する掘立柱建物址である柱穴群を切って構築されていることから中・近世に属する遺構と思われる。

MO-10覆土は上層には炭化物層が確認され、それがMO-10の全域で検出されていることからMO-10が廃棄され埋没する過程で、その窪みの周囲で一時的に木質のものが焼ける状況があったと思われる。

### FP-1 (第52図)

W-30グリッドに位置する0.3×0.3mの焼土でII層より検出している。時期不明の焼土である。

F P - 2 (第52図)

Y-29グリッドに位置する約0.5×0.4mの焼土でⅡ層より検出している。時期不明の焼土である。

F P - 3 (第52図)

W-29グリッドに位置する約0.5×0.4mの焼土でⅡ層より検出している。時期不明の焼土である。

F P - 4 (第52図)

Z-30グリッドに位置する約0.4×0.4mの焼土である。Ⅲ層より検出している。層位より縄文時代晩期に属する焼土と思われる。

F P - 5 (第52図)

b-29グリッドに位置する約1.1×0.5mの焼土でⅣ層より検出している。細かい魚骨等が焼土に含まれている。層位から縄文時代晩期に属すると思われる。

F P - 6 (第53図)

c-29・30グリッドに位置する約2.8×2.4mの焼土でⅣ層より検出している。縄文時代晩期後葉の土器を伴っていることから縄文時代晩期後葉の焼土と思われる。

F P - 7 (第54図)

a-29グリッドに位置する約0.4×0.4mの焼土でⅢ層より検出している。焼土中には微細な骨片が含まれる。層位から縄文時代晩期に属する焼土と思われる。

F P - 8 (第54図)

Z-29・30グリッドに位置する約0.6×0.3mの焼土でⅣ層より検出している。焼土中には微細な骨片が含まれる。層位から縄文時代晩期に属する焼土と思われる。

F P - 9 (第54図)

a-28・29グリッドに位置する約0.8×0.5mの焼土でⅣ層より検出している。焼土中には細かい焼骨が含まれている。層位から縄文時代晩期に属する焼土と思われる。

F P - 10 (第54図)

a-29グリッドに位置する約0.6×0.4mの焼土でⅣ層より検出している。層位から縄文時代晩期の焼土であると思われる。

F P - 11 (第54図)

b-29グリッドに位置する約1.4×1mの焼土でⅣ層より検出している。焼土周辺からは有機物の広がり確認された。層位から縄文時代晩期に属する焼土と思われる。

#### SM-1 (第55図)

X-30グリッドに位置する貝塚でⅡ層より検出している。コタマガイ、ウバガイ、イガイの薄い広がりであり、近世末から近代に属する貝塚と思われる。

#### SM-2 (第55図)

Z-30グリッドに位置する薄い貝の広がりⅡ層より検出している。遺物等から近世末から近代に属する貝塚である。

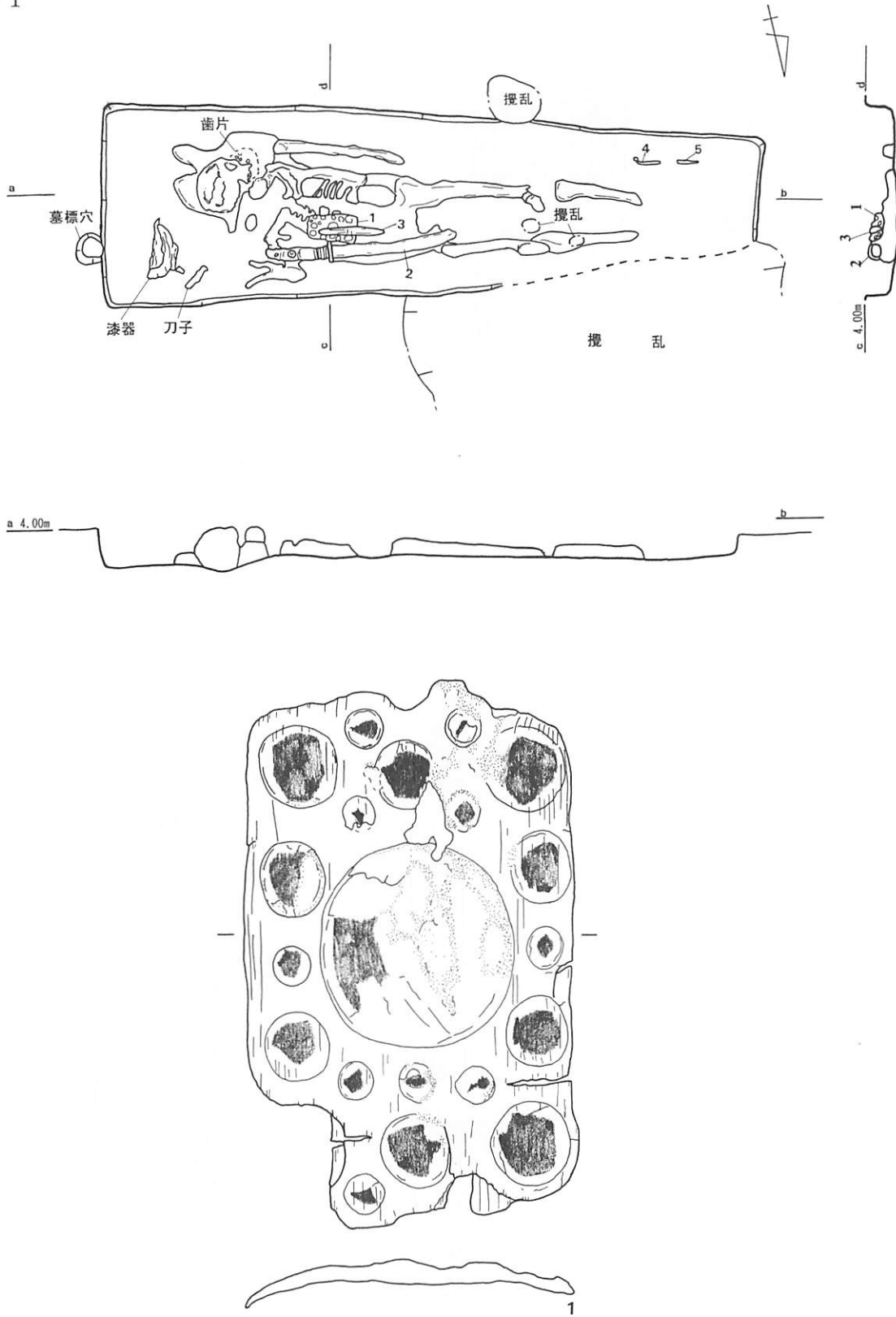
#### SM-3 (第55図)

a-30グリッドに位置する貝塚。Ⅱ層からの検出であるが周囲は攪乱の影響が顕著である。獣骨が比較的多くみられクジラの椎骨等が確認された。またコタマガイ、ウバガイ等の貝類も確認されているが獣骨、貝類いずれも薄い広がりではない。他にアイヌ模様の刻まれた海獣の肋骨が検出している。近世末から近代に属する貝塚と思われる。

#### 石組炉 1 (第55図)

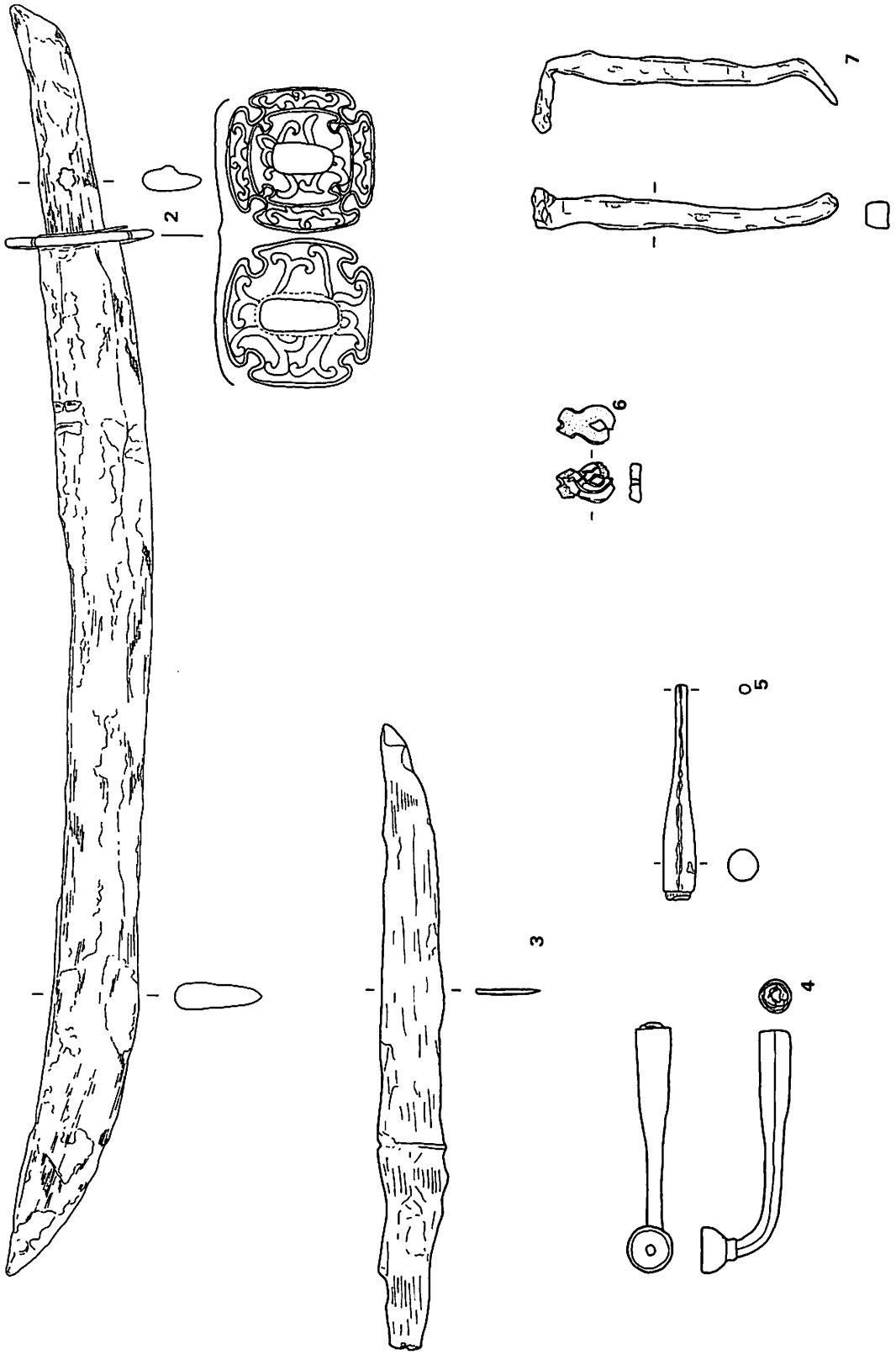
a-29グリッドに位置しており、0.8×0.6mの焼土とそれを囲う様に人頭大の礫が3点、Ⅳ層より検出している。いずれも被熱している。南側に礫は配置されていなかった。伴出遺物は確認されなかったⅢ層より検出されていることから縄文時代晩期に属すると思われる。

P - 1



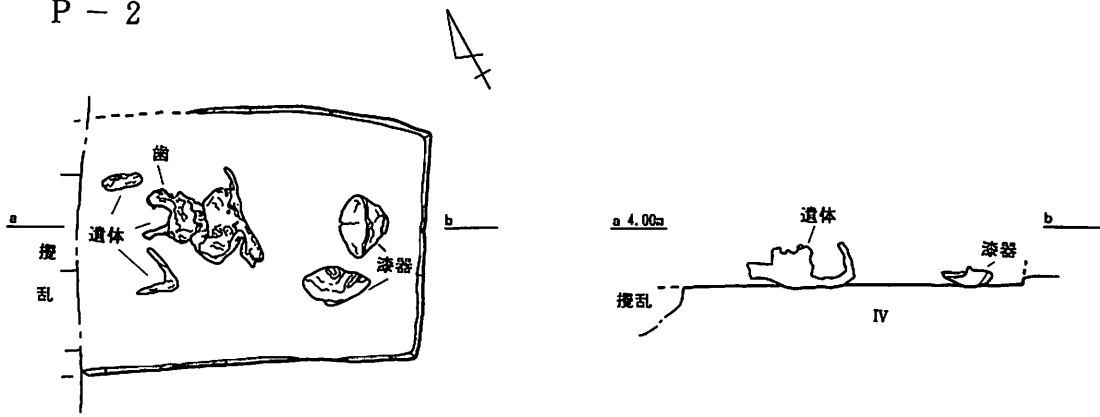
第9図 P-1 平面図と出土遺物

P-1

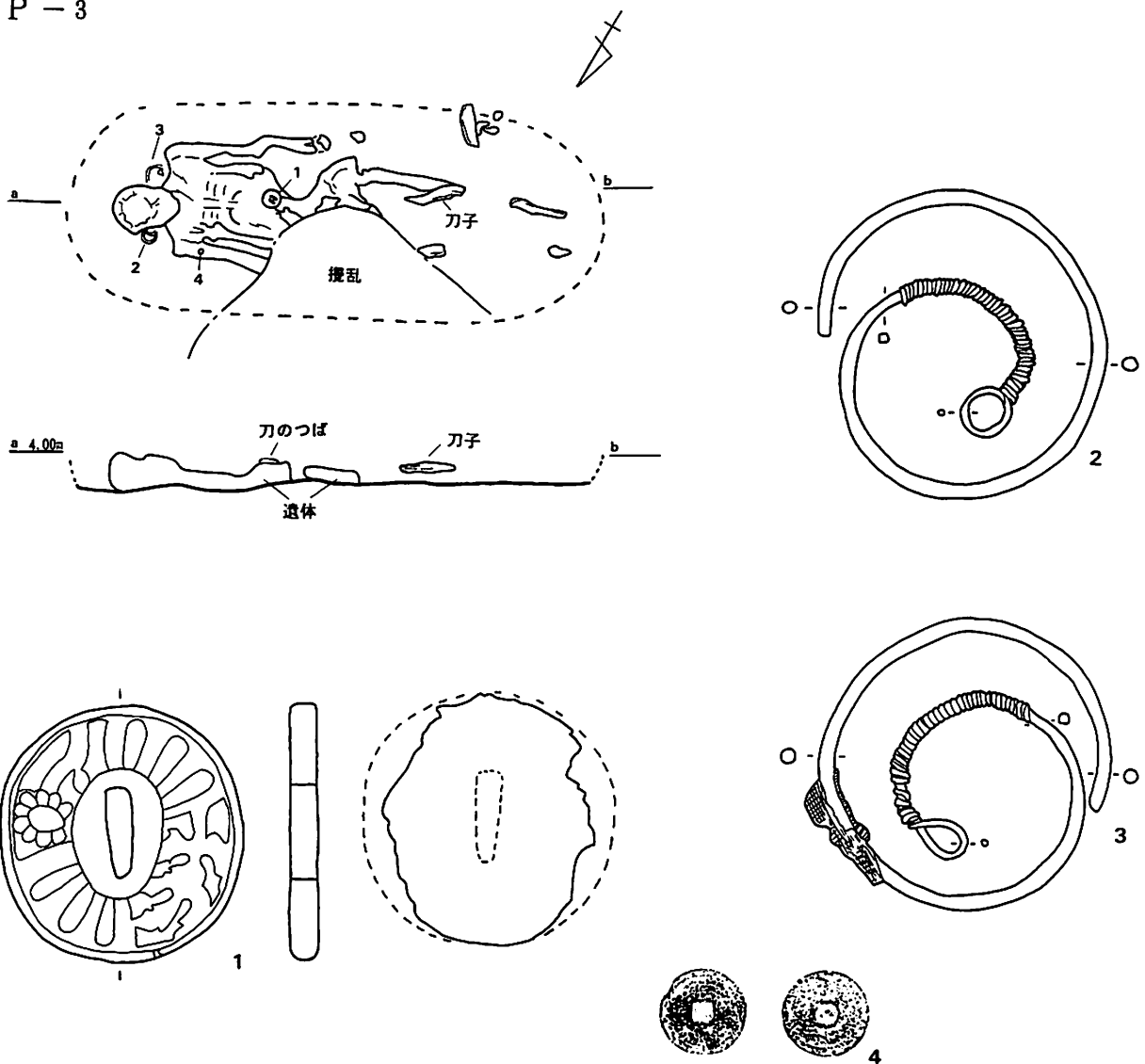


第10図 P-1 出土遺物

P - 2



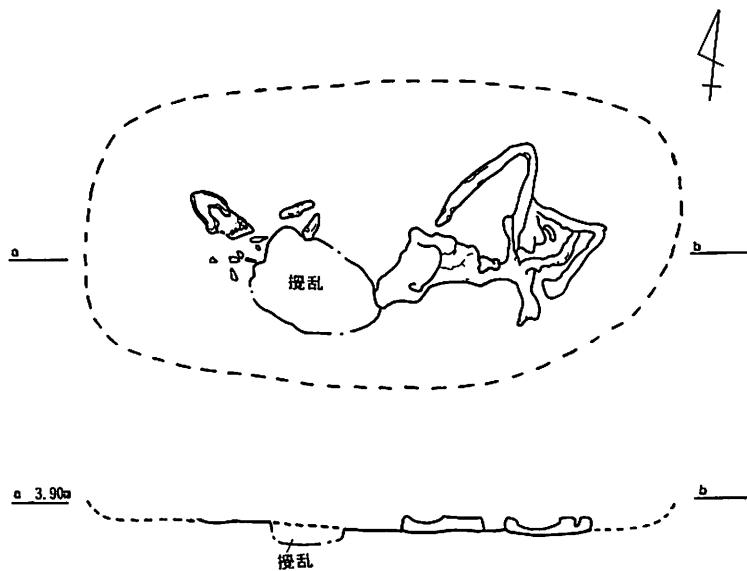
P - 3



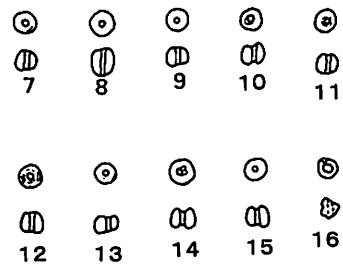
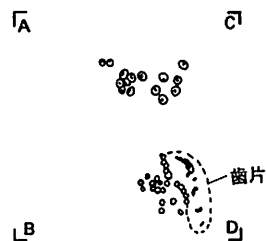
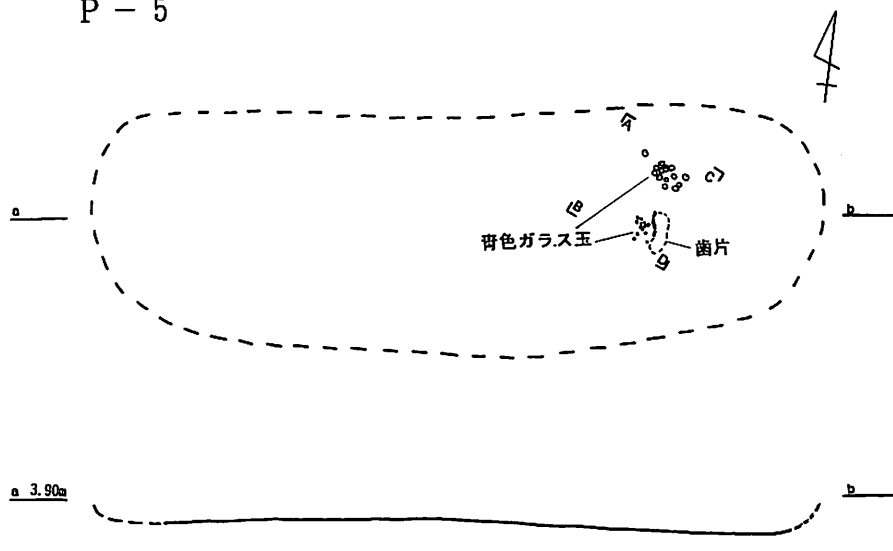
第11図 P - 2、3 平面図と出土遺物



P - 4

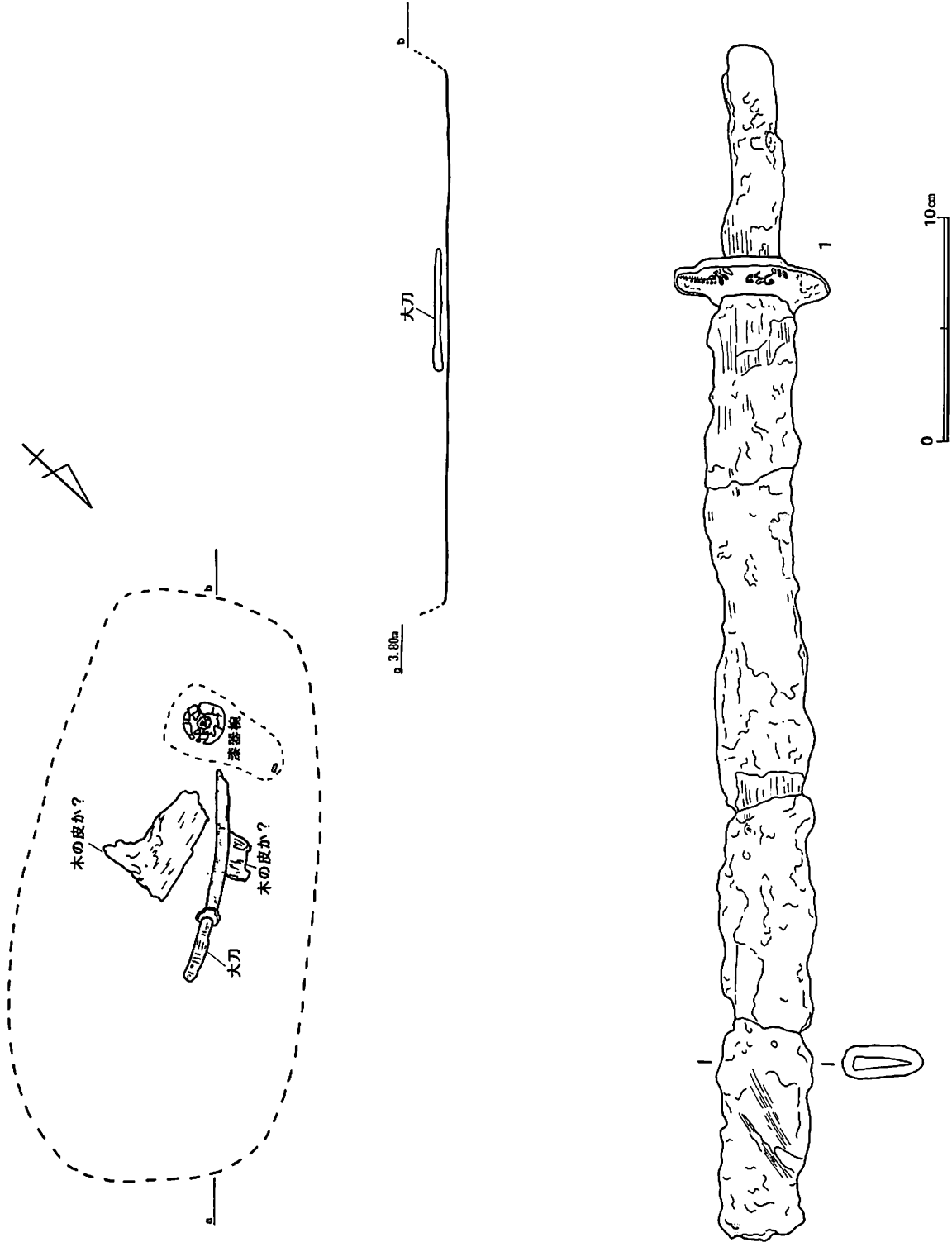


P - 5



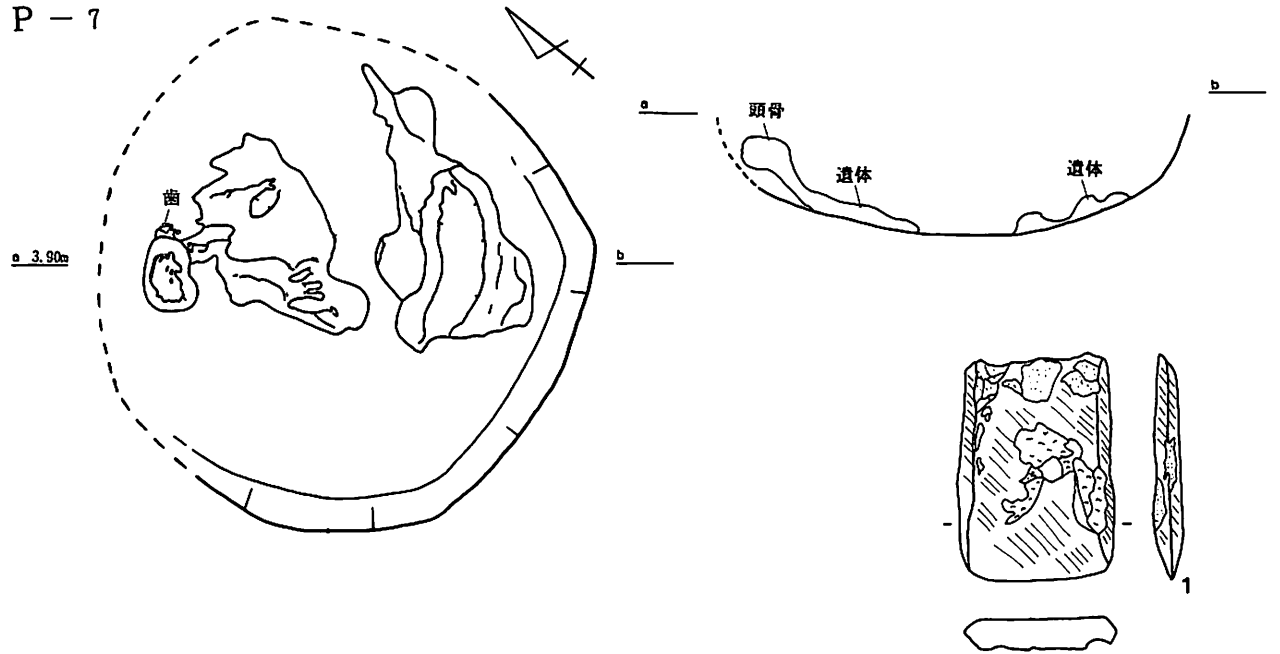
第12図 P - 4、5 平面図と出土遺物

P-6

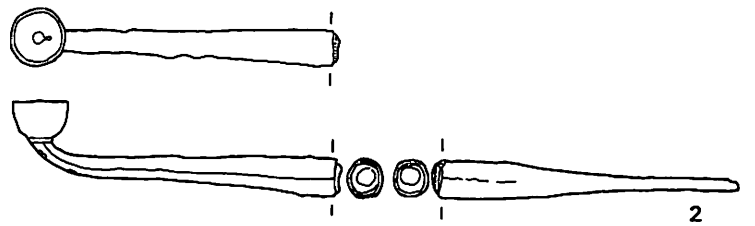
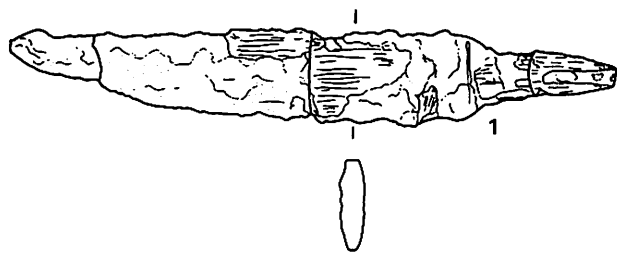
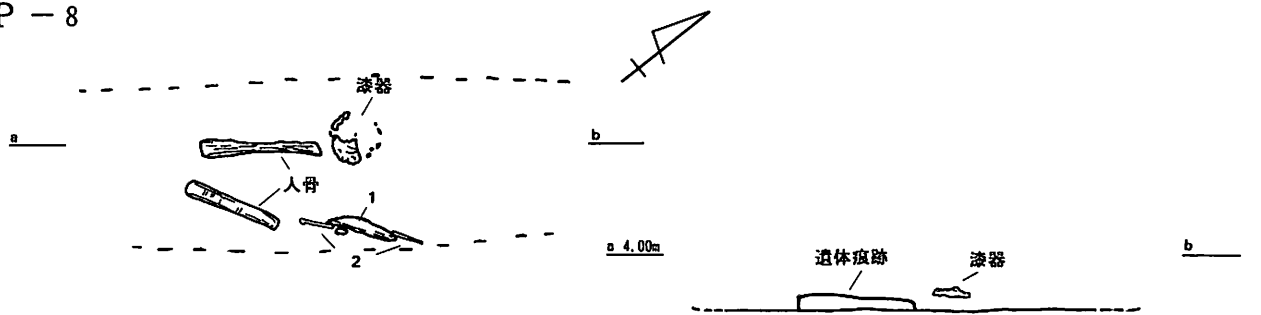


第13図 P-6 平面図と出土遺物

P-7

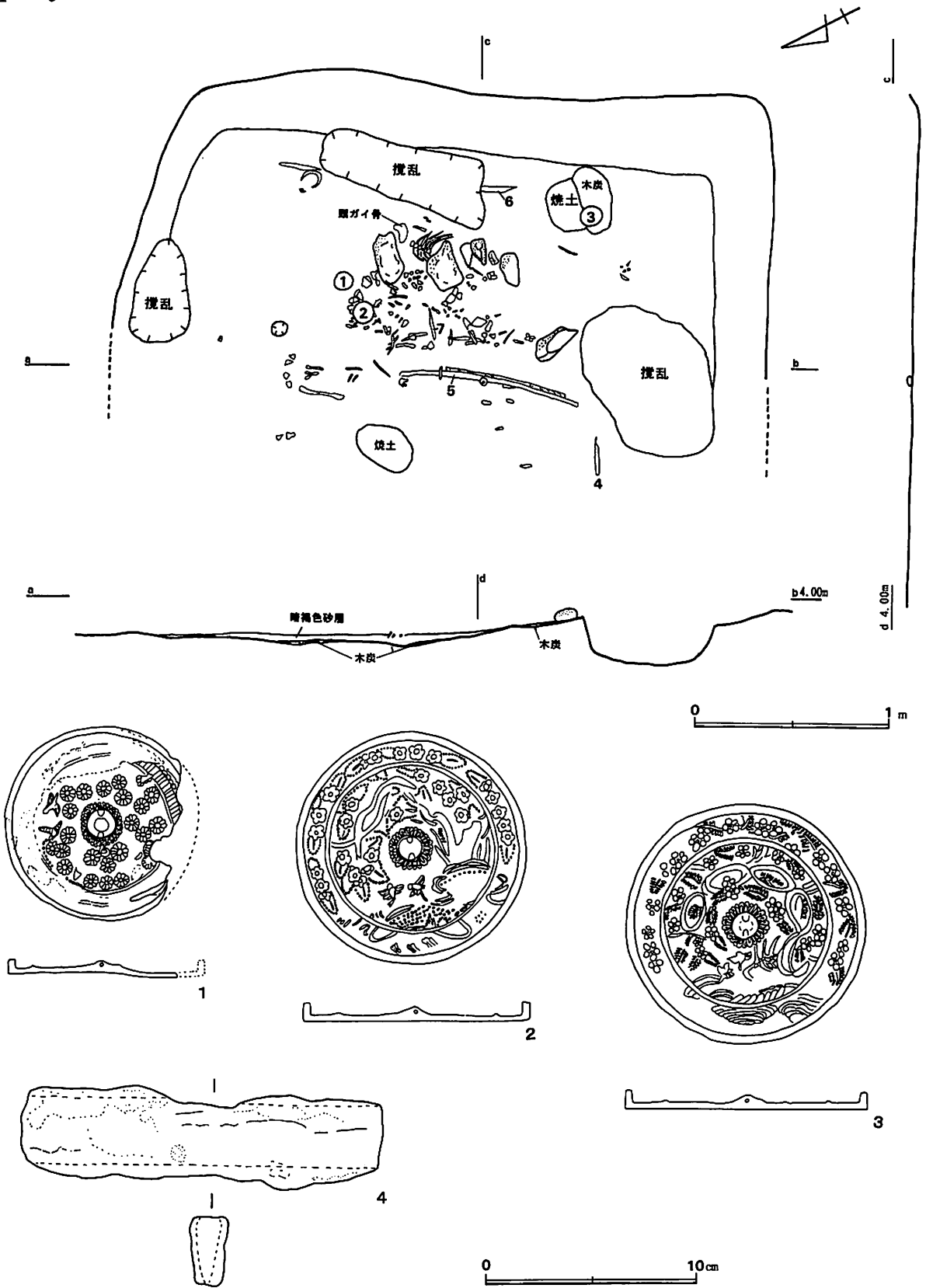


P-8

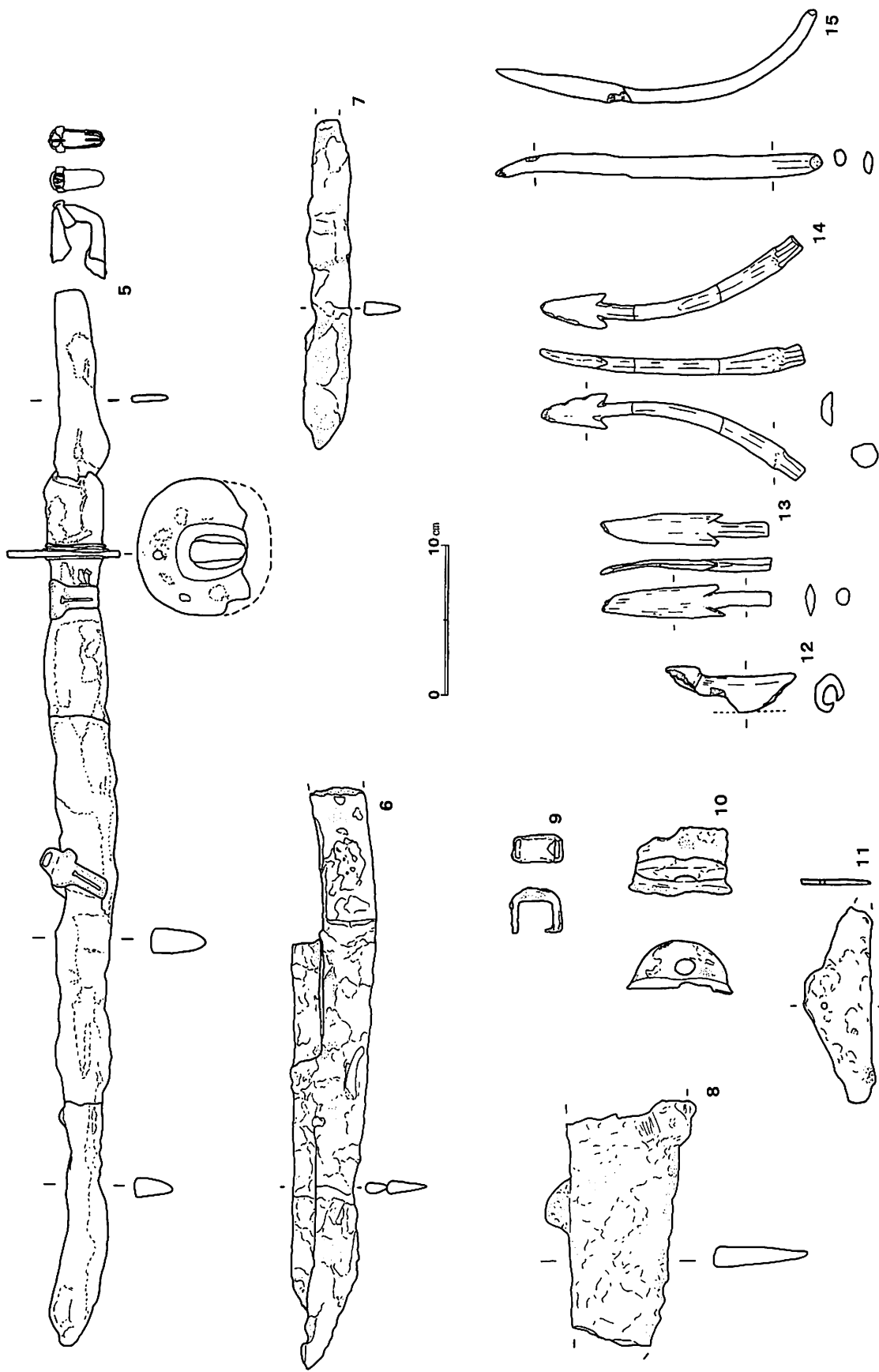


第14図 P-7、8 平面図と出土遺物

P-9

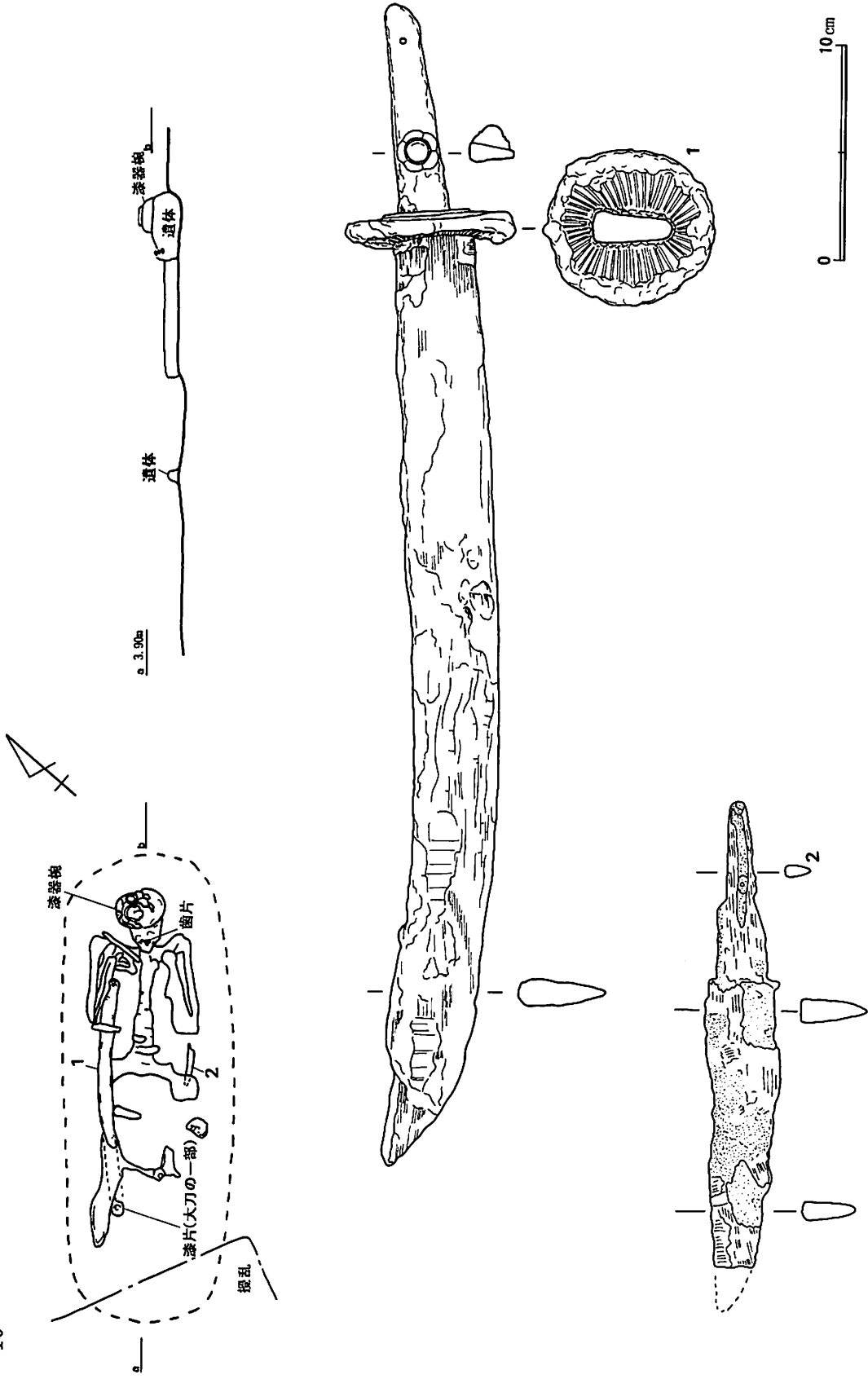


第15図 P-9 平面図と出土遺物



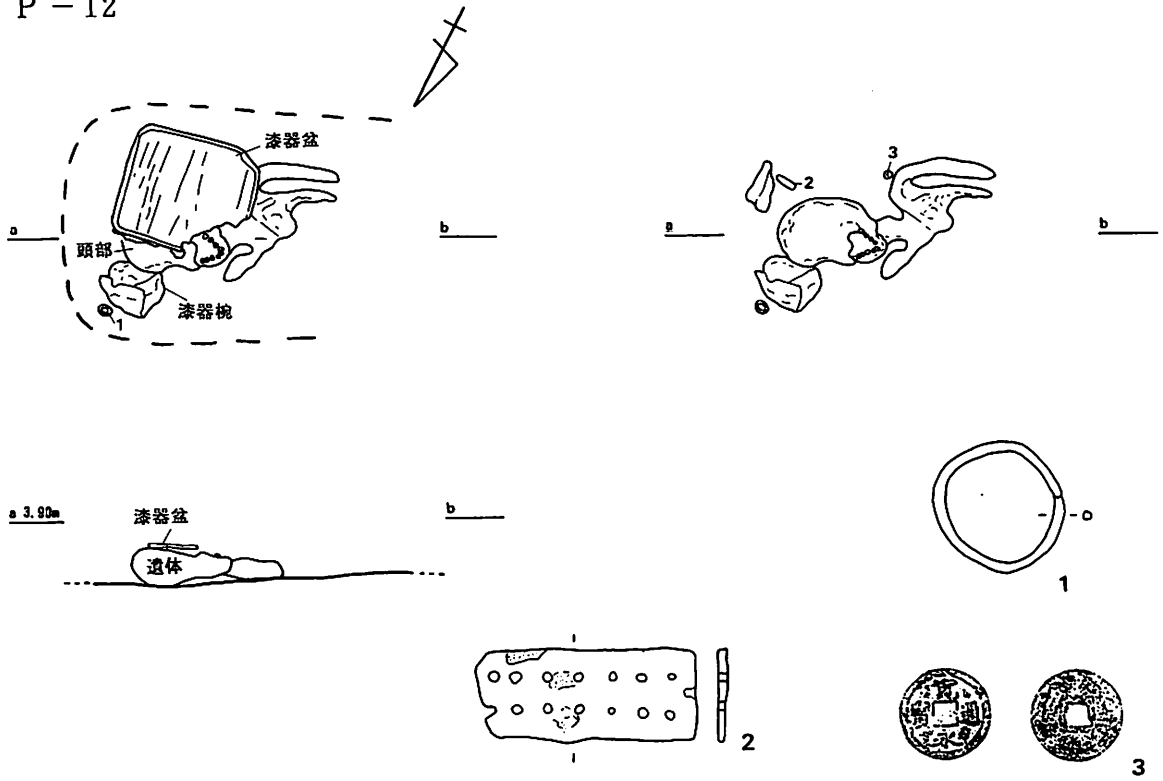
第16图 P-9 出土遺物

P-10

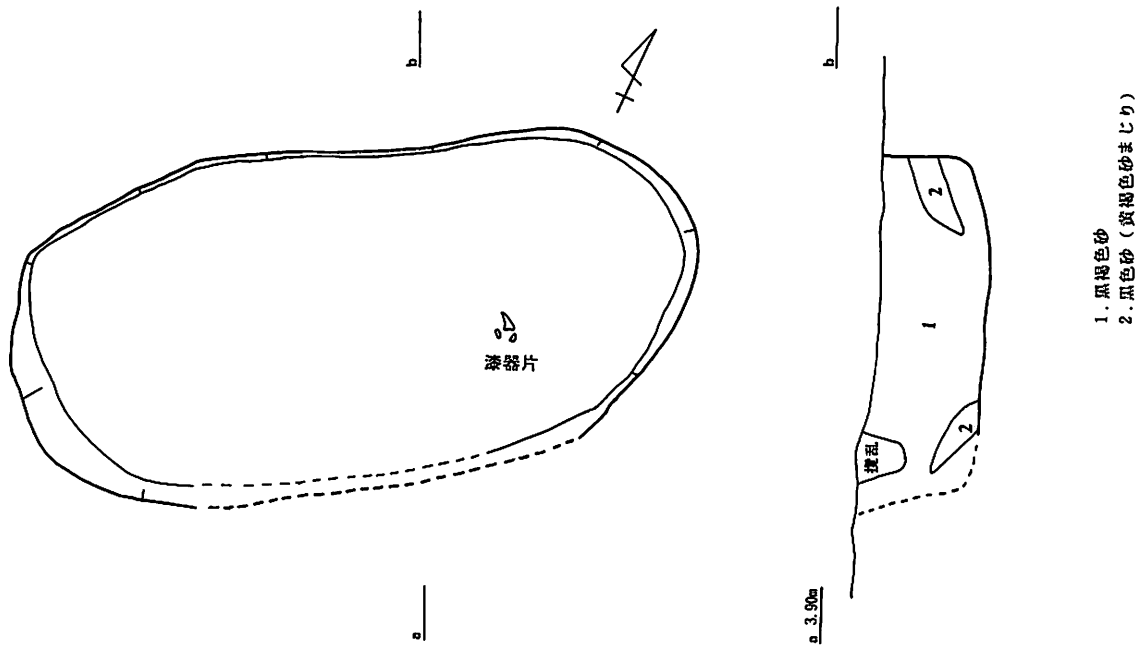


第17図 P-10 平面図と出土遺物

P-12

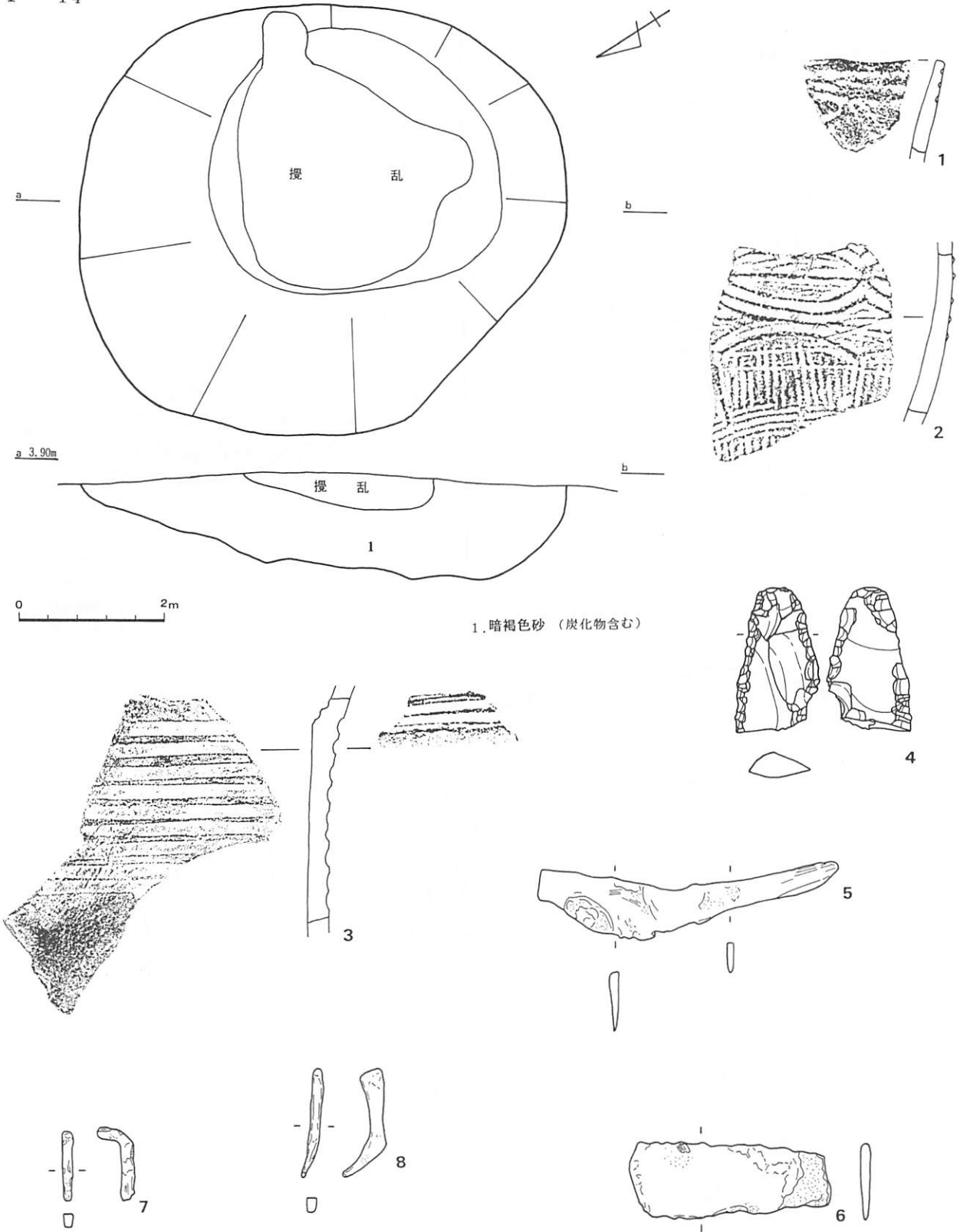


P-13



第18図 P-12、13 平面図と出土遺物

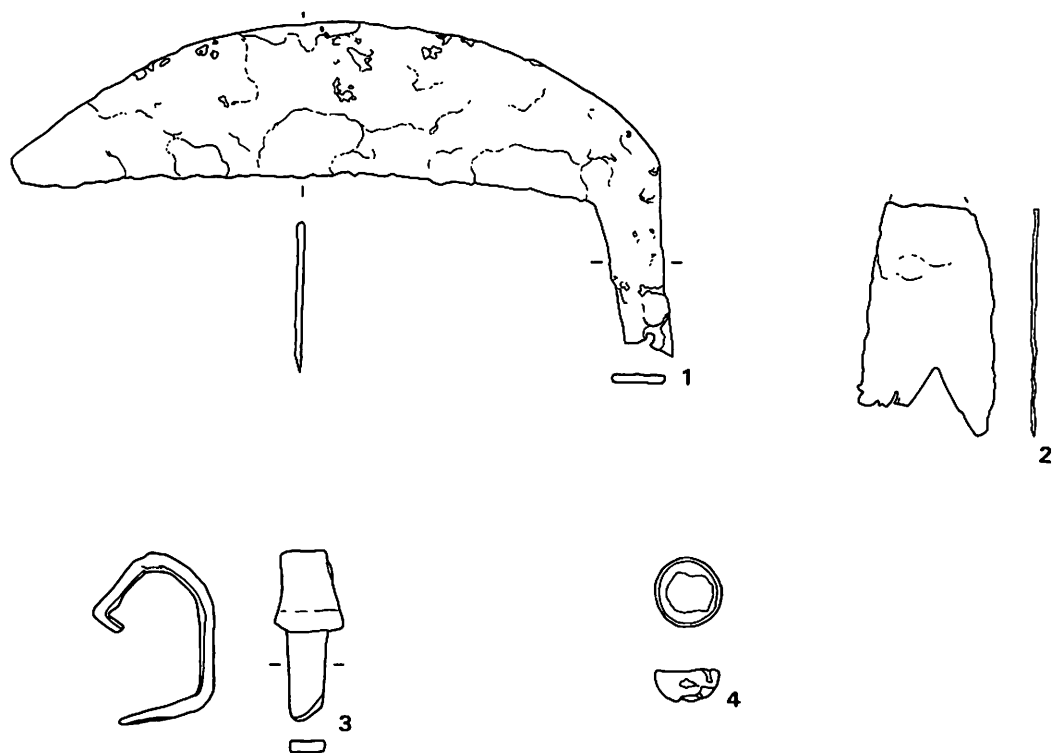
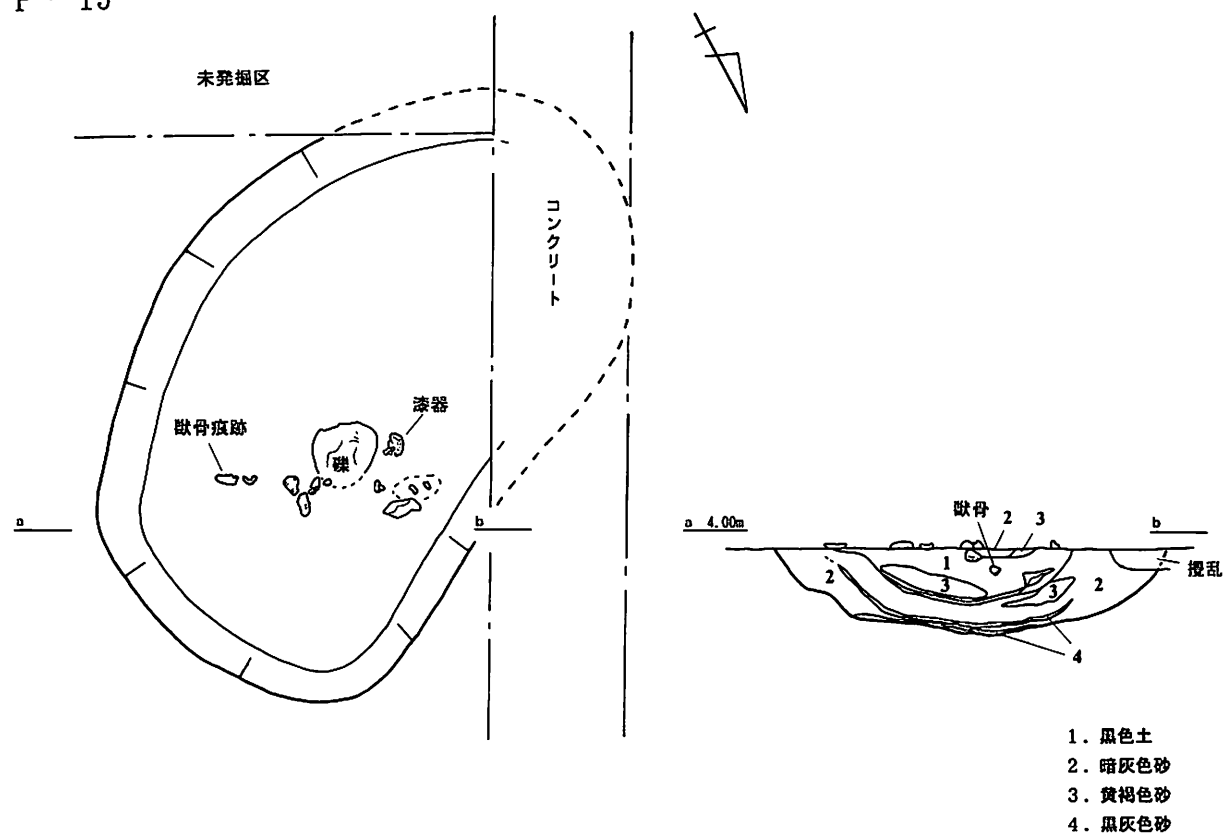
P-14



第19図 P-14 平面図と出土遺物

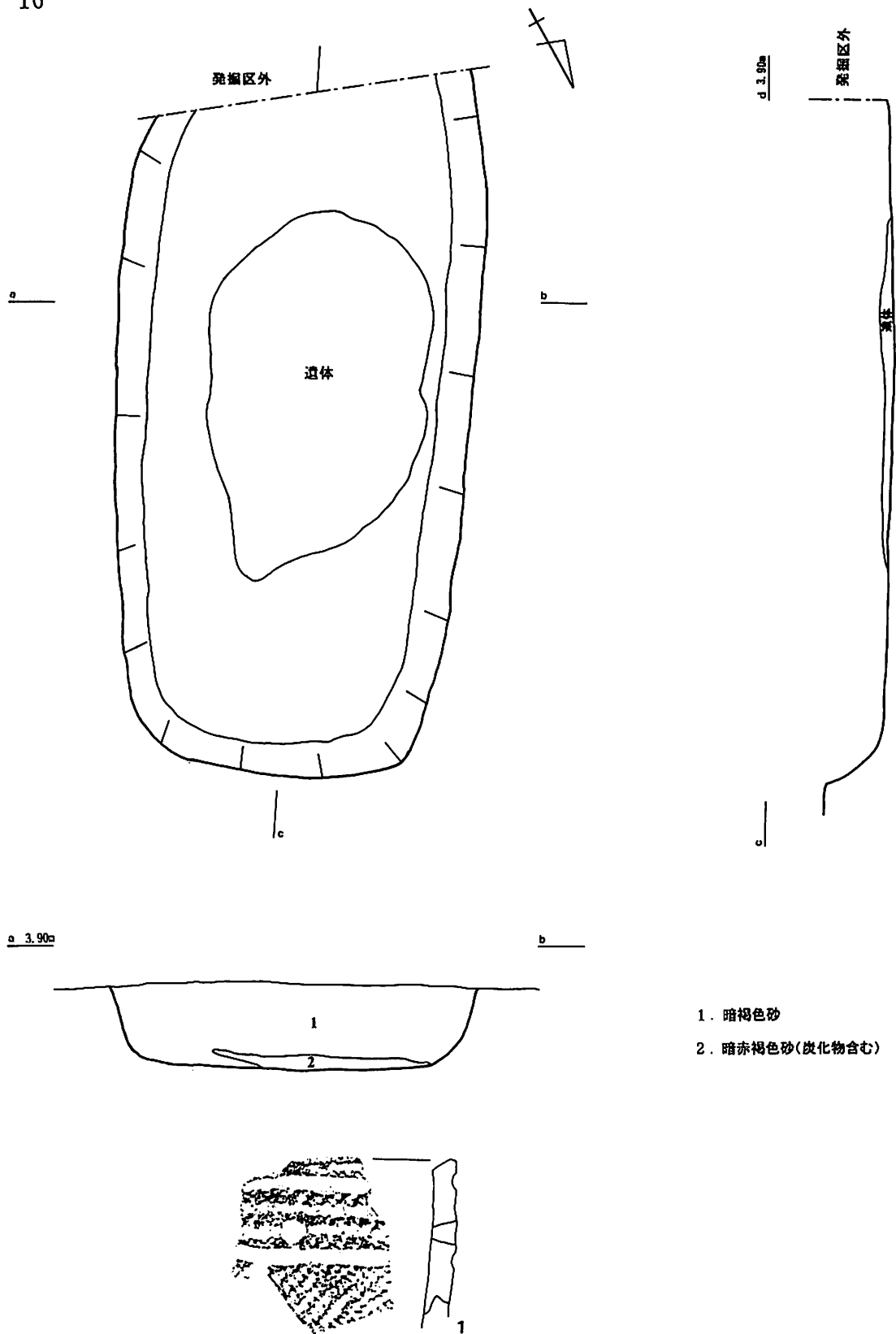


P - 15



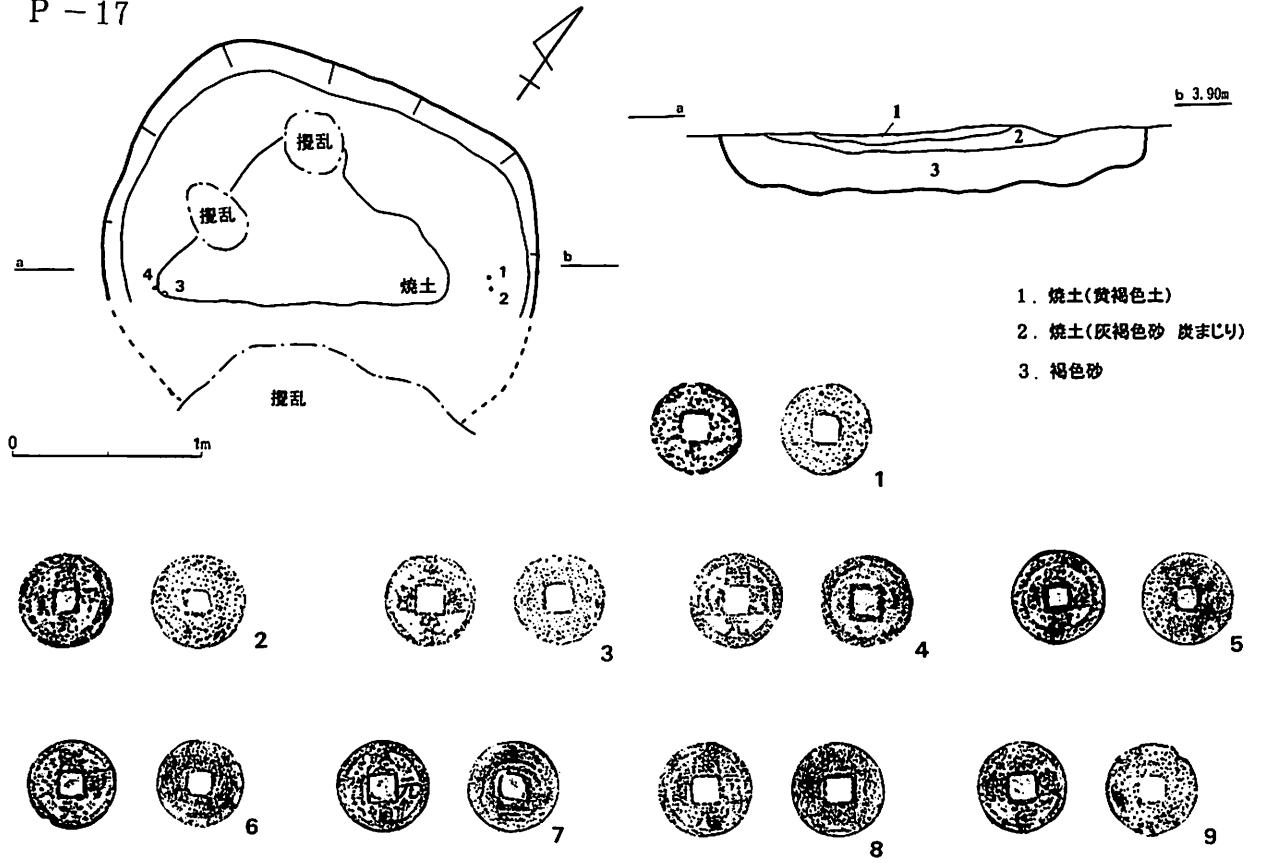
第20図 P - 15 平面図と出土遺物

P - 16

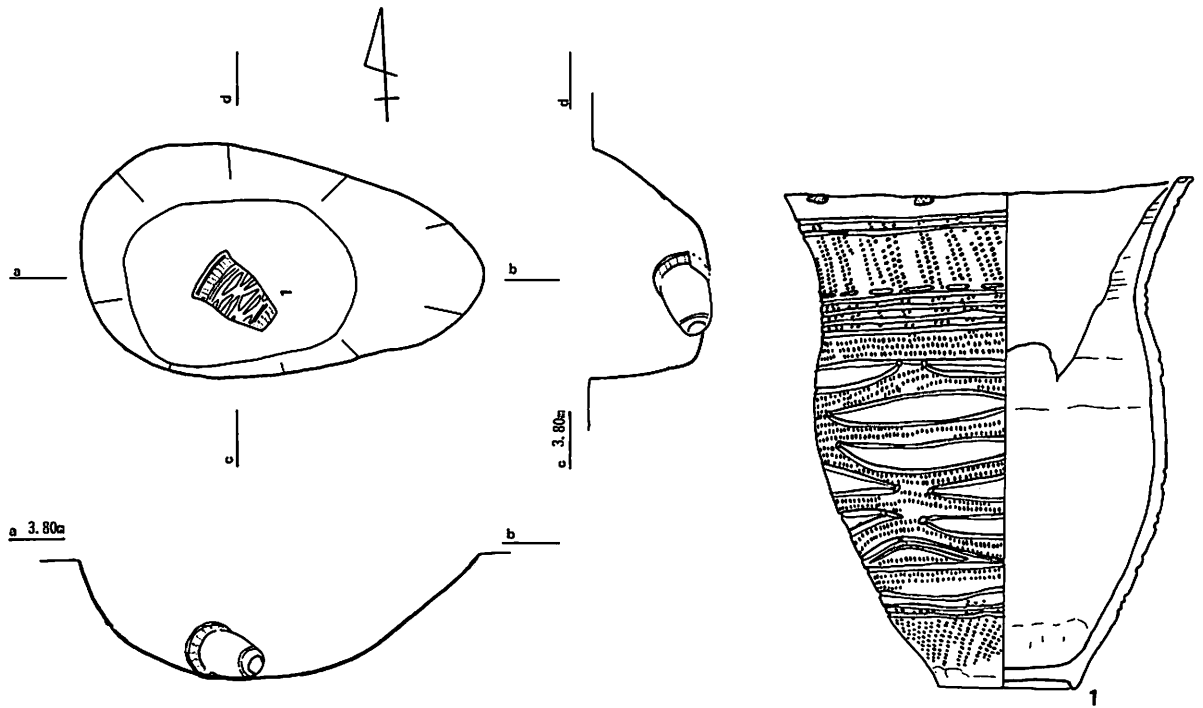


第21図 P - 16 平面図と出土遺物

P - 17

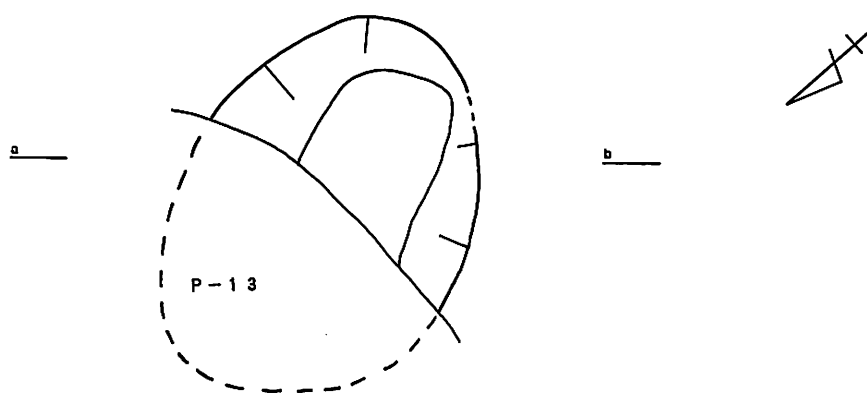


P - 18



第22図 P - 17、18 平面図と出土遺物

P - 19

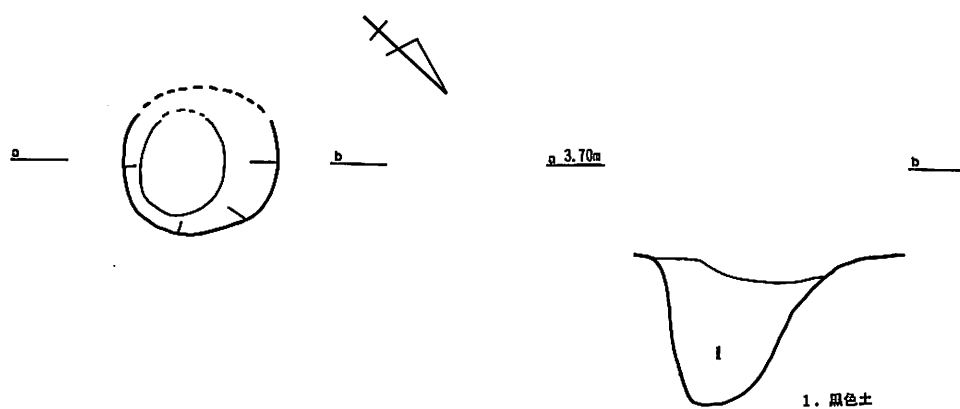


a 3.70m



1. 茶褐色砂

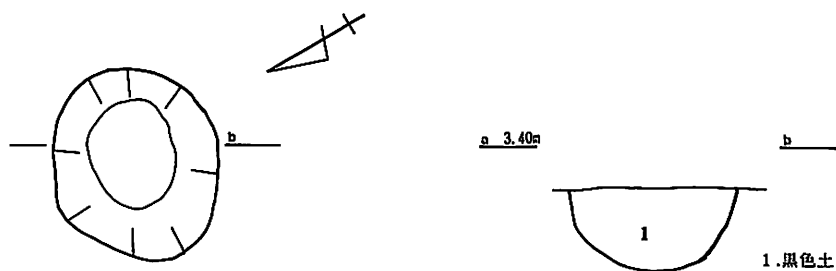
P - 20



a 3.70m

1. 黑色土

P - 21

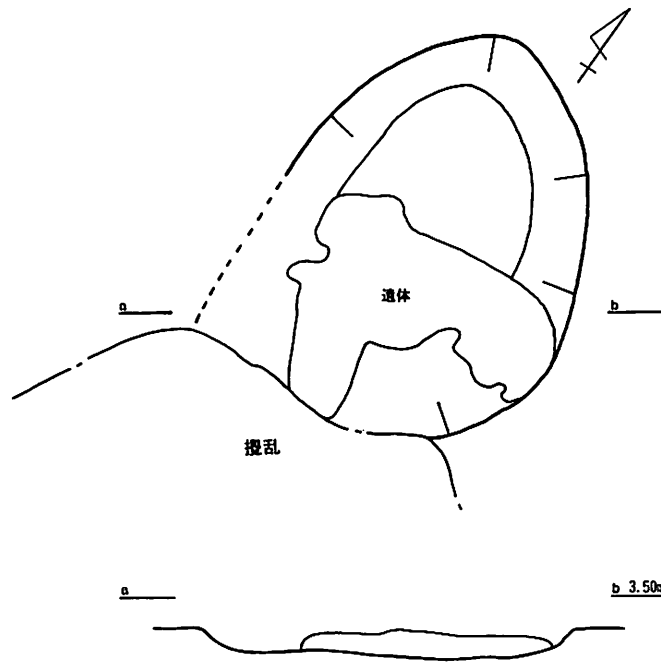


a 3.40m

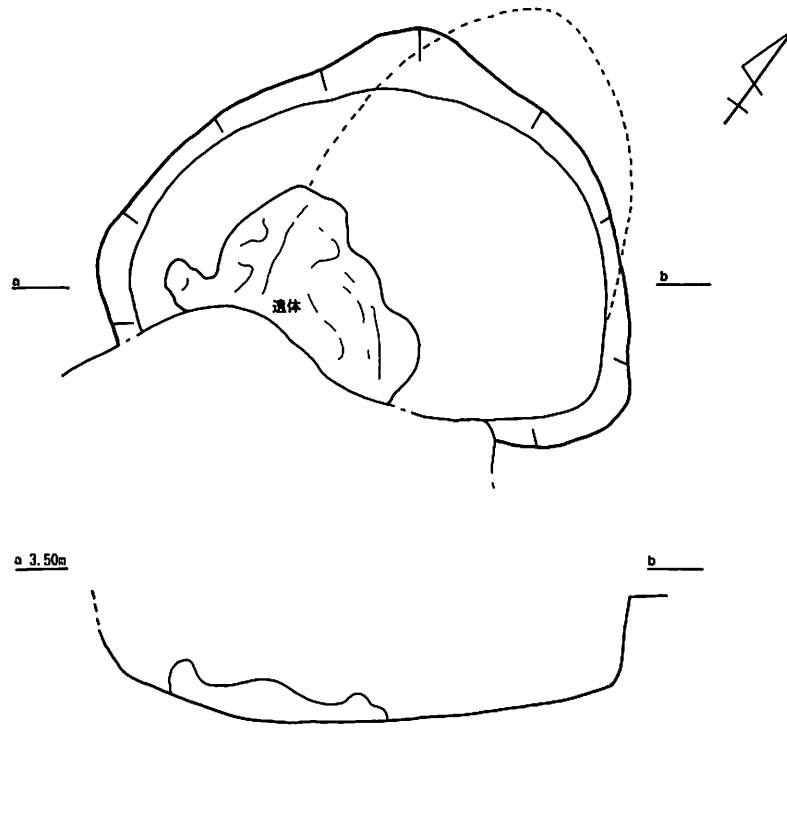
1. 黑色土

第23图 P-19、20、21 平面图

P - 22

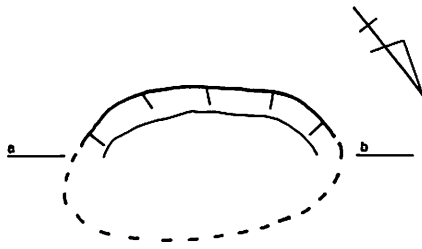


P - 23

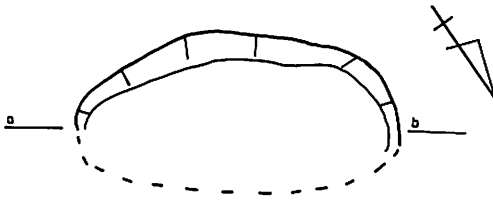


第24図 P - 22、23 平面図と出土遺物

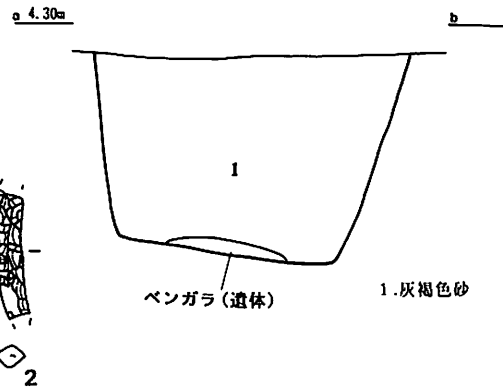
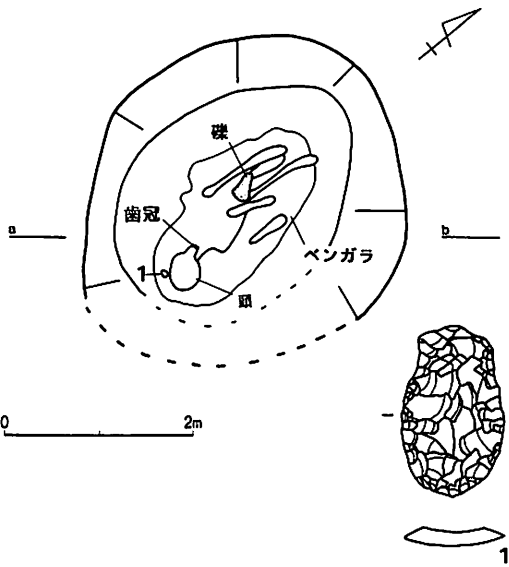
P - 24



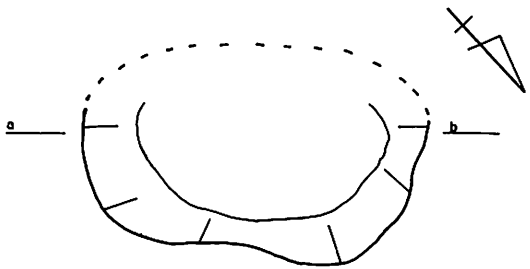
P - 25



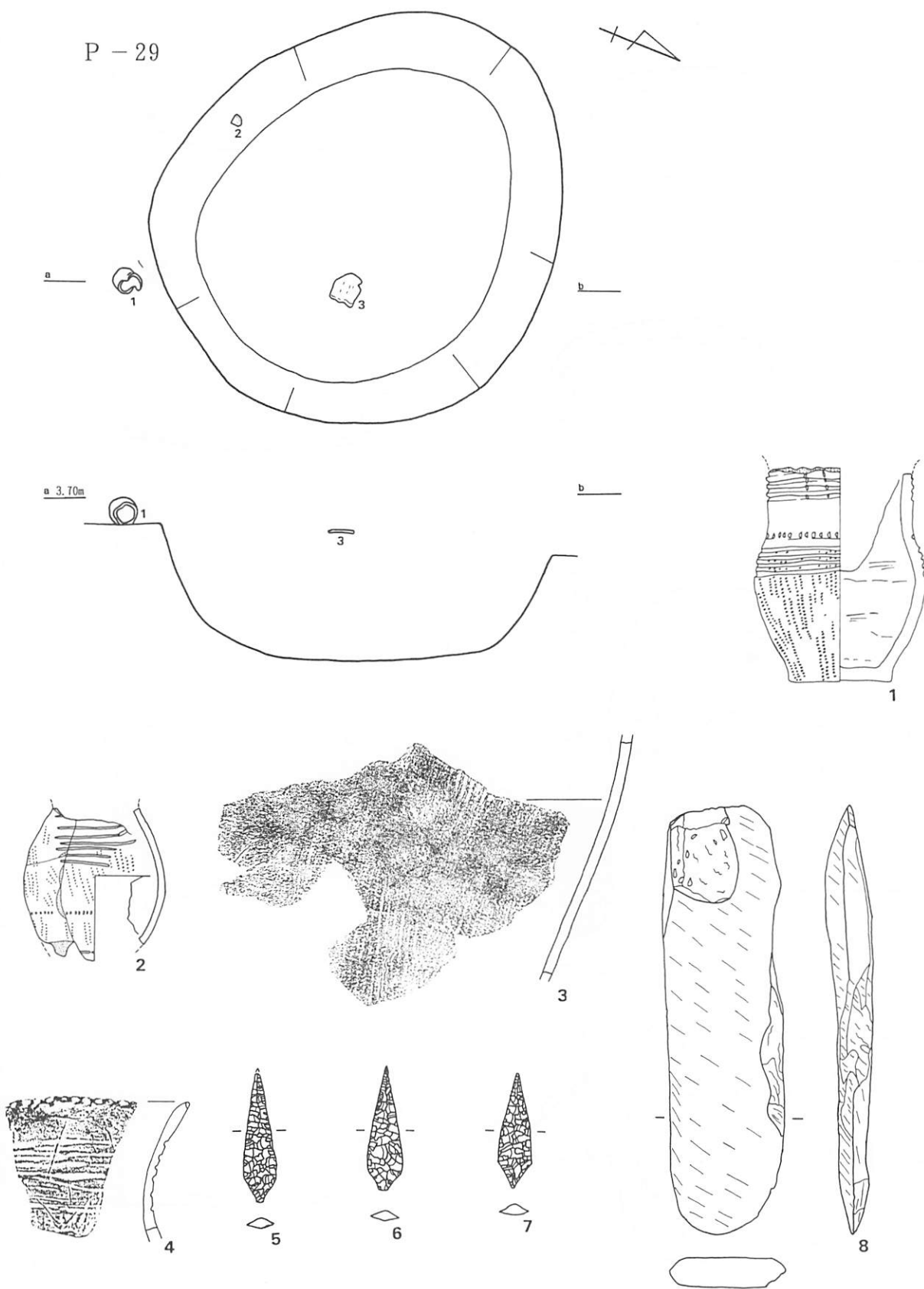
P - 26



P - 28

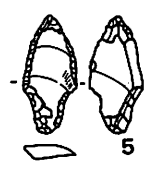
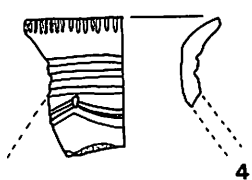
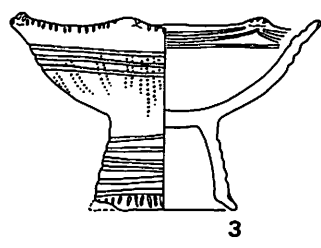
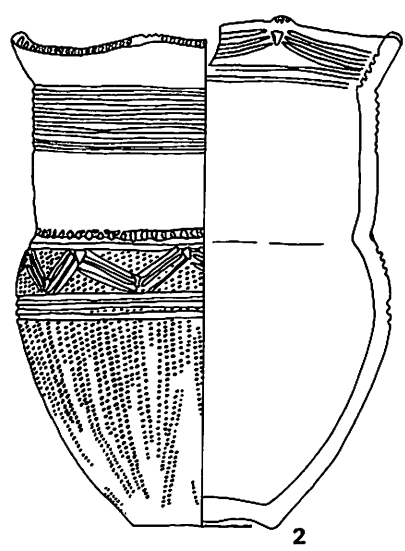
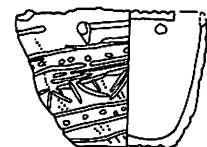
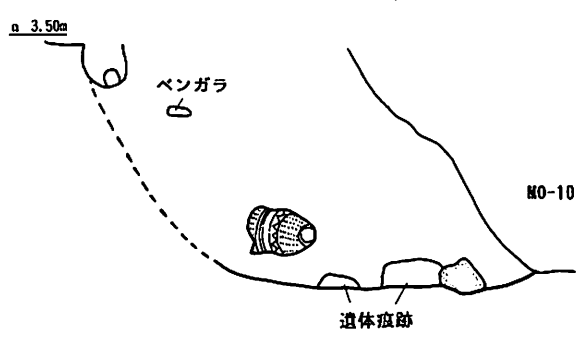
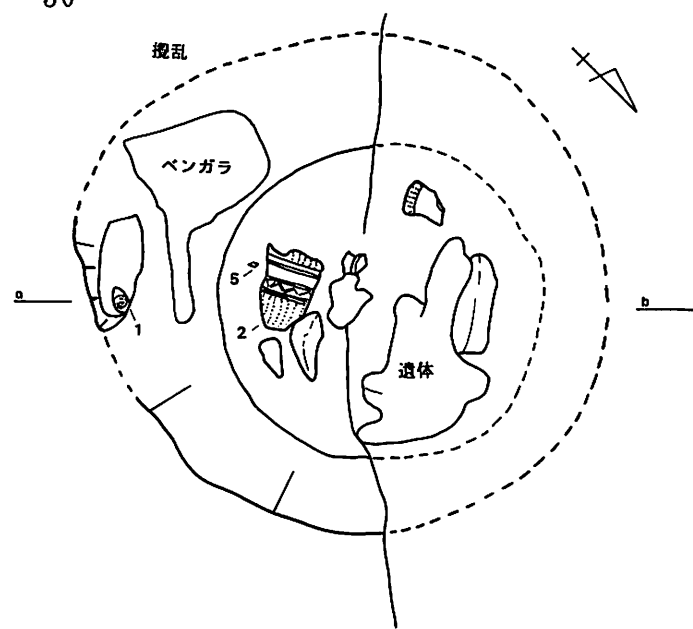


第25図 P - 24、25、26、28 平面図と出土遺物



第26図 P-29 平面図と出土遺物

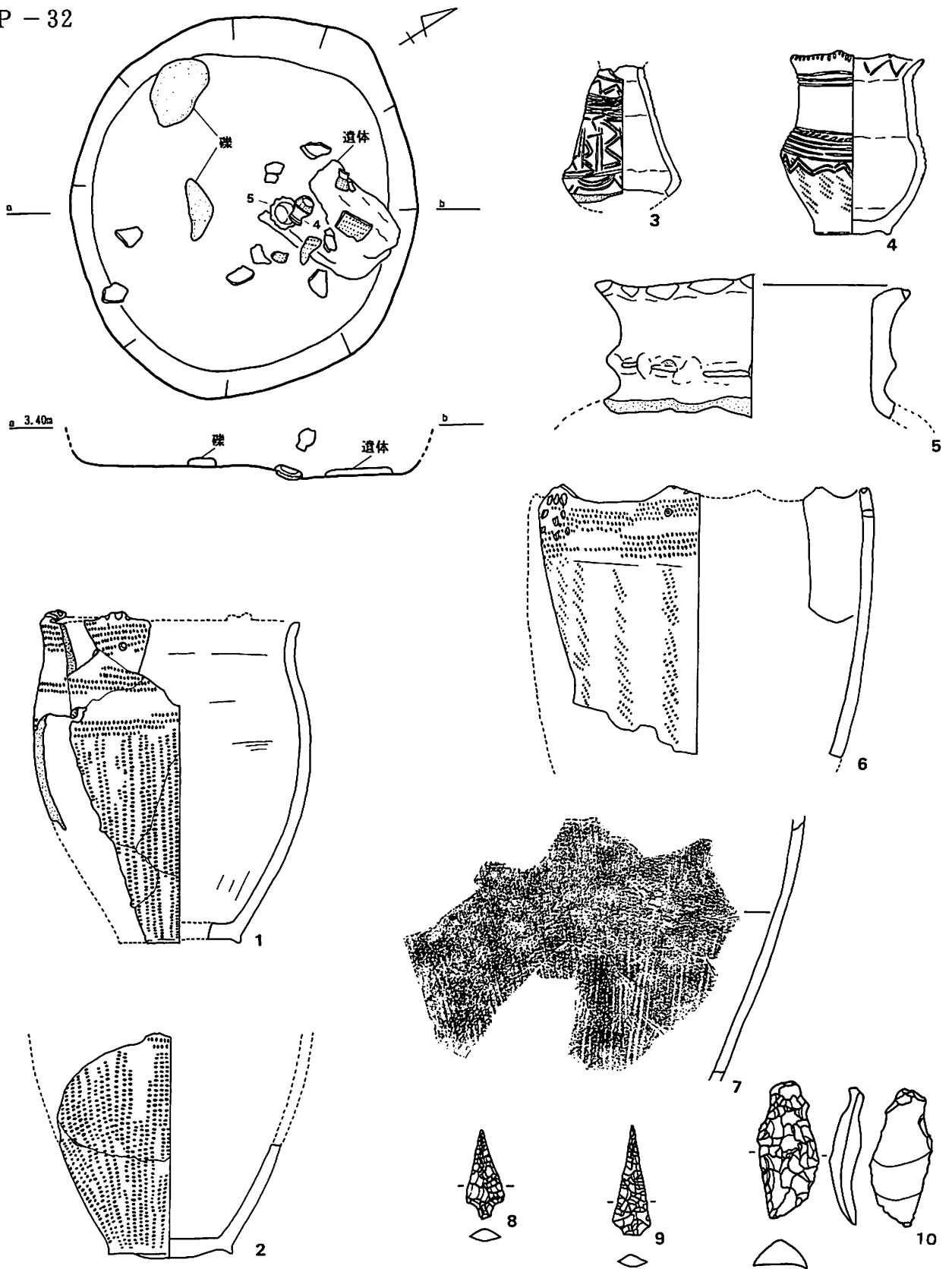
P - 30



第27図 P - 30 平面図と出土遺物

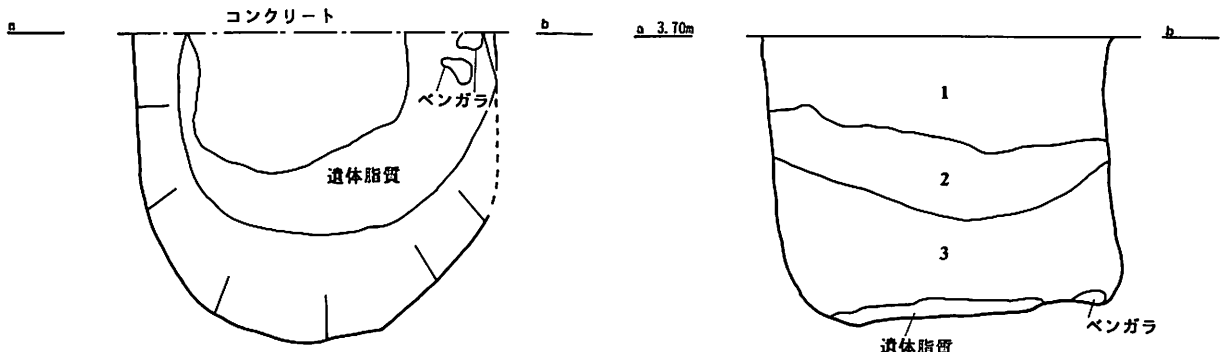


P - 32

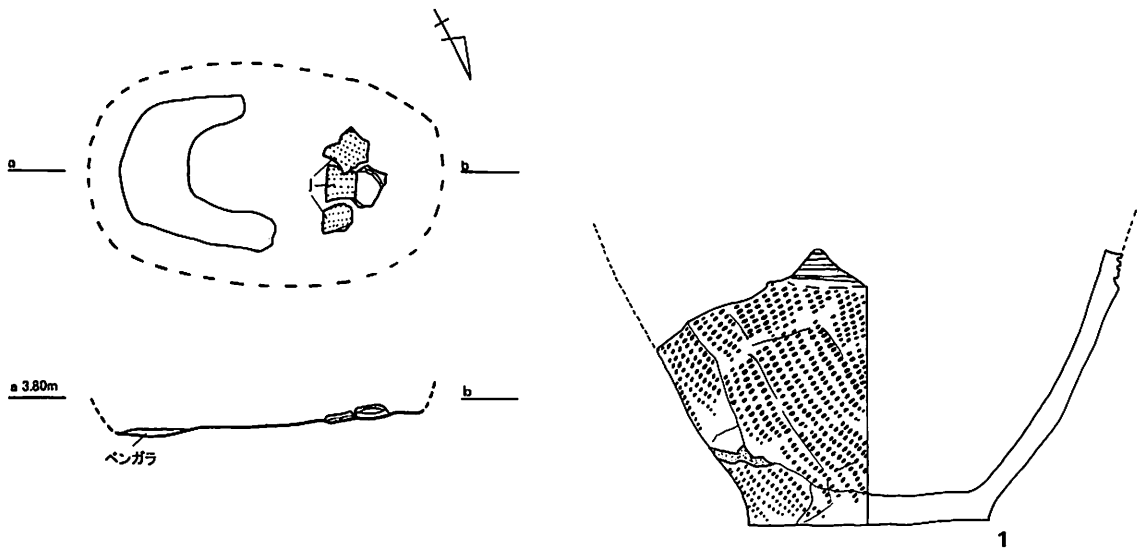


第28図 P - 32 平面図と出土遺物

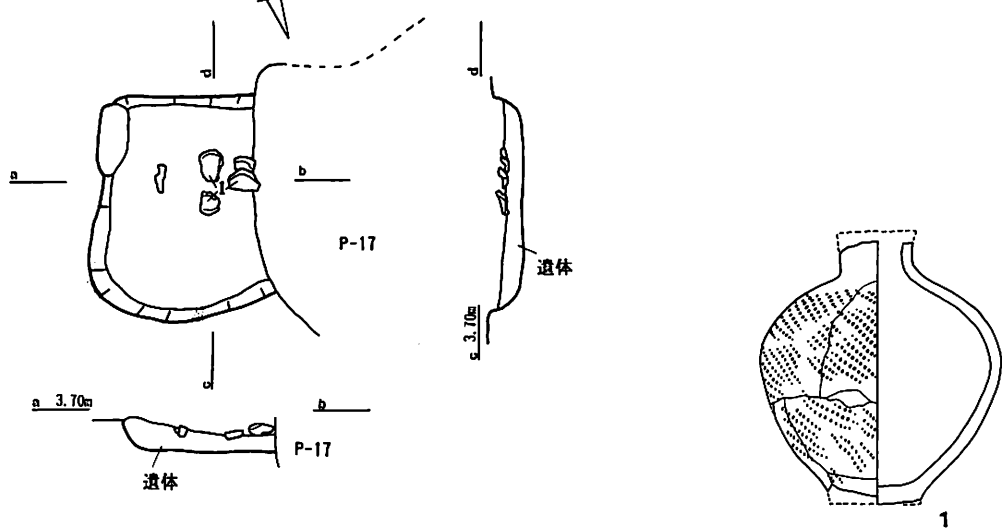
P - 33



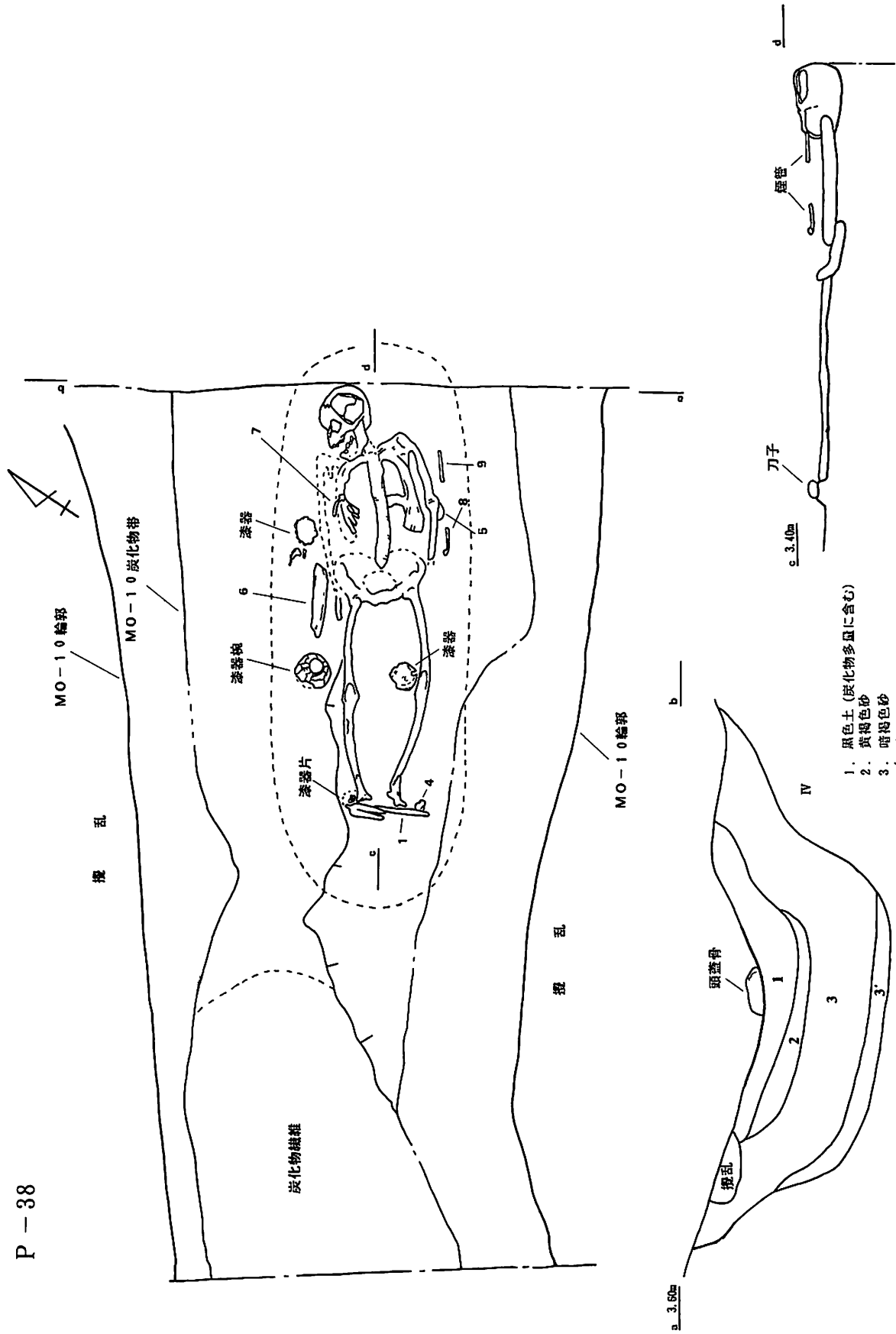
P - 35



P - 37

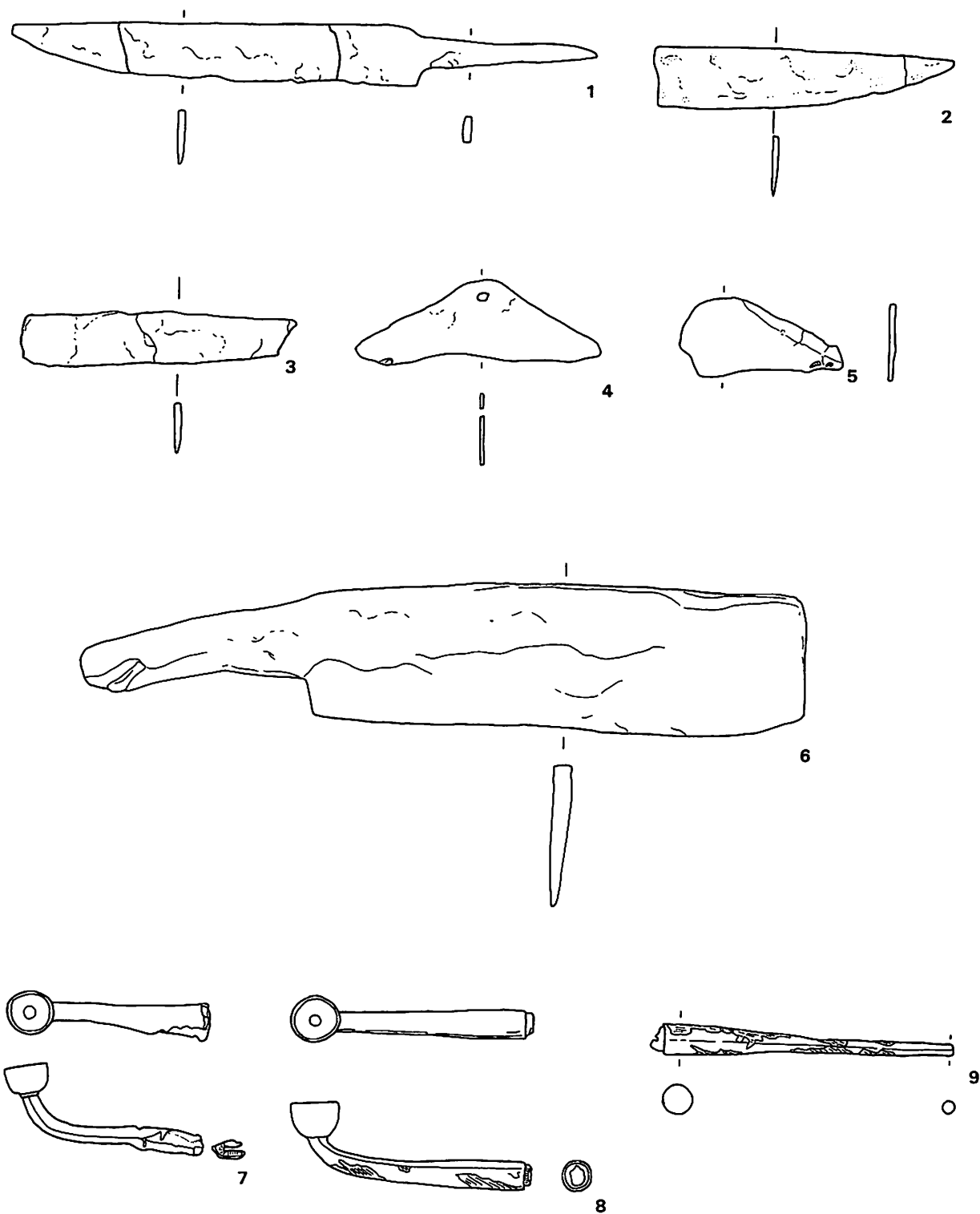


第29図 P - 33、35、37 平面図と出土遺物



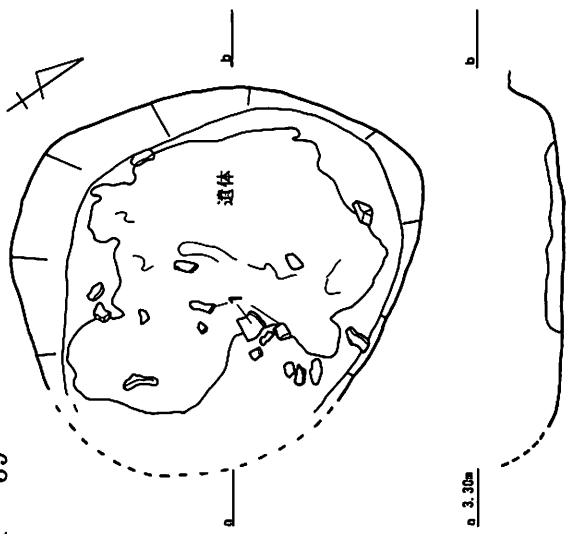
第30図 P-38 平面図

P-38

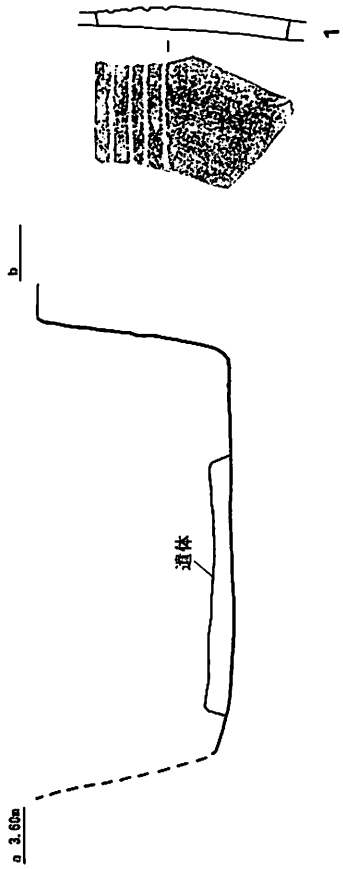
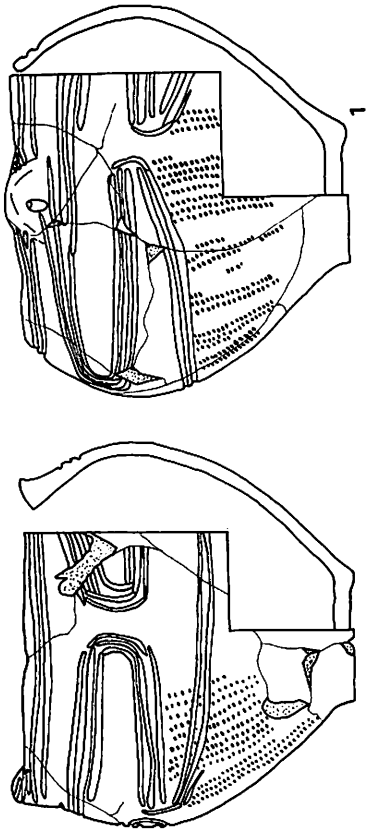
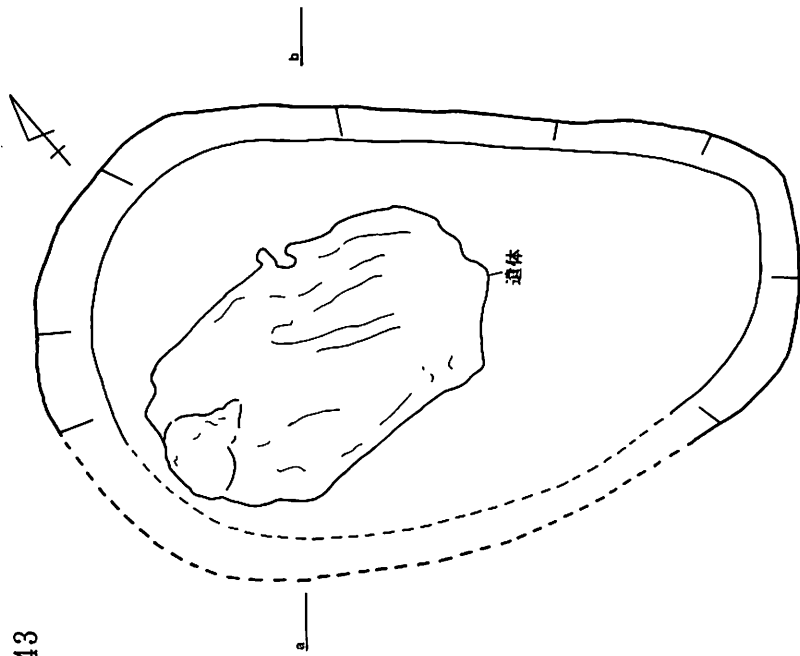


第31圖 P-38 出土遺物

P-39

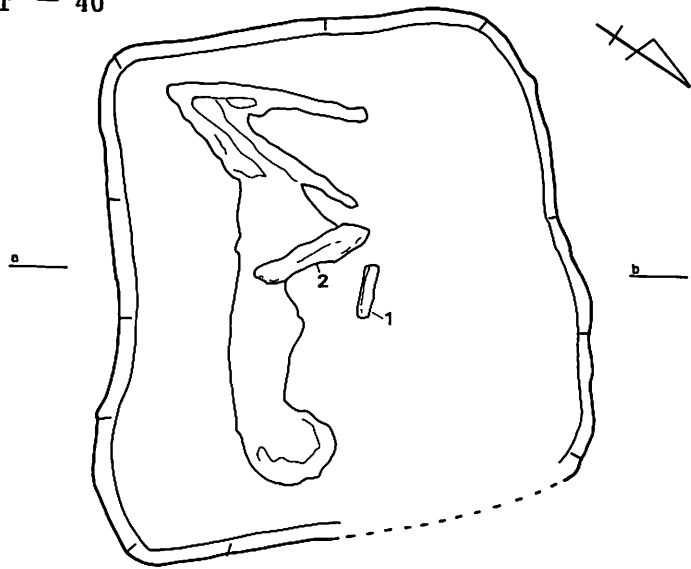


P-43

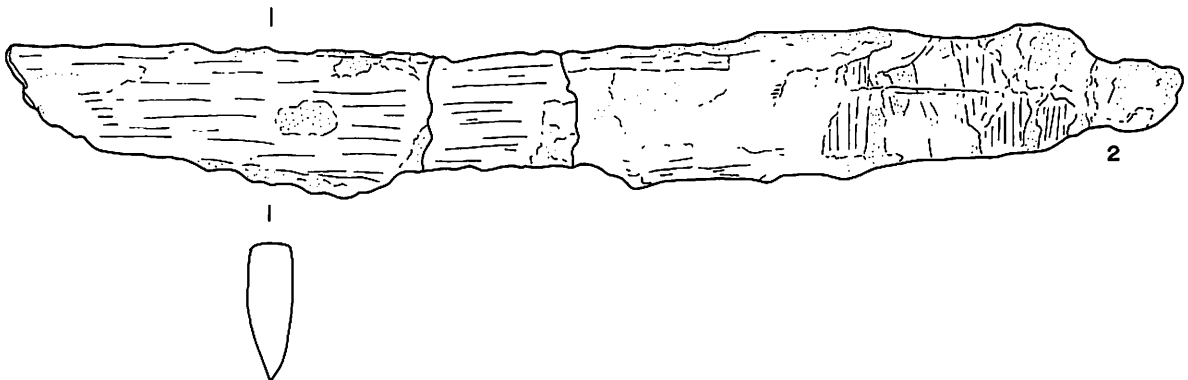
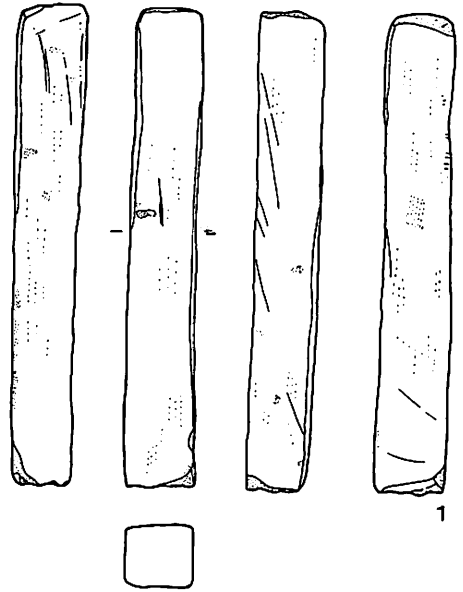
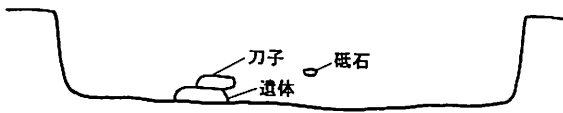


第32图 P-39、43 平面图之出土遗物

P - 40

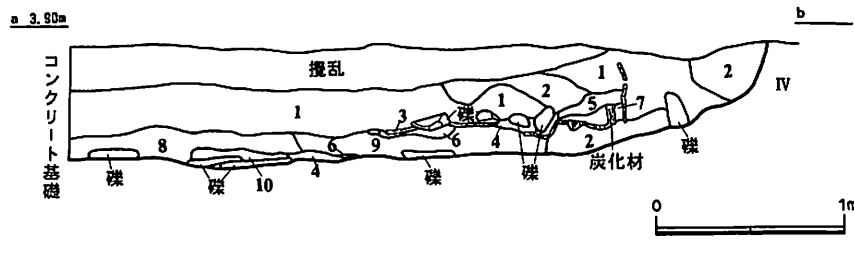
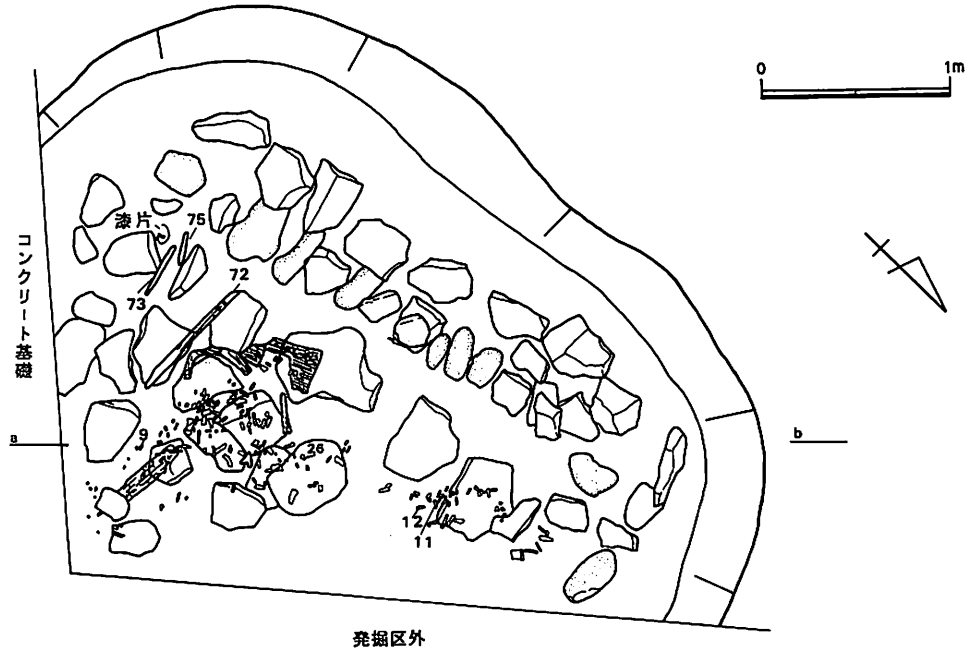
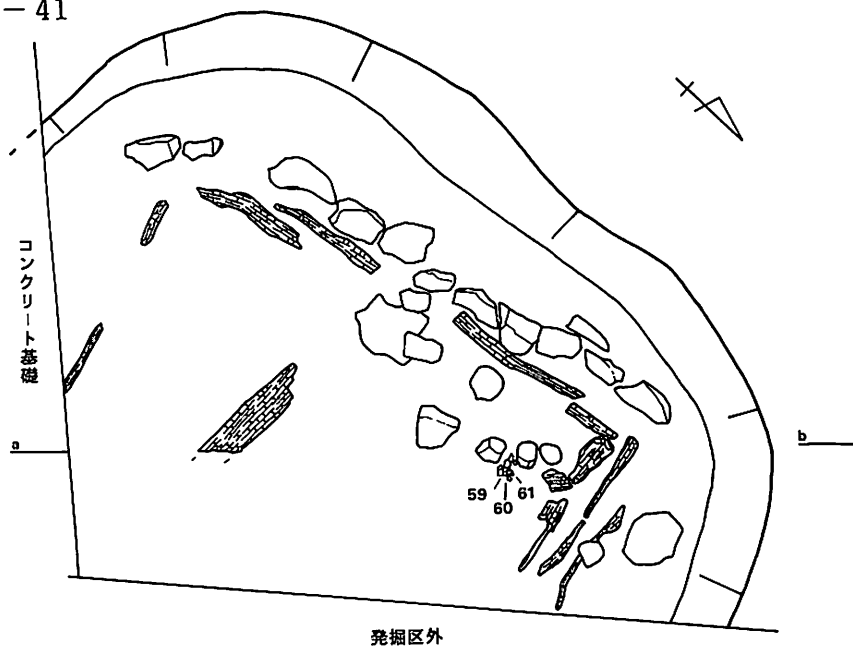


a 3.60m



第33図 P - 40 平面図と出土遺物

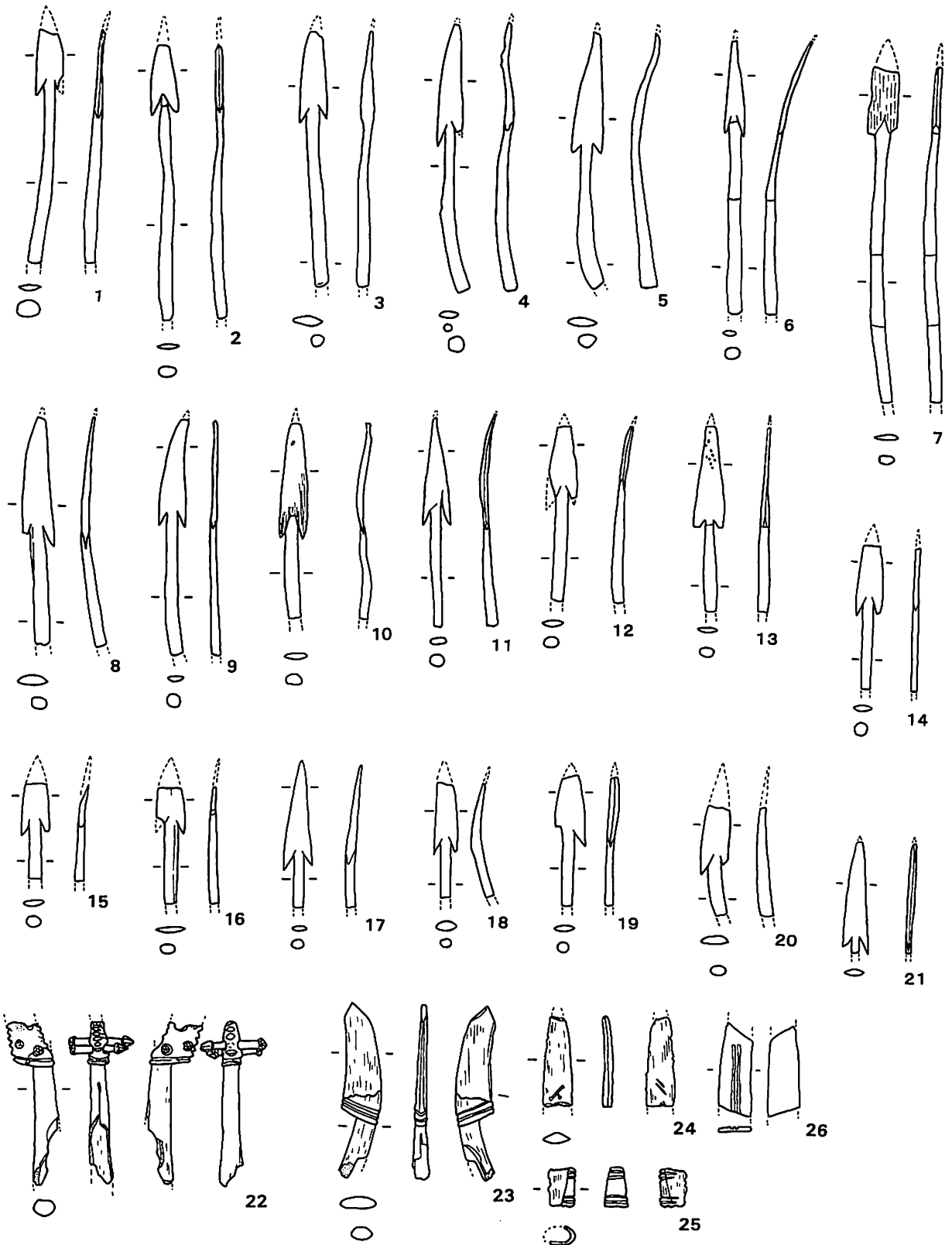
P-41



- 1. 暗褐色砂
- 2. 灰褐色砂
- 3. 黒色砂 (炭化物多量に含む)
- 4. 焼土 (うすい赤褐色砂)
- 5. 焼土 (赤褐色砂)
- 6. 白色砂
- 7. 黒灰色砂 (炭化物多量に含む)
- 8. 灰褐色砂 (骨片・骨角器含む)
- 9. うすい褐色砂
- 10. 赤褐色砂 (骨片・骨角器多量に含む)

第34図 P-41 平面図

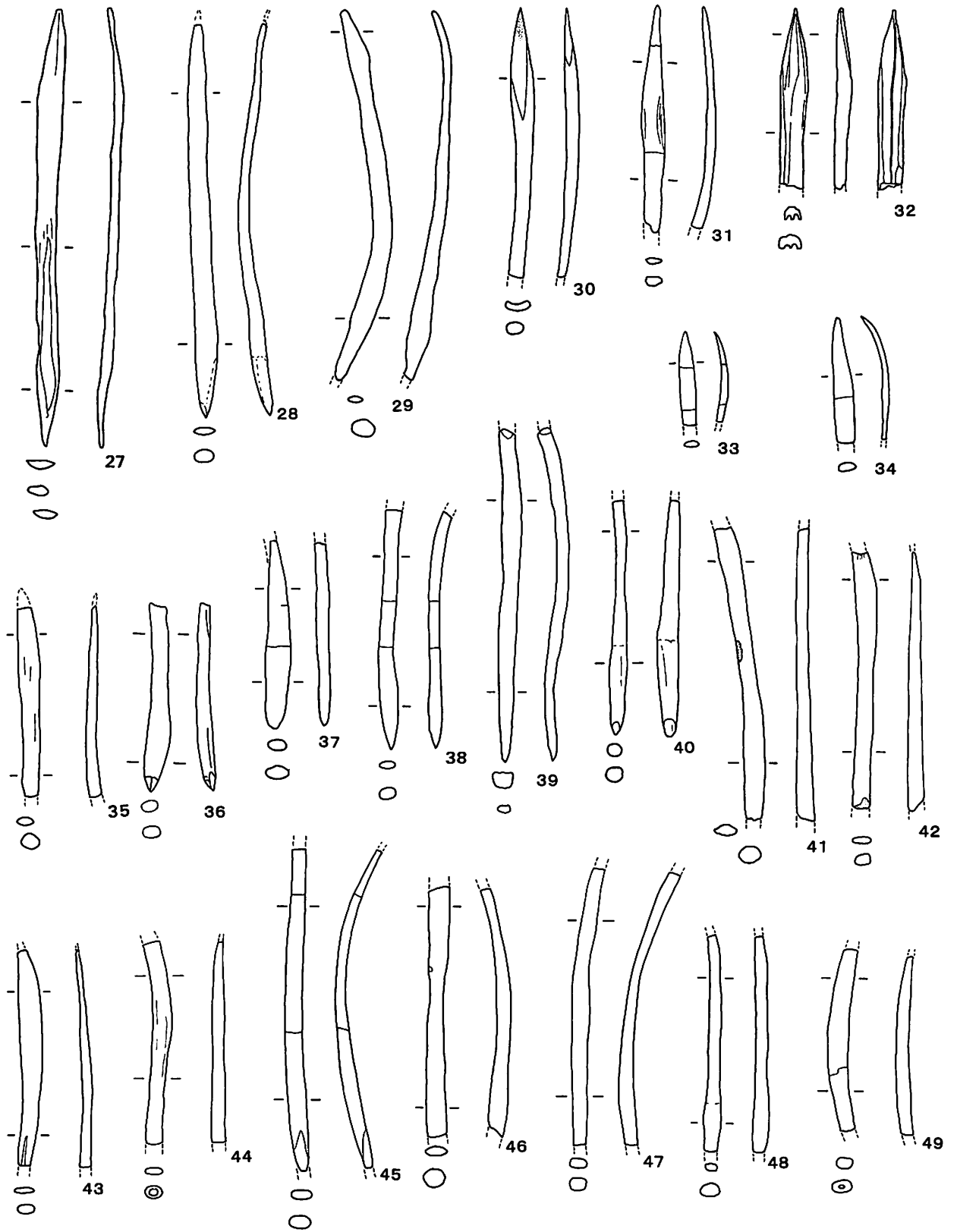
P-41



第35图 P-41 出土遺物 (1)

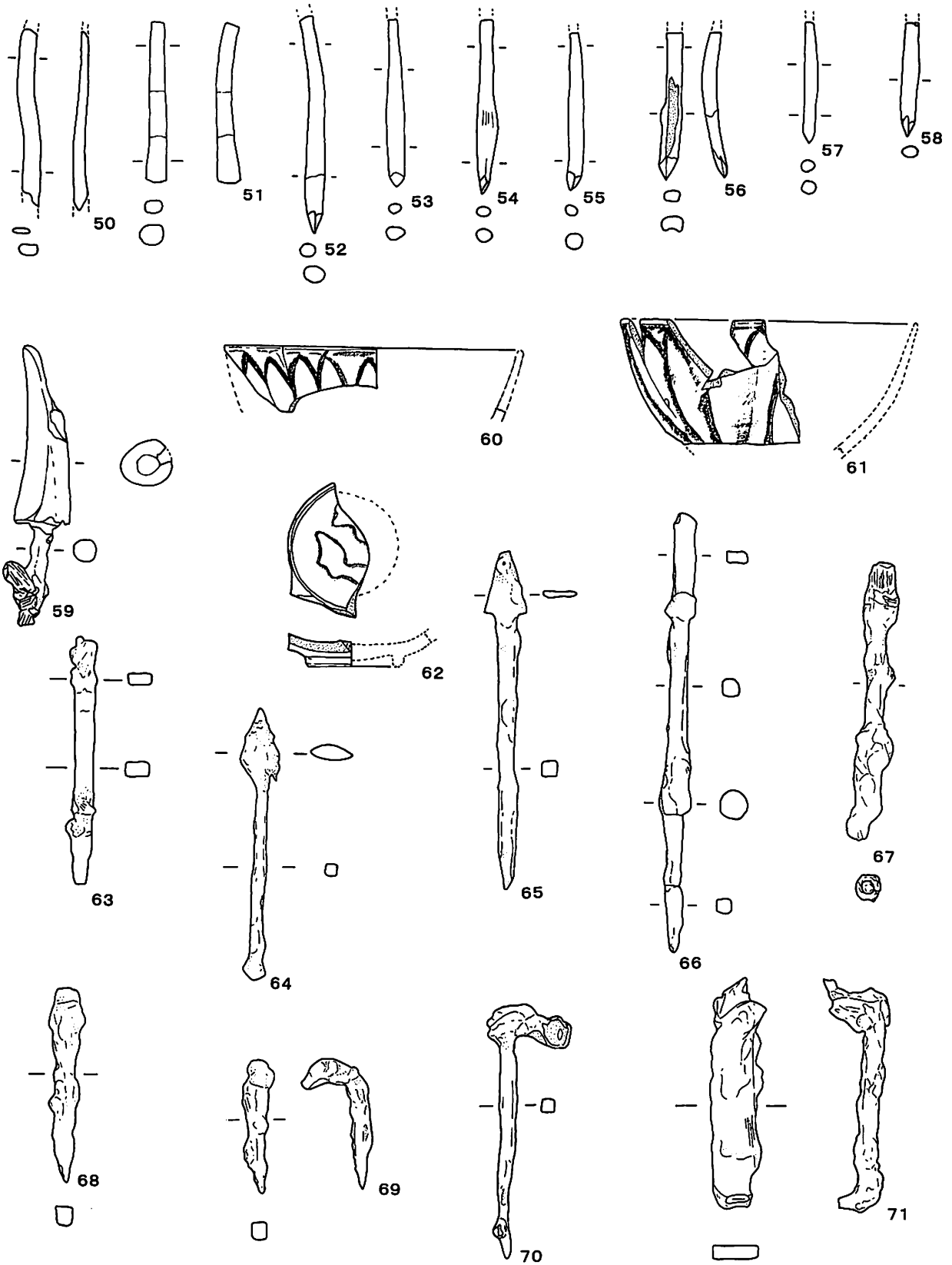


P-41



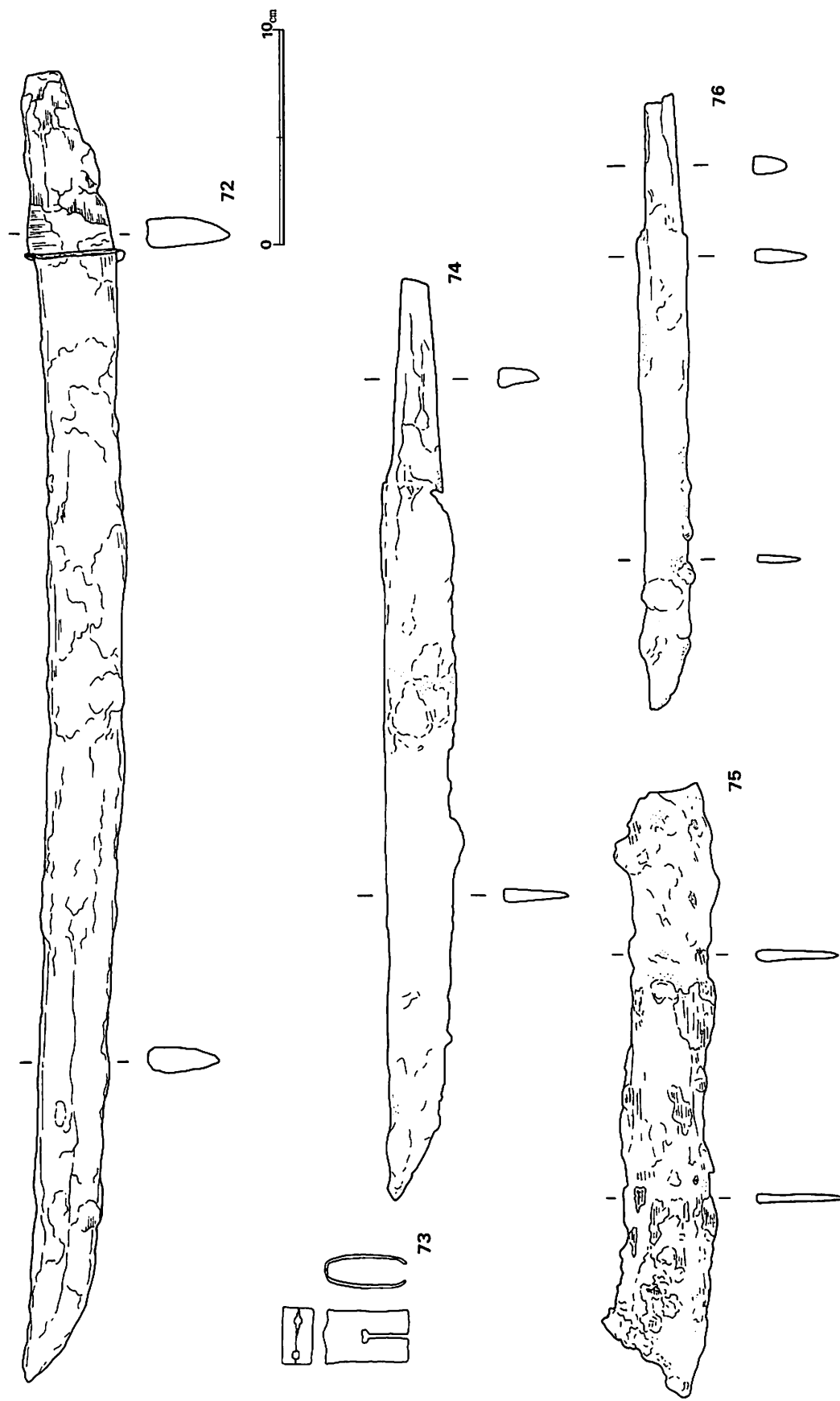
第36图 P-41 出土遗物(2)

P-41



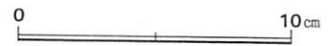
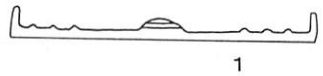
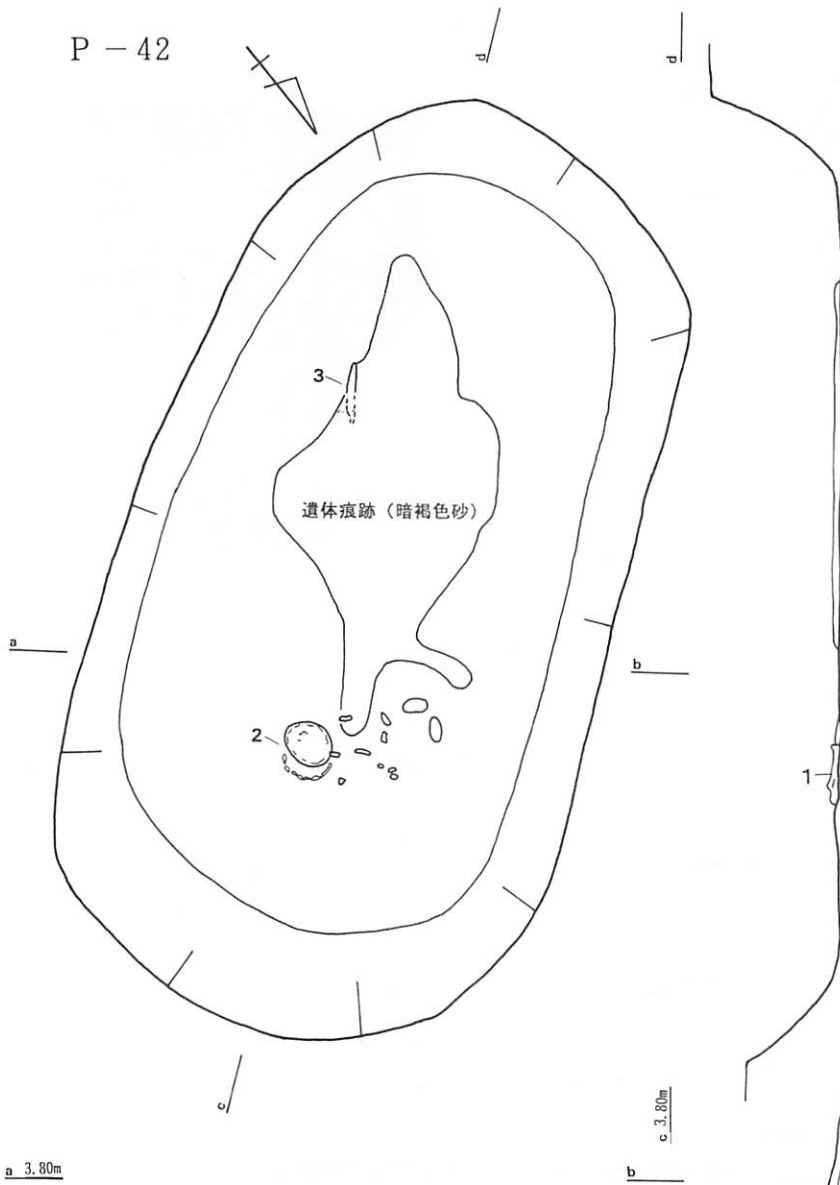
第37图 P-41 出土遺物(3)

P-41



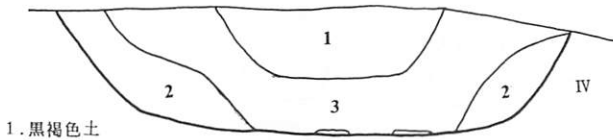
第38図 P-41 出土遺物(4)

P-42

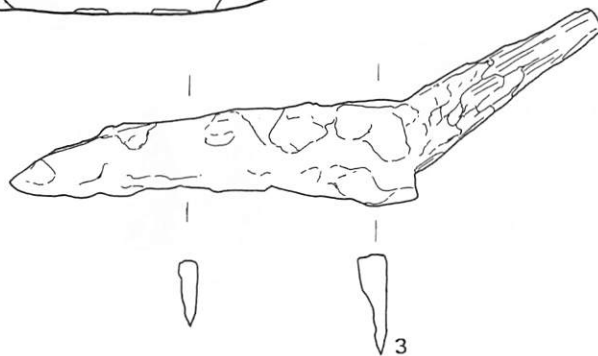
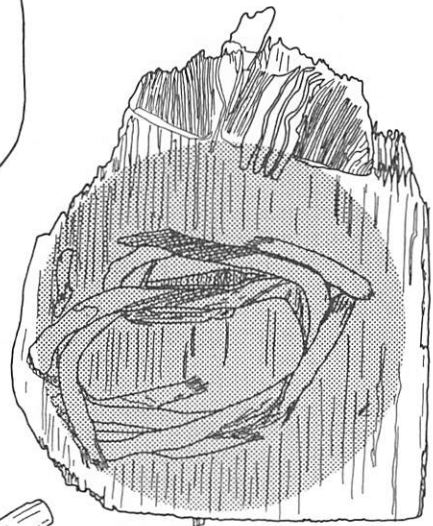


a 3.80m

c 3.80m

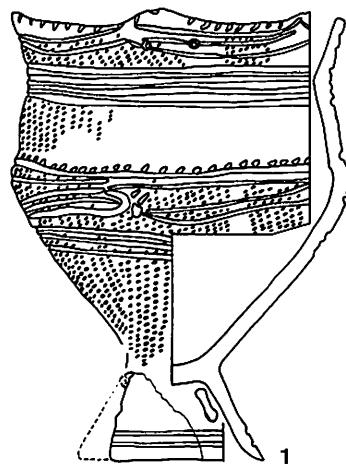
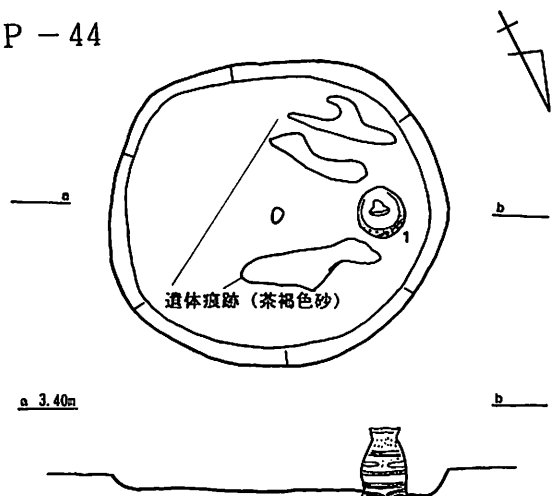


- 1. 黒褐色土
- 2. 茶褐色砂
- 3. 暗褐色砂

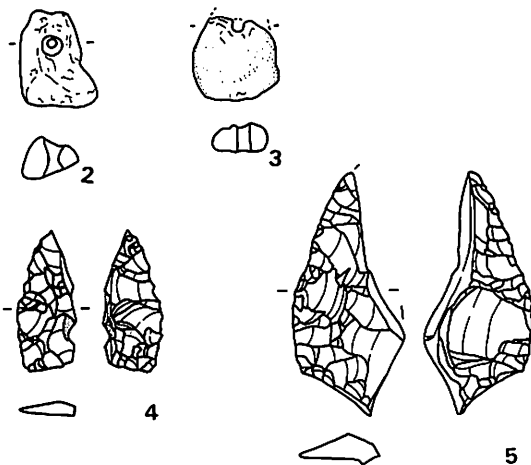
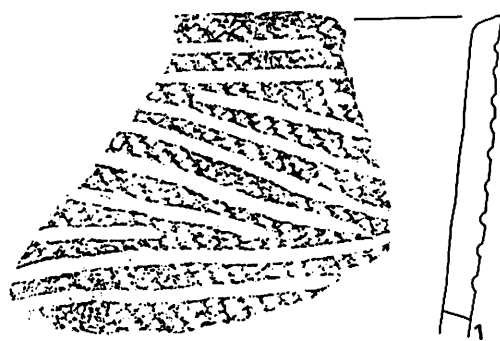
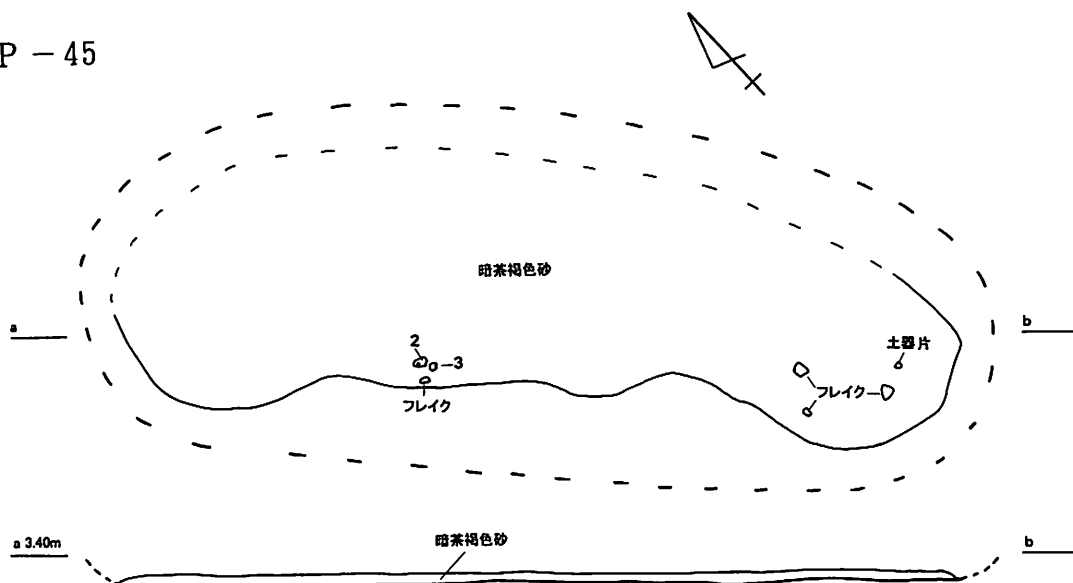


第39図 P-42 平面図と出土遺物

P - 44

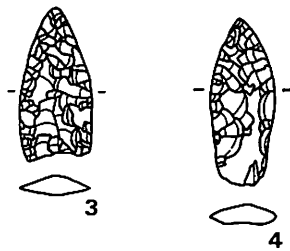
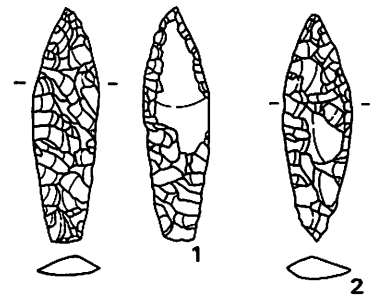
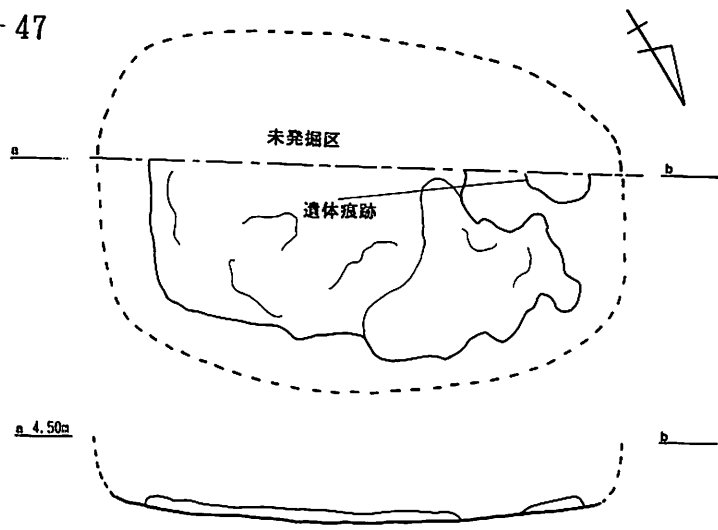


P - 45

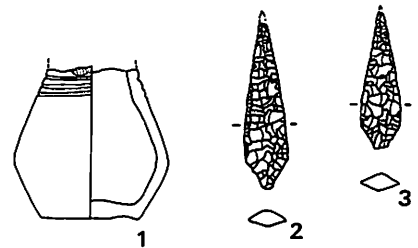
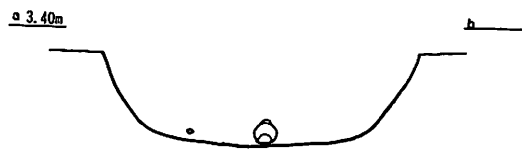
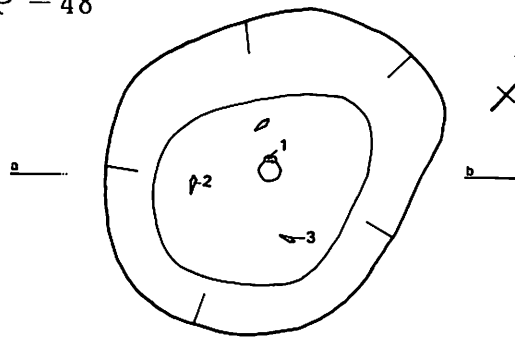


第40図 P - 44、45 平面図と出土遺物

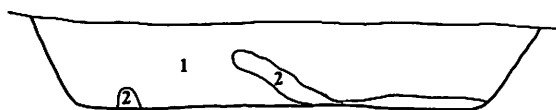
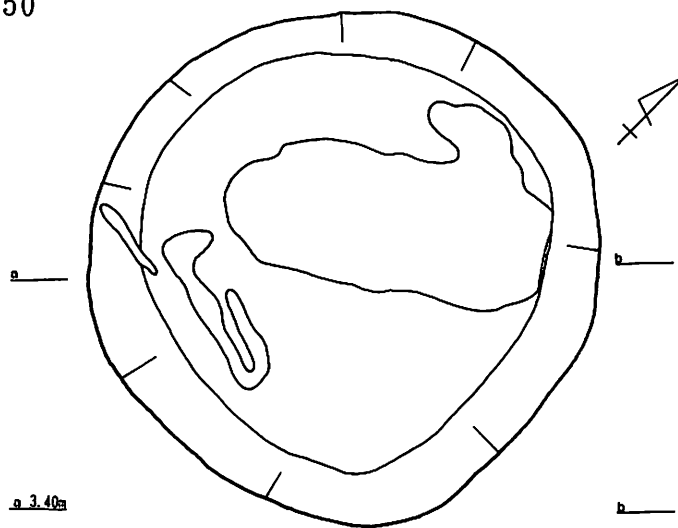
P-47



P-48

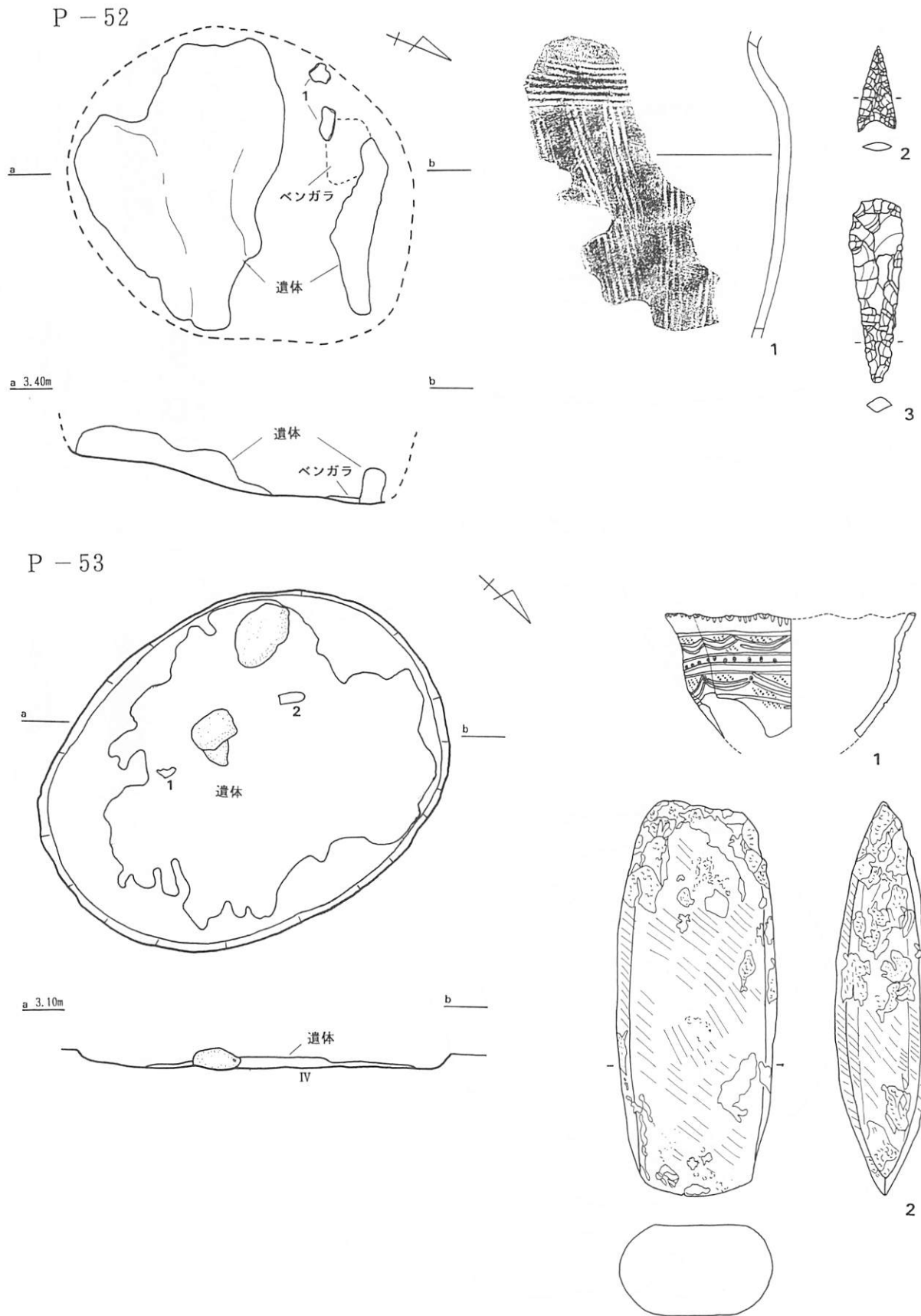


P-50



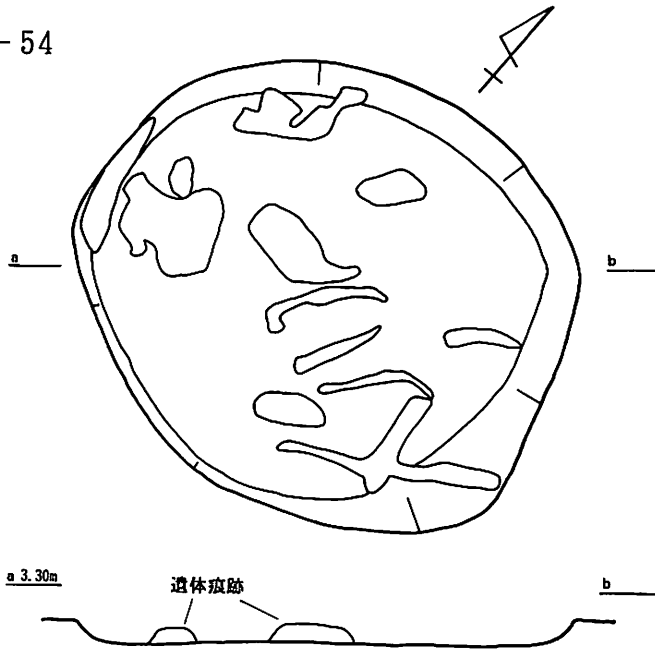
1. 暗褐色砂  
2. 茶褐色砂

第41図 P-47、48、50 平面図と出土遺物

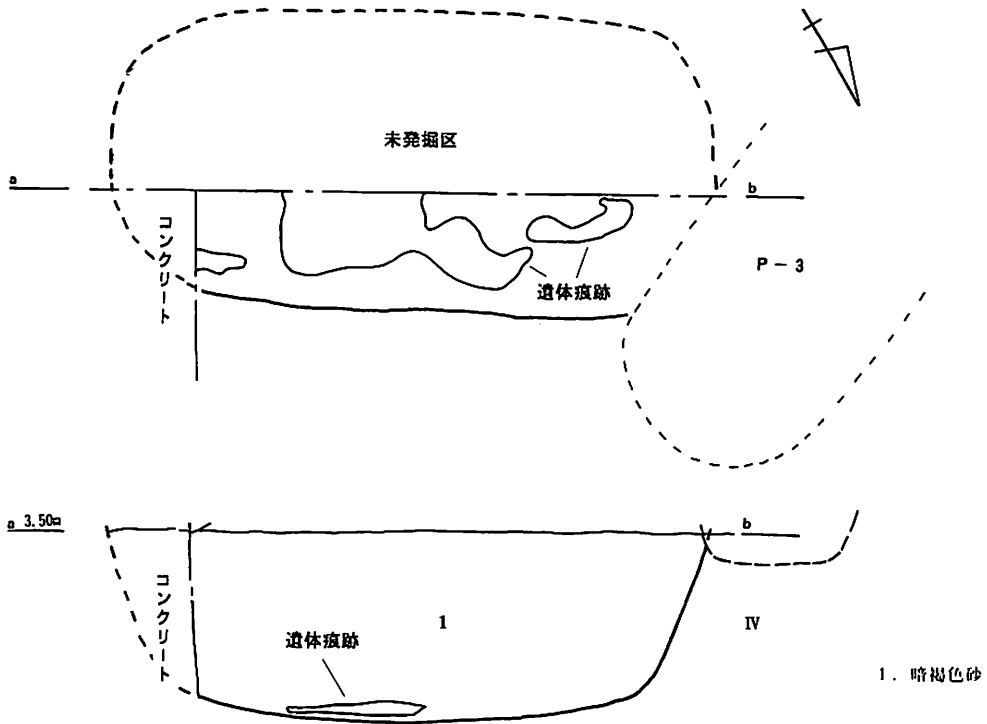


第42図 P - 52、53 平面図と出土遺物

P - 54



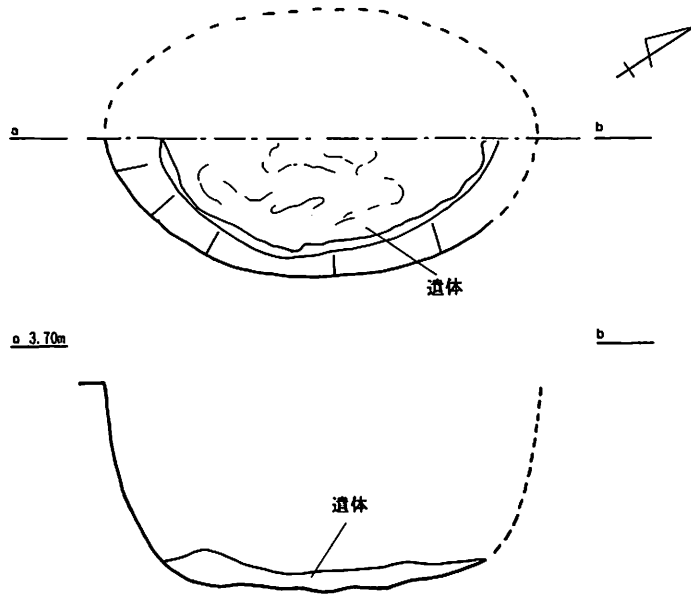
P - 55



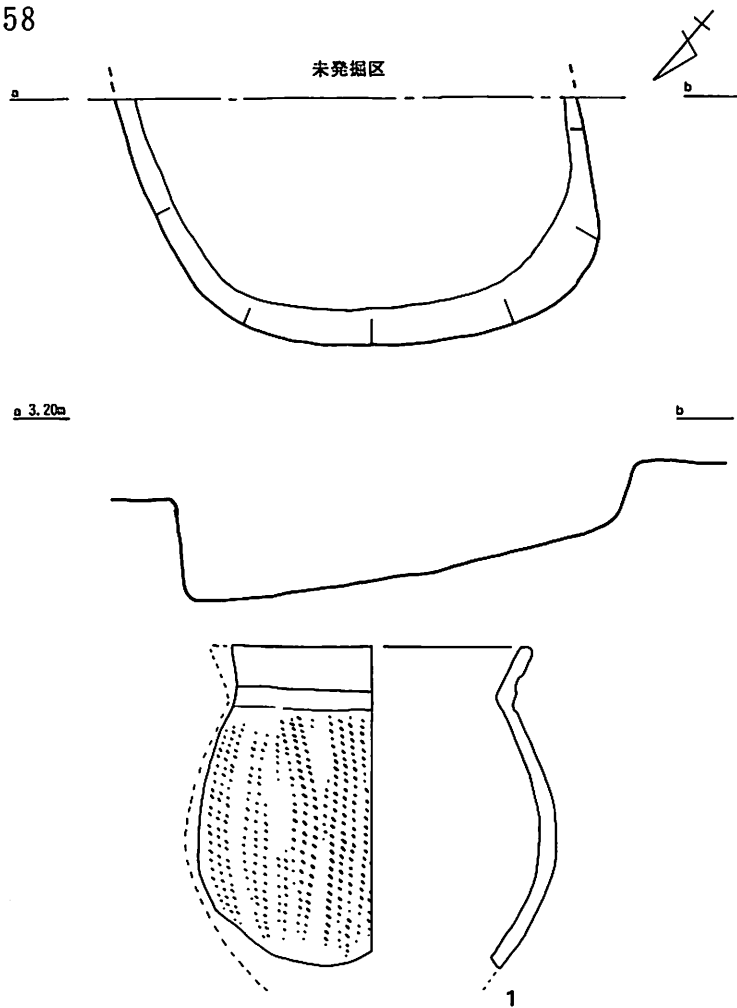
第43図 P - 54、55 平面図



P - 56

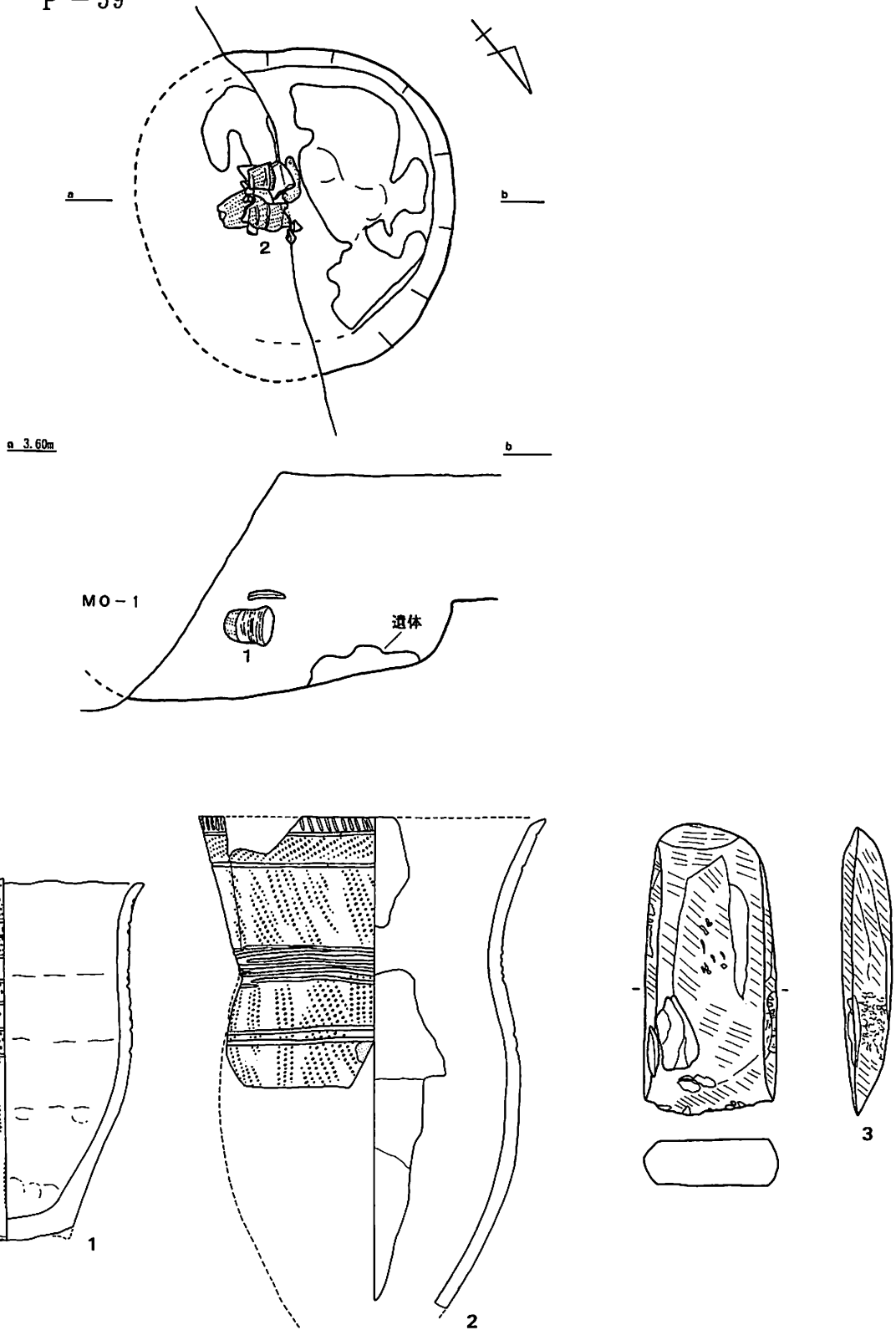


P - 58

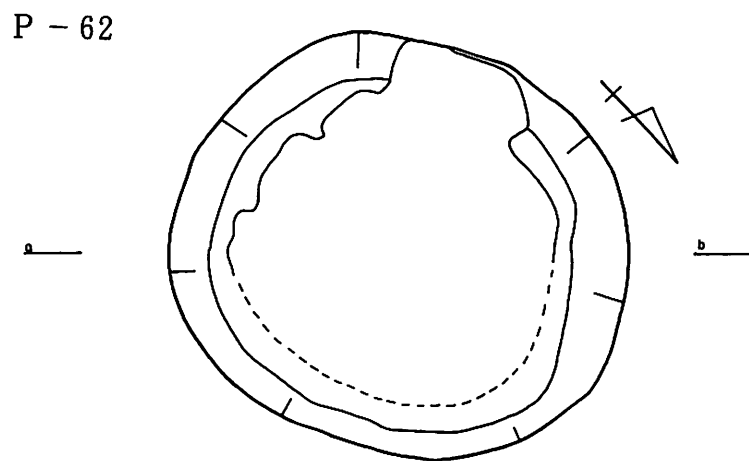
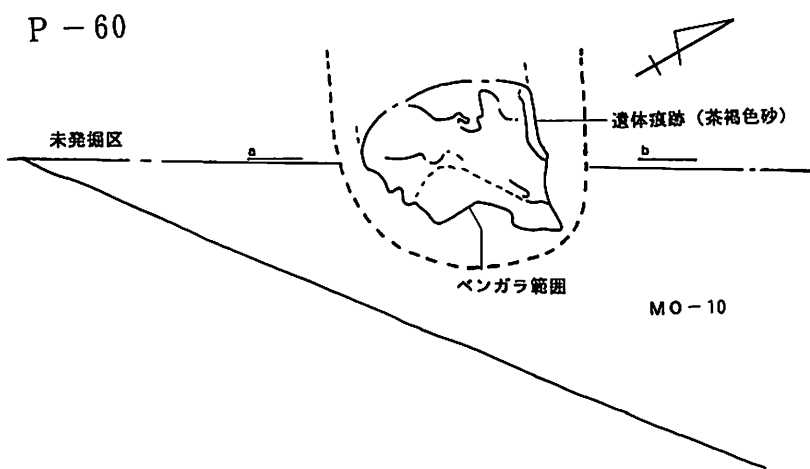


第44図 P - 56、58 平面図と出土遺物

P - 59

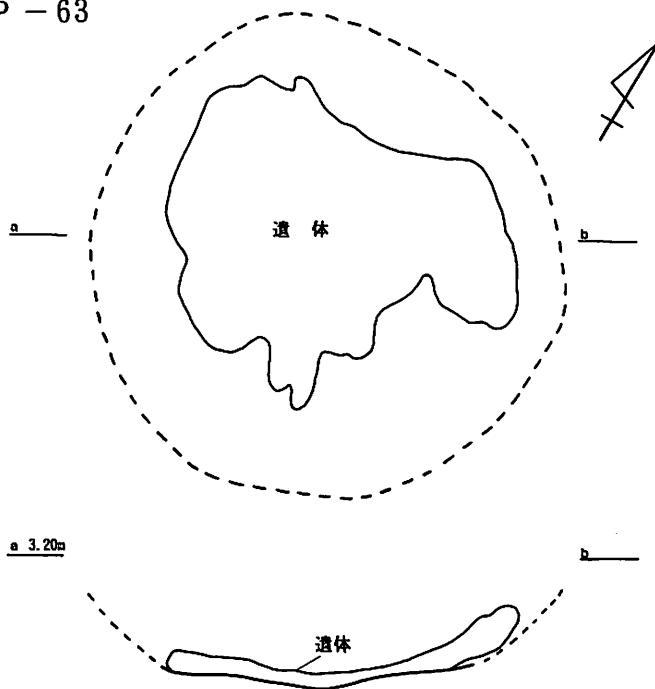


第45図 P - 59 平面図と出土遺物

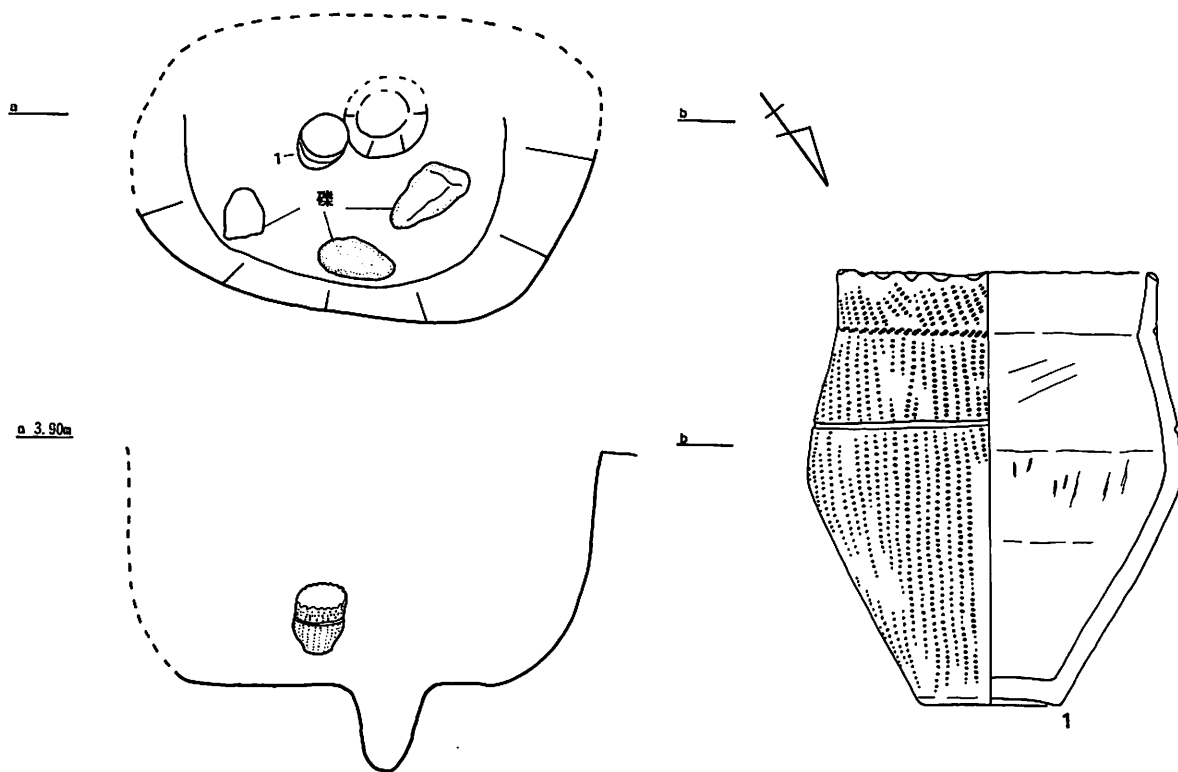


第46図 P-60、62 平面図

P - 63

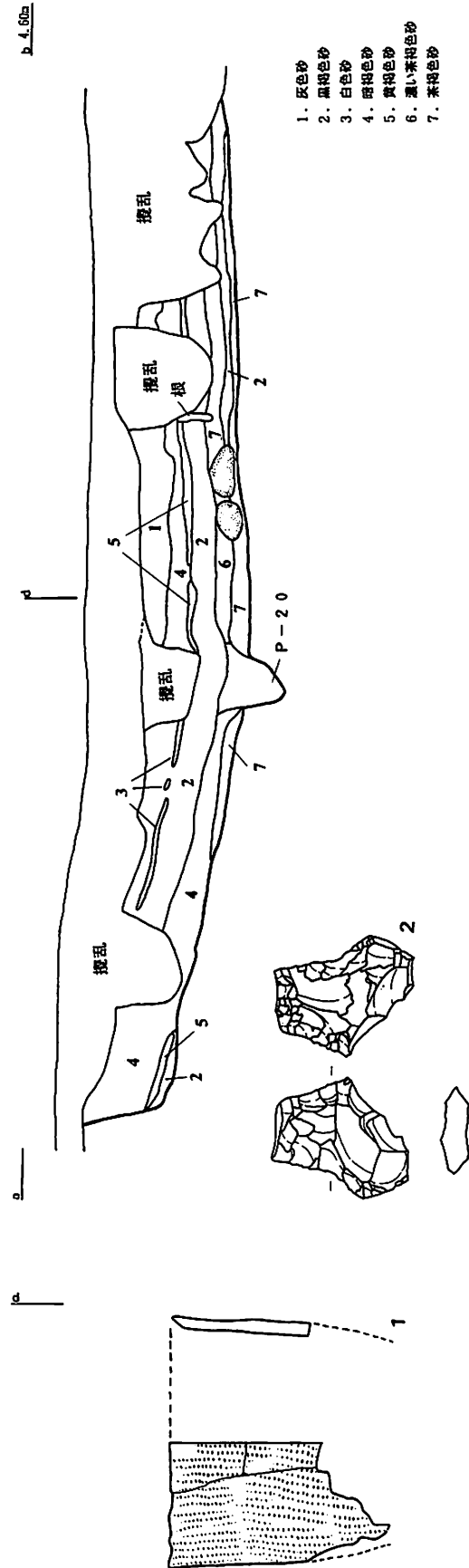
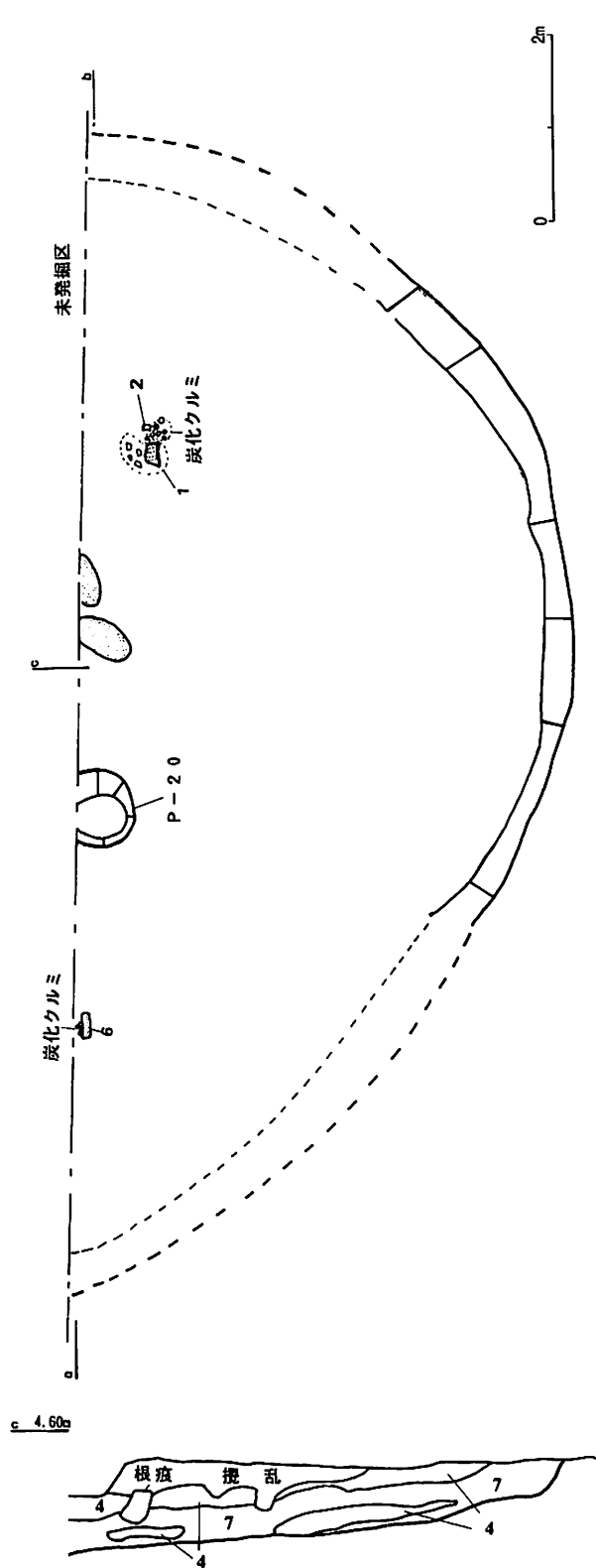


P - 68



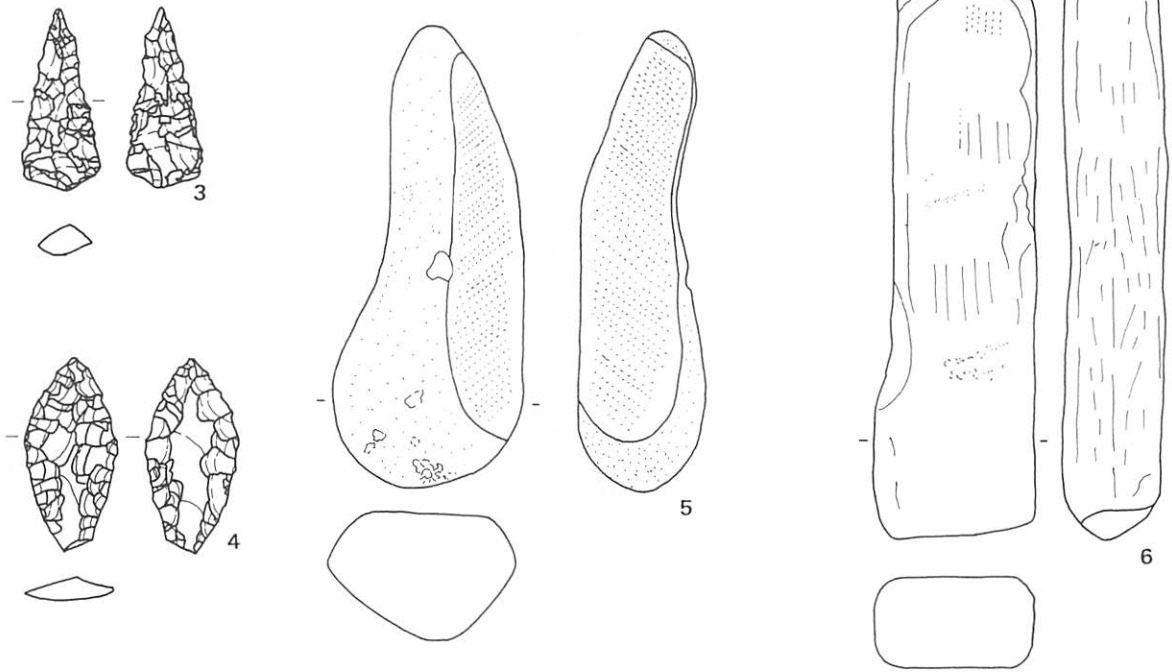
第47図 P - 63、68 平面図と出土遺物

H-1

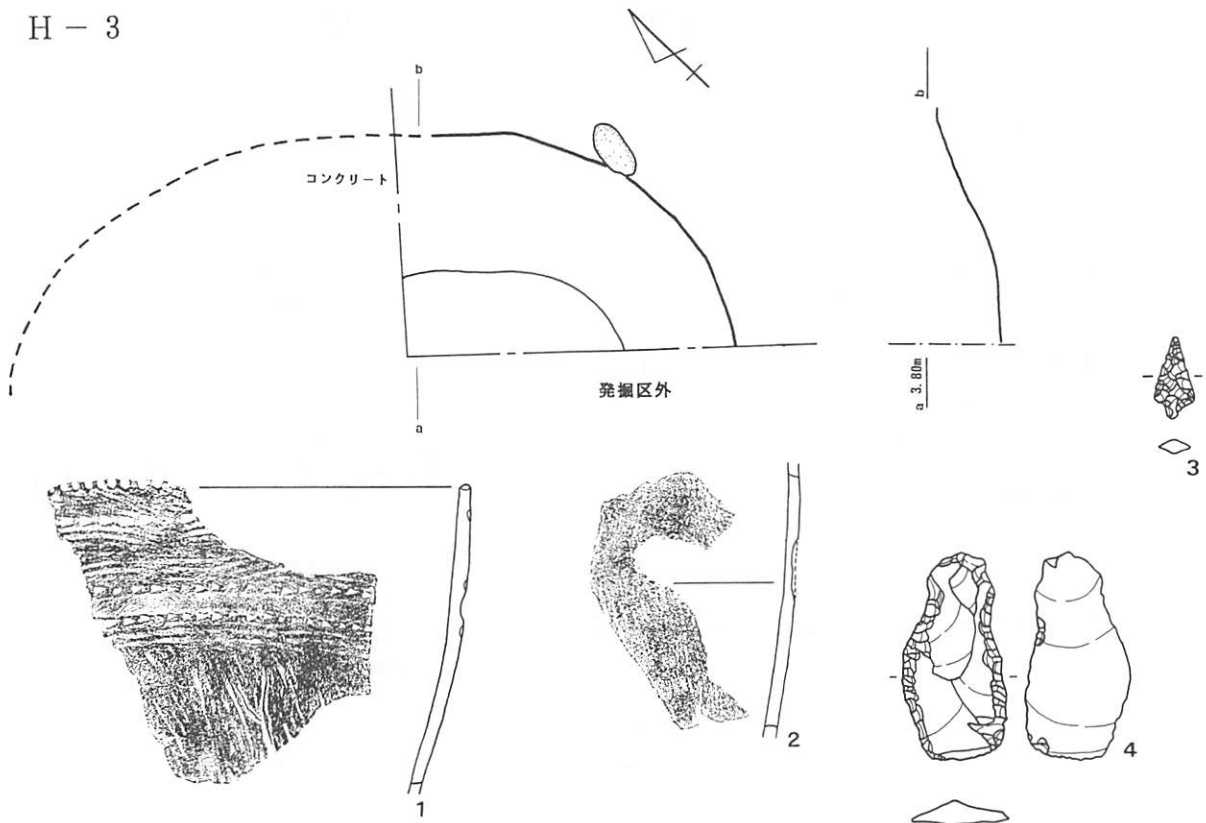


第48図 H-1 平面図と出土遺物

H - 1

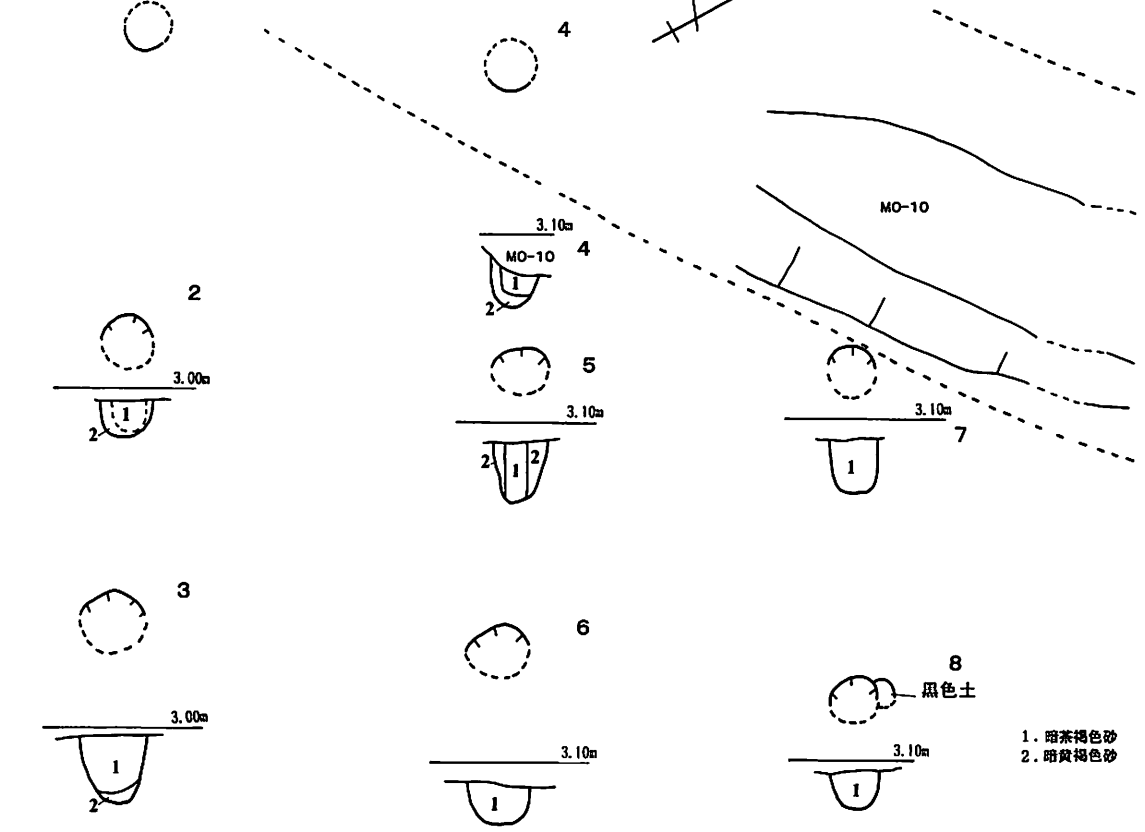


H - 3

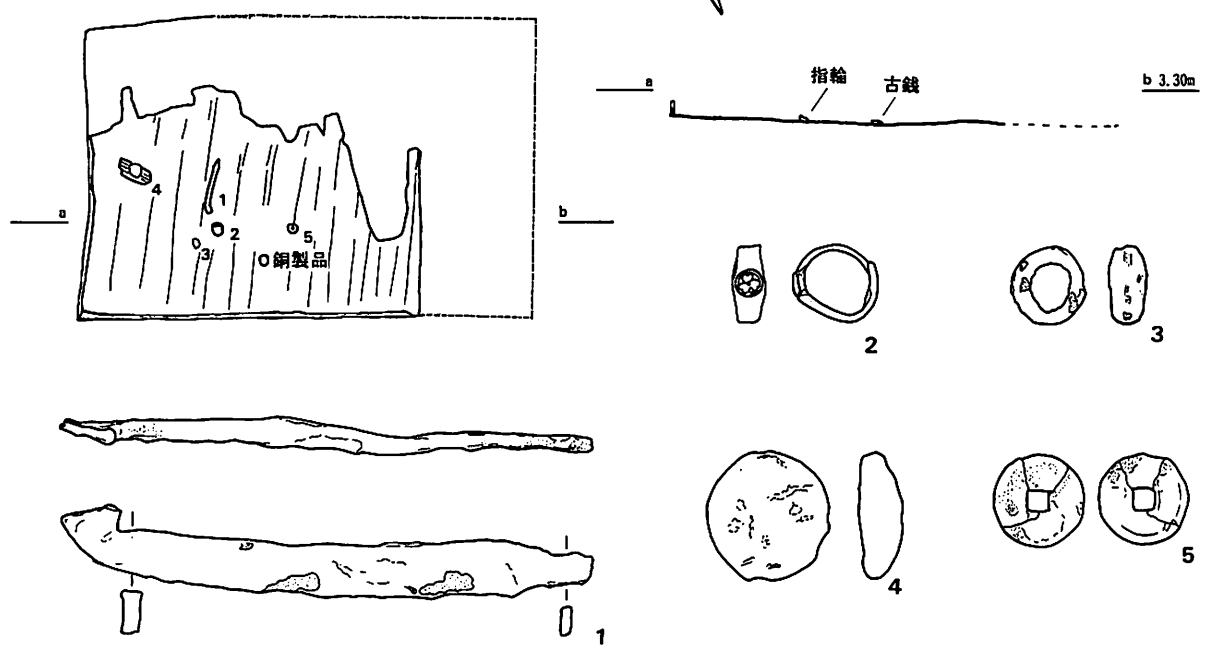


第49図 H - 1 出土遺物 H - 3 平面図と出土遺物

柱穴群

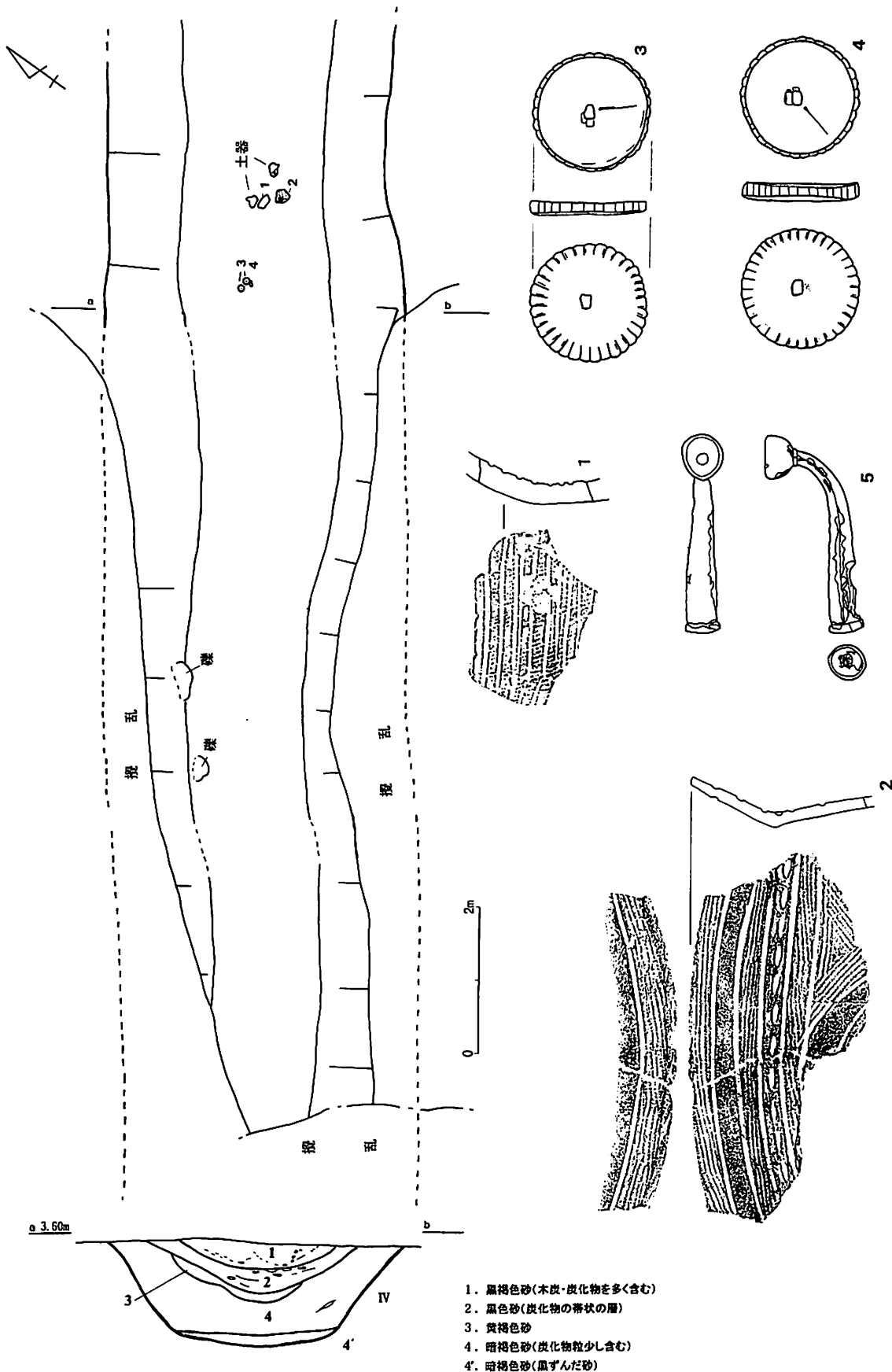


木柩遺構



第50図 柱穴群平面図・木柩遺構・平面図と出土遺物

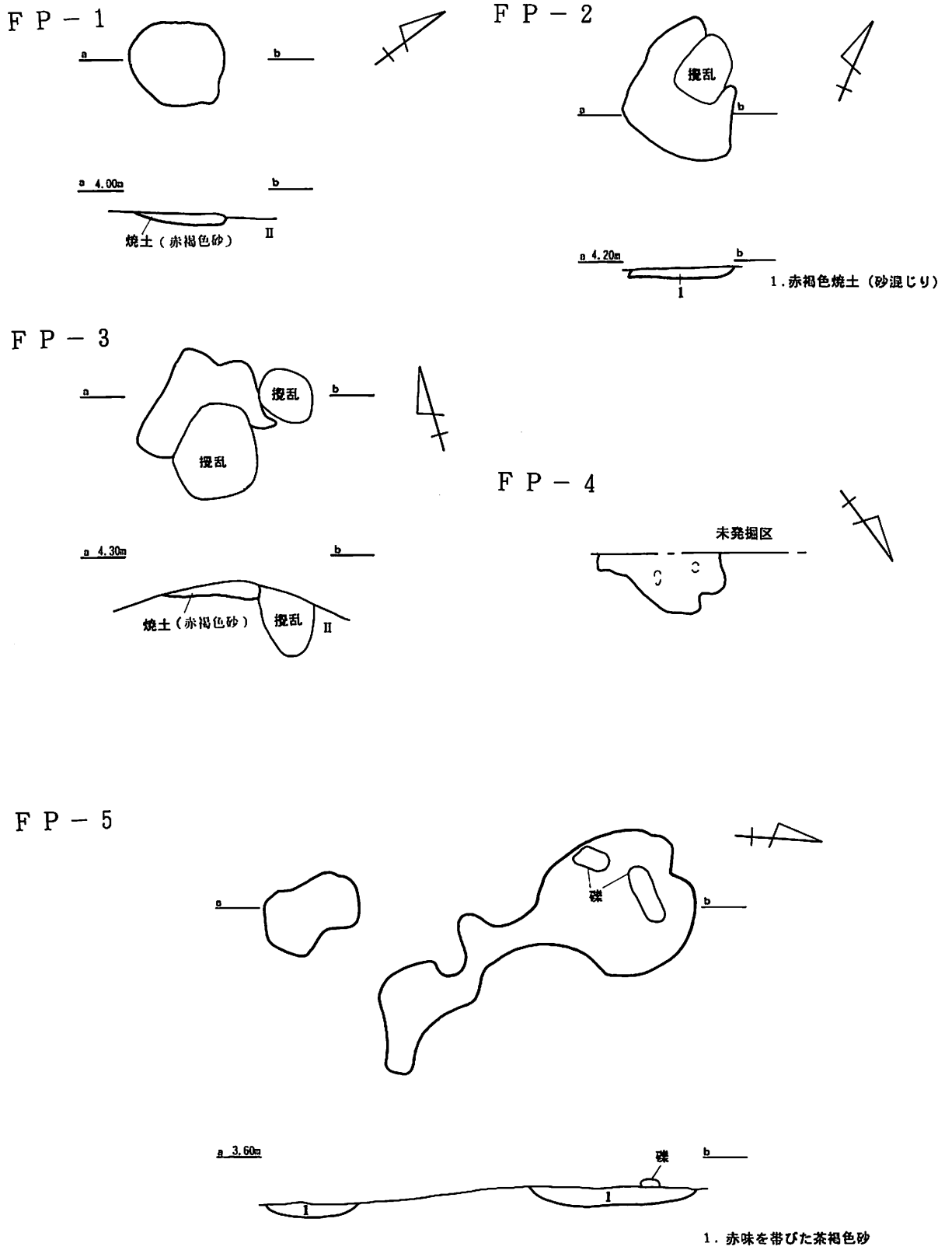
MO-1



- 1. 黒褐色砂(木炭・炭化物を多く含む)
- 2. 黒色砂(炭化物の帯状の層)
- 3. 黄褐色砂
- 4. 暗褐色砂(炭化物粒少し含む)
- 4'. 暗褐色砂(黒ずんだ砂)

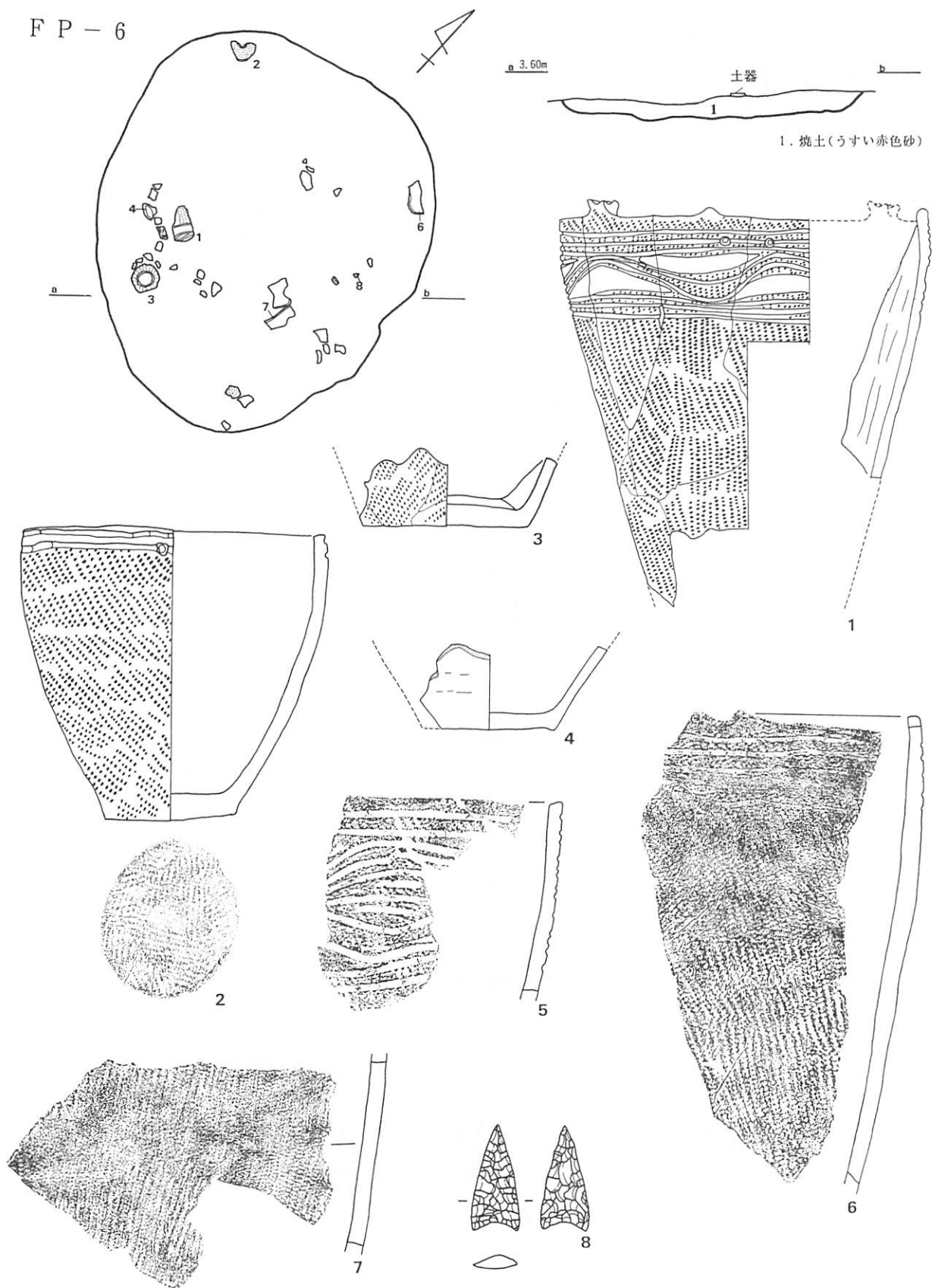
第51図 MO-10 平面図と出土遺物





第52図 FP-1、2、3、4、5 平面図

FP-6



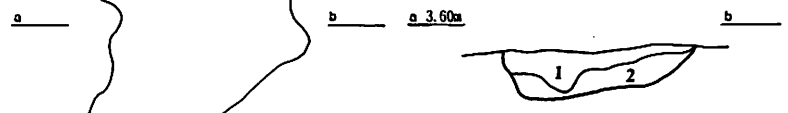
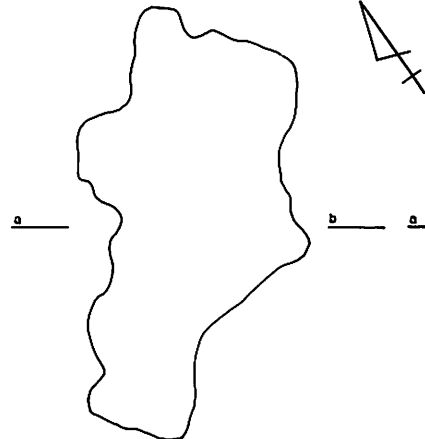
第53図 FP-6 平面図と出土遺物

FP-7



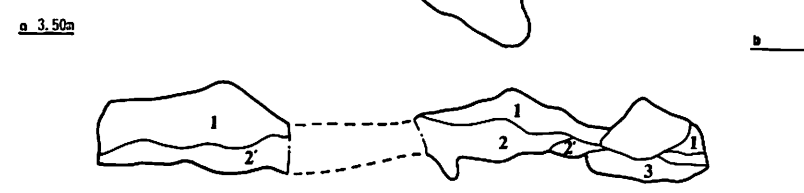
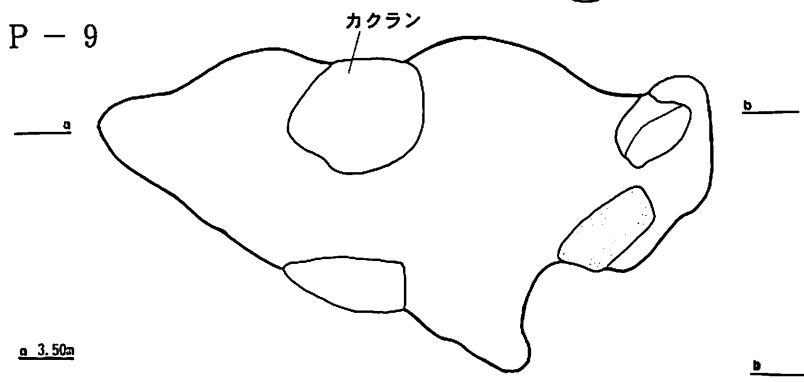
1. 黄褐色砂

FP-8



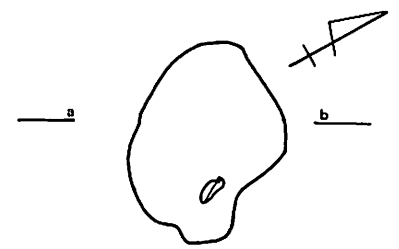
1. 黄褐色砂 (骨片含む)  
2. うすい赤褐色砂

FP-9



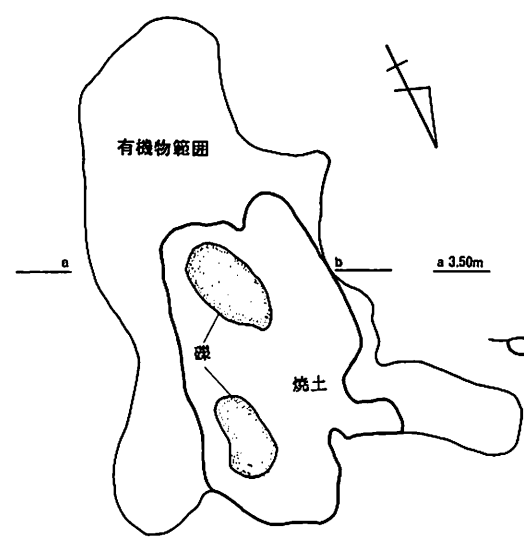
1. 茶褐色土  
2. 赤褐色土  
2': 赤褐色土 (砂まじり)  
3. 暗赤褐色砂  
4. 黄褐色砂

FP-10



1. 炭層  
2. 黄褐色砂

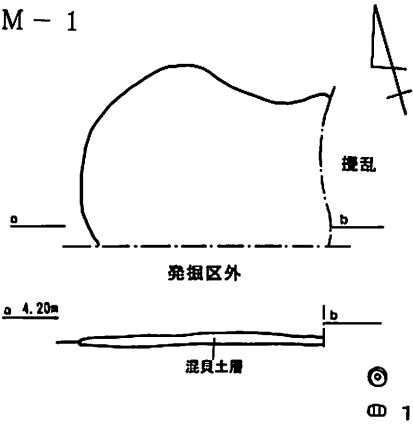
FP-11



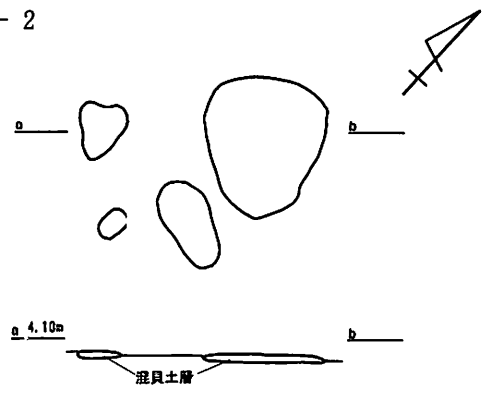
1. 黄褐色土 (有機物)  
2. 焼土 (うすい赤褐色砂)

第54図 FP-7、8、9、10、11 平面図

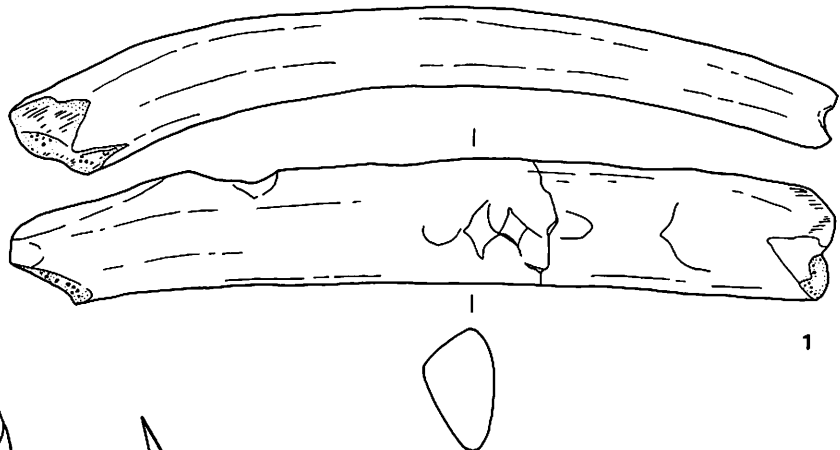
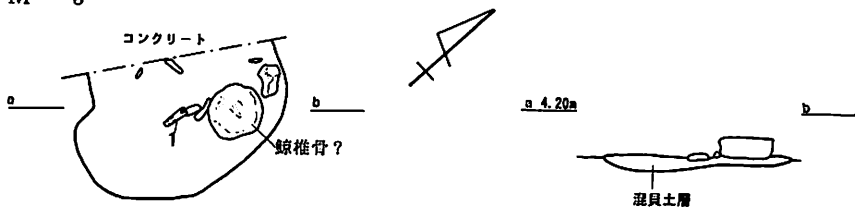
SM-1



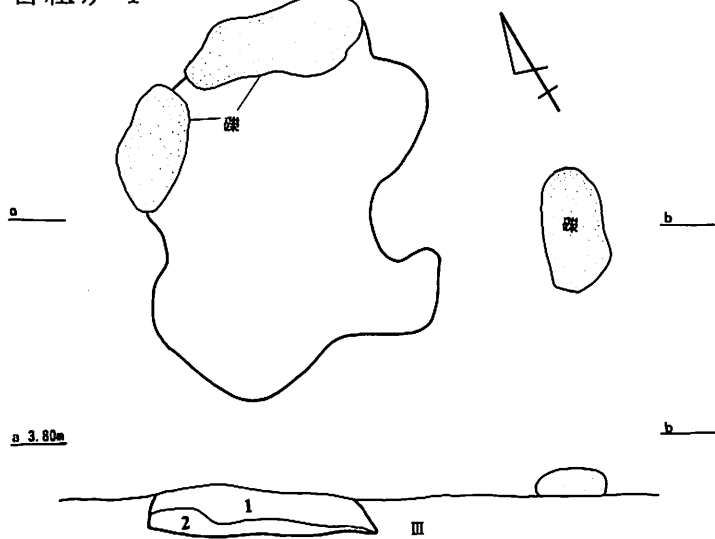
SM-2



SM-3



石組炉 1



- 1. 黄褐色砂
- 2. にぶい灰褐色砂

第55図 SM-1、2、3 平面図と出土遺物・石組炉1平面図

### 3. 包含層の遺物

迂回路地点では19,643点の遺物が検出されているが、多くは続縄文時代のものである。

#### (1) 土器 (第56～69図版)

縄文時代晩期後葉から擦文時代のものに至るものが出土しているが主体となるのは続縄文時代恵山期のものである。

I 群 縄文時代晩期後葉に属するもの (1～3、5、18、19、21、28～31、41、42、46～55、58)

亀ヶ岡文化の影響を受けたもので口縁部に工字文風の沈線が施されるものであり、大洞A～A'式に対応するものである。

5、19は口縁部に変形工字文が施文されているものである。19は変形工字文をはさみ、上に1条、下に2条の列点文が施されている。

II 群 続縄文時代に属するもの

a 類 琴似・大狩部・東歌別等に類するもの (4、15～17、20、23、56、57、59～69、81～84)

15～17、56、57、59～62は口縁に突瘤が施されるものである。16、62は口縁を巡る2条の沈線の間突瘤が施されている。17、57、60、61は突瘤と共に縄線文が施文されるものである。口縁部がやや内屈するものがみられる。

23、64、65、81～84は口縁部に押し引き文や縄線文が施されるものである。66、67は横走する押し引き文と縄線文が施されるものである。

b 類 恵山式に属するもの (6～14、18、22、24、33、43、44、70～79、81、89～93、94～100、104、112、113)

6、22、24、43、44、77、78、99、104は口縁部に無文帯をもつものであり、93は胴部に波状工字文をもつものである。

C 類 後北式に属するもの (25、26、32、80、85～88、101、102、105～107、115)

25、26、32、101、102、105、106、115は後北C2・D式に属するものである。

III 群 擦文時代に属するもの (27、108～111、116)

いずれも深鉢である。27は口縁部に横走沈線の上に鋸歯状沈線が施文されるものであり石附編年第III期に属するものである。108～111は石附編年第I期に属するものである。

## (2) 石器 (第70~73図版)

### ・石鏃 (117~148)

5 cm未満のものを石鏃とし、それ以上のものを石槍と分類した。有茎凸基、無茎凹基、無茎平基、柳葉形のものが見られる。有茎のものは鋭角で細身のものが多く、恵山式期に属する石鏃である可能性がある。

### ・石槍 (149~152)

有茎と無茎の石槍が見られる。149、150、155は両面加工されており154は主剥離面を残すものである。

### ・石錐 (153~157)

有茎のものと無茎のものがあり、154は主剥離面を残すものである。いずれも先端部が磨滅している。

### ・石製ナイフ (158~168、171、177)

剥片の形状を加工により大きく変化させているものであり、切り出し状の先端部をもつものが見られる。160~163は靴形石器と呼称されているものである。

### ・搔器 (175)

剥片の下端部や縁辺に急角度の刃部を作出するものである。

### ・削器 (169~176)

剥片の縁辺に刃部を作出するもので剥片の形状を大きく変化させないものである。

剥片の側縁に刃部をもつものが多いが、169、174、175は弧状の刃部をもつものである。

### ・石斧 (178~183)

礫を研磨によって形態を整えたものが多くみられる。180、181は刃部が両刃のものである。

### ・たたき石 (185)

礫の面部に敲打痕をもつものであり、両面に使用痕が見られる。

扁平な凝灰岩であり両面に痕が見られる。

### ・石製品 (184)

軽石製であり全面に幅1から2 mm程度の溝状の擦痕が見られる。

### ・玉 (186~189)

平玉と垂飾であり、189は周縁が粗く加工され片面中央に幅2 mm程度の溝が作出されている。

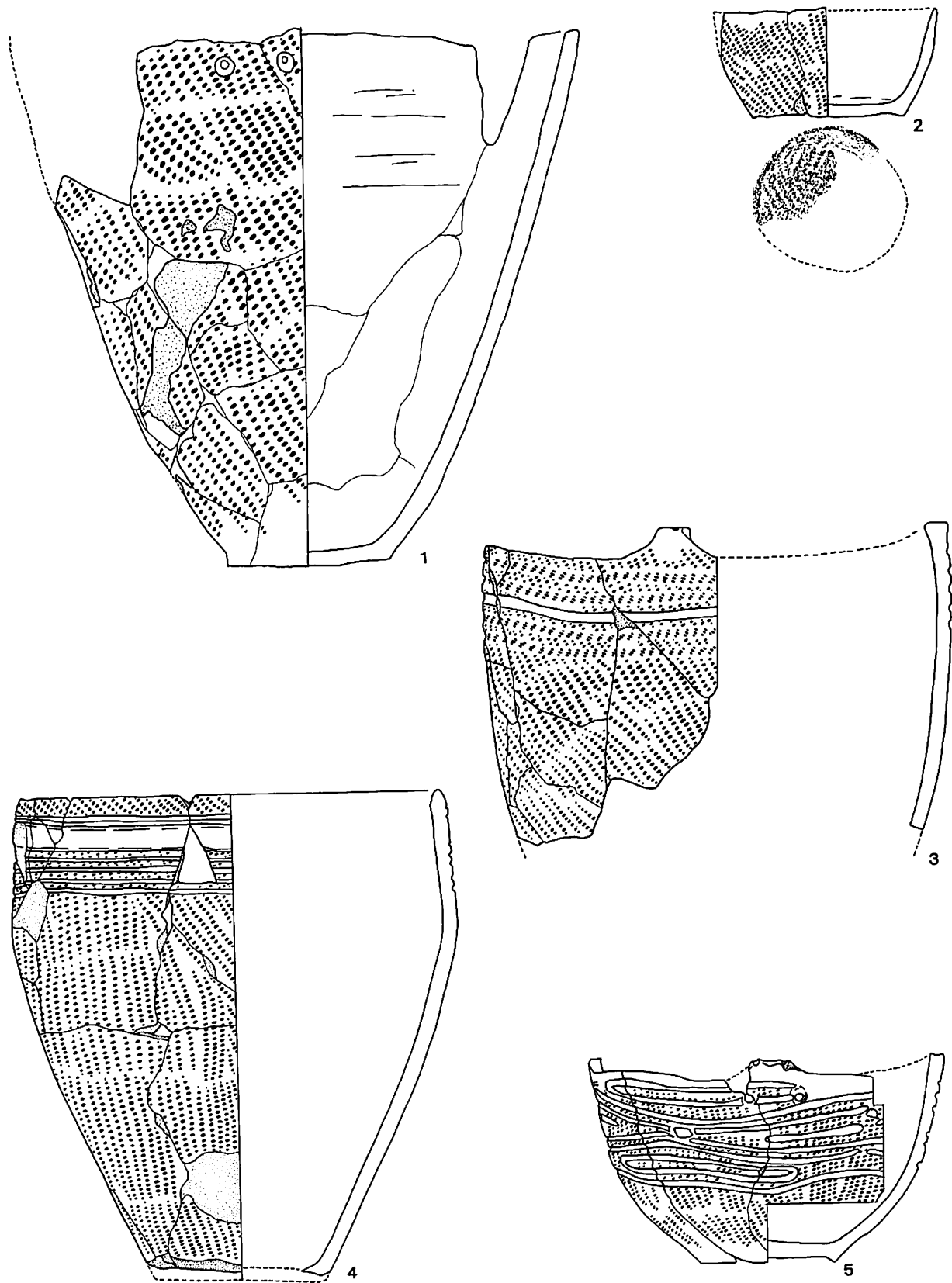
## (3) 古銭 (第74図)

194は景德元寶であり195は元豐通寶である。いずれも北宋銭である。

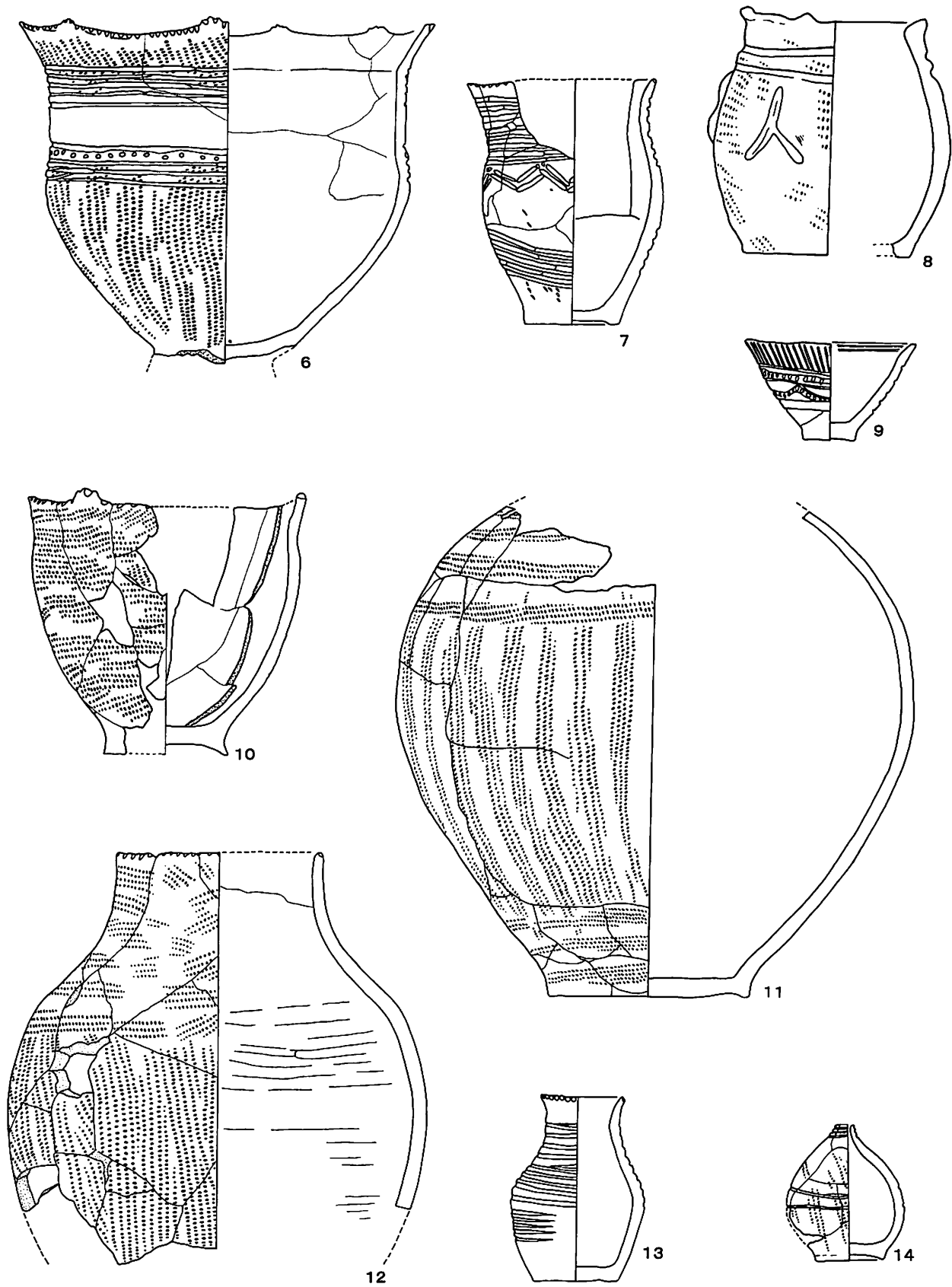
## (4) 鉄製品 (第74図)

196は鏃であり197~200までは刀の刀身部分であり201・202は鏝である。

いずれも近世に属するものと思われる。

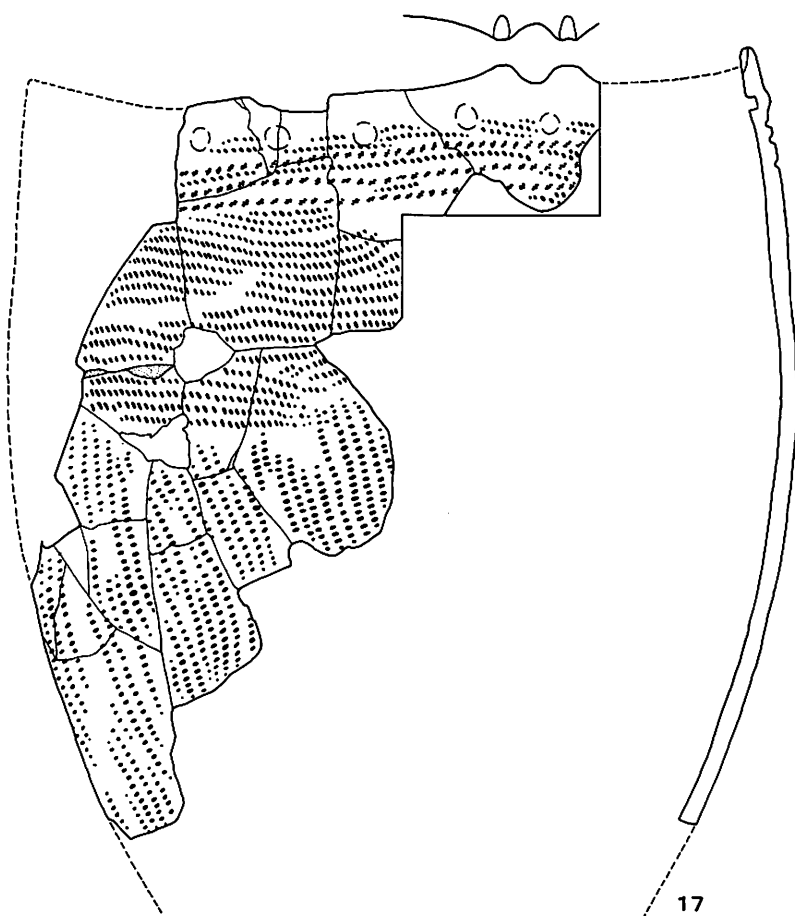
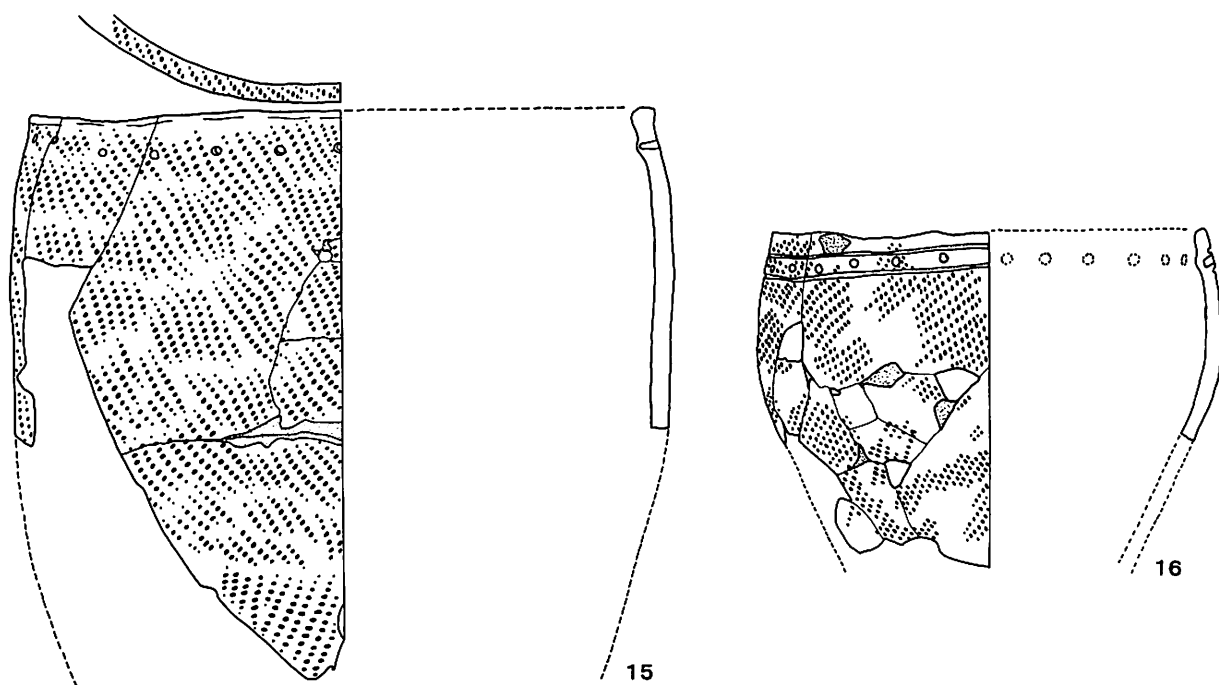


第56図 包含層出土の土器（1）

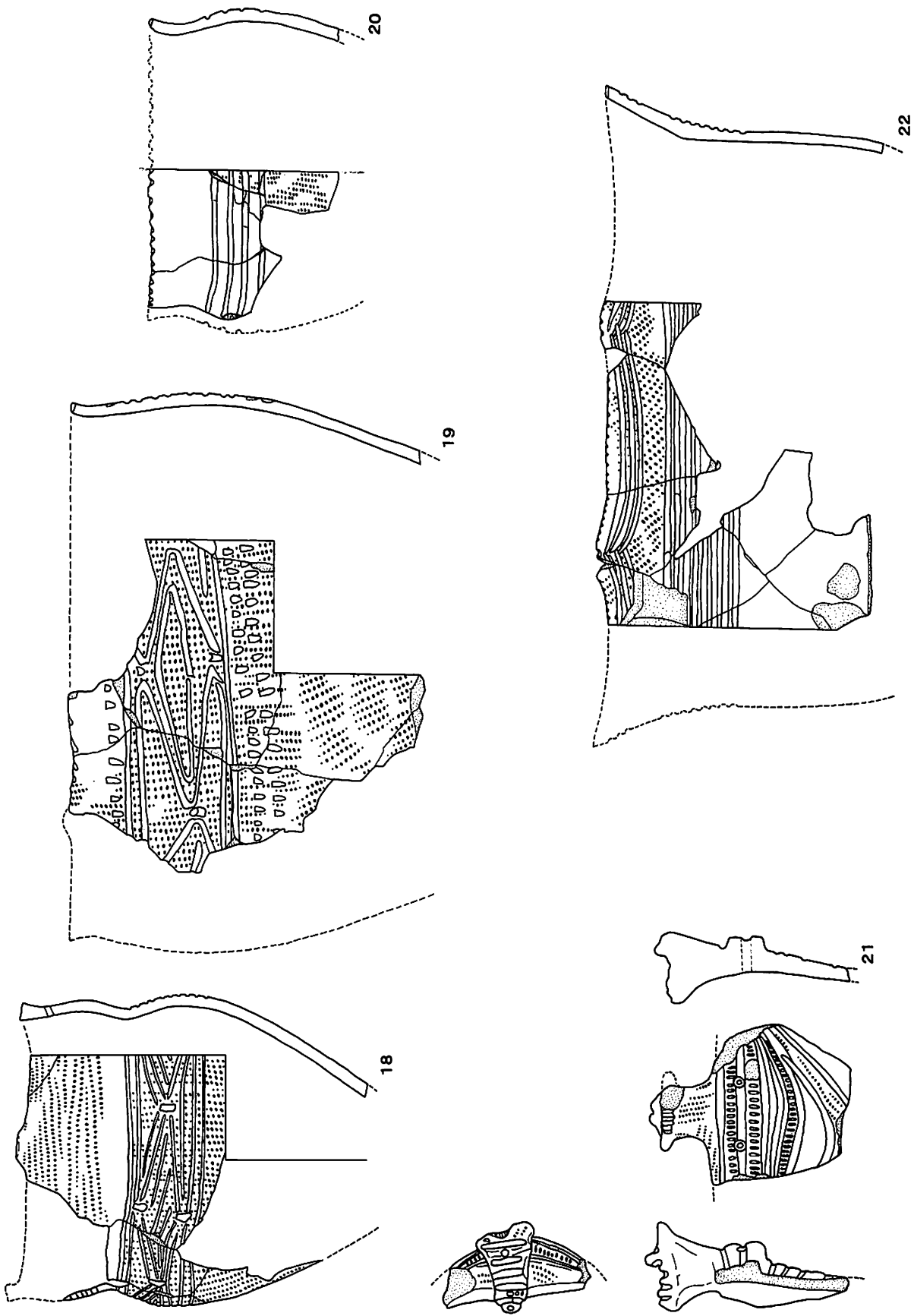


第57図 包含層出土の土器（2）

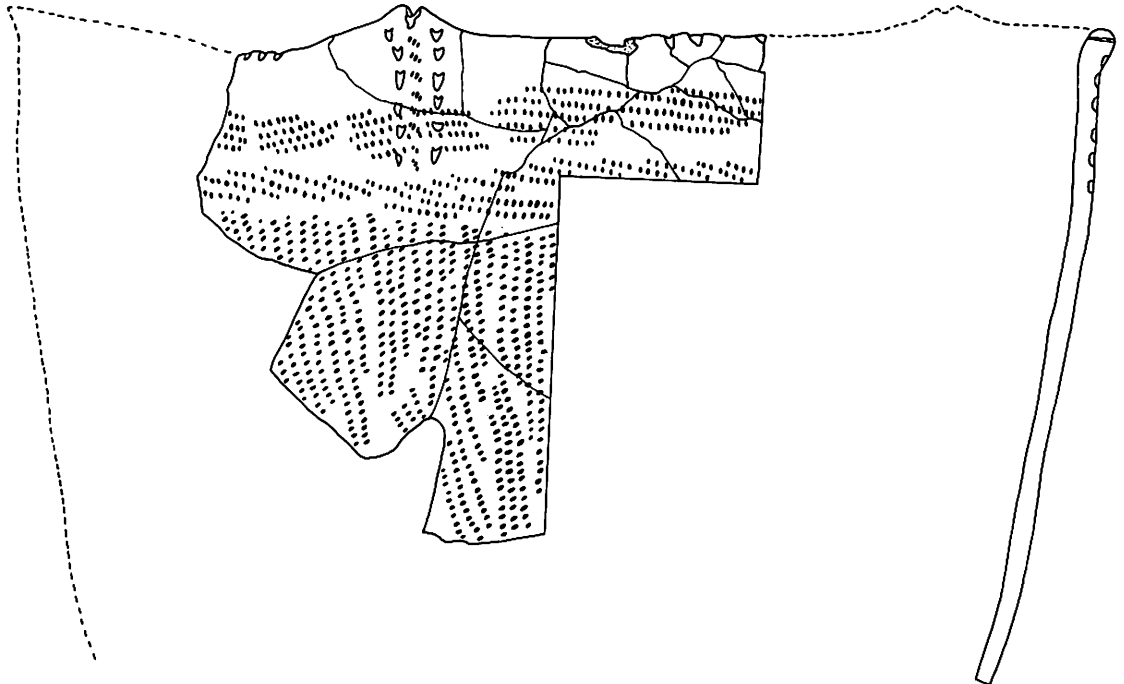




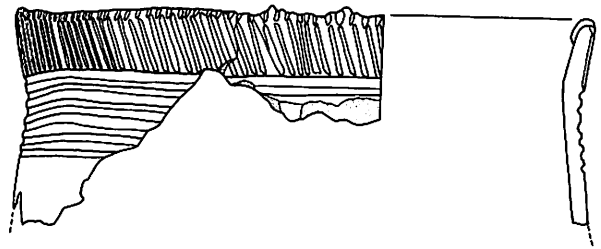
第58図 包含層出土の土器（3）



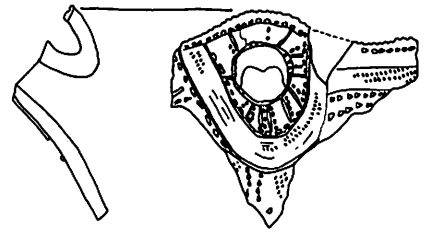
第59図 包含層出土の土器（4）



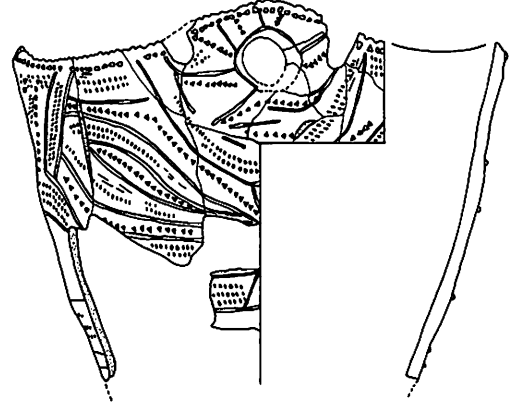
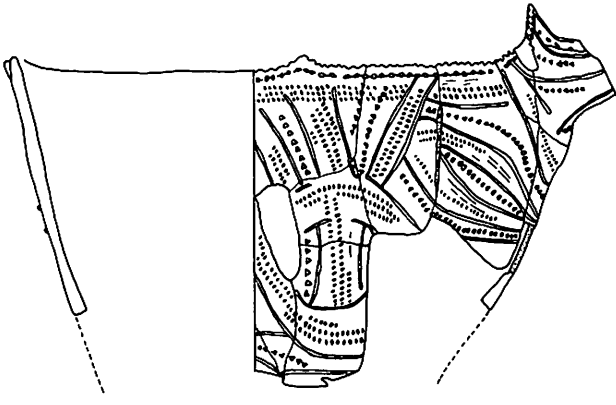
23



24

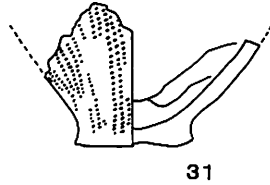
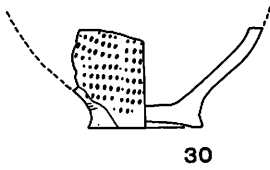
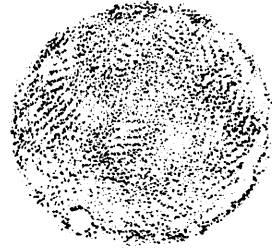
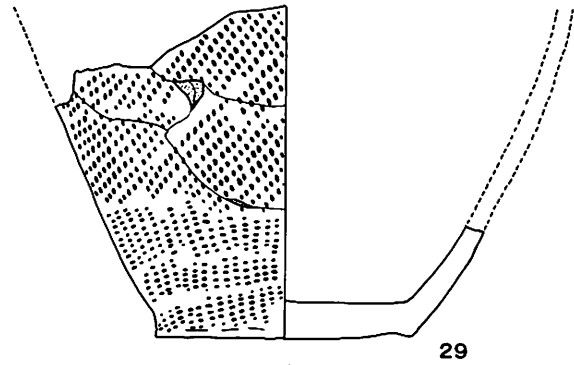
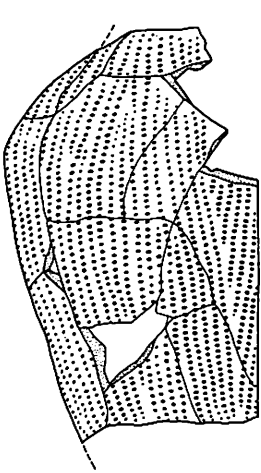
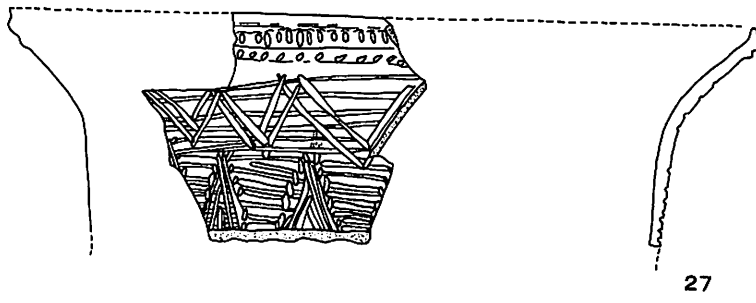


25

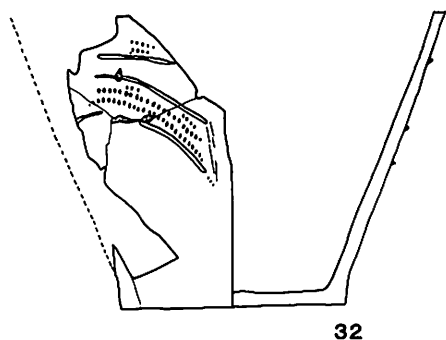


26

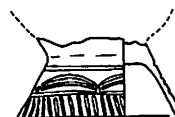
第60図 包含層出土の土器 (5)



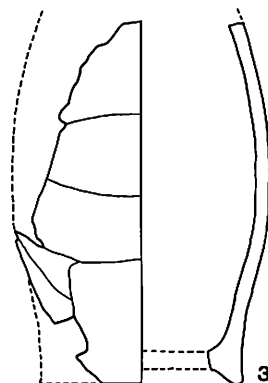
第61図 包含層出土の土器（6）



32



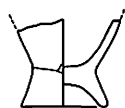
33



34



35



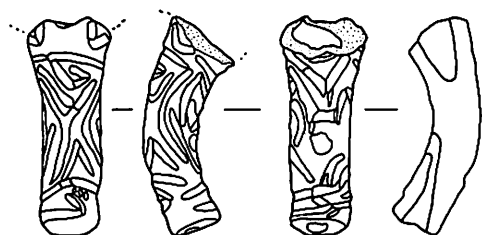
36



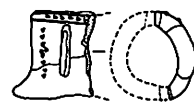
37



38

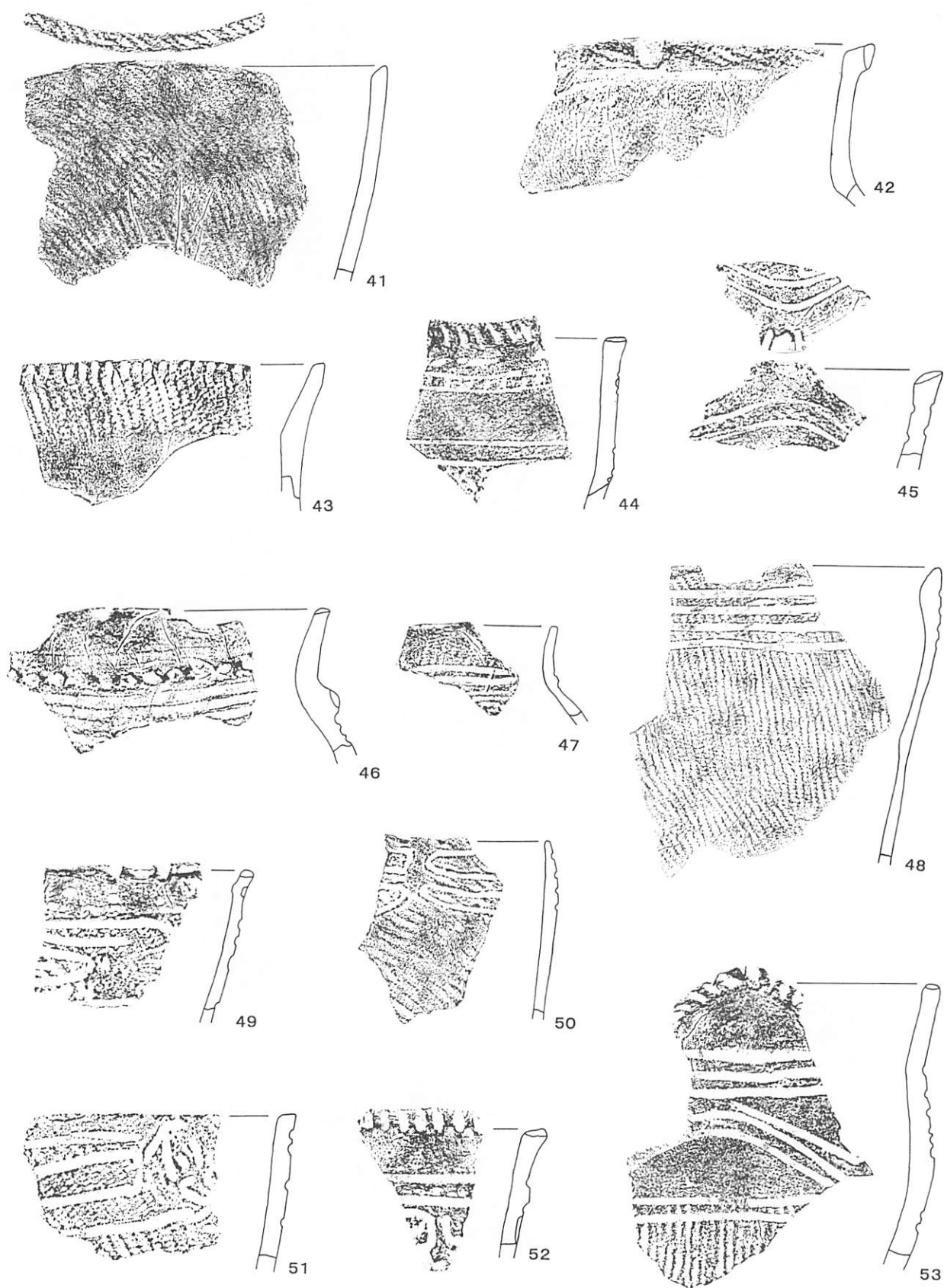


39

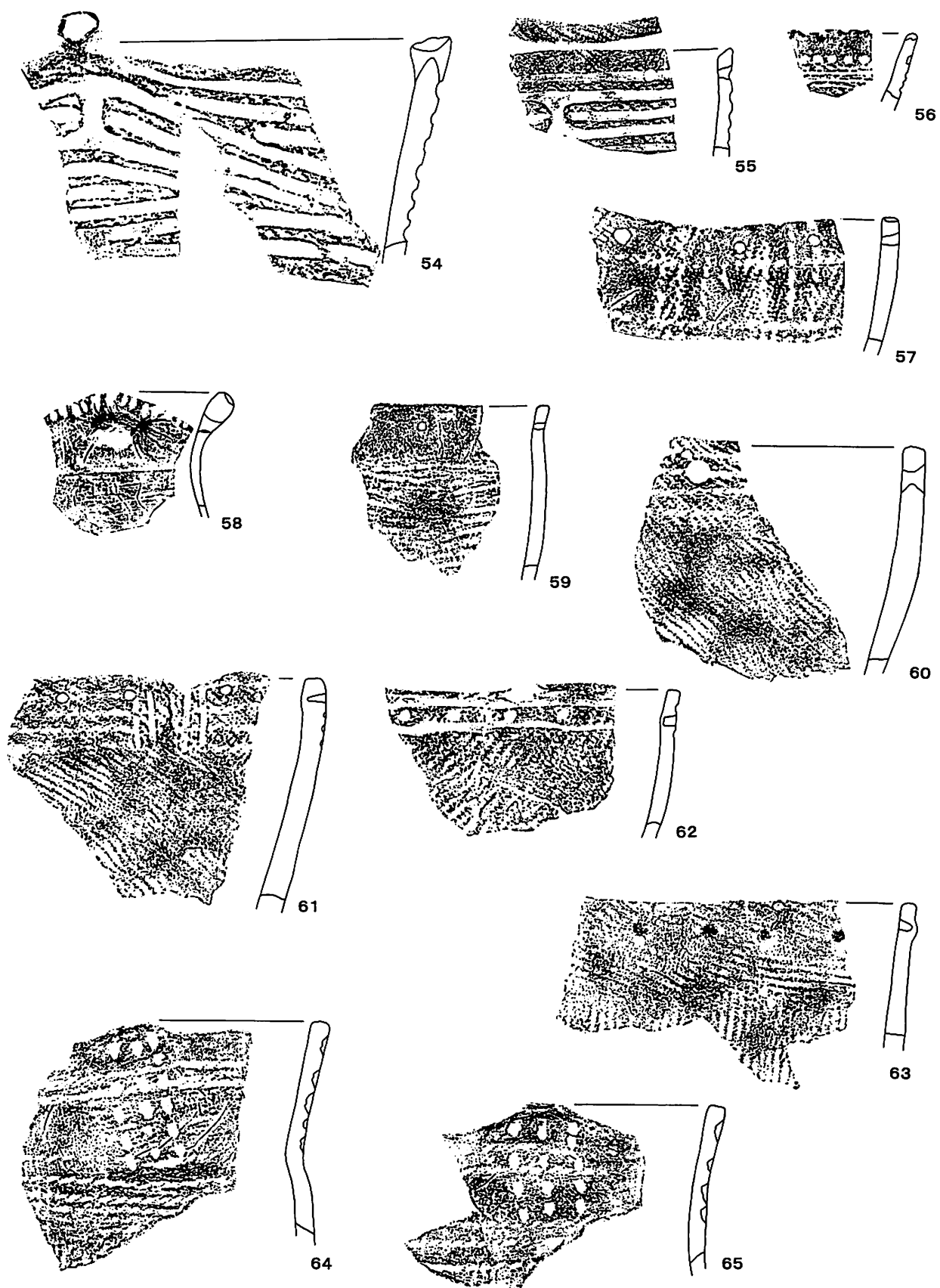


40

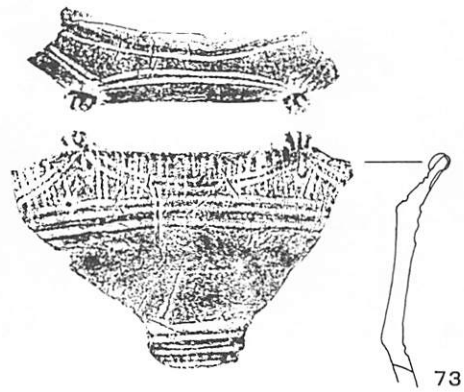
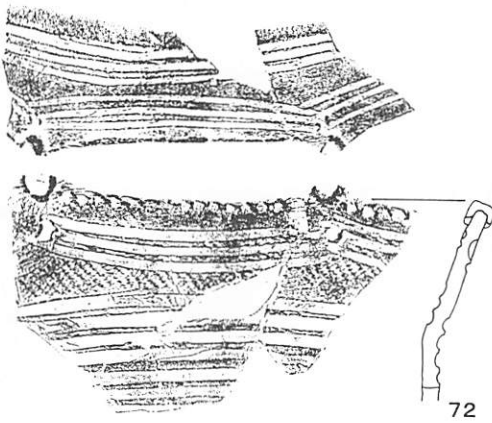
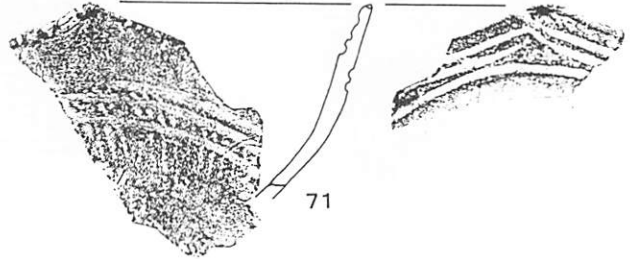
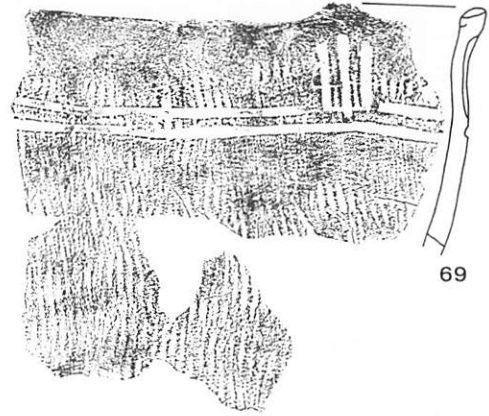
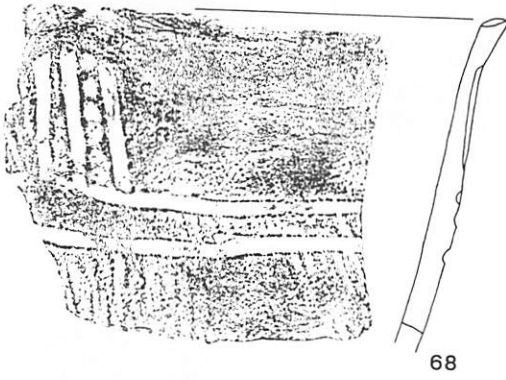
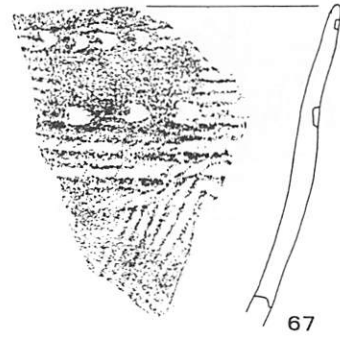
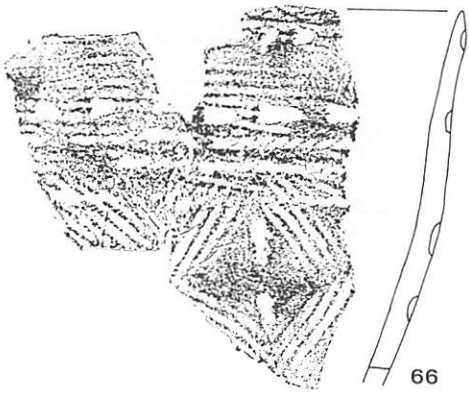
第62図 包含層出土の土器と土製品 (7)



第63図 包含層出土の土器（8）

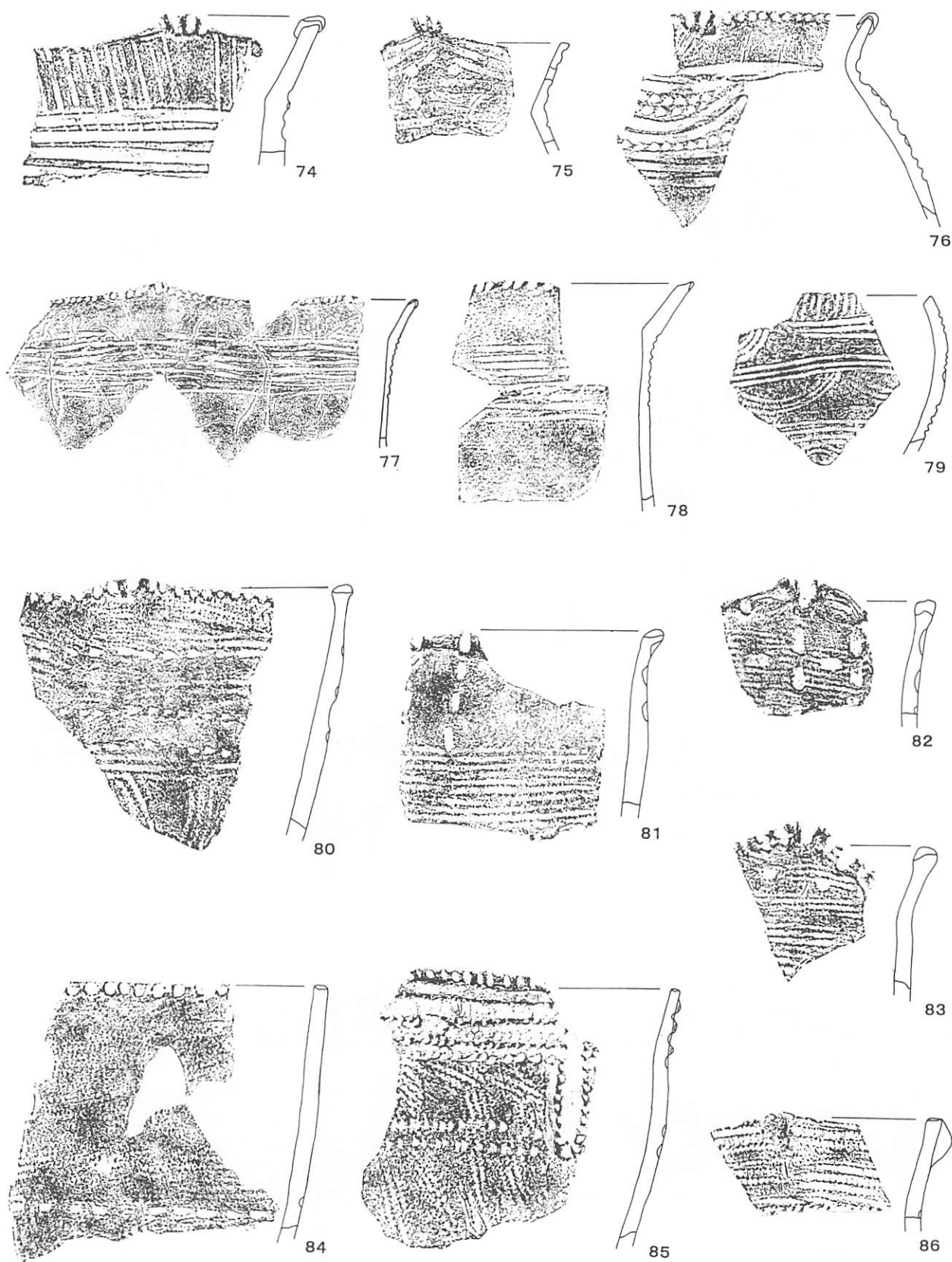


第64図 包含層出土の土器（9）

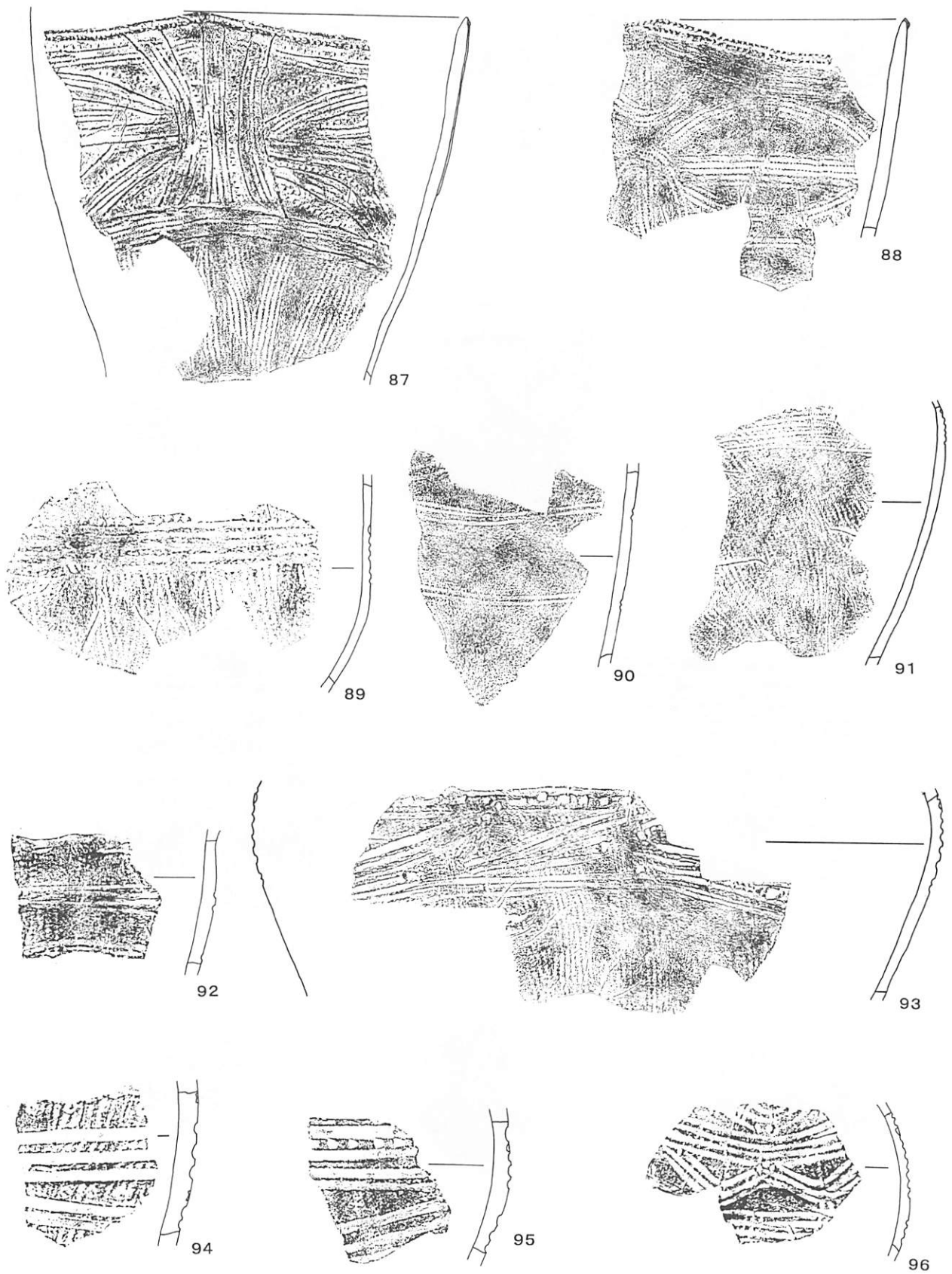


第65図 包含層出土の土器 (10)

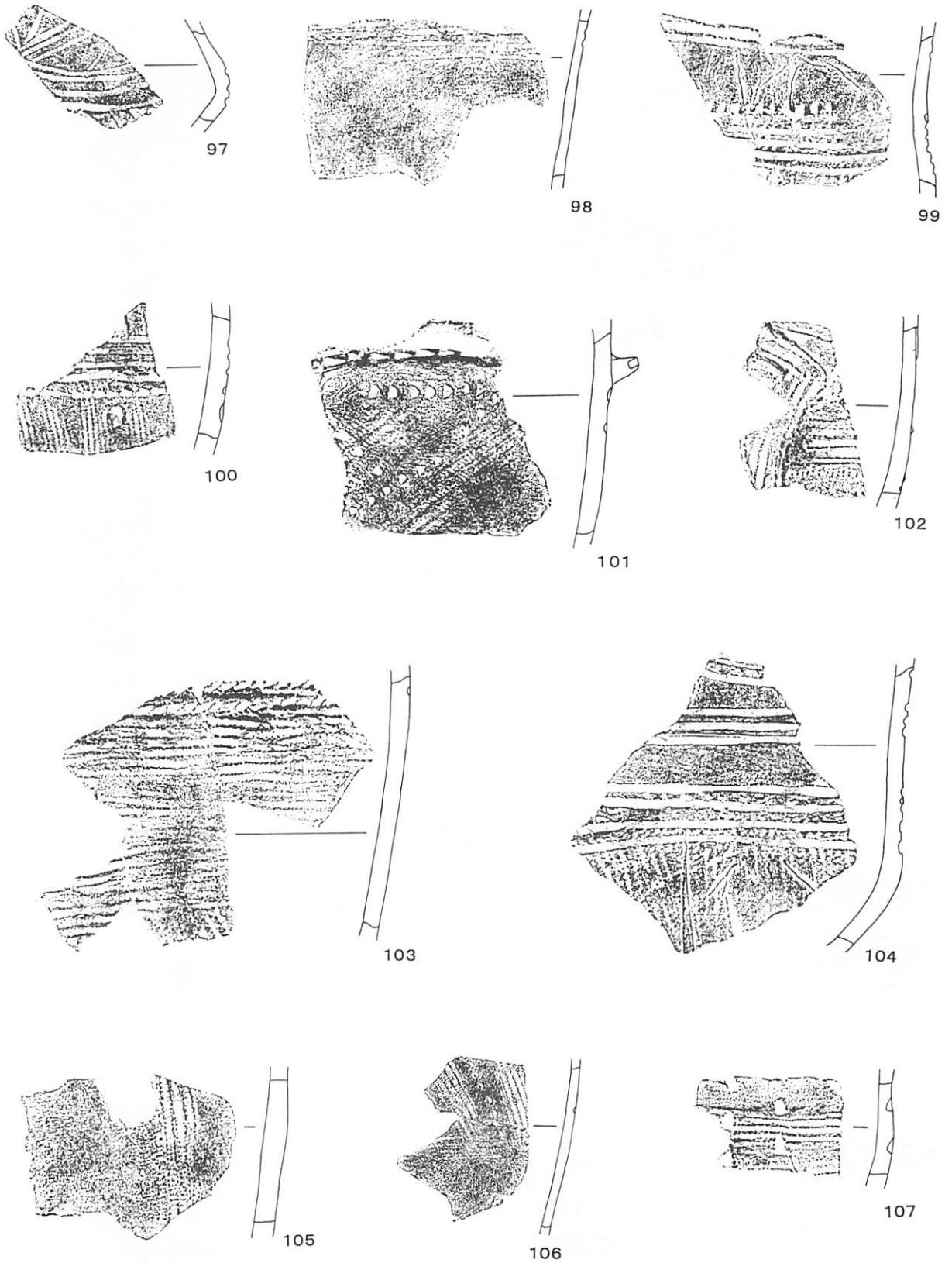




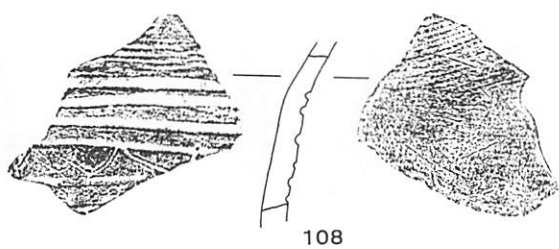
第66図 包含層出土の土器 (11)



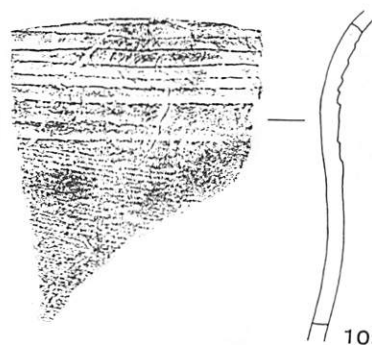
第67図 包含層出土の土器 (12)



第68図 包含層出土の土器 (13)



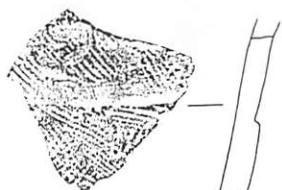
108



109



110



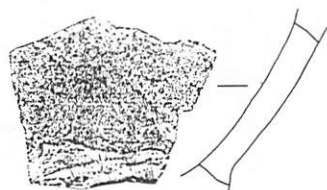
111



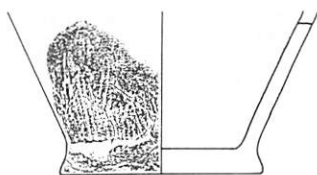
112



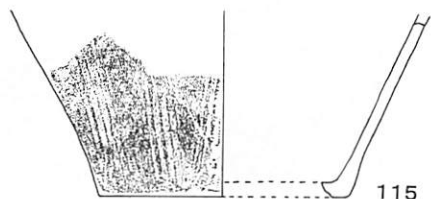
113



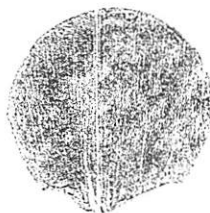
114



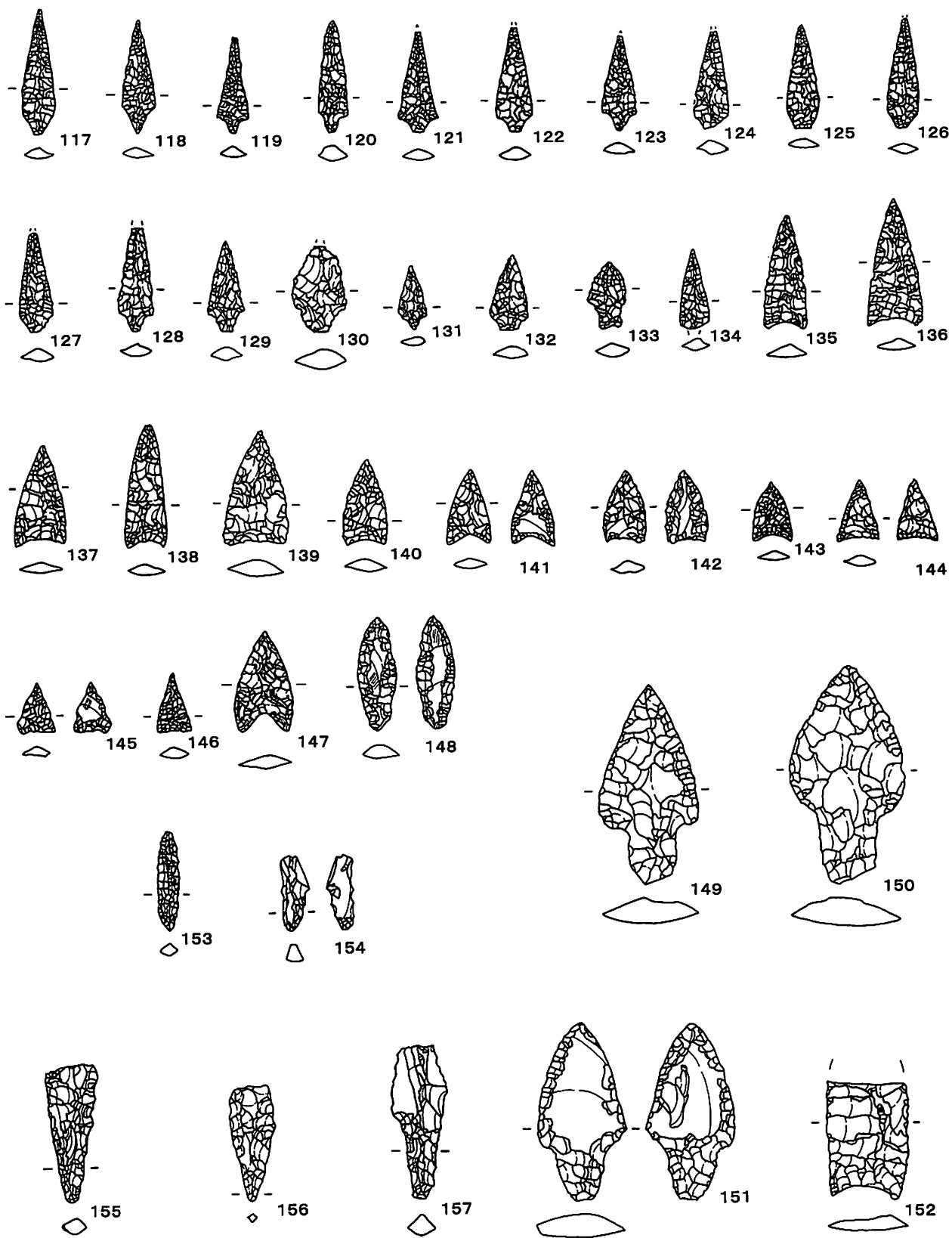
116



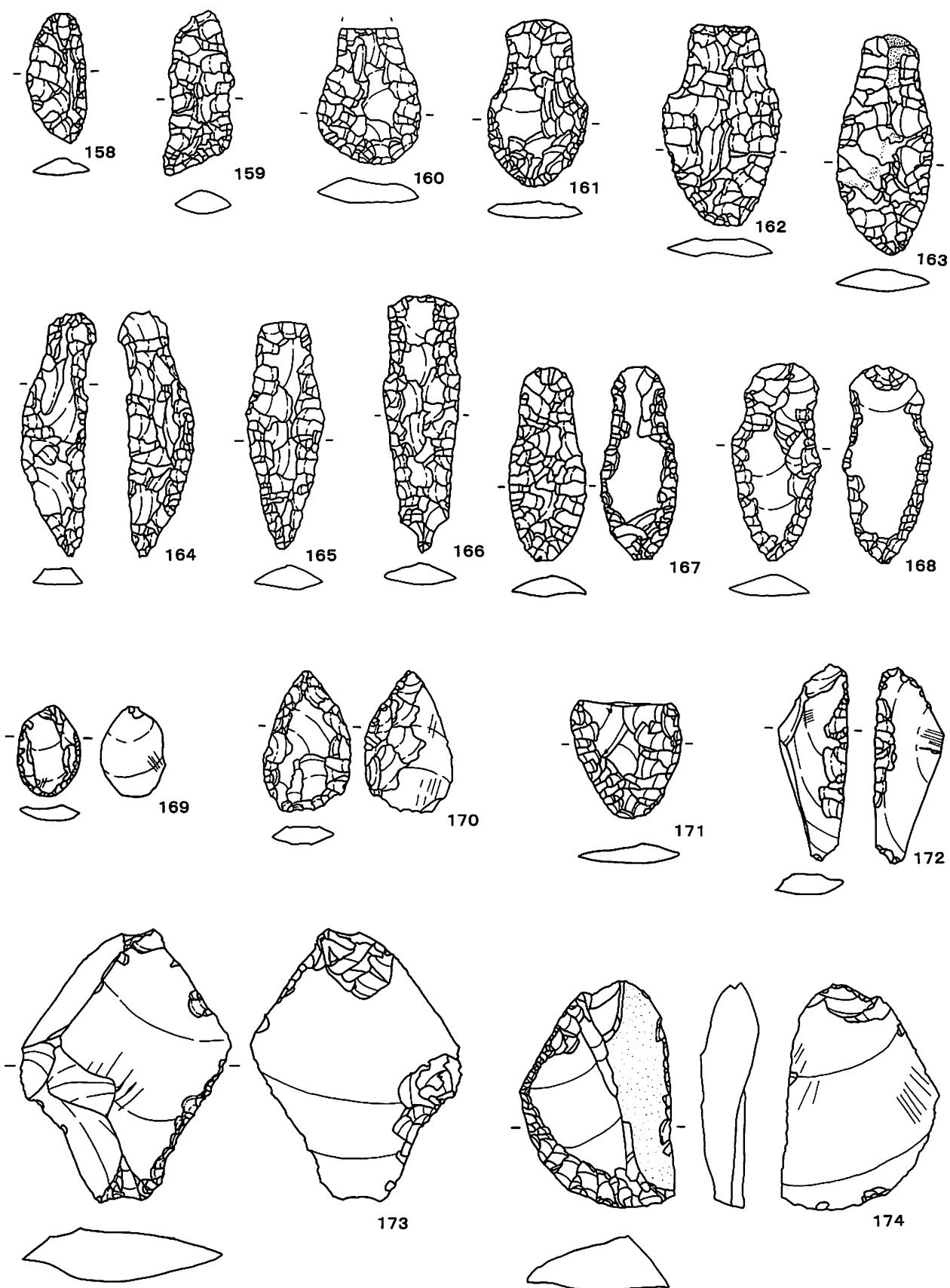
115



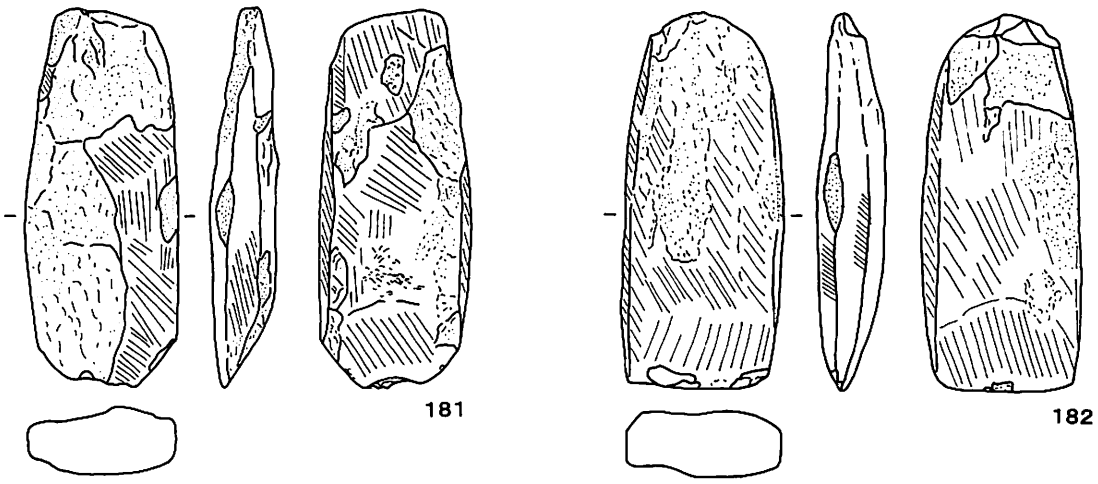
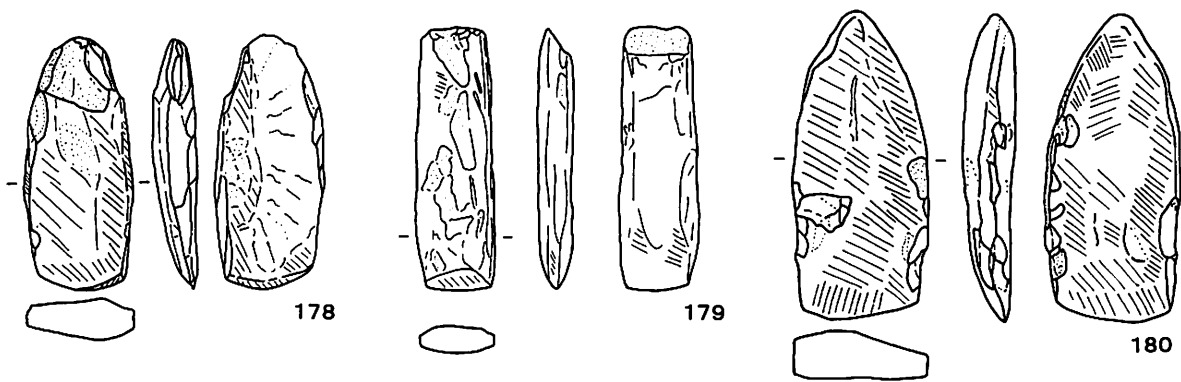
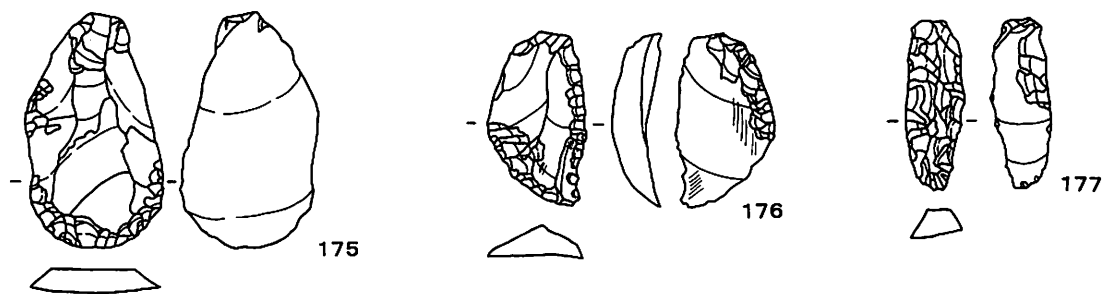
第69図 包含層出土の土器 (14)



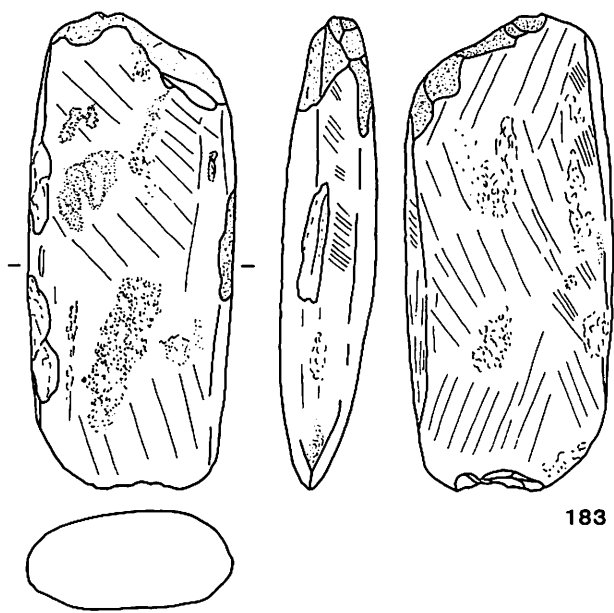
第70図 包含層出土の石器（1）



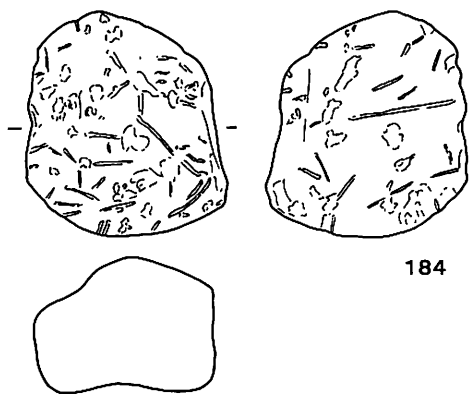
第71図 包含層出土の石器 (2)



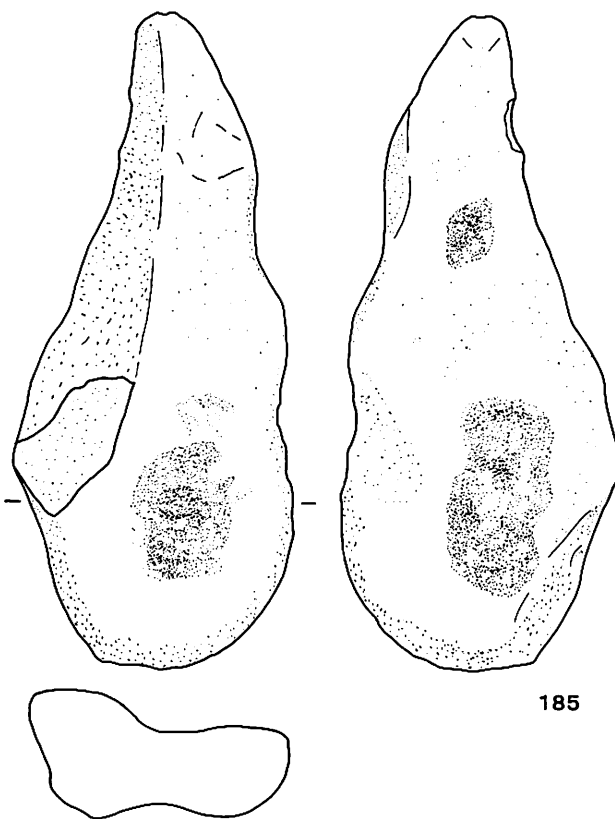
第72図 包含層出土の石器（3）



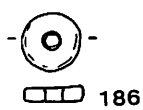
183



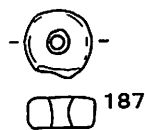
184



185



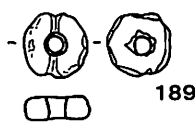
186



187



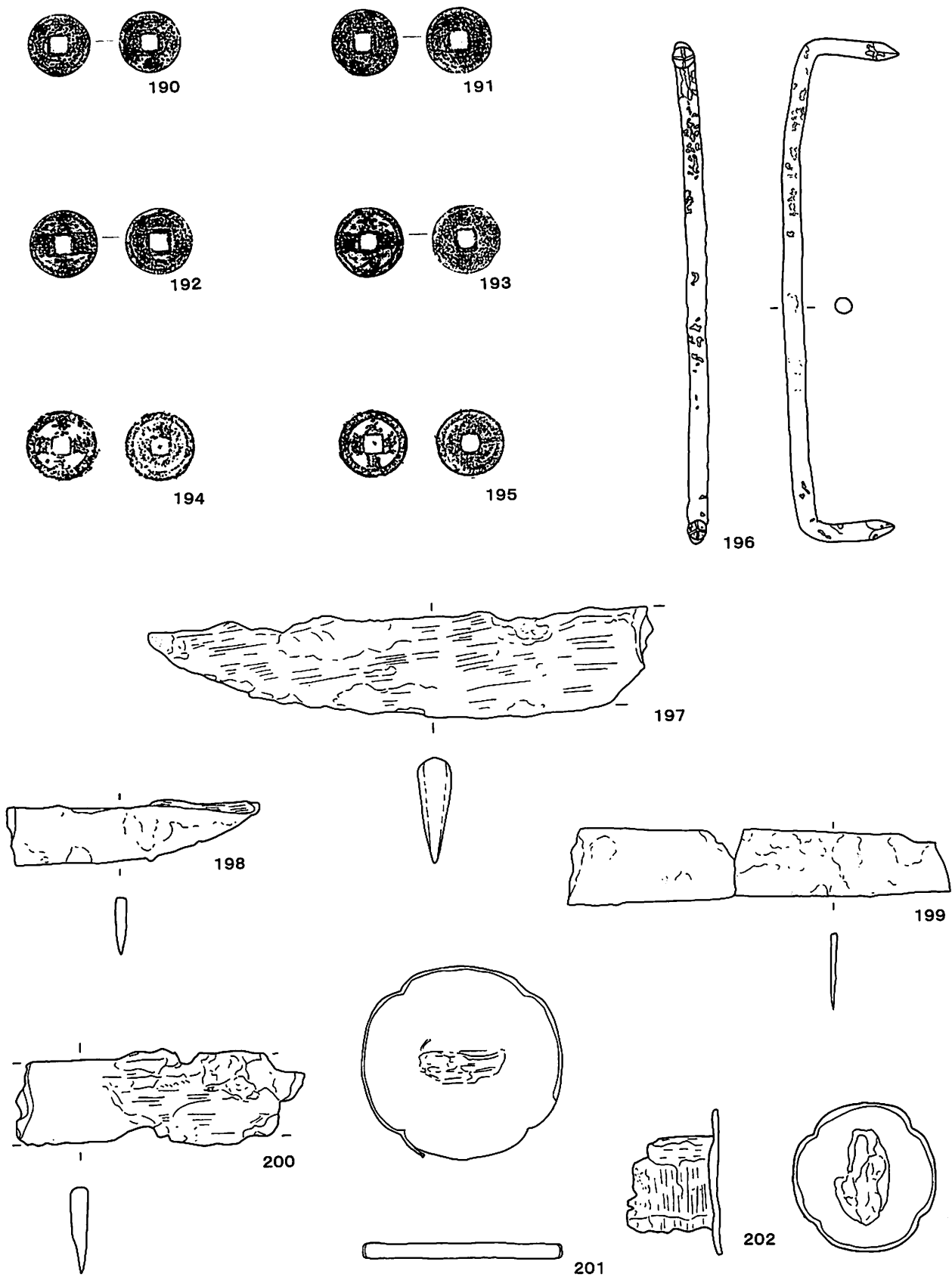
188



189

第73図 包含層出土の石器（4）





第74図 包含層出土の金属製品

# 遺物計測表

図版No. 遺物No.	出土遺構	取り上げNo.	層位	分類・名称	計測値(cm)(g)	備考
9-1	P-1		墳底	矢筒	長さ 16.7 幅 10.7 厚さ 0.75	イカヨブ
10-2	P-1		墳底	太刀	全長 59.2 刃長 46.9 つば径 6.7 つば厚さ 0.5	エムシ 刃幅1.2 マキリ 煙管
10-3	P-1	②	墳底	刀子	全長 19.5 刃長 13.0 厚さ 0.2	
10-4	P-1	⑥	墳底	キセル(雁首)	長さ 7.6 直径 1.4	
10-5	P-1	⑤	墳底	キセル(吸い口)	長さ 6.8 直径 1.0	
10-6	P-1		墳底	骨角器	長さ (1.8) 幅 1.3 厚さ (0.4) 重さ 0.3	
10-7	P-1	⑦	墳底	舟釘	長さ 9.5 厚さ 0.9	
11-1	P-3	③	墳底	刀のつば	径 6.9 厚さ 0.85	
11-2	P-3	①	墳底	耳飾り	径 8.2	
11-3	P-3	②	墳底	耳飾り	径 8.3	
11-4	P-3	⑦	墳底	古銭	径 2.4 孔径 0.6 厚さ 0.1 重さ 3.3	
12-1	P-5		墳底	ガラス玉	直径 1.3 厚さ 0.7 孔径 0.4 重さ 1.5	
12-2	P-5		墳底	ガラス玉	直径 1.2 厚さ 0.8 孔径 0.3 重さ 1.2	
12-3	P-5		墳底	ガラス玉	直径 1.35 厚さ 0.8 孔径 0.3 重さ 1.8	
12-4	P-5		墳底	ガラス玉	直径 1.35 厚さ 0.7 孔径 0.35 重さ 1.6	
12-5	P-5		墳底	ガラス玉	直径 1.1 厚さ 0.6 孔径 0.3 重さ 1.0	
12-6	P-5		墳底	ガラス玉	直径 0.9 厚さ (0.6) 孔径 0.3 重さ 0.8	
12-7	P-5		墳底	ガラス玉	直径 0.3 厚さ 0.7 孔径 0.5 重さ 0.1	
12-8	P-5		墳底	ガラス玉	直径 0.4 厚さ 0.7 孔径 0.7 重さ 0.1	
12-9	P-5		墳底	ガラス玉	直径 0.3 厚さ 0.6 孔径 0.5 重さ 0.1	
12-10	P-5		墳底	ガラス玉	直径 0.3 厚さ 0.6 孔径 0.5 重さ 0.1	
12-11	P-5		墳底	ガラス玉	直径 0.3 厚さ 0.6 孔径 0.5 重さ 0.1	
12-12	P-5		墳底	ガラス玉	直径 0.4 厚さ 0.6 孔径 0.5 重さ 0.1	
12-13	P-5		墳底	ガラス玉	直径 0.2 厚さ 0.6 孔径 0.4 重さ 0.1	
12-14	P-5		墳底	ガラス玉	直径 0.4 厚さ 0.7 孔径 0.5 重さ 0.1	
12-15	P-5		墳底	ガラス玉	直径 0.3 厚さ 0.6 孔径 0.5 重さ 0.1	
12-16	P-5		墳底	ガラス玉	直径 0.1 厚さ 0.5 孔径 0.6 重さ 0.1	
13-1	P-6		墳底	太刀	全長 54.9 刃長 (43.3) 刃幅 (1.5) 刃厚 0.5	
14-1	P-7		墳底	石斧	長さ (6.0) 幅 4.2 厚さ 0.8 重さ 52	
14-1	P-8		墳底	刀子	長さ (16.1) 幅 2.4 厚さ 0.7	
14-2	P-8		墳底	キセル(火皿) キセル(雁首) キセル(吸い口)	高さ 1.1 径 1.45 長さ 8.2 径 1.0 長さ 8.3 径 1.0	
15-1	P-9		墳底	和鏡	直径 8.7 厚さ 0.7	
15-2	P-9		墳底	和鏡	直径 10.1 厚さ 0.9	
15-3	P-9		墳底	和鏡	直径 11.5 厚さ 0.8	
15-4	P-9		墳底	刀	長さ (12.3) 幅 (3.1) 厚さ (1.4)	
16-5	P-9		墳底	太刀	全長 71.0 刃長 52.5	1/4  破片
16-6	P-9		墳底	太刀	長さ (39.0) 刃長 (29.5)	
16-7	P-9		墳底	刀子	長さ (22.0) 刃長 (20.3)	
16-8	P-9		墳底	太刀	長さ (8.2)	
16-9	P-9		墳底	金具	長さ 1.7	

図版No. 遺物No.	出土遺構	取り上げNo.	層位	分類・名称	計測値(cm)(g)	備考
16-10	P-9		墳底	金属	長さ(3.6)幅(2.4)	
16-11	P-9		墳底	火打金	長さ6.6厚さ0.15	
16-12	P-9		墳底	骨角器	長さ(4.3)幅(1.6)厚さ0.95重さ2.6	
16-13	P-9		墳底	骨角器	長さ(5.7)幅1.1厚さ0.4重さ2.0	
16-14	P-9		墳底	骨角器	長さ9.0幅1.2厚さ0.95重さ4.5	
16-15	P-9		墳底	骨角器	長さ(10.9)幅0.75重さ4.5	
17-1	P-10		墳底	太刀	全長54.0刃長43.2刃幅1.2	
17-2	P-10		墳底	刀子	全長(15.2)刃長(9.2)	
18-1	P-12		墳底	金属製品	径3.5	鎧具 「寛永通宝」
18-2	P-12		墳底	小札	長さ5.85幅2.4厚さ0.3	
18-3	P-12		墳底	古銭	径2.4孔径0.6厚さ0.1重さ3.4	
19-1	P-14		覆土	土器	拓本	口縁部1/2 胴部1/2 胴部1/2 頁岩
19-2	P-14		覆土	土器	拓本	
19-3	P-14		覆土	土器	拓本	
19-4	P-14		覆土	削器	長さ5.0幅2.8厚さ1.0重さ12.1	
19-5	P-14		覆土	刀子	長さ(10.4)刃長(4.3)厚さ0.3	
19-6	P-14		覆土	鉄製品	長さ(7.0)幅2.2厚さ0.4重さ23.4	
19-7	P-14		覆土	和釘	長さ(2.40)幅0.35厚さ0.3重さ1.0	
19-8	P-14		覆土	鉄製品	長さ(3.8)幅0.35厚さ0.5重さ2.3	
20-1	P-15		覆土	鎌	全長17.1刃長14.9	
20-2	P-15		覆土	鉄製品	長さ(6.0)幅3.3厚さ0.1	
20-3	P-15		覆土	舟釘	長さ4.55幅1.0厚さ0.3	
20-4	P-15		覆土	キセル(火皿)	径1.75高さ(0.9)	
21-1	P-16		墳底	土器	拓本	口縁部1/2
22-1	P-17		墳底	古銭	径2.4孔径0.7厚さ0.1	「咸平元宝」  「開元通宝」  「熙寧元宝」  「開元通宝」 「熙寧元宝」
22-2	P-17		墳底	古銭	径2.5孔径0.5厚さ0.1	
22-3	P-17		墳底	古銭	径2.4孔径0.75厚さ0.1	
22-4	P-17		墳底	古銭	径2.5孔径0.75厚さ0.1	
22-5	P-17		墳底	古銭	径2.5孔径0.5厚さ0.1	
22-6	P-17		墳底	古銭	径2.35孔径0.6厚さ0.1	
22-7	P-17		墳底	古銭	径2.4孔径0.7厚さ0.1	
22-8	P-17		墳底	古銭	径2.5孔径0.7厚さ0.1	
22-9	P-17		墳底	古銭	径2.4孔径0.65厚さ0.1	
22-1	P-18		墳底	土器	口径(16.5)器高20.5底径5.6	
24-1	P-23	①	覆土	管玉	長さ(1.3)厚さ0.7重さ0.3	コハク
24-2	P-23		覆土	平玉	長径1.4厚さ0.6重さ0.6	コハク
25-1	P-26	①	墳底	削器	長さ4.5幅4.6厚さ0.42重さ7.5	メノウ
25-2	P-26		覆土	R.F	長さ(3.40)幅0.8厚さ0.6重さ2.0	黒曜石
26-1	P-29	①	覆土	土器	胴径(9.0)底径5.4器高(11.1)	1/2
26-2	P-29	④	覆土	土器	胴径(7.4)器高(8.0)	胴部1/3 口縁部1/3
26-3	P-29		覆土	土器	拓本	
26-4	P-29		覆土	土器	拓本	

図版No. 遺物No.	出土遺構	取り上げNo.	層位	分類・名称	計測値(cm)(g)	備考
26-5	P-29		覆土	石鏃	長さ(4.5)幅1.2厚さ0.4重さ1.6	頁岩
26-6	P-29		覆土	石鏃	長さ4.7幅1.3厚さ0.4重さ1.6	頁岩
26-7	P-29		覆土	石鏃	長さ4.0幅1.2厚さ0.4重さ1.5	頁岩
26-8	P-29		覆土	石斧	長さ14.8幅4.05厚さ1.0重さ164	泥岩
27-1	P-30	①	墳底	土器	口径7.8底径3.8器高5.6	
27-2	P-30	⑤	墳底	土器	口径15.6胴径15.0底径5.7器高22.0	1/2
27-3	P-30	一括	墳底	土器	口径(12.4)底径(6.0)器高7.8	
27-4	P-30	③	墳底	土器	口径5.2器高(3.6)	
27-5	P-30	④	墳底	石鏃	長さ3.1幅1.4厚さ0.4重さ1.5	頁岩
28-1	P-32		覆土	土器	口径(13.0)胴径(14.5)底径(6.3)器高18.2	1/2
28-2	P-32		墳底	土器	底径(6.6)器高(11.9)	1/2
28-3	P-32		覆土	土器	胴径6.3器高(7.1)	
28-4	P-32	①	墳底	土器	口径7.2胴径7.8底径4.0器高9.8	
28-5	P-32	①	墳底	土器	口径11.0器高(5.0)	
28-6	P-32		覆土	土器	口径(17.6)器高(14.1)	1/2
28-7	P-32		覆土	土器	拓本	胴部1/3
28-8	P-32		覆土	石鏃	長さ3.1幅1.3厚さ0.4重さ1.2	黒曜石
28-9	P-32		覆土	石鏃	長さ3.9幅1.3厚さ0.5重さ1.4	頁岩
28-10	P-32		覆土	搔器	長さ4.8幅2.2厚さ1.0重さ9.3	頁岩
29-1	P-35	⑥	墳底	土器	底径(9.8)器高(11.1)	1/2
29-1	P-37	一括	墳底	土器	胴径9.7底径(3.8)器高(10.5)	
31-1	P-38		墳底	刀子	長さ19.3刃長13.5	
31-2	P-38	④	墳底	刀子	長さ(10.0)	
31-3	P-38	④	墳底	刀子	長さ(9.0)	
31-4	P-38	④	墳底	火打金	長さ(8.0)	
31-5	P-38	④	墳底	火打金	長さ(5.5)	
31-6	P-38	③	墳底	鉞	長さ24.0刃長16.5	
31-7	P-38	②	墳底	キセル(雁首)	長さ6.6直径1.4	
31-8	P-38	①	墳底	キセル(雁首)	長さ8.0直径1.6	
31-9	P-38	①	墳底	キセル(吸い口)	長さ10.1直径1.0	
32-1	P-39	①,③,⑧,⑨	墳底	土器	口径(10.7)胴径15.5底径5.5器高13.7	
33-1	P-40		墳底	砥石	長さ12.7幅1.9厚さ1.7重さ83.5	
33-2	P-40		墳底	刀子	長さ33.1幅4.0厚さ1.2	
35-1	P-41		墳底	骨角器	長さ(8.2)幅0.4重さ2.4	
35-2	P-41		墳底	骨角器	長さ(9.5)幅0.75重さ3.8	
35-3	P-41		墳底	骨角器	長さ8.8幅0.9重さ2.6	
35-4	P-41		墳底	骨角器	長さ9.3幅0.7重さ2.4	
35-5	P-41		墳底	骨角器	長さ8.8幅0.9重さ2.8	
35-6	P-41		墳底	骨角器	長さ9.4幅0.4重さ2.8	
35-7	P-41		墳底	骨角器	長さ(11.5)幅0.9重さ3.6	
35-8	P-41		墳底	骨角器	長さ7.8幅1.0重さ2.3	
35-9	P-41	⑩	墳底	骨角器	長さ(8.0)幅0.55重さ2.6	

図版No. 遺物No.	出土遺構	取り上げNo.	層位	分類・名称	計測値(cm)(g)	備考
35-10	P-41		墳底	骨角器	長さ(6.7)幅0.8重さ1.9	
35-11	P-41		墳底	骨角器	長さ(7.1)幅0.4重さ1.6	
35-12	P-41		墳底	骨角器	長さ(6.0)幅0.65重さ1.6	
35-13	P-41		墳底	骨角器	長さ6.4幅0.65重さ1.7	
35-14	P-41		墳底	骨角器	長さ(5.0)幅0.75重さ1.3	
35-15	P-41	38	墳底	骨角器	長さ(3.3)幅0.85重さ1.0	
35-16	P-41	23	墳底	骨角器	長さ(4.0)幅0.9重さ1.1	
35-17	P-41	40	墳底	骨角器	長さ(5.0)幅0.4重さ1.7	
35-18	P-41		墳底	骨角器	長さ(4.0)幅0.7重さ0.9	
35-19	P-41		墳底	骨角器	長さ(4.4)幅0.8重さ1.2	
35-20	P-41		墳底	骨角器	長さ(3.9)幅0.9重さ1.3	
35-21	P-41		墳底	骨角器	長さ(4.0)幅0.65重さ1.0	
35-22	P-41	5	墳底	骨角器	長さ(4.7)幅1.0厚さ0.6重さ1.5	
35-23	P-41		墳底	骨角器	長さ(6.0)幅1.3厚さ0.5重さ2.3	
35-24	P-41		墳底	骨角器	長さ3.1幅1.0厚さ0.4重さ0.7	
35-25	P-41		墳底	骨角器	長さ1.3幅(0.9)厚さ0.6重さ0.3	
35-26	P-41	24	墳底	骨角器	長さ3.2幅0.1厚さ0.2重さ0.6	
36-27	P-41		墳底	骨角器	長さ15.3幅0.9重さ2.2	
36-28	P-41		墳底	骨角器	長さ(13.7)幅0.8重さ5.1	
36-29	P-41		墳底	骨角器	長さ(13.0)幅0.8重さ5.3	
36-30	P-41		墳底	骨角器	長さ(9.5)幅0.8重さ3.6	
36-31	P-41		墳底	骨角器	長さ(8.0)幅0.6重さ2.2	
36-32	P-41		墳底	骨角器	長さ(6.4)幅1.0厚さ0.5重さ3.1	
36-33	P-41		墳底	骨角器	長さ(3.5)幅0.5重さ0.5	
36-34	P-41		墳底	骨角器	長さ(4.4)幅0.6重さ0.9	
36-35	P-41		墳底	骨角器	長さ(6.8)幅0.65重さ2.4	
36-36	P-41		墳底	骨角器	長さ(6.5)幅0.7重さ2.4	
36-37	P-41		墳底	骨角器	長さ(6.7)幅0.8重さ2.0	
36-38	P-41		墳底	骨角器	長さ(8.4)幅0.6重さ3.3	
36-39	P-41		墳底	骨角器	長さ(11.6)幅0.6重さ4.0	
36-40	P-41		墳底	骨角器	長さ(8.2)幅0.6重さ4.1	
36-41	P-41		墳底	骨角器	長さ(10.2)幅0.7重さ4.3	
36-42	P-41		墳底	骨角器	長さ(9.0)幅0.7重さ3.2	
36-43	P-41		墳底	骨角器	長さ(7.6)幅0.65重さ2.0	
36-44	P-41		墳底	骨角器	長さ(7.1)幅0.6重さ2.6	
36-45	P-41		墳底	骨角器	長さ(11.2)幅0.65重さ4.5	
36-46	P-41		墳底	骨角器	長さ(8.7)幅0.7重さ3.5	
36-47	P-41		墳底	骨角器	長さ(9.6)幅0.7重さ4.0	
36-48	P-41		墳底	骨角器	長さ(7.5)幅0.6重さ2.9	
36-49	P-41		墳底	骨角器	長さ(6.4)幅0.6重さ2.8	
37-50	P-41		墳底	骨角器	長さ(6.2)幅0.6重さ1.6	
37-51	P-41		墳底	骨角器	長さ(5.2)幅0.7重さ2.3	

図版No. 遺物No.	出土遺構	取り上げNo.	層位	分類・名称	計測値(cm)(g)	備考
37-52	P-41		墳底	骨角器	長さ(7.5)幅0.7重さ3.1	
37-53	P-41		墳底	骨角器	長さ(5.9)幅0.6重さ2.4	
37-54	P-41		墳底	骨角器	長さ(6.0)幅0.5重さ2.4	
37-55	P-41		墳底	骨角器	長さ(5.5)幅0.5重さ1.8	
37-56	P-41		墳底	骨角器	長さ(5.1)幅0.7重さ2.7	
37-57	P-41	㉓	墳底	骨角器	長さ(4.2)幅0.5重さ1.7	
37-58	P-41		墳底	骨角器	長さ(4.0)幅0.6重さ1.6	
37-59	P-41	30	墳底	鉄製品	全長9.6骨部6.1幅1.5厚さ1.6	
37-60	P-41		覆土	陶磁器	口径16.0器高(3.5)	
37-61	P-41		覆土	陶磁器	口径7.8器高(6.5)	
37-62	P-41		覆土	陶磁器	底径4.9器高(1.7)	
37-63	P-41	㉔	墳底	鉄製品	全長(8.5)幅0.9厚さ0.4	
37-64	P-41	⑥	墳底	鉄鏃	全長9.3鏃先2.5幅1.8厚さ0.5	
37-65	P-41	29	墳底	鉄鏃	全長(11.5)鏃先2.3幅1.15厚さ0.2	
37-66	P-41	①	墳底	鉄製品	全長15.1幅1.1厚さ1.0	
37-67	P-41	③	墳底	鉄製品	全長9.6幅0.8厚さ0.8	
37-68	P-41	⑩	墳底	鉄製品	全長6.6幅0.6厚さ0.6	
37-69	P-41		墳底	鉄製品	全長4.5幅0.7厚さ0.6	
37-70	P-41	㉕	墳底	鉄製品	全長8.8幅0.6厚さ0.5	
37-71	P-41		墳底	鉄製品	全長8.0幅1.6厚さ0.4	
38-72	P-41		墳底	太刀	全長61.8刃長53.1刃幅3.5刃厚1.2	
38-73	P-41	㉖	墳底	刀金具	長さ4.1幅2.6厚さ0.1	
38-74	P-41	⑨	墳底	刀子	全長(30.3)刃長(23.6)厚さ(0.5)	
38-75	P-41	①	墳底	刀子	全長(20.1)厚さ(0.3)	
38-76	P-41	④	墳底	刀子	全長(20.5)刃長(16.0)厚さ0.3	
39-1	P-42		墳底	鏡	直径9.7	
39-2	P-42		墳底	鏡箱	長さ(11.8)幅(11.1)	
39-3	P-42		墳底	刀子	全長15.6刃長10.8厚さ0.8	
32-1	P-43		覆土	土器	拓本	胴部1/3
40-1	P-44	①	墳底	土器	口径13.5底径(5.0)器高18.0	
40-1	P-45		覆土	土器	拓本	口縁部1/2
40-2	P-45	③	覆土	垂飾	長さ2.6幅2.1厚さ1.1重さ4.0	コハク
40-3	P-45	①	覆土	垂飾	長さ(2.2)幅2.3厚さ0.7重さ2.3	コハク
40-4	P-45		覆土	R.F	長さ3.7幅1.6厚さ0.4重さ0.8	黒曜石
40-5	P-45		覆土	R.F	長さ6.4幅2.9厚さ0.8重さ15.0	頁岩
41-1	P-47		覆土	石槍	長さ6.3幅1.8厚さ0.5重さ5.5	頁岩
41-2	P-47		覆土	石槍	長さ6.1幅1.9厚さ0.6重さ6.6	頁岩
41-3	P-47		覆土	石鏃	長さ4.1幅1.9厚さ0.5重さ3.5	頁岩
41-4	P-47		覆土	石鏃	長さ4.5幅1.8厚さ0.6重さ4.6	頁岩
41-1	P-48	②	墳底	土器	胴径6.2底径4.1器高(6.1)	
41-2	P-48	④	墳底	石鏃	長さ(4.5)幅1.2厚さ0.45重さ1.7	頁岩
41-3	P-48	⑤	墳底	石鏃	長さ(3.6)幅1.1厚さ0.5重さ1.2	黒曜石

図版No. 遺物No.	出土遺構	取り上げNo.	層位	分類・名称	計測値(cm)(g)	備考
42-1	P-52		覆土	土器	拓本	胴部1/3
42-2	P-52		覆土	石鏃	長さ(2.9)幅1.3厚さ0.3重さ0.8	黒曜石
42-3	P-52		覆土	石錐	長さ6.5幅1.9厚さ0.5重さ8.2	頁岩
42-1	P-53	①	覆土	土器	口径(13.2)器高(6.5)	
42-2	P-53	②	覆土	石斧	長さ13.5幅5.6厚さ3.2重さ397	泥岩
44-1	P-58		覆土	土器	口径(8.5)胴径(9.8)器高(8.5)	
45-1	P-59	④	覆土	土器	口径13.5底径(6.1)器高17.2	
45-2	P-59	一括	覆土	土器	口径(16.6)器高(23.5)	
45-3	P-59		覆土	石斧	長さ9.2幅4.2重さ125厚さ1.5	泥岩
47-1	P-68		覆土	土器	口径13.0胴径15.2底径6.0器高17.3	
48-1	H-1		覆土	土器	口径(11.2)器高(9.8)	
48-2	H-1	①	覆土	R.F	長さ4.1幅3.6厚さ0.8重さ9.6	頁岩
49-3	H-1		覆土	石鏃	長さ4.8幅2.0厚さ0.8重さ7.0	頁岩
49-4	H-1		覆土	石槍	長さ5.1幅2.5厚さ0.6重さ6.8	頁岩
49-5	H-1		覆土	砥石	長さ12.3幅5.1厚さ3.3重さ165	凝灰岩
49-6	H-1	⑥	覆土	砥石	長さ15.6幅4.2厚さ2.5重さ305	泥岩
49-1	H-3		覆土	土器	拓本	口縁部1/3
49-2	H-3		覆土	土器	拓本	胴部1/3
49-3	H-3		覆土	石鏃	長さ2.2幅1.1厚さ0.4重さ0.8	黒曜石
49-4	H-3		覆土	削器	長さ5.4幅2.7厚さ0.7重さ9.4	頁岩
51-1	MO-10		覆土	土器	拓本	胴部1/3
51-2	MO-10		覆土	土器	拓本	口縁部1/3
51-3	MO-10	④	覆土	銅製品	直径4.0厚さ0.4	
51-4	MO-10	④	覆土	銅製品	直径4.0厚さ0.6	
51-5	MO-10		覆土	キセル(雁首)	長さ6.2直径1.5	
53-1	FP-6	一括		土器	口径(30.0)器高(32.4)	
53-2	FP-6			土器	口径(16.0)器高15.5底径7.0	
53-3	FP-6			土器	底径8.6器高(4.2)	
53-4	FP-6	一括		土器	底径(7.0)器高(4.5)	
53-5	FP-6			土器	拓本	口縁部1/3
53-6	FP-6			土器	拓本	口縁部1/3
53-7	FP-6			土器	拓本	胴部1/3
53-8	FP-6			石鏃	長さ3.7幅1.7厚さ0.5重さ2.3	黒曜石
50-1	木枠遺構			キセル	長さ(14.0)	
50-2	木枠遺構			指輪	径2.3	
50-3	木枠遺構			指輪	径2.0	
50-4	木枠遺構			銅製品	径3.4厚さ1.1	
50-5	木枠遺構			古銭	径2.4孔径0.5厚さ0.1重さ1.6	
55-1	SM-1			石製玉	径0.5口径0.15厚さ0.3重さ0.1	
55-1	SM-3		貝集中	骨角器(海獣骨)	長さ23.0幅3.3厚さ2.7重さ7.65	

図版/NO.	出土グリッド	層位	計測値 (cm) (g)	名称/区分	備考
56- 1	Z-29-17	IV	底径 8.4 器高 (27.6)	土器	
56- 2	b-29-07	III	口径 (23.8) 底径 (8.0) 器高 5.6	土器	
56- 3	Z-29-17	IV	口径 (23.8) 器高 (15.9)	土器	
56- 4	a-29-09	IV	口径 (22.0) 胴径 (23.4) 器高 (24.8)	土器	
56- 5	c-29-14		口径 (18.4) 底径 (7.0) 器高 10.6	土器	
57- 6	X-28-16	III	口径 (21.8) 器高 (18.6)	土器	
57- 7	d-29-38		口径 (10.0) 底径 5.0 器高 (13.0)	土器	
57- 8	X-29-24	III	口径 (6.5) 底径 (6.2) 器高 8.7	土器	
57- 9	W-29-08	III	口径 (6.0) 底径 (1.9) 器高 3.4	土器	1/2
57- 10	W-29-20	III	口径 (14.6) 底径 (6.5) 器高 13.9	土器	
57- 11	V-29-02		胴径 (27.5) 底径 10.6 器高 25.7	土器	
57- 12	X-28-12	IV	口径 (11.0) 胴径 22.0 器高 (21.5)	土器	
57- 13	W-29-25		口径 4.4 胴径 7.1 底径 4.5 器高 9.8	土器	
57- 14	W-30-05	II	口径 1.0 胴径 6.3 底径 3.6 器高 7.2	土器	
58- 15	Y-29-14	IV	口径 (25.1) 器高 (23.0)	土器	
58- 16	Z-29-17 他	III	口径 (17.4) 胴径 (18.6) 器高 (13.5)	土器	
58- 17	C-30-04	III	口径 (29.6) 胴径 (32.0) 器高 (29.0)	土器	
59- 18	Z-30-07	III	口径 (15.5) 胴径 (16.4) 器高 (18.5)	土器	
59- 19	Y-30-04	IV	口径 (27.2) 胴径 (29.4) 器高 (19.0)	土器	
59- 20	C-30-06	II	口径 (14.6) 器高 (6.5)	土器	
59- 21	カクラン		器高 (7.0)	土器片	1/2
59- 22	X-29-24 一括	III	口径 (34.9) 器高 (14.6)	土器	
60- 23	b-29-14 一括	III	口径 (44.0) 器高 26.7	土器	
60- 24	X-28-17、22	IV	口径 (23.0) 器高 (9.0)	土器	
60- 25	W-29-07、12	II	長さ 8.7 幅 9.8	土器片	1/2
60- 26	X-28-12 一括	II	口径 (19.9) 器高 (15.3)	土器	1/2
61- 27	W-28-06 他	IV	口径 (29.8) 器高 (9.2)	土器	
61- 28	b-29-15	III	胴径 (20.4) 器高 (16.6)	土器	
61- 29	c-30-03	III	底径 10.4 器高 (13.3)	土器	
61- 30	a-30-07	III	底径 4.6 器高 (4.0)	土器	
61- 31	Z-30-09	III	底径 4.7 器高 (5.8)	土器	
62- 32	X-29-21	II	底径 (9.0) 器高 (11.8)	土器	
62- 33	X-28-04	II	底径 (6.6) 器高 (3.2)	土器	
62- 34	Z-27-06	II	胴径 (10.4) 底径 (8.1) 器高 (14.6)	土器	
62- 35	a-29		底径 7.4 器高 (4.6)	土器	
62- 36	W-29-07		底径 3.6 器高 (3.5)	土器	
62- 37	c-29-12	III	底径 (6.9) 器高 (3.5)	土器	
62- 38	Y-29-25	III	底径 (3.6) 器高 (2.5)	土器	
62- 39	W-28-02	II	長さ (5.8) 幅 (2.2)	土器片	
62- 40	W-29-12	III	長さ (3.5) 幅 (3.2)	土器片	
63- 41	X-30-01	III	拓本	土器	口縁部
63- 42	X-29-15	III	拓本	土器	口縁部
63- 43	W-28		拓本	土器	口縁部



図版/NO.	出土グリッド	層位	計測値 (cm) (g)	名称/区分	備考
63-44	b-29-23	II	拓本	土器	口縁部
63-45	X-29-18	III	拓本	土器	口縁部
63-46	W-28-04	III	拓本	土器	口縁部
63-47	b-29-02	III	拓本	土器	口縁部
63-48	Z-29-17 一括	IV	拓本	土器	口縁部
63-49	b-29-09	III	拓本	土器	口縁部
63-50	X-30-02	III	拓本	土器	口縁部
63-51	W-30-03	II	拓本	土器	口縁部
63-52	b-29-20	III	拓本	土器	口縁部
63-53	b-29-20	III	拓本	土器	口縁部
64-54	a-29-14	III	拓本	土器	口縁部
64-55	X-30-01	II	拓本	土器	口縁部
64-56	b-30-03	III	拓本	土器	口縁部
64-57	C-29-23	III	拓本	土器	口縁部
64-58	W-29-12	IV	拓本	土器	口縁部
64-59	b-30-02	II	拓本	土器	口縁部
64-60	C-29-11	II	拓本	土器	口縁部
64-61	C-29-27	III	拓本	土器	口縁部
64-62	Y-29-14	III	拓本	土器	口縁部
64-63	C-29-24	III	拓本	土器	口縁部
64-64	W-29-09	II	拓本	土器	口縁部
64-65	W-29-13, 17	II	拓本	土器	口縁部
65-66	C-29-23	II	拓本	土器	口縁部
65-67	C-29-08	III	拓本	土器	口縁部
65-68	C-29-16	II	拓本	土器	口縁部
65-69	a-29-17, 18	III	拓本	土器	口縁部
65-70	X-29-24	III	拓本	土器	口縁部
65-71	W-28-17	IV	拓本	土器	口縁部
65-72	W-28-15, 19, 20	II、III	拓本	土器	口縁部
65-73	W-30-09	III	拓本	土器	口縁部
66-74	W-29-24	II	拓本	土器	口縁部
66-75	C-29-13	II	拓本	土器	口縁部
66-76	d-29-19, 21	III	拓本	土器	口縁部
66-77	W-28-03, 05	III、II	拓本	土器	口縁部
66-78	W-28-03	III	拓本	土器	口縁部
66-79	W-29-04	III	拓本	土器	口縁部
66-80	b-29-10	IV	拓本	土器	口縁部
66-81	C-30		拓本	土器	口縁部
66-82	b-30-08	III	拓本	土器	口縁部
66-83	W-29-20	III	拓本	土器	口縁部
66-84	b-29-21, 22	III	拓本	土器	口縁部
66-85	W-28-16	III	拓本	土器	口縁部
66-86	C-29-11	II	拓本	土器	口縁部

図版/NO.	出土グリッド	層位	計測値 (cm) (g)	名称/区分	備考
67-87	X-28-08 他	II	拓本	土器	口縁部
67-88	X-28-03	III	拓本	土器	口縁部
67-89	W-28-22 他	III	拓本	土器	胴部
67-90	W-28-03	III	拓本	土器	胴部
67-91	W-28-03	III	拓本	土器	胴部
67-92	W-28-07	IV	拓本	土器	胴部
67-93	W-28-19 他	III、II	拓本	土器	胴部
67-94	Y-29-21	III	拓本	土器	胴部
67-95	a-30-10	III	拓本	土器	胴部
67-96	W-28-03 他	III、II	拓本	土器	胴部
68-97	W-28-05	II	拓本	土器	胴部
68-98	W-28-04	III	拓本	土器	胴部
68-99	W-28-23	IV	拓本	土器	胴部
68-100	b-29-22	II	拓本	土器	胴部
68-101	a-30-09	III	拓本	土器	胴部
68-102	W-30-04 一括	II	拓本	土器	胴部
68-103	c-30-04	III	拓本	土器	胴部
68-104	X-29-20	III	拓本	土器	胴部
68-105	W-29-25	II	拓本	土器	胴部
68-106	W-29-08	II	拓本	土器	胴部
68-107	c-30-09	III	拓本	土器	胴部
69-108	W-30-09	III	拓本	土器	胴部
69-109	W-30-04	III	拓本	土器	胴部
69-110	X-28-06	II	拓本	土器	胴部
69-111	W-28-06	II	拓本	土器	胴部
69-112	W-29-04		拓本	土器	底部(赤色顔料付着)
69-113	X-28-16	III	拓本	土器	底部
69-114	カクラン		拓本	土器	底部
69-115	X-30-06	II	拓本	土器	底部
69-116	W-30-01 他	III	拓本	土器	底部
70-117	W-28-23	IV	長さ 4.5 幅 1.2 厚さ 0.4 重さ 1.5	石鏃	頁岩
70-118	W-28-16	IV	長さ 4.0 幅 0.7 厚さ 0.4 重さ 1.0	石鏃	黒曜石
70-119	X-29-17	III	長さ 3.4 幅 1.2 厚さ 0.4 重さ 0.8	石鏃	頁岩
70-120	W-29-14	III	長さ 4.0 幅 1.0 厚さ 0.5 重さ 1.4	石鏃	黒曜石
70-121	X-30-04	II	長さ (3.5) 幅 1.4 厚さ 0.4 重さ 1.2	石鏃	頁岩
70-122	W-29-07	II	長さ (3.7) 幅 1.3 厚さ 0.4 重さ 1.7	石鏃	頁岩
70-123	X-28-21	III	長さ (3.4) 幅 1.2 厚さ 0.4 重さ 1.0	石鏃	黒曜石
70-124	W-28-03	III	長さ (3.5) 幅 1.2 厚さ 0.5 重さ 1.2	石鏃	黒曜石
70-125	W-29	III	長さ 3.7 幅 1.1 厚さ 0.35 重さ 1.2	石鏃	黒曜石
70-126	W-28-03	III	長さ (3.9) 幅 1.1 厚さ 0.4 重さ 1.4	石鏃	頁岩
70-127	W-28-23	IV	長さ (3.5) 幅 1.2 厚さ 0.5 重さ 1.2	石鏃	黒曜石
70-128	Y-29-10	IV	長さ (3.6) 幅 1.3 厚さ 0.4 重さ 1.5	石鏃	黒曜石
70-129	W-28-18	II	長さ 3.2 幅 1.3 厚さ 0.5 重さ 1.2	石鏃	黒曜石

図版/NO.	出土グリッド	層位	計測値 (cm) (g)	名称/区分	備考
70-130	W-29-04	II	長さ (3.0) 幅 2.0 厚さ 0.7 重さ 3.0	石鏃	黒曜石
70-131	W-28-15	III	長さ 2.3 幅 0.95 厚さ 0.3 重さ 0.6	石鏃	黒曜石
70-132	W-29-02	II	長さ 2.7 幅 1.3 厚さ 0.4 重さ 1.2	石鏃	黒曜石
70-133	X-28-23	II	長さ 2.4 幅 1.4 厚さ 0.5 重さ 1.1	石鏃	黒曜石
70-134	X-30	III	長さ 2.7 幅 1.0 厚さ 0.5 重さ 0.8	石鏃	黒曜石
70-135	d-29-16	III	長さ 4.0 幅 1.5 厚さ 0.5 重さ 2.0	石鏃	黒曜石
70-136	a-29-15	III	長さ 4.5 幅 2.0 厚さ 0.4 重さ 2.7	石鏃	黒曜石
70-137	Z-29-12	III	長さ 3.5 幅 1.8 厚さ 0.4 重さ 1.8	石鏃	黒曜石
70-138	Z-29-25	III	長さ 4.3 幅 1.5 厚さ 0.4 重さ 2.0	石鏃	黒曜石
70-139	Y-29-25	IV	長さ 4.0 幅 2.3 厚さ 0.6 重さ 3.8	石鏃	黒曜石
70-140	d-29-13	III	長さ 3.0 幅 1.6 厚さ 0.5 重さ 1.8	石鏃	黒曜石
70-141	c-29-18	IV	長さ 2.7 幅 1.6 厚さ 0.4 重さ 1.0	石鏃	石英
70-142	Y-30-01	III	長さ 2.5 幅 1.5 厚さ 0.4 重さ 1.2	石鏃	黒曜石
70-143	X-30	III	長さ 2.1 幅 1.4 厚さ 0.3 重さ 0.7	石鏃	黒曜石
70-144	c-29-19	III	長さ 2.2 幅 1.5 厚さ 0.4 重さ 0.7	石鏃	黒曜石
70-145	W-27-11	III	長さ 1.8 幅 1.4 厚さ 0.3 重さ 0.5	石鏃	黒曜石
70-146	X-29-07	III	長さ 2.1 幅 1.2 厚さ 0.4 重さ 0.6	石鏃	黒曜石
70-147	X-30	III	長さ 3.5 幅 2.1 厚さ 0.45 重さ 2.3	石鏃	黒曜石
70-148	W-30-05	II	長さ 3.9 幅 1.4 厚さ 0.5 重さ 2.0	石鏃	黒曜石
70-149	c-29-11	III	長さ 7.0 幅 3.5 厚さ 0.9 重さ 16.8	石槍	頁岩
70-150	a-30-04	II	長さ 7.6 幅 4.1 厚さ 1.0 重さ 27.6	石槍	頁岩
70-151	W-28-17	III	長さ 6.3 幅 3.2 厚さ 0.8 重さ 10.2	石槍	頁岩
70-152	X-29-25	III	長さ (4.0) 幅 2.8 厚さ 0.5 重さ 7.1	石槍	黒曜石
70-153	X-29-10	II	長さ 3.5 幅 0.8 厚さ 0.5 重さ 1.1	石錐	頁岩
70-154	c-29-12	III	長さ 2.6 幅 1.0 厚さ 0.6 重さ 2.0	石錐	頁岩
70-155	b-30-05	IV	長さ 4.9 幅 1.9 厚さ 0.6 重さ 5.9	石錐	頁岩
70-156	b-29-14	III	長さ 4.0 幅 1.55 厚さ 0.3 重さ 4.2	石錐	頁岩
70-157	c-29-18	IV	長さ 5.4 幅 2.0 厚さ 0.7 重さ 10.8	石錐	頁岩
71-158	Y-30-03	II	長さ 4.6 幅 2.1 厚さ 0.6 重さ 4.5	ナイフ	黒曜石
71-159	W-28-19	II	長さ 5.8 幅 2.6 厚さ 0.9 重さ 12.0	ナイフ	頁岩
71-160	X-28-16	IV	長さ 4.8 幅 3.7 厚さ 0.9 重さ 17.6	ナイフ	頁岩
71-161	Z-29-21	III	長さ 5.9 幅 3.5 厚さ 0.6 重さ 14.6	ナイフ	頁岩
71-162	a-30-08	III	長さ 7.1 幅 4.2 厚さ 0.7 重さ 21.2	ナイフ	頁岩
71-163	d-30-01	III	長さ 7.8 幅 3.3 厚さ 0.8 重さ 23.2	ナイフ	頁岩
71-164	c-29-11	II	長さ 8.6 幅 2.2 厚さ 0.6 重さ 15.2	ナイフ	頁岩
71-165	a-29-05	III	長さ 8.0 幅 2.9 厚さ 0.9 重さ 15.8	ナイフ	頁岩
71-166	W-29-13	IV	長さ 9.1 幅 2.8 厚さ 0.8 重さ 19.0	ナイフ	頁岩
71-167	c-29-13	III	長さ 6.8 幅 2.7 厚さ 0.7 重さ 14.4	ナイフ	頁岩
71-168	X-30-05	III	長さ 7.0 幅 3.2 厚さ 0.7 重さ 17.6	ナイフ	頁岩
71-169	X-30-02	III	長さ 3.3 幅 2.25 厚さ 0.5 重さ 3.2	削器	黒曜石
71-170	W-30-04	II	長さ 4.9 幅 3.05 厚さ 0.6 重さ 12.6	削器	黒曜石
71-171	X-30	III	長さ 4.1 幅 3.9 厚さ 0.6 重さ 10.3	削器	頁岩
71-172	b-29-22	IV	長さ 7.0 幅 2.4 厚さ 0.7 重さ 12.2	削器	黒曜石

図版/NO.	出土グリッド	層位	計測値 (cm) (g)	名称/区分	備考
71-173	X-30	Ⅲ	長さ 9.5 幅 7.3 厚さ 1.8 重さ 115	削器	頁岩
71-174	X-30	Ⅲ	長さ 8.0 幅 5.4 厚さ 1.9 重さ 7.0	搔器	黒曜石
72-175	c-29-13	Ⅲ	長さ 6.3 幅 3.7 厚さ 0.7 重さ 17.4	削器	頁岩
72-176	c-29-22	Ⅲ	長さ 4.7 幅 2.7 厚さ 1.0 重さ 10.2	削器	黒曜石
72-177	b-30-03	Ⅲ	長さ 4.5 幅 1.6 厚さ 0.8 重さ 7.6	削器	頁岩
72-178	X-28-13	Ⅲ	長さ 6.7 幅 2.9 厚さ 1.1 重さ 29.2	石斧	泥岩
72-179	X-30	Ⅲ	長さ 7.0 幅 2.0 厚さ 0.7 重さ 30.0	石斧	泥岩
72-180	a-29-05	Ⅲ	長さ 8.1 幅 3.6 厚さ 1.25 重さ 63.5	石斧	泥岩
72-181		カクラン	長さ 10.1 幅 4.1 厚さ 1.9 重さ 120	石斧	泥岩
72-182	X-29-21	Ⅱ	長さ 10.0 幅 4.3 厚さ 1.8 重さ 137	石斧	泥岩
73-183	W-28-08	Ⅲ	長さ 12.7 幅 5.5 厚さ 2.6 重さ 315	石斧	泥岩
73-184	W-29-21	Ⅲ	長さ 6.0 幅 5.4 厚さ 3.7 重さ 20.2	石製品	軽石
73-185	a-30-09	Ⅲ	長さ 17.5 幅 7.5 厚さ 3.5 重さ 466	敲石	凝灰岩
73-186	W-29-10	カクラン	長径 1.5 厚さ 0.4 重さ 0.7	平玉	コハク
73-187	W-29	カクラン	長径 (1.8) 厚さ 0.8 重さ 1.9	平玉	コハク
73-188	c-30-06	Ⅲ	長さ 2.1 厚さ 0.8 重さ 1.5	平玉	コハク
73-189	b-29	カクラン	長径 1.7 厚さ 0.6 重さ 1.2	平玉	コハク
74-190	W-29-01	Ⅱ	径 2.2 孔径 0.6 厚さ 0.1 重さ 2.4	古銭	「寛永通宝」
74-191	W-28-16	Ⅲ	径 2.35 孔径 0.65 厚さ 0.1 重さ 2.7	古銭	「寛永通宝」
74-192	c-30	Ⅲ	径 2.4 孔径 0.65 厚さ 0.1 重さ 2.8	古銭	「漢元通宝」
74-193	c-30	Ⅲ	径 2.45 孔径 0.6 厚さ 0.1 重さ 2.9	古銭	「景德元宝」
74-194	X-29	カクラン	径 2.55 孔径 0.65 厚さ 0.1 重さ 2.9	古銭	「景德元宝」 真書
74-195		カクラン	径 2.4 孔径 0.6 厚さ 0.09 重さ 3.4	古銭	「元豊通宝」 行書
74-196	W-30		長さ 17.8 幅 0.7 厚さ 0.5	鏃	
74-197		カクラン	刃長 (17.8) 幅 3.6 厚さ 1.2	刀	
74-198		カクラン	刃長 (8.8) 幅 2.0 厚さ 0.4	刀	
74-199		カクラン	長さ (13.6) 幅 2.6 厚さ 0.2	刀	
74-200		カクラン	長さ (10.2) 幅 3.2 厚さ 0.6	刀	
74-201		カクラン	長径 7.0 厚さ 0.5	鐔	
74-202		カクラン	長径 5.1	鐔	

# 第Ⅲ章 服部地点

## 1. 概要

縄文時代晩期から続縄文時代にかけての土器12,377点・石器204点、中・近世の太刀1点・刀子4点・骨角器31点等、14,002点が検出されている。

遺構と遺物の概要は以下の通りである。

墓壇6基（縄文時代晩期3基、中・近世3基）

土壇12基（縄文時代晩期）

住居址1基（時期不明）

焼土1基（縄文時代晩期）

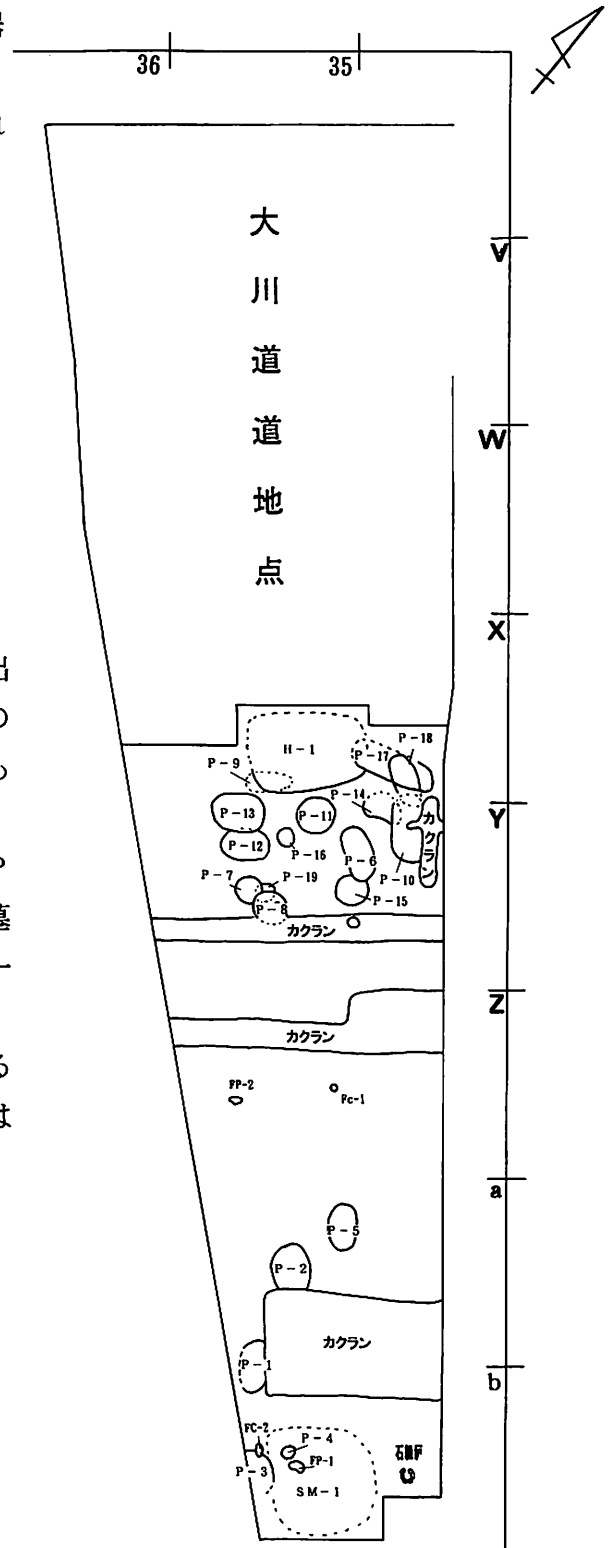
貝塚1基（幕末～近代）

石組炉1基（近代）

縄文時代晩期に属する墓壇・土壇が16基検出されているが、伴出する遺物が少なく、遺構の形態、検出された層位等から時期を決定したものが多い。

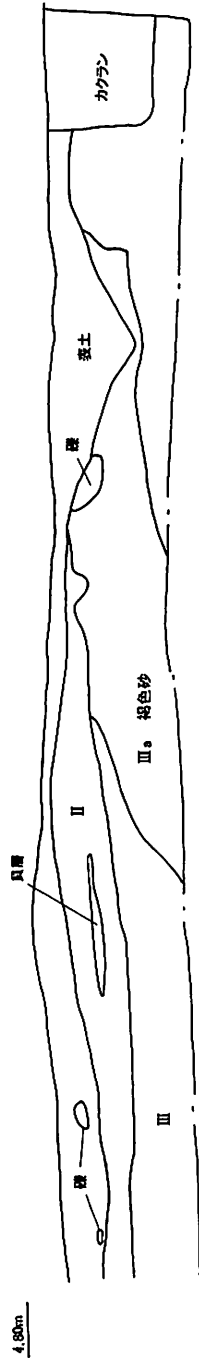
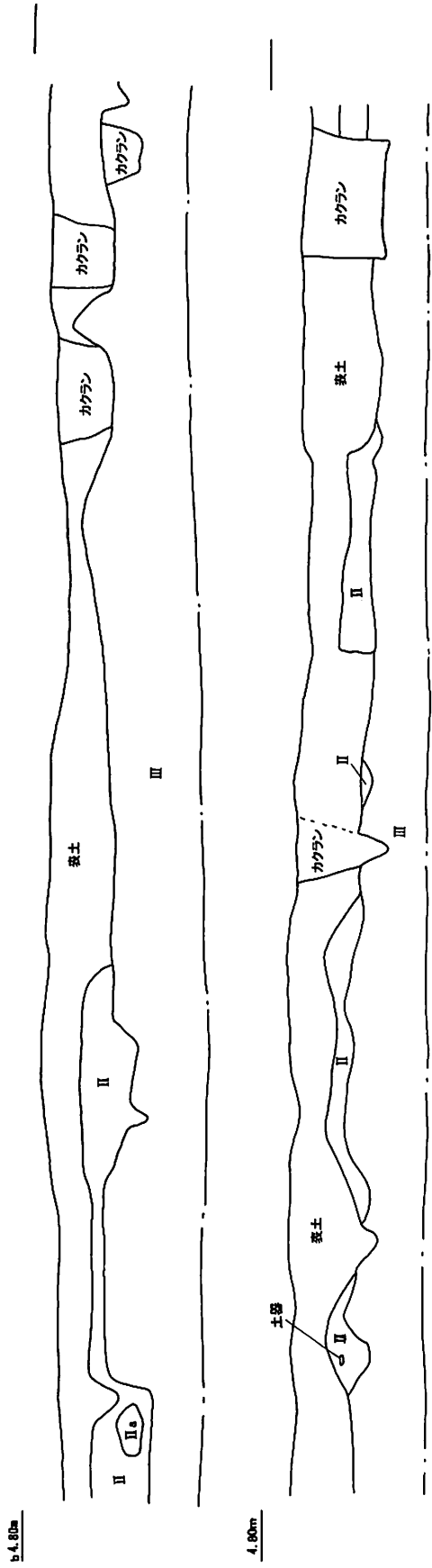
中・近世の墓壇が3基検出されているが、P-9は火葬墓であり、迂回路地点の中世火葬墓であるP-9・41から出土している骨鏃と同一の形態のものが副葬されている。

発掘区北側より住居址が1基検出されているが、床面より遺物は検出されず、属する時期は不明である。

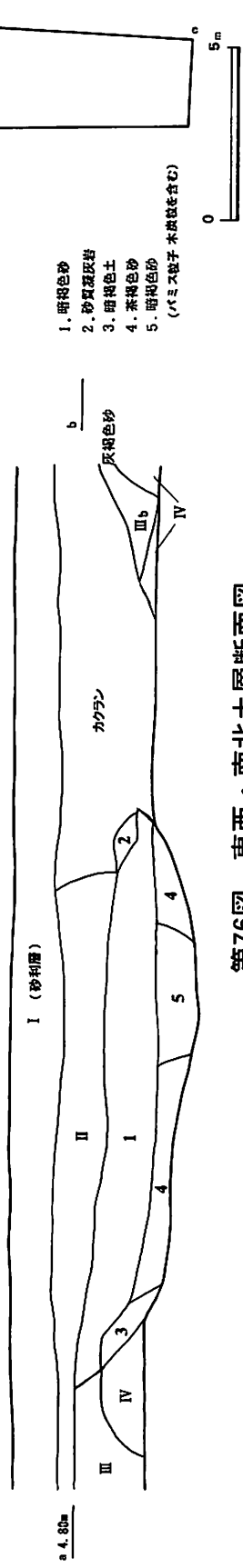


第75図 大川遺跡服部地点遺構配置図

東西土層断面図



南北土層断面図



第76図 東西・南北土層断面図

## 2. 遺構と遺物

### P-1 (第77図)

a-35・b-35グリッドに位置する。直径が約1.2mの円形を呈する土壌である。壙底より縄文時代晩期に属する土器底部が検出している。縄文時代晩期に属する土壌である。

### P-2 (第77図)

a-35グリッドに位置する。長軸方向が北西-南東の約1.5×1.1mの楕円形を呈する土壌である。伴出する遺物は確認されなかったが遺構の形態等から縄文時代晩期に属する土壌と思われる。

### P-3 (第77図)

b-35グリッドに位置する。長軸方向が西北西-東南東の約1.4×1.1mの楕円形を呈する土壌である。壙底には礫が配されている他は伴出する遺物は確認されなかったが遺構の形態等から縄文時代晩期に属する土壌と思われる。

### P-4 (第78図)

b-35グリッドに位置する。長軸方向が北西-南東の約0.5×0.3mの楕円形を呈する土壌である。伴出する遺物は確認されなかったが遺構の形態等から縄文時代晩期に属する土壌と思われる。

### P-5 (第78図)

a-35グリッドに位置する。長軸方向が北北西-南南東の約1.2×0.8mの楕円形を呈する墓壙である。伴出する遺物は確認されなかったが遺構の形態等から縄文時代晩期に属する墓壙と思われる。

### P-6 (第78図)

Y-35グリッドに位置する。長軸方向が北西-南東の約1.4×0.8mの楕円形を呈する土壌である。伴出する遺物は確認されなかったが遺構の形態等から縄文時代晩期に属する土壌と思われる。

### P-7 (第78図)

Y-35グリッドに位置する。直径が約0.7mの円形を呈する土壌である。伴出する遺物は確認されなかったが遺構の形態等から縄文時代晩期に属する土壌である。

### P-8 (第78図)

Y-35グリッドに位置する。直径が約0.8mの円形を呈する土壌である。壙底には2点の礫が配されている。伴出する遺物は確認されなかったが遺構の形態等から縄文時代晩

期に属する土壌と思われる。

P-9 (第79～81図)

X-35グリッドに位置する。長軸方向が北東-南西の約1.9×0.6mの長楕円形を呈する墓壙である。墓壙は焼成を受けており中央には炭化材が2本長軸方向に配置されており木棺状の施設があったと思われる。炭化材の中には焼骨とともに被熱した刀子・骨鏃・中柄が検出されている。遺体の状況から頭位は南西向きであったと思われる。骨鏃より中世から近世初頭にかけての火葬墓である。

P-10 (第82図)

Y-24グリッドに位置する。長軸方向が北西-南東の約2×0.9mの楕円形を呈する墓壙である。遺体は殆ど残っていない状態であるが壙底南東部には刀子と漆器が配されていることから墓壙と判断した。中・近世に属する墓壙である。

P-11 (第83図)

Y-35グリッドに位置する。直径が約0.8mの円形を呈する土壌である。土壌は砂質凝灰岩粗粒によって覆われており、その直下には礫が2点配されている。砂質凝灰岩粗粒によって覆われていることから縄文時代晩期に属する土壌と思われる。

P-12 (第83図)

Y-35グリッドに位置する。長軸方向が東北東-西南西の約1.3×0.9mの楕円形を呈する墓壙である。伴出する遺物は確認されなかったが遺構の形態等から縄文時代晩期に属する墓壙と思われる。

P-13 (第84～85図)

Y-35グリッドに位置する。長軸方向が東北東-西南西の約1.6×1.2mの楕円形を呈する土壌である。土壌上面にはベンガラが散布され、縄文時代晩期中葉に属する一括土器が検出されている。縄文時代晩期中葉に属する土壌である。

P-15 (第86図)

Y-34・35グリッドに位置する。長軸方向が北北東-南南西の約0.9×0.8mの楕円形を呈する土壌である。覆土より礫が検出されている。伴出する遺物は確認されなかったが遺構の形態等から縄文時代晩期に属する土壌と思われる。

P-16 (第86図)

Y-35グリッドに位置する。直径が約0.5mの円形を呈する土壌である。伴出する遺物は確認されなかったが遺構の形態等から縄文時代晩期に属する土壌と思われる。



P-17 (第87図)

X-34・35グリッドに位置する。長軸方向が北東-南西の約2.4×0.9mの長楕円形を呈する墓墳である。墳底より遺体痕跡とともに太刀と刀子が検出されている。近世に属する墓墳である。

P-18 (第86図)

X-35グリッドに位置する。長軸方向が北西-南東の約1.4×0.7mの楕円形を呈する墓墳である。伴出する遺物は確認されなかったが遺構の形態等から縄文時代晩期に属する墓墳である。

P-19 (第86図)

Y-35グリッドに位置する。直径が約0.6mの円形を呈する土壇である。伴出する遺物は確認されなかったが遺構の形態等から縄文時代晩期に属する土壇と思われる。

H-1 (第88図)

X-35グリッドに位置する。2.9×2.1mの楕円形を呈する遺構である。伴出する遺物は確認されず時期不明の遺構である。

SM-1 (第89図)

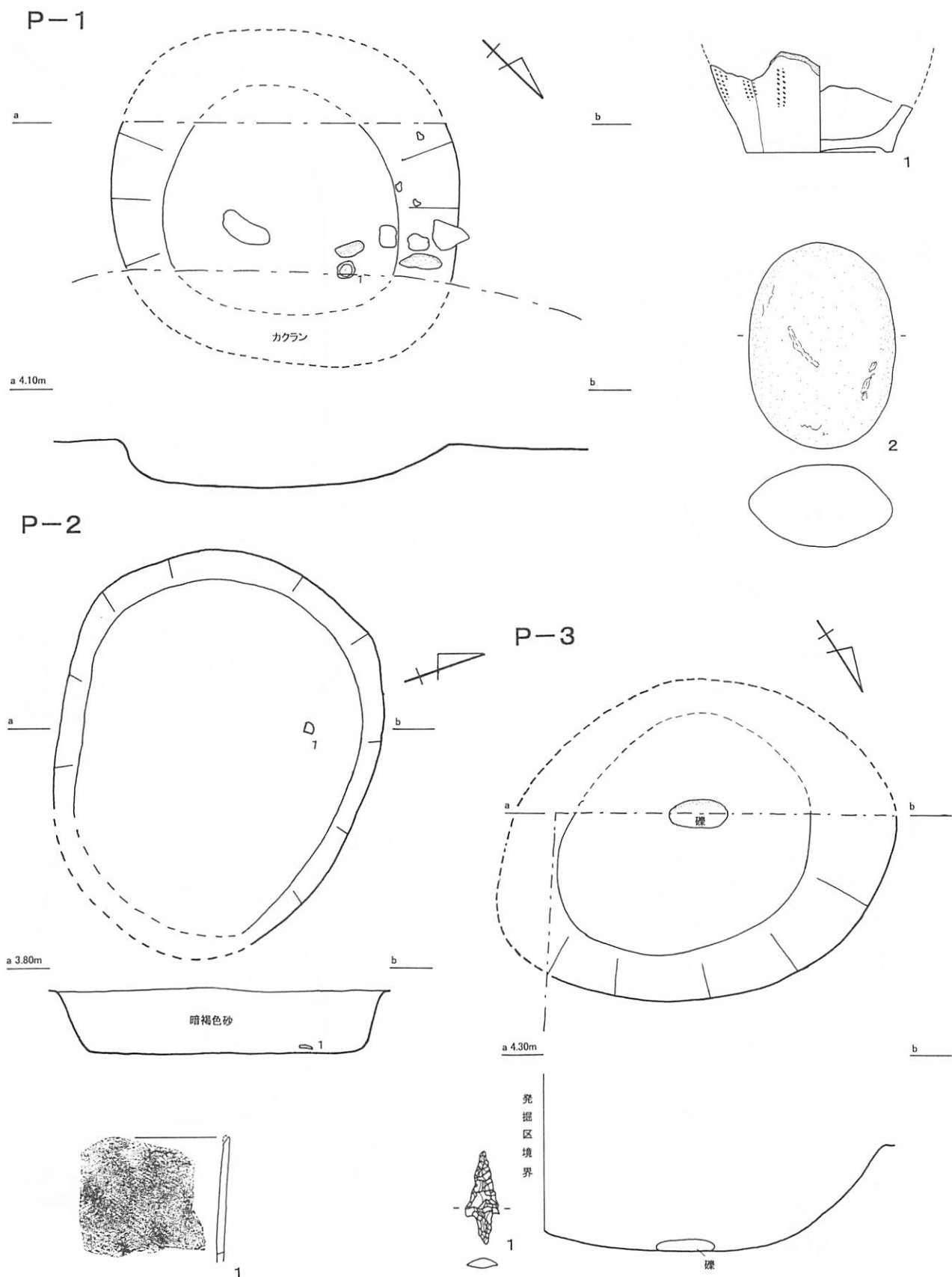
b-35グリッドに位置する。イガイ、コタマガイ等を中心とする貝塚である。端反碗・舟釘・煙管・鉄鍋等が検出されている。遺物より幕末から明治にかけての貝塚と思われる。

石組炉 (第86図)

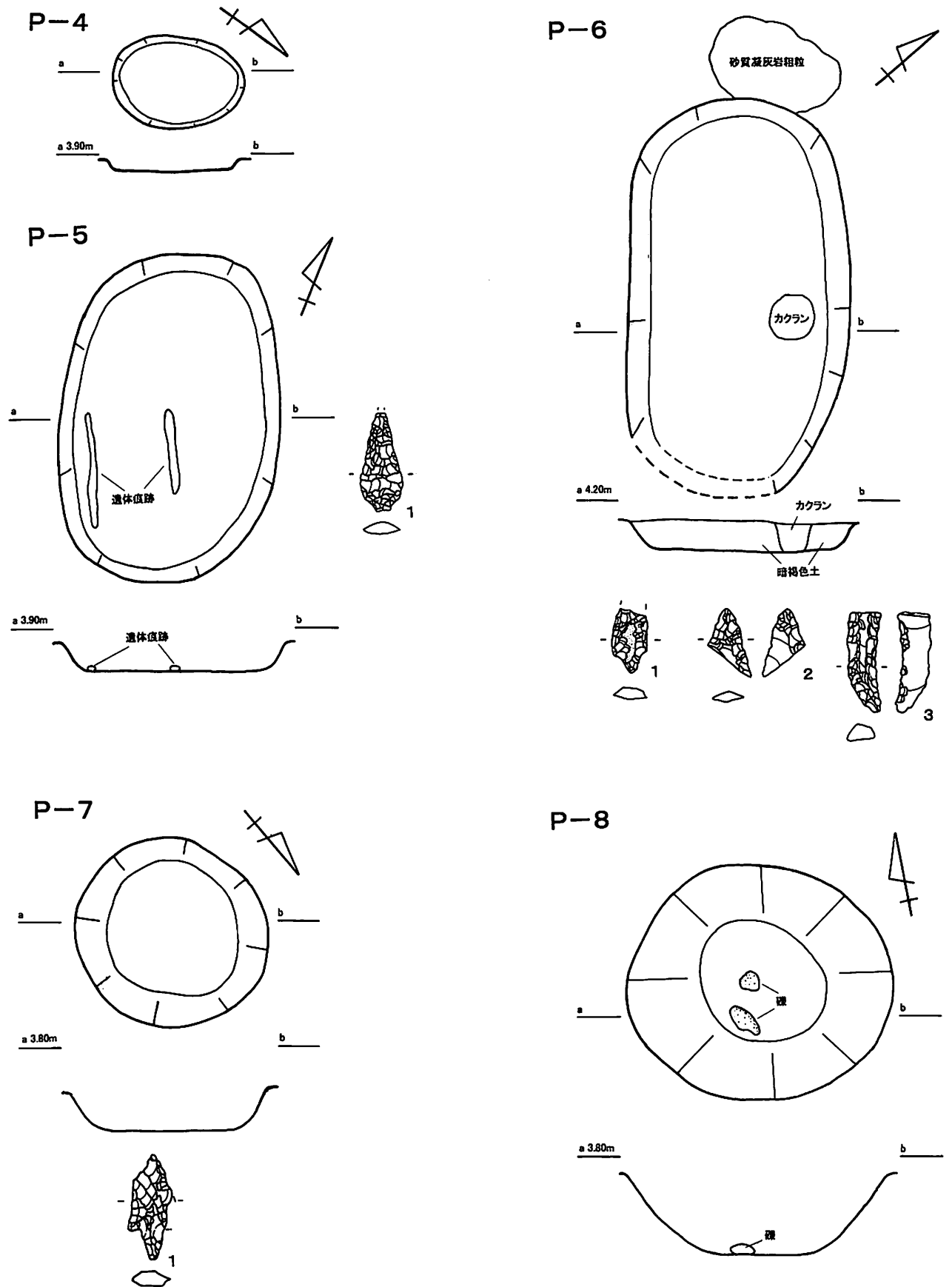
b-35グリッドに位置する直径約0.4mの石組炉である。軟石で構築されており焚口は北北西に造られている。近・現代に属する遺構である。

FP-1 (第86図)

b-35グリッドに位置する0.7×0.3mの焼土である。伴出する遺物は確認されなかったが縄文時代晩期に属する焼土と思われる。

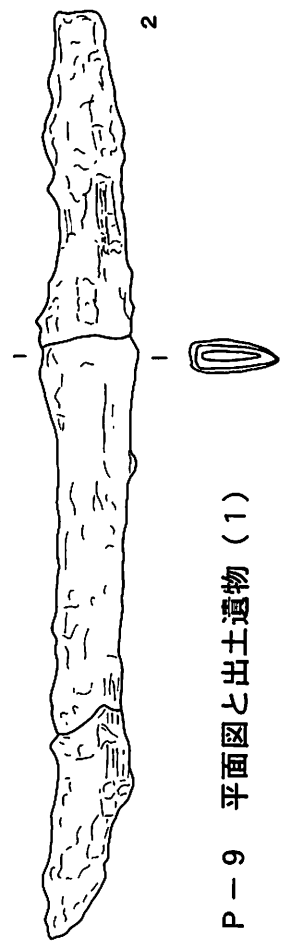
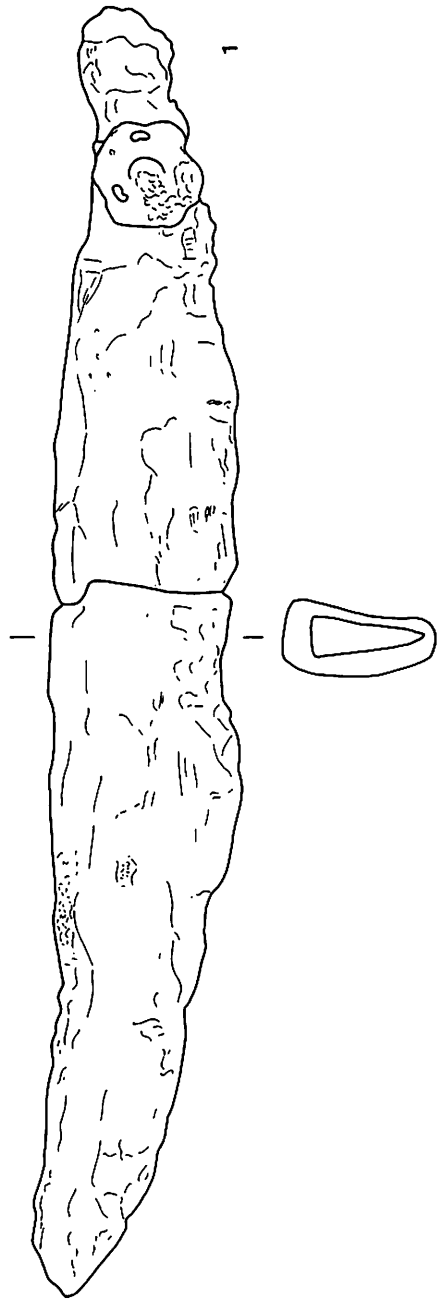
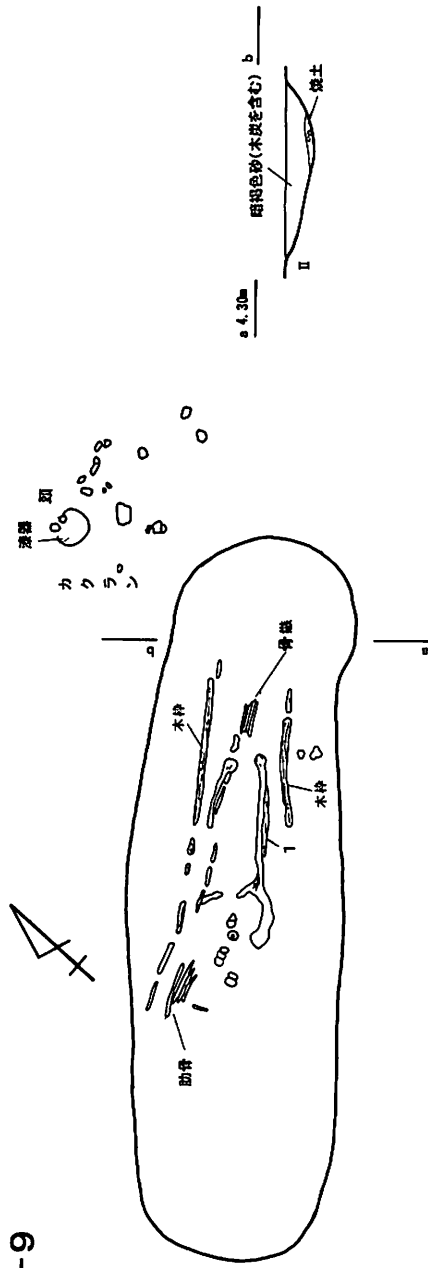


第77図 P-1、2、3 平面図と出土遺物



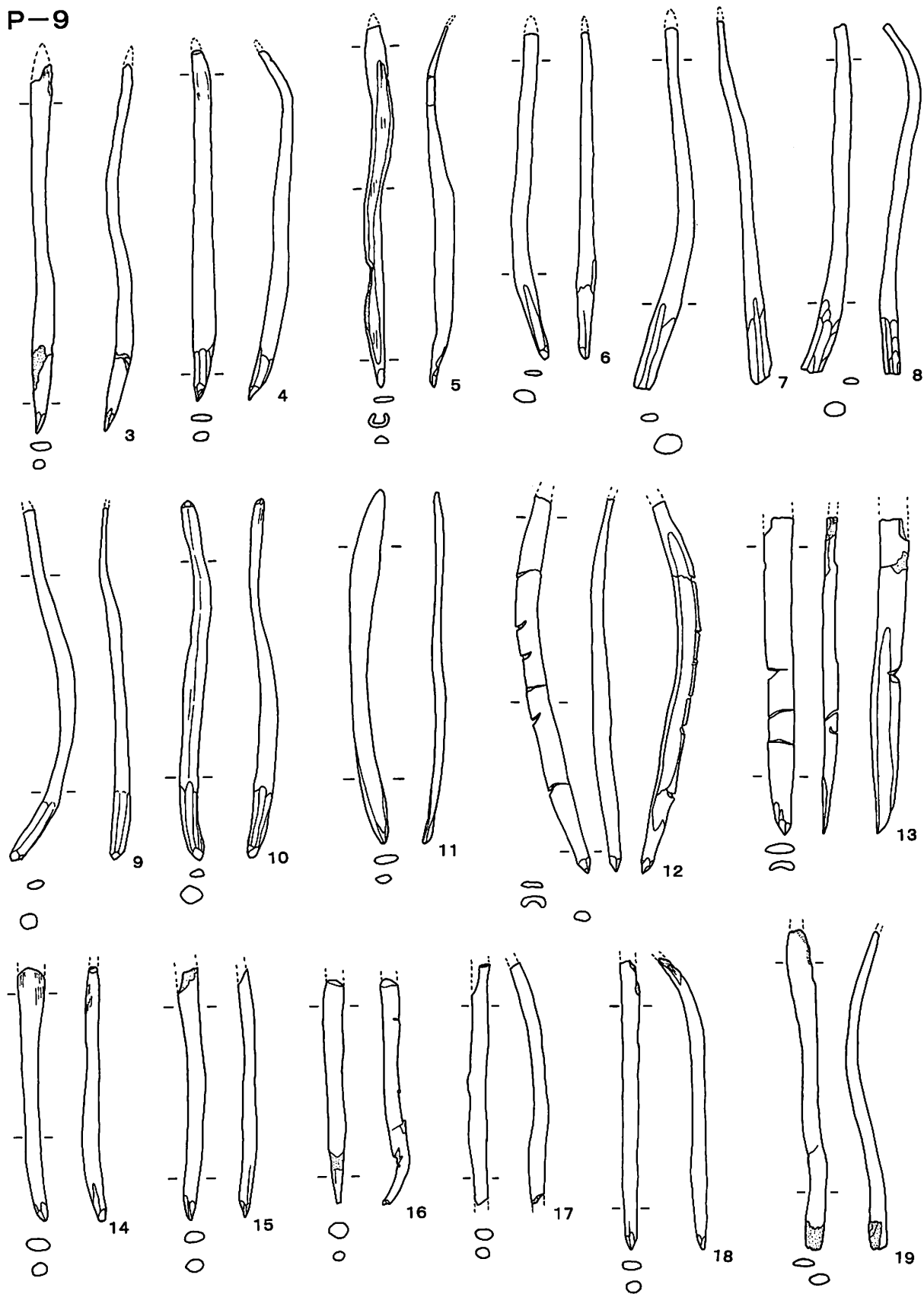
第78図 P-4、5、6、7、8 平面図と出土遺物

P-9



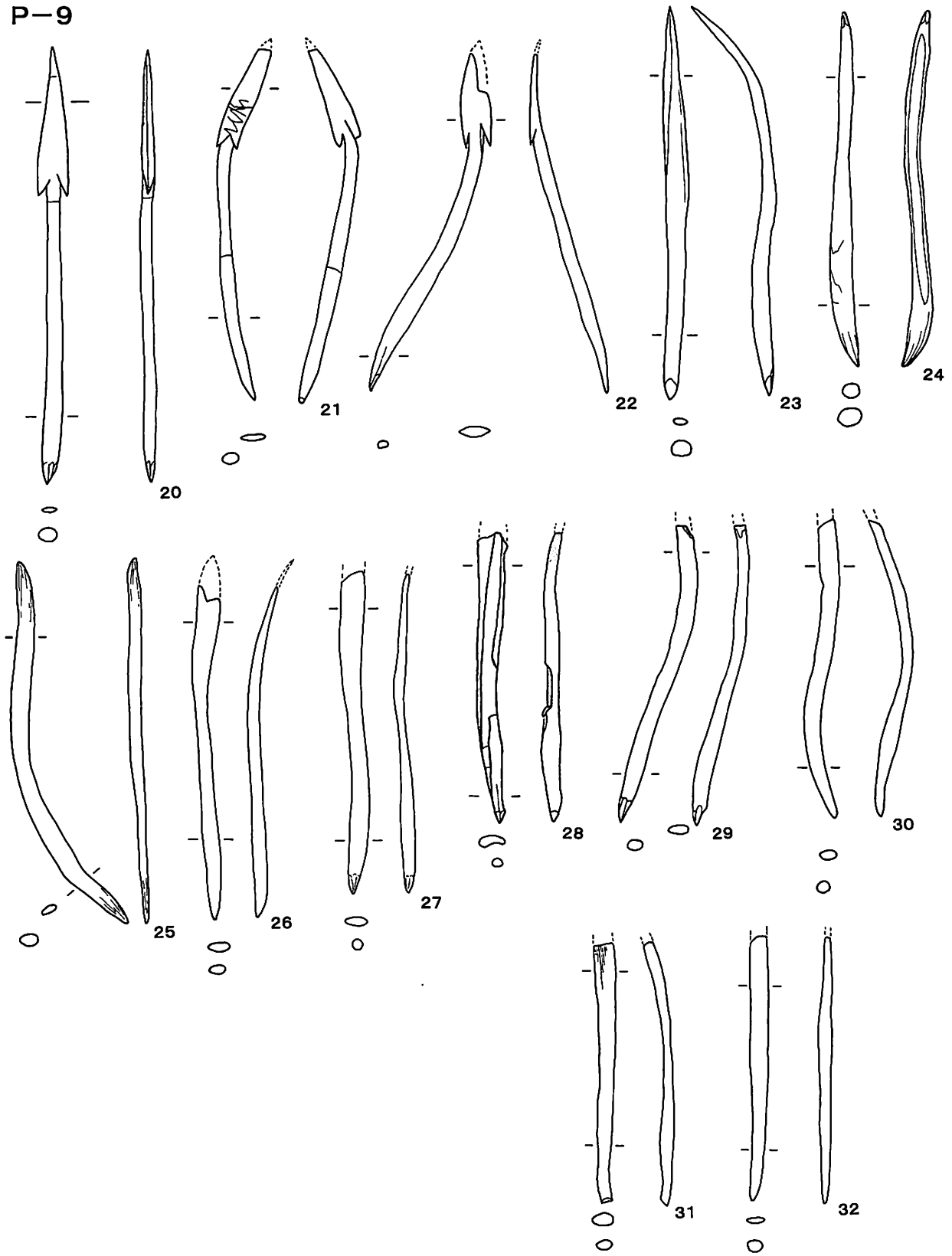
第79図 P-9 平面図と出土遺物(1)

P-9



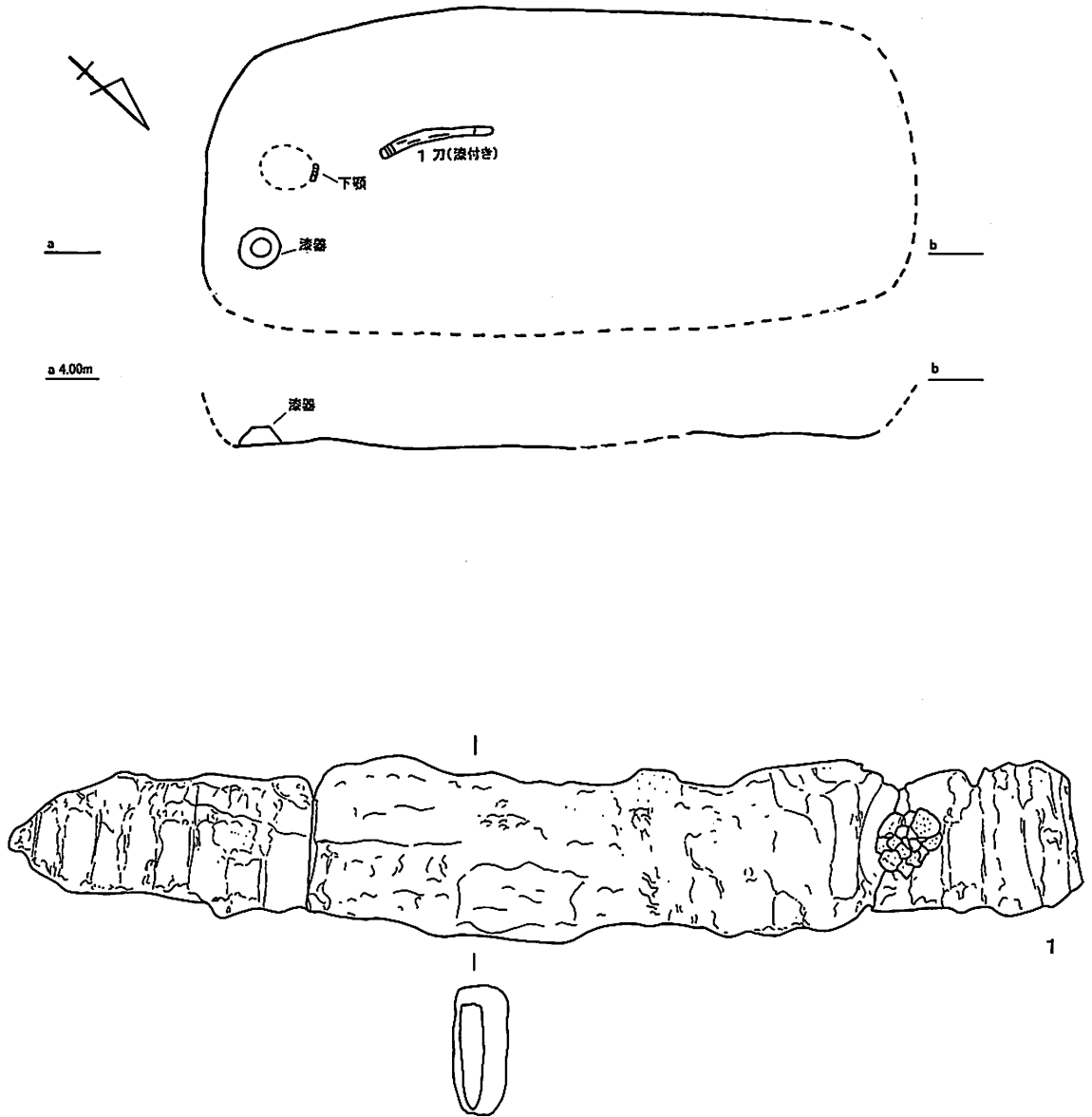
第80圖 P-9 出土遺物(2)

P-9

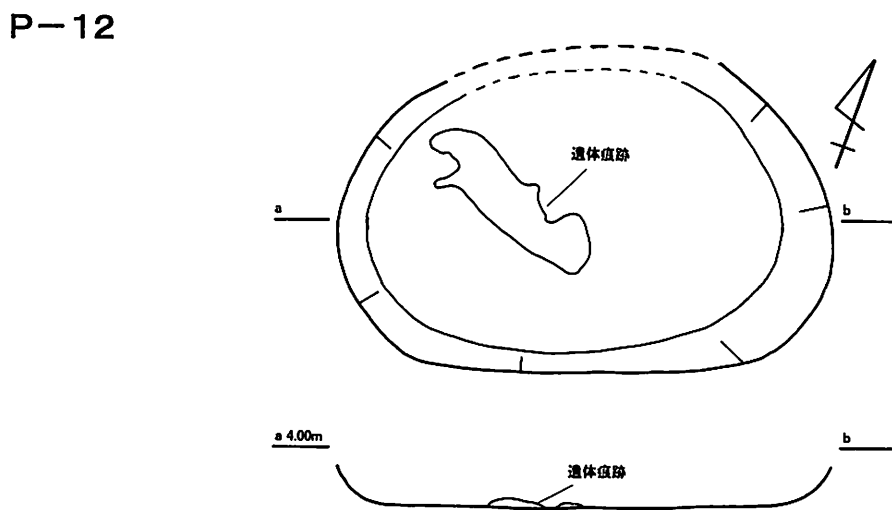
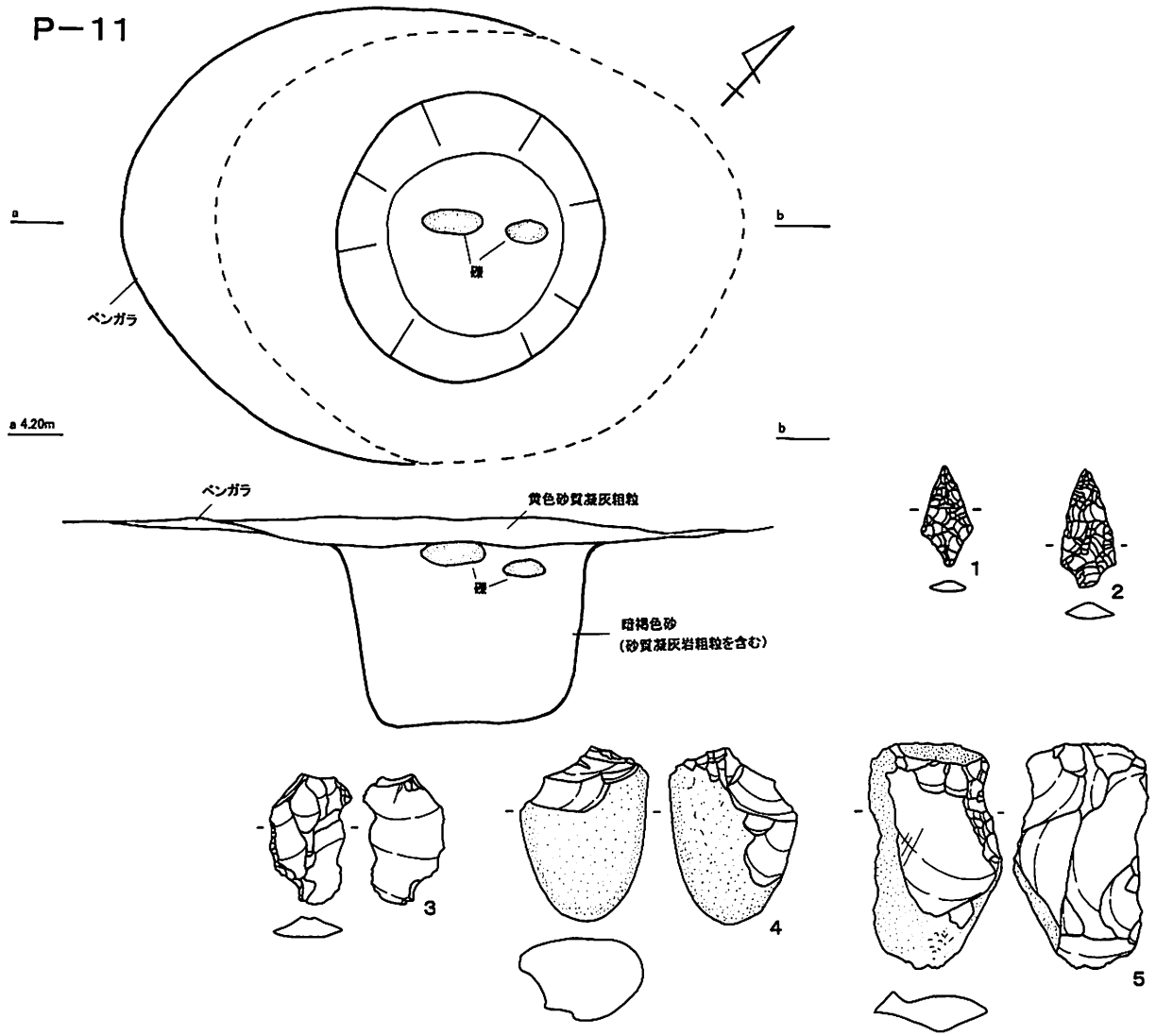


第81图 P-9 出土遺物(3)

P-10



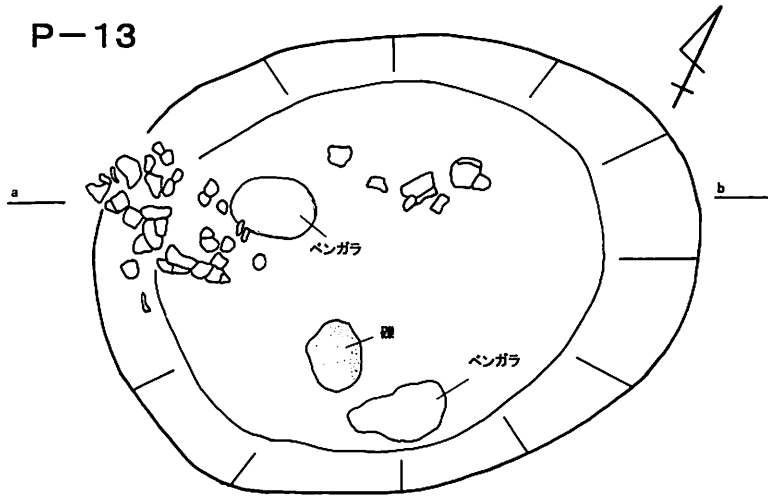
第82図 P-10 平面図と出土遺物



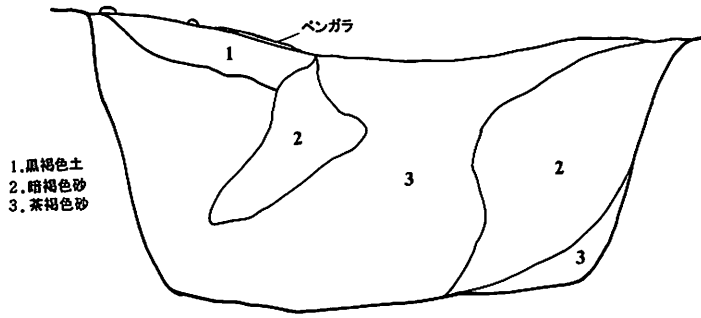
第83図 P-11、12 平面図と出土遺物



P-13

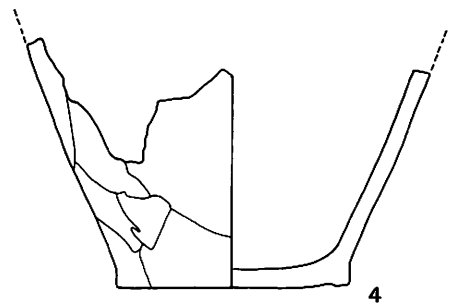
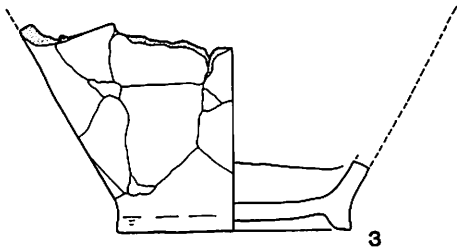
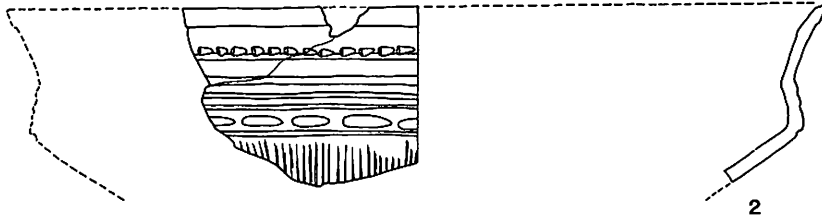
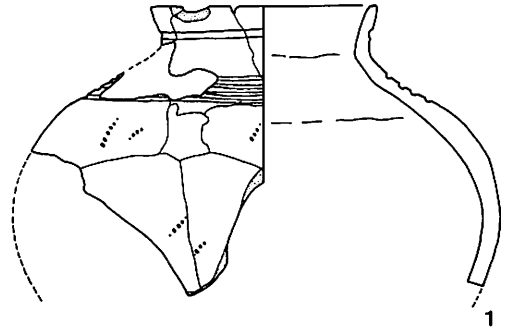


a 4.10m



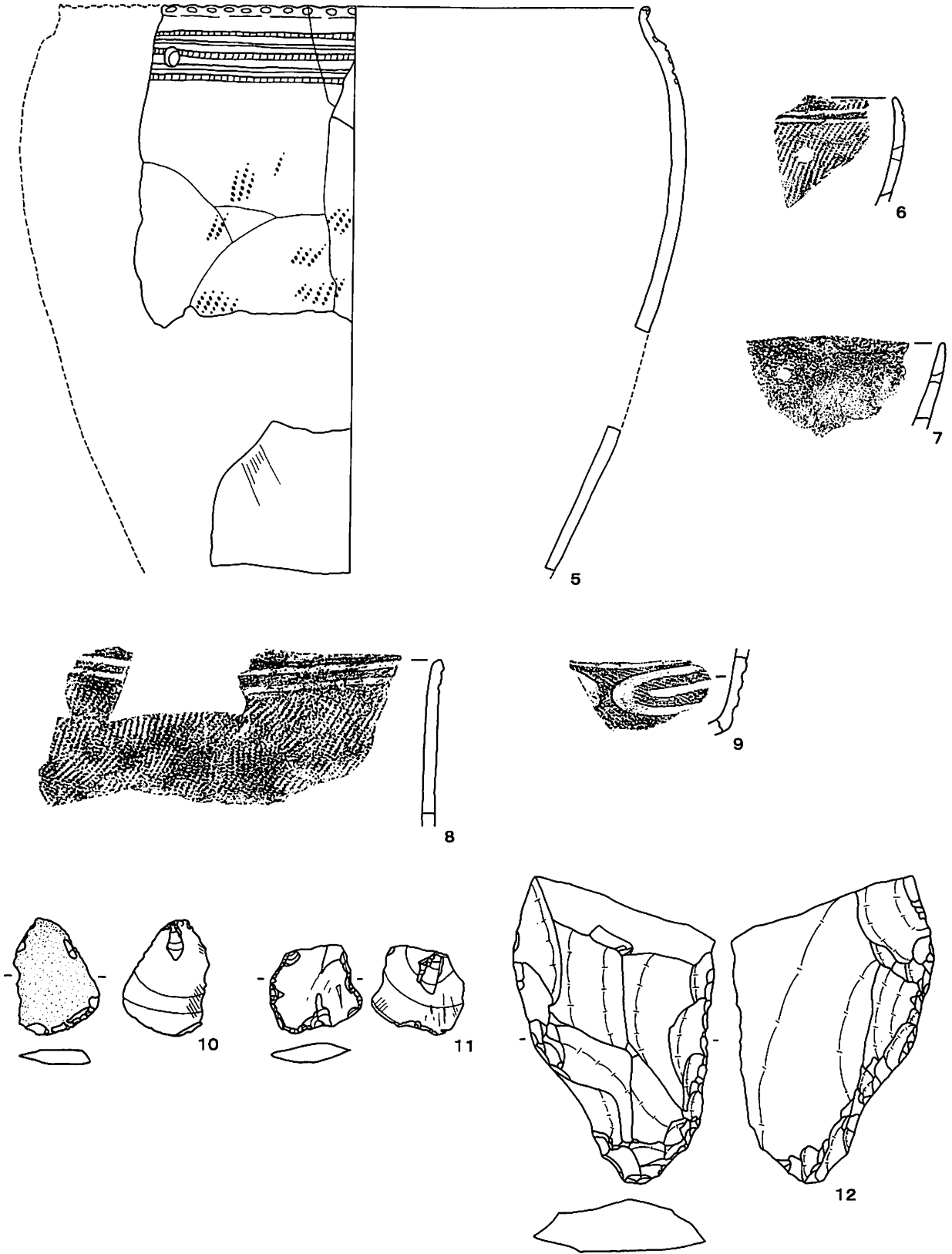
- 1. 黒褐色土
- 2. 暗褐色砂
- 3. 茶褐色砂

b

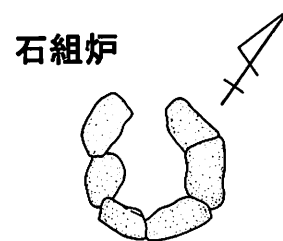
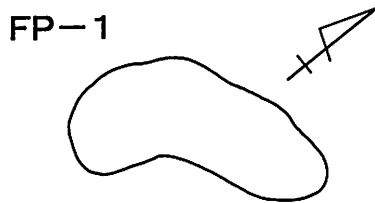
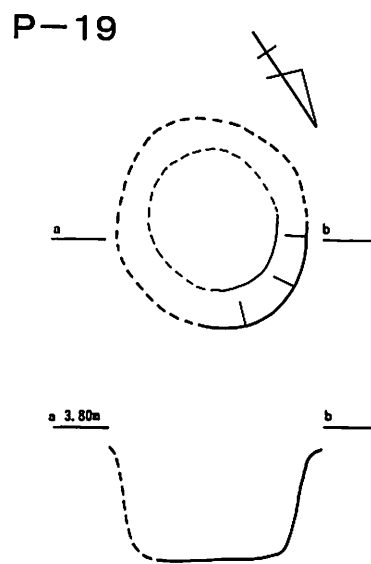
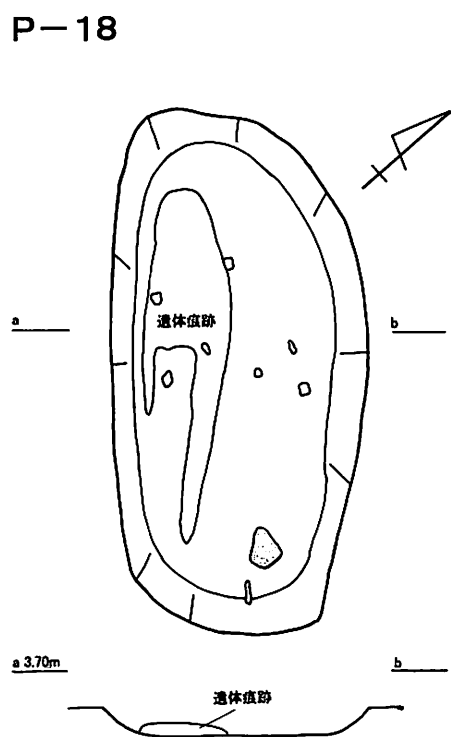
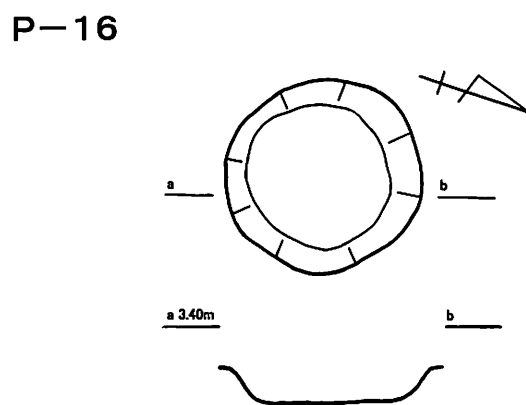
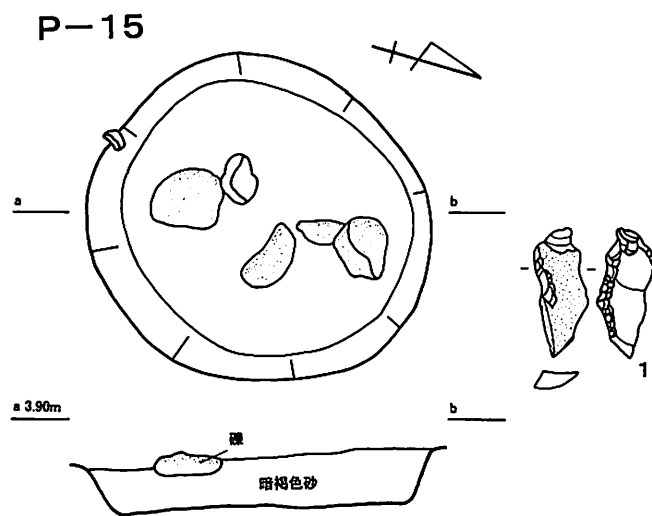


第84図 P-13 平面図と出土遺物

P-13

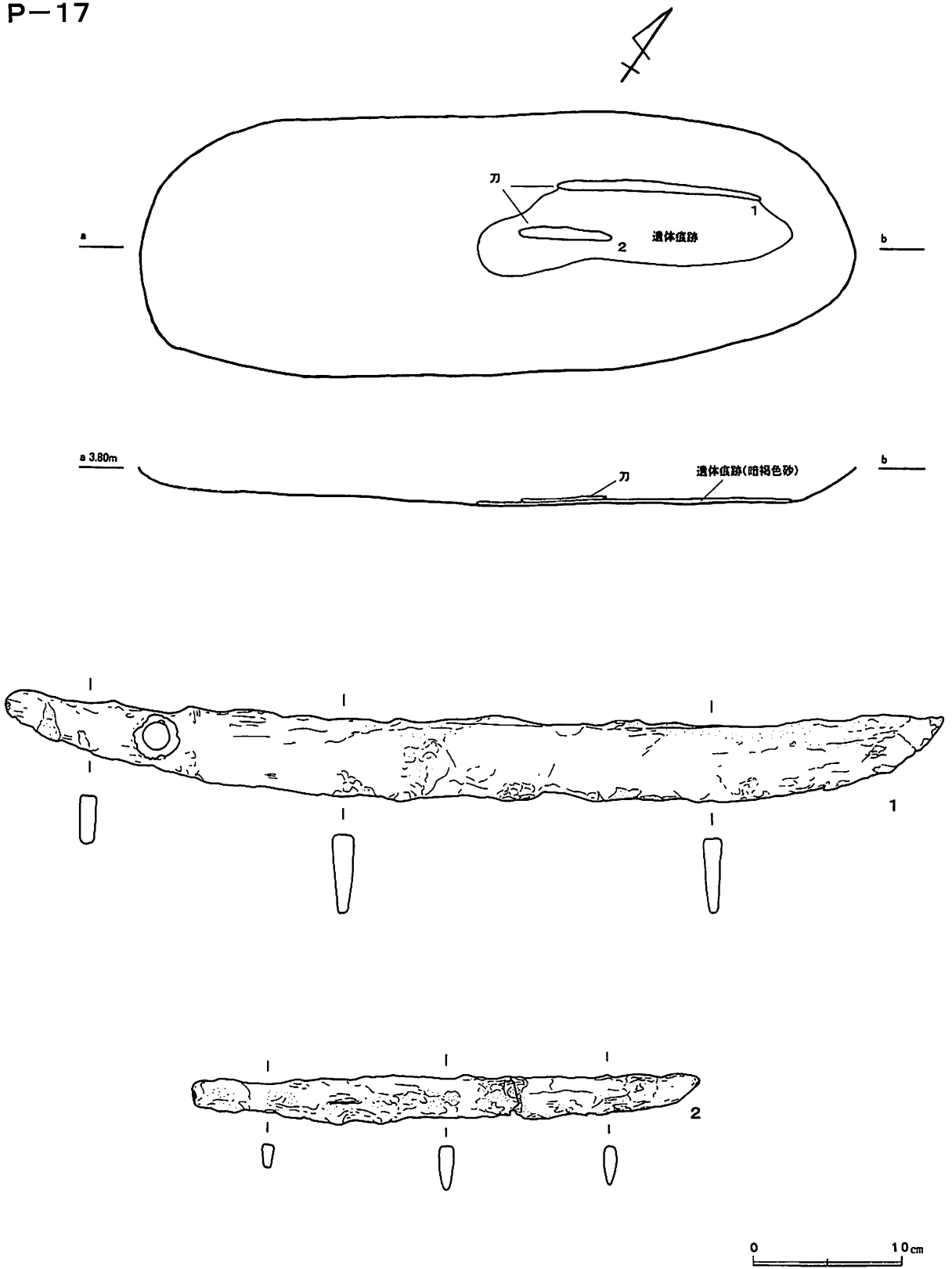


第85圖 P-13 出土遺物



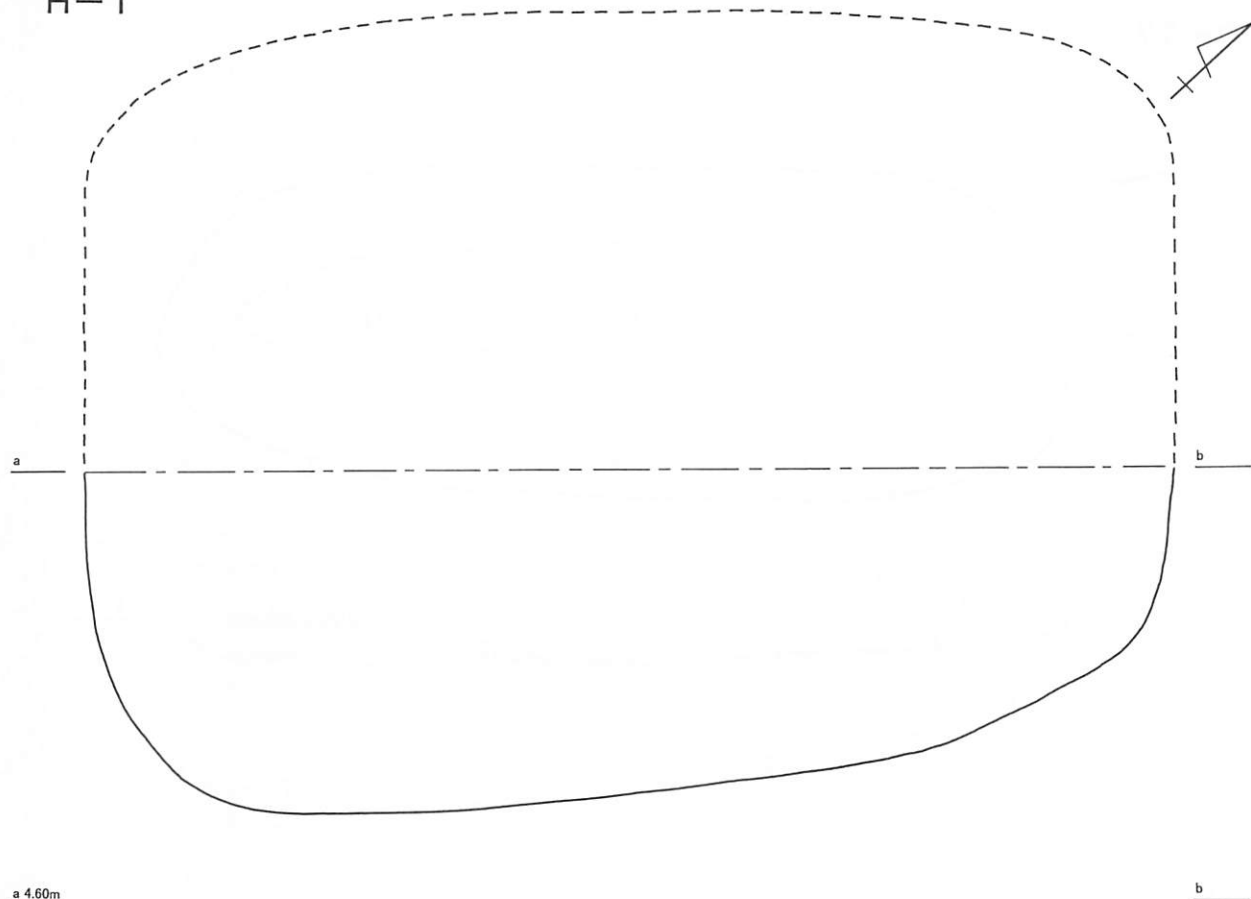
第86図 P-15、16、18、19 FP-1、石組炉 平面図と出土遺物

P-17

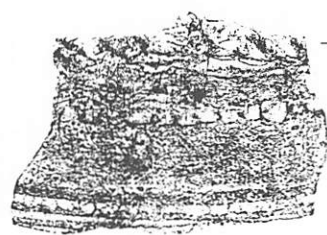


第87図 P-17 平面図と出土遺物

H-1



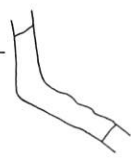
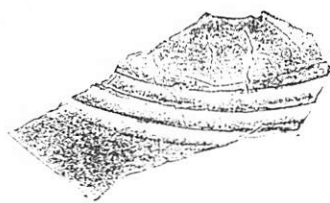
a 4.60m



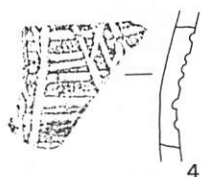
1



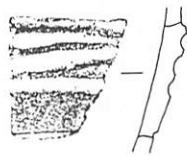
2



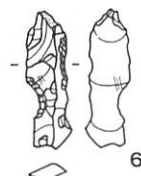
3



4



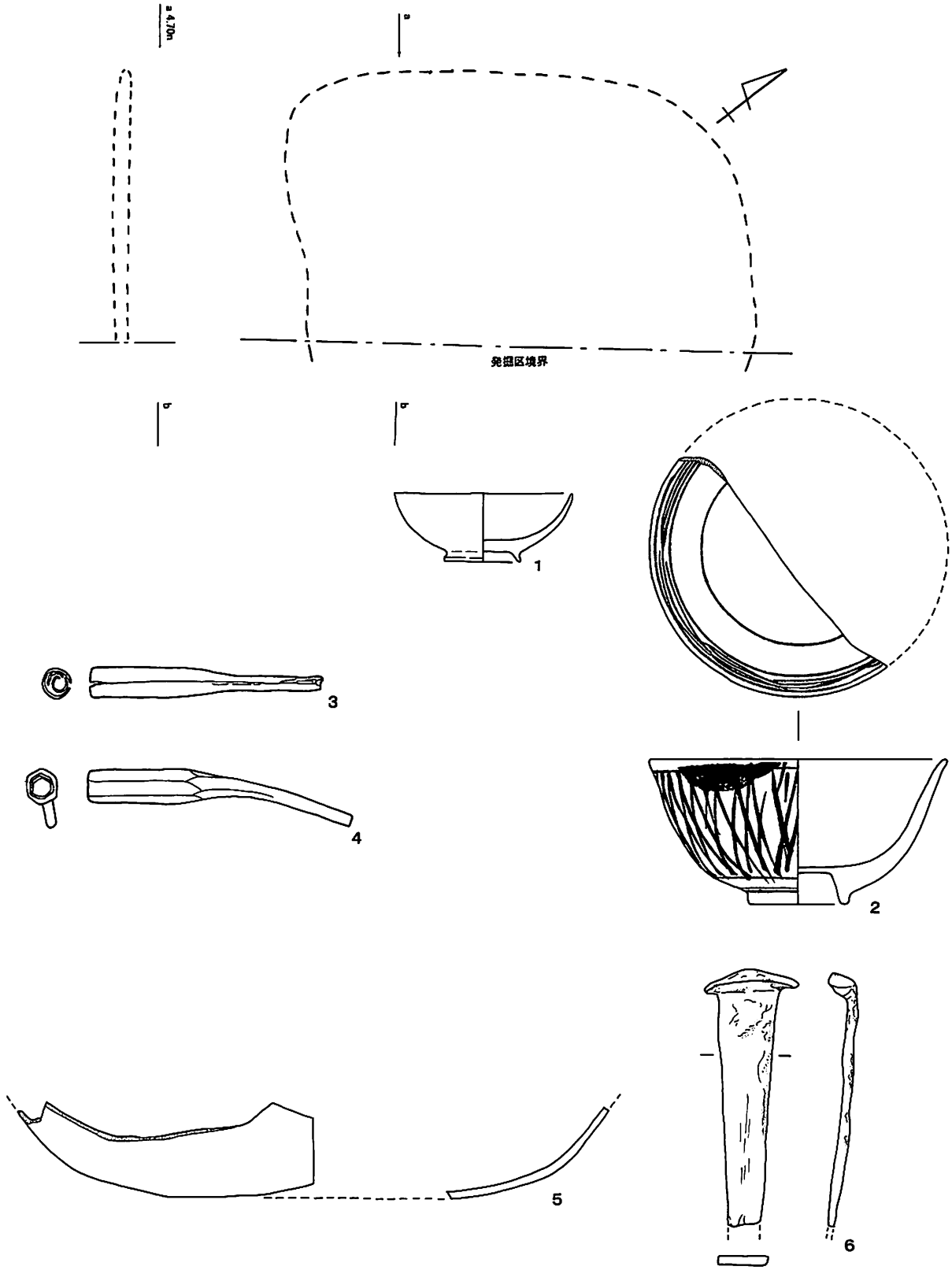
5



6

第88図 H-1 平面図と出土遺物

SM-1



第89図 SM-1 平面図と出土遺物

### 3. 包含層出土の遺物

服部地点からは縄文時代晩期中葉から後葉、擦文時代、中・近世の遺物11,283点が検出されているが遺物の主体は縄文時代晩期中葉のものである。

#### (1) 土器 (第90～97図版)

縄文時代晩期中葉から後葉にかけての土器、擦文時代に属する土器である。

##### I 群 縄文時代晩期に属するもの

a 類 縄文時代晩期中葉に属するものであり大洞C 1～C 2式に併行するもの

(1～6、10～26、28～56、66～77、80～84、87、88)

亀ヶ岡文化の影響を受けた土器群であるが、押し引き状沈線や条痕文が多用される特徴をもつものが多く、浜中大曲式と総称される土器や桃内式といわれる土器が多く含まれている。器型としては壺、深鉢、浅鉢、台付鉢がある。

1、2、3は突起をもつ鉢であり、4は双口土器である。いずれも胴部に横位のS字状沈線が施文される。

b 類 縄文時代晩期後葉に属するものであり大洞A～A'式に併行するもの

(7～9、27、48、57～64、78、79)

亀ヶ岡文化の影響を受けており、深鉢、浅鉢、台付鉢等の器種がみられる。口縁部に沈線による工字文風の文様が施文されているものである。

##### II 群 擦文時代に属するもの

(65、85、86、89)

擦文時代に属する深鉢、坏であり石附編年第Ⅱ～Ⅲ期に属するものである。

#### (2) 石器 (第98・99図版)

##### ・石鏃 (91～100)

有茎・無茎ともにみられる。99は茎部が刺突部に比して長く作出されているものである。97は背面に原石面を残すものである。100は剥片の縁辺のみを加工したもので主剥離面を大きく残すものである。

##### ・石錐 (101)

棒状のものであり先端部が磨滅している。

##### ・石製ナイフ (102・103)

剥片の形状を加工により大きく変化させているもので、両面加工されているものでいずれも先端部が欠損している。

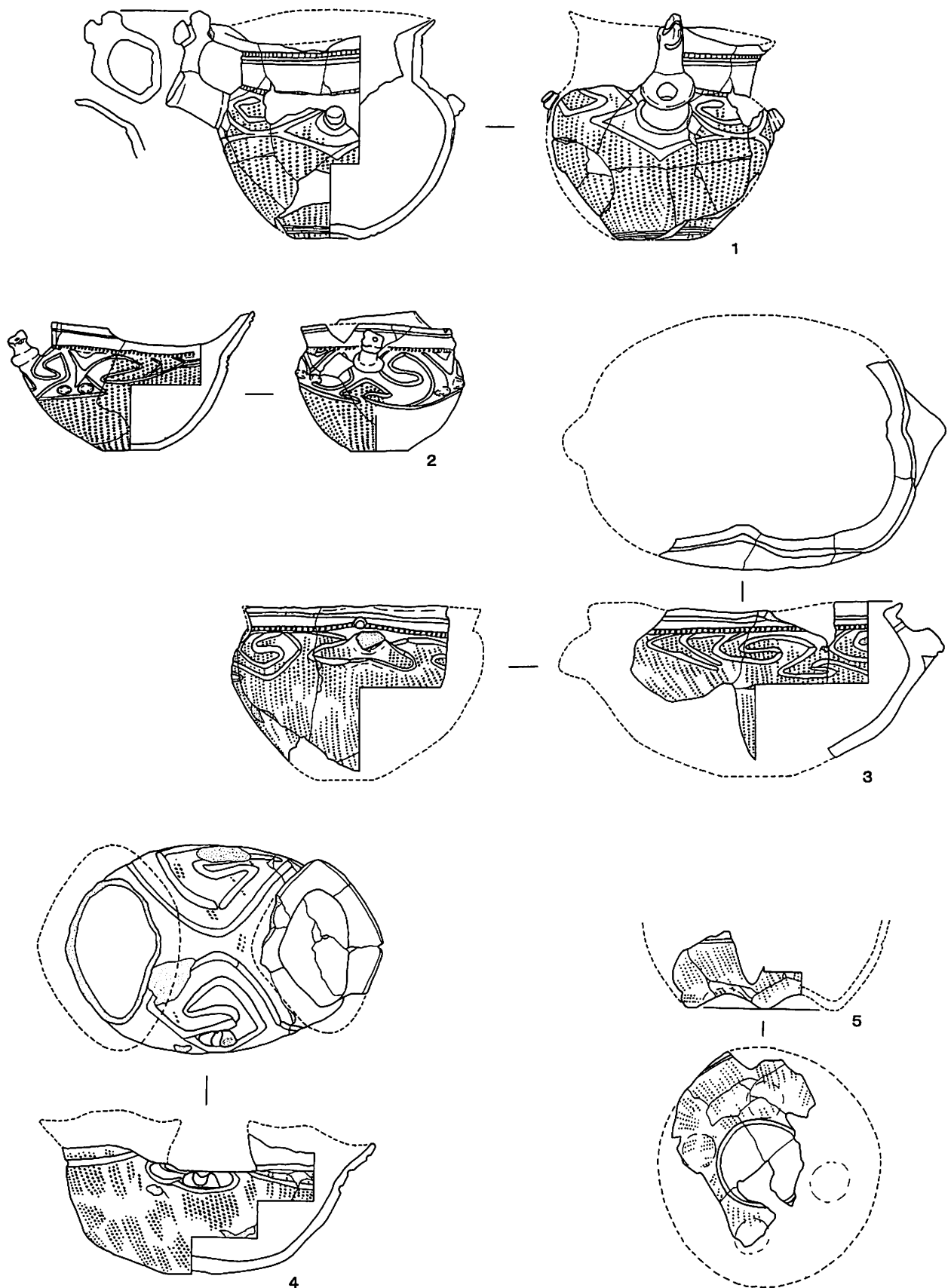
##### ・削器 (104～109)

剥片の形状を大きく変化させず縁辺に刃部を作出しているものであり106～109は安山岩製のものである。

#### (3) 土製品 (第97図版)

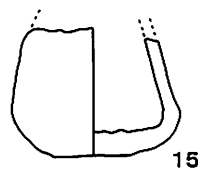
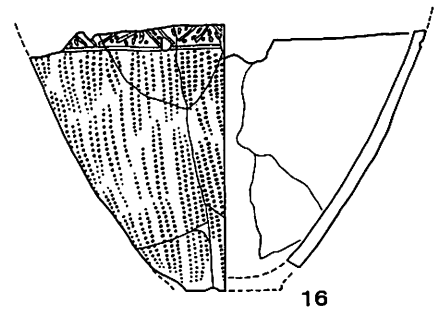
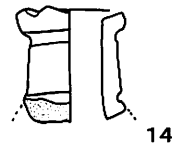
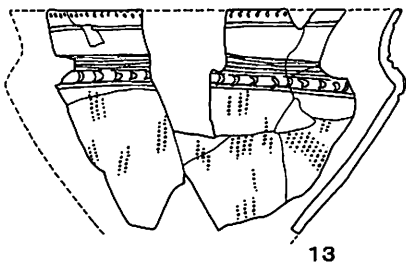
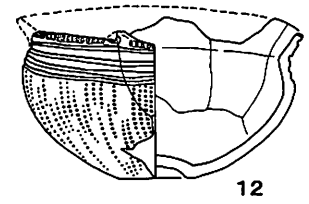
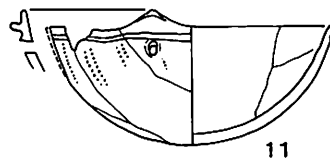
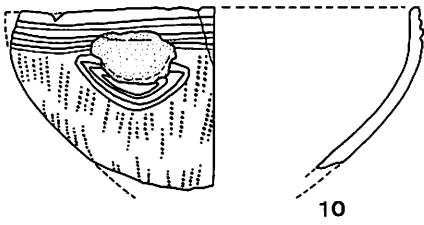
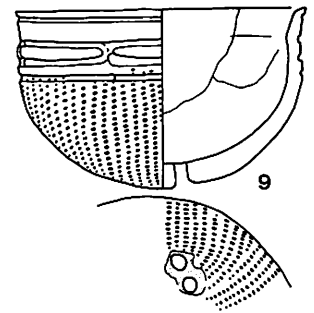
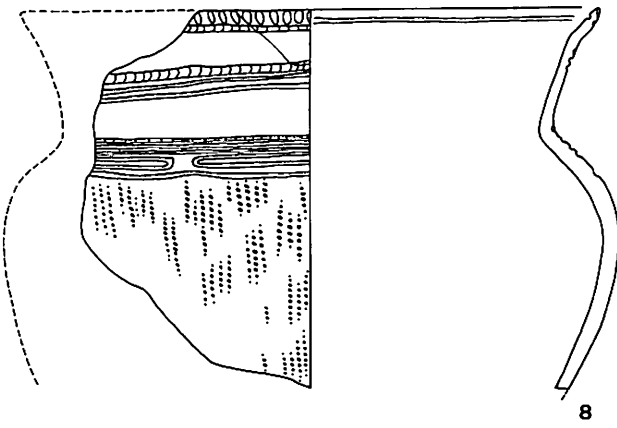
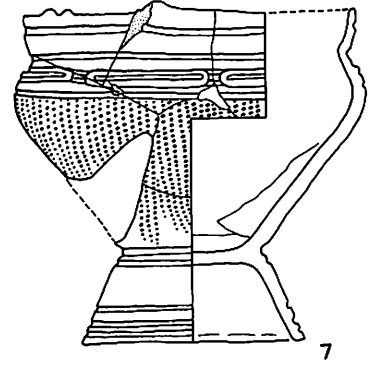
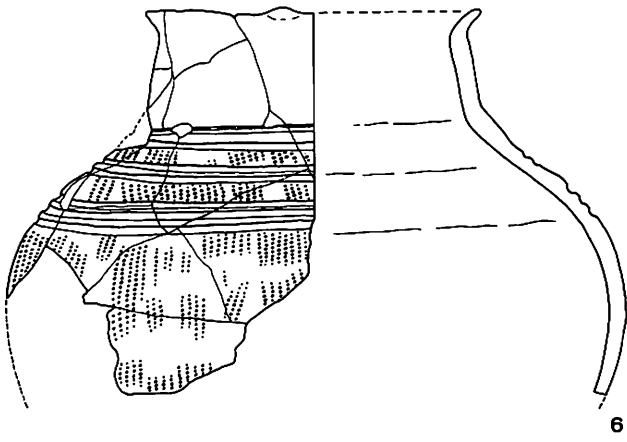
##### 円形土製品 (90)

土器の破片を再利用したもので、条痕文がみられる。

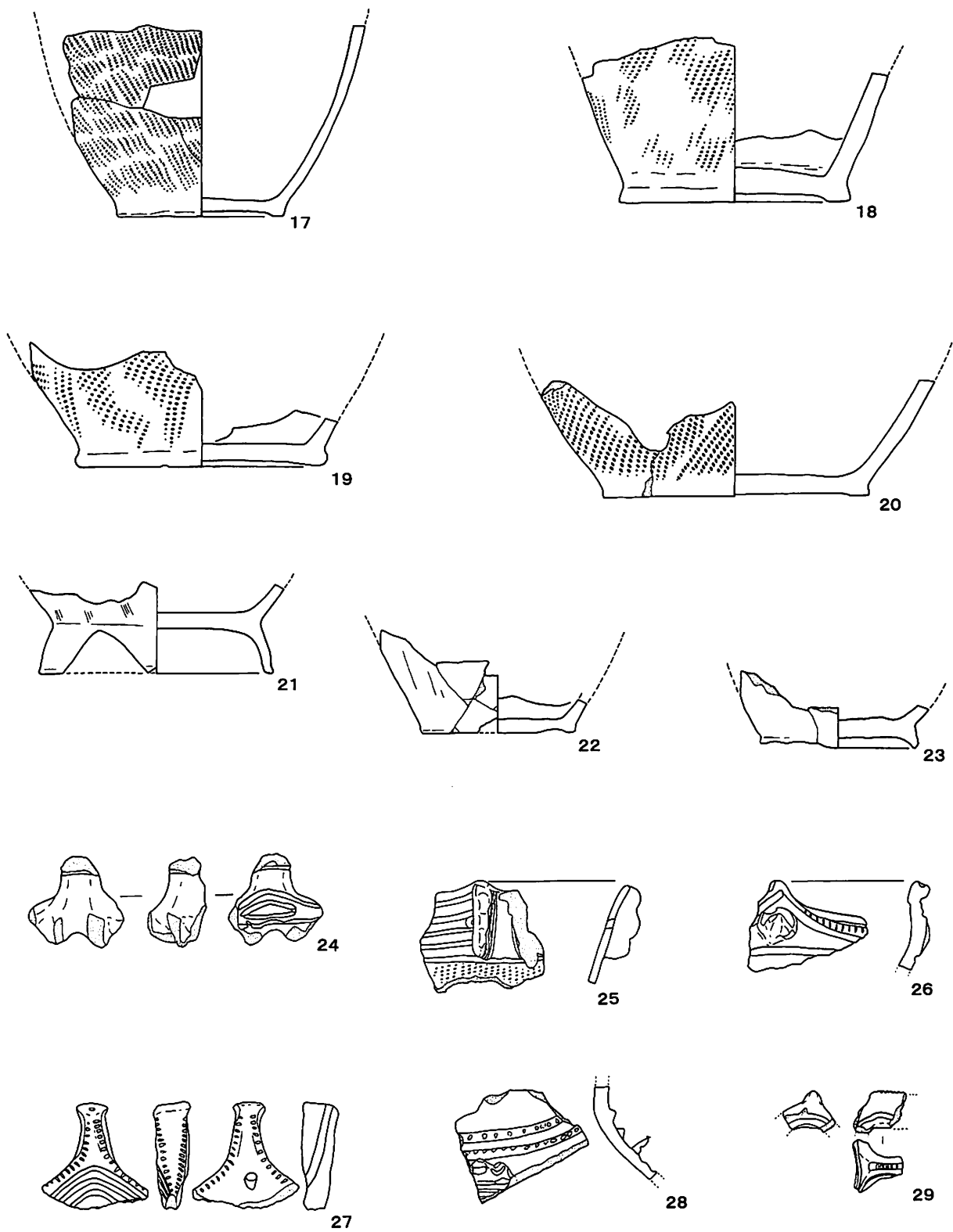


第90図 包含層出土の土器（1）

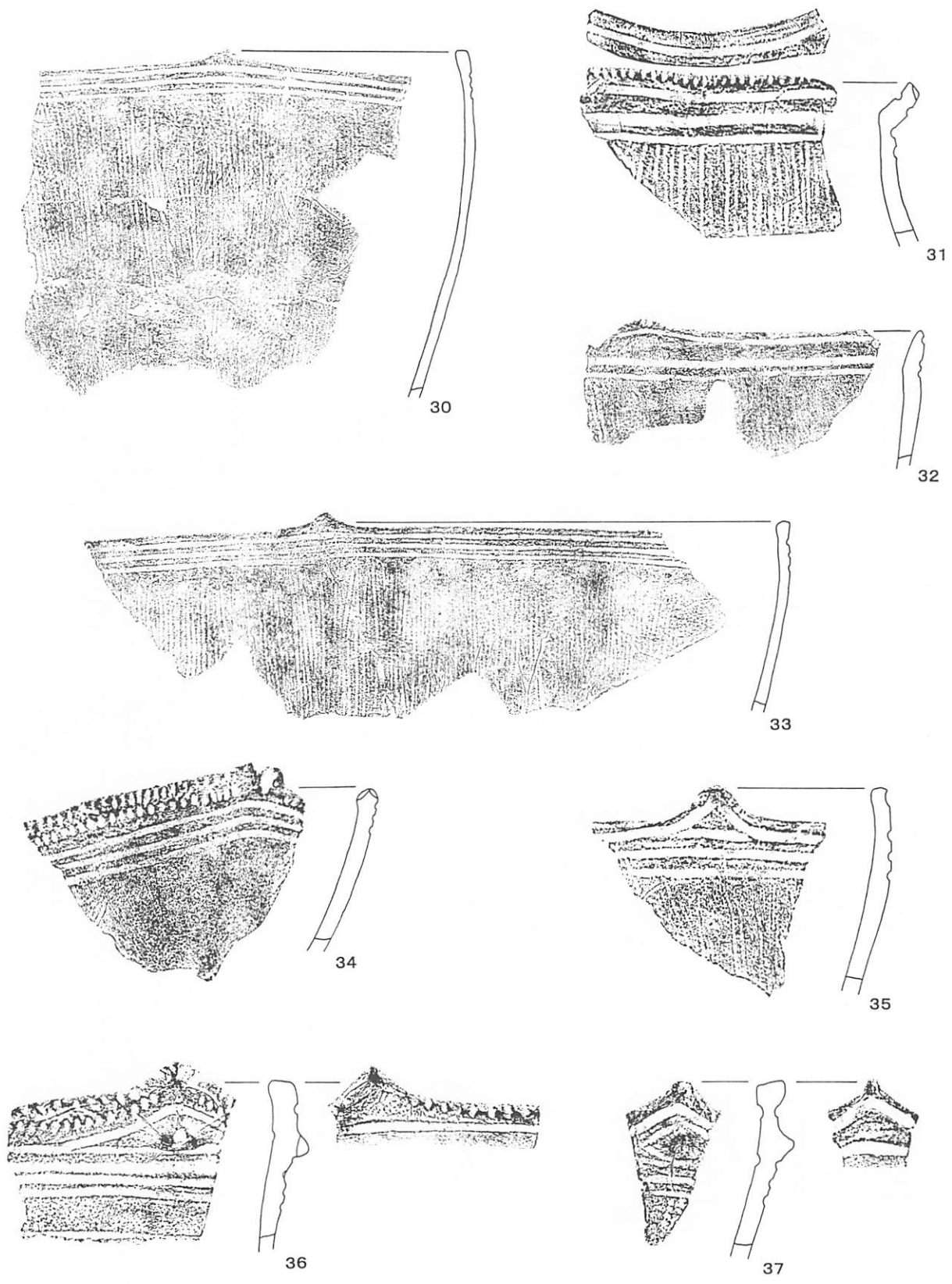




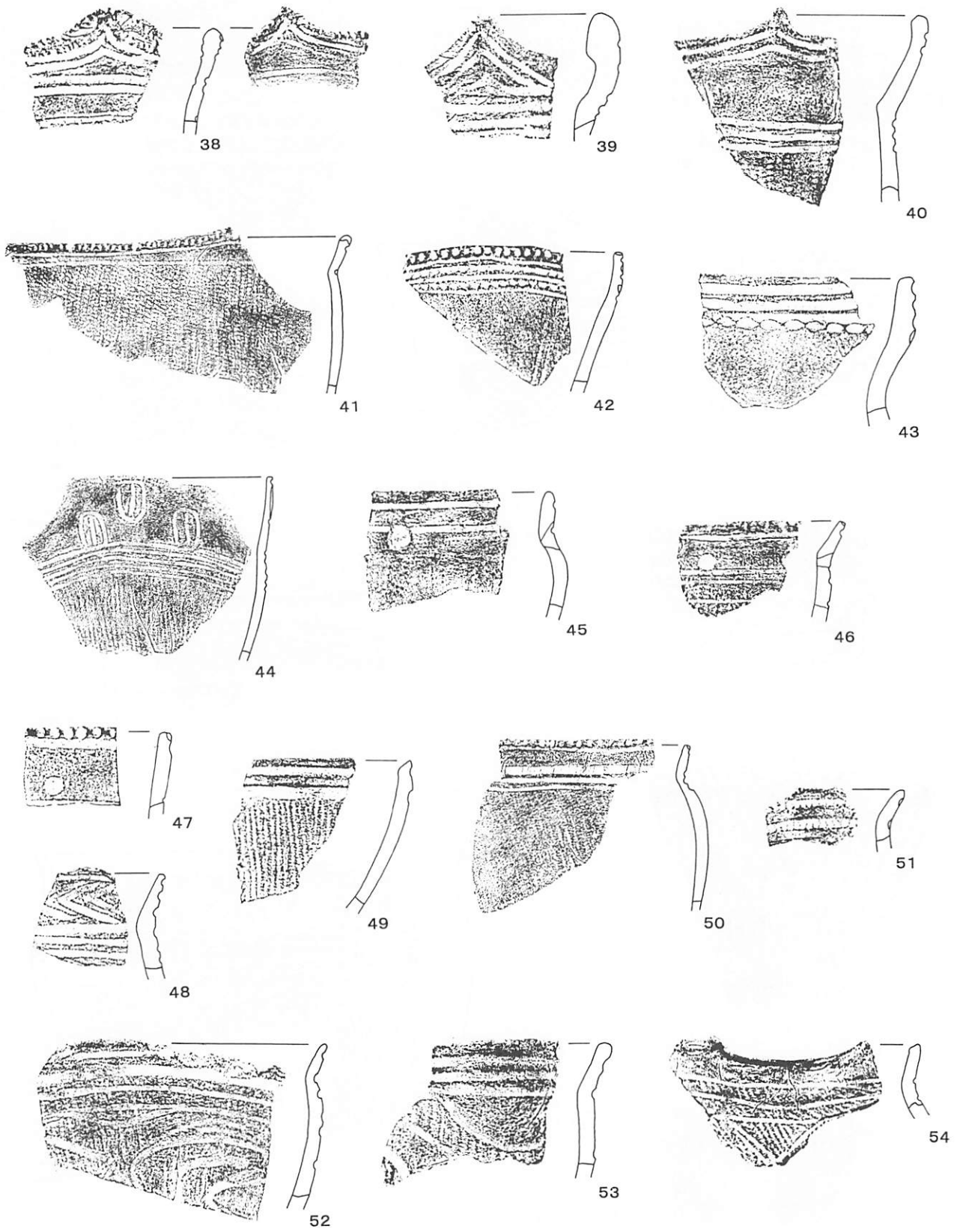
第91図 包含層出土の土器（2）



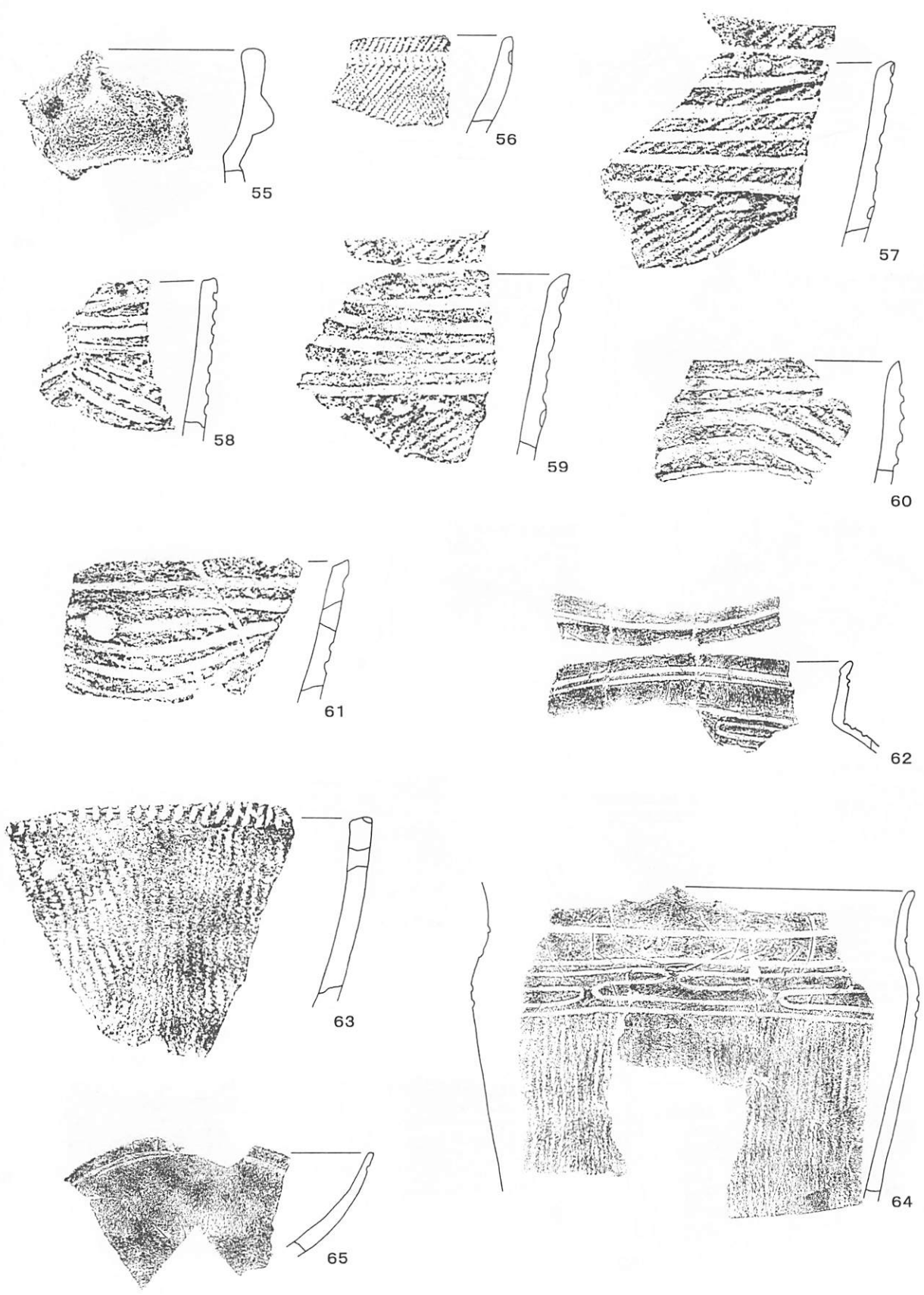
第92図 包含層出土の土器（3）



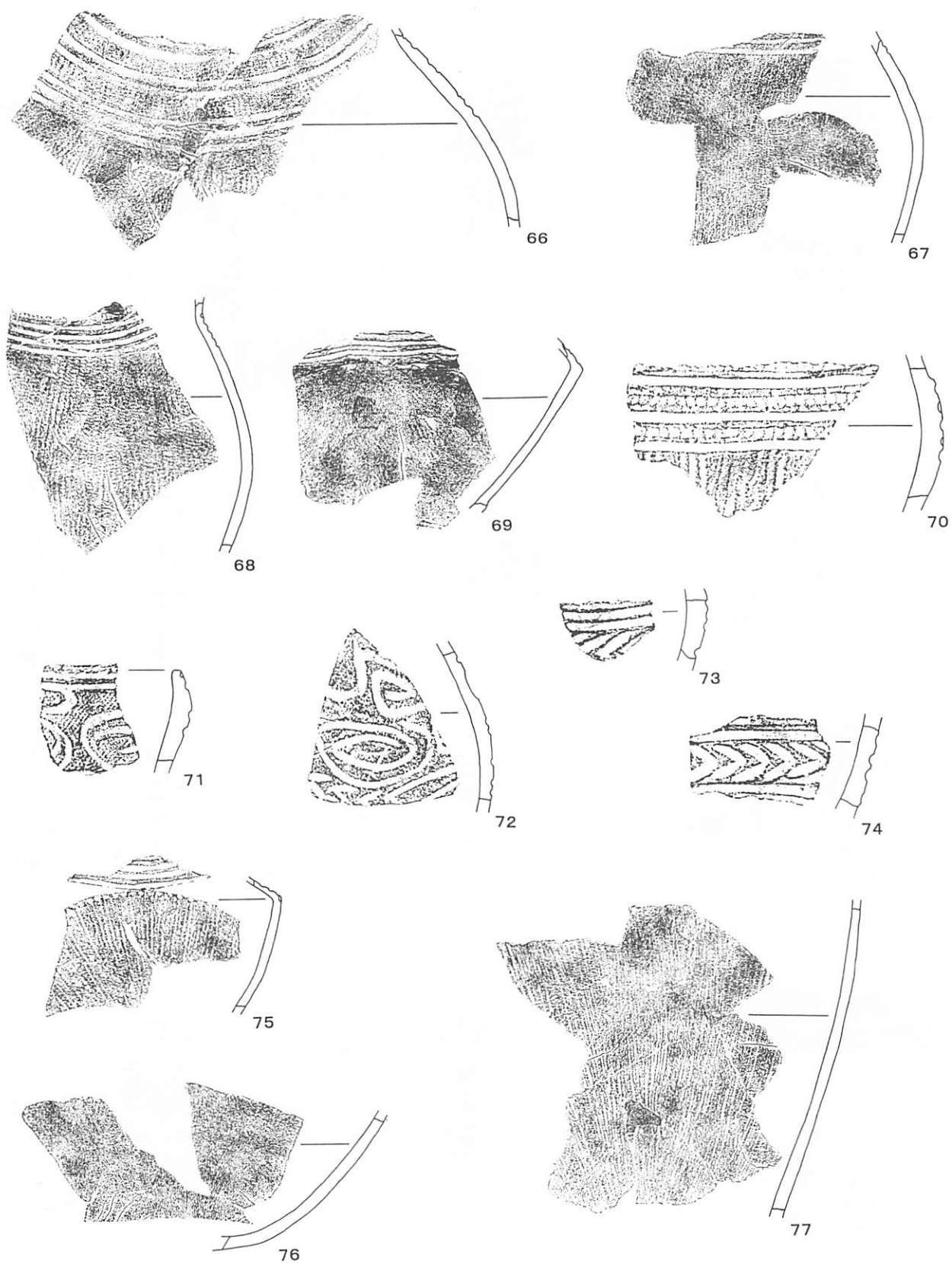
第93図 包含層出土の土器（4）



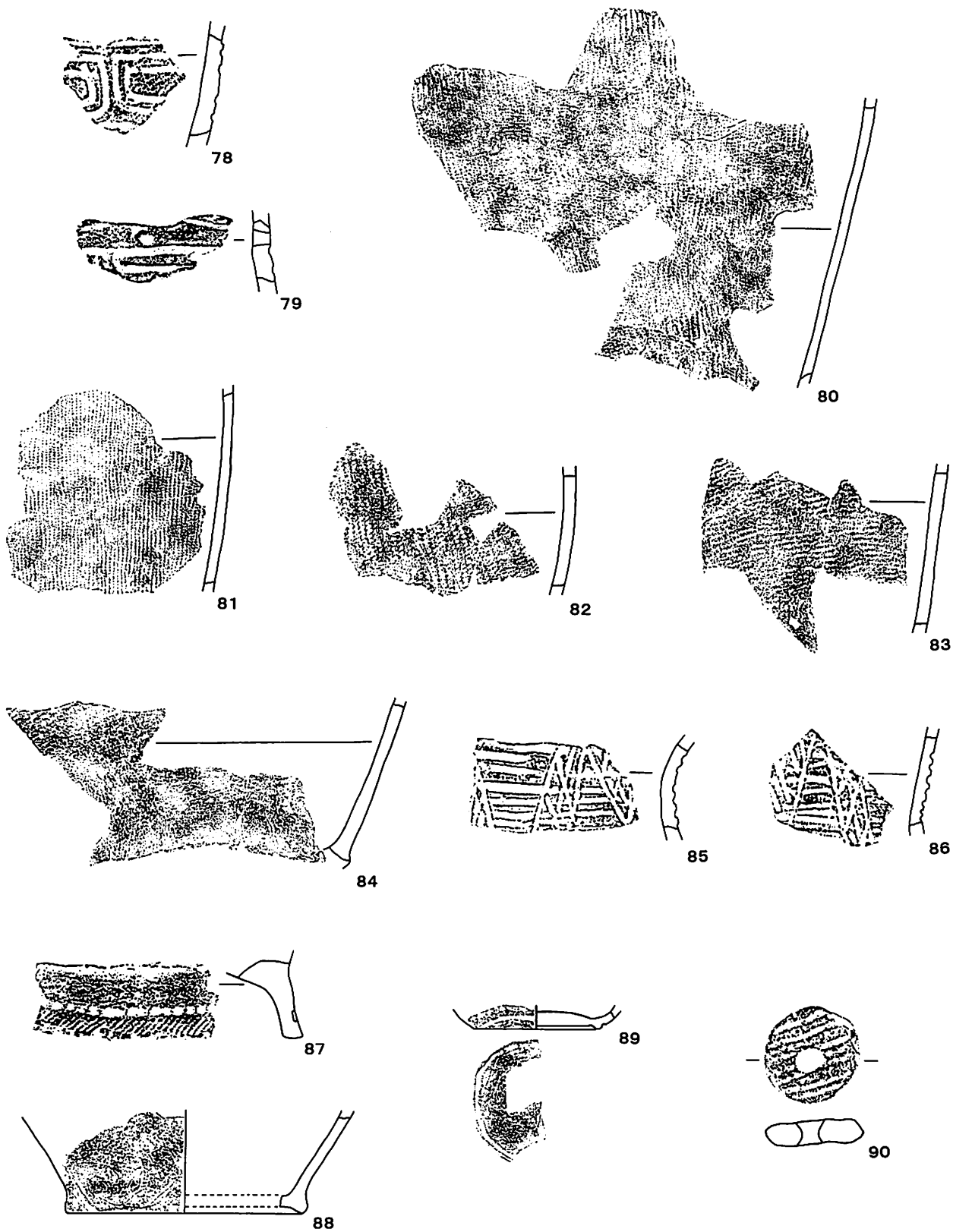
第94図 包含層出土の土器（5）



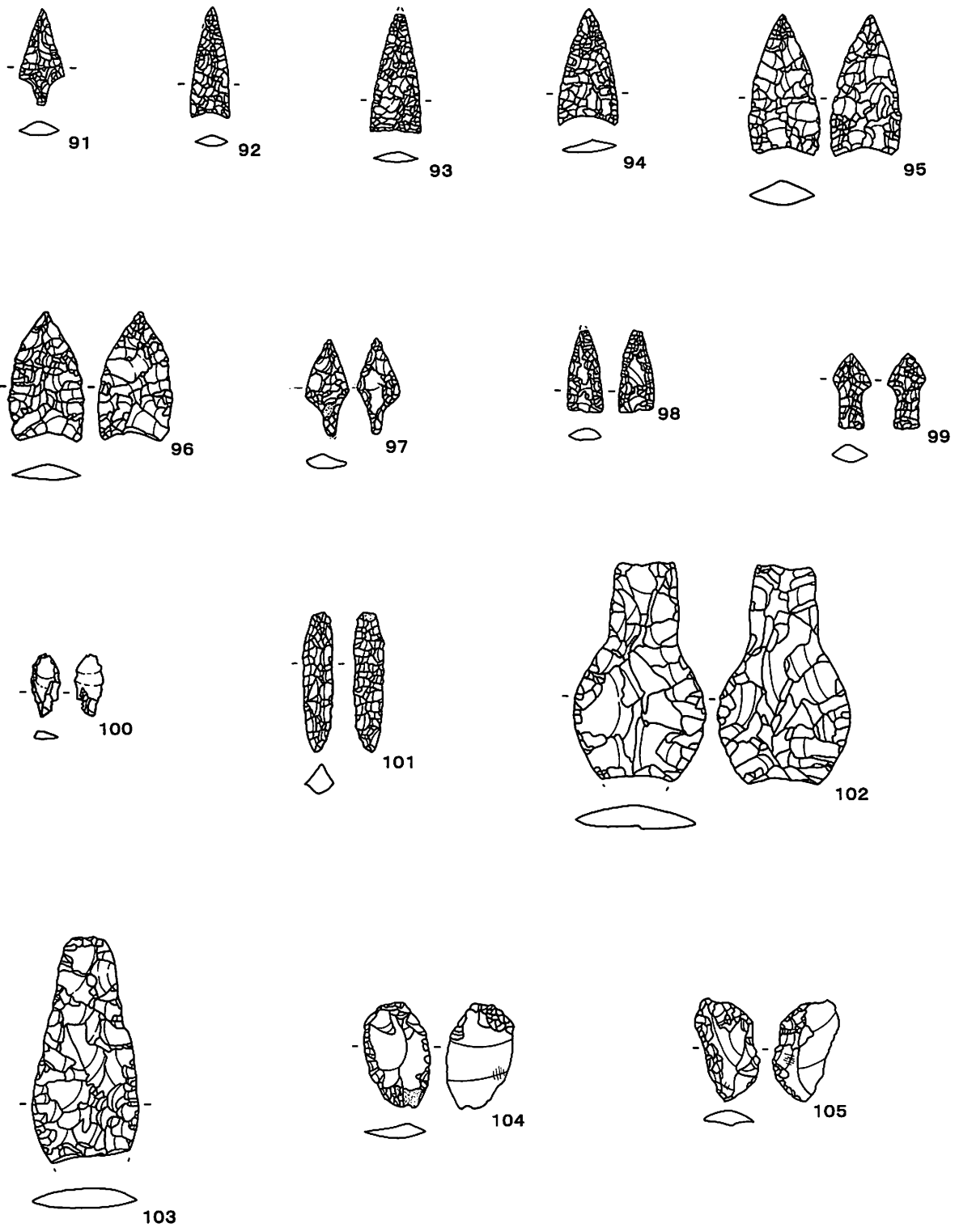
第95図 包含層出土の土器（6）



第96図 包含層出土の土器（7）

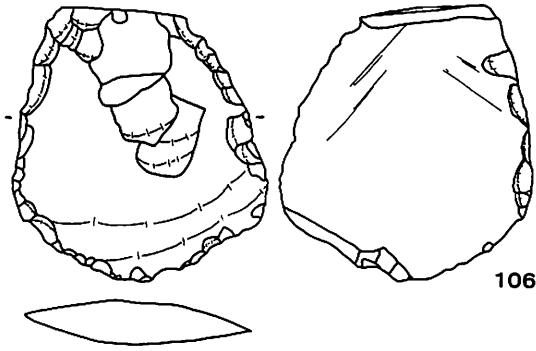


第97図 包含層出土の土器・土製品（8）

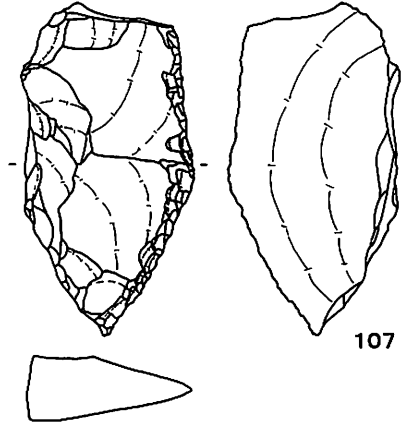


第98図 包含層出土の石器（1）

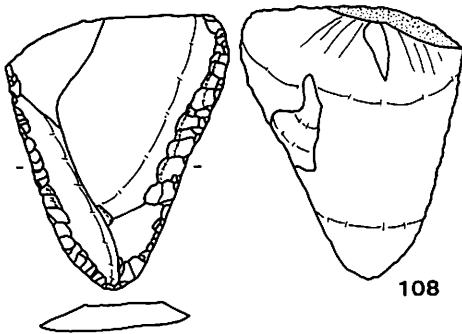




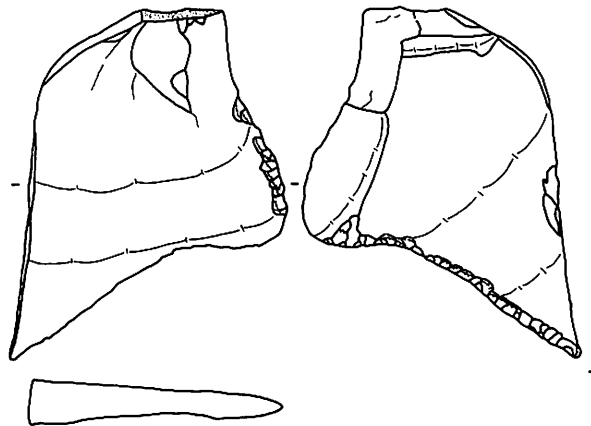
106



107



108



109

第99図 包含層出土の石器（2）

## 遺物計測表

図版番号	出土遺構	遺物番号	層位	名称	計測値(cm)(g)	備考
77-1	P-1	①	墳底	土器	底径(7.8)器高(5.5)	1/2
77-2	P-1		覆土	礫	長さ11.1幅7.75厚さ4.45重さ607	1/3 黒曜石
77-1	P-2		墳底	土器	拓本	1/3 口縁部
77-1	P-3		覆土	石鏃	長さ3.3幅1.2厚さ0.4重さ0.8	黒曜石
78-1	P-5		覆土	石鏃	長さ(3.5)幅1.5厚さ0.4重さ1.8	1/2 黒曜石
78-1	P-6		覆土	石鏃	長さ(2.3)幅1.3厚さ0.4重さ1.1	1/2 黒曜石
78-2	P-6		覆土	R・F	長さ(2.5)幅1.5厚さ0.4重さ0.6	1/2 黒曜石
78-3	P-6		覆土	R・F	長さ3.6幅1.2厚さ0.6重さ3.0	1/2 黒曜石
78-1	P-7		覆土	石鏃	長さ3.5幅1.35厚さ0.5重さ2.3	1/2 黒曜石
79-1	P-9		墳底	刀子	全長34.3	1/2
79-2	P-9		墳底	刀子	全長24.7	1/2
80-3	P-9		墳底	骨角器	長さ(12.8)幅0.6重さ3.3	
80-4	P-9		墳底	骨角器	長さ(12.4)幅0.8重さ5.6	
80-5	P-9		墳底	骨角器	長さ(12.6)幅0.7重さ4.0	
80-6	P-9		墳底	骨角器	長さ(11.5)幅0.6重さ4.0	
80-7	P-9		墳底	骨角器	長さ(12.6)幅0.9重さ6.3	
80-8	P-9		墳底	骨角器	長さ12.2幅0.8重さ6.3	
80-9	P-9		墳底	骨角器	長さ(12.1)幅0.6重さ5.8	
80-10	P-9		墳底	骨角器	長さ(12.6)幅0.8重さ6.8	
80-11	P-9		墳底	骨角器	長さ(12.3)幅1.0重さ5.4	
80-12	P-9		墳底	骨角器	長さ(13.2)幅0.8重さ4.9	
80-13	P-9		墳底	骨角器	長さ(11.0)幅0.9重さ5.1	
80-14	P-9		墳底	骨角器	長さ(8.9)幅0.9重さ3.2	
80-15	P-9		墳底	骨角器	長さ(8.8)幅0.7重さ3.3	
80-16	P-9		墳底	骨角器	長さ(7.9)幅0.7重さ2.8	
80-17	P-9		墳底	骨角器	長さ(8.5)幅0.6重さ2.9	
80-18	P-9		墳底	骨角器	長さ(10.1)幅0.6重さ3.6	
80-19	P-9		墳底	骨角器	長さ(11.1)幅0.9重さ2.9	
81-20	P-9		墳底	骨角器	長さ14.8幅1.1重さ4.0	
81-21	P-9		墳底	骨角器	長さ12.1幅0.9重さ3.4	
81-22	P-9		墳底	骨角器	長さ(12.3)幅1.1重さ3.8	
81-23	P-9		墳底	骨角器	長さ13.2幅0.8重さ4.3	
81-24	P-9		墳底	骨角器	長さ12.3幅0.8重さ4.6	
81-25	P-9		墳底	骨角器	長さ(13.0)幅0.7重さ3.6	
81-26	P-9		墳底	骨角器	長さ(11.7)幅0.8重さ3.5	
81-27	P-9		墳底	骨角器	長さ(11.3)幅0.8重さ3.5	
81-28	P-9		墳底	骨角器	長さ(10.1)幅0.9重さ3.5	
81-29	P-9		墳底	骨角器	長さ10.5幅0.6重さ3.6	
81-30	P-9		墳底	骨角器	長さ(10.3)幅0.7重さ3.0	
81-31	P-9		墳底	骨角器	長さ(9.0)幅0.7重さ3.0	
81-32	P-9		墳底	骨角器	長さ(9.1)幅0.6重さ2.8	
82-1	P-10		墳底	刀子	全長30.0cm	1/2(漆付き)
83-1	P-11		覆土	石鏃	長さ2.8幅1.45厚さ0.3重さ0.9	黒曜石

図版番号	出土遺構	遺物番号	層位	名称	計測値(cm)(g)	備考
83-2	P-11		覆土	石鏃	長さ3.3幅1.6厚さ0.5重さ1.7	黒曜石
83-3	P-11		覆土	R・F	長さ3.6幅2.3厚さ0.5重さ4.3	黒曜石
83-4	P-11		覆土	原石	長さ(4.9)幅3.5厚さ2.4重さ42.0	黒曜石
83-5	P-11		覆土	R・F	長さ6.4幅3.7厚さ1.1重さ30	黒曜石
84-1	P-13		墳底	土器	口径(9.0)器高(11.6)	
84-2	P-13		墳底	土器	口径(32.8)器高(7.2)	
84-3	P-13		墳底	土器	底径9.5器高(8.4)	
84-4	P-13		墳底	土器	底径(9.3)器高(14.8)	
85-5	P-13		墳底	土器	口径(30.5)器高(29.4)	
85-6	P-13		墳底	土器	拓本	口縁部
85-7	P-13		墳底	土器	拓本	口縁部
85-8	P-13		墳底	土器	拓本	口縁部
85-9	P-13		墳底	土器	拓本	胴部
85-10	P-13		墳底	搔器	長さ4.0幅2.8厚さ0.5重さ6.8	黒曜石
85-11	P-13		墳底	削器	長さ3.0幅3.2厚さ0.65重さ6.1	黒曜石
85-12	P-13		墳底	削器	長さ10.6幅7.0厚さ1.8重さ150.0	玄武岩
86-1	P-15		覆土	削器	長さ3.5幅1.5厚さ0.5重さ2.3	黒曜石
87-1	P-17		墳底	太刀	全長63.3刃長49.6	1/4
87-2	P-17		墳底	刀子	全長34.0刃長25.0	1/4
88-1	H-1		覆土	土器	拓本	口縁部
88-2	H-1		覆土	土器	拓本	口縁部
88-3	H-1		覆土	土器	拓本	胴部
88-4	H-1		覆土	土器	拓本	胴部
88-5	H-1		覆土	土器	拓本	胴部
88-6	H-1		覆土	R・F	長さ3.7幅1.1厚さ0.4重さ1.2	黒曜石
89-1	SM-1		覆土	陶磁器	口径6.0底径2.6器高2.3	
89-2	SM-1		覆土	陶磁器	口径(10.0)底径(3.3)器高4.9	
89-3	SM-1		覆土	キセル(吸口)	長さ7.85直径1.0	
89-4	SM-1		覆土	キセル(吸口)	長さ8.90直径1.2	
89-5	SM-1		覆土	鍋	器高(3.3)	
89-6	SM-1		覆土	和釘	長さ(8.7)厚さ0.3	

(包含層)

図版番号	出土グリット	遺物番号	層位	名称	計測値(cm)(g)	備考	
90-1	a-35-括	②	Ⅲ	土器	口径(10.5)胴径(12.3)底径(4.0)器高12.2		
90-2	a-35-括	⑤		土器	口径13.0底径3.0器高7.4		
90-3	a-34-23 a-35-03			土器	口径(16.9)器高(9.5)		
90-4	a-35	①		土器	胴径14.5底径3.0器高(8.7)		
90-5	a-35			土器	底径(8.0)器高(4.1)		
91-6	a-35-括 a-35-02	③	Ⅲ	土器	口径(13.5)器高(15.5)		
91-7	a-35-括	①		土器	口径(13.4)底径9.0器高13.8		
91-8	a-35-括			土器	口径(23.0)器高(15.2)		
91-9	Y-35-括	②		土器	口径(11.6)器高(7.2)		
91-10	a-35-括	①		土器	口径(16.3)器高(7.2)		
91-11	Y-35-括			土器	口径(11.5)器高5.4		
91-12	a-35-括			土器	口径(11.5)底径3.0器高5.9		
91-13	a-35-括	④		土器	口径(15.6)器高(8.9)		
91-14	Z-35-05		Ⅲ	土器	口径(2.8)器高(3.0)		
91-15	Y-35-14		Ⅲ	土器	胴径4.4器高(3.4)		
91-16	Z-34-25		Ⅳ	土器	器高(10.7)		
92-17	Y-35-20	①	Ⅲ	土器	底径(8.4)器高(9.9)		
92-18	a-35-括		土器	底径(11.8)器高(8.6)			
92-19	Y-35-10		Ⅲ	土器	底径(13.0)器高(6.4)		
92-20	Y-35-17		Ⅲ	土器	底径(13.6)器高(6.3)		
92-21	Y-35-07		Ⅲ	土器	底径(11.8)器高(4.7)		
92-22	Z-35-括			土器	底径7.9器高(5.4)		
92-23	Y-35-06		Ⅲ	土器	底径(8.0)器高(4.0)		
92-24	カクラン			土器	長さ(4.8)幅(4.8)		
92-25	カクラン			土器	長さ(5.7)幅(6.3)		
92-26	Y-35-16		Ⅲ	土器	長さ(4.7)幅(6.1)		
92-27	Y-35-07		Ⅲ	土器	長さ(5.5)幅(5.4)		
92-28	Z-35-14		Ⅳ	土器	長さ(5.7)幅(6.7)		
92-29	Y-35-16	Ⅲ	土器	長さ(2.1)幅(2.6)			
93-30	a-35-括	①		土器	拓本	口縁部	
93-31	b-35-09		Ⅲ	土器	拓本	口縁部	
93-32	a-35-03 a-35-05		Ⅲ	土器	拓本	口縁部	
93-33	a-35-05		Ⅲ	土器	拓本	口縁部	
93-34	Y-35-17		Ⅲ	土器	拓本	1/2 口縁部	
93-35	a-35-03		Ⅲ	土器	拓本	1/2 口縁部	
93-36	Z-35-18		Ⅲ	土器	拓本	1/2 口縁部	
93-37	Y-35-11		Ⅲ	土器	拓本	1/2 口縁部	
94-38	a-35-括	③	Ⅲ	土器	拓本	1/2 口縁部	
94-39	Y-35-09		Ⅲ	土器	拓本	1/2 口縁部	
94-40	Y-35-13		Ⅲ	土器	拓本	1/2 口縁部	

図版番号	出土グリット	遺物番号	層位	名称	計測値	備考
94-41	a-35-08-括	①	Ⅲ	土器	拓本	口縁部
94-42	b-35-14		Ⅲ	土器	拓本	1/2 口縁部
94-43	Z-35-03		Ⅲ	土器	拓本	1/2 口縁部
94-44	a-35-括		Ⅲ	土器	拓本	口縁部
94-45	Y-35-02		Ⅲ	土器	拓本	1/2 口縁部
94-46	Y-35-16		Ⅲ	土器	拓本	1/2 口縁部
94-47	Y-35-14		Ⅲ	土器	拓本	1/2 口縁部
94-48	Y-35-06		Ⅲ	土器	拓本	1/2 口縁部
94-49	Y-34-22		Ⅲ	土器	拓本	1/2 口縁部
94-50	Y-35-01		Ⅲ	土器	拓本	口縁部
94-51	Y-34-22		Ⅲ	土器	拓本	口縁部
94-52	a-35-02		Ⅲ	土器	拓本	口縁部
94-53	b-35-09		Ⅲ	土器	拓本	口縁部
94-54	Y-35-01		Ⅲ	土器	拓本	口縁部
95-55	b-35-08		Ⅲ	土器	拓本	口縁部
95-56	Y-35-17		Ⅲ	土器	拓本	1/2 口縁部
95-57	Y-35-11		Ⅲ	土器	拓本	1/2 口縁部
95-58	Y-34-21		Ⅲ	土器	拓本	1/2 口縁部
95-59	Y-35-12		Ⅲ	土器	拓本	1/2 口縁部
95-60	Y-34-22		Ⅲ	土器	拓本	1/2 口縁部
95-61	Y-34-21		Ⅲ	土器	拓本	1/2 口縁部
95-62	Y-35-16		Ⅲ	土器	拓本	口縁部
95-63	b-35-13		Ⅲ	土器	拓本	1/2 口縁部
95-64	Z-35-括		Ⅲ	土器	拓本	口縁部
95-65	a-34-21		Ⅲ	土器	拓本	口縁部
96-66	a-35-括	③	Ⅲ	土器	拓本	胴部
96-67	Y-34-23		Ⅲ	土器	拓本	胴部
96-68	a-34-21		Ⅲ	土器	拓本	胴部
96-69	Z-34-23		Ⅲ	土器	拓本	胴部
96-70	Z-35-18		Ⅲ	土器	拓本	1/2 胴部
96-71	Y-35-11		Ⅲ	土器	拓本	1/2 胴部
96-72	Y-34-23		Ⅲ	土器	拓本	1/2 胴部
96-73	Y-35-07		Ⅲ	土器	拓本	1/2 胴部
96-74	Y-35-01		Ⅲ	土器	拓本	1/2 胴部
96-75	Y-35-12		Ⅲ	土器	拓本	胴部
96-76	Y-35-17		Ⅲ	土器	拓本	胴部
96-77	b-35-03	Ⅲ	土器	拓本	胴部	
97-78	Y-35-05	①	Ⅲ	土器	拓本	1/2 胴部
97-79	Y-35-06		Ⅲ	土器	拓本	1/2 胴部
97-80	Y-35-括			土器	拓本	胴部
97-81	Y-35-17		Ⅲ	土器	拓本	胴部
97-82	Y-35-13		Ⅲ	土器	拓本	胴部
97-83	Y-35-13		Ⅲ	土器	拓本	胴部

図版番号	出土グリット	遺物番号	層位	名称	計測値(cm)(g)	備考
97-84	Y-35-13		Ⅲ	土器	拓本	胴部
97-85	カクラン			土器	拓本	1/2 胴部
97-86	Y-34-17		Ⅲ	土器	拓本	1/2 胴部
97-87	b-35-11		Ⅲ	土器	拓本	1/2 底部
97-88	a-35-02		Ⅲ	土器	拓本	底部
97-89	X-35-05		Ⅲ	土器	拓本	底部
97-90	Y-35-15		Ⅲ	土製品	拓本	1/2
98-91	b-35-02		Ⅲ	石鏃	長さ3.2幅1.5厚さ0.5重さ1.2	黒曜石
98-92	b-35-12		Ⅲ	石鏃	長さ3.7幅1.3厚さ0.4重さ1.4	黒曜石
98-93	Z-35-13		Ⅲ	石鏃	長さ(3.9)幅1.7厚さ0.3重さ1.8	黒曜石
98-94	b-34-14		Ⅲ	石鏃	長さ3.9幅2.0厚さ0.4重さ2.4	頁岩
98-95	b-34-13		Ⅱ	石鏃	長さ4.7幅2.4厚さ0.7重さ5.3	黒曜石
98-96	b-34-13		Ⅲ	石鏃	長さ4.3幅2.5厚さ0.6重さ4.2	黒曜石
98-97	Z-35			石鏃	長さ3.2幅1.4厚さ0.45重さ1.5	黒曜石
98-98	Z-35-13		Ⅲ	石鏃	長さ(2.7)幅1.2厚さ0.4重さ0.9	黒曜石
98-99	X-35-05		Ⅲ	石鏃	長さ2.6幅1.3厚さ0.6重さ1.3	黒曜石
98-100	Y-35			石鏃	長さ2.1幅1.0厚さ0.2重さ0.4	黒曜石
98-101	a-35-02		Ⅱ	石錐	長さ4.6幅1.0厚さ0.8重さ4.5	頁岩
98-102	Y-35-16		Ⅲ	ナイフ	長さ(7.2)幅4.3厚さ0.7重さ26.8	頁岩
98-103	X-35-05		Ⅲ	ナイフ	長さ(7.4)幅3.5厚さ0.7重さ21.6	頁岩
98-104	Y-35-14		Ⅲ	削器	長さ3.4幅2.15厚さ0.5重さ3.7	黒曜石
98-105	b-35-07		Ⅲ	削器	長さ3.85幅2.2厚さ0.5重さ3.7	黒曜石
99-106	X-35			削器	長さ7.3幅6.75厚さ1.2重さ73	安山岩
99-107	a-35	①		削器	長さ13.4幅7.0厚さ2.7重さ205	1/3 安山岩
99-108	Y-35-06		Ⅲ	削器	長さ11.0幅8.9厚さ1.1重さ155	1/3 安山岩
99-109	a-35	①		削器	長さ14.3幅11.1厚さ1.9重さ235	1/3 安山岩

## 第Ⅳ章 道道地点

### 1. 概要

縄文時代晩期中葉から擦文時代、中世の遺物が出土しているが主体となるのは、遺構では縄文時代晩期後葉から続縄文時代前葉の遺物であり、包含層では縄文時代晩期中葉の遺物である。土器34,383点、石器494点、フレイク8,661点等45,458点の遺物が検出されている。

遺構の時期と概要は以下の通りである。

竪穴住居址 3基（縄文時代晩期後葉 1基、擦文時代 1基、時期不明 1基）

墓壙 36基（縄文時代晩期から続縄文時代 35基、中世 1基）

土壙 18基（縄文時代晩期 6基、中世 1基、近世 1基、時期不明 10基）

壕状遺構 3基（中・近世 1基、時期不明 2基）

焼土 6基（縄文時代晩期 6基）

縄文時代晩期中葉から後葉にかけての墓壙を主体とする地点であり、縄文時代晩期後葉と思われる12基の墓壙からは琥珀製平玉等の琥珀製装身具が検出されている。遺体の遺存状態が良好ではなく頭位が明確なものは検出されなかった。

中世に属する土葬墓であるP-47が検出されているが、平面形が楕円形を呈する壙底より和鏡と漆器が検出されており、迂回路地点検出のP-42に類似した性格をもっている。

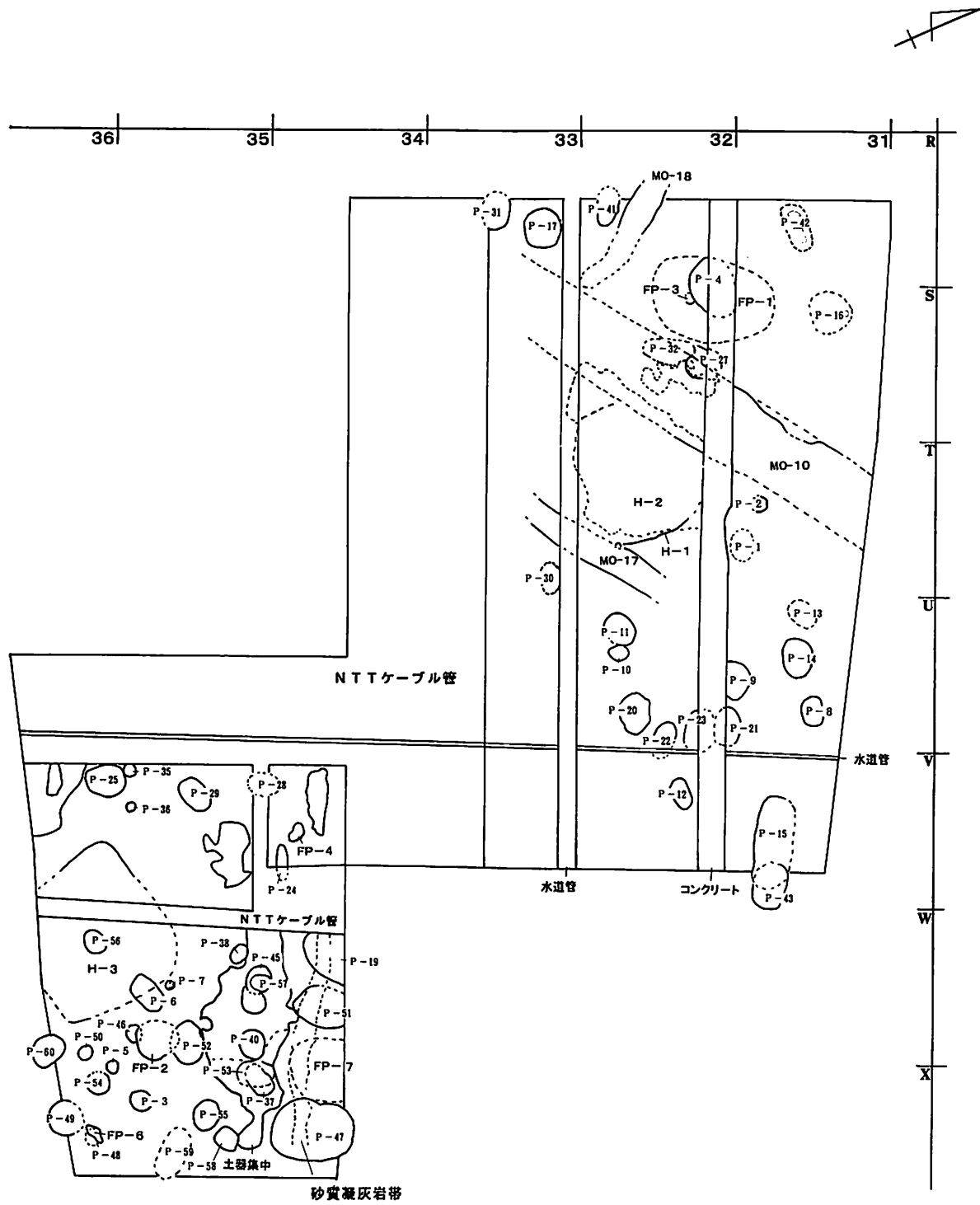
発掘区全体に攪乱が及んでいるためもあってかⅡ層を掘り込んで構築される近世に属する墓壙は検出されなかった。

住居址は3基検出されているが擦文時代に属する住居址であるH-2の下より縄文時代晩期後葉に属する住居址であるH-1が検出している。いずれもMO-10によって切られている。H-3は隅丸方形を呈すると思われる遺構であるが伴出する遺物は確認されず時期不明である。

発掘区北側には壕状遺構が3基検出されているが、1992年から1994年の調査で検出されているMO-10に接続すると思われるものは遺構名を踏襲した。また、その他の壕状遺構も1989年から1994年の調査で検出されている壕状遺構と一連のものと判断し連番とした。

焼土は6基検出されているが伴出する遺物が確認されたものは少なく、属する時期が明確なものは少なかったが、検出された層位より縄文時代晩期に属すると判断した。

# 大川遺跡道道地点遺構配置図

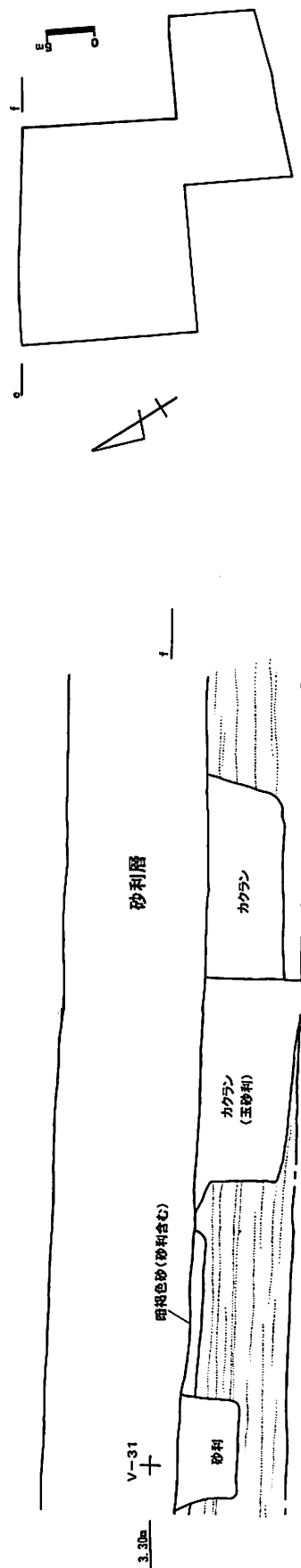
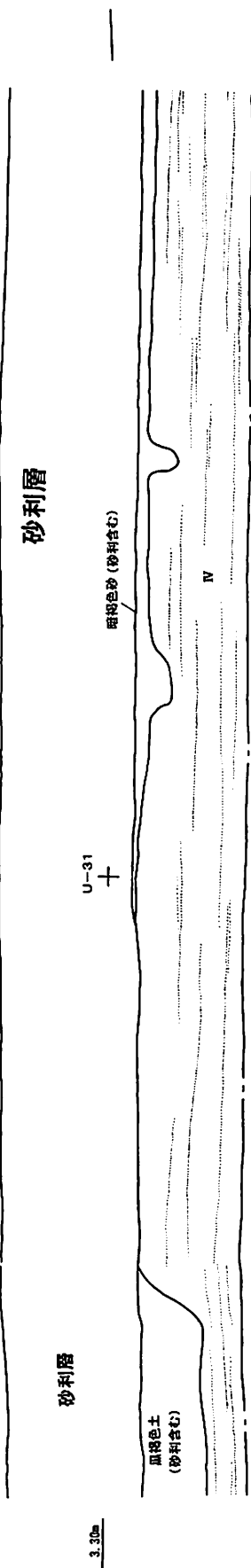
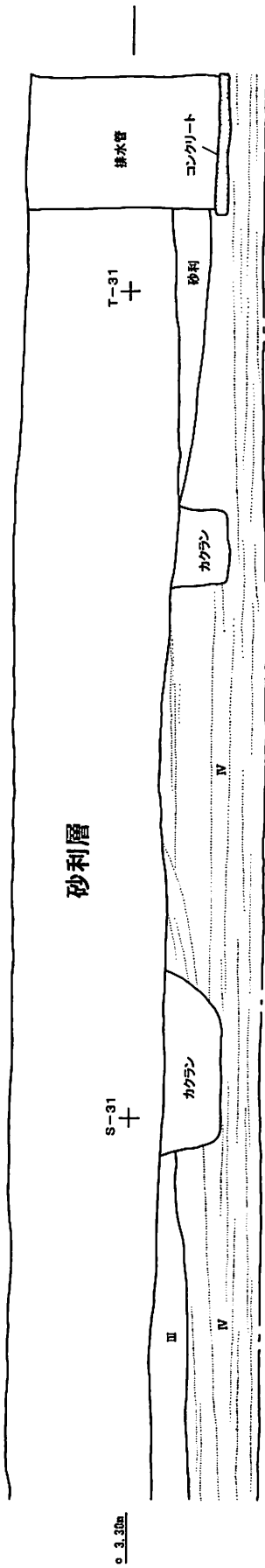


第100図 大川遺跡道道地点遺構配置図





東西土層断面図



第102図 道々地点東西土層断面図 (1)



## 2. 遺構と遺物

### P-1 (第104図)

T-31グリッドに位置する。長軸方向東南東-西北西の約1.1×0.8mの楕円形を呈する墓墳である。墳底には遺体痕跡と琥珀製平玉及び垂飾が41点以上副葬されている。

琥珀製平玉は直径約1cmのもの1点と直径約0.4cmのもの30点が連なった状態で検出されている。

琥珀玉より縄文時代晩期後葉から続縄文時代前葉にかけての墓墳と思われる。

### P-2 (第104図)

T-31グリッドに位置する墓墳である。墳底よりやや遺存状態の良い遺体が確認されたが部位は不明である。伴出する遺物は検出されず時期不明の墓墳である。

### P-3 (第105図)

X-35グリッドに位置する直径約0.7mの円形を呈する土壇である。小形の鉢形土器が伴出している。遺体等は確認されなかった。伴出した土器等から縄文時代晩期に属する土壇と思われる。

### P-4 (第106図)

R-32・S-32グリッドに位置する長軸方向が北西-南東の約2×1.3mの楕円形を呈すると思われる墓墳である。墳底より琥珀製垂飾及び石鏃が検出している。縄文時代晩期後葉に属すると思われる焼土であるFP-1を切って構築されている。琥珀製垂飾と石鏃より縄文時代晩期後葉から続縄文時代前葉にかけての墓墳と思われる。

### P-5 (第105図)

X-35・36グリッドに位置する直径約0.4mの円形を呈する土壇である。伴出する遺物は確認されず時期不明の土壇である。

### P-6 (第107・108・109図)

W-35グリッドに位置する約1.2×0.8mの長軸方向は北東-南西の楕円形を呈する墓墳である。墓墳の東北東側に軽石片とともに黒曜石製石鏃が38点確認されている。石鏃から縄文時代晩期後葉に属する墓墳であると思われる。

### P-7 (第107・109図)

W-35グリッドに位置する直径約0.3mの柱穴状の土壇である。覆土より黒曜石の原石が2点検出されており原石を埋納した土壇の可能性はある。

### P-8 (第110図)

U-31グリッドに位置する長軸方向が北西-南東で約1.0×0.7mの楕円形を呈する墓

墳である。墳底部にわずかに遺体痕跡がみられる。墓墳東側に琥珀製垂飾とフレイクが集中してみられ、西側には琥珀製垂飾が1点検出している。琥珀製垂飾より縄文晩期後葉から続縄文時代前葉にかけての墓墳と思われる。

#### P-9 (第111図)

U-31グリッドに位置する約1.2×0.7mの長軸方向が東南東-西北西の楕円形を呈する墓墳である。西側が攪乱をうけている。墳底より後北A式に類する完形の深鉢が倒立した状況で検出している。遺物から続縄文時代恵山期後半に属する墓墳と思われる。

#### P-10 (第112図)

U-32グリッドに位置する約0.6×0.5mの長軸方向北東-南西で楕円形を呈する墓墳である。墳底部からベンガラまじりの遺体痕跡が検出されている。副葬品は南側に集中しており、縄文時代晩期後葉に属する完形土器と直径約0.5cmの琥珀製平玉が50点以上確認された。遺物などから縄文晩期後葉に属する墓墳と思われる。

#### P-11 (第112図)

U-32グリッドに位置する約1.1×0.8mの長軸方向東-西の楕円形を呈する墓墳である。墓墳東側をP-10によって切られている。墓墳中央より石製垂飾と直径約1~2.4cmの琥珀製平玉が13点以上連なって検出している。遺物から縄文時代晩期後葉に属する墓墳と思われる。

#### P-12 (第111図)

V-32グリッドに位置する。約1×0.6mの長軸方向東-西の楕円形を呈する墓墳である。墳底にはベンガラまじりの遺体痕跡と中央に石鏃、東側から土器底部が検出した。遺物などから縄文時代晩期後葉から続縄文時代前葉に属する墓墳と思われる。

#### P-13 (第110図)

U-31グリッドに位置する長軸方向北東-南西の約1×0.7mの楕円形を呈すると思われる墓墳である。墳底より遺体痕跡が検出しているが伴出する遺物等は確認されなかった。墓墳の状態より縄文時代晩期から続縄文時代に属すると思われる。

#### P-14 (第114・115・116図)

U-31グリッドに位置する約1.2×0.9mの長軸方向が北西-南東の楕円形を呈する墓墳である。墳底にはベンガラまじりの遺体と西側から石鏃の集中と石斧・砥石等が検出した。

墓墳西側に重なった状態で石鏃が検出している。石鏃の形態より縄文時代晩期後葉から続縄文時代前葉にかけての墓墳と思われる。

P-15 (第117図)

V-31グリッドに位置する長軸方向が北西-南東の約3×1.4mの長楕円形を呈する墓壙である。墓壙東側に攪乱をうけている。遺体痕跡は確認されなかったが壙底部にベンガラが散布されていることから墓壙と判断した。伴出遺物は確認されなかったが墓壙の形状より縄文時代晩期から続縄文時代にかけての墓壙と思われる。

P-16 (第113図)

R-31・S-31グリッドに跨がって位置する長軸方向が北西-南東の約1.5×1.3mの楕円形を呈すると思われる墓壙である。壙底より遺体痕跡が確認されている。伴出遺物は確認されず時期不明の墓壙である。墓壙の形状より縄文時代晩期から続縄文時代にかけての墓壙と思われる。

P-17 (第118・119・120・121図)

R-35グリッドに位置する直径約1.2mの円形を呈する墓壙である。墓壙中央には遺体痕跡がみられ副葬品として石鏃27点、石斧4点、ナイフ5点等ともに多量のフレイクが検出している。北側には恵山期の完形土器が2点検出しており小形の壺形土器内には朱がつめられていた。東側には自然礫が1点検出している。伴出遺物より続縄文時代恵山期の墓壙と思われる。

P-19 (第122図)

W-34グリッドに位置する土壙である。縄文時代晩期の砂質凝灰岩粗粒を切って構築されている。覆土より北宋銭と思われる古銭8枚と刀子2点が検出している。中世に属する土壙である。

P-20 (第123図)

U-32グリッドに位置する長軸方向南東-北西の約1.3×1mの楕円形を呈する墓壙である。壙底にはベンガラが散布されているが明確な遺体痕跡は確認できなかった。墓壙中央に礫を西側には石鏃と搔器が配されている。遺物より縄文時代晩期後葉から続縄文前葉の墓壙と思われる。

P-21 (第123図)

U-31・32グリッドに位置する墓壙である。ベンガラを含む遺体痕跡が確認された。遺体取り上げ後、遺体中から直径約0.5cmの琥珀製平玉が3点検出している。琥珀製平玉より縄文時代晩期後葉から続縄文時代にかけての墓壙と思われる。

P-22 (第124図)

U-32グリッドに位置する長軸方向北北西-南南東の約1×0.7mの楕円形を呈すると思われる墓壙である。壙底よりベンガラを含む遺体痕跡が検出している。伴出遺物は確認されなかった。壙底にベンガラを散布していることより縄文時代晩期から続縄文時代に属

する墓壙と思われる。

P-23 (第124図)

U-32グリッドに位置する長軸方向北東-南西の楕円形を呈すると思われる墓壙である。壙底にはベンガラが散布され石鏃とともに直径約1.5cm前後の琥珀製平玉が連なった状態で検出している。伴出遺物より縄文時代晩期後葉から続縄文時代前葉の墓壙である。

P-24 (第124図)

V-24グリッドに位置する長軸方向北西-南東の約1.2×0.5mの長楕円形を呈する墓壙である。明確な遺体の痕跡は確認されなかったが、壙底にベンガラが散布されていることから墓壙と判断した。墓壙西側より縄文時代晩期後葉に属する土器が検出している。縄文時代晩期後葉の墓壙と思われる。

P-25 (第125図)

V-35・36グリッドに位置する長軸方向北東-南西の1.4×1.1mの不整円形を呈する土壙である。伴出遺物は確認されなかった。墓壙の形態より縄文時代晩期から続縄文時代にかけての土壙と思われる。

P-27 (第125図)

S-32グリッドに位置する直径約1.1mの円形を呈すると思われる墓壙である。伴出遺物は確認されなかったが縄文時代晩期から続縄文時代に属すると思われる。

P-28 (第126図)

V-28・29グリッドに位置する長軸方向北東-南西の約1.3×1mの楕円形を呈すると思われる墓壙である。伴出遺物は検出されなかったが縄文時代晩期から続縄文時代に属する可能性がある。

P-29 (第126図)

V-35グリッドに位置する長軸方向が東北東-西南西の約1.2×0.9mの楕円形を呈する土壙である。伴出遺物は検出せず時期不明の土壙である。

P-30 (第127図)

T-33グリッドに位置する長軸方向が北西-南東の約1.2×0.8mの楕円形を呈する墓壙である。壙底より遺体痕跡とともに石製垂飾が検出している。縄文時代晩期から続縄文時代に属する可能性がある。

P-31 (第128図)

R-31グリッドに位置する長軸方向が北西-南東の約1.2×0.9mの楕円形を呈すると思われる墓壙である。壙底には遺体痕跡が確認され北側より石鏃が1点検出している。

縄文時代晩期に属する墓壙である。

P-32 (第128図)

S-32グリッドに位置する長軸方向が北北東-南南西の約1.8×0.8mの長楕円形を呈する墓壙である。壙底には遺体痕跡が検出している。墓壙南側はMO-10に、東側をP-27によって切られている。墓壙の状態より縄文時代晩期から続縄文時代の可能性がある。

P-35 (第127図)

V-35グリッドに位置する直径約0.4mの土壙である。時期不明の土壙である。

P-36 (第127図)

V-35グリッドに位置する直径約0.3mの土壙である。時期不明の土壙である。

P-37 (第129図)

X-35グリッドに位置する長軸方向東北東-西南西の約1.2×0.8mの楕円形を呈する墓壙である。壙底西側には人頭大の礫が配され、ベンガラまじりの遺体痕跡とともに琥珀製平玉・管玉・垂飾、石斧未製品が検出している。発掘区南側に広がる砂質凝灰岩粗粒を切って構築されており、縄文時代晩期後葉から続縄文時代前葉にかけての墓壙と思われる。

P-38 (第130図)

W-35グリッドに位置する長軸方向北北西-南南東の約0.6×0.5mの楕円形を呈する墓壙である。発掘区南側に広がる砂質凝灰岩粗粒を掘り込んで構築されている。明確な遺体は確認されなかったが覆土中より連なった状態の直径1~2.2cmの琥珀製平玉と石鏃が検出していることから墓壙と判断した。出土遺物より縄文時代晩期後葉から続縄文時代前葉の墓壙と思われる。

P-40 (第131図)

W-35グリッドに位置する長軸方向が東南東-西北西の約1×0.8mの楕円形を呈する墓壙である。墓壙中央よりベンガラと遺体痕跡が確認された。南側より拳大の礫が検出した。時期を特定する遺物は確認されなかったが発掘区南側に広がる縄文時代晩期中葉に形成されたとと思われる砂質凝灰岩粗粒を切って構築されていることから縄文時代晩期中葉から続縄文時代にかけての墓壙と思われる。

P-41 (第131図)

R-32グリッドに位置する長軸方向が南東-北西の楕円形を呈すると思われる墓壙である。壙底の南側より歯片とともに礫玉が16点検出している。礫玉から続縄文時代前葉に属する墓壙と思われる。



P-42 (第132図)

R-31グリッドに位置する長軸方向が東南東-西北西の約1.7×0.8mの楕円形を呈する墓墳である。墳底よりベンガラをおびた遺体痕跡が確認されている。墓墳の形態等より縄文時代晩期から続縄文時代にかけての墓墳の可能性はある。

P-43 (第133図)

X-29グリッドに位置する長軸方向南東-北西の約1.4×1mの楕円形を呈する墓墳である。墳底より遺体痕跡が確認されている。伴出遺物は検出しなかったが縄文時代晩期から続縄文時代にかけての墓墳の可能性はある。

P-45 (第132図)

b-29グリッドに位置する長軸方向北北西-南南東の約0.9×0.8mの楕円形を呈する墓墳である。発掘区南側に広がる砂質凝灰岩粗粒を掘り込みP-57を切って構築されている。

墓墳覆土より完形土器と椀状のものに塗布されたと思われる漆皮膜と直径約0.5cmの琥珀製平玉9点以上と琥珀製垂飾が検出されている。明確な遺体痕跡は確認されなかったが遺物より墓墳と判断した。遺物より縄文時代晩期後葉に属する墓墳と思われる。

P-46 (第133図)

W-35グリッドに位置する直径約0.5mの円形を呈する土壌である。覆土より縄文晩期中葉に属する深鉢形土器が検出されている。縄文時代晩期中葉に属する土壌である。

P-47 (第134図)

X-34グリッドに位置する長軸方向北北西-南南東の約2.1×1.7mの楕円形を呈する墓墳である。頭位方向は歯片の位置から北東と思われる。墳底より遺体痕跡が確認され、墓墳長軸の両端には漆器椀と和鏡が配されている。和鏡は円形の木質のもので覆われており、箱状のものに収められて副葬されていたと思われる。中世に属する墓墳と思われる。

P-48 (第135図)

X-36グリッドに位置する直径約0.6mの円形を呈する墓墳である。柱穴状に掘り込まれている。伴出遺物は確認されず時期不明の土壌である。

P-49 (第136図)

X-36グリッドに位置する直径約1.2mの円形を呈すると思われる墓墳である。墳底には遺体痕跡が確認され覆土及び遺体直上より直径約0.4cmの琥珀製平玉37点、直径約0.8cmの琥珀製平玉2点、琥珀製垂飾3点等が検出されている。縄文時代晩期後葉から続縄文時代前葉にかけての墓墳と思われる。

P-50 (第135図)

W-36グリッドに位置する直径約0.5mの円形を呈する土壌である。伴出する遺物は検出されず時期不明の土壌である。

P-51 (第137図)

W-36グリッドに位置する長軸方向北東-南西の1.9×1.2mの楕円形を呈する土壌である。壙底より刀子が検出されている。近世に属する土壌と思われる。

P-52 (第138図)

W-35グリッドに位置する長軸方向東南東-西北西の約1.4×1.1mの楕円形を呈する墓壙である。壙底よりベンガラまじりの遺体痕跡と琥珀製平玉・丸玉、石鏃、石製ナイフ、完形土器が検出している。縄文時代晩期後葉に属する墓壙と思われる。

P-53 (第139図)

X-35グリッドに位置する長軸方向北北東-南南西の約1.3×0.8mの漏斗状を呈する土壌である。覆土中に拳大の礫の集中がみられ、その下に柱穴状の掘り込みが確認されている。P-37の下より検出されており、縄文時代晩期に属する土壌である。

P-54 (第139図)

X-36グリッドに位置する直径約0.8mの円形を呈する土壌である。壙底には人頭大の礫の集中とともにベンガラまじりの遺体痕跡が確認された。礫の直上には縄文時代晩期中葉に属する土器片が検出している。礫は被熱しているが墓壙内に焼土の痕跡は確認されなかった。縄文晩期中葉に属する墓壙と思われる。

P-55 (第140図)

X-35グリッドに位置する長軸方向南東-北西の約1×0.8mの楕円形を呈する土壌である。伴出する遺物は確認されず時期不明の土壌である。

P-56 (第140図)

W-36グリッドに位置する長軸方向が西北西-東南東の約0.9×0.7mの楕円形を呈する土壌である。土壌中央には柱状のしみがみられることから柱の掘り方と思われる。伴出遺物は確認されず時期不明の柱穴痕と思われる。

P-57 (第140図)

W-35グリッドに位置する直径約0.5mの柱穴状の土壌である。土壌中央には木柱痕がみられることから柱を立てるための掘り方と思われる。伴出遺物は検出されなかったがP-45の直下に位置することから縄文時代晩期後葉以前に構築された土壌と思われる。

P-58 (第141図)

X-35グリッドに位置する長軸方向東-西の約0.9×0.7mの楕円形を呈する土壌である。土壌中央には木柱痕がみられることから柱の掘り方と思われる。土壌上部は縄文時代晩期中葉に属する土器集中で覆われていることから縄文時代晩期中葉以前の土壌である。

P-59 (第141図)

X-35グリッドに位置する長軸方向が北東-南西の約1.5×0.7mの楕円形を呈する墓壙である。壙底より遺体痕跡が確認され、南東より石製垂飾が2点検出している。縄文時代晩期に属する墓壙と思われる。

P-60 (第142図)

W-36・X-36グリッドに位置する。長軸方向北西-南東の約1.3×1.2mの楕円形を呈すると思われる墓壙である。覆土から石鏃・石錐・搔器・砥石が検出しており墓壙の副葬品と思われる。壙底よりベンガラまじりの遺体痕跡が確認されている。遺物より縄文時代晩期から続縄文時代前葉にかけての墓壙と思われる。

H-1 (第143・144図)

S-32・T-32グリッドに位置する竪穴住居址であり、H-2の下面より検出している。北側をMO-10によって切られている。伴出する遺物より縄文時代晩期後葉の遺構である。

H-2 (第145・146図)

S-32・T-32グリッドに跨がって位置する竪穴住居址である。南北をMO-2やMO-10によって切られている。床面より擦文式土器が検出していることから擦文時代に属する。

床面に炭化物の広がり確認され石川編年I-b類の骨角製銚先片が検出している。

H-3 (第147・148図)

V-35・36、W-35・36グリッドに跨がって位置する。北側が大きく攪乱をうけているがプランは方形を呈すると思われる。伴出遺物は確認されず時期不明の遺構である。

MO-10 (第149図)

S-31~33、T-31~33グリッドに跨がって検出した幅約2mの壕状遺構であり東北東-西南西方向に発掘区外に続いているため全体の長さは不明である。1994年度の発掘で検出したMO-10に接続すると思われるため遺構名称を統一しMO-10とした。覆土上層に炭化物層が全体にみられる。擦文期に属するH-1を切っていることから擦文時代以降に構築されたものと思われる。

#### MO-17 (第149図)

T-32・33グリッドに跨がって検出した幅約1mの壕状遺構である。MO-10に並列するように東北東-西南西方向にのびている。両端の掘り込みは不明瞭であることから全体の長さは不明である。伴出する遺物は検出されなかったが擦文時代に属するH-1を切っていることから擦文時代以降に構築されたものと思われる。

#### MO-18 (第149図)

R-32グリッドに位置する北西-南東方向に位置する幅約1mの壕状遺構である。MO-10に直交する形に構築されている。南東側の端部は掘り込みが不明瞭であり北西側は発掘区外に延びているため全体の長さは不明である。伴出する遺物は確認されず時期不明の遺構である。

#### FP-1 (第150・151図)

R-32・S-32グリッドに位置する石組を伴う約2.2×1.6mの焼土である。石組み内は赤褐色の焼土が形成され石組み外には炭まじりの暗褐色砂が広がっている。暗褐色砂範囲より縄文時代晩期後葉に属する一括土器が検出しており縄文時代晩期後葉に属すると思われる。

#### FP-2 (第152図)

W-35・X-35グリッドに位置する直径約1.2mの円形の掘り込みをもつ焼土であり周縁には礫が配されおり石組みを伴う焼土と思われる。焼土内より石皿と礫が伴って検出されている。縄文時代晩期に属する焼土と思われる。

#### FP-3 (第152図)

S-32グリッドに位置する約0.4×0.3mの焼土である。焼土上面から拳大の礫が2点検出しており焼土に伴うものと思われる。IV層より検出していることから縄文時代晩期に属する焼土と思われる。

#### FP-4 (第153図)

V-34に位置する約0.6×0.4mの焼土である。III層より検出していることから縄文時代晩期に属する焼土と思われる。

#### FP-6 (第153図)

X-36グリッドに位置する約0.7×0.4mの焼土である。砥石と礫が焼土に隣接して検出している。IV層より検出しており縄文時代晩期に属する焼土と思われる。

#### FP-7 (第154図)

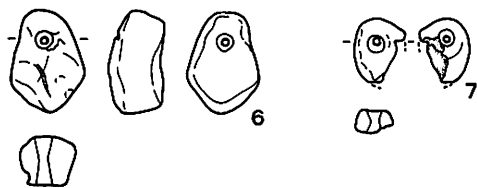
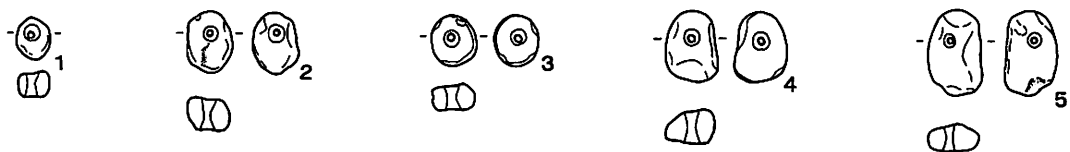
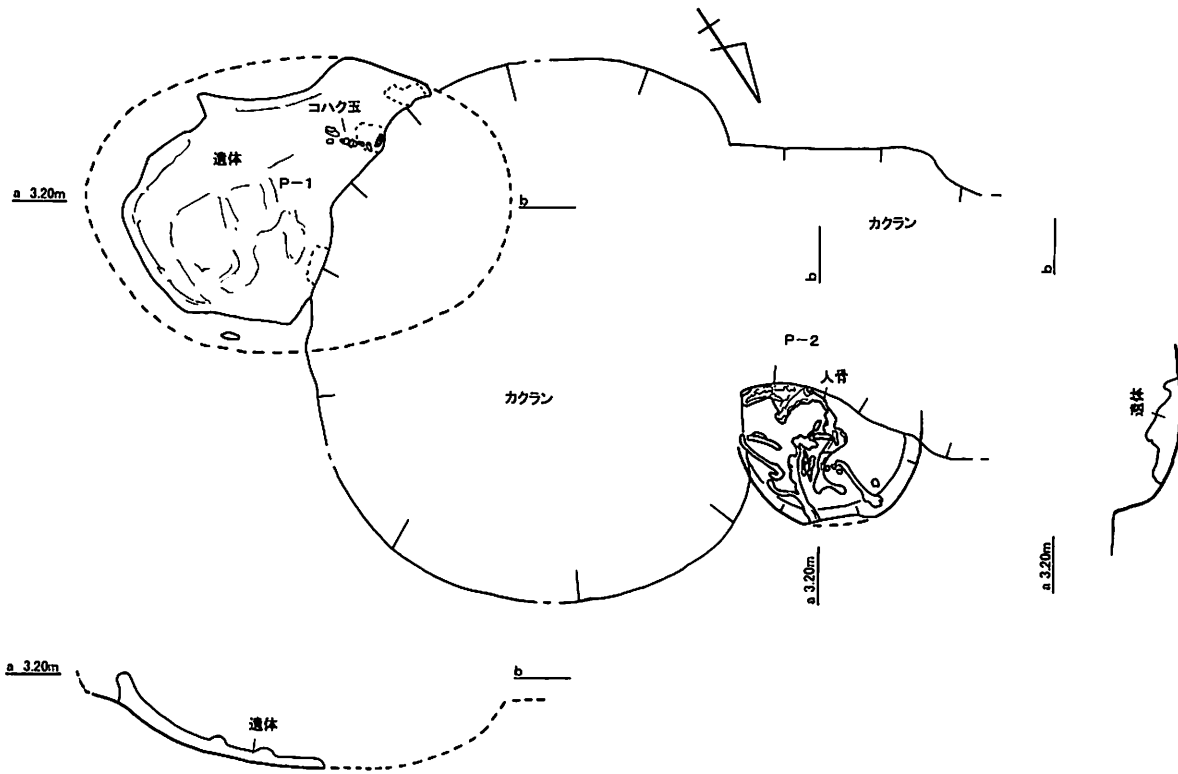
W-34・X-34グリッドに位置する焼土である。炭化物粒を多く含む黒色砂の範囲が広がり中央には炭化材が分布している。IV層より検出していることから縄文時代晩期に

属する焼土と思われる。

#### 土器集中範囲（第155図）

W-34・X-34・W-35・X-35グリッドに位置する土器片を含む砂質凝灰岩粗粒の範囲である。セクションより砂丘の傾斜に沿うように形成されたと思われる。X-35グリッドに土器の集中がみられる。土器は不規則的に配置されたと思われる。土器より縄文時代晩期中葉に属する。

P-1・P-2



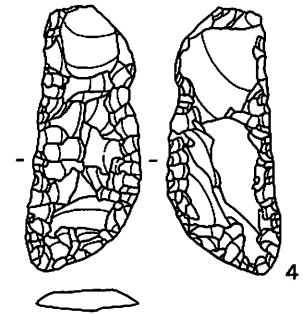
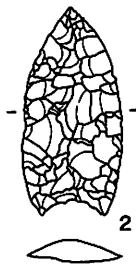
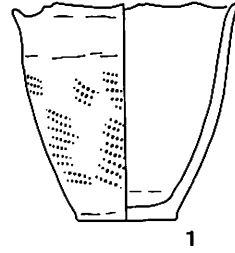
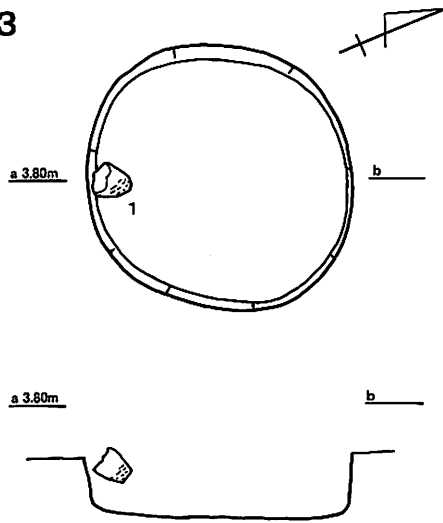
㊦ ㊦ ㊦ ㊦ ㊦ ㊦ ㊦ ㊦ ㊦ ㊦  
 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17

㊦ ㊦ ㊦ ㊦ ㊦ ㊦ ㊦ ㊦ ㊦ ㊦  
 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27

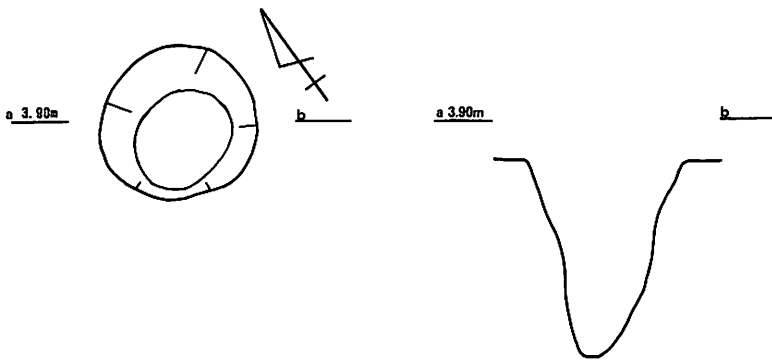
㊦ ㊦ ㊦ ㊦ ㊦ ㊦ ㊦ ㊦ ㊦ ㊦  
 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37

第104図 P-1、2 平面図と出土遺物

P-3

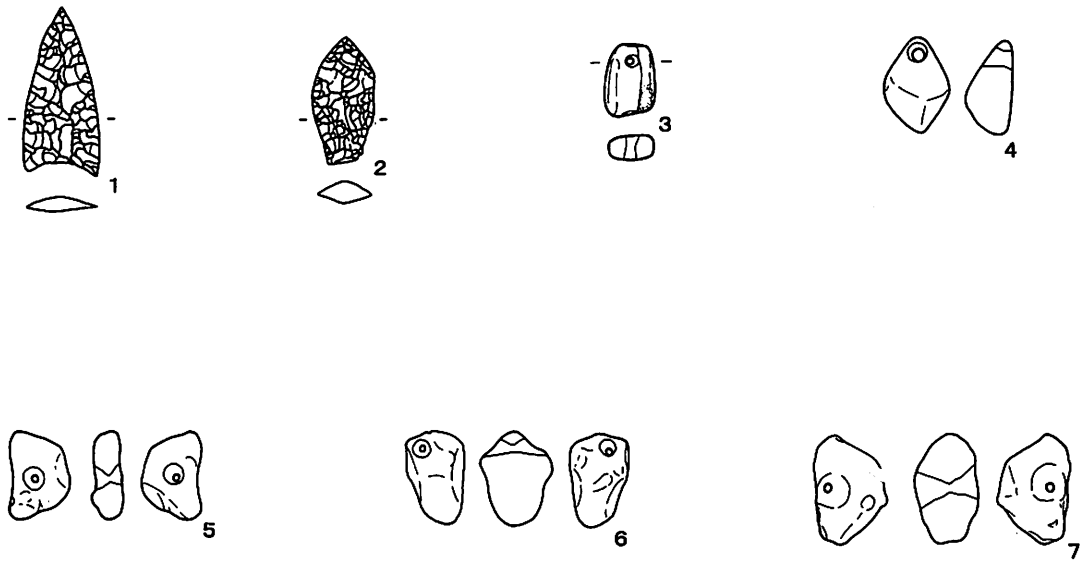
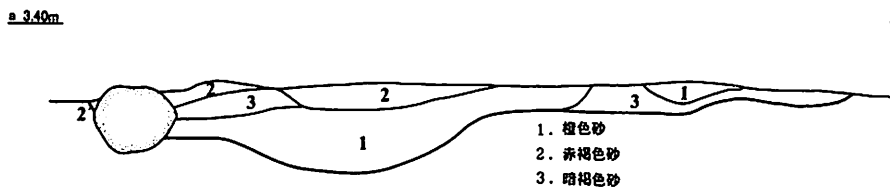
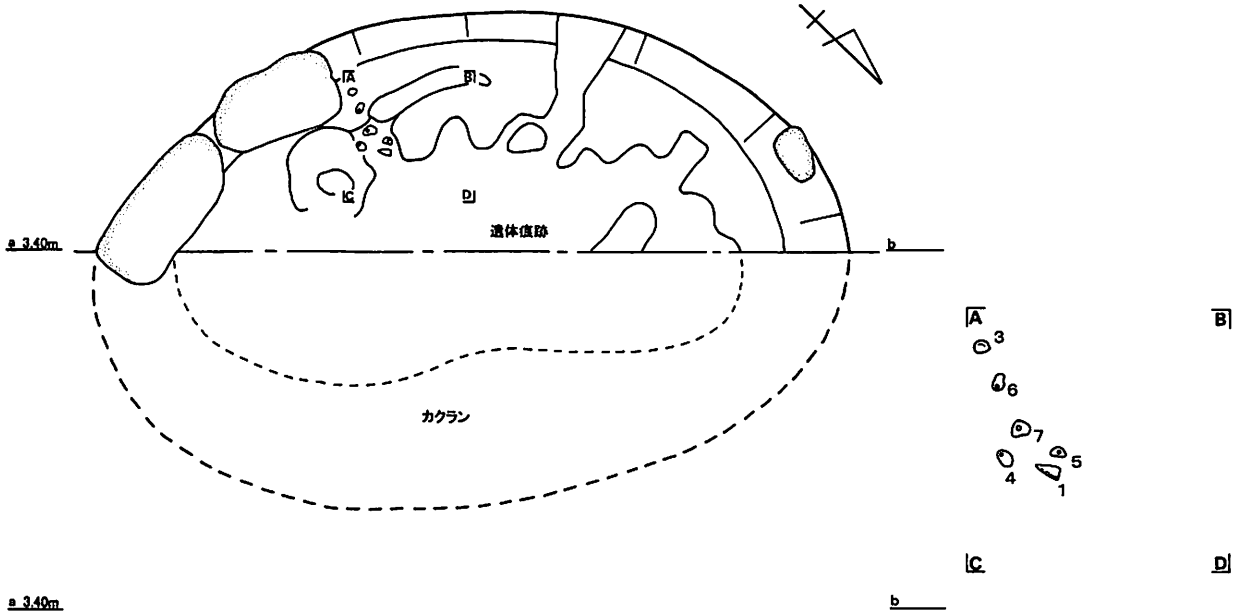


P-5



第105図 P-3、5 平面図と出土遺物

P-4

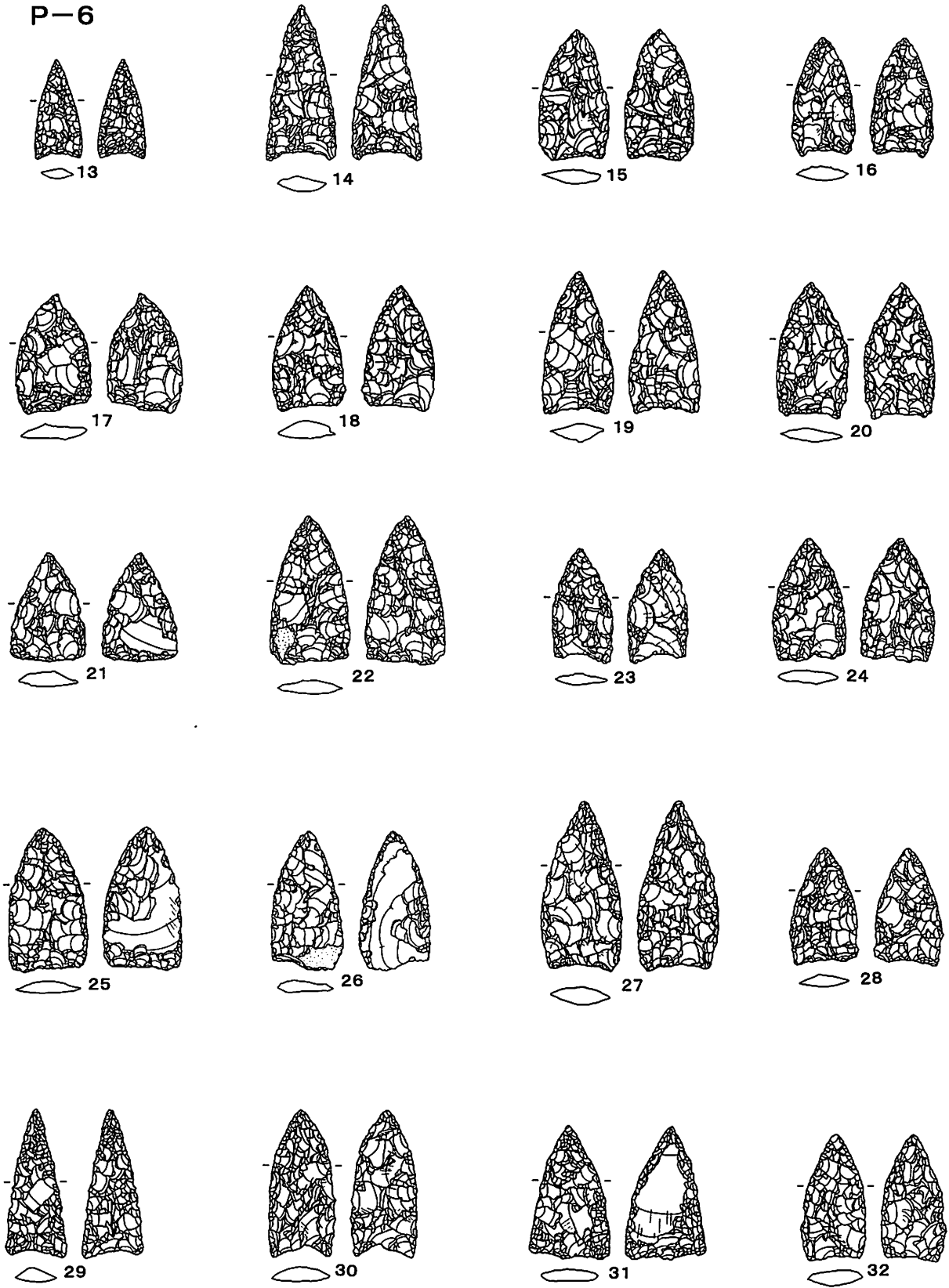


第106図 P-4 平面図と出土遺物



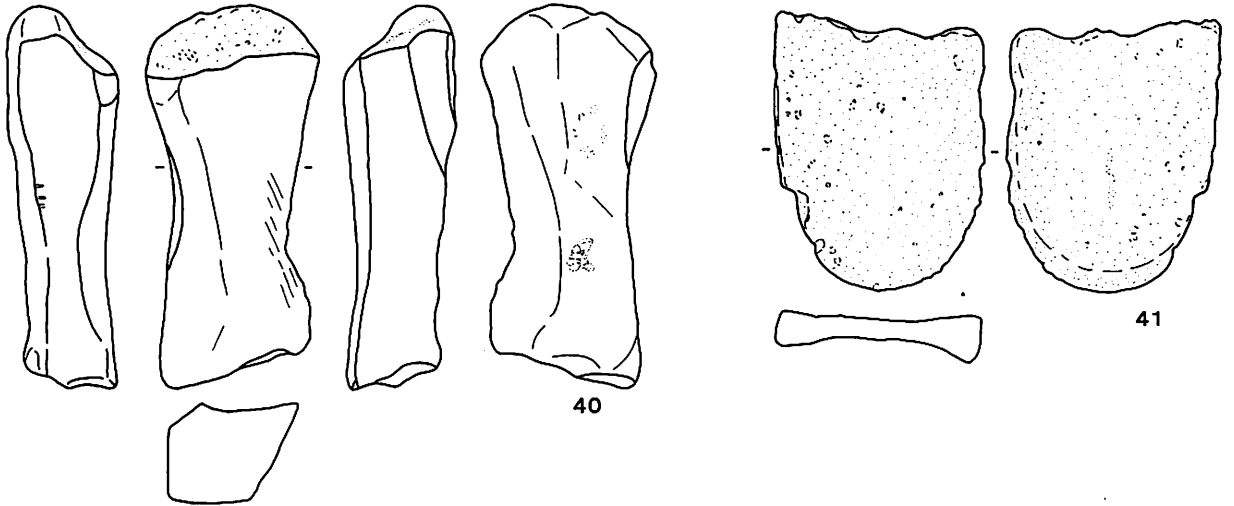
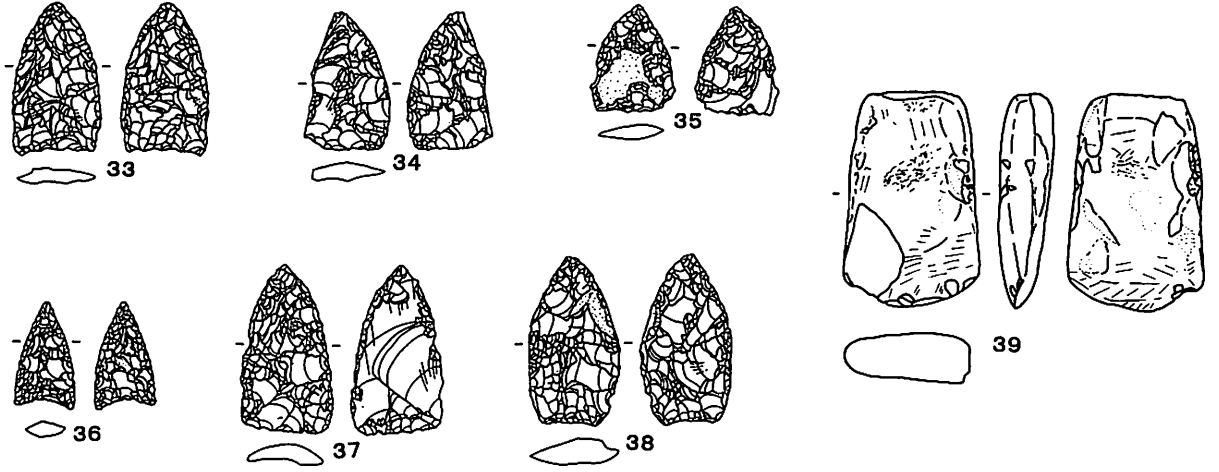


P-6

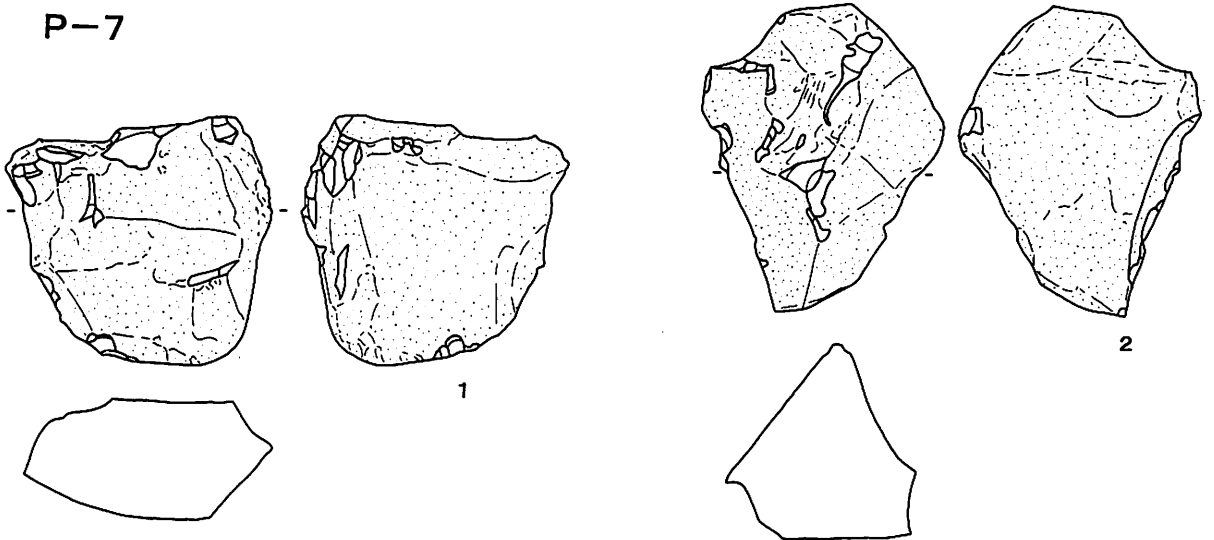


第108図 P-6 出土遺物

P-6

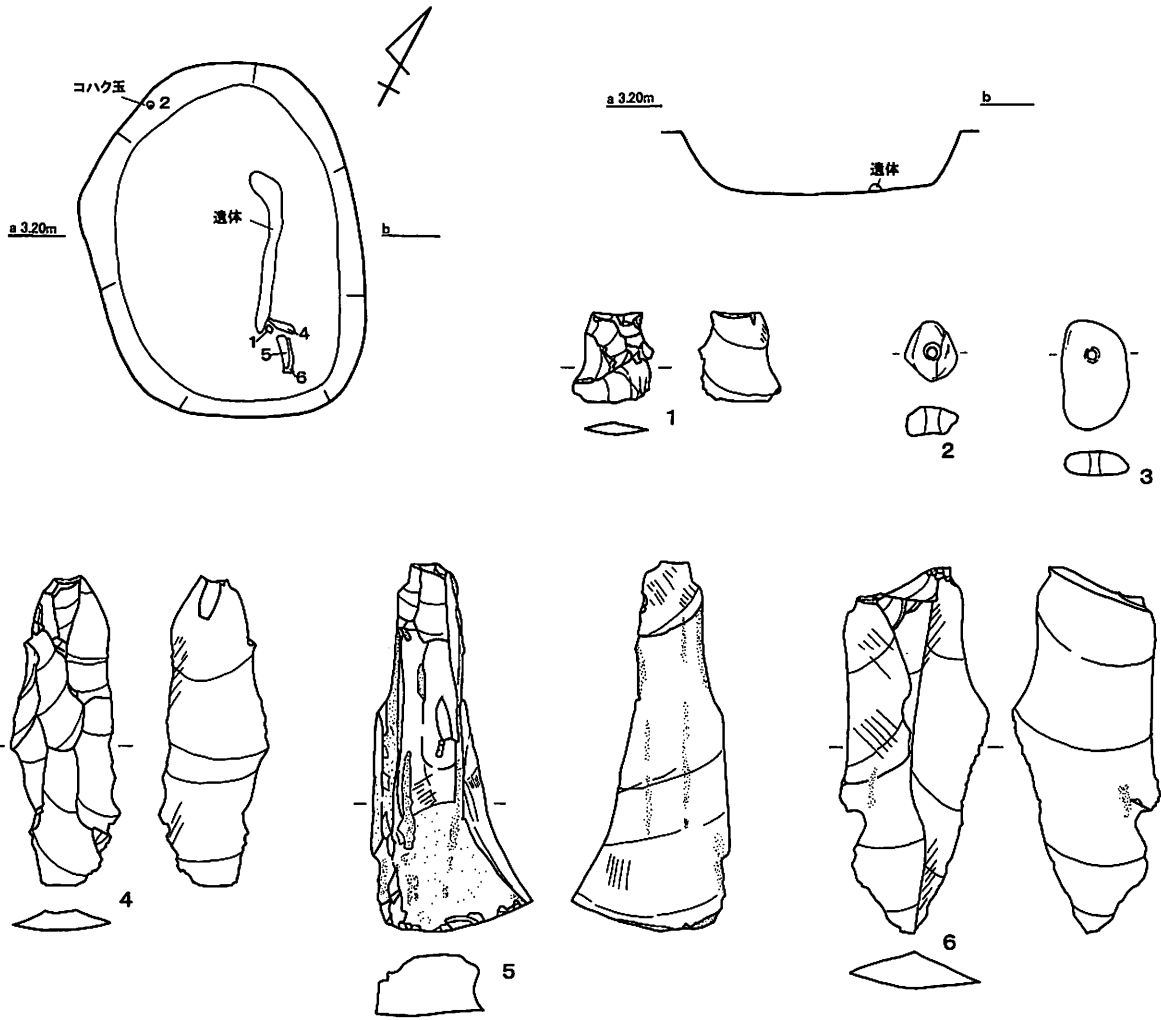


P-7

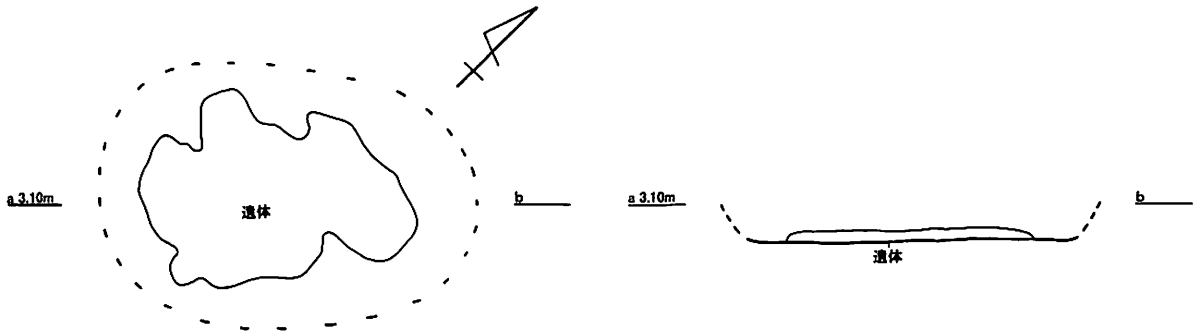


第109图 P-6、7 出土遺物

P-8

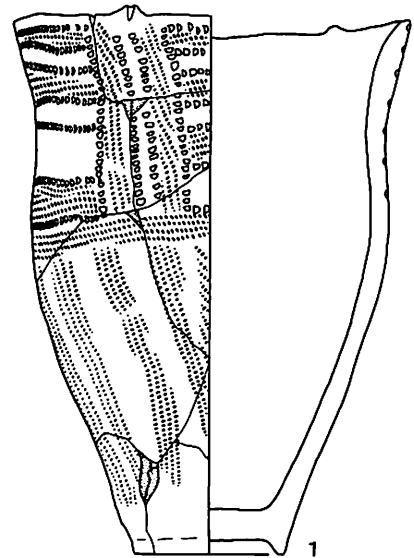
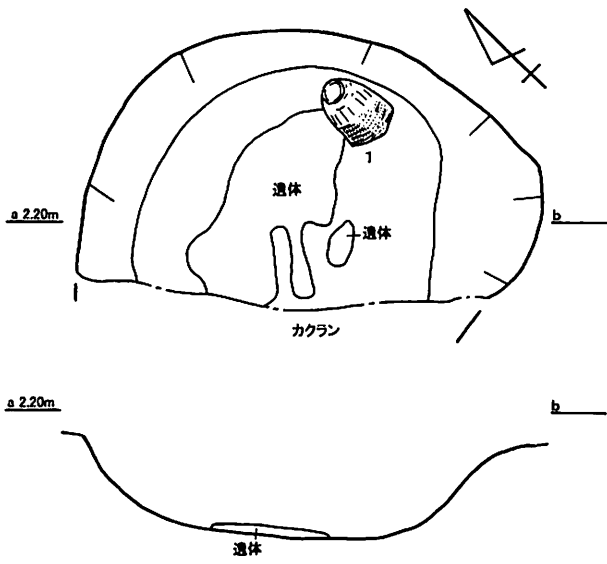


P-13

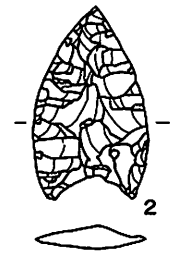
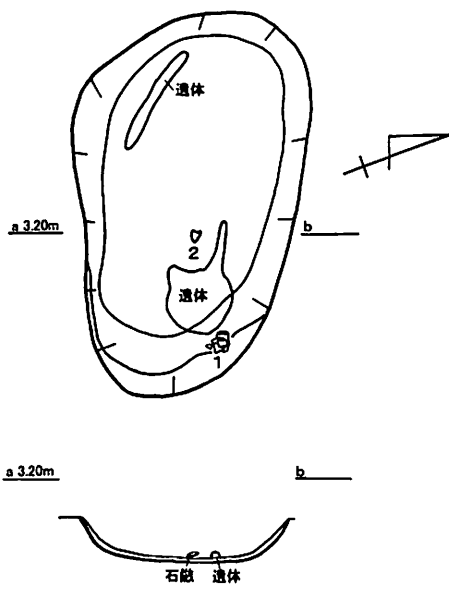


第110図 P-8、13 平面図と出土遺物

P-9

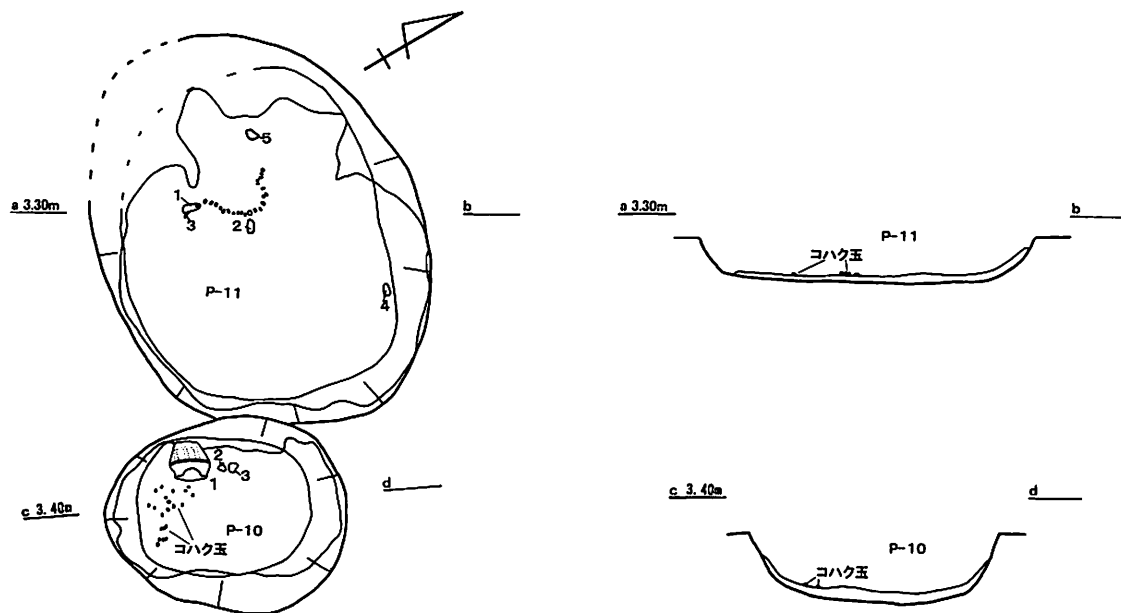


P-12

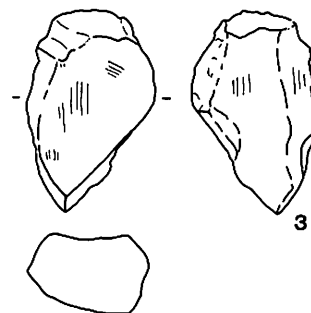
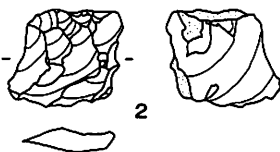
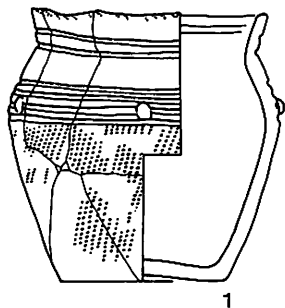


第111図 P-9、12 平面図と出土遺物

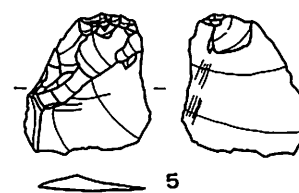
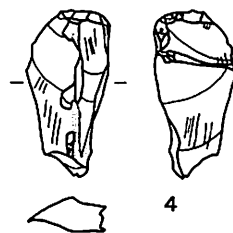
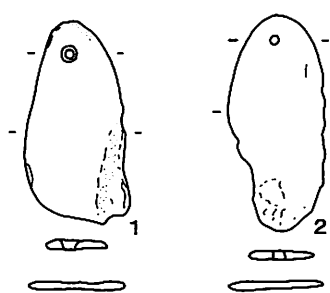
P-10・P-11



P-10

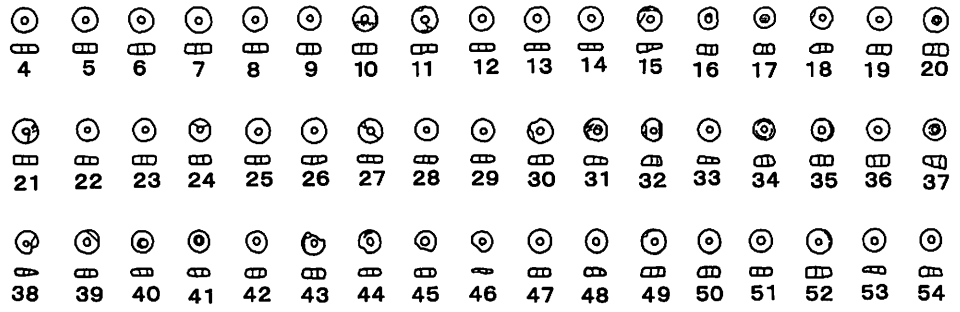


P-11

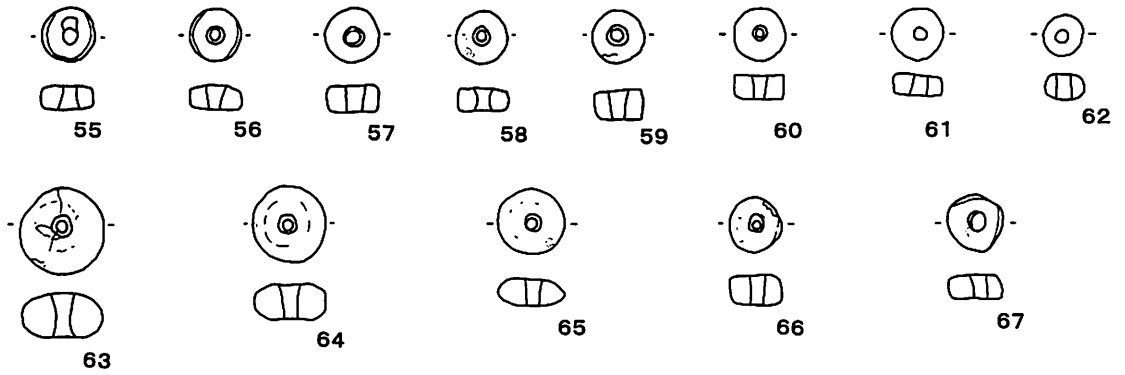


第112図 P-10、11 平面図と出土遺物

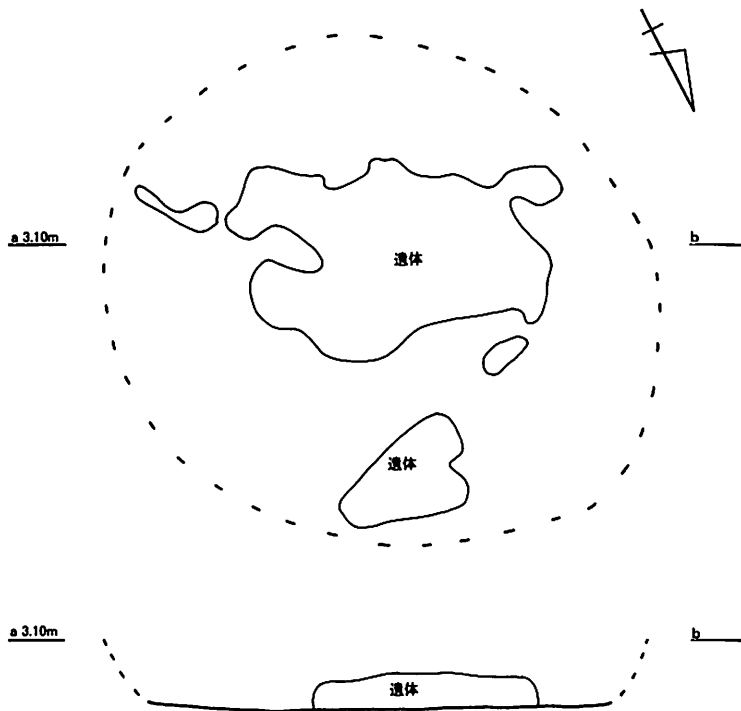
P-10



P-11

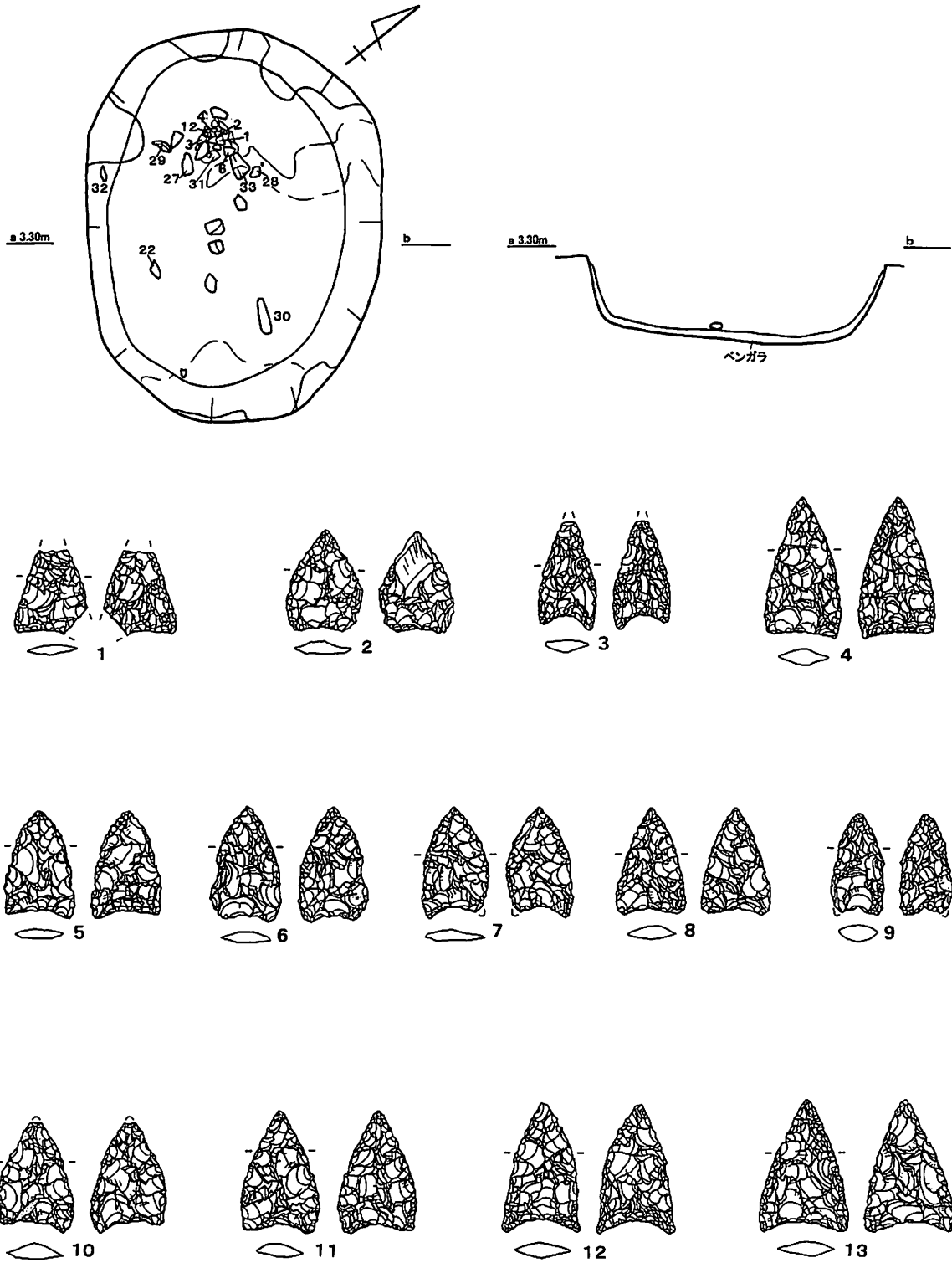


P-16



第113図 P-10、16 平面図と出土遺物

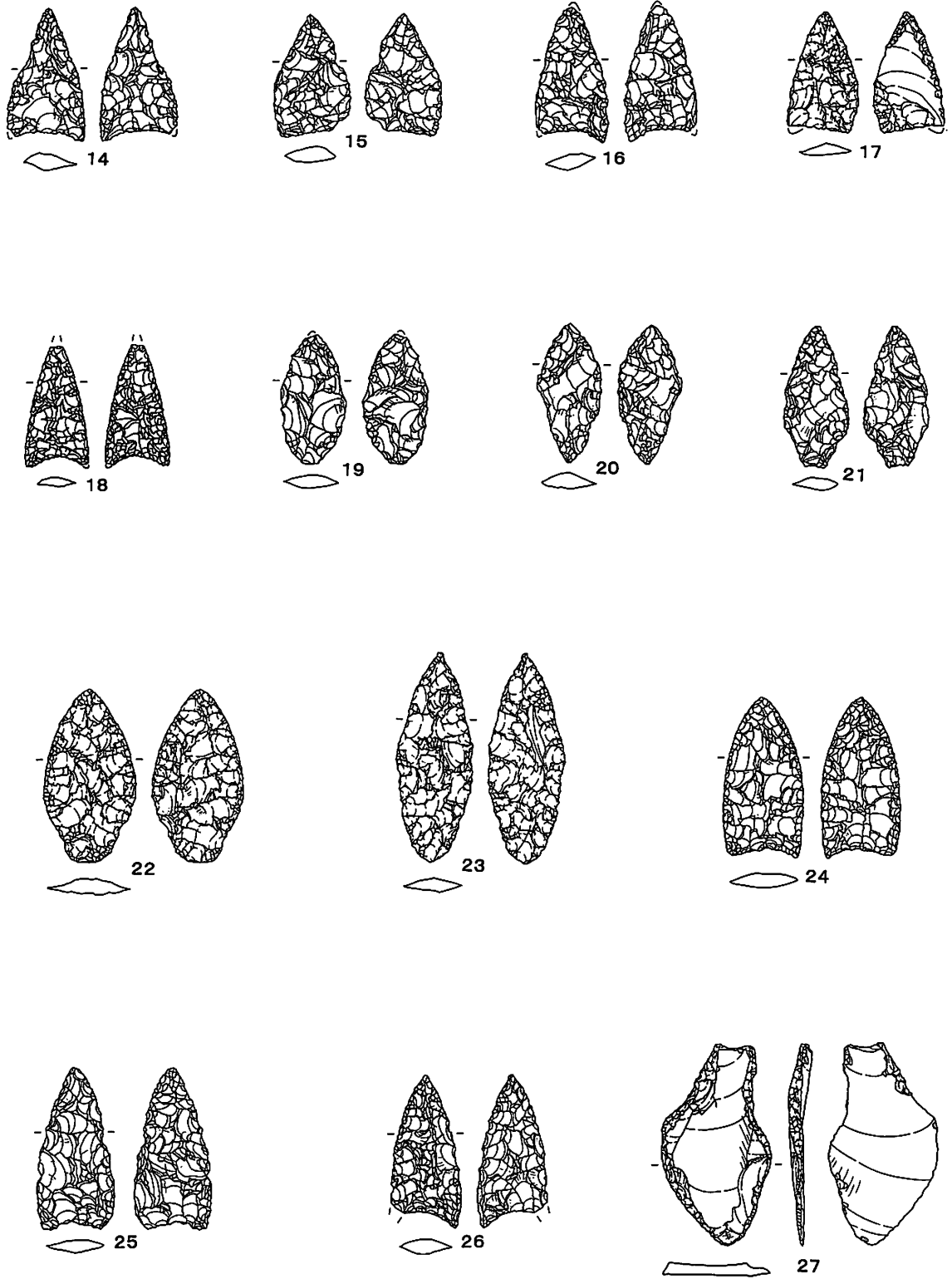
P-14



第114図 P-14 平面図と出土遺物(1)

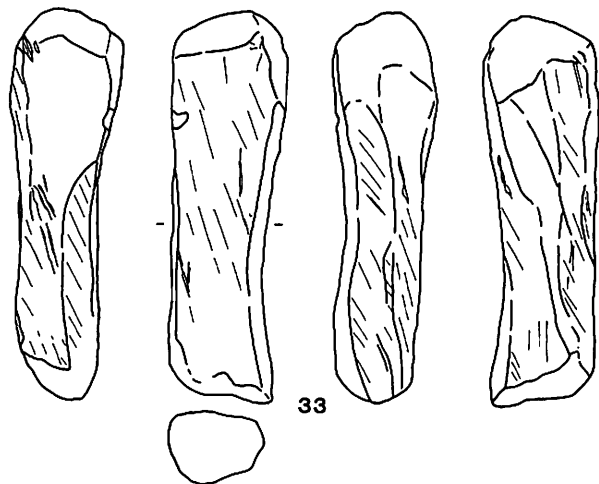
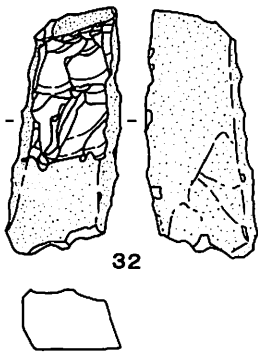
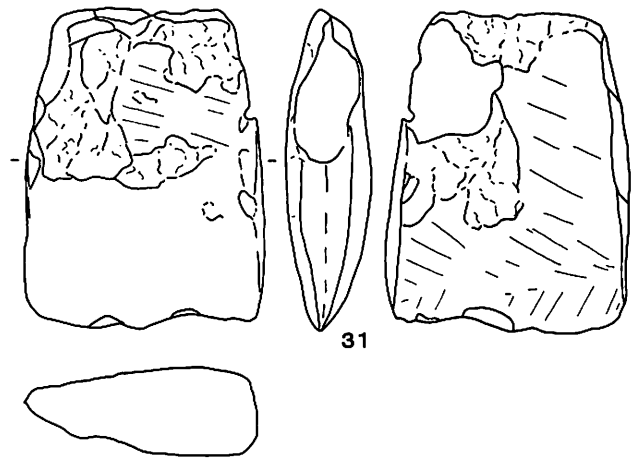
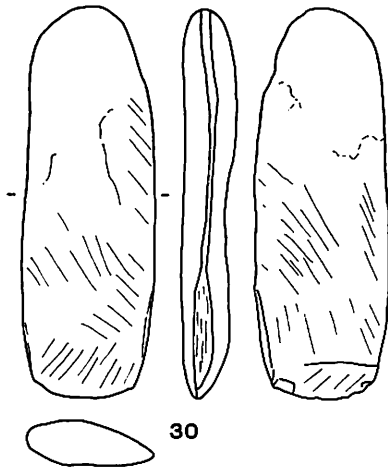
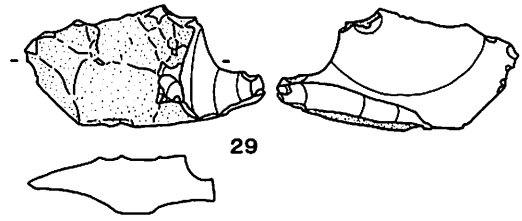
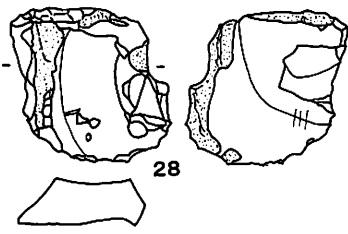


P-14



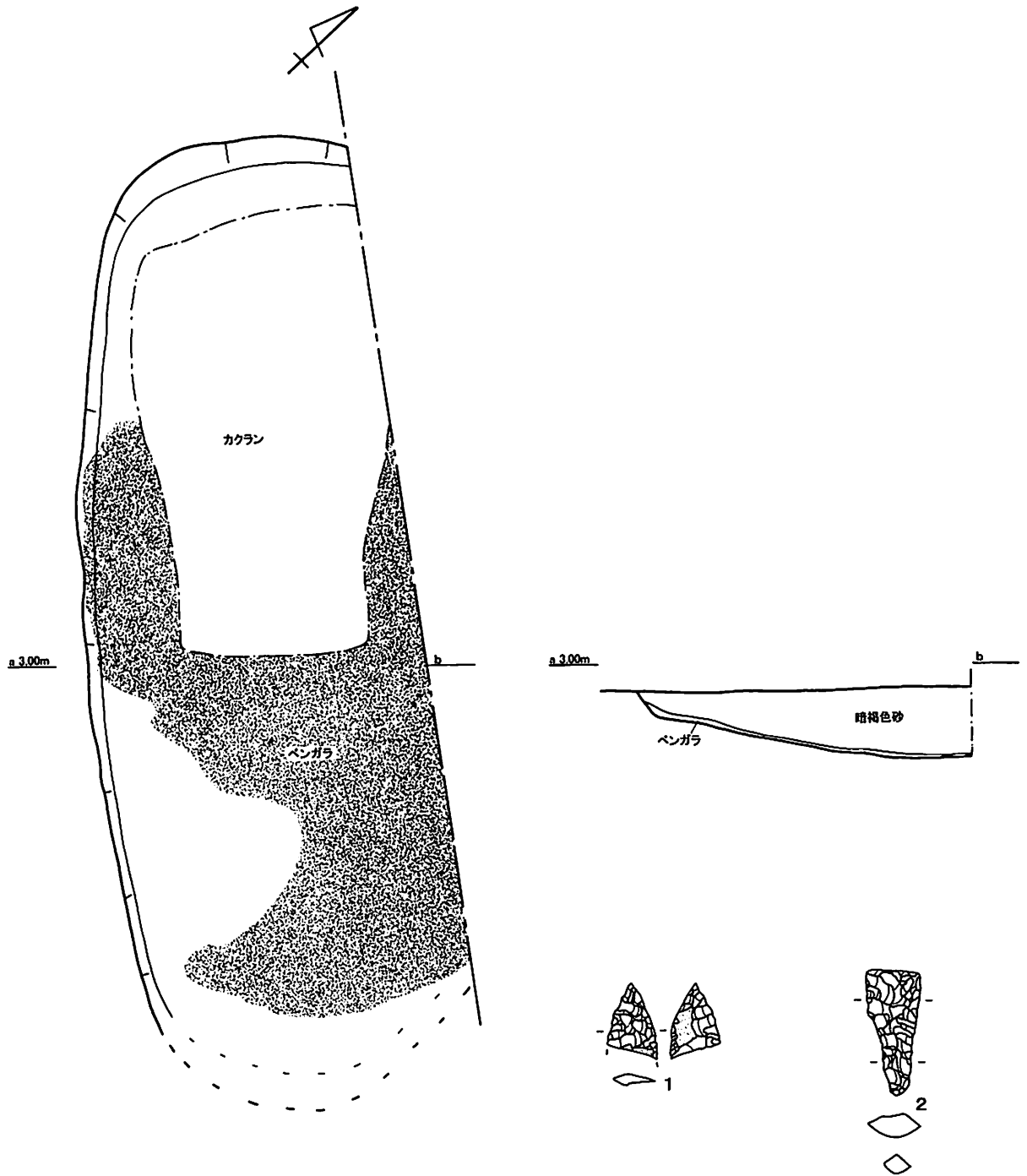
第115圖 P-14 出土遺物(2)

P-14

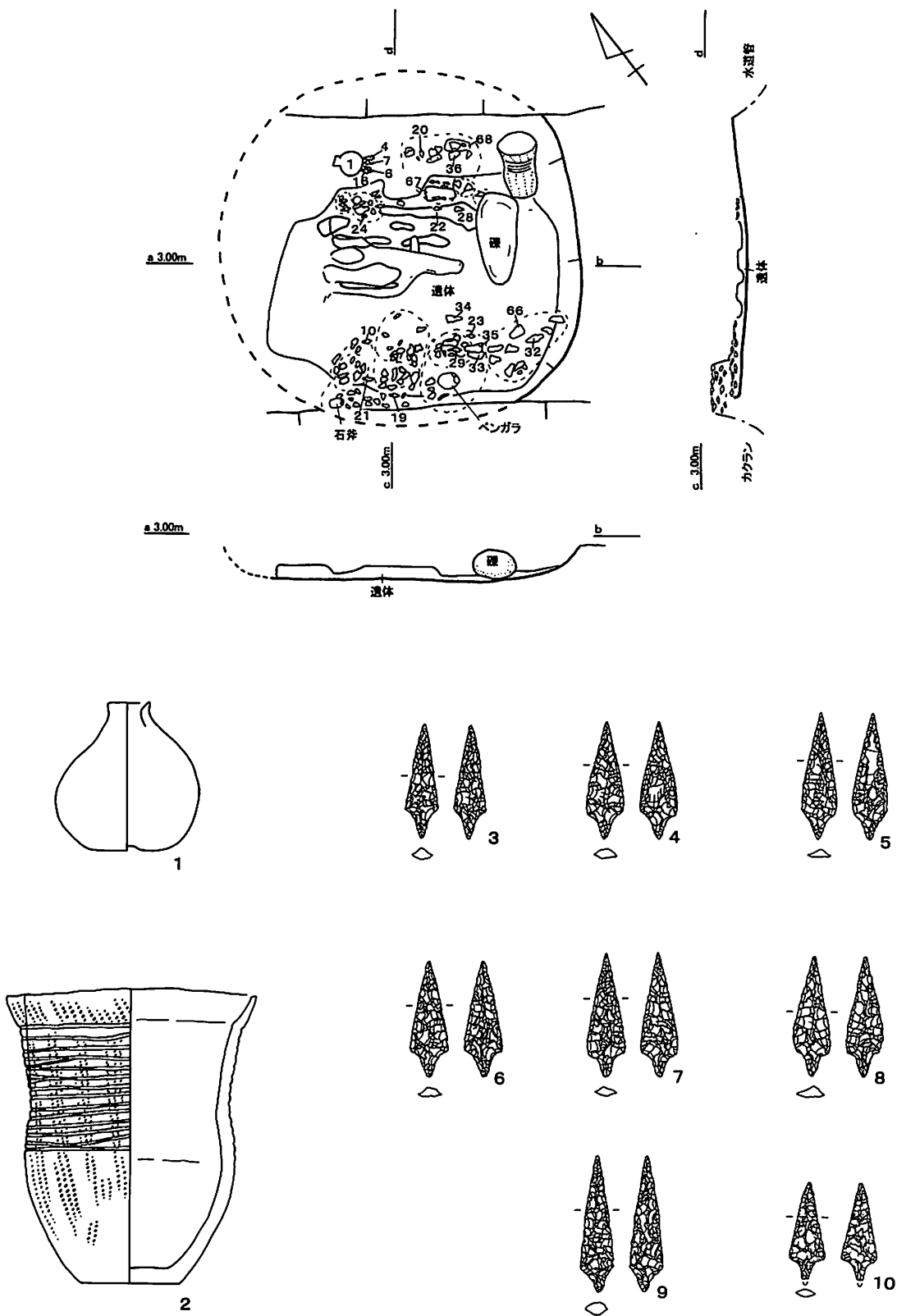


第116図 P-14 出土遺物(3)

P-15

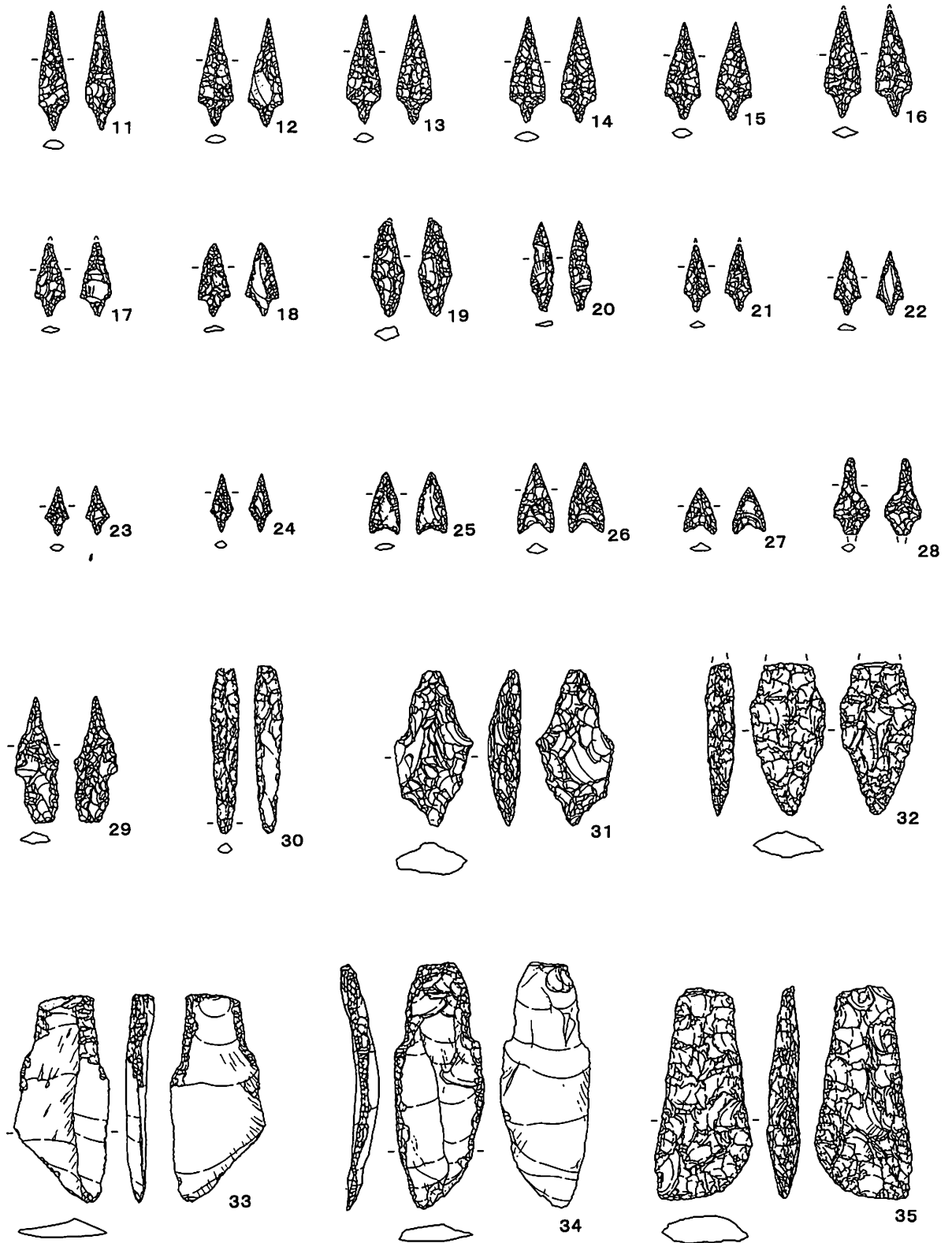


第117図 P-15 平面図と出土遺物



第118図 P-17 平面図と出土遺物 (1)

P-17



第119图 P-17 出土遺物(2)

P-17

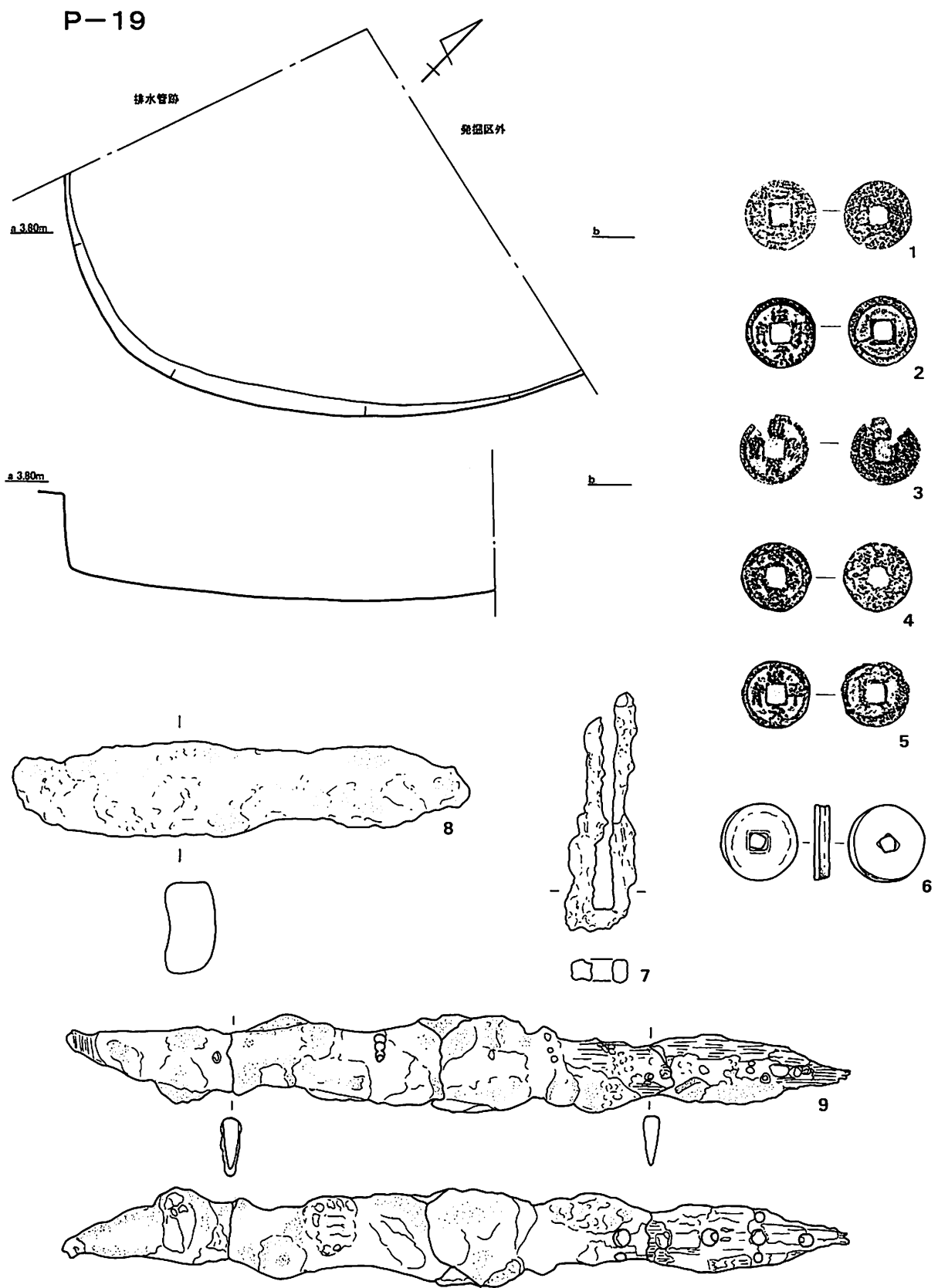


第120圖 P-17 出土遺物(3)

P-17



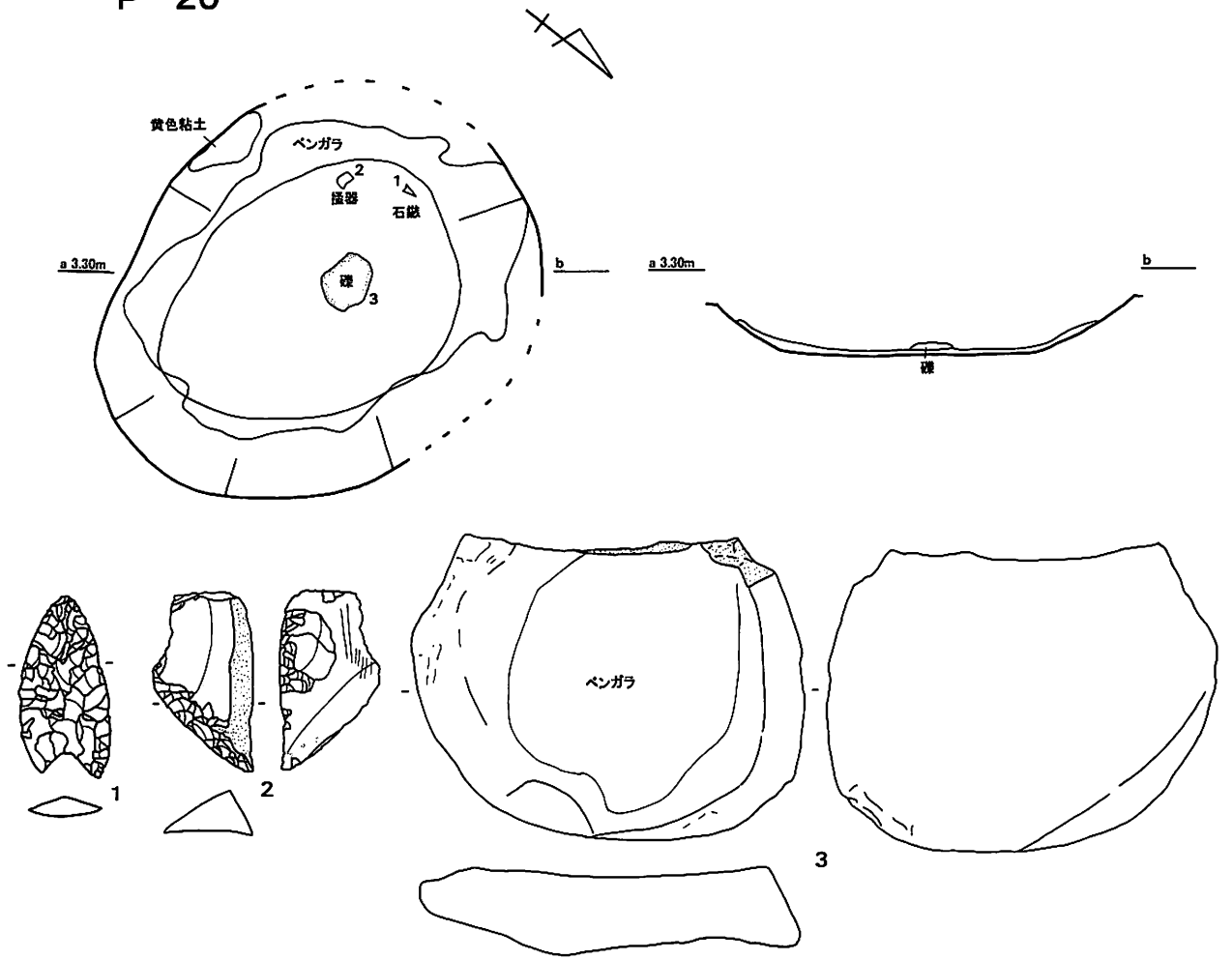
第121圖 P-17 出土遺物(4)



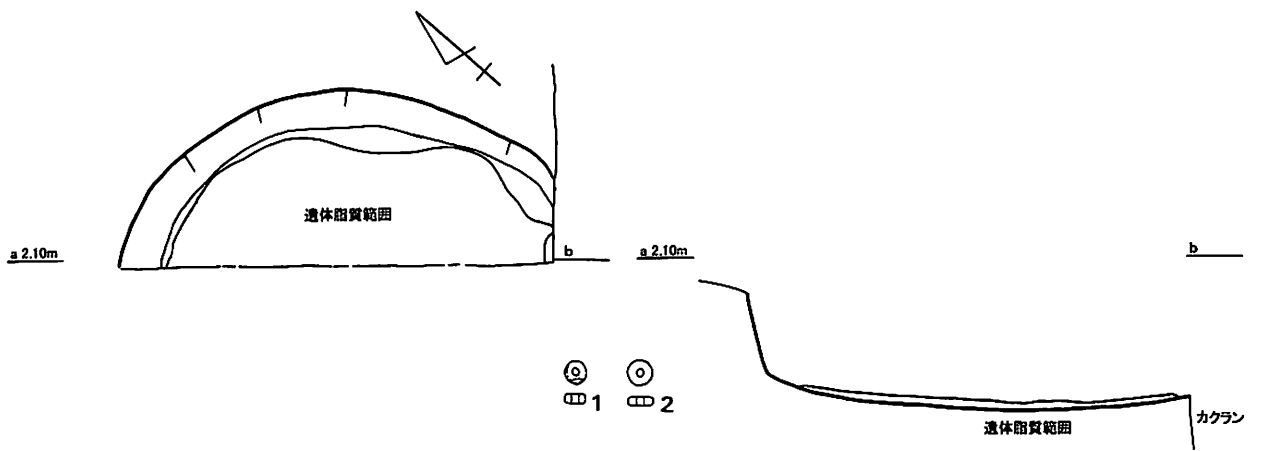
第122図 P-19 平面図と出土遺物



P-20

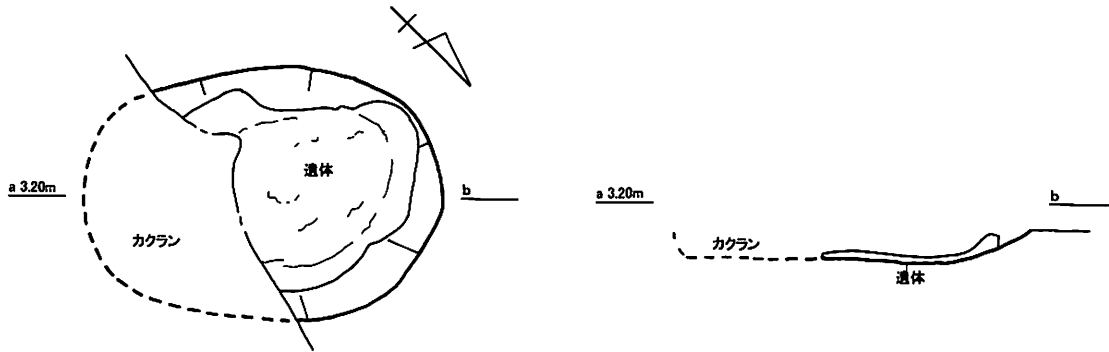


P-21

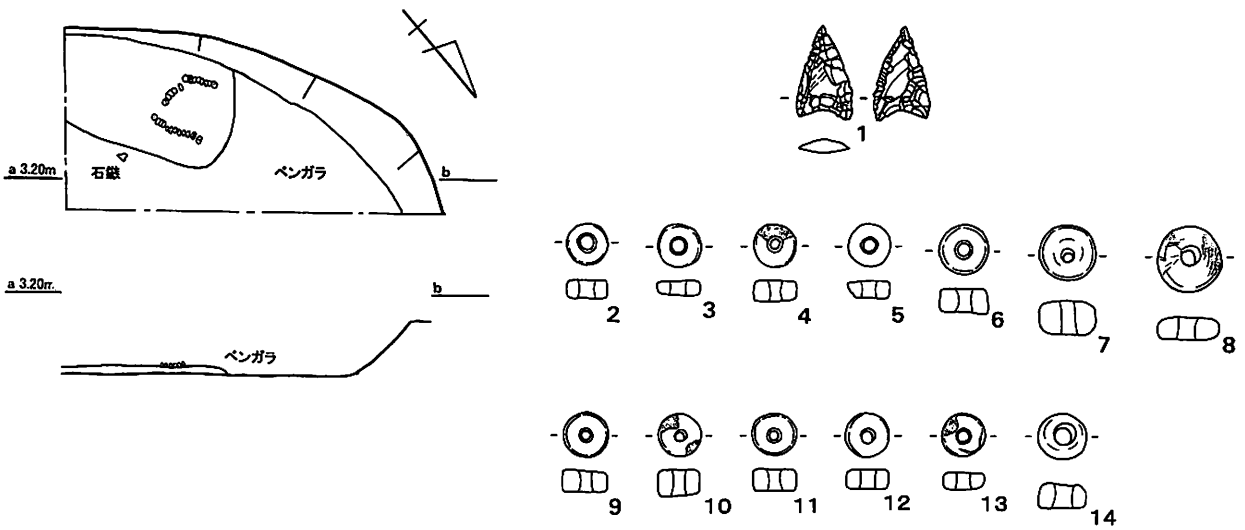


第123図 P-20、21 平面図と出土遺物

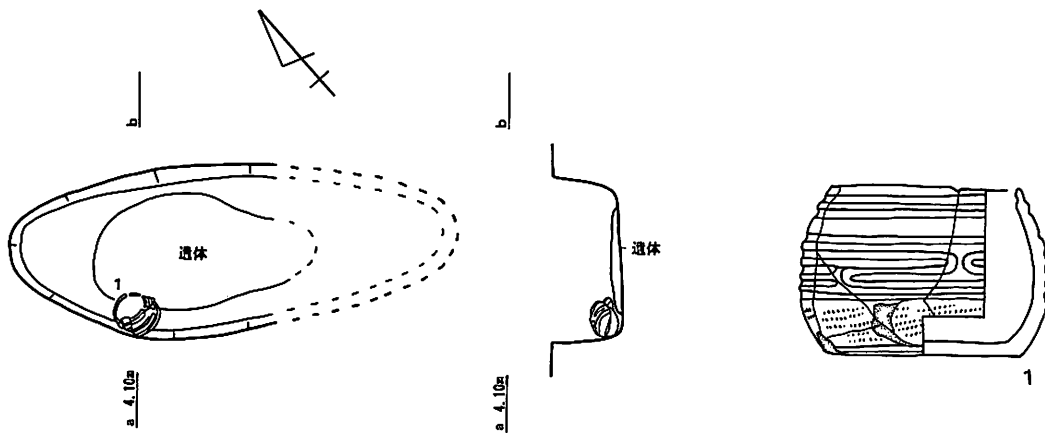
P-22



P-23

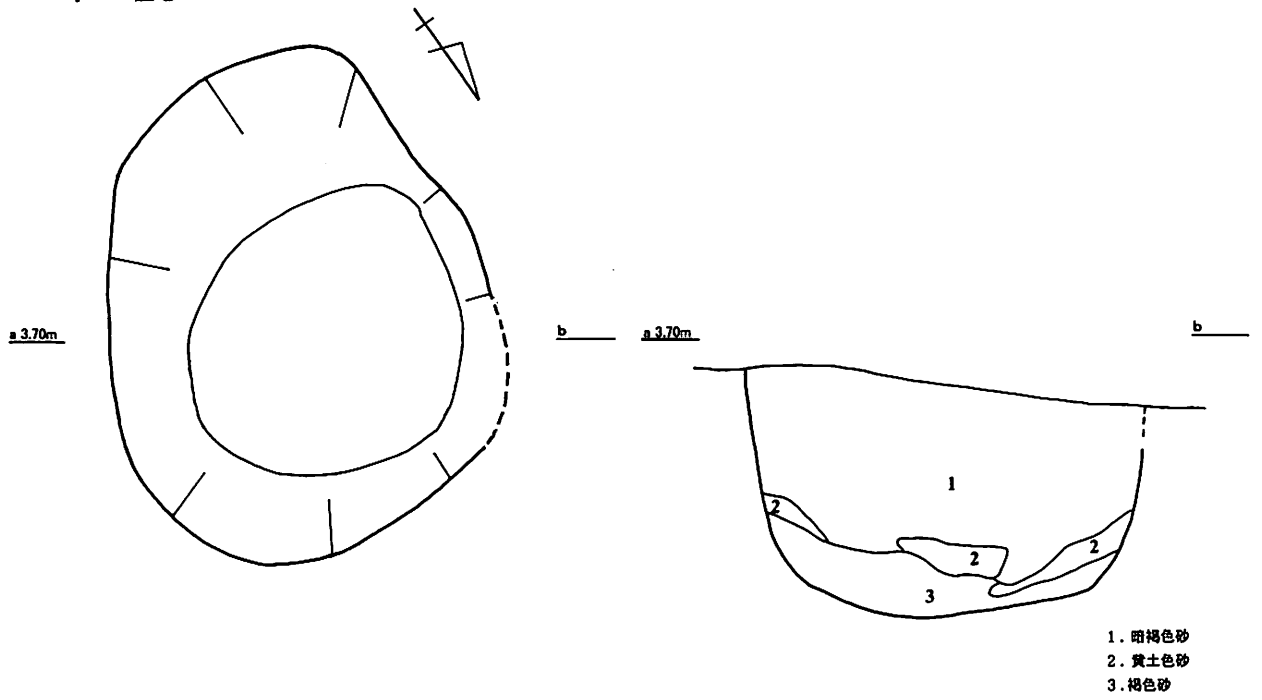


P-24

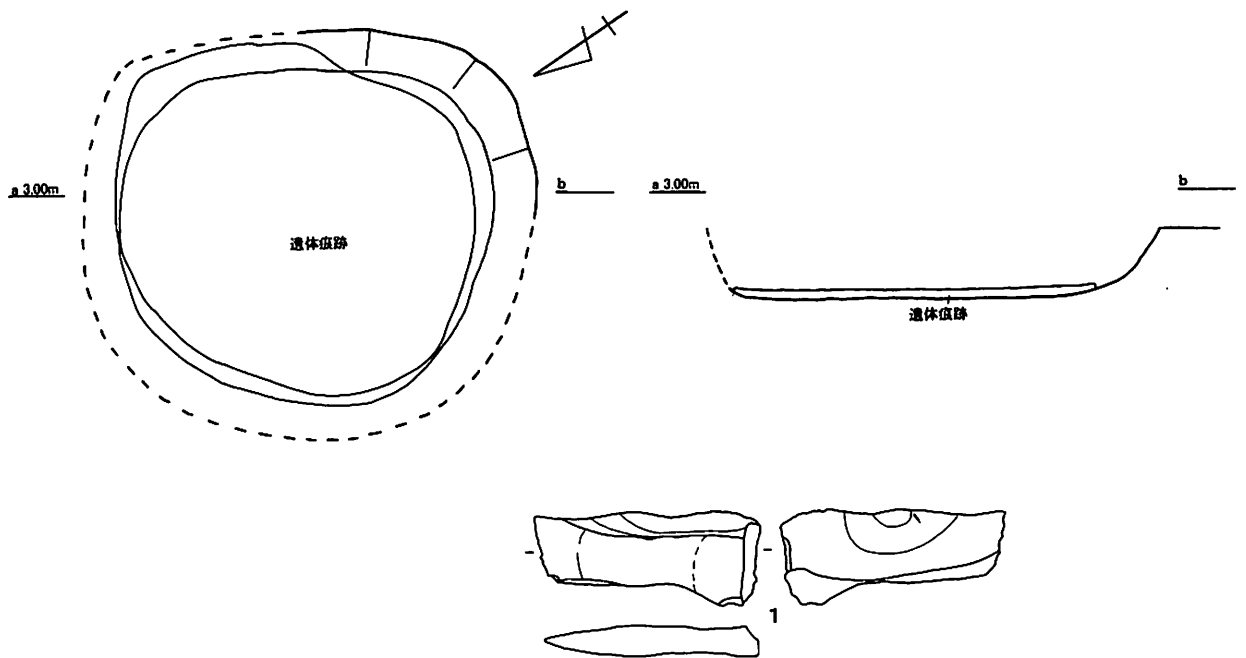


第124図 P-22、23、24 平面図と出土遺物

P-25

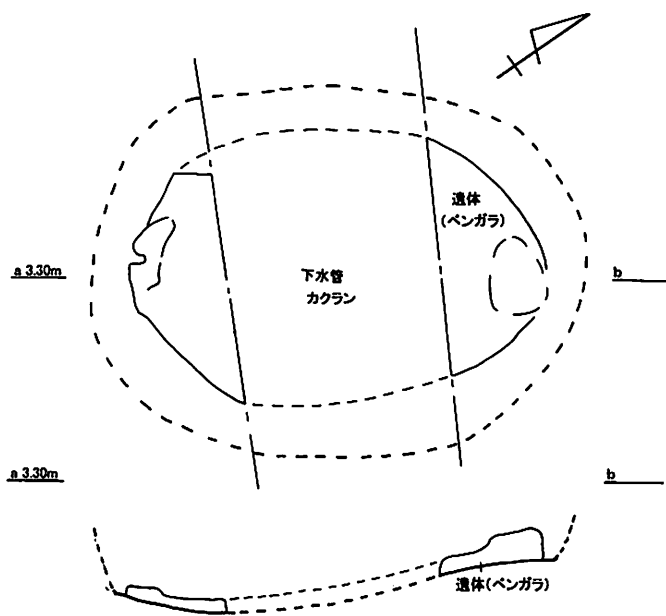


P-27

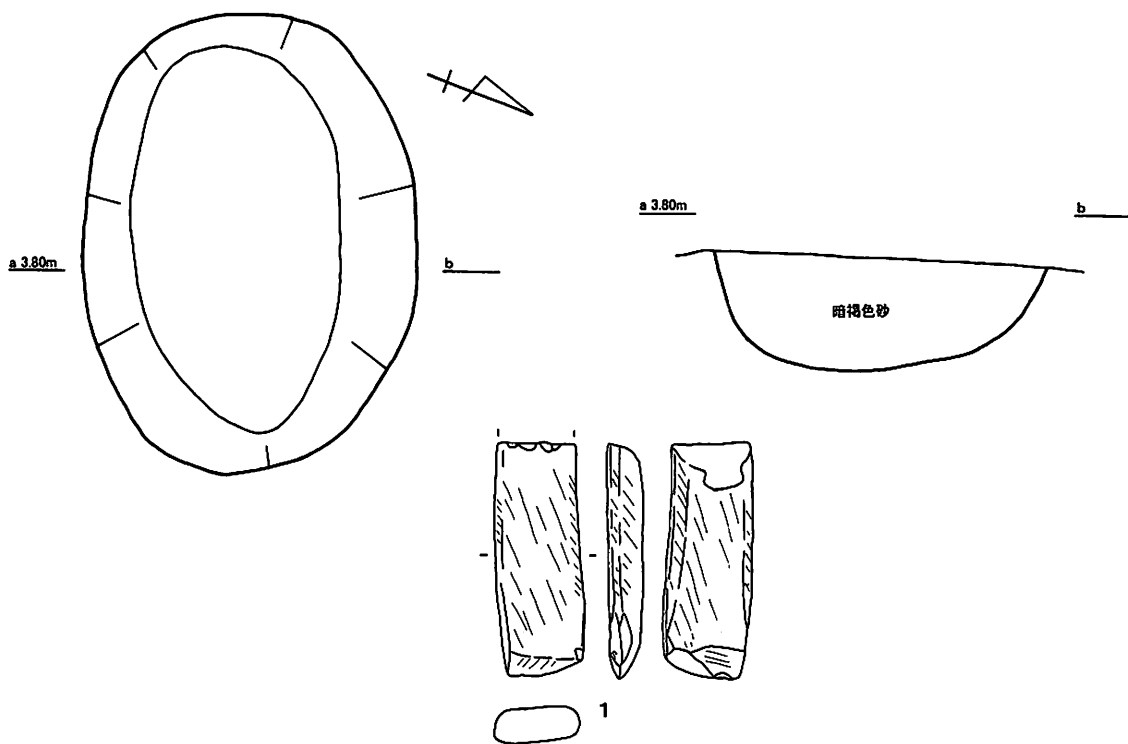


第125図 P-25、27 平面図と出土遺物

P-28

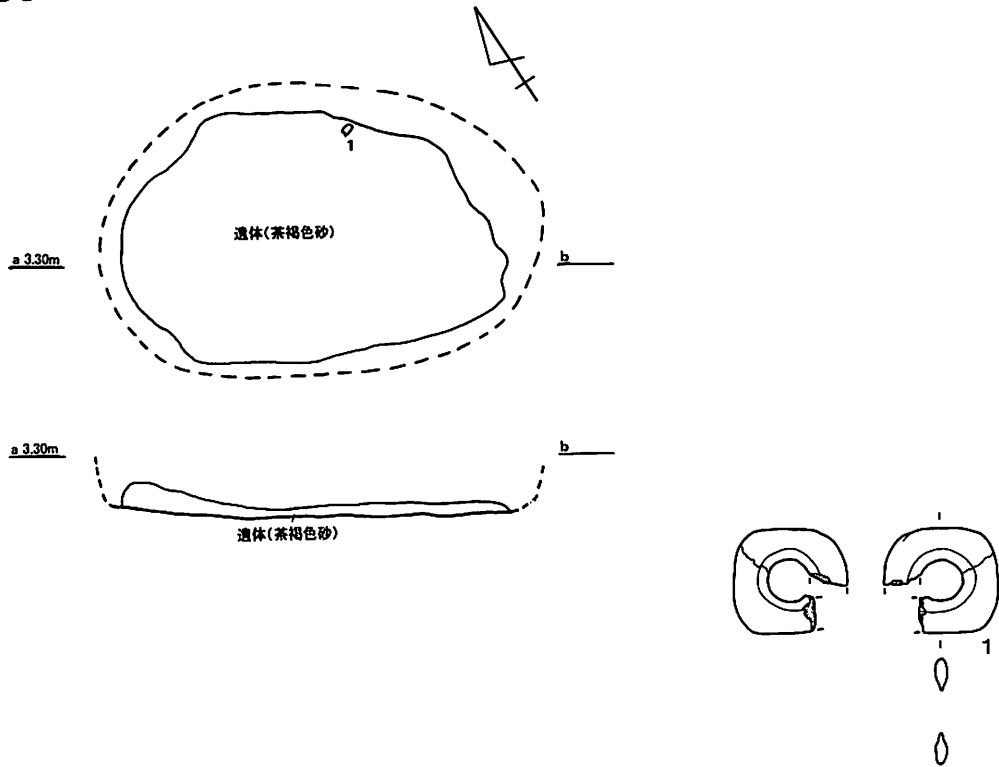


P-29

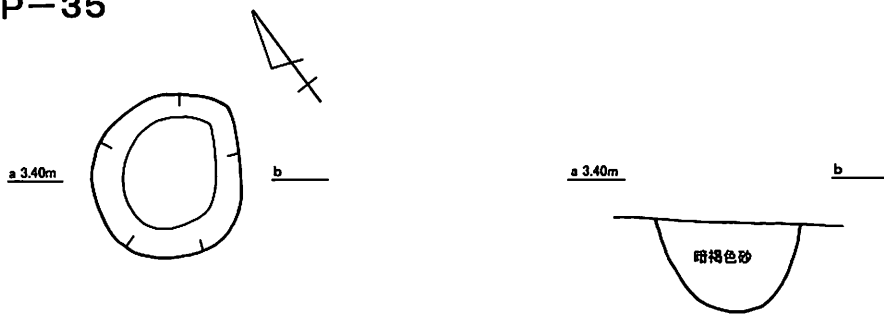


第126図 P-28、29 平面図と出土遺物

P-30



P-35

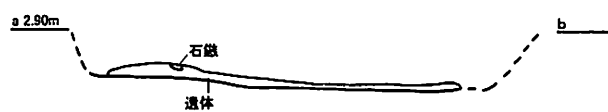
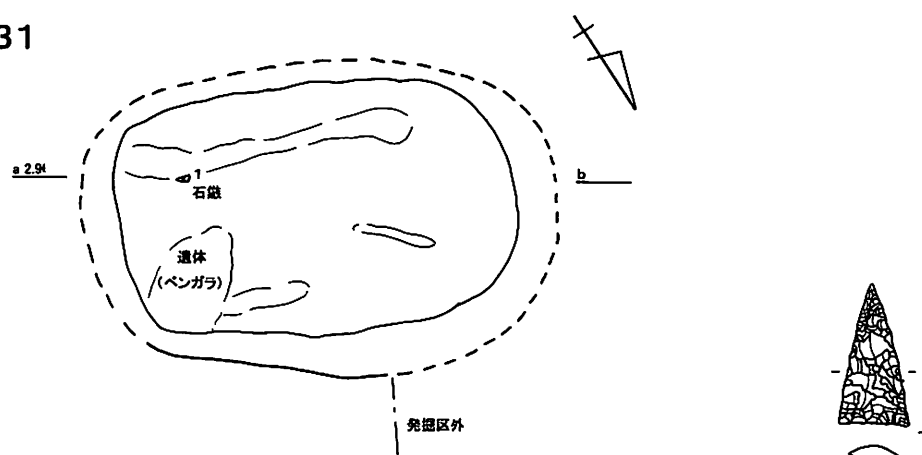


P-36

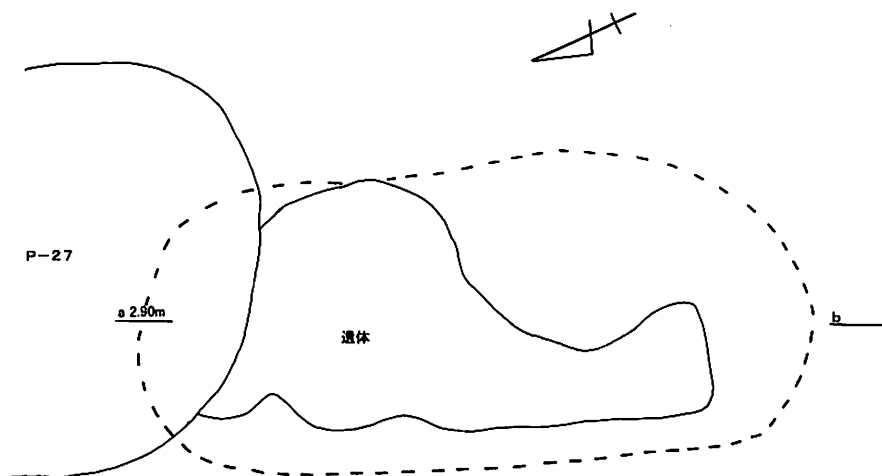


第127図 P-30、35、36 平面図と出土遺物

P-31

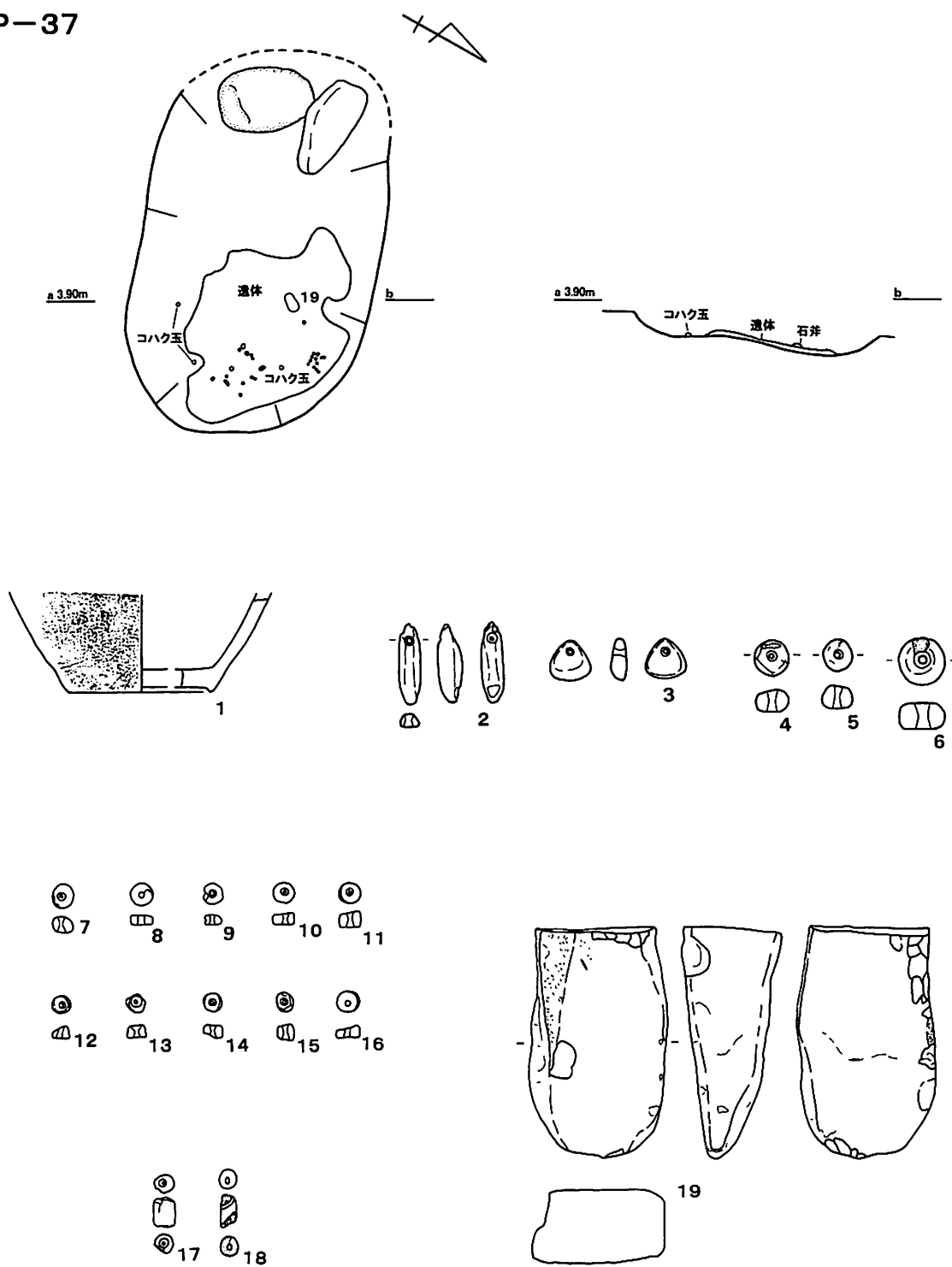


P-32



第128図 P-31、32 平面図と出土遺物

P-37



第129図 P-37 平面図と出土遺物

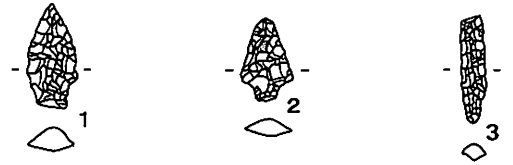
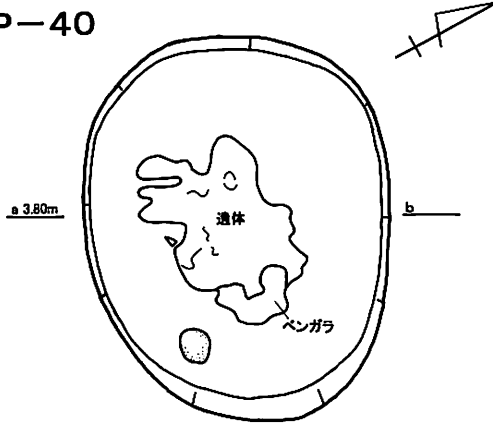
P-38



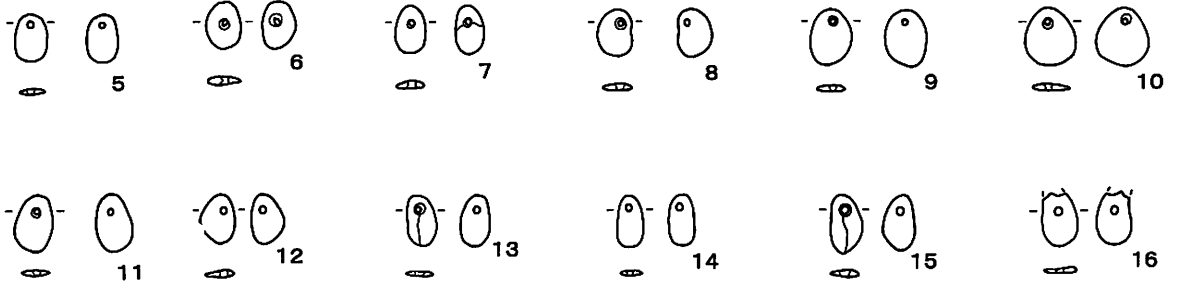
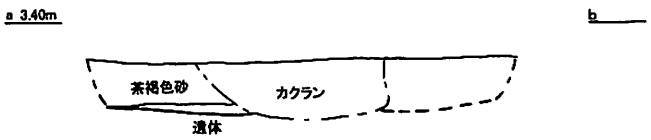
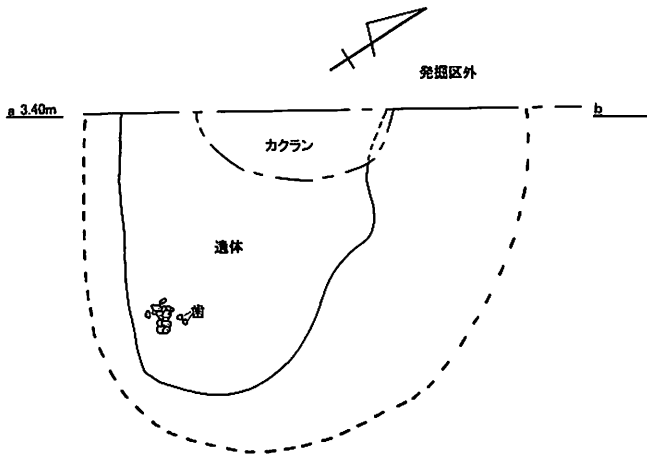
第130図 P-38 平面図と出土遺物



P-40

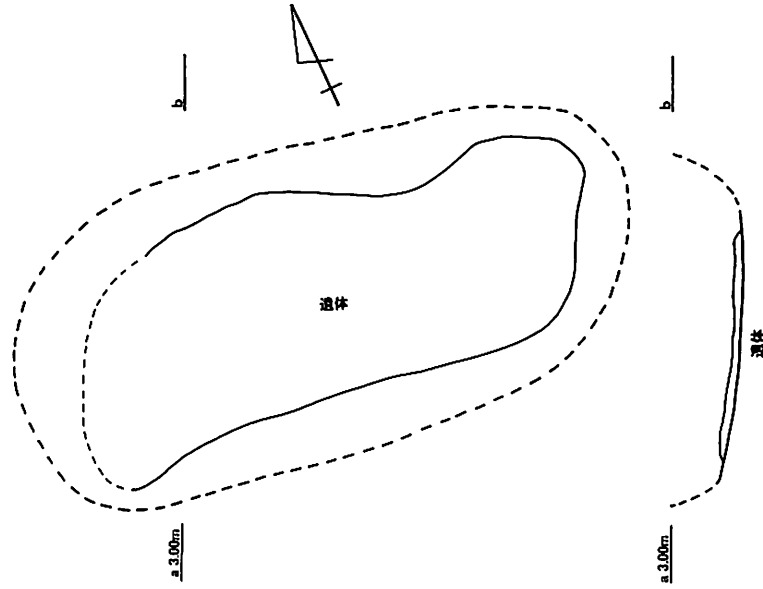


P-41

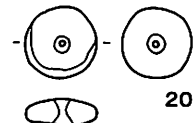
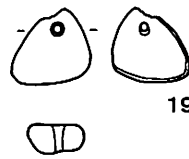
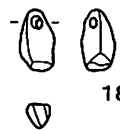
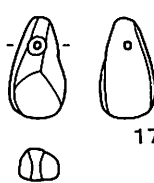
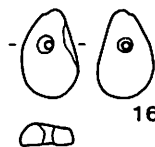
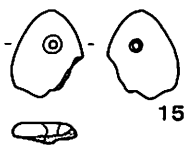
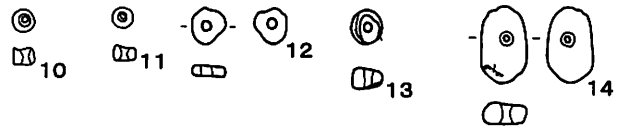
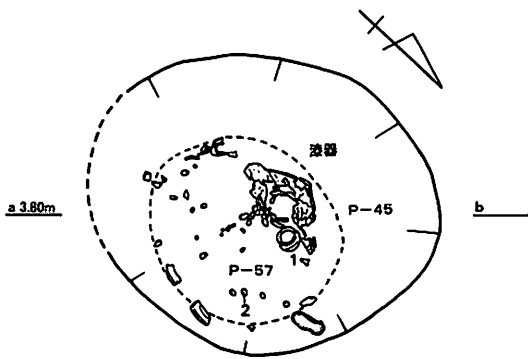


第131図 P-40、41 平面図と出土遺物

P-42

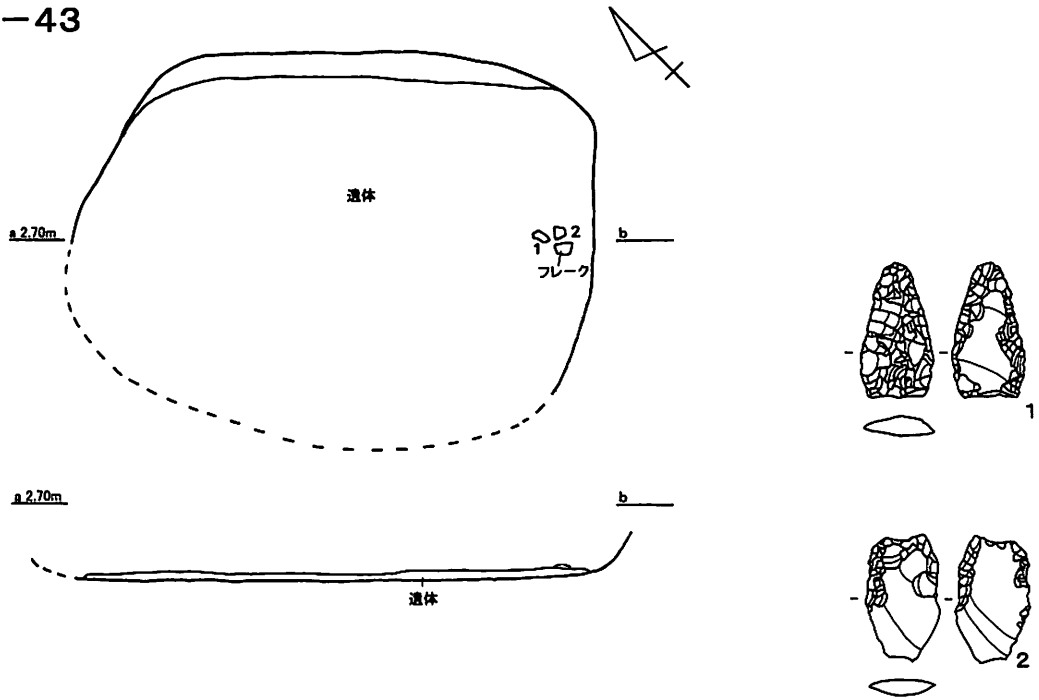


P-45

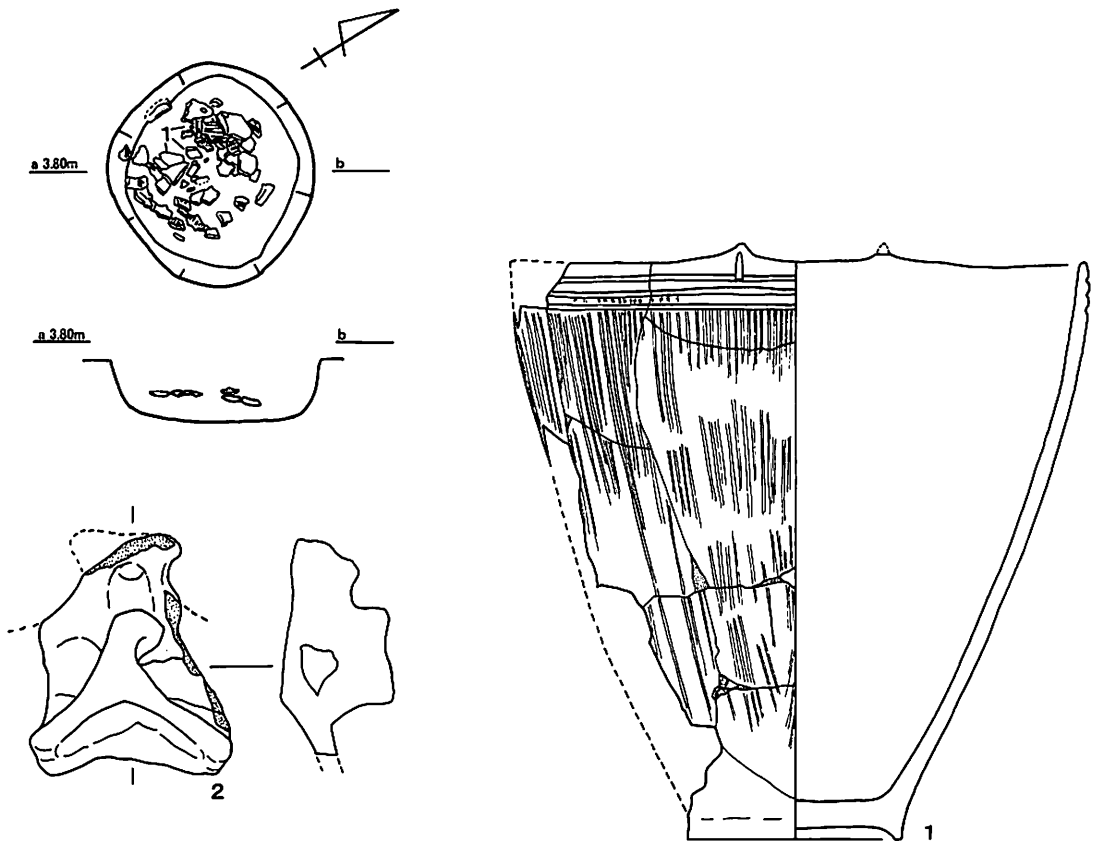


第132図 P-42、45 平面図と出土遺物

P-43

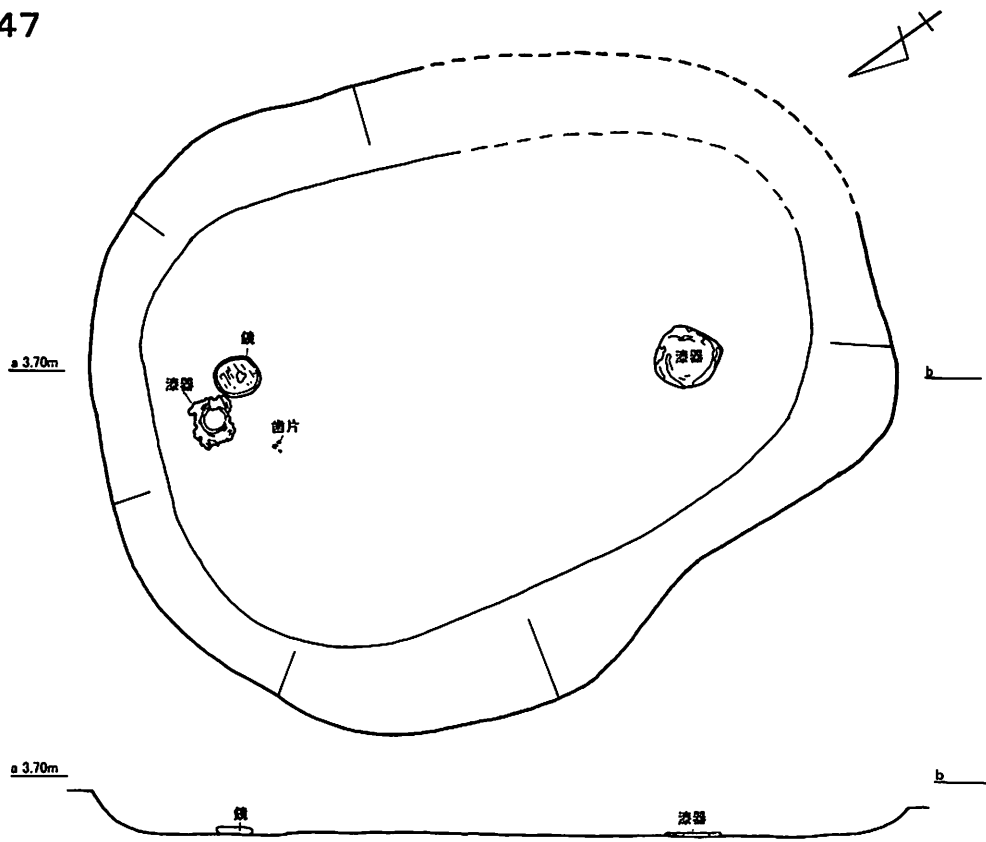


P-46



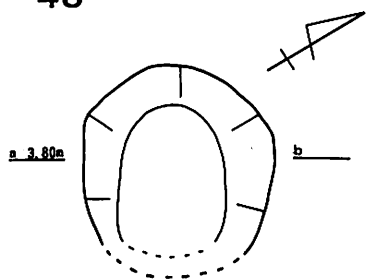
第133図 P-43、46 平面図と出土遺物

P-47

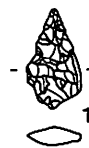
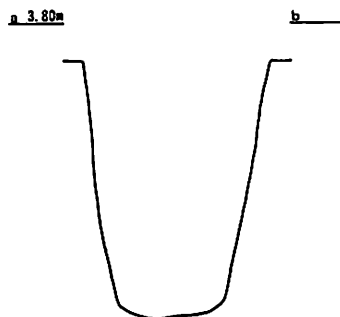


第134図 P-47 平面図と出土遺物

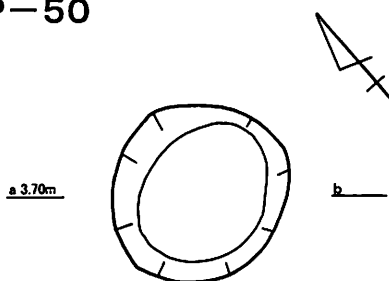
P-48



a 3.80m

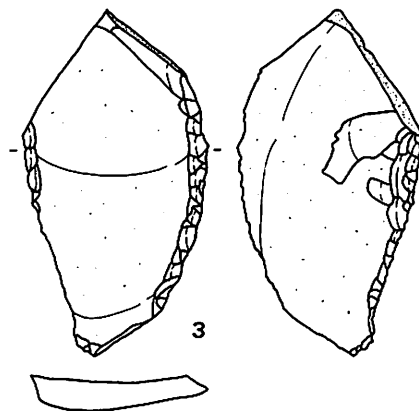
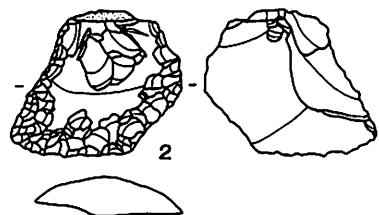
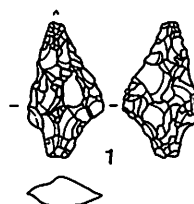


P-50



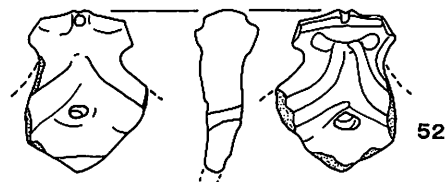
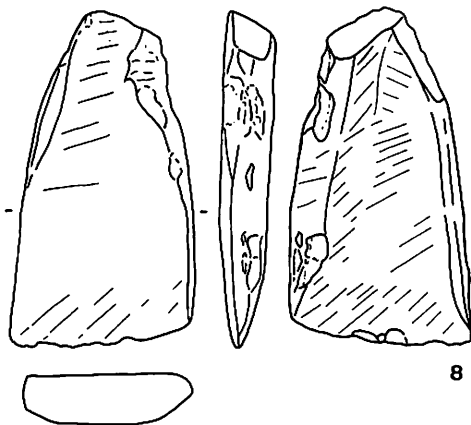
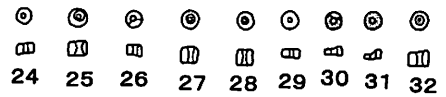
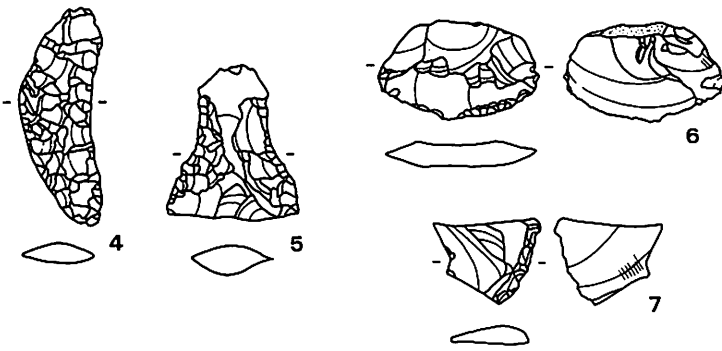
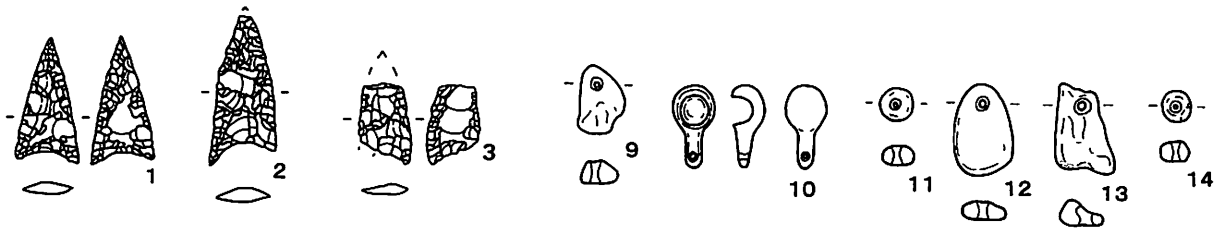
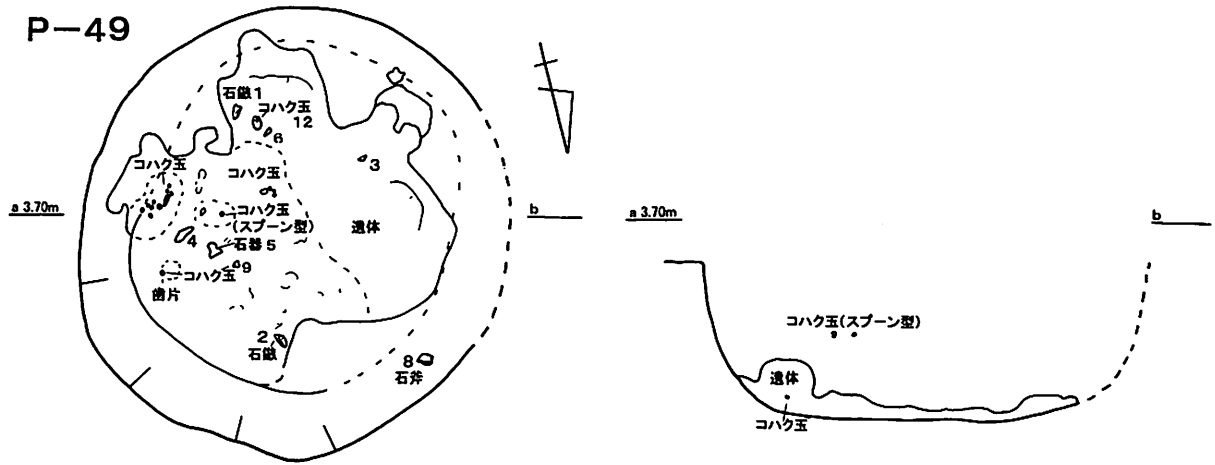
a 3.70m

a 3.70m



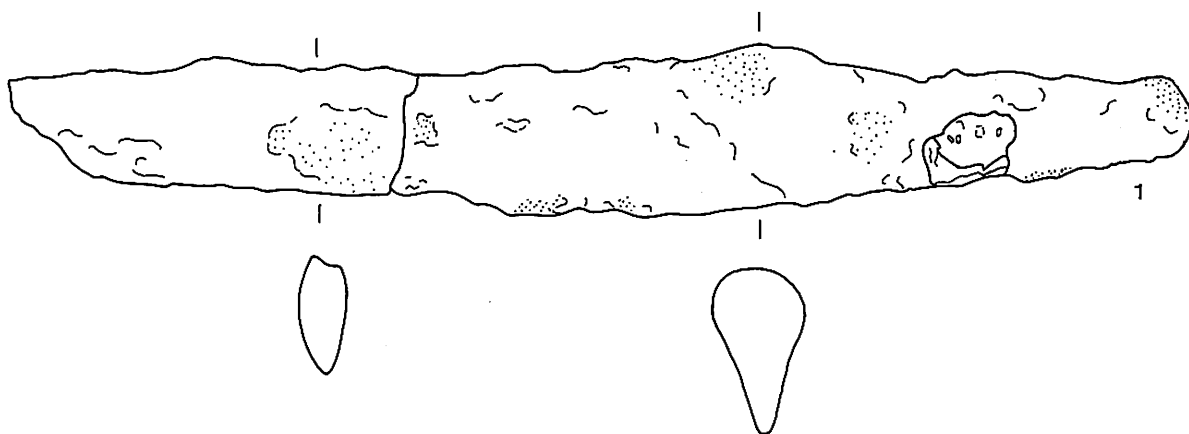
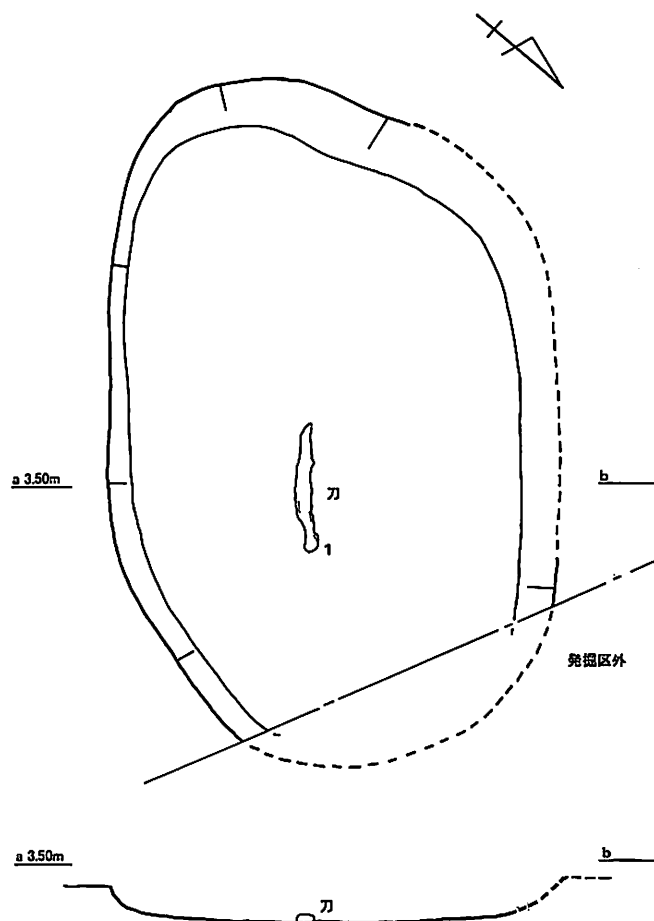
第135図 P-48、50 平面図と出土遺物

P-49



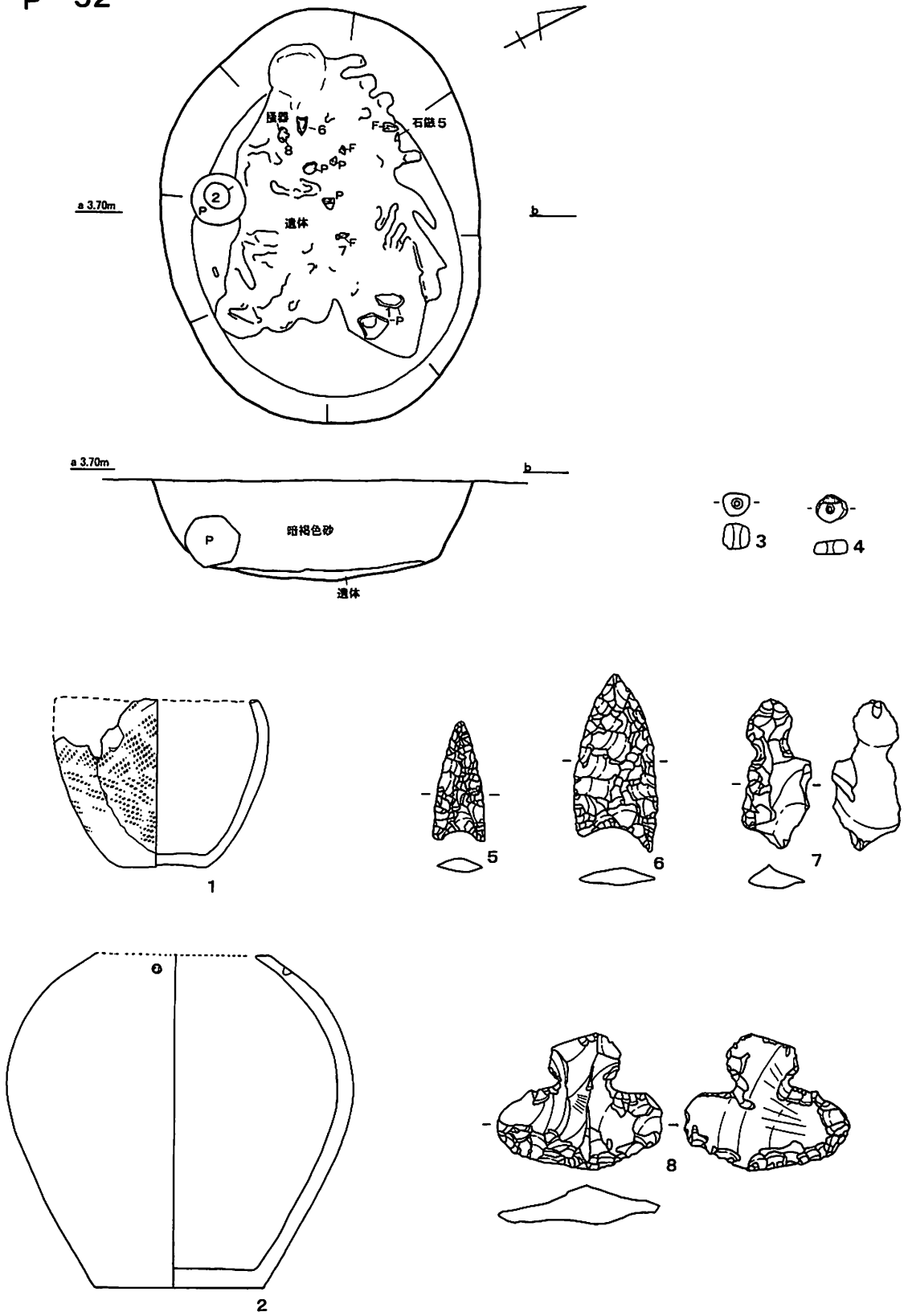
第136図 P-49 平面図と出土遺物

P-51



第137図 P-51 平面図と出土遺物

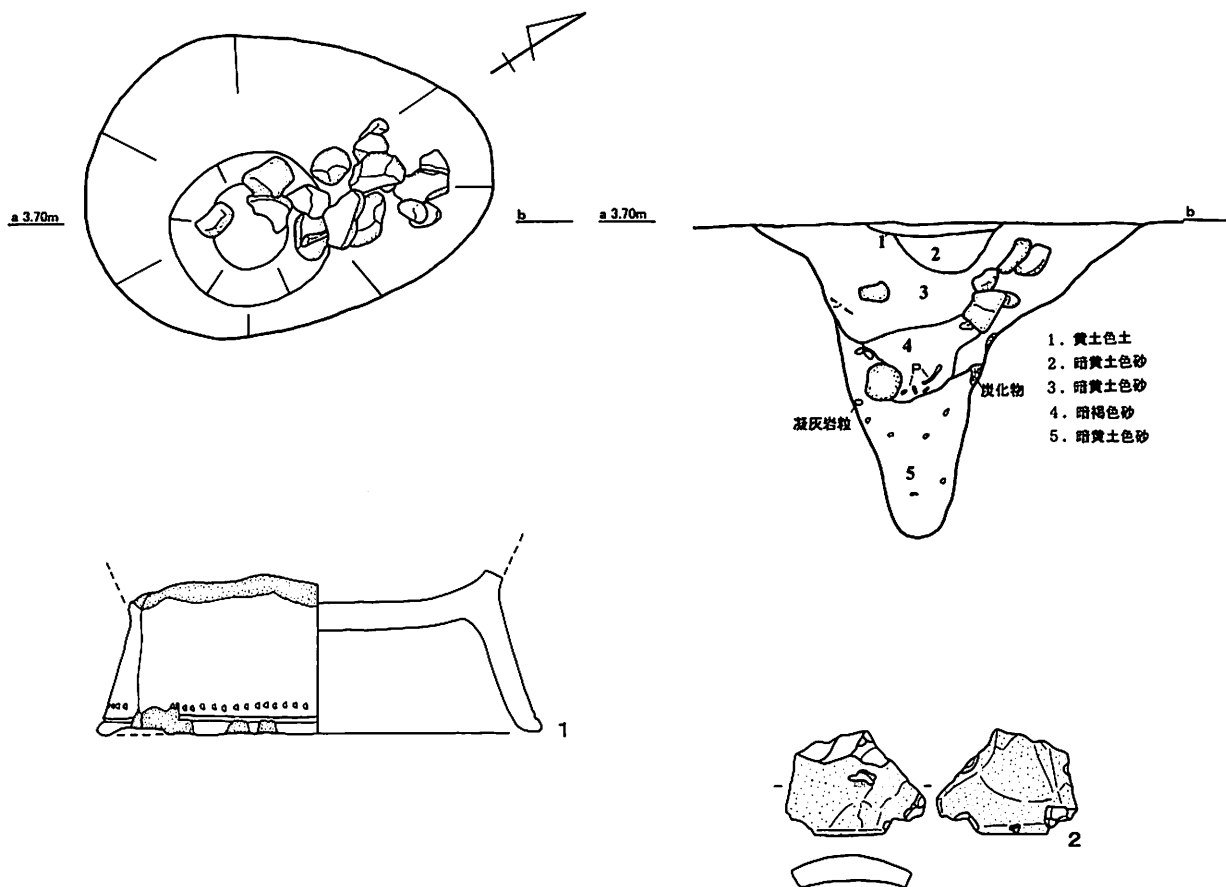
P-52



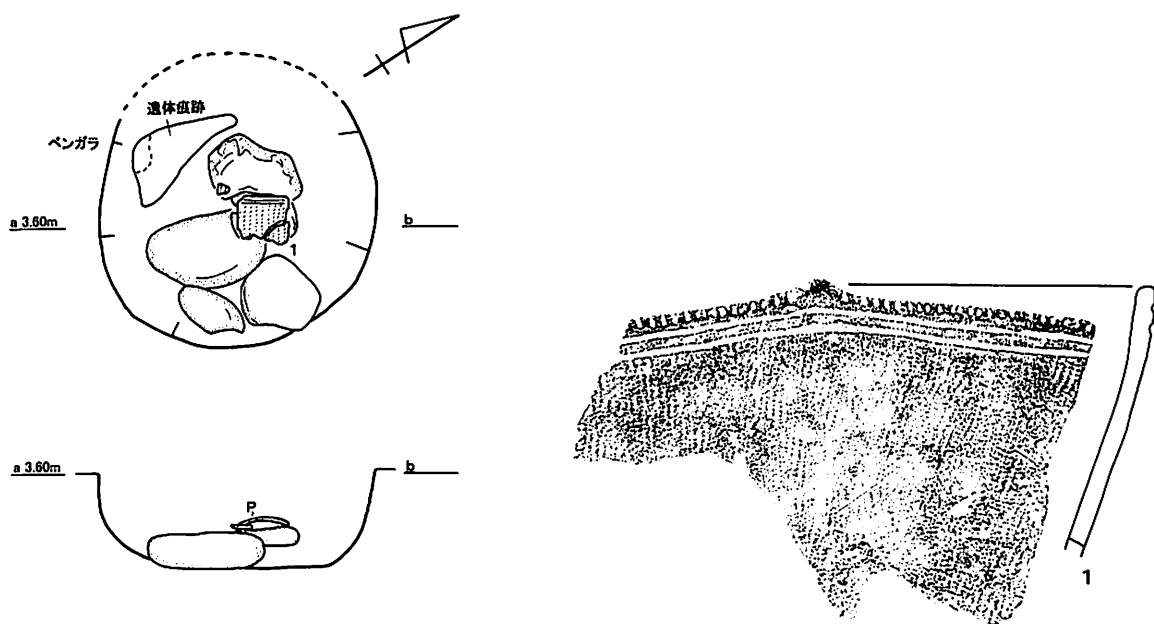
第138図 P-52 平面図と出土遺物



P-53

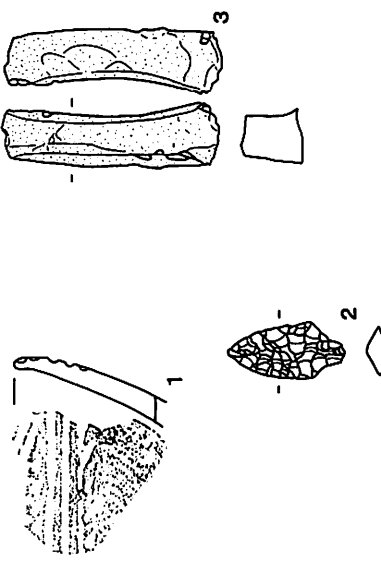
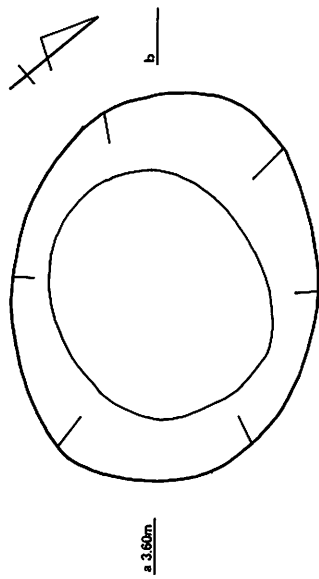


P-54

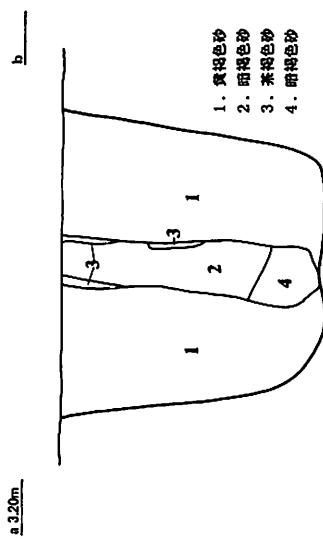
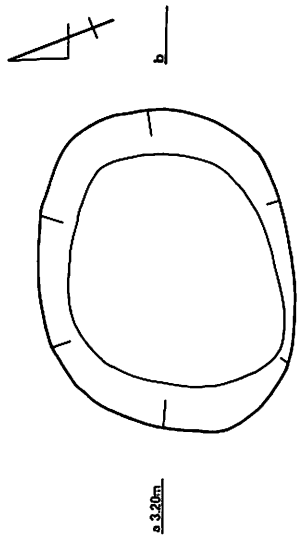


第139図 P-53、54 平面図と出土遺物

P-55

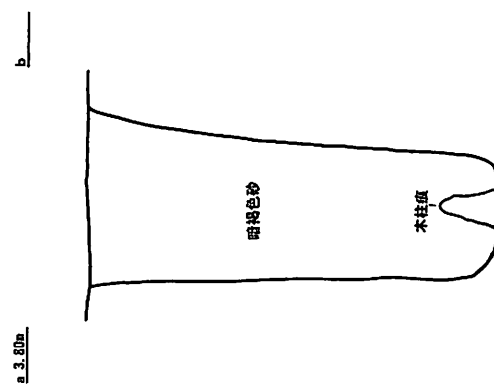
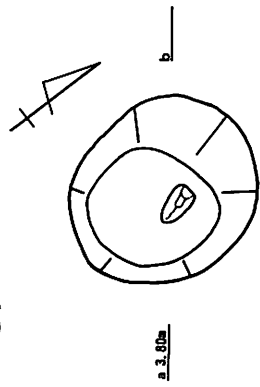


P-56



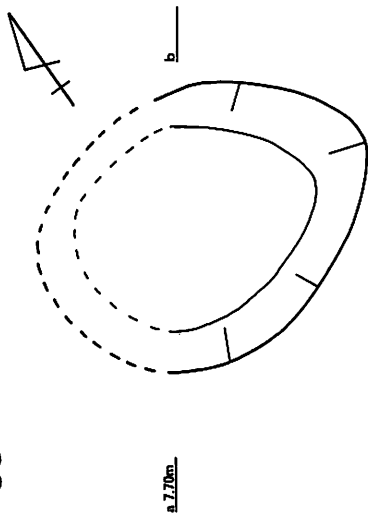
- 1. 黄褐色砂
- 2. 暗褐色砂
- 3. 茶褐色砂
- 4. 暗褐色砂

P-57

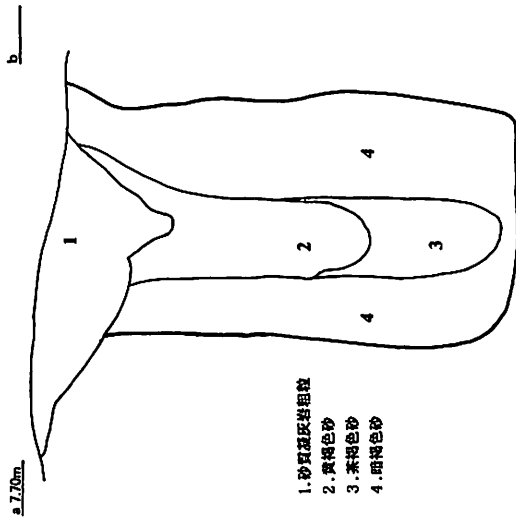
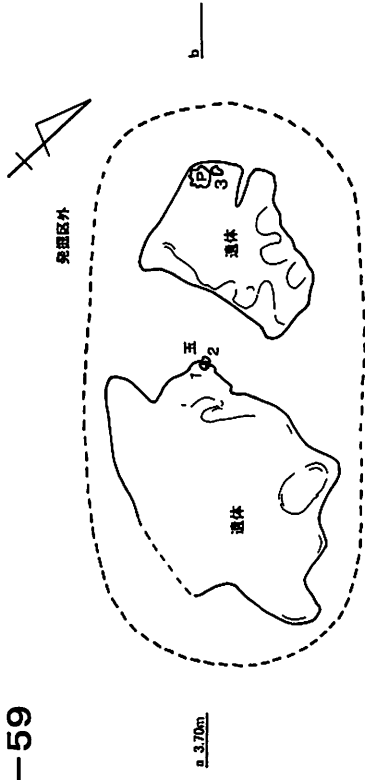


第140图 P-55、56、57 平面图之出土遺物

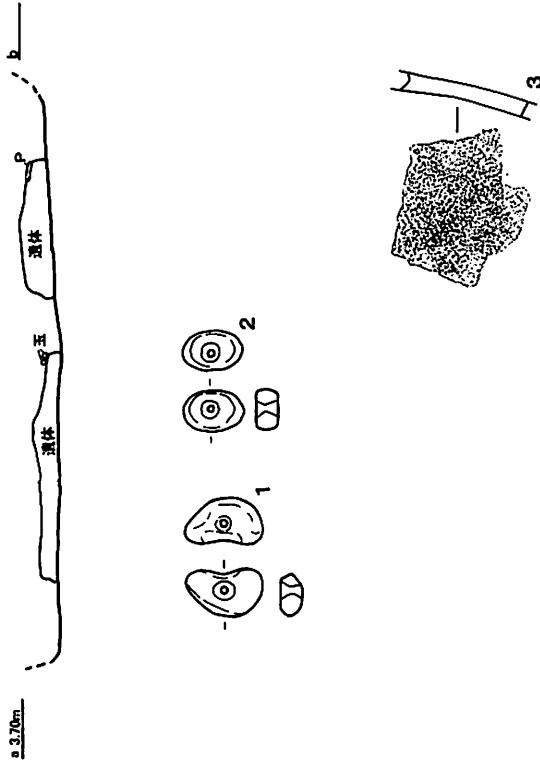
P-58



P-59

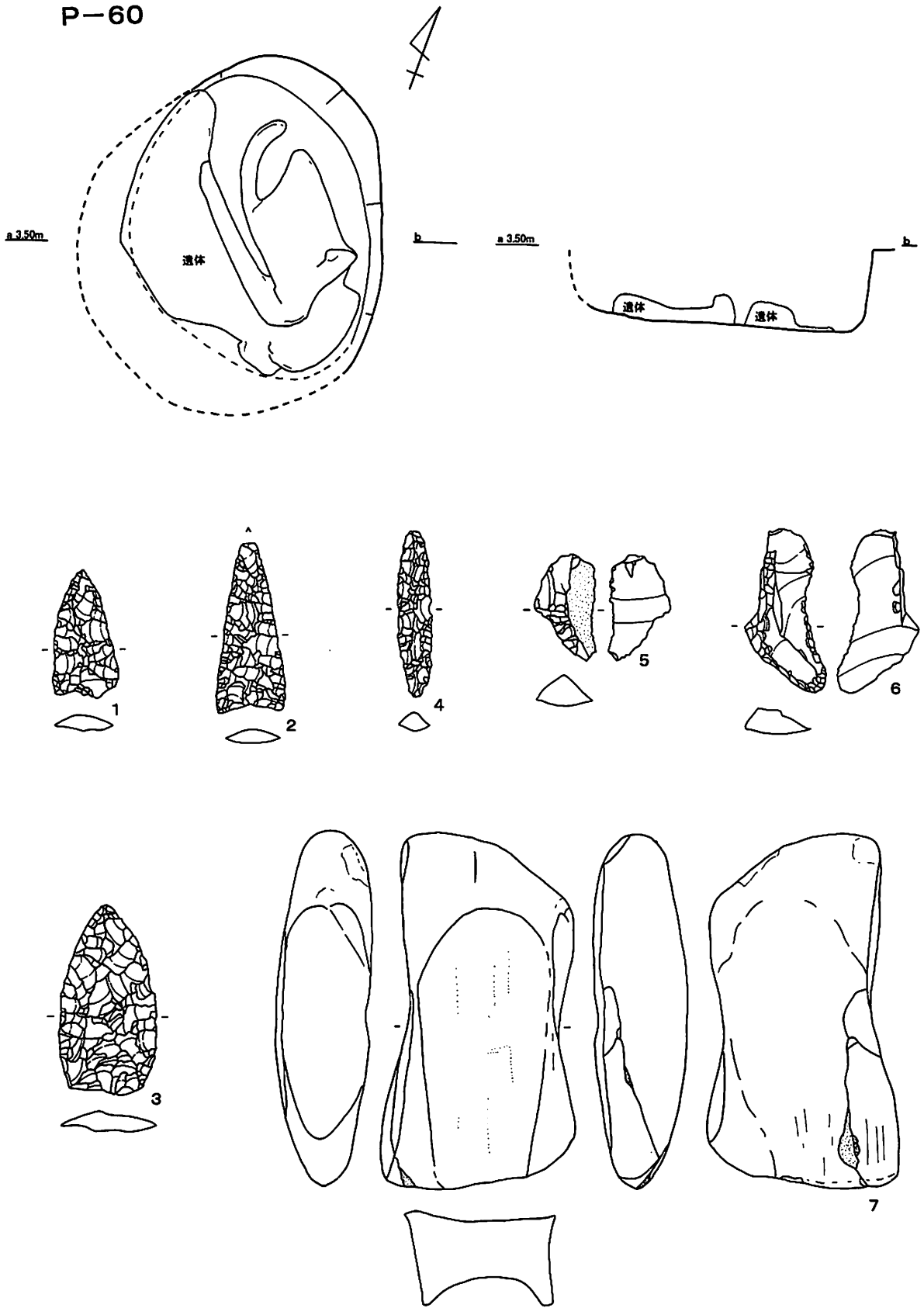


- 1. 砂質凝灰岩粗粒
- 2. 黃褐色砂
- 3. 赤褐色砂
- 4. 暗褐色砂

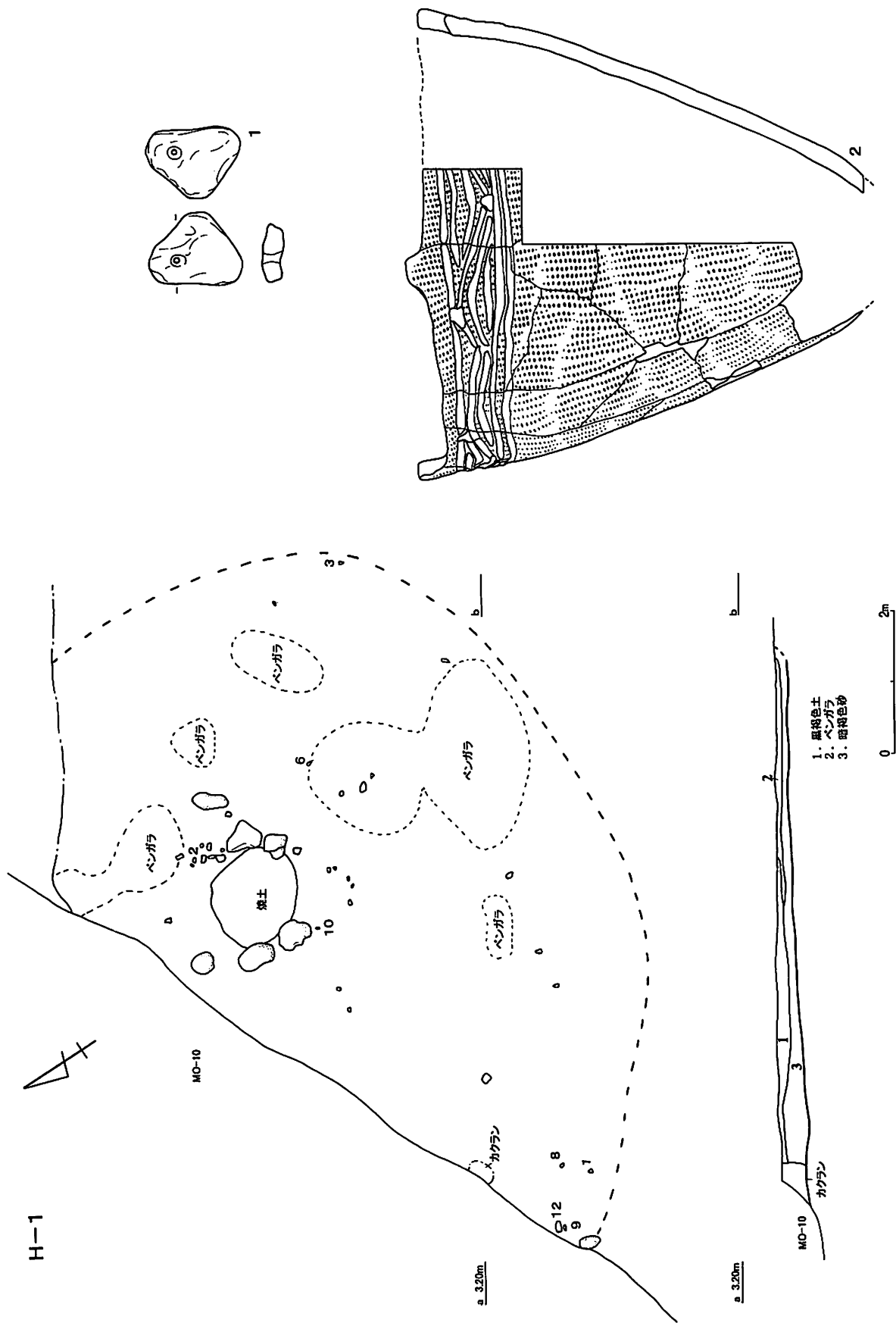


第141图 P-58、59 平面图与出土遗物

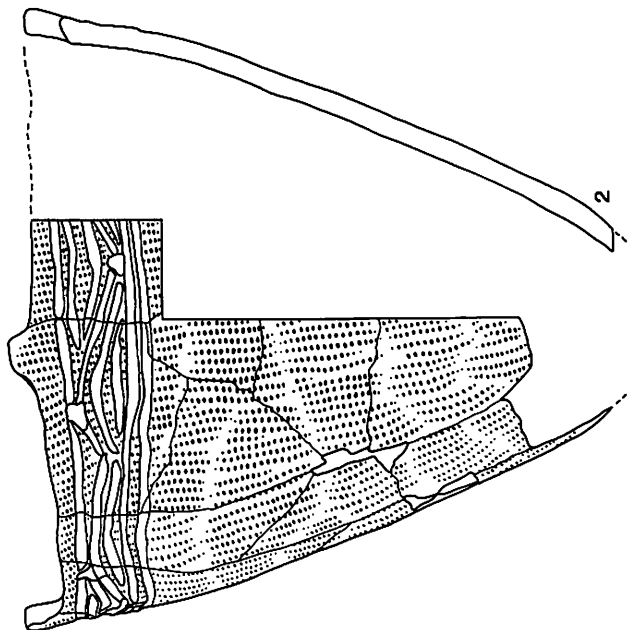
P-60



第142図 P-60 平面図と出土遺物



第143図 H-1 平面図と出土遺物



H-1

MO-10

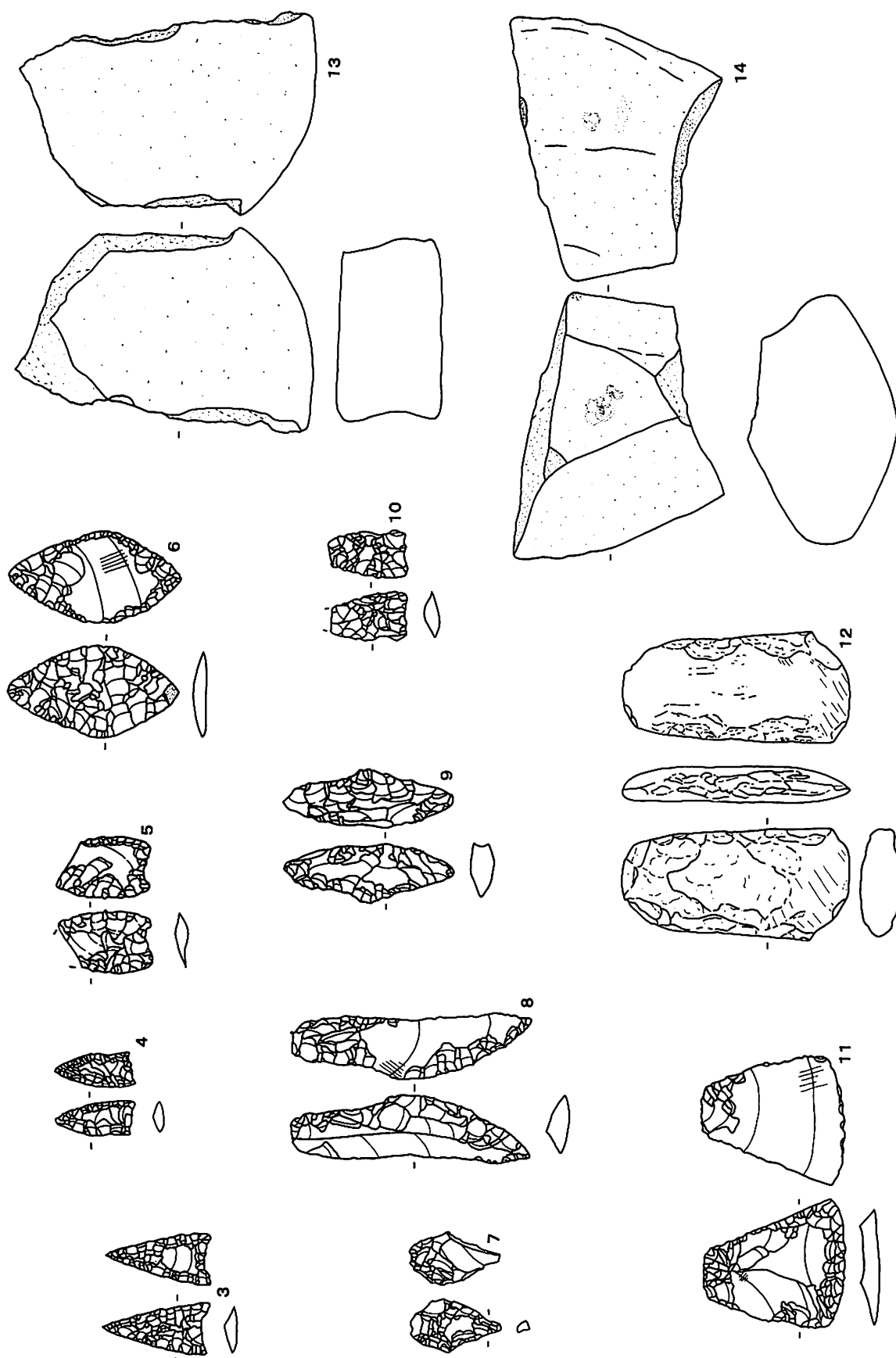
a. 3.20m

a. 3.20m

MO-10

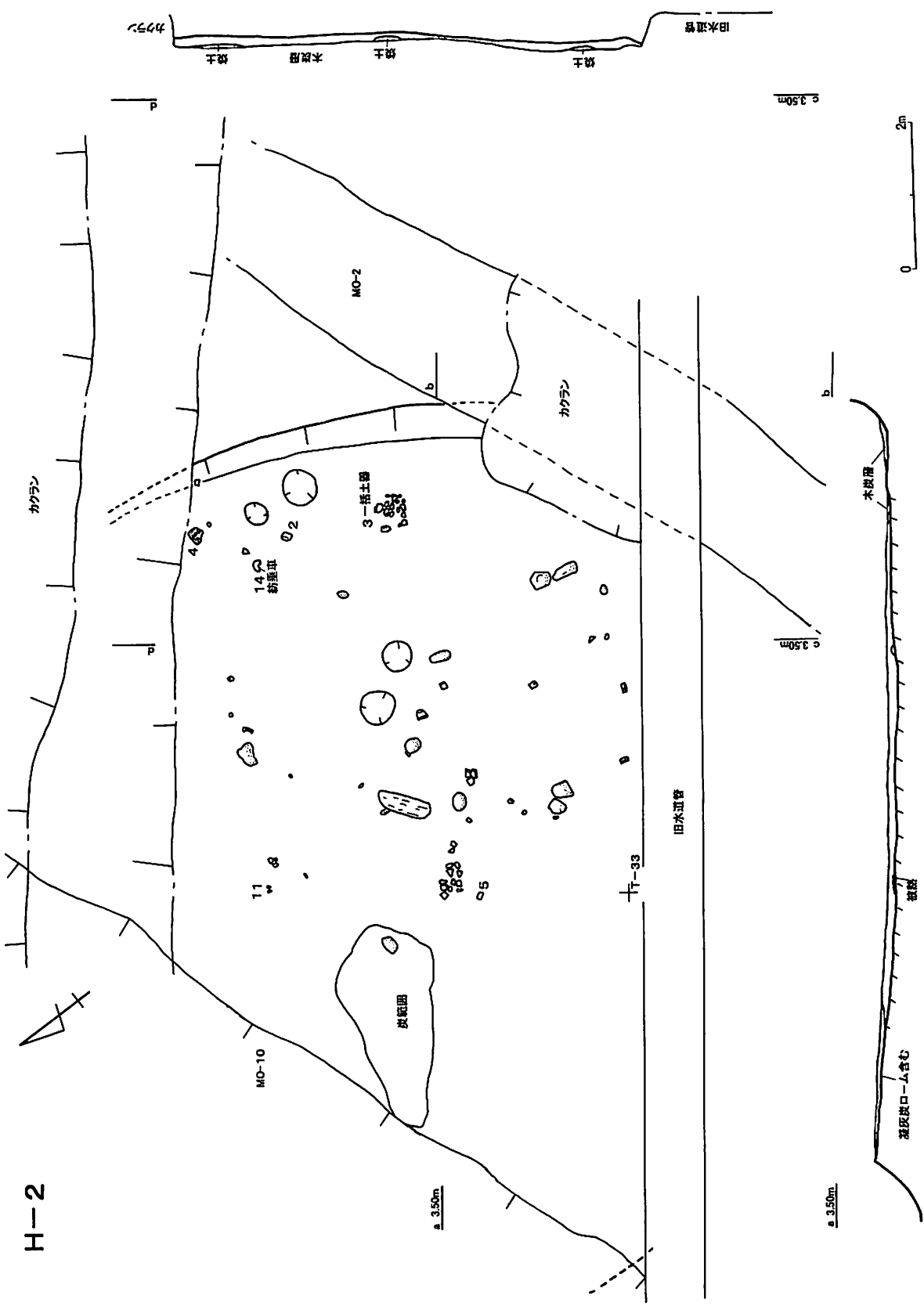
- 1. 黒褐色土
- 2. ベンガラ
- 3. 暗褐色砂

0 2m



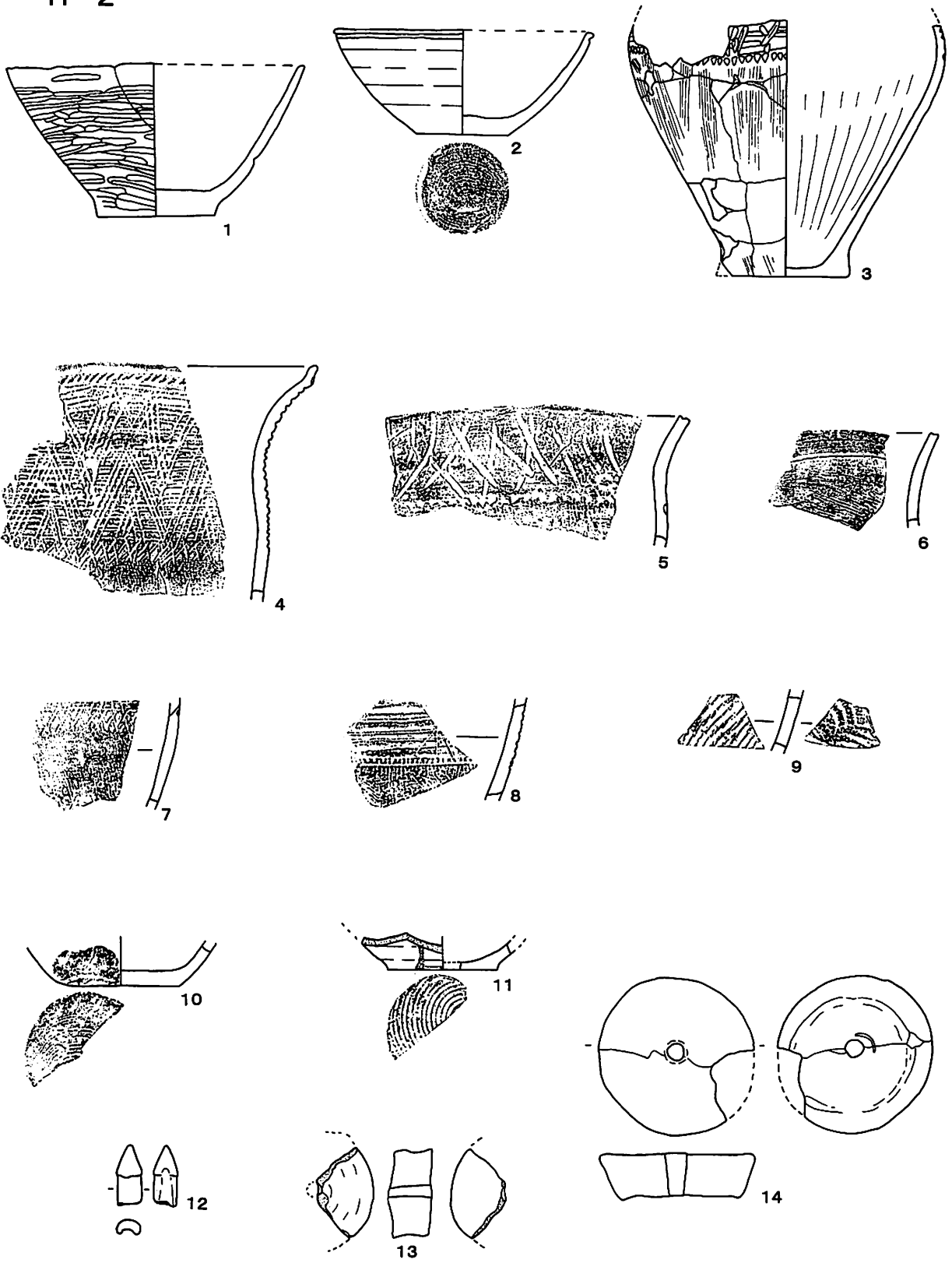
第144图 H-1 出土遺物

H-2



第145図 H-2 平面図

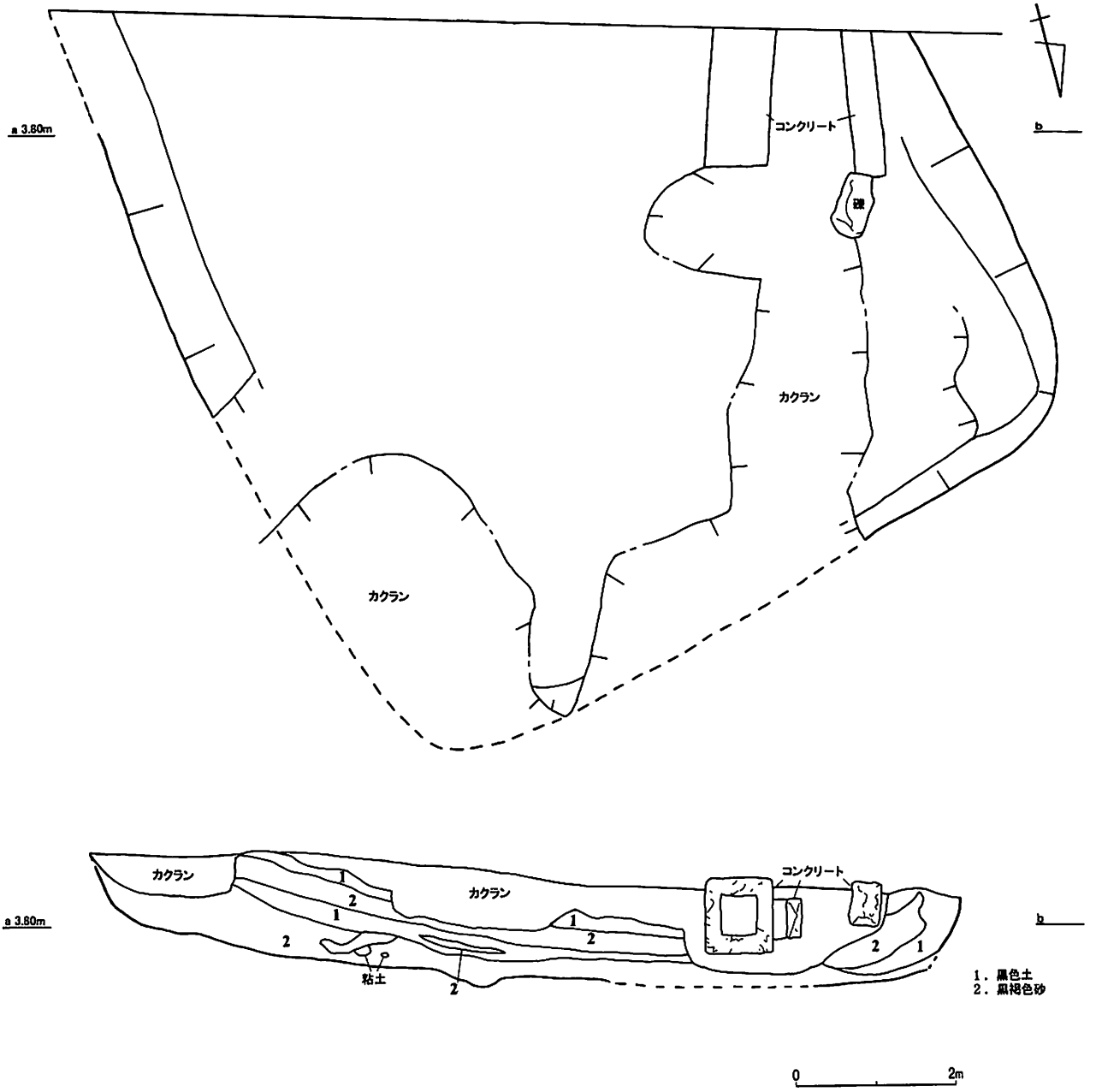
H-2



第146圖 H-2 出土遺物

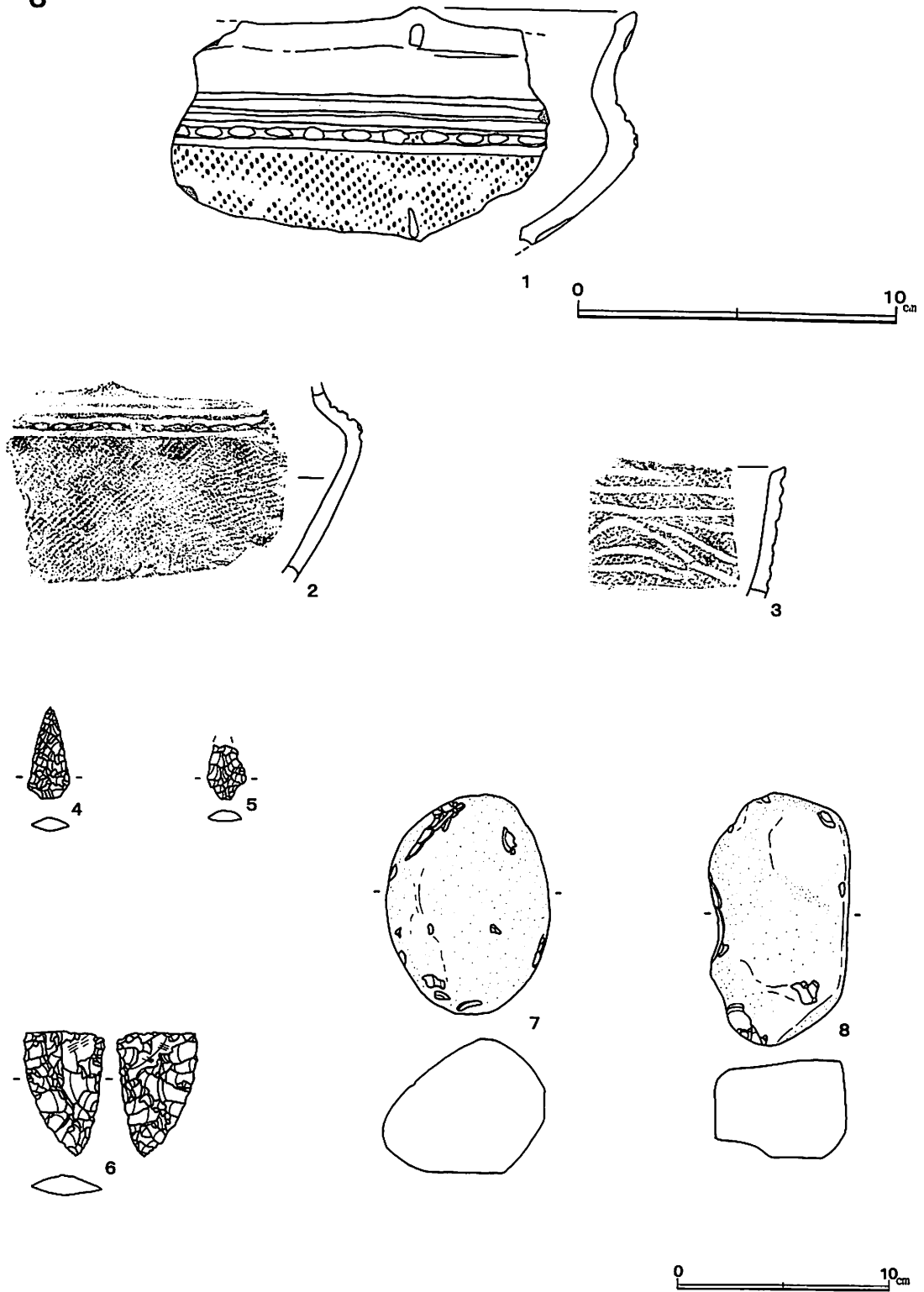


H-3



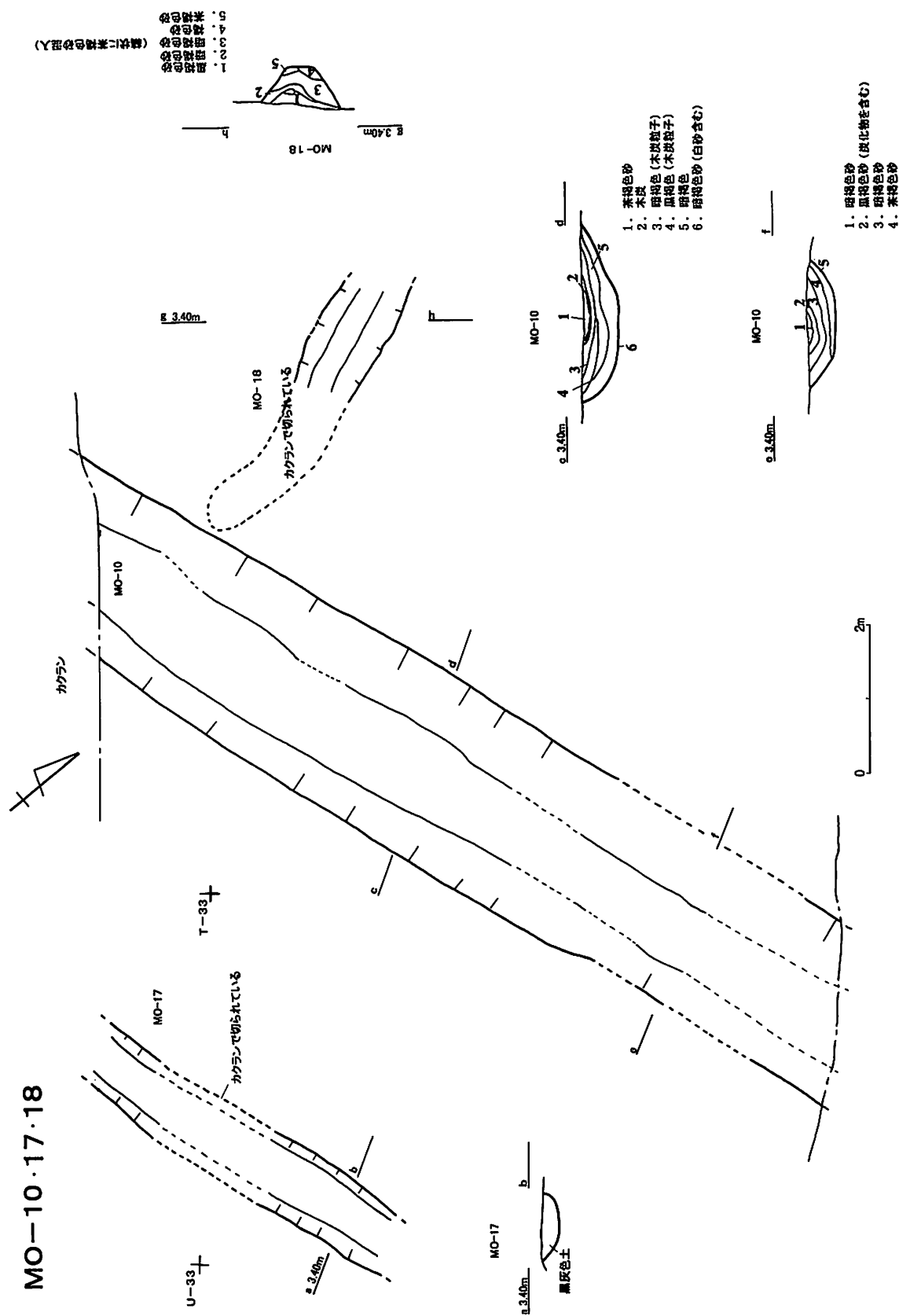
第147図 H-3 平面図

H-3



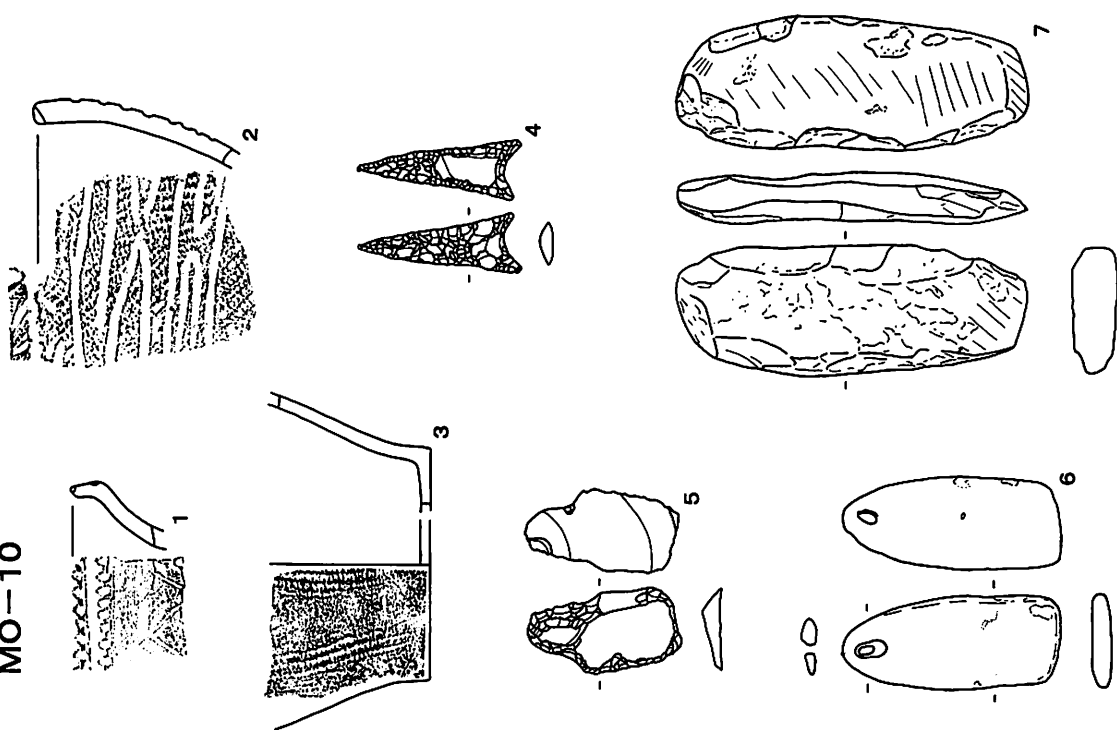
第148图 H-3 出土遺物

MO-10・17・18

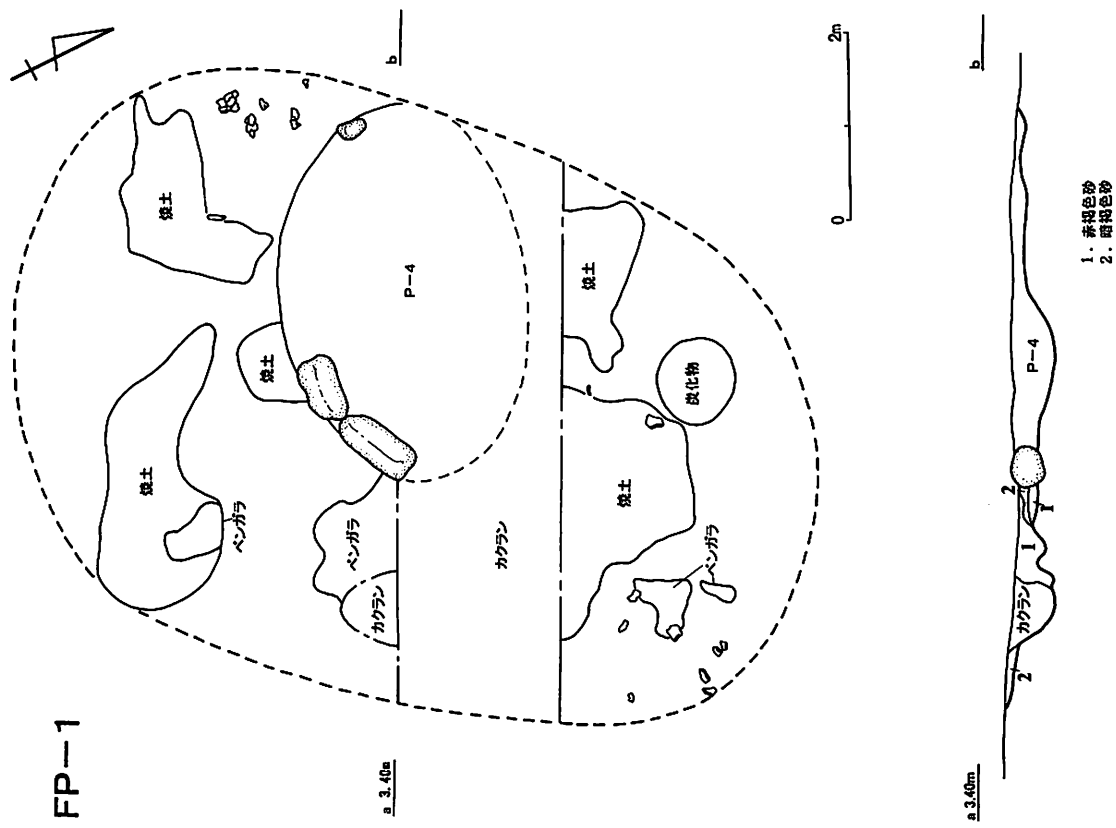


第149図 MO-10、17、18 平面図

MO-10

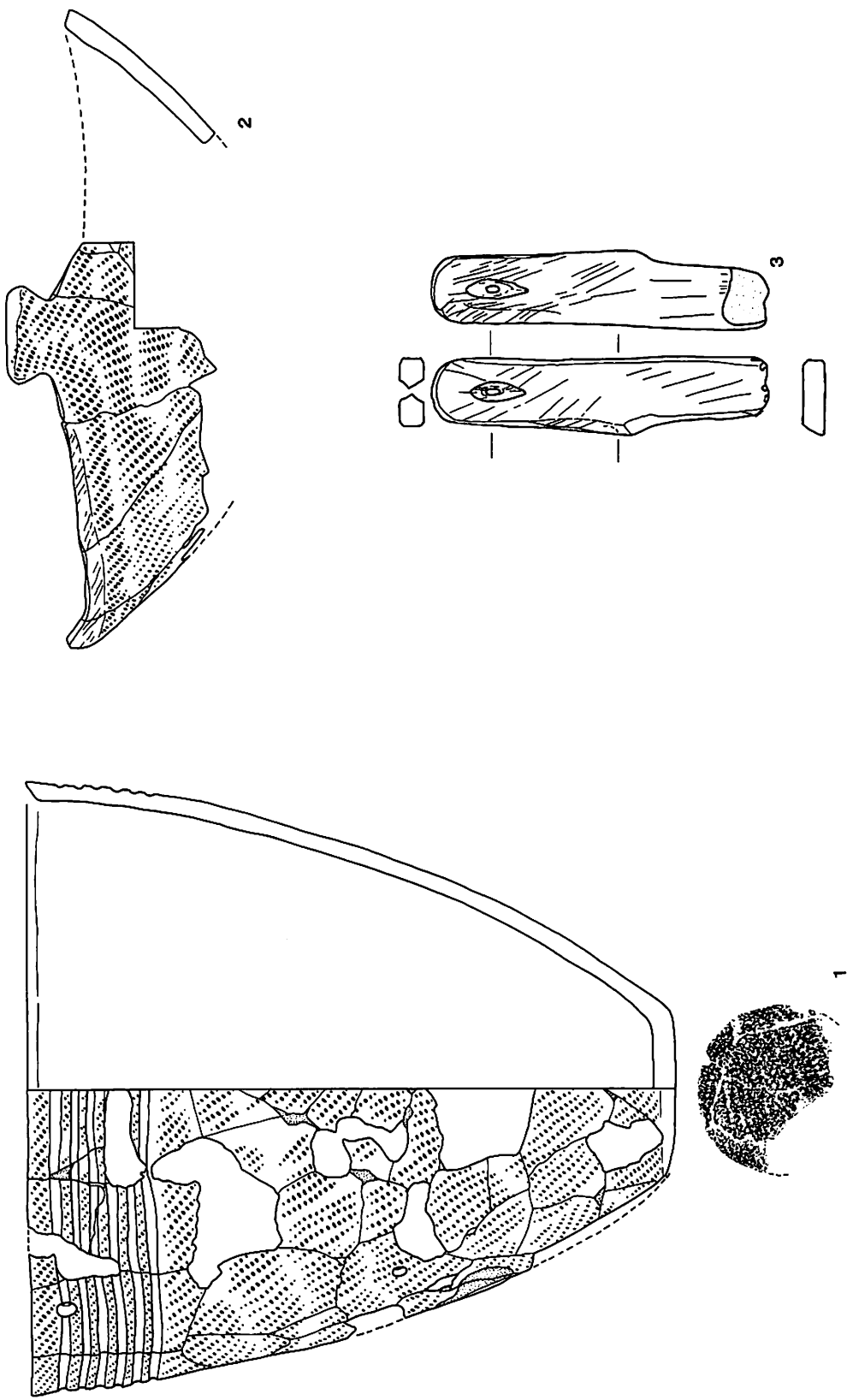


FP-1

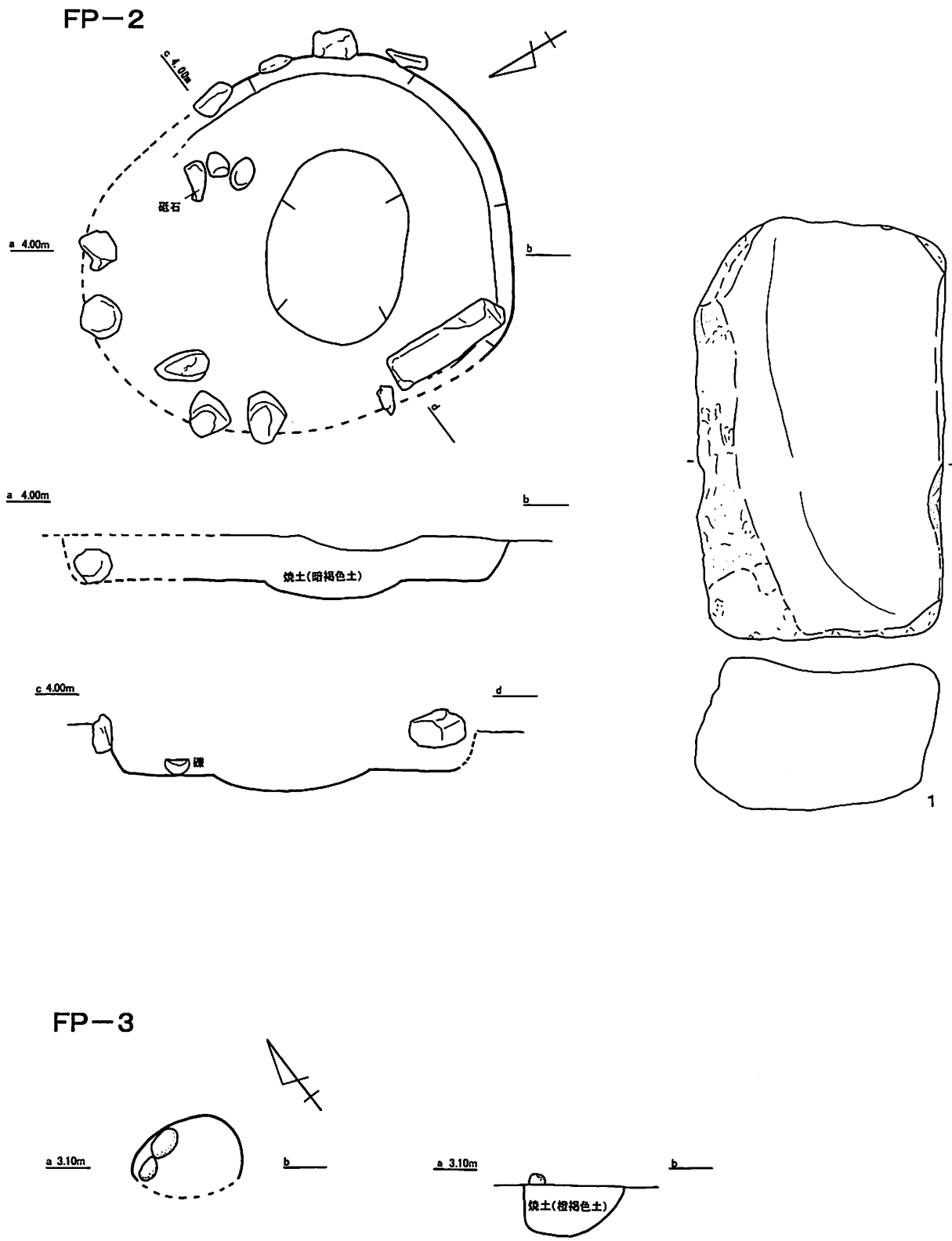


第150図 MO-10 出土遺物、FP-1 平面図

FP-1

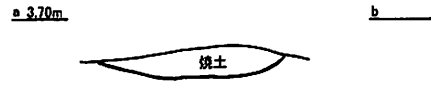
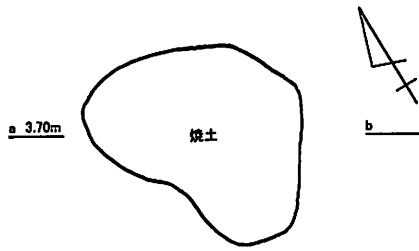


第151図 FP-1 出土遺物

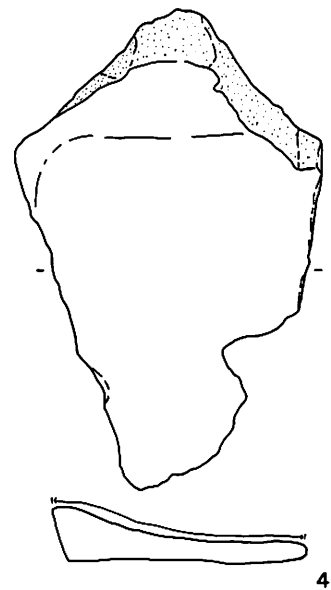
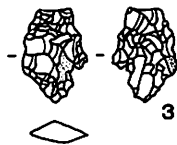
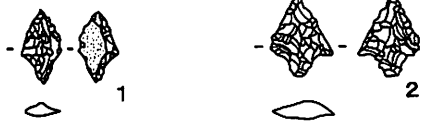
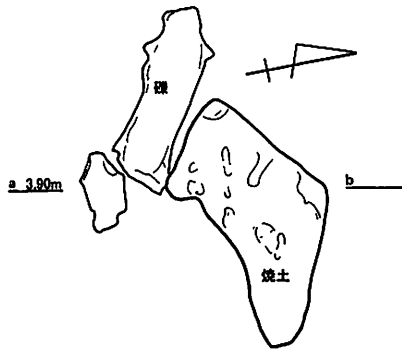


第152図 FP-2、3 平面図と出土遺物

FP-4

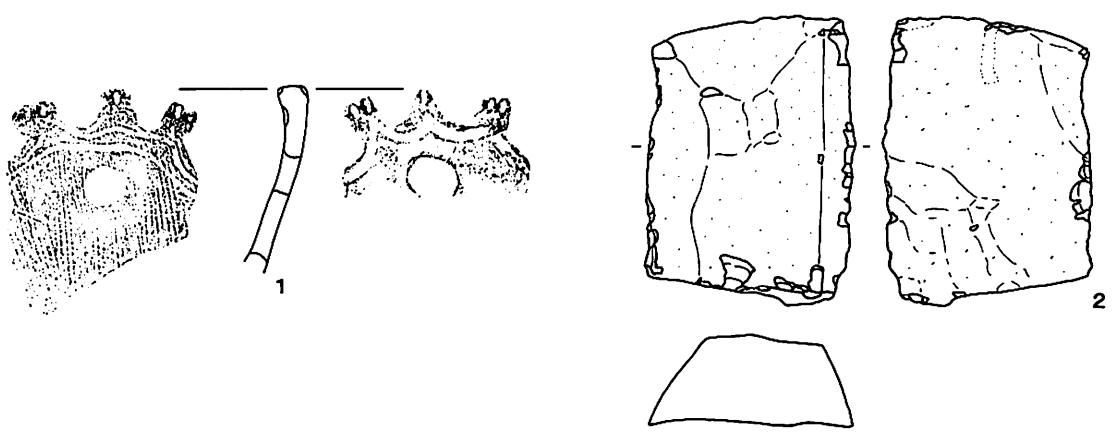
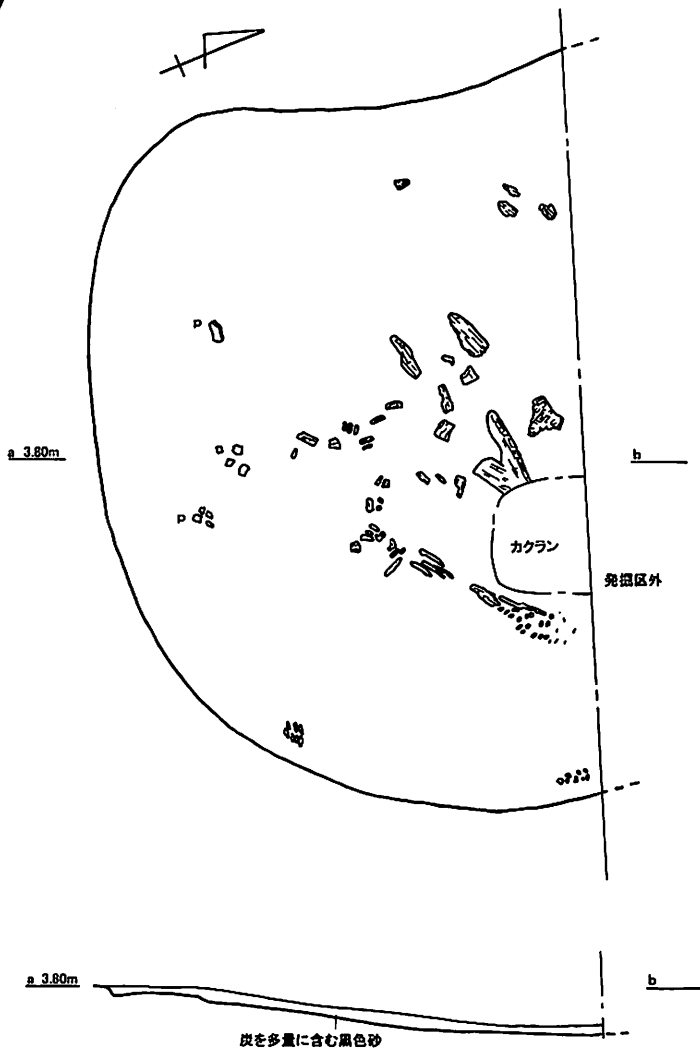


FP-6



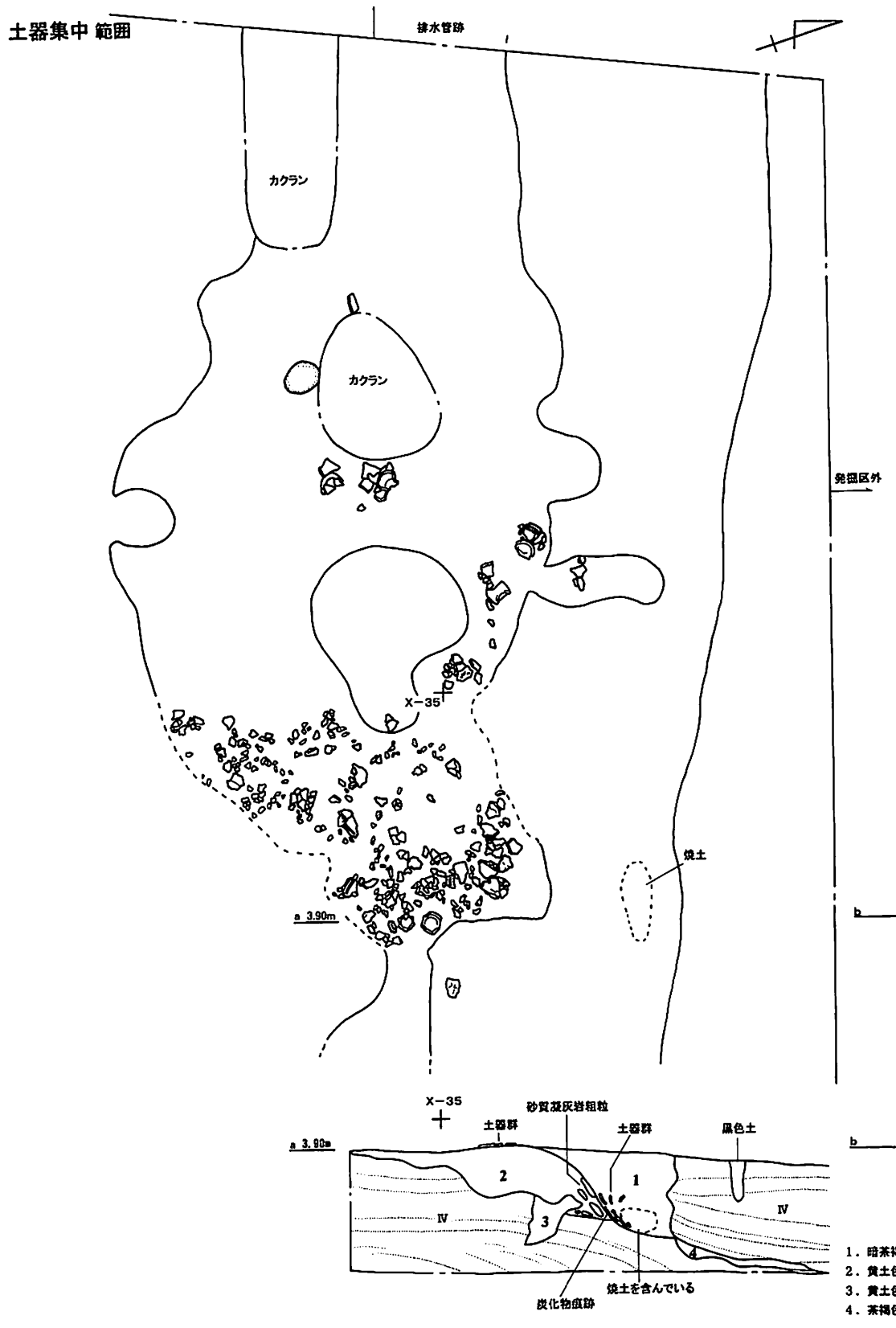
第153図 FP-4、6 平面図と出土遺物

FP-7



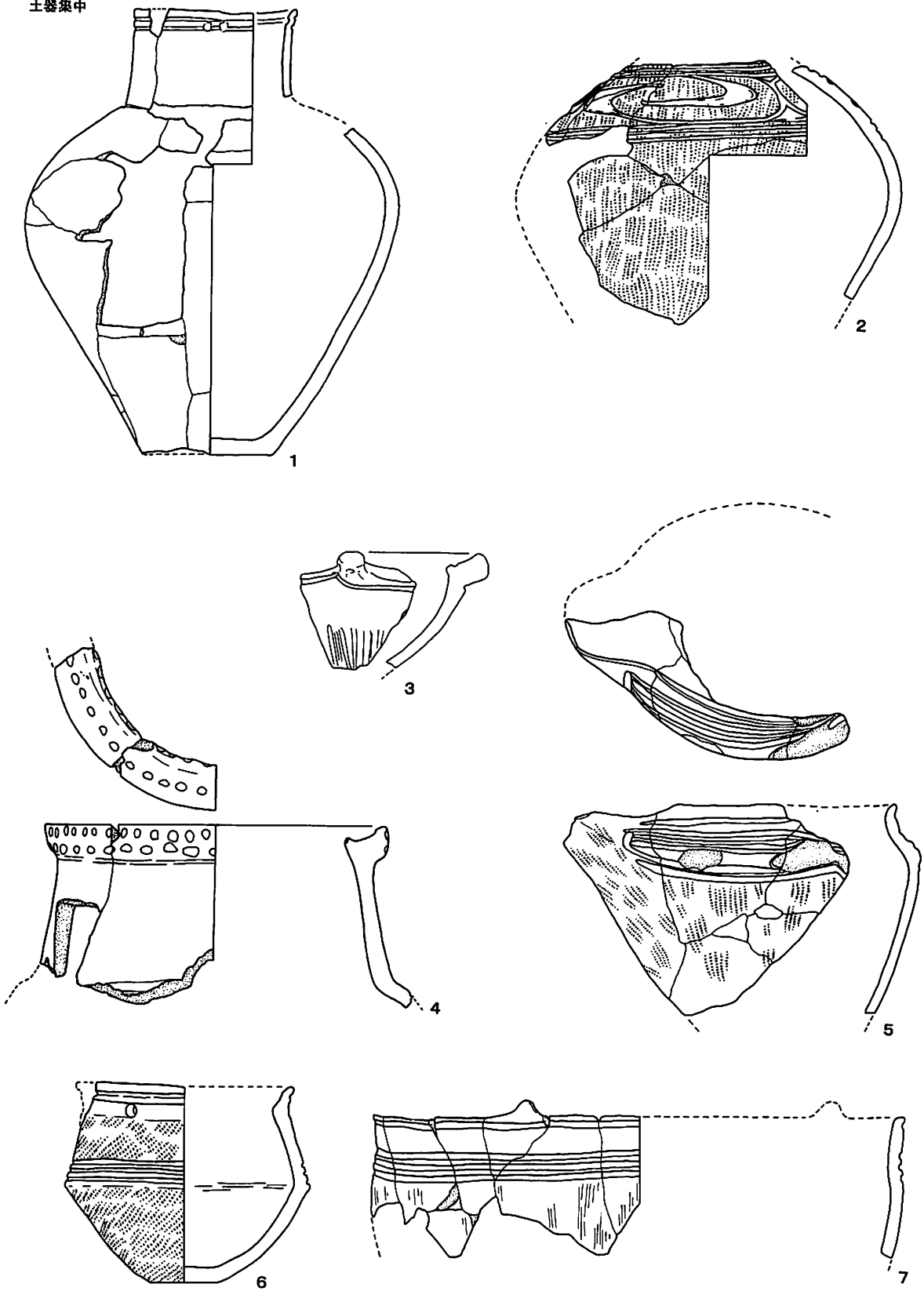
第154図 FP-7 平面図と出土遺物



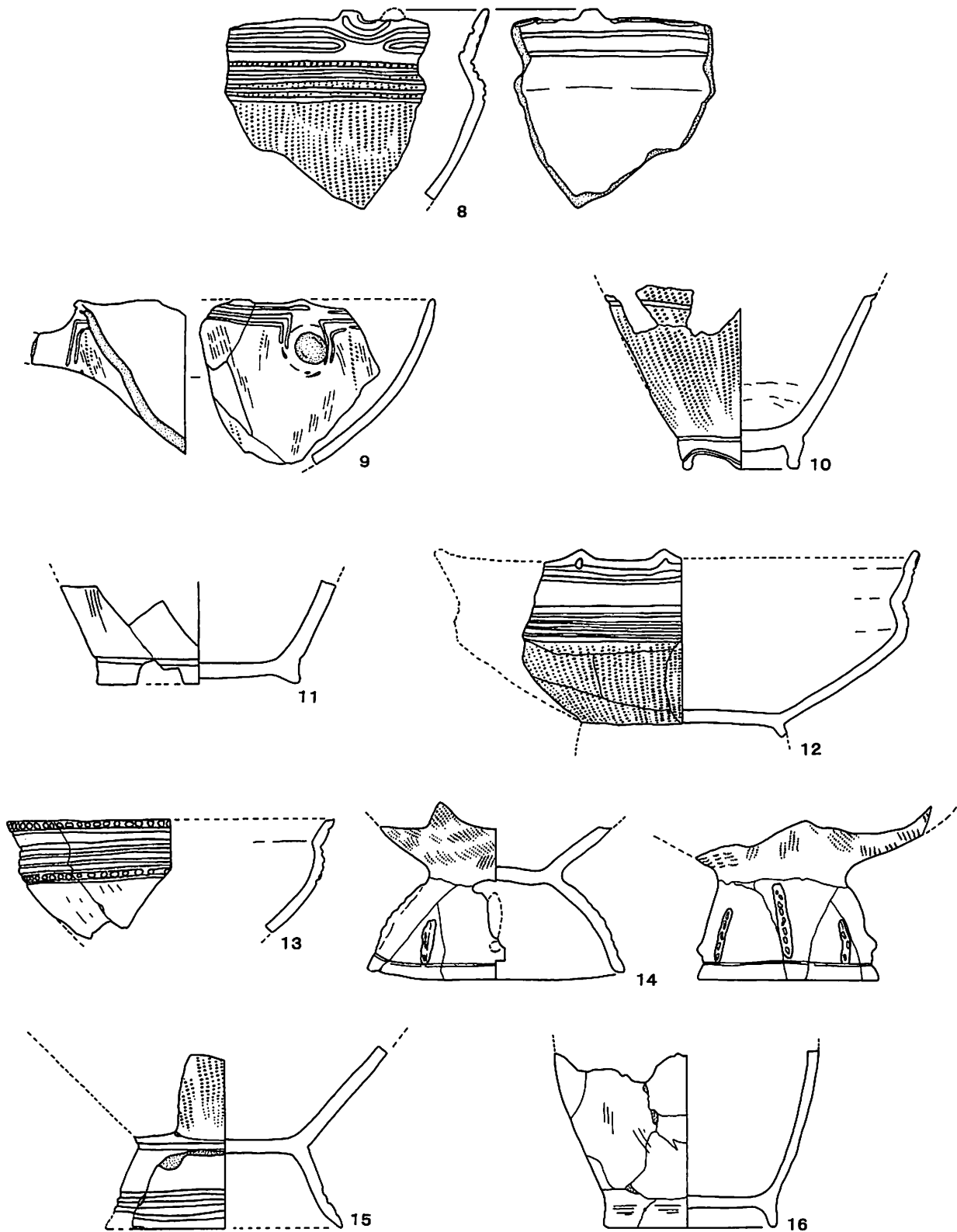


第155図 土器集中範囲平面図

土器集中

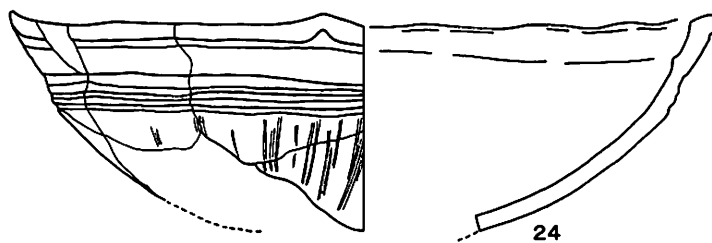
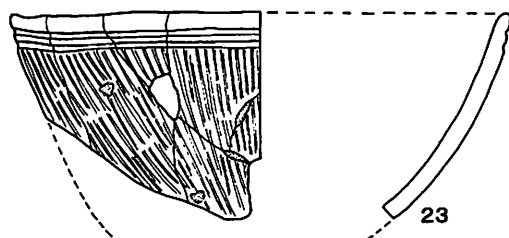
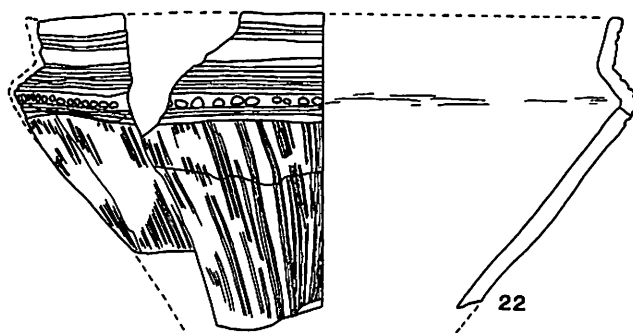
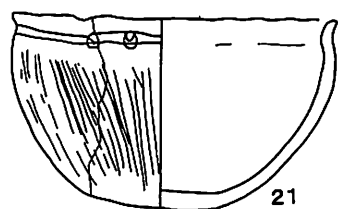
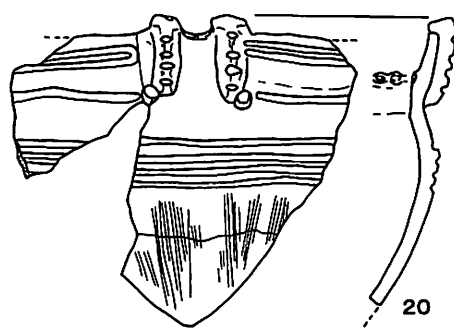
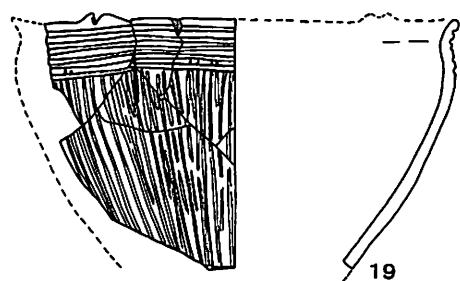
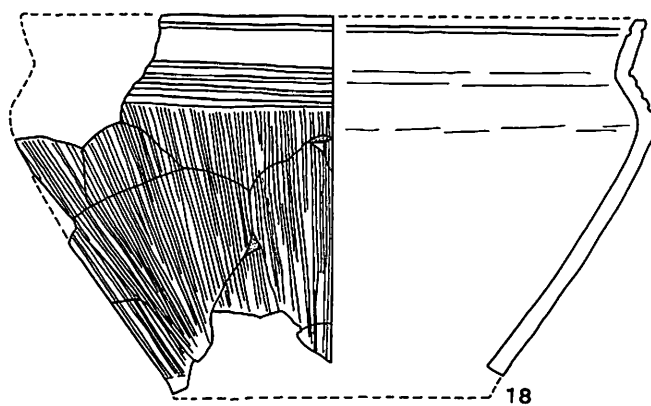
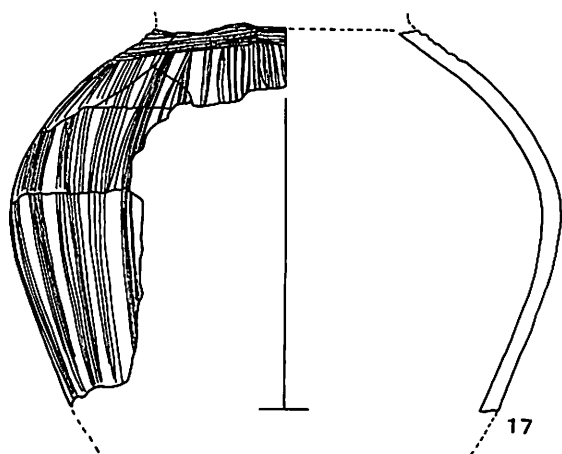


第156圖 土器集中範圍出土遺物（1）



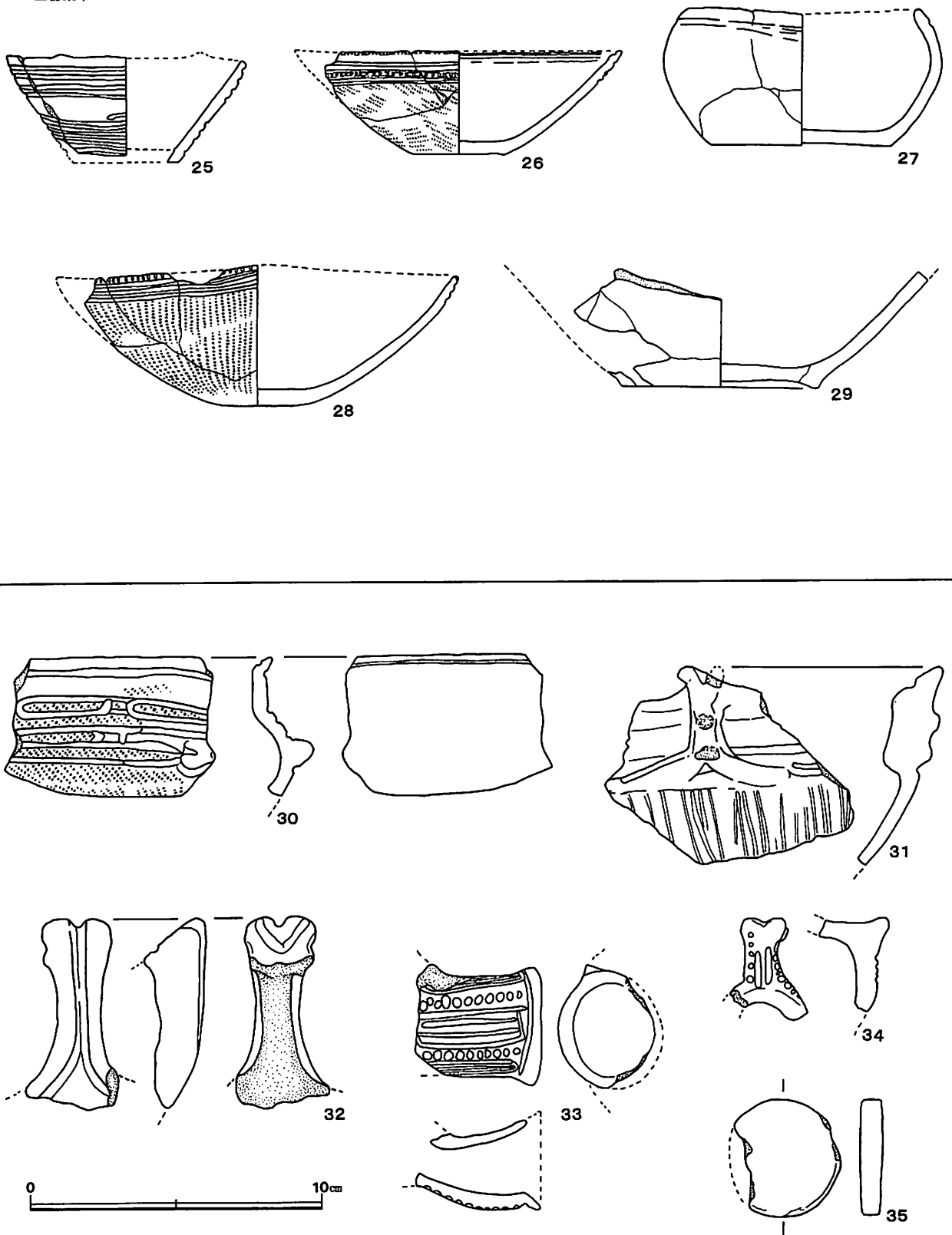
第157図 土器集中範囲出土遺物（2）

土器集中



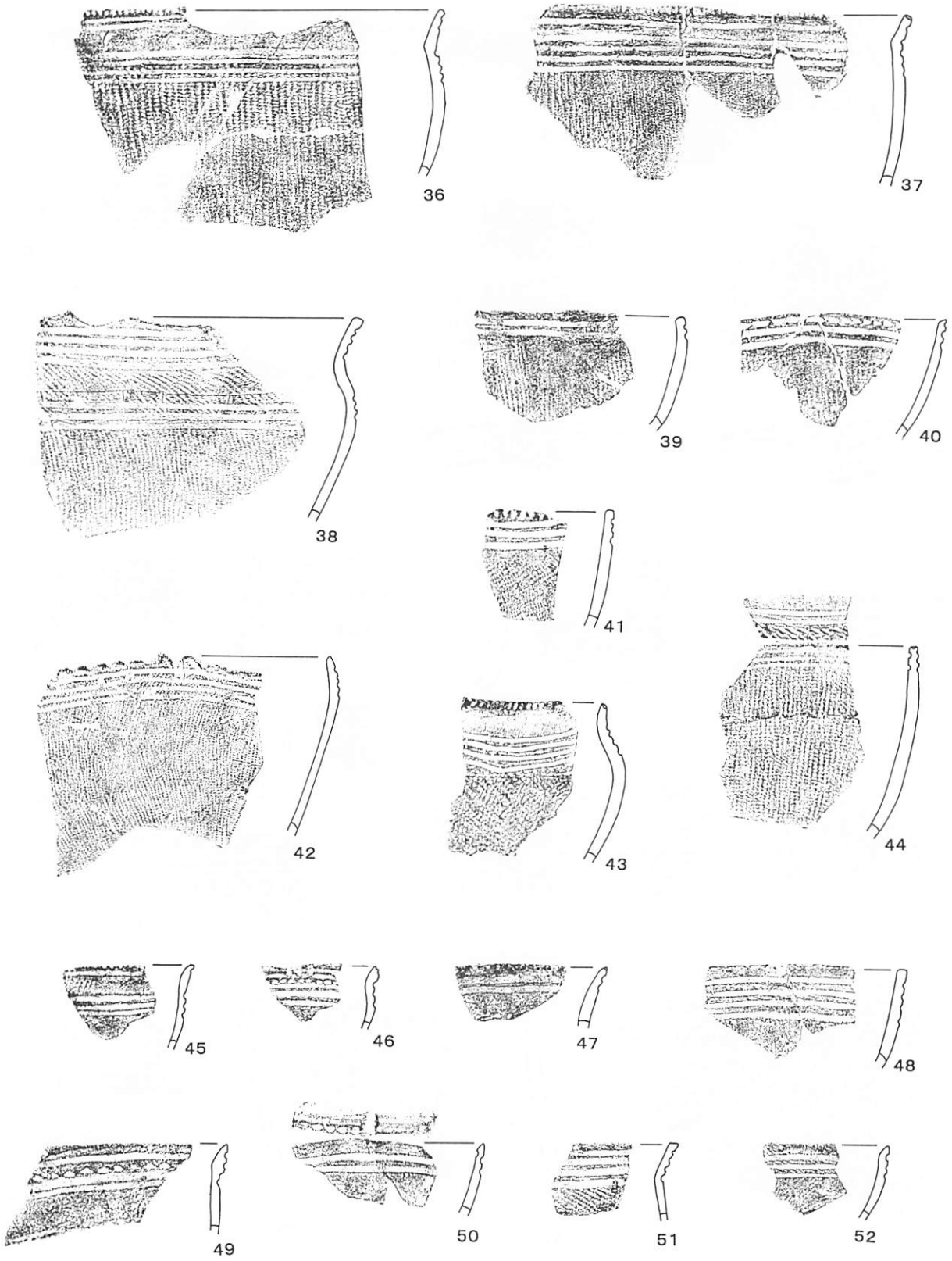
第158圖 土器集中範圍出土遺物（3）

土器集中

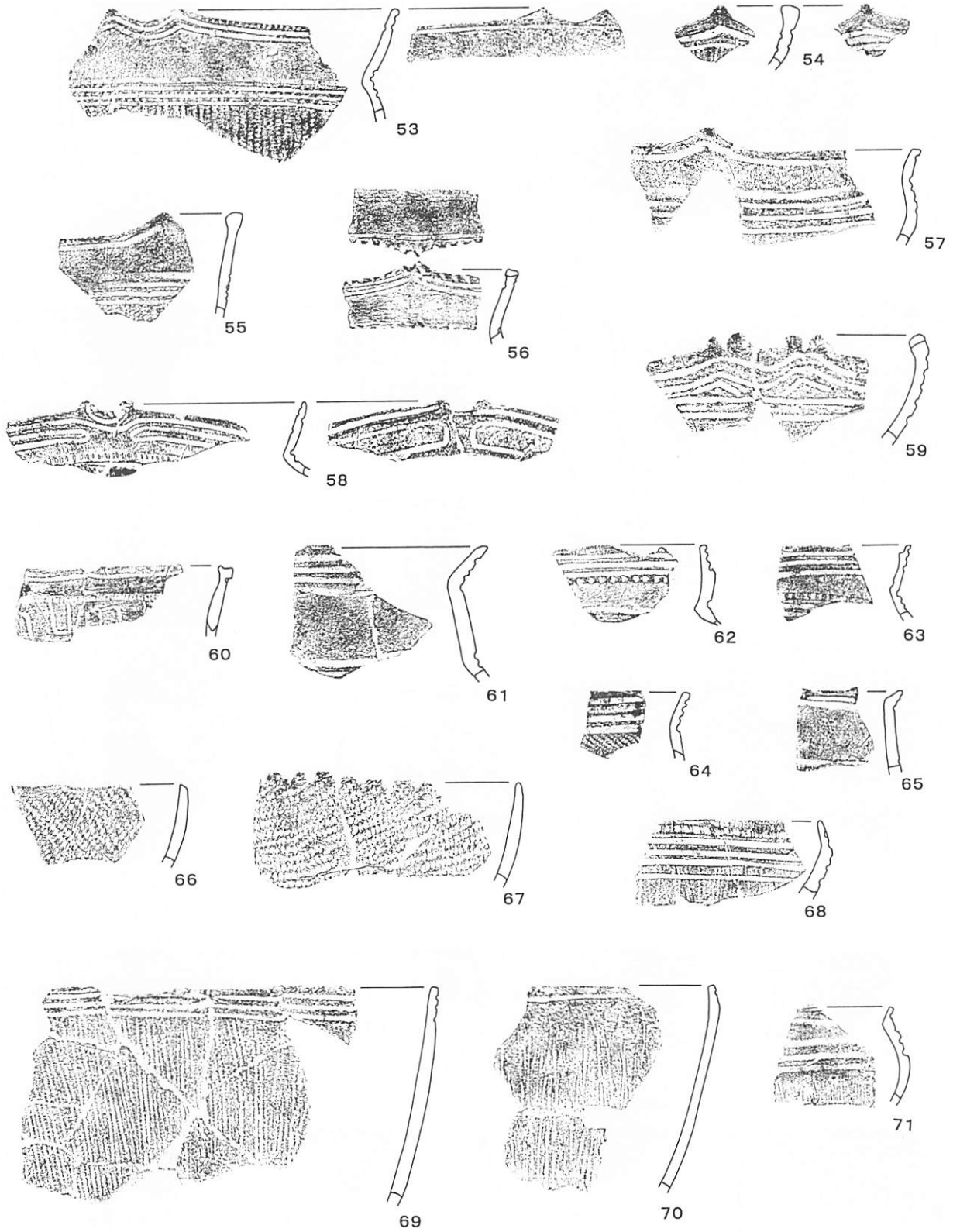


第159圖 土器集中範圍出土遺物（4）

土器集中

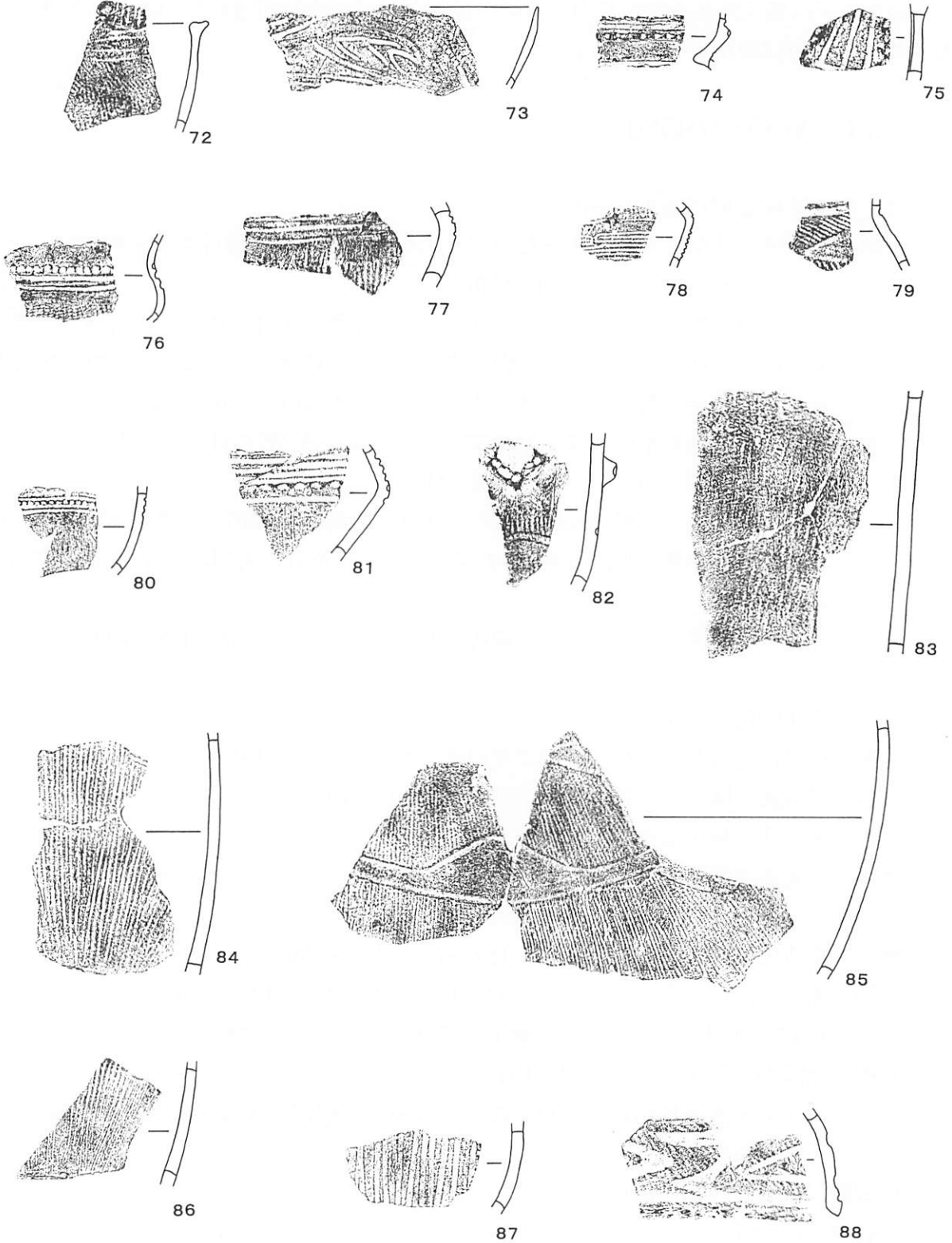


第160図 土器集中範圍出土遺物（5）



第161図 土器集中範圍出土遺物 (6)

土器集中



第162圖 土器集中範圍出土遺物（7）



### 3. 包含層出土の遺物

道道地点では縄文時代晩期から中・近世の遺物が19,643点検出されているが、主体となる遺物は縄文時代晩期のものである。

#### (1) 土器 (第163～175図版)

##### I 群 縄文時代晩期に属するもの

a 類 縄文時代晩期中葉に属するもので大洞C 1～C 2式に併行するもの

(1、3～43、56、62～76、106)

亀ヶ岡文化の影響を受けているもので、器種は深鉢、浅鉢、台付鉢、壺等がみられる。連続した押し引き状の沈線が口縁部に施文される等、浜中大曲式と総称される土器群や桃内式等の大洞C 2式に類似するものが多い。

b 類 縄文時代晩期後葉に属するものであり大洞A～A'式に併行するもの

(2、44～47、51、77、78、110～118)

亀ヶ岡文化の影響を受けており、深鉢、浅鉢、台付鉢、壺等がみられる。口縁部に工字文風の沈線が施文されているものであり、大洞A～A'式に属するものである。

c 類 非大洞系に属するものであり縄線文が施されるもの (58、108、109)

##### II 群 続縄文時代に属するもの

a 類 口縁に突瘤が施されるもので琴似式に類するもの (48)

b 類 恵山式に属するもの (49、50、119、121、122)

c 類 後北式に属するもの (123～126)

d 類 北大式に属するもの (131)

##### III 群 擦文時代に属するもの52～54、127～130、132～136

a 類 擦文土器に属するもの (53、54、127、128～133、134、136)

深鉢と坏であり、石附編年第I～III期に属するものである。

b 類 土師器に属するもの (52、135)

いずれも内面黒色処理されており、口縁部と胴部に沈線が施されている。

#### (2) 石器 (第176～179図版)

・石鏃 (137～155)

有柄凹基、無柄平基、無柄凹基や柳葉形のがみられる。144は背面に原石面を残すものである。

・石槍 (156)

両面加工された木葉形のものである。

・石錐 (157)

棒状のものであり先端部が磨滅している。

・石製ナイフ (158、159、162、165)

剥片の形状を加工により大きく変化させたものである。

両面加工されたものであり弧状と切り出し状の先端部のものがある。

・削器 (160、161、163、164、166～169)

剥片の側縁に刃部をもつもので剥片の形状を大きく変化させないものである。  
167、168は安山岩製のものである。

・石斧 (170～174)

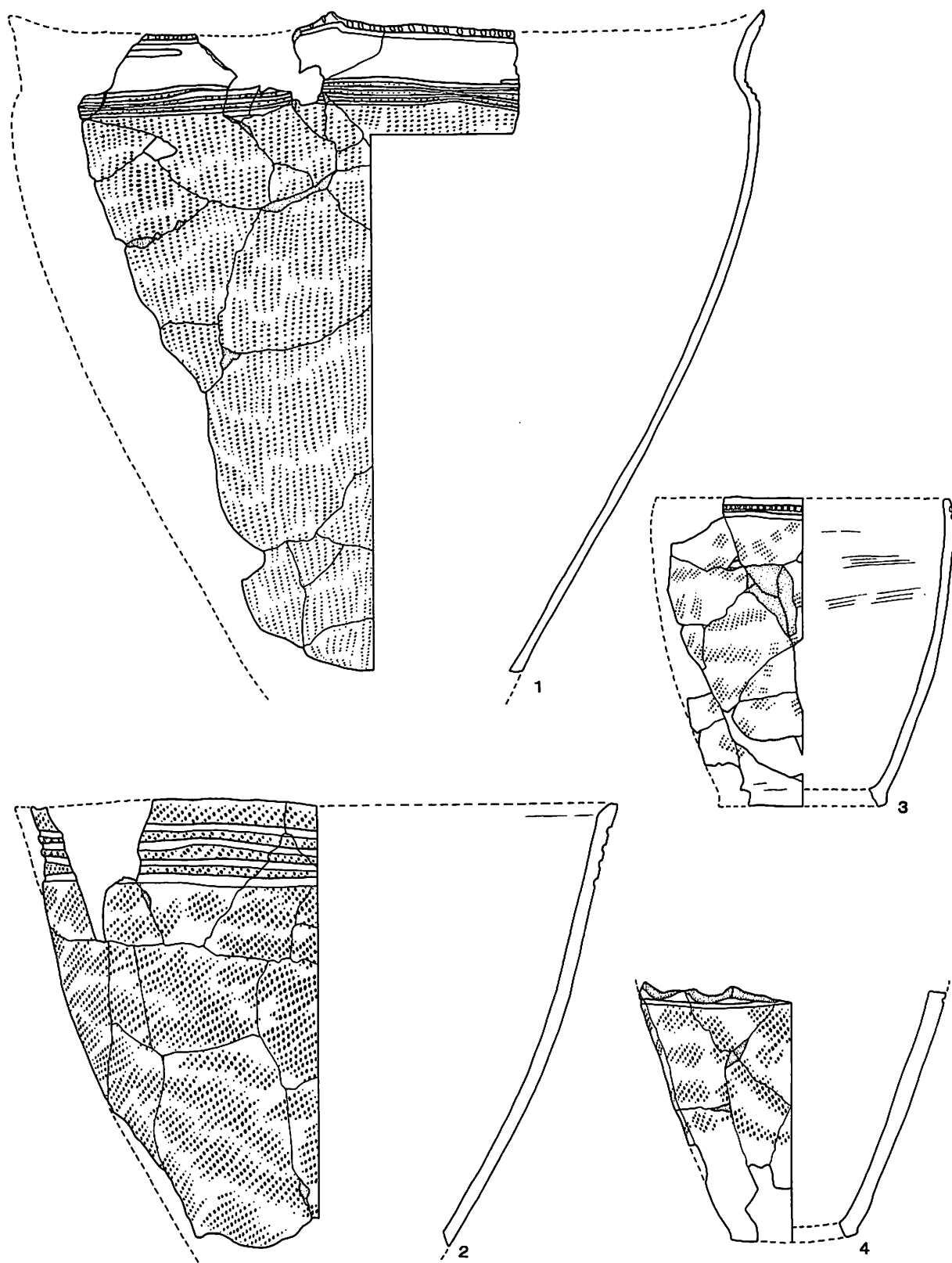
170～172は礫を研磨し形態を整えているものであり、173、174は安山岩製で剥離によって形態をととのえており、刃部のみが研磨されている。

・たたき石 (175)

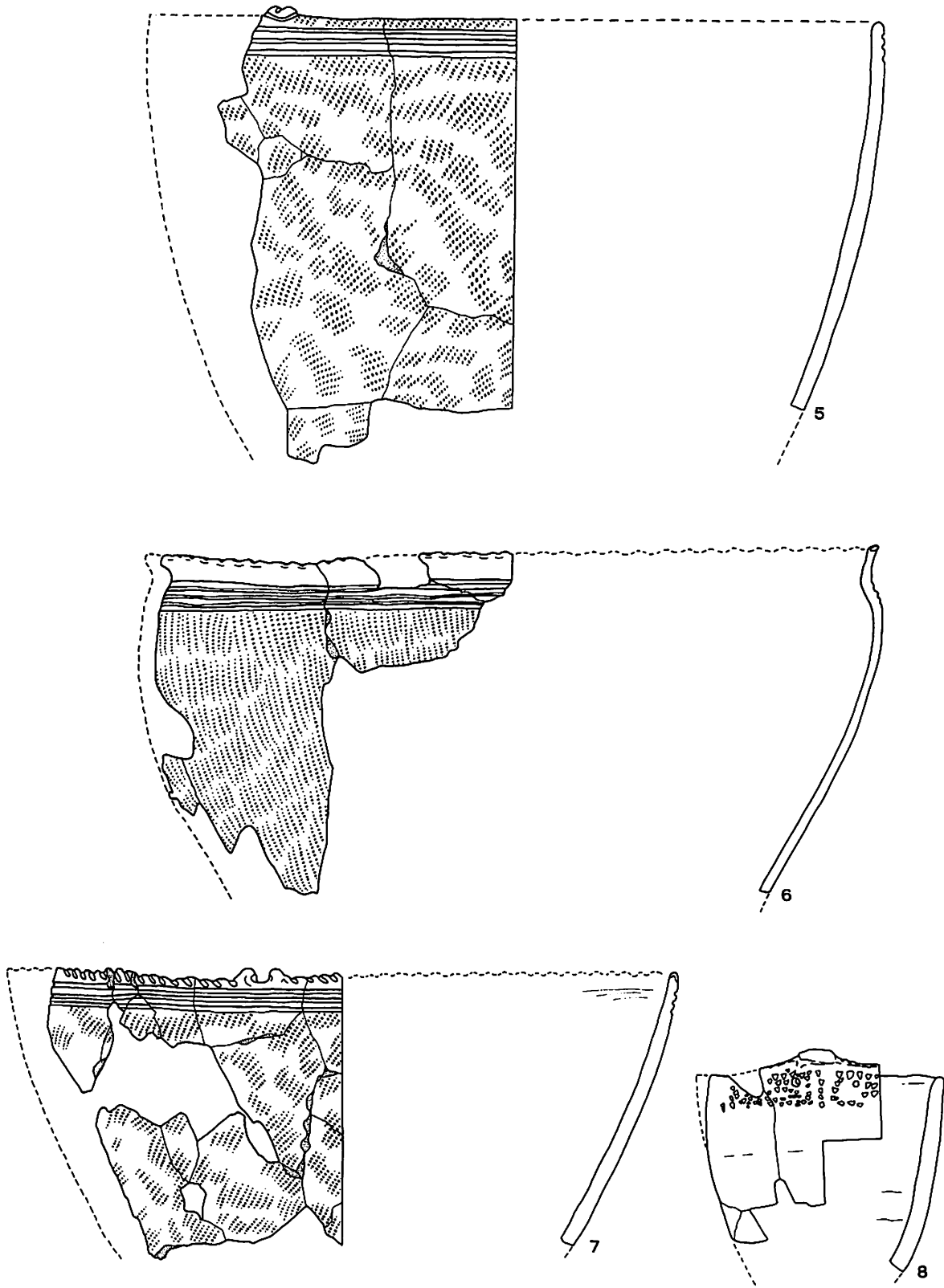
礫の面部に使用痕をもつものであり、安山岩製のものであり礫の両面に使用痕がある。

・砥石 (176、177)

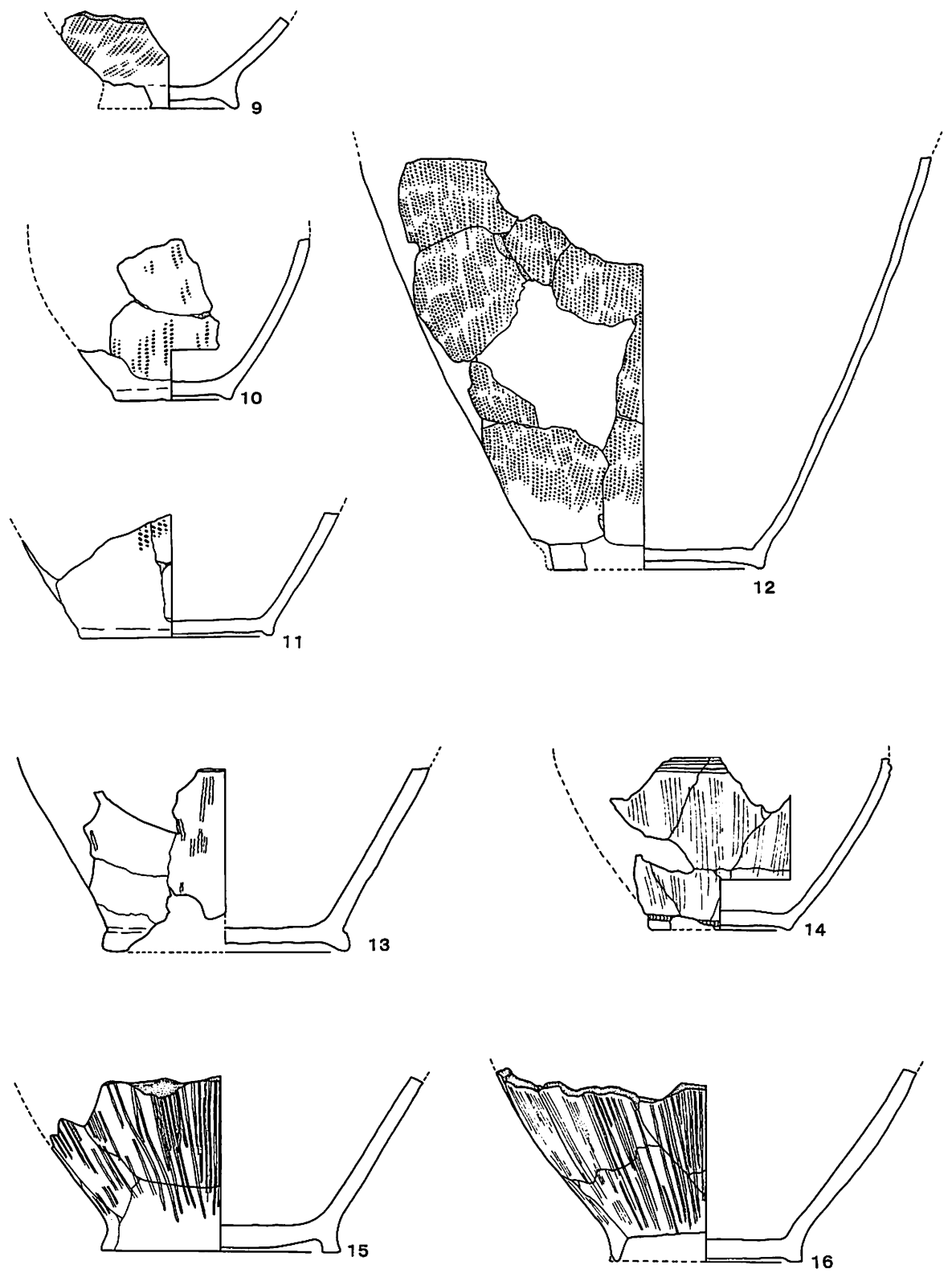
砂岩製のものであり両面に使用痕がある。177は溝状の使用痕がみられる。



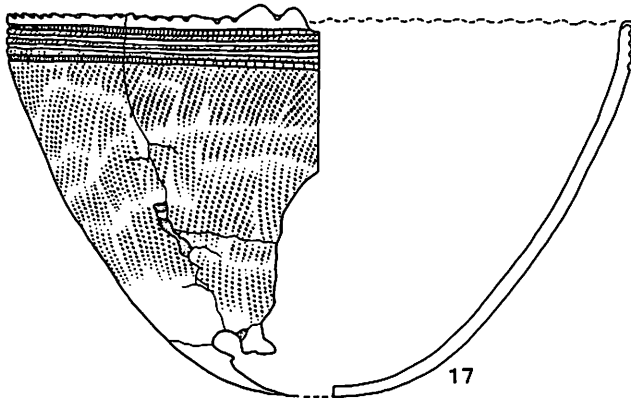
第163図 包含層出土の土器（1）



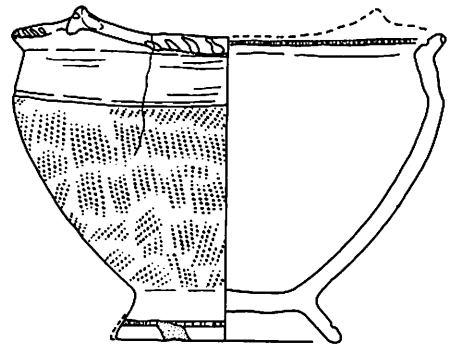
第164図 包含層出土の土器（2）



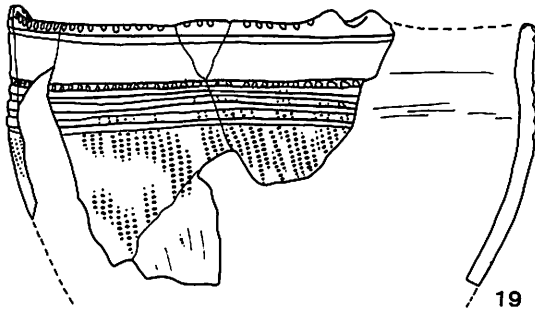
第165図 包含層出土の土器（3）



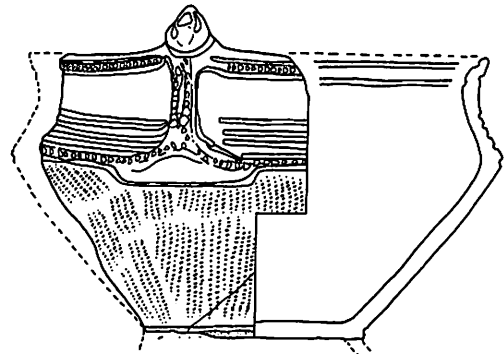
17



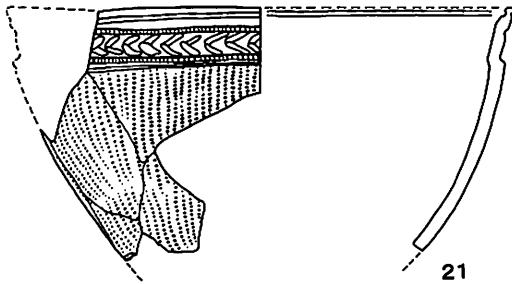
18



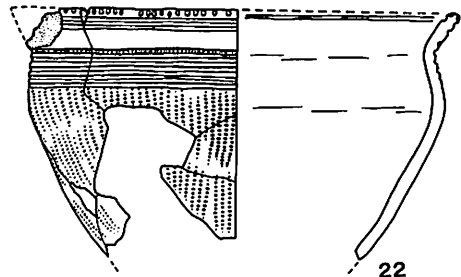
19



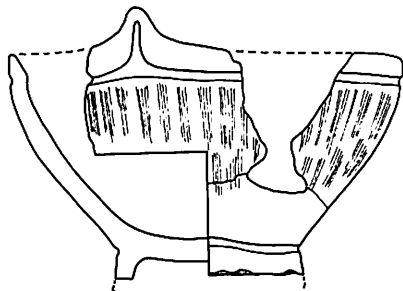
20



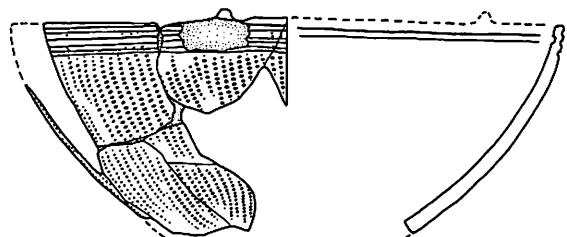
21



22

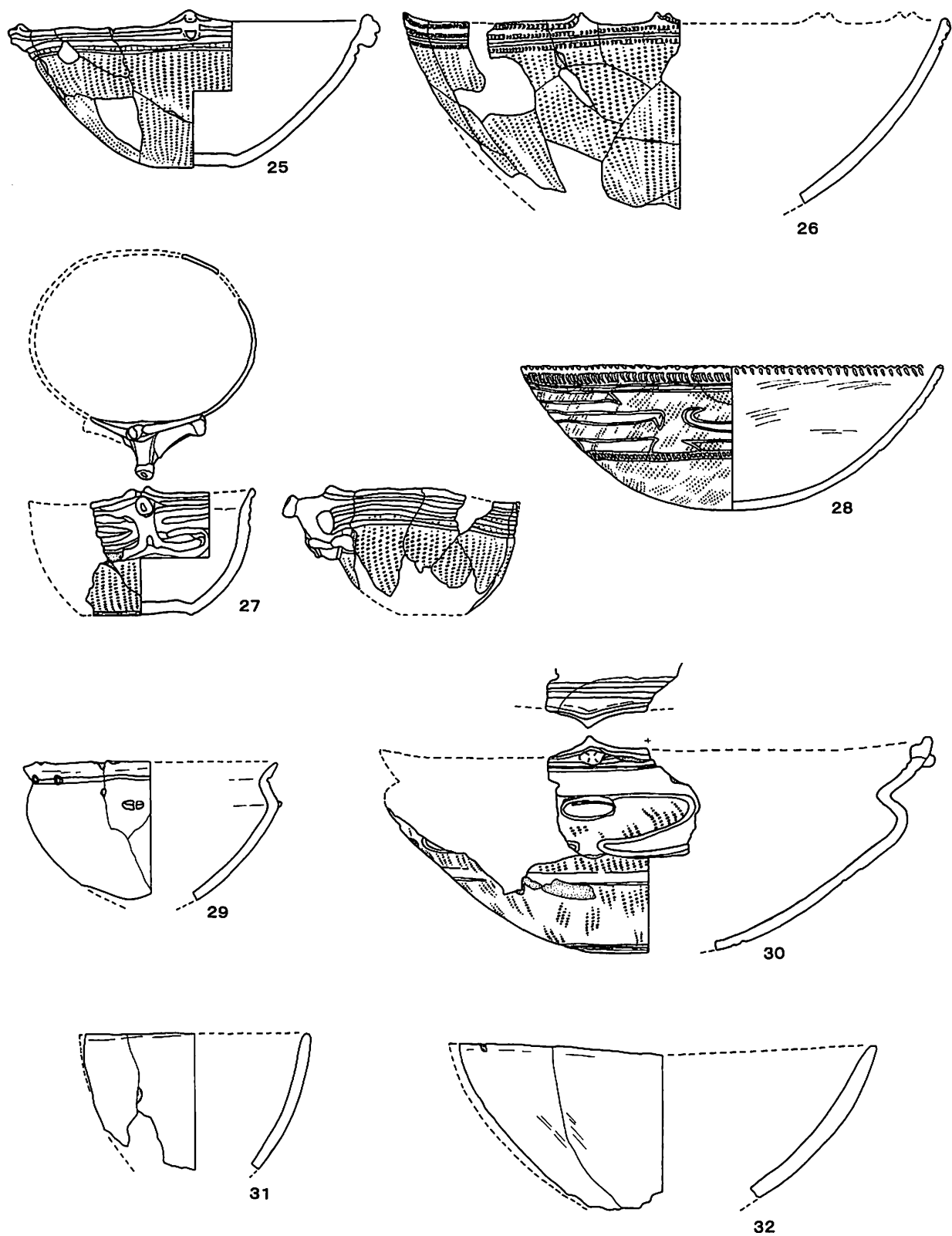


23

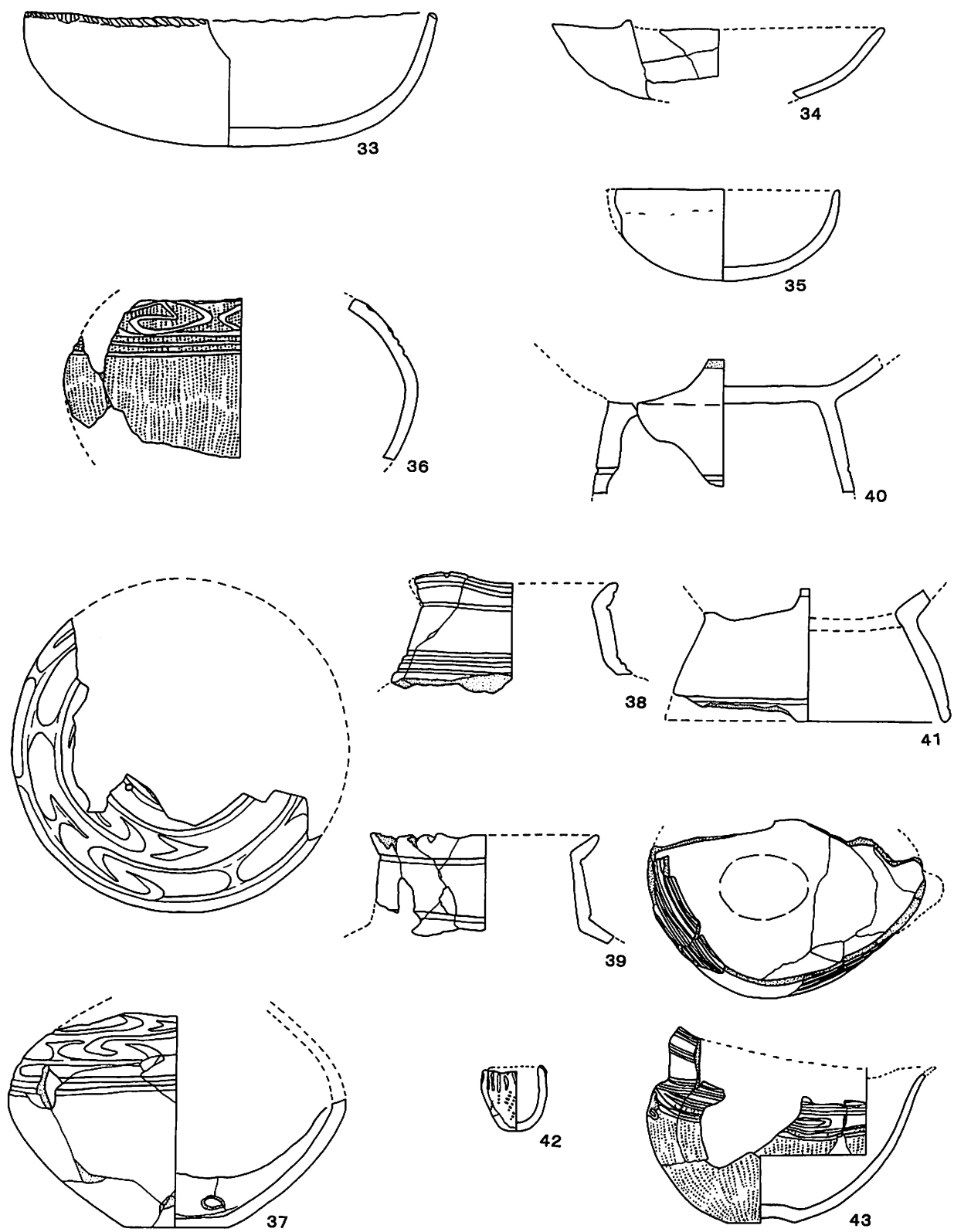


24

第166図 包含層出土の土器（4）

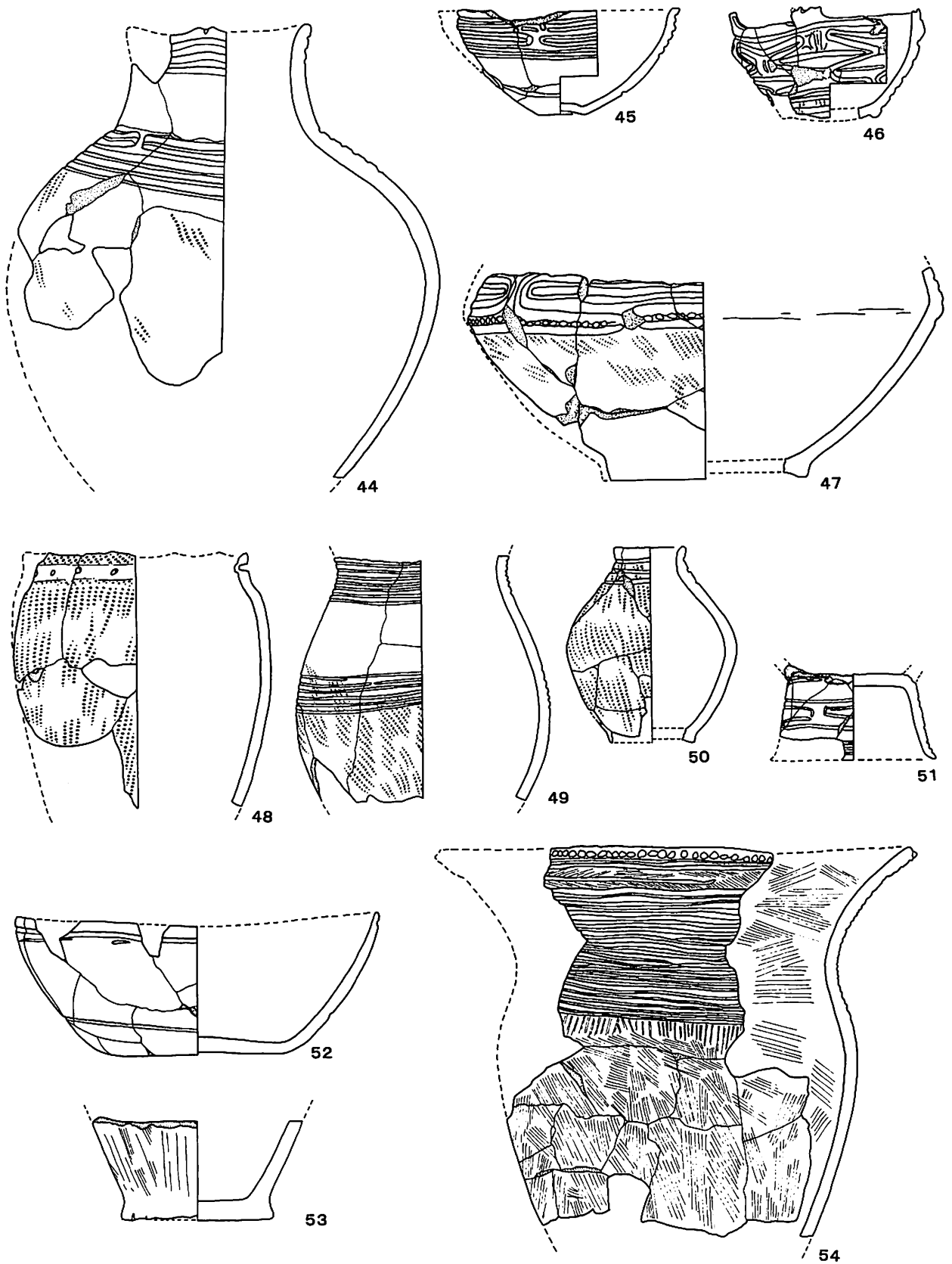


第167図 包含層出土の土器（5）

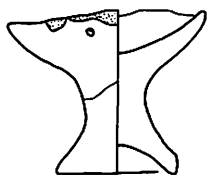


第168図 包含層出土の土器（6）

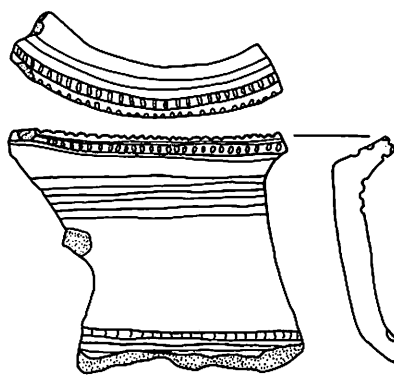




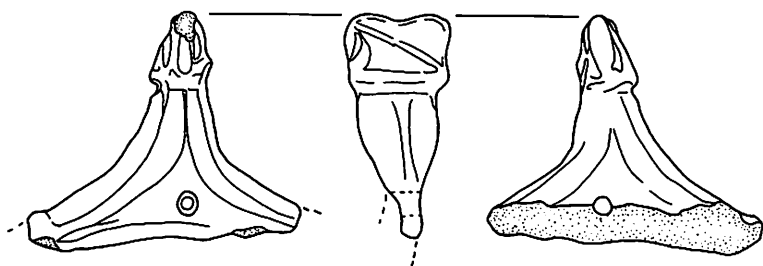
第169図 包含層出土の土器（7）



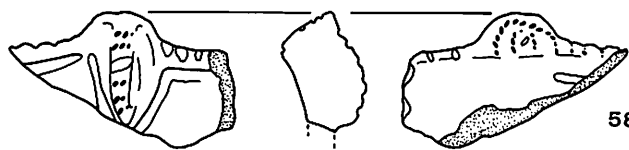
55



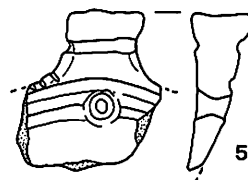
56



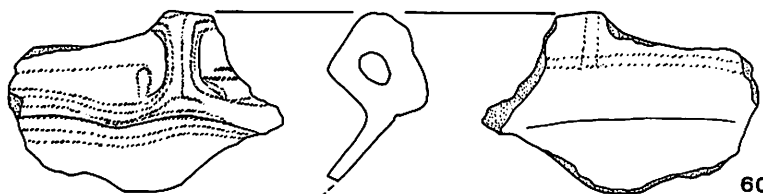
57



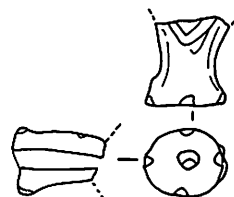
58



59



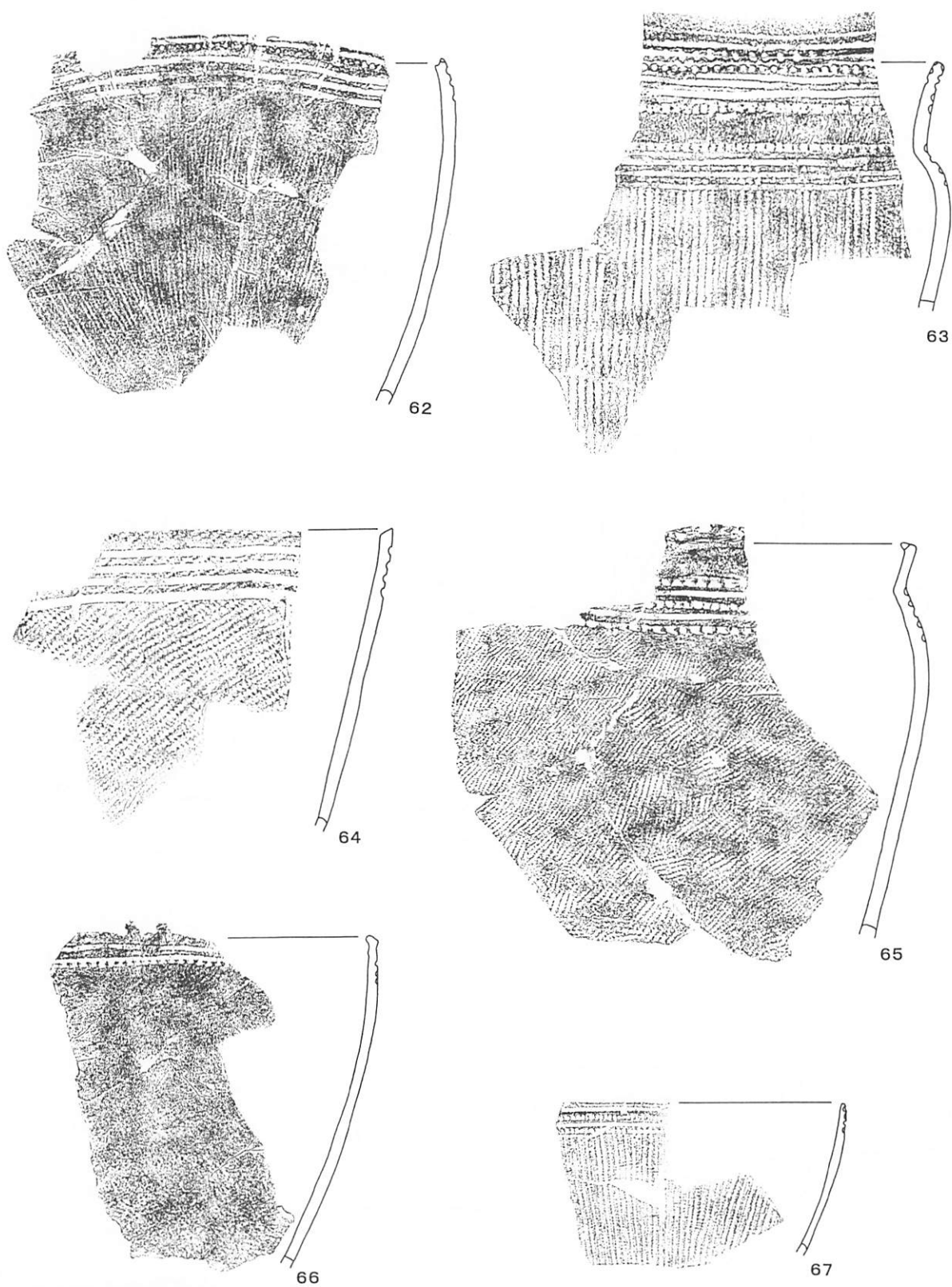
60



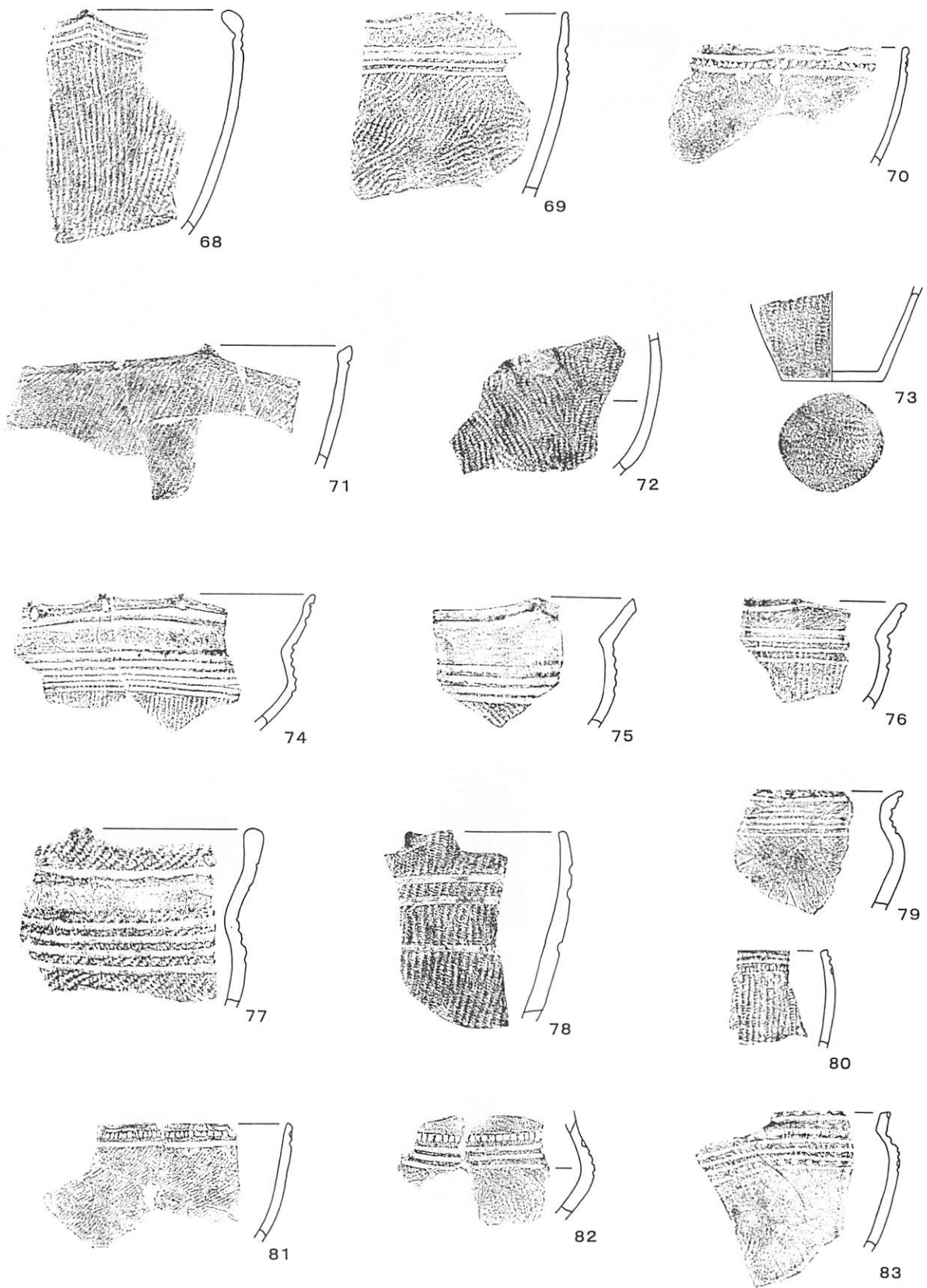
61



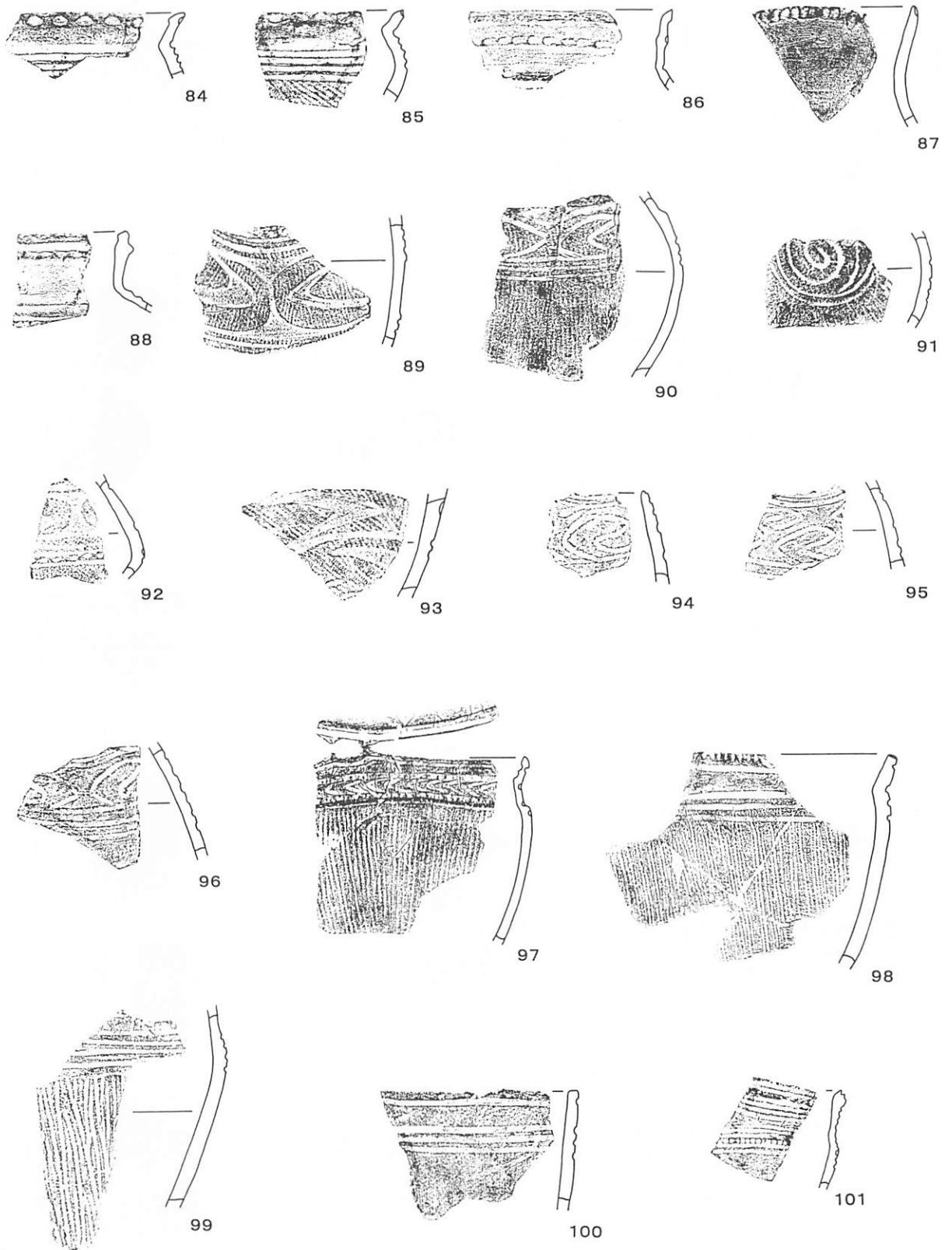
第170図 包含層出土の土器 (8)



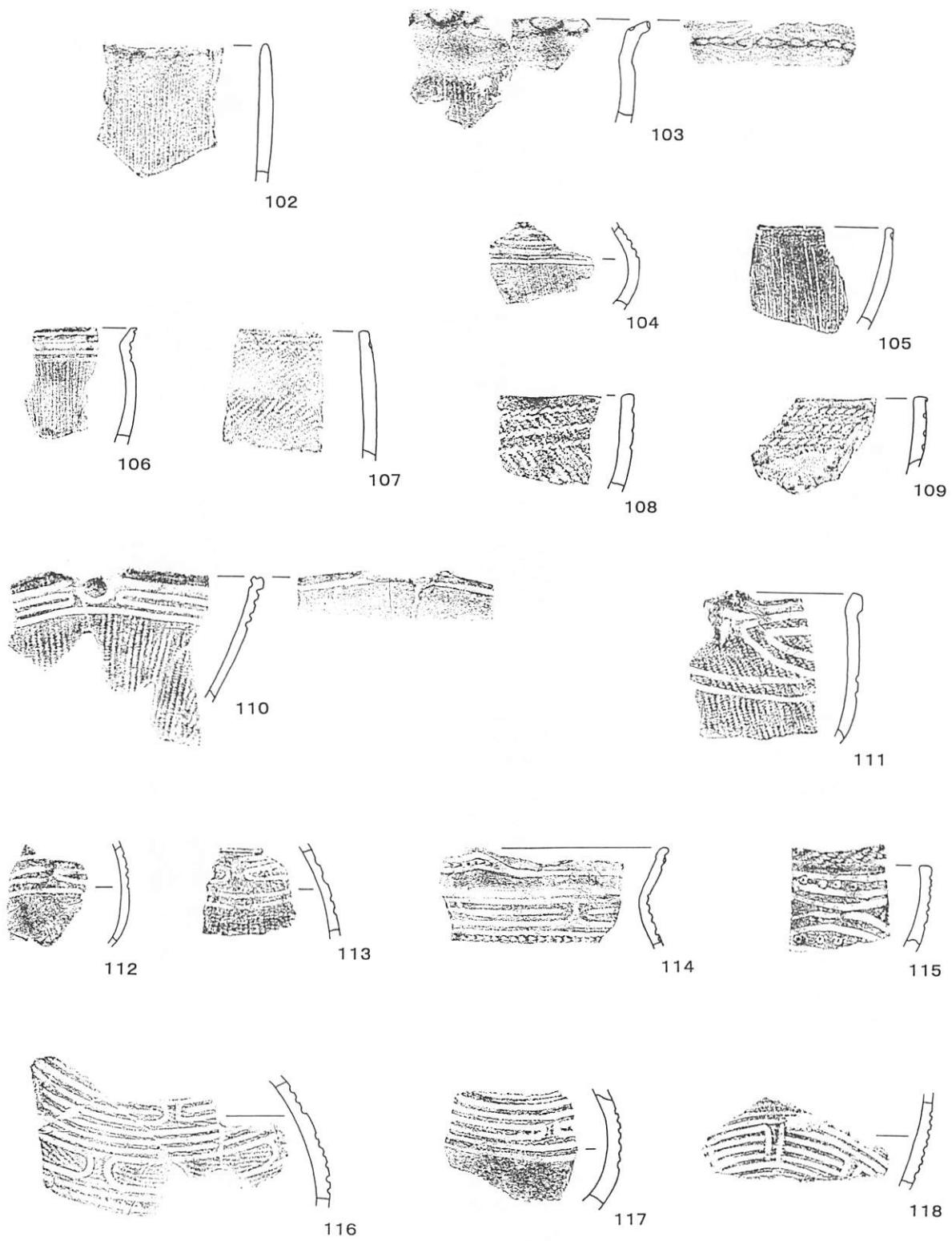
第171図 包含層出土の土器（9）



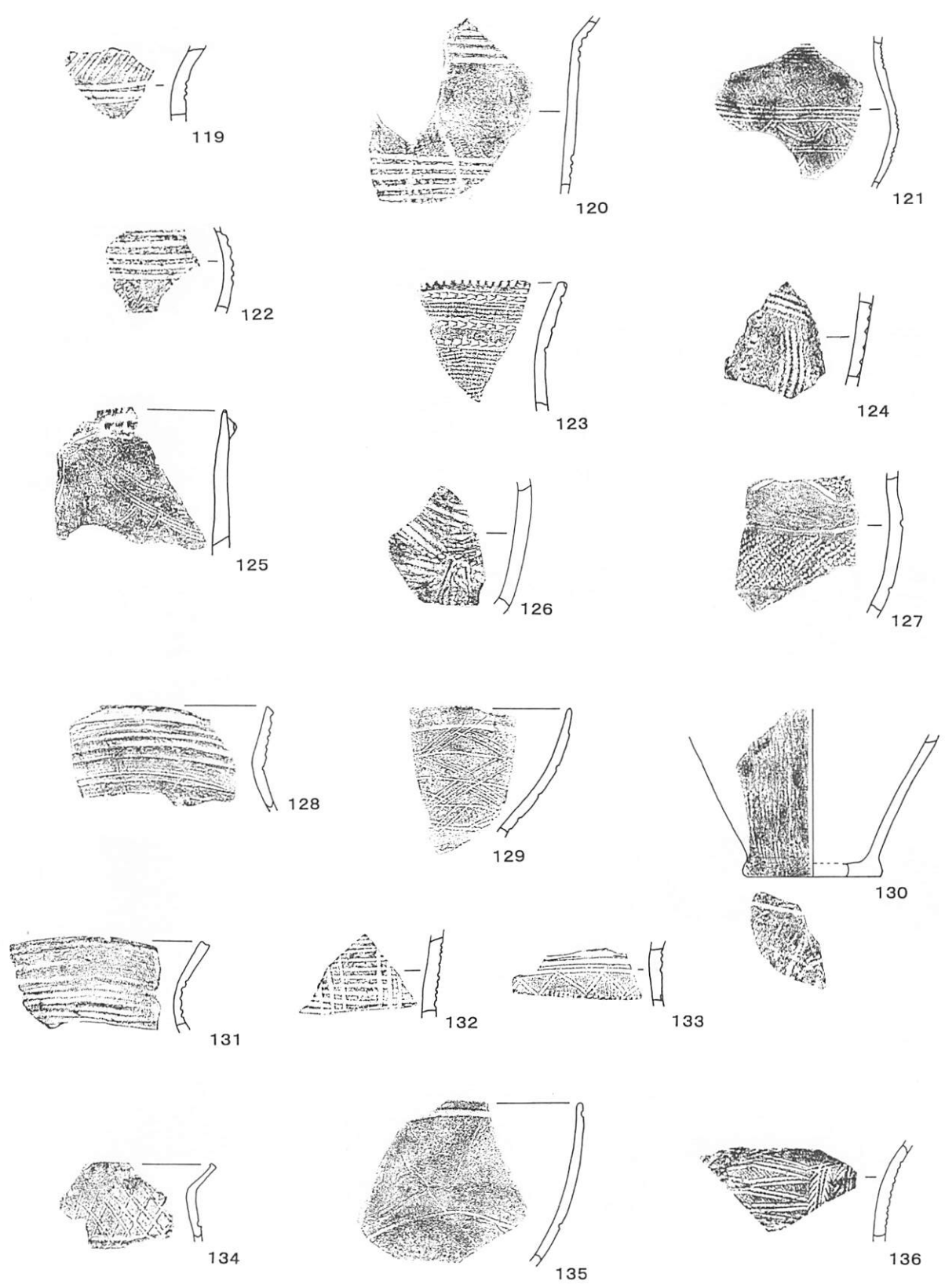
第172図 包含層出土の土器 (10)



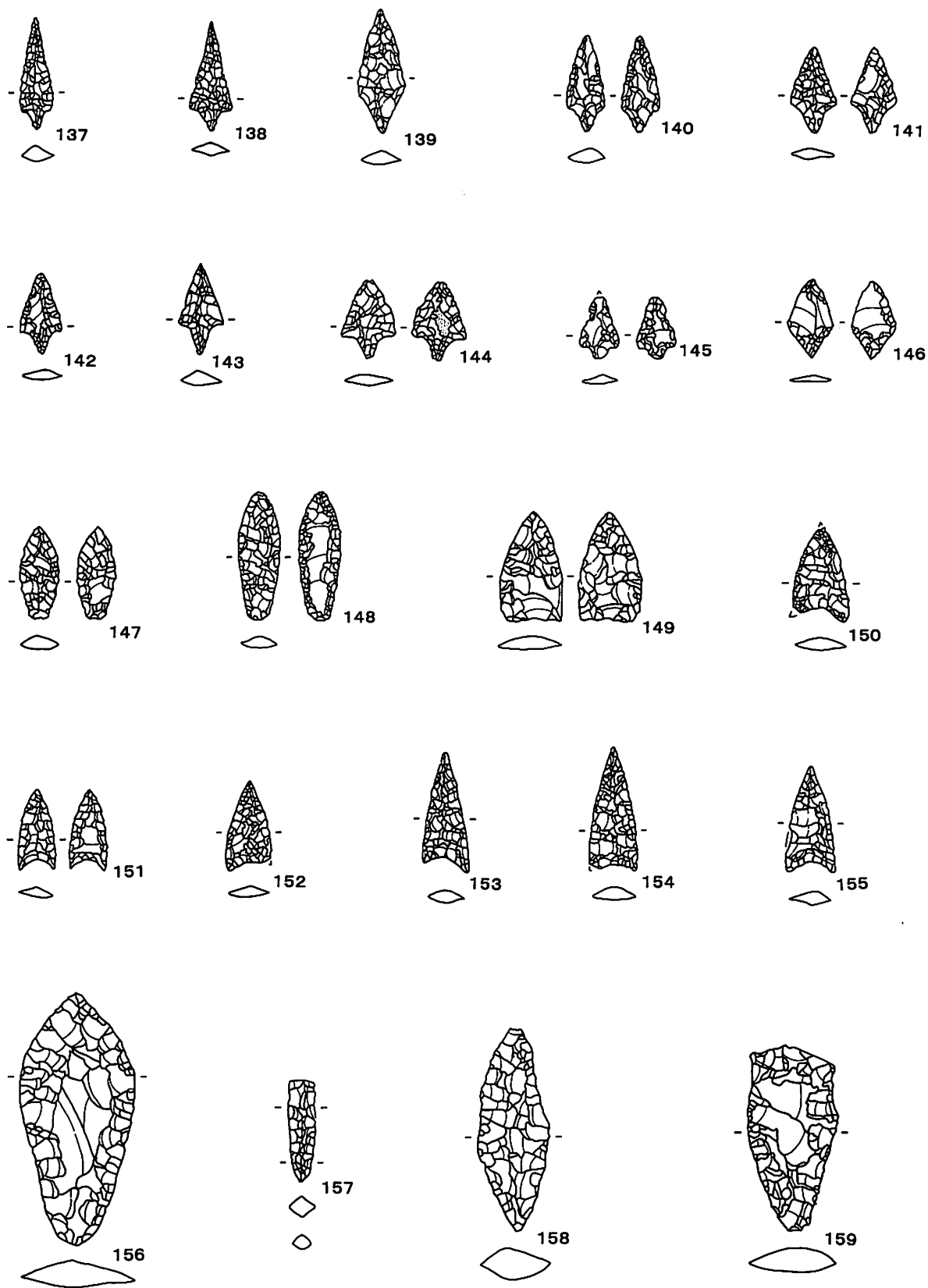
第173図 包含層出土の土器 (11)



第174図 包含層出土の土器 (12)

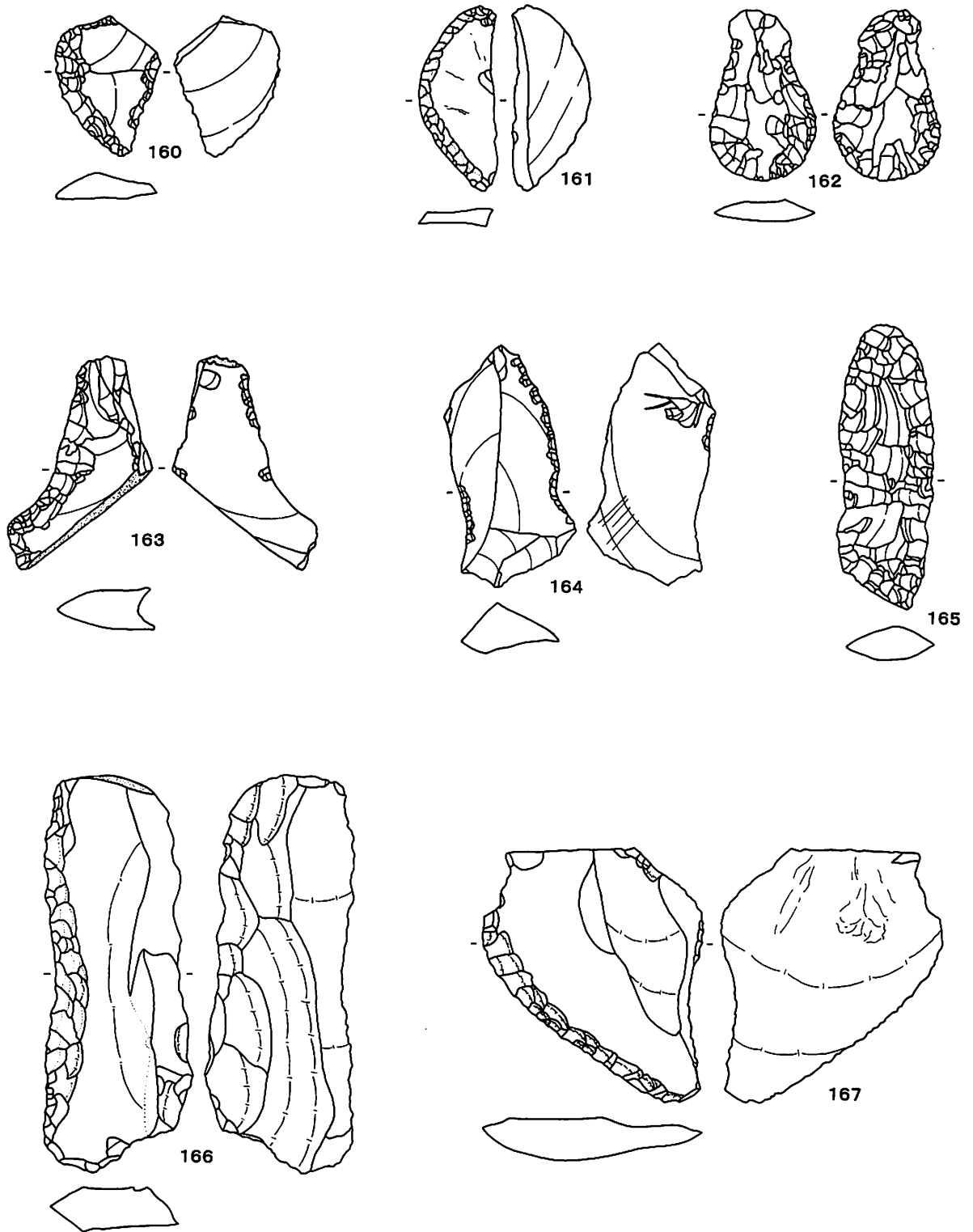


第175図 包含層出土の土器 (13)

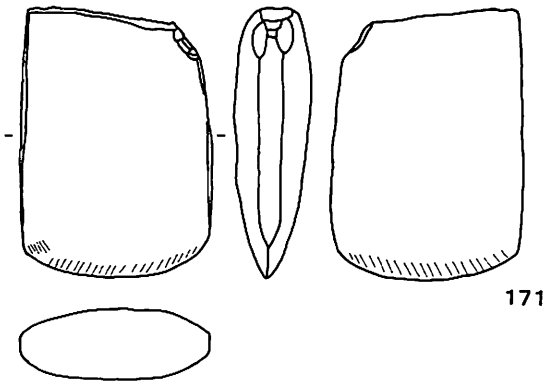
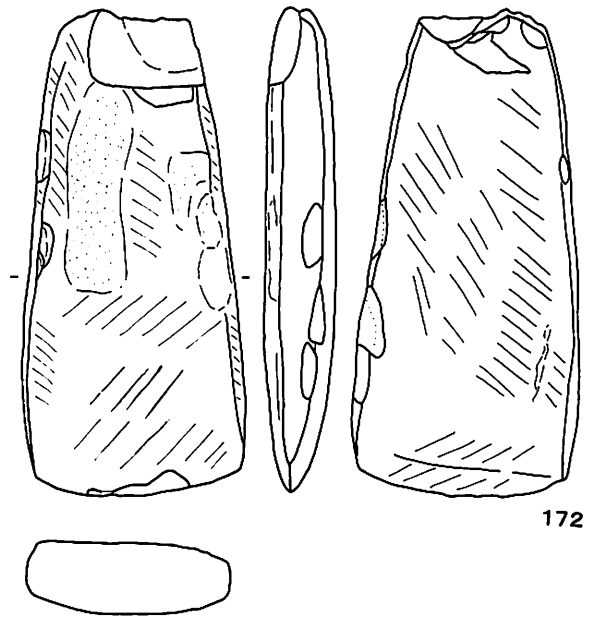
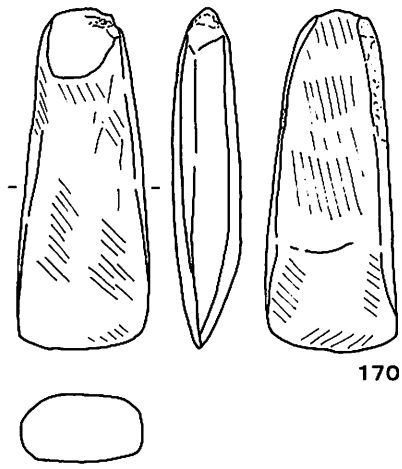
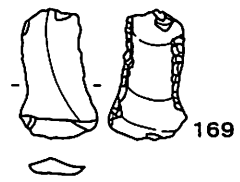
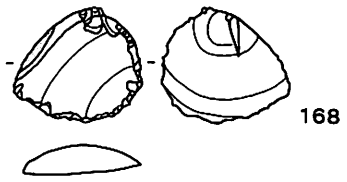


第176図 包含層出土の石器（1）

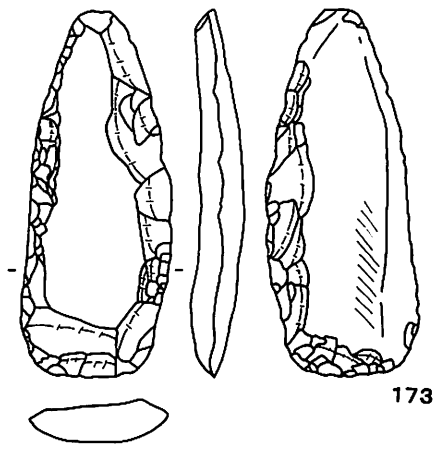




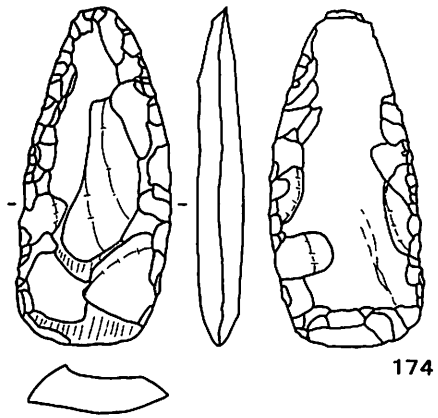
第177図 包含層出土の石器（2）



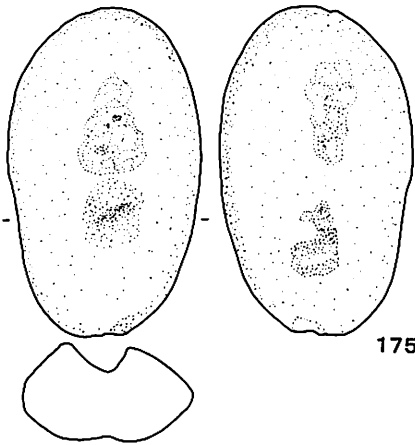
第178図 包含層出土の石器（3）



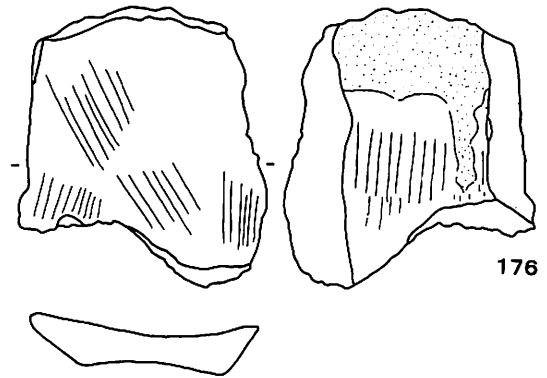
173



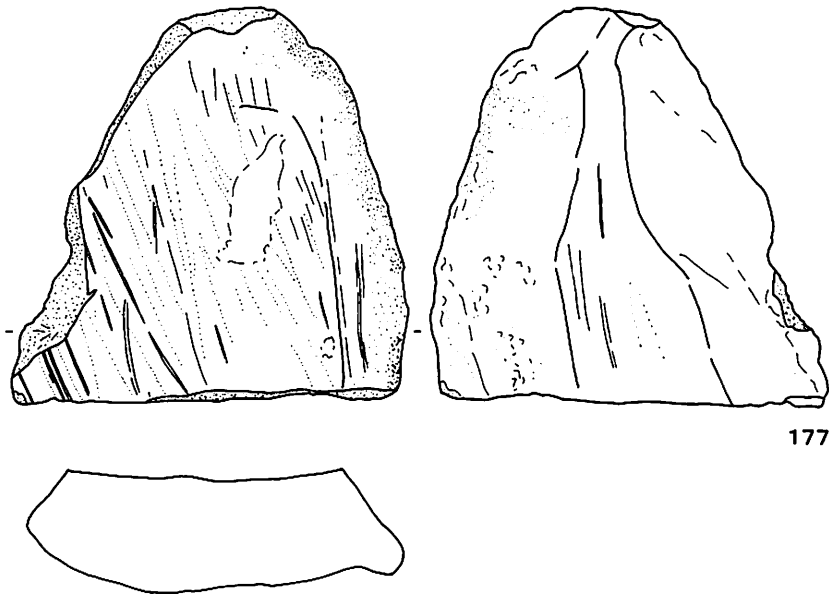
174



175



176



177

第179図 包含層出土の石器（4）

# 遺物計測表

図版NO/ 遺物NO	出土遺構	層位	計測値 (cm)(g)	名称/分類	備考
104-1	P-1	墳底	径1.1×0.9×厚さ0.7 重さ0.3	平玉	コハク
104-2	P-1	墳底	径1.65×1.2 厚さ0.9 重さ1.1	垂飾	コハク
104-3	P-1	墳底	径1.3×1.2 厚さ0.65 重さ0.5	平玉	コハク
104-4	P-1	墳底	径1.85×1.35 厚さ0.9 重さ1.3	垂飾	コハク
104-5	P-1	墳底	径2.25×1.35 厚さ0.7 重さ1.3	垂飾	コハク
104-6	P-1	墳底	径2.7×1.95 厚さ1.4 重さ3.8	垂飾	コハク
104-7	P-1	墳底	径(1.7)×(1.3)厚さ(0.6)重さ(0.6)	垂飾	コハク
104-8	P-1	墳底	径0.4 厚さ0.3 重さ0.1以下	平玉	コハク
104-9	P-1	墳底	径0.45 厚さ(0.2) 重さ0.1以下	平玉	コハク
104-10	P-1	墳底	径0.4 厚さ0.2 重さ0.1以下	平玉	コハク
104-11	P-1	墳底	径0.45 厚さ0.2 重さ0.1以下	平玉	コハク
104-12	P-1	墳底	径0.45 厚さ0.25 重さ0.1以下	平玉	コハク
104-13	P-1	墳底	径0.45 厚さ0.2 重さ0.1以下	平玉	コハク
104-14	P-1	墳底	径0.45 厚さ0.3 重さ0.1以下	平玉	コハク
104-15	P-1	墳底	径0.45 厚さ0.25 重さ0.1以下	平玉	コハク
104-16	P-1	墳底	径0.45 厚さ0.2 重さ0.1以下	平玉	コハク
104-17	P-1	墳底	径0.4 厚さ0.25 重さ0.1以下	平玉	コハク
104-18	P-1	墳底	径0.45 厚さ0.35 重さ0.1以下	平玉	コハク
104-19	P-1	墳底	径0.45 厚さ0.28 重さ0.1以下	平玉	コハク
104-20	P-1	墳底	径0.45 厚さ0.25 重さ0.1以下	平玉	コハク
104-21	P-1	墳底	径0.45 厚さ0.25 重さ0.1以下	平玉	コハク
104-22	P-1	墳底	径0.45 厚さ0.25 重さ0.1以下	平玉	コハク
104-23	P-1	墳底	径0.42 厚さ0.2 重さ0.1以下	平玉	コハク
104-24	P-1	墳底	径0.42 厚さ0.3 重さ0.1以下	平玉	コハク
104-25	P-1	墳底	径0.42 厚さ0.25 重さ0.1以下	平玉	コハク
104-26	P-1	墳底	径0.4 厚さ0.3 重さ0.1以下	平玉	コハク
104-27	P-1	墳底	径0.4 厚さ0.15 重さ0.1以下	平玉	コハク
104-28	P-1	墳底	径0.42 厚さ0.32 重さ0.1以下	平玉	コハク
104-29	P-1	墳底	径0.4 厚さ0.25 重さ0.1以下	平玉	コハク
104-30	P-1	墳底	径0.42 厚さ0.25 重さ0.1以下	平玉	コハク
104-31	P-1	墳底	径0.4 厚さ0.25 重さ0.1以下	平玉	コハク
104-32	P-1	墳底	径0.4 厚さ0.25 重さ0.1以下	平玉	コハク
104-33	P-1	墳底	径0.4 厚さ0.3 重さ0.1以下	平玉	コハク
104-34	P-1	墳底	径0.4 厚さ0.3 重さ0.1以下	平玉	コハク
104-35	P-1	墳底	径0.43 厚さ0.28 重さ0.1以下	平玉	コハク
104-36	P-1	墳底	径0.42 厚さ0.25 重さ0.1以下	平玉	コハク
104-37	P-1	墳底	径0.4 厚さ0.25 重さ0.1以下	平玉	コハク
105-1	P-3-①	墳底	口径8.4 底径3.5 器高8.7	土器	
105-2	P-3	覆土	長さ5.5 幅2.7 厚さ0.6 重さ8.9	石槍	石英
105-3	P-3	覆土	長さ5.1 幅2.8 厚さ0.65 重さ11.8	ナイフ	頁岩
105-4	P-3	覆土	長さ7.0 幅3.0 厚さ0.6 重さ14.6	ナイフ	頁岩
105-1	P-5	覆土		土器拓本	胸部 1/3

図版NO/ 遺物NO	出土遺構	層位	計測値 (cm) (g)	名称/分類	備考
106-1	P-4-⑥	城底	長さ4.5 幅2.1 厚さ0.4 重さ3.1	石鏃	頁岩 黒曜石
106-2	P-4	覆土	長さ3.4 幅1.7 厚さ0.6 重さ2.5	石鏃	
106-3	P-4-①	城底	長さ1.9 幅1.35 厚さ0.65 重さ1.3	垂飾	
106-4	P-4-④	城底	長さ2.5 幅1.7 厚さ1.25 重さ9.5	垂飾	
106-5	P-4-⑤	城底	長さ2.35 幅1.6 厚さ0.85 重さ3.8	垂飾	
106-6	P-4-②	城底	長さ2.5 幅1.55 厚さ1.9 重さ7.8	垂飾	
106-7	P-4-③	城底	長さ2.9 幅1.9 厚さ1.7 重さ2.5	垂飾	
107-1	P-6-①	城底	長さ3.88 幅2.10 厚さ0.3 重さ3.6	石鏃	黒曜石
107-2	P-6-②	城底	長さ4.74 幅1.89 厚さ0.5 重さ4.7	石鏃	黒曜石
107-3	P-6-③	城底	長さ3.7 幅2.16 厚さ0.64 重さ4.6	石鏃	黒曜石
107-4	P-6-④	城底	長さ5.53 幅2.61 厚さ0.53 重さ7.5	石槍	頁岩
107-5	P-6-⑥	城底	長さ5.43 幅2.46 厚さ0.41 重さ5.7	石槍	黒曜石
107-6	P-6-⑦	城底	長さ4.70 幅2.36 厚さ0.40 重さ4.0	石鏃	黒曜石
107-7	P-6-⑧	城底	長さ3.77 幅2.35 厚さ0.45 重さ3.8	石鏃	黒曜石
107-8	P-6-⑨	城底	長さ4.69 幅2.38 厚さ0.62 重さ6.9	石鏃	黒曜石
107-9	P-6-⑩	城底	長さ4.40 幅2.63 厚さ0.71 重さ7.3	石鏃	黒曜石
107-10	P-6-⑤	城底	長さ4.59 幅2.44 厚さ0.58 重さ6.1	石鏃	黒曜石
107-11	P-6-⑤	城底	長さ3.64 幅2.3 厚さ0.61 重さ3.4	石鏃	黒曜石
107-12	P-6-⑤	城底	長さ4.82 幅2.63 厚さ0.49 重さ6.0	石鏃	黒曜石
108-13	P-6-⑤	城底	長さ3.33 幅1.62 厚さ0.39 重さ1.5	石鏃	黒曜石
108-14	P-6-⑤	城底	長さ5.40 幅2.37 厚さ0.60 重さ5.7	石槍	黒曜石
108-15	P-6-⑤	城底	長さ4.48 幅2.35 厚さ0.49 重さ5.3	石鏃	黒曜石
108-16	P-6-⑤	城底	長さ4.02 幅2.12 厚さ0.46 重さ3.7	石鏃	黒曜石
108-17	P-6-⑤	城底	長さ3.89 幅2.57 厚さ0.60 重さ5.6	石鏃	黒曜石
108-18	P-6-⑤	城底	長さ4.18 幅2.41 厚さ0.63 重さ5.6	石鏃	黒曜石
108-19	P-6-⑤	城底	長さ4.85 幅2.4 厚さ0.62 重さ6.0	石鏃	黒曜石
108-20	P-6-⑤	城底	長さ4.61 幅2.44 厚さ0.48 重さ5.5	石鏃	黒曜石
108-21	P-6-⑤	城底	長さ3.61 幅2.52 厚さ0.57 重さ4.4	石鏃	黒曜石
108-22	P-6-⑤	城底	長さ4.95 幅2.69 厚さ0.55 重さ6.6	石鏃	黒曜石
108-23	P-6-⑤	城底	長さ3.81 幅2.06 厚さ0.49 重さ4.1	石鏃	黒曜石
108-24	P-6-⑤	城底	長さ4.14 幅2.44 厚さ0.51 重さ5.0	石鏃	黒曜石
108-25	P-6-⑤	城底	長さ4.84 幅2.67 厚さ0.43 重さ5.6	石鏃	黒曜石
108-26	P-6-⑤	城底	長さ4.64 幅2.44 厚さ0.57 重さ5.2	石鏃	黒曜石
108-27	P-6-⑤	城底	長さ5.69 幅2.72 厚さ0.62 重さ8.1	石槍	黒曜石
108-28	P-6-⑤	城底	長さ3.92 幅2.3 厚さ0.40 重さ3.32	石鏃	黒曜石
108-29	P-6-⑤	城底	長さ4.90 幅2.04 厚さ0.47 重さ3.6	石鏃	黒曜石
108-30	P-6-⑤	城底	長さ4.91 幅2.23 厚さ0.53 重さ5.4	石鏃	黒曜石
108-31	P-6-⑤	城底	長さ4.53 幅2.75 厚さ0.40 重さ4.5	石鏃	黒曜石
108-32	P-6-⑤	城底	長さ4.23 幅2.21 厚さ0.55 重さ4.7	石鏃	黒曜石
109-33	P-6-⑤	城底	長さ4.01 幅2.33 厚さ0.50 重さ4.3	石鏃	黒曜石
109-34	P-6-⑤	城底	長さ3.67 幅2.23 厚さ0.55 重さ3.8	石鏃	黒曜石
109-35	P-6-⑤	城底	長さ2.84 幅2.21 厚さ0.39 重さ2.3	石鏃	黒曜石

図版NO/ 遺物NO	出土遺構	層位	計測値 (cm)(g)	名称/分類	備考
109-36	P-6-⑤	墳底	長さ2.78 幅1.61 厚さ0.42 重さ1.5	石鏃	黒曜石
109-37	P-6-⑤	墳底	長さ4.46 幅2.43 厚さ0.5 重さ5.6	石鏃	黒曜石
109-38	P-6-⑤	墳底	長さ4.47 幅2.43 厚さ0.75 重さ6.3	石鏃	黒曜石
109-39	P-6-⑥	墳底	長さ8.75 幅5.5 厚さ1.95 重さ170	石斧	泥岩 1/3
109-40	P-6	覆土	長さ15.4 幅6.9 厚さ4.0 重さ445	砥石	砂岩 1/3
109-41	P-6-⑩	墳底	長さ10.45 幅8.3 厚さ1.9 重さ116	軽石	
109-1	P-7	覆土	長さ6.5 幅6.8 厚さ3.2 重さ185	原石	黒曜石
109-2	P-7	覆土	長さ7.9 幅6.35 厚さ5.15 重さ210	原石	黒曜石
110-1	P-8	墳底	長さ2.4 幅2.2 厚さ0.3 重さ1.2	フレーク	頁岩
110-2	P-8	墳底	長さ1.6 幅1.38 厚さ0.78 重さ0.9	平玉	コハク
110-3	P-8	覆土	長さ2.9 幅1.95 厚さ0.6 重さ2.1	垂飾	コハク
110-4	P-8-①(I-31)	墳底	長さ8.2 幅2.9 厚さ0.55 重さ11.4	フレーク	頁岩
110-5	P-8-②(I-31)	墳底	長さ9.7 幅4.3 厚さ1.7 重さ52.0	フレーク	黒曜石
110-6	P-8-③(I-31)	墳底	長さ9.7 幅3.9 厚さ1.0 重さ23.2	フレーク	黒曜石
111-1	P-9-①	墳底	口径16.0 底径6.0 器高21.8	土器	
111-1	P-12-①	墳底	底径(5.0)器高(4.1)	土器	
111-2	P-12-②	墳底	長さ5.1 幅3.1 厚さ0.6 重さ7.8	石槍	黒曜石
112-1	P-10-①-括	墳底	口径9.5 底径6.7 器高10.8	土器	
112-2	P-10-②	墳底	長さ2.6 幅2.9 厚さ0.6 重さ4.6	フレーク	黒曜石
112-3	P-10-③	墳底	長さ5.4 幅3.4 厚さ2.1 重さ16.8	フレーク	砂岩
112-1	P-11	墳底	長さ5.3 幅2.8 厚さ0.3 重さ4.3	垂飾	流紋岩?
112-2	P-11	墳底	長さ5.7 幅2.6 厚さ0.25 重さ3.6	垂飾	流紋岩?
112-3	P-11	墳底	長さ6.5 幅0.7 厚さ0.35 重さ2.2	垂飾	
112-4	P-11-①	墳底	長さ4.5 幅2.2 厚さ0.9 重さ6.3	フレーク	黒曜石
112-5	P-11-②	墳底	長さ3.8 幅3.4 厚さ0.4 重さ3.6	フレーク	黒曜石
113-4	P-10	墳底	径0.7 厚さ0.2 重さ0.1	平玉	コハク
113-5	P-10	墳底	径0.68 厚さ0.2 重さ0.1以下	平玉	コハク
113-6	P-10	墳底	径0.7 厚さ0.25 重さ0.1以下	平玉	コハク
113-7	P-10	墳底	径0.7 厚さ0.23 重さ0.1	平玉	コハク
113-8	P-10	墳底	径0.65 厚さ0.2 重さ0.1以下	平玉	コハク
113-9	P-10	墳底	径0.6 厚さ0.25 重さ0.1以下	平玉	コハク
113-10	P-10	墳底	径0.65 厚さ0.25 重さ0.1	平玉	コハク
113-11	P-10	墳底	径0.7 厚さ0.23 重さ0.1以下	平玉	コハク
113-12	P-10	墳底	径0.68 厚さ0.18 重さ0.1以下	平玉	コハク
113-13	P-10	墳底	径0.65 厚さ0.18 重さ0.1以下	平玉	コハク
113-14	P-10	墳底	径0.68 厚さ0.15 重さ0.1	平玉	コハク
113-15	P-10	墳底	径0.68 厚さ0.2 重さ0.1以下	平玉	コハク
113-16	P-10	墳底	径0.6 厚さ0.28 重さ0.1	平玉	コハク
113-17	P-10	墳底	径0.58 厚さ0.25 重さ0.1以下	平玉	コハク
113-18	P-10	墳底	径(0.6)厚さ0.23 重さ0.1以下	平玉	コハク
113-19	P-10	墳底	径0.68 厚さ0.28 重さ0.1	平玉	コハク
113-20	P-10	墳底	径0.68 厚さ0.3 重さ0.1	平玉	コハク

図版NO/ 遺物NO	出土遺構	層位	計測値 (cm)(g)	名称/分類	備考
113-21	P-10	墳底	径0.65 厚さ0.2 重さ0.1以下	平玉	コハク
113-22	P-10	墳底	径0.6 厚さ0.2 重さ0.1以下	平玉	コハク
113-23	P-10	墳底	径0.62 厚さ0.2 重さ0.1	平玉	コハク
113-24	P-10	墳底	径0.6 厚さ0.2 重さ0.1以下	平玉	コハク
113-25	P-10	墳底	径0.68 厚さ0.2 重さ0.1	平玉	コハク
113-26	P-10	墳底	径0.65 厚さ0.2 重さ0.1以下	平玉	コハク
113-27	P-10	墳底	径0.62 厚さ0.18 重さ0.1以下	平玉	コハク
113-28	P-10	墳底	径0.6 厚さ0.2 重さ0.1以下	平玉	コハク
113-29	P-10	墳底	径0.6 厚さ0.15 重さ0.1以下	平玉	コハク
113-30	P-10	墳底	径(0.65)厚さ0.2 重さ0.1	平玉	コハク
113-31	P-10	墳底	径0.6 厚さ0.2 重さ0.1	平玉	コハク
113-32	P-10	墳底	径(0.6)厚さ0.25 重さ0.1以下	平玉	コハク
113-33	P-10	墳底	径0.6 厚さ0.2 重さ0.1以下	平玉	コハク
113-34	P-10	墳底	径0.58 厚さ0.28 重さ0.1以下	平玉	コハク
113-35	P-10	墳底	径0.6 厚さ0.25 重さ0.1	平玉	コハク
113-36	P-10	墳底	径0.6 厚さ0.25 重さ0.1	平玉	コハク
113-37	P-10	墳底	径0.6 厚さ0.35 重さ0.1	平玉	コハク
113-38	P-10	墳底	径0.6 厚さ0.15 重さ0.1以下	平玉	コハク
113-39	P-10	墳底	径0.6 厚さ0.2 重さ0.1以下	平玉	コハク
113-40	P-10	墳底	径0.58 厚さ0.18 重さ0.1以下	平玉	コハク
113-41	P-10	墳底	径0.58 厚さ0.18 重さ0.1以下	平玉	コハク
113-42	P-10	墳底	径0.58 厚さ0.2 重さ0.1以下	平玉	コハク
113-43	P-10	墳底	径0.65 厚さ0.25 重さ0.1以下	平玉	コハク
113-44	P-10	墳底	径(0.6)厚さ0.18 重さ0.1以下	平玉	コハク
113-45	P-10	墳底	径(0.55)厚さ0.2 重さ0.1以下	平玉	コハク
113-46	P-10	墳底	径(0.55)厚さ(0.15)重さ0.1以下	平玉	コハク
113-47	P-10	墳底	径0.6 厚さ0.21 重さ0.1以下	平玉	コハク
113-48	P-10	墳底	径0.6 厚さ0.2 重さ0.1以下	平玉	コハク
113-49	P-10	墳底	径0.63 厚さ0.21 重さ0.1以下	平玉	コハク
113-50	P-10	墳底	径0.6 厚さ0.25 重さ0.1	平玉	コハク
113-51	P-10	墳底	径0.6 厚さ0.2 重さ0.1以下	平玉	コハク
113-52	P-10	墳底	径0.65 厚さ0.28 重さ0.1	平玉	コハク
113-53	P-10	墳底	径0.6 厚さ(0.2)重さ0.1以下	平玉	コハク
113-54	P-10	墳底	径0.6 厚さ0.25 重さ0.1以下	平玉	コハク
113-55	P-11	墳底	径1.5 厚さ0.7 重さ0.9	平玉	コハク
113-56	P-11	墳底	径1.4 厚さ0.7 重さ0.9	平玉	コハク
113-57	P-11	墳底	径1.5 厚さ0.7 重さ1.0	平玉	コハク
113-58	P-11	墳底	径1.4 厚さ0.6 重さ0.8	平玉	コハク
113-59	P-11	墳底	径1.4 厚さ0.8 重さ1.2	平玉	コハク
113-60	P-11	墳底	径1.4 厚さ0.6 重さ0.8	平玉	コハク
113-61	P-11	墳底	径1.4 厚さ0.6 重さ0.7	平玉	コハク
113-62	P-11	墳底	径1.1 厚さ0.7 重さ0.5	平玉	コハク

図版NO/ 遺物NO	出土遺構	層位	計測値 (cm) (g)	名称/分類	備考
113-63	P-11	壙底	径2.4 厚さ1.15 重さ3.8	平玉	コハク
113-64	P-11	壙底	径2.0 厚さ0.9 重さ2.5	平玉	コハク
113-65	P-11	壙底	径1.3 厚さ0.7 重さ1.3	平玉	コハク
113-66	P-11	壙底	径1.4 厚さ0.8 重さ1.0	平玉	コハク
113-67	P-11	壙底	径1.5 厚さ0.6 重さ0.9	平玉	コハク
114-1	P-14-④	壙底	長さ(2.54)幅(2.06)厚さ0.45 重さ2.2	石鏃	黒曜石
114-2	P-14-⑤	壙底	長さ3.18 幅2.37 厚さ0.53 重さ3.4	石鏃	黒曜石
114-3	P-14-⑥	壙底	長さ(3.29)幅1.78 厚さ0.40 重さ2.1	石鏃	黒曜石
114-4	P-14-⑧	壙底	長さ4.29 幅2.42 厚さ0.53 重さ4.5	石鏃	黒曜石
114-5	P-14-⑩	壙底	長さ3.35 幅2.20 厚さ0.46 重さ2.7	石鏃	黒曜石
114-6	P-14-⑨	壙底	長さ3.49 幅2.23 厚さ0.39 重さ2.8	石鏃	黒曜石
114-7	P-14-⑩	壙底	長さ3.45 幅2.02 厚さ0.47 重さ2.7	石鏃	黒曜石
114-8	P-14-⑩	壙底	長さ4.37 幅2.18 厚さ0.43 重さ2.5	石鏃	黒曜石
114-9	P-14-⑩	壙底	長さ3.13 幅1.65 厚さ0.57 重さ2.6	石鏃	黒曜石
114-10	P-14-⑩	壙底	長さ3.44 幅2.37 厚さ0.54 重さ3.5	石鏃	黒曜石
114-11	P-14-⑩	壙底	長さ3.86 幅2.46 厚さ0.43 重さ3.5	石鏃	黒曜石
114-12	P-14-③	壙底	長さ4.06 幅2.45 厚さ0.45 重さ3.6	石鏃	黒曜石
114-13	P-14-⑩	壙底	長さ4.1 幅2.77 厚さ0.48 重さ4.6	石鏃	黒曜石
115-14	P-14-⑩	壙底	長さ4.2 幅2.42 厚さ0.48 重さ3.6	石鏃	黒曜石
115-15	P-14-⑩	壙底	長さ3.82 幅2.48 厚さ0.55 重さ4.2	石鏃	黒曜石
115-16	P-14-⑩	壙底	長さ4.31 幅(2.28)厚さ0.51 重さ4.0	石鏃	黒曜石
115-17	P-14-⑩	壙底	長さ3.87 幅(2.18)厚さ0.43 重さ3.6	石鏃	頁岩
115-18	P-14-⑯	壙底	長さ(3.85)幅(2.01)厚さ0.47 重さ2.9	石鏃	黒曜石
115-19	P-14-⑩	壙底	長さ(4.07)幅2.02 厚さ0.57 重さ4.2	石鏃	黒曜石
115-20	P-14-⑩	壙底	長さ4.31 幅2.03 厚さ0.52 重さ3.6	石鏃	黒曜石
115-21	P-14-⑩	壙底	長さ4.46 幅2.05 厚さ0.64 重さ4.5	石鏃	黒曜石
115-22	P-14-⑭	壙底	長さ5.46 幅2.94 厚さ0.57 重さ8.8	石槍	頁岩
115-23	P-14-⑦	壙底	長さ6.67 幅2.39 厚さ0.60 重さ7.7	石槍	頁岩
115-24	P-14-⑦	壙底	長さ5.01 幅2.55 厚さ0.54 重さ7.0	石槍	頁岩
115-25	P-14-⑩	壙底	長さ5.11 幅2.46 厚さ0.64 重さ5.6	石槍	黒曜石
115-26	P-14-⑩	壙底	長さ(4.82)幅2.21 厚さ0.63 重さ5.0	石鏃	黒曜石
115-27	P-14-⑬	壙底	長さ6.41 幅3.46 厚さ0.60 重さ11.6	ナイフ	頁岩
116-28	P-14-㉑	壙底	長さ4.05 幅3.9 厚さ1.2 重さ26.0	フレーク	黒曜石
116-29	P-14-㉒	壙底	長さ3.2 幅6.05 厚さ1.5 重さ27.6	フレーク	黒曜石
116-30	P-14-⑮	壙底	長さ10.35 幅3.25 厚さ1.15 重さ75.0	石斧	泥岩
116-31	P-14-㉔	壙底	長さ8.4 幅6.3 厚さ2.25 重さ94.0	石斧	かつ石
116-32	P-14-②	壙底	長さ6.15 幅2.9 厚さ1.6 重さ35.2	原石	黒曜石
116-33	P-14-㉓	壙底	長さ15.55 幅4.05 厚さ3.0 重さ310	砥石	砂岩 1/3
117-1	P-15	覆土	長さ(2.4)幅1.6 厚さ0.4 重さ1.0	石鏃	頁岩
117-2	P-15	覆土	長さ4.0 幅1.8 厚さ0.8 重さ4.9	石鏃	頁岩
118-1	P-17-①	壙底	口径2.1 胴径7.0 底径3.5 器高7.2	土器	
118-2	P-17-⑩	壙底	口径12.2 胴径10.2 底径5.0 器高14.3	土器	



図版NO/ 遺物NO	出土遺構	層位	計測値 (cm) (g)	名称/分類	備考
118-3	P-17-23	墳底	長さ3.66 幅1.05 厚さ0.48 重さ1.2	石鏃	黒曜石
118-4	P-17-22	墳底	長さ3.77 幅1.20 厚さ0.34 重さ1.2	石鏃	黒曜石
118-5	P-17-23	墳底	長さ4.09 幅1.12 厚さ0.34 重さ1.2	石鏃	黒曜石
118-6	P-17-24	墳底	長さ3.72 幅1.21 厚さ0.41 重さ1.1	石鏃	黒曜石
118-7	P-17-25	墳底	長さ3.95 幅1.21 厚さ0.46 重さ1.4	石鏃	黒曜石
118-8	P-17-26	墳底	長さ3.82 幅1.19 厚さ0.42 重さ1.3	石鏃	黒曜石
118-9	P-17-23	墳底	長さ4.39 幅1.10 厚さ0.48 重さ1.6	石鏃	黒曜石
118-10	P-17-38	墳底	長さ(3.0)幅1.17 厚さ0.34 重さ0.9	石鏃	頁岩
119-11	P-17-23	墳底	長さ3.9 幅1.01 厚さ0.43 重さ1.2	石鏃	黒曜石
119-12	P-17-29	墳底	長さ3.58 幅1.18 厚さ0.3 重さ0.9	石鏃	黒曜石
119-13	P-17-29	墳底	長さ3.63 幅1.19 厚さ0.35 重さ1.1	石鏃	黒曜石
119-14	P-17-29	墳底	長さ3.5 幅1.19 厚さ0.39 重さ1.0	石鏃	黒曜石
119-15	P-17-29	墳底	長さ3.25 幅1.21 厚さ0.38 重さ1.0	石鏃	黒曜石
119-16	P-17-33	墳底	長さ3.58 幅1.22 厚さ0.44 重さ1.3	石鏃	黒曜石
119-17	P-17-32	墳底	長さ2.48 幅0.8 厚さ0.24 重さ0.5	石鏃	黒曜石
119-18	P-17-25	墳底	長さ2.46 幅1.08 厚さ0.18 重さ0.4	石鏃	黒曜石
119-19	P-17-18	墳底	長さ3.24 幅1.09 厚さ0.47 重さ1.5	石鏃	黒曜石
119-20	P-17-7	墳底	長さ3.0 幅0.73 厚さ0.24 重さ0.4	石鏃	黒曜石
119-21	P-17-17	墳底	長さ2.23 幅0.86 厚さ0.25 重さ0.3	石鏃	黒曜石
119-22	P-17-28	墳底	長さ2.12 幅0.9 厚さ0.18 重さ0.3	石鏃	黒曜石
119-23	P-17-35	墳底	長さ1.61 幅0.81 厚さ0.23 重さ0.2	石鏃	黒曜石
119-24	P-17-30	墳底	長さ1.92 幅0.76 厚さ0.26 重さ0.3	石鏃	黒曜石
119-25	P-17-31	墳底	長さ2.06 幅1.02 厚さ0.21 重さ0.4	石鏃	頁岩
119-26	P-17-23	墳底	長さ2.33 幅1.22 厚さ0.4 重さ0.9	石鏃	黒曜石
119-27	P-17-23	墳底	長さ1.5 幅1.11 厚さ0.32 重さ0.4	石鏃	黒曜石
119-28	P-17-27	墳底	長さ(2.56)幅1.21 厚さ0.36 重さ0.8	石鏃	黒曜石
119-29	P-17-14	墳底	長さ4.21 幅1.4 厚さ0.51 重さ2.3	石鏃	黒曜石
119-30	P-17-42	墳底	長さ5.63 幅0.97 厚さ0.61 重さ3.0	石錐	頁岩
119-31	P-17-39	墳底	長さ5.3 幅2.63 厚さ1.05 重さ11.0	R・F	黒曜石
119-32	P-17-11	墳底	長さ5.08 幅2.51 厚さ0.93 重さ11.2	ナイフ	頁岩
119-33	P-17-16	墳底	長さ6.99 幅3.17 厚さ0.65 重さ13.8	ナイフ	頁岩
119-34	P-17-34	墳底	長さ8.32 幅2.99 厚さ0.8 重さ21.2	ナイフ	頁岩
119-35	P-17-15	墳底	長さ7.26 幅3.15 厚さ1.06 重さ23.8	ナイフ	頁岩
120-36	P-17-8	墳底	長さ4.27 幅2.28 厚さ1.02 重さ1.04	搔器	頁岩
120-37	P-17-37	墳底	長さ3.41 幅2.23 厚さ0.77 重さ7.0	搔器	頁岩
120-38	P-17-37	墳底	長さ(3.15)幅1.68 厚さ0.79 重さ3.4	搔器	頁岩
120-39	P-17-36	墳底	長さ(2.2)幅1.94 厚さ0.42 重さ1.9	搔器	頁岩
120-40	P-17-20	墳底	長さ2.35 幅2.5 厚さ0.5 重さ2.8	フレーク	黒曜石
120-41	P-17-20	墳底	長さ2.9 幅2.15 厚さ0.5 重さ3.6	フレーク	黒曜石
120-42	P-17-20	墳底	長さ2.9 幅2.85 厚さ1.15 重さ5.6	フレーク	黒曜石
120-43	P-17-20	墳底	長さ3.15 幅3.35 厚さ0.8 重さ7.1	フレーク	黒曜石
120-44	P-17-20	墳底	長さ2.8 幅2.05 厚さ0.5 重さ3.2	フレーク	黒曜石

図版NO/ 遺物NO	出土遺構	層位	計測値 (cm)(g)	名称/分類	備考
120-45	P-17-㉔	壙底	長さ2.4 幅2.55 厚さ0.4 重さ4.3	フレーク	黒曜石
120-46	P-17-㉔	壙底	長さ2.2 幅2.3 厚さ0.4 重さ2.2	フレーク	黒曜石
120-47	P-17-㉔	壙底	長さ2.7 幅1.5 厚さ0.65 重さ1.6	フレーク	黒曜石
120-48	P-17-㉔	壙底	長さ3.3 幅1.6 厚さ0.4 重さ2.0	フレーク	黒曜石
120-49	P-17-㉔	壙底	長さ3.4 幅1.55 厚さ0.75 重さ2.5	フレーク	黒曜石
120-50	P-17-㉔	壙底	長さ3.0 幅2.1 厚さ0.5 重さ3.3	フレーク	黒曜石
120-51	P-17	覆土	長さ3.55 幅1.95 厚さ0.75 重さ4.9	フレーク	黒曜石
120-52	P-17-㉔	壙底	長さ3.0 幅1.3 厚さ0.95 重さ5.8	フレーク	頁岩
120-53	P-17-㉔	壙底	長さ2.65 幅2.1 厚さ0.75 重さ5.7	フレーク	頁岩
120-54	P-17-㉔	壙底	長さ4.0 幅2.1 厚さ1.1 重さ9.4	フレーク	チャート
120-55	P-17-㉔	壙底	長さ4.15 幅6.15 厚さ0.8 重さ22.4	フレーク	頁岩
121-56	P-17-㉔	壙底	長さ4.1 幅2.15 厚さ0.6 重さ6.6	フレーク	頁岩
121-57	P-17-㉔	壙底	長さ3.3 幅2.05 厚さ0.75 重さ4.6	フレーク	黒曜石
121-58	P-17-㉔	壙底	長さ2.3 幅2.9 厚さ0.85 重さ5.5	フレーク	頁岩
121-59	P-17-㉔	壙底	長さ2.3 幅3.25 厚さ0.9 重さ6.2	フレーク	頁岩
121-60	P-17-㉔	壙底	長さ2.9 幅2.2 厚さ0.7 重さ4.5	フレーク	黒曜石
121-61	P-17-㉔	壙底	長さ3.0 幅2.25 厚さ0.8 重さ4.7	フレーク	黒曜石
121-62	P-17-㉔	壙底	長さ3.4 幅3.1 厚さ0.75 重さ5.5	フレーク	頁岩
121-63	P-17-㉔	壙底	長さ4.1 幅3.1 厚さ1.0 重さ13.4	フレーク	黒曜石
121-64	P-17-㉔	壙底	長さ5.25 幅3.7 厚さ1.6 重さ26.6	フレーク	頁岩
121-65	P-17-㉔	壙底	長さ4.05 幅2.45 厚さ3.05 重さ2.7	軽石	
121-66	P-17-㉔	壙底	長さ6.8 幅2.95 厚さ0.95 重さ20	石斧	泥岩
121-67	P-17-㉔	壙底	長さ10.55 幅4.15 厚さ1.85 重さ175	石斧	泥岩
121-68	P-17-㉔	壙底	長さ9.55 幅3.8 厚さ9.35 重さ110	石斧	泥岩
122-1	P-19	覆土	径2.4 穴径0.6 厚さ0.1 重さ2.5	古銭	拓本
122-2	P-19	覆土	径2.4 穴径0.6 厚さ0.1 重さ3.4	古銭	拓本 「治平元宝」
122-3	P-19	覆土	径2.3 穴径0.6 厚さ0.1 重さ2.5	古銭	拓本
122-4	P-19	覆土	径2.4 穴径0.6 厚さ0.1 重さ2.5	古銭	拓本
122-5	P-19	覆土	径2.4 穴径0.6 厚さ0.1 重さ3.6	古銭	拓本 「治平元宝」
122-6	P-19	覆土	径2.4 穴径0.6 厚さ0.4 重さ11.6	古銭	三枚付着
122-7	P-19	覆土	長さ(8.2)	ハサミ?	
122-8	P-19	覆土	長さ15.7	刀子	
122-9	P-19	覆土	長さ27.1 刃長16.2	刀子	
123-1	P-20-㉔	壙底	長さ5.0 幅2.5 厚さ0.6 重さ5.5	石鏃	黒曜石
123-2	P-20-㉔	壙底	長さ4.9 幅2.8 厚さ1.3 重さ14.0	スクレイパー	黒曜石
123-3	P-20	覆土	長さ12.7 幅16.2 厚さ3.5 重さ770	礫	ベンガラ付着 安山岩1/3
123-1	P-21	覆土	径0.6 厚さ0.25 重さ0.1 以下	玉	
123-2	P-21	覆土	径0.65 厚さ0.2 重さ0.1 以下	玉	
124-1	P-23	壙底	長さ2.5 幅1.5 厚さ0.5 重さ0.9	石鏃	黒曜石
124-2	P-23	壙底	径1.1 厚さ0.45 重さ0.3	平玉	コハク
124-3	P-23	壙底	径1.15 厚さ0.35 重さ0.4	平玉	コハク
124-4	P-23	壙底	径1.17 厚さ0.52 重さ0.5	平玉	コハク

図版NO/ 遺物NO	出土遺構	層位	計測値 (cm) (g)	名称/分類	備考
124-5	P-23	墳底	径1.12 厚さ0.58 重さ0.4	平玉	コハク
124-6	P-23	墳底	径1.32 厚さ0.62 重さ0.8	平玉	コハク
124-7	P-23	墳底	径1.5 厚さ0.9 重さ1.5	平玉	コハク
124-8	P-23	墳底	径1.75 厚さ0.6 重さ1.0	平玉	コハク
124-9	P-23	墳底	径1.2 厚さ0.6 重さ0.6	平玉	コハク
124-10	P-23	墳底	径1.15 厚さ0.7 重さ0.6	平玉	コハク
124-11	P-23	墳底	径1.14 厚さ0.58 重さ0.6	平玉	コハク
124-12	P-23	墳底	径1.15 厚さ0.5 重さ0.5	平玉	コハク
124-13	P-23	墳底	径1.15 厚さ0.45 重さ0.3	平玉	コハク
124-14	P-23	墳底	径1.3 厚さ0.68 重さ0.6	平玉	コハク
124-1	P-24-①	墳底	口径8.0 底径8.0 器高6.7	土器	
125-1	P-27	覆土	長さ2.5 幅6.05 厚さ0.8 重さ14.4	フレーク	黒曜石
126-1	P-29	覆土	長さ6.1 幅2.1 厚さ9.0 重さ26.0	石斧	泥岩
127-1	P-30	墳底	内径1.1 長さ2.8 幅3.0 厚さ0.3 重さ3.0	垂飾	流紋岩?
128-1	P-31	墳底	長さ3.8 幅1.9 厚さ0.4 重さ1.9	石鏃	黒曜石
129-1	P-37	覆土	底径6.8 拓本 底部	土器	
129-2	P-37	墳底	長さ2.5 幅0.65 厚さ0.75 重さ0.6	垂飾	コハク
129-3	P-37	墳底	長さ1.25 幅1.25 厚さ0.5 重さ0.5	垂飾	コハク
129-4	P-37	墳底	径1.1 厚さ0.7 重さ0.5	平玉	コハク
129-5	P-37	墳底	径1.0 厚さ0.75 重さ0.4	平玉	コハク
129-6	P-37	墳底	径1.5 厚さ0.8 重さ1.1	平玉	コハク
129-7	P-37	墳底	径(0.85)厚さ0.5 重さ0.1	平玉	コハク
129-8	P-37	墳底	径0.7 厚さ0.3 重さ0.1 以下	平玉	コハク
129-9	P-37	墳底	径(0.65)厚さ0.3 重さ0.1 以下	平玉	コハク
129-10	P-37	墳底	径(0.65)厚さ0.35 重さ0.1	平玉	コハク
129-11	P-37	墳底	径0.65 厚さ0.5 重さ0.2	平玉	コハク
129-12	P-37	墳底	径0.55 厚さ0.5 重さ0.1	平玉	コハク
129-13	P-37	墳底	径0.6 厚さ(0.4)重さ0.1 以下	平玉	コハク
129-14	P-37	墳底	径0.6 厚さ(0.4)重さ0.1	平玉	コハク
129-15	P-37	墳底	径0.6 厚さ0.5 重さ0.1	平玉	コハク
129-16	P-37	墳底	径0.72 厚さ0.35 重さ0.1	平玉	コハク
129-17	P-37	墳底	径0.65 長さ0.95 重さ0.2	管玉	コハク
129-18	P-37	墳底	径0.55 長さ1.0 重さ0.3	管玉	コハク
129-19	P-37-③	墳底	長さ7.05 幅4.2 厚さ2.3 重さ128	石斧	泥岩
130-1	P-38-②	墳底	長さ2.8 幅1.4 厚さ0.4 重さ1.18	石鏃	黒曜石
130-2	P-38-①	墳底	長さ6.0 幅3.5 厚さ0.6 重さ10.2	石槍	黒曜石
130-3	P-38	墳底	径2.0 厚さ0.7 重さ1.9	平玉	コハク
130-4	P-38	墳底	径1.3 厚さ0.6 重さ2.0	平玉	コハク
130-5	P-38	墳底	径2.2 厚さ0.7 重さ2.1	平玉	コハク
130-6	P-38	墳底	径1.9 厚さ0.7 重さ1.5	平玉	コハク
130-7	P-38	墳底	径1.2 厚さ0.7 重さ0.5	平玉	コハク
130-8	P-38	墳底	径1.3 厚さ0.7 重さ0.9	平玉	コハク

図版NO/ 遺物NO	出土遺構	層位	計測値 (cm) (g)	名称/分類	備考
130-9	P-38	墳底	径1.3 厚さ0.7 重さ0.6	平玉	コハク
130-10	P-38	墳底	径1.2 厚さ0.7 重さ0.6	平玉	コハク
130-11	P-38	墳底	径1.25 厚さ0.65 重さ0.6	平玉	コハク
130-12	P-38	墳底	径1.55 厚さ0.6 重さ1.0	平玉	コハク
130-13	P-38	墳底	径1.65 厚さ1.45 重さ0.8	平玉	コハク
130-14	P-38	墳底	径1.35 厚さ0.6 重さ0.6	平玉	コハク
130-15	P-38	墳底	径1.3 厚さ0.7 重さ0.8	平玉	コハク
130-16	P-38	墳底	径1.3 厚さ0.7 重さ1.0	平玉	コハク
130-17	P-38	墳底	径1.2 厚さ0.7 重さ0.8	平玉	コハク
130-18	P-38	墳底	径1.2 厚さ0.65 重さ0.6	平玉	コハク
130-19	P-38	墳底	径1.1 厚さ0.55 重さ0.3	平玉	コハク
130-20	P-38	墳底	径0.7 厚さ0.7 重さ0.3	平玉	コハク
130-21	P-38	墳底	径1.0 厚さ0.6 重さ0.4	平玉	コハク
130-22	P-38	墳底	径1.0 厚さ0.5 重さ0.4	平玉	コハク
130-23	P-38	墳底	径1.0 厚さ0.8 重さ0.6	平玉	コハク
130-24	P-38	墳底	径1.1 厚さ0.65 重さ0.6	平玉	コハク
130-25	P-38	墳底	径1.1 厚さ0.55 重さ0.5	平玉	コハク
131-1	P-40	覆土	長さ2.8 幅1.4 厚さ0.7 重さ1.7	石鏃	黒曜石
131-2	P-40	覆土	長さ2.2 幅1.4 厚さ0.4 重さ1.1	石鏃	黒曜石
131-3	P-40	覆土	長さ2.9 幅0.7 厚さ0.5 重さ1.0	石錐	頁岩
131-1	P-41	墳底	長さ1.2 幅1.1 厚さ0.15 重さ0.4	礫玉	泥岩
131-2	P-41	墳底	長さ1.2 幅1.2 厚さ0.25 重さ0.5	礫玉	泥岩
131-3	P-41	墳底	長さ1.3 幅1.2 厚さ0.25 重さ0.6	礫玉	泥岩
131-4	P-41	墳底	長さ1.5 幅1.3 厚さ0.3 重さ0.8	礫玉	泥岩
131-5	P-41	墳底	長さ1.3 幅0.9 厚さ0.2 重さ0.6	礫玉	泥岩
131-6	P-41	墳底	長さ1.25 幅0.95 厚さ0.25 重さ0.5	礫玉	泥岩
131-7	P-41	墳底	長さ1.3 幅0.8 厚さ0.25 重さ0.5	礫玉	泥岩
131-8	P-41	墳底	長さ1.3 幅0.9 厚さ0.2 重さ0.4	礫玉	泥岩
131-9	P-41	墳底	長さ1.5 幅1.1 厚さ0.2 重さ0.6	礫玉	泥岩
131-10	P-41	墳底	長さ1.5 幅1.3 厚さ0.2 重さ0.8	礫玉	泥岩
131-11	P-41	墳底	長さ1.5 幅1.0 厚さ0.15 重さ0.5	礫玉	泥岩
131-12	P-41	墳底	長さ1.3 幅0.9 厚さ0.2 重さ0.5	礫玉	泥岩
131-13	P-41	墳底	長さ1.35 幅0.7 厚さ0.15 重さ0.4	礫玉	泥岩
131-14	P-41	墳底	長さ1.4 幅0.7 厚さ0.15 重さ0.4	礫玉	泥岩
131-15	P-41	墳底	長さ1.6 幅0.9 厚さ0.2 重さ0.3	礫玉	泥岩
131-16	P-41	墳底	長さ1.4 幅0.9 厚さ0.15 重さ0.5	礫玉	泥岩
132-1	P-45-①	墳底	口径4.9 胴径6.0 底径2.5 器高5.1	土器	
132-2	P-45-①	墳底	長さ2.25 幅1.35 厚さ1.0 重さ1.9	垂飾	コハク
132-3	P-45	覆土	径0.55 厚さ0.3 重さ0.1	平玉	コハク
132-4	P-45	覆土	径0.5 厚さ0.5 重さ0.1	平玉	コハク
132-5	P-45	覆土	径0.5 厚さ0.5 重さ0.1 以下	平玉	コハク
132-6	P-45	覆土	径0.55 厚さ0.35 重さ0.1	平玉	コハク

図版NO/ 遺物NO	出土遺構	層位	計測値 (cm)(g)	名称/分類	備考
132-7	P-45	覆土	径0.6 厚さ0.25 重さ0.1 以下	平玉	コハク
132-8	P-45	覆土	径0.6 厚さ0.35 重さ0.1 以下	平玉	コハク
132-9	P-45	覆土	径0.5 厚さ0.4 重さ0.1	平玉	コハク
132-10	P-45	覆土	径0.6 厚さ0.45 重さ0.1	平玉	コハク
132-11	P-45	覆土	径0.6 厚さ0.4 重さ0.1	平玉	コハク
132-12	P-45	覆土	径1.0 厚さ0.3 重さ0.2	平玉	コハク
132-13	P-45	覆土	径0.85 厚さ0.6 重さ0.3	平玉	コハク
132-14	P-45	覆土	長さ2.0 幅1.25 厚さ0.6 重さ0.9	垂飾	コハク
132-15	P-45	墳底	長さ2.3 幅1.9 厚さ0.6 重さ1.0	垂飾	コハク
132-16	P-45	墳底	長さ2.3 幅1.5 厚さ0.6 重さ1.6	垂飾	コハク
132-17	P-45	墳底	長さ2.7 幅1.5 厚さ0.85 重さ2.2	垂飾	コハク
132-18	P-45	墳底	長さ1.6 幅0.9 厚さ0.6 重さ0.6	垂飾	コハク
132-19	P-45	墳底	長さ2.0 幅2.1 厚さ0.8 重さ2.4	垂飾	コハク
132-20	P-45	墳底	径1.9 厚さ0.75 重さ1.6	垂飾	コハク
133-1	P-43	墳底	長さ3.6 厚さ0.5 幅2.0 重さ3.3	石鏃	頁岩
133-2	P-43	墳底	長さ3.4 厚さ2.0 幅0.4 重さ3.4	R・F	頁岩
133-1	P-46	墳底	口径(23.0) 底径(8.6) 器高23.7	土器	
133-2	P-46	覆土	口縁部 長さ(7.4) 幅(5.3)	土器片	1/2
134-1	P-47	墳底	径10.1 厚さ0.7 重さ141	鏡	
135-1	P-48	覆土	長さ2.7 幅1.5 厚さ0.5 重さ1.4	石鏃	黒曜石
135-1	P-50	覆土	長さ(3.6) 幅2.0 厚さ0.8 重さ3.1	石鏃	黒曜石
135-2	P-50	覆土	長さ3.8 幅4.5 厚さ1.0 重さ17.4	削器	黒曜石
135-3	P-50	覆土	長さ9.2 幅5.0 厚さ1.0 重さ37.8	削器	玄武岩
136-1	P-49-⑧	墳底	長さ3.4 幅1.7 厚さ0.3 重さ1.3	石鏃	黒曜石
136-2	P-49-⑨	墳底	長さ(4.0) 幅1.8 厚さ0.4 重さ2.1	石鏃	黒曜石
136-3	P-49-⑮	墳底	長さ(2.1) 幅(1.4) 厚さ0.3 重さ0.9	石鏃	黒曜石
136-4	P-49-⑫	墳底	長さ5.8 幅2.2 厚さ0.5 重さ7.2	ナイフ	頁岩
136-5	P-49-⑩	墳底	長さ4.1 幅3.5 厚さ0.6 重さ9.3	ナイフ	頁岩
136-6	P-49-⑦	墳底	長さ2.7 幅4.3 厚さ0.7 重さ8.1	R・F	黒曜石
136-7	P-49	覆土	長さ2.3 幅2.9 厚さ0.5 重さ3.0	R・F	黒曜石
136-8	P-49-④	墳底	長さ8.9 幅4.9 厚さ1.4 重さ100	石斧	泥岩
136-9	P-49	墳底	長さ1.9 幅1.2 厚さ0.7 重さ1.1	垂飾	コハク
136-10	P-49	墳底	長さ2.2 幅1.1 厚さ0.9 重さ0.8	垂飾	スプーン型 コハク
136-11	P-49	墳底	径0.8 厚さ0.5 重さ0.2	平玉	コハク
136-12	P-49	墳底	長さ2.4 幅1.55 厚さ0.5 重さ1.5	垂飾	コハク
136-13	P-49	墳底	長さ2.4 幅1.6 厚さ0.7 重さ1.1	垂飾	コハク
136-14	P-49	墳底	径0.8 厚さ0.5 重さ0.2	垂飾	コハク
136-15	P-49	墳底	径0.4 厚さ0.3 重さ0.1 以下	平玉	コハク
136-16	P-49	墳底	径0.5 厚さ0.4 重さ0.1 以下	平玉	コハク
136-17	P-49	墳底	径0.5 厚さ0.3 重さ0.1 以下	平玉	コハク
136-18	P-49	墳底	径0.4 厚さ0.4 重さ0.1 以下	平玉	コハク
136-19	P-49	墳底	径0.5 厚さ0.3 重さ0.1 以下	平玉	コハク

図版NO/ 遺物NO	出土遺構	層位	計測値 (cm)(g)	名称/分類	備考
136-20	P-49	壙底	径0.5 厚さ0.4 重さ0.1以下	平玉	コハク
136-21	P-49	壙底	径0.5 厚さ0.4 重さ0.1以下	平玉	コハク
136-22	P-49	壙底	径0.5 厚さ0.4 重さ0.1以下	平玉	コハク
136-23	P-49	壙底	径0.5 厚さ0.3 重さ0.1以下	平玉	コハク
136-24	P-49	壙底	径0.4 厚さ0.3 重さ0.1以下	平玉	コハク
136-25	P-49	壙底	径0.5 厚さ0.4 重さ0.1以下	平玉	コハク
136-26	P-49	壙底	径0.4 厚さ0.3 重さ0.1以下	平玉	コハク
136-27	P-49	壙底	径0.5 厚さ0.4 重さ0.1	平玉	コハク
136-28	P-49	壙底	径0.4 厚さ0.4 重さ0.1以下	平玉	コハク
136-29	P-49	壙底	径0.4 厚さ0.2 重さ0.1以下	平玉	コハク
136-30	P-49	壙底	径0.4 厚さ(0.2) 重さ0.1以下	平玉	コハク
136-31	P-49	壙底	径0.4 厚さ(0.2) 重さ0.1以下	平玉	コハク
136-32	P-49	壙底	径0.5 厚さ0.4 重さ0.1以下	平玉	コハク
136-33	P-49	壙底	径0.5 厚さ0.2 重さ0.1以下	平玉	コハク
136-34	P-49	壙底	径0.5 厚さ0.4 重さ0.1以下	平玉	コハク
136-35	P-49	壙底	径0.5 厚さ0.2 重さ0.1以下	平玉	コハク
136-36	P-49	壙底	径0.4 厚さ0.4 重さ0.1以下	平玉	コハク
136-37	P-49	壙底	径0.5 厚さ0.3 重さ0.1以下	平玉	コハク
136-38	P-49	壙底	径0.5 厚さ0.3 重さ0.1以下	平玉	コハク
136-39	P-49	壙底	径0.5 厚さ0.3 重さ0.1以下	平玉	コハク
136-40	P-49	壙底	径0.4 厚さ0.3 重さ0.1以下	平玉	コハク
136-41	P-49	壙底	径0.4 厚さ0.2 重さ0.1以下	平玉	コハク
136-42	P-49	壙底	径0.4 厚さ0.4 重さ0.1以下	平玉	コハク
136-43	P-49	壙底	径0.5 厚さ0.3 重さ0.1以下	平玉	コハク
136-44	P-49	壙底	径0.5 厚さ0.3 重さ0.1以下	平玉	コハク
136-45	P-49	壙底	径0.5 厚さ0.4 重さ0.1	平玉	コハク
136-46	P-49	壙底	径0.5 厚さ0.3 重さ0.1以下	平玉	コハク
136-47	P-49	壙底	径0.5 厚さ0.3 重さ0.1以下	平玉	コハク
136-48	P-49	壙底	径0.5 厚さ0.3 重さ0.1以下	平玉	コハク
136-49	P-49	壙底	径0.5 厚さ0.3 重さ0.1以下	平玉	コハク
136-50	P-49	壙底	径0.5 厚さ0.2 重さ0.1以下	平玉	コハク
136-51	P-49	壙底	径0.5 厚さ0.3 重さ0.1以下	平玉	コハク
136-52	P-49	覆土	口縁部 長さ(4.3) 幅(3.0)	土器片	1/2
137-1	P-51	壙底	長さ31.2 幅4.4 厚さ1.3	刀子	
138-1	P-52-②	壙底	口径(10.0) 底径4.4 器高8.4	土器	
138-2	P-52-①	壙底	口径9.0 胴径17.5 底径8.5 器高16.5	土器	
138-3	P-52	覆土	径0.9 厚さ0.85 重さ0.5	平玉	コハク
138-4	P-52	覆土	径1.0 厚さ0.45 重さ0.3	平玉	コハク
138-5	P-52-③	壙底	長さ4.0 幅1.7 厚さ0.5 重さ2.2	石鏃	黒曜石
138-6	P-52-⑦	壙底	長さ5.9 幅2.8 厚さ0.6 重さ8.3	石槍	頁岩
138-7	P-52-⑨	壙底	長さ5.0 幅2.3 厚さ0.8 重さ6.2	R・F	頁岩
138-8	P-52-⑥	壙底	長さ4.5 幅5.4 厚さ1.3 重さ18.0	つまみ付ナイフ	黒曜石

図版NO/ 遺物NO	出土遺構	層位	計測値 (cm) (g)	名称/分類	備考
139-1	P-53	覆土	底径(17.8) 器高(5.3)	台付土器台部	
139-2	P-53-③	墳底	長さ2.8 幅3.7 厚さ0.9 重さ8.9	原石	黒曜石
139-1	P-54-①	墳底	拓本 口縁部	土器	
140-1	P-55	覆土	拓本 口縁部	土器	
140-2	P-55	覆土	長さ3.1 幅1.5 厚さ0.5 重さ2.0	石鏃	黒曜石
140-3	P-55	覆土	長さ5.8 幅1.8 厚さ1.7 重さ15.6	原石	黒曜石
141-1	P-59-①	墳底	長さ2.05 幅1.2 厚さ0.6 重さ1.9	垂飾	泥岩
141-2	P-59-②	墳底	長さ1.6 幅1.1 厚さ0.6 重さ1.9	垂飾	凝灰岩
141-3	P-59-③	墳底	拓本 胴部	土器	1/3
142-1	P-60	覆土	長さ4.4 幅2.3 厚さ0.6 重さ4.5	石鏃	黒曜石
142-2	P-60	覆土	長さ(5.8) 幅2.4 厚さ0.5 重さ4.7	石槍	黒曜石
142-3	P-60	覆土	長さ6.5 幅3.4 厚さ0.7 重さ14.4	石槍	黒曜石
142-4	P-60	覆土	長さ5.7 幅1.2 厚さ0.65 重さ5.0	石錐	頁岩
142-5	P-60	覆土	長さ3.7 幅2.1 厚さ1.1 重さ7.0	搔器	石英
142-6	P-60	覆土	長さ5.6 幅2.8 厚さ0.9 重さ9.2	搔器	頁岩
142-7	P-60	覆土	長さ18.5 幅10.0 厚さ4.9 重さ960	砥石	1/3 砂岩
143-1	H-1-㉔	床	長さ3.3 幅2.5 厚さ0.7 重さ4.3	垂飾	コハク
143-2	H-1-㉔	床	口径(25.0) 器高(23.5)	土器	1/3
144-3	H-1-㉔	床	長さ3.7 幅1.8 厚さ0.5 重さ1.8	石鏃	黒曜石
144-4	H-1-㉔	床	長さ2.7 幅1.1 厚さ0.35 重さ1.0	石鏃	頁岩
144-5	H-1	覆土	長さ3.1 幅2.05 厚さ0.4 重さ3.2	石鏃	頁岩
144-6	H-1-㉔	床	長さ5.8 幅3.1 厚さ0.4 重さ6.5	石槍	黒曜石
144-7	H-1-㉔	床	長さ3.1 幅1.9 厚さ0.9 重さ3.7	石錐	頁岩
144-8	H-1-㉔	床	長さ8.1 幅2.2 厚さ0.8 重さ13.0	ナイフ	黒曜石
144-9	H-1-㉔	床	長さ5.8 幅2.0 厚さ0.8 重さ7.9	ナイフ	黒曜石
144-10	H-1-㉔	床	長さ(2.7) 幅1.7 厚さ0.5 重さ2.0	R・F	黒曜石
144-11	H-1-㉔	床	長さ4.8 幅4.4 厚さ0.7 重さ16.6	削器	黒曜石
144-12	H-1-㉔	床	長さ11.7 幅5.7 厚さ2.0 重さ218	石斧	1/3 泥岩
144-13	H-1	覆土	長さ15.4 幅10.5 厚さ5.5 重さ1330	台石	1/3 安山岩
144-14	H-1	覆土	長さ10.9 幅13.5 厚さ7.8 重さ876	台石	1/3 安山岩
146-1	H-2-㉔	床	口径(15.4) 底径(6.0) 器高8.0	土師器 坏	
146-2	H-2-㉔	床	口径(13.4) 底径(4.8) 器高5.5	土師器 坏	ロクロ
146-3	H-2-一括	床	胴径16.4 底径(6.7) 器高(13.3)	土器	
146-4	H-2-①、③	床	拓本 口縁部	土器片	1/3
146-5	H-2-①⑥	床	拓本 口縁部	土器片	1/3
146-6	H-2	覆土	拓本 口縁部	土器片	1/3
146-7	H-2-㉔	床	拓本 胴部	土器片	1/3
146-8	H-2	覆土	拓本 胴部	土器片	1/3
146-9	H-2	覆土	拓本 胴部	須恵器	1/3
146-10	H-2	覆土	拓本 底部	土器	1/3
146-11	H-2-㉔	床	拓本 底部	須恵器	1/3
146-12	H-2	覆土	長さ2.05 幅0.8 厚さ0.52 重さ0.7	骨角器	

図版NO/ 遺物NO	出土遺構	層位	計測値 (cm) (g)	名称/分類	備考
146-13	H-2	覆土	径(5.8) 厚さ2.2	紡垂車	1/3
146-14	H-2-④	床	径8.0 厚さ2.4	紡垂車	1/3
148-1	H-3	覆土	長さ(7.5)	土器片	1/2
148-2	H-3	覆土	拓本 胴部	土器片	
148-3	H-3	覆土	拓本 口縁部	土器片	
148-4	H-3	覆土	長さ2.9 幅1.3 厚さ0.4 重さ1.1	石鏃	黒曜石
148-5	H-3	覆土	長さ(1.15) 幅1.2 厚さ0.35 重さ0.8	石鏃	黒曜石
148-6	H-3	覆土	長さ3.9 幅2.6 厚さ0.7 重さ5.0	R・F	黒曜石
148-7	H-3	床	長さ10.45 幅7.8 厚さ6.3 重さ586	原石	1/3 黒曜石
148-8	H-3-③	床	長さ12.1 幅6.75 厚さ4.65 重さ486	原石	1/3 黒曜石
150-1	MO-10	覆土	拓本 口縁部	土器片	1/3
150-2	MO-10	覆土	拓本 口縁部	土器片	1/3
150-3	MO-10	覆土	拓本 底部	土器片	1/3
150-4	MO-10	覆土	長さ4.3 幅1.1 厚さ0.4 重さ1.6	石鏃	頁岩
150-5	MO-10	覆土	長さ4.1 幅2.2 厚さ0.5 重さ4.4	削器	黒曜石
150-6	MO-10	覆土	長さ5.25 幅2.5 厚さ0.5 重さ9.8	垂飾	流紋岩?
150-7	MO-10	覆土	長さ9.3 幅3.45 厚さ3.35 重さ72	石斧	粘板岩
151-1	FP-1-⑭	覆土	口径(29.0) 底径(8.1) 器高30.4	土器	
151-2	FP-1-⑧	覆土	口径(30.0) 器高(9.8)	土器	
151-3	FP-1	覆土	長さ10.5 幅2.4 厚さ2.35 重さ30.6	垂飾	泥岩
152-1	FP-2	墳底	長さ21.8 幅12.8 厚さ7.8 重さ2770	砥石	砂岩 1/3
153-1	FP-6	覆土	長さ2.1 幅1.1 厚さ0.3 重さ0.4	石鏃	黒曜石
153-2	FP-6	覆土	長さ2.1 幅1.7 厚さ0.5 重さ1.0	石鏃	黒曜石
153-3	FP-6	覆土	長さ2.5 幅1.8 厚さ0.6 重さ1.8	R・F	黒曜石
153-4	FP-6	覆土	長さ18.5 幅12.4 厚さ10.35 重さ431	砥石	砂岩 1/3
154-1	FP-7	覆土		土器	拓本 口縁部 1/3
154-2	FP-7	覆土	長さ11.6 幅8.3 厚さ3.6 重さ380	原石	黒曜石
156-1	土器集中	Ⅲ	口径(7.8) 胴径(19.0) 底径(7.0) 器高(23.0)	土器	X-35-13
156-2	土器集中	Ⅲ	胴径(19.7) 器高(13.6)	土器	X-35-06、X-35-01
156-3	土器集中	Ⅲ	長さ(6.0)	土器片	X-35-08 口縁部
156-4	土器集中		口径(17.4) 器高(9.1)	土器	X-34-17 X-34-22
156-5	土器集中	Ⅲ	器高(10.8)	土器	X-34-22
156-6	土器集中	Ⅲ	口径(11.0) 胴径(12.5) 底径3.4 器高10.2	土器	X-35-02
156-7	土器集中	Ⅲ	口径(27.2) 器高(8.0)	土器	X-35-01
157-8	土器集中		長さ(10.4)	土器片	X-34-17
157-9	土器集中		器高(8.5)	土器片	X-35
157-10	土器集中		底径(6.0) 器高(9.0)	土器	X-34-17 X-34-16
157-11	土器集中		底径10.2 器高(5.1)	土器	X-34-17
157-12	土器集中	Ⅲ	口径(25.4) 器高(10.0)	土器台付鉢	X-35-01
157-13	土器集中	Ⅳ	口径(16.8) 器高(6.2)	土器	W-34-25



図版NO/ 遺物NO	出土遺構	層位	計測値 (cm) (g)	名称/分類	備考	
157-14	土器集中	Ⅲ	底短径(9.4)底長径(13.3)器高(9.2)	土器	X-34-17	
157-15	土器集中		口径(16.8)底径(12.2)器高(9.4)	高台土器	X-35-06	
157-16	土器集中		底径(9.0)器高(9.1)	高台土器	W-34-18	
158-17	土器集中	Ⅲ	胴径(2.2)器高(15.4)	土器つぼ	X-35-08	
158-18	土器集中		口径(25.0)胴径(25.8)器高(15.3)	土器	X-35	
158-19	土器集中	Ⅲ	口径(18.0)器高(10.3)	土器	X-35-01	
158-20	土器集中		器高(12.6)	土器片	X-35-02 口縁部	
158-21	土器集中	Ⅲ	口径(13.0)底径(5.2)器高8.0	土器	X-34-17 1/3	
158-22	土器集中		口径(23.8)器高(12.8)	土器	X-34-17 1/3	
158-23	土器集中	Ⅲ	口径(20.0)器高(8.2)	土器	X-35-01	
158-24	土器集中		口径(28.4)器高(8.8)	土器	X-35-01	
159-25	土器集中	Ⅲ	口径(12.4)底径(5.4)器高5.7	土器	X-34-22	
159-26	土器集中		口径(17.2)底径(4.8)器高5.4	土器	X-34-17	
159-27	土器集中	Ⅲ	口径(12.4)底径(9.6)器高7.2	土器	W-35-02	
159-28	土器集中		口径(21.0)底径3.5 器高7.3	土器	X-35	
159-29	土器集中	Ⅲ	底径10.3 器高(6.1)	土器	X-35	
159-30	土器集中		長さ(4.9)	土器片	X-34-17 1/2 口縁部	
159-31	土器集中	Ⅲ	長さ(6.8)	土器片	X-35-01 1/2 口縁部	
159-32	土器集中		長さ(6.6)	土器片	X-35-08 1/2 口縁部	
159-33	土器集中	Ⅲ	長さ(4.4)幅4.0	土器片	X-35-01 1/2 注口土器?	
159-34	土器集中		長さ(3.5)	土器片	W-34-20 1/2 把手部分	
159-35	土器集中		径(4.0)厚さ0.75	円形土器片	W-35-10 1/2	
160-36	土器集中	Ⅲ		土器	拓本 口縁部 3/1 W-36-07-括	
160-37	土器集中		土器	拓本 口縁部 1/3 X-35		
160-38	土器集中		土器	拓本 口縁部 1/3 X-34-16		
160-39	土器集中		土器	拓本 口縁部 1/3 W-34-25		
160-40	土器集中		土器	拓本 口縁部 X-34		
160-41	土器集中		土器	拓本 口縁部 W-34-20		
160-42	土器集中		土器	拓本 口縁部 W-30-07-括		
160-43	土器集中		土器	拓本 口縁部 X-35-13		
160-44	土器集中		土器	拓本 口縁部 X-35-01		
160-45	土器集中		土器	拓本 口縁部 X-34-17		
160-46	土器集中		土器	拓本 口縁部 X-35-02		
160-47	土器集中		土器	拓本 口縁部 X-34-21		
160-48	土器集中		土器	拓本 口縁部 X-35-06		
160-49	土器集中		土器	拓本 口縁部 W-34-18		
160-50	土器集中		土器	拓本 口縁部 W-34-20		
160-51	土器集中		土器	拓本 口縁部 X-35-02		
160-52	土器集中		土器	拓本 口縁部 X-34-22		
161-53	土器集中		Ⅲ		土器	拓本 口縁部 W-34-25
161-54	土器集中			土器	拓本 口縁部 X-34-21	
161-55	土器集中			土器	拓本 口縁部 W-34-18	

図版NO/ 遺物NO	出土遺構	層位	計測値 (cm) (g)	名称/分類	備考
161-56	土器集中			土器	拓本 口縁部 X-35-01
161-57	土器集中	Ⅲ		土器	拓本 口縁部 X-34-21
161-58	土器集中			土器	拓本 口縁部 X-34-17
161-59	土器集中	Ⅲ		土器	拓本 口縁部 X-35-01
161-60	土器集中	Ⅲ		土器	拓本 口縁部 X-35-01
161-61	土器集中	Ⅳ		土器	拓本 口縁部 W-34-25
161-62	土器集中	Ⅲ		土器	拓本 口縁部 X-34-23
161-63	土器集中			土器	拓本 口縁部 W-34-18
161-64	土器集中	Ⅲ		土器	拓本 口縁部 X-35-02
161-65	土器集中	Ⅲ		土器	拓本 口縁部 X-35-01
161-66	土器集中	Ⅲ		土器	拓本 口縁部 X-35-13
161-67	土器集中	Ⅲ		土器	拓本 口縁部 W-35-13
161-68	土器集中	Ⅲ		土器	拓本 口縁部 X-34-23
161-69	土器集中	Ⅲ		土器	拓本 口縁部 X-35-06
161-70	土器集中			土器	拓本 口縁部 X-34-16
161-71	土器集中	Ⅲ		土器	拓本 口縁部 X-35-02
162-72	土器集中			土器	拓本 口縁部 X-34-17
162-73	土器集中			土器	拓本 口縁部 W-34-20
162-74	土器集中	Ⅳ		土器	拓本 胴部 W-34-25
162-75	土器集中	Ⅳ		土器	拓本 胴部 W-34-25
162-76	土器集中	Ⅳ		土器	拓本 胴部 W-34-25
162-77	土器集中	Ⅲ		土器	拓本 胴部 X-35-03
162-78	土器集中			土器	拓本 胴部 X-34-17
162-79	土器集中	Ⅳ		土器	拓本 胴部 W-34-25
162-80	土器集中	Ⅲ		土器	拓本 胴部 X-35-01
162-81	土器集中	Ⅲ		土器	拓本 胴部 X-35-13
162-82	土器集中	Ⅲ		土器	拓本 胴部 X-35-02
162-83	土器集中			土器	拓本 胴部 X-35
162-84	土器集中			土器	拓本 胴部 X-35
162-85	土器集中	Ⅲ		土器	拓本 胴部 X-35-02
162-86	土器集中	Ⅲ		土器	拓本 胴部 X-34-22
162-87	土器集中			土器	拓本 胴部 X-34-16
162-88	土器集中	Ⅲ		土器	拓本 胴部 X-35-02

図版/NO.	出土グリッド	層位	計 測 値 (cm) (g)	名称/分類	備 考
163-1	V-34-23一括	IV	口径(39.0) 器高(33.8)	土器	
163-2	R-31-24一括		口径(30.8) 器高(23.0)	土器	
163-3	V-36-07	III	口径(15.0) 底径(8.6) 器高(15.8)	土器	
163-4	S-32-24	III	底径(6.2) 器高(13.9)	土器	
164-5	W-36-06一括		口径(36.8) 器高(22.9)	土器	
164-6	W-35-17一括		口径(36.4) 胴径(36.8) 器高(17.2)	土器	
164-7	X-35-11一括	III	口径(33.4) 器高(14.5)	土器	
164-8	X-35-12一括、02	III	口径(12.4) 器高(11.2)	土器	
165-9	W-35-25	III	底径(7.0) 器高(4.9)	土器	
165-10	V-35-04	III	底径(6.0) 器高(7.9)	土器	
165-11	X-35-07	III	底径(9.5) 器高(6.2)	土器	
165-12	V-36-06	III	底径(11.0) 器高(20.5)	土器	
165-13	X-35-02	III	口径(20.2) 底径(12.2) 器高(9.2)	土器	
165-14	W-34-23一括	II, III	底径(7.5) 器高(8.4)	土器	
165-15	W-36-08	III	底径11.8 器高(8.8)	土器	
165-16	X-34-16トレンチ		底径(9.5) 器高(9.6)	土器	
166-17	X-36-07一括		口径(25.0) 器高(15.8)	土器	
166-18	V-36	III	口径(17.6) 底径(9.2) 器高13.5	土器	
166-19	W-35-10	III	口径(21.0) 器高(11.1)	土器	
166-20	V-36-07一括	III	口径(18.3) 胴径(19.6) 底径(8.8)	台付土器	
166-21	W-35-02	III	口径(20.2) 器高(10.1)	土器	
166-22	W-35-02	III	口径(17.8) 器高(10.0)	土器	
166-23	X-35-16.17	III	口径(16.0) 底径(7.5) 器高(8.5)	土器	
166-24	V-35-14	III	口径(22.1) 器高(9.1)	土器	
167-25	V-35-13.14	III	口径(18.0) 底径4.4器高8.2	土器	
167-26	W-35-05.07.08.13	III	口径(28.4) 器高(10.3)	土器	
167-27	V-35-14	III	口径(10.0×11.6) 底径(3.3×5.0) 器高6.7	土器	
167-28	W-36-10	IV	口径(21.8) 器高7.5	土器	
167-29	カクラン		口径(13.2) 器高(6.9)	土器	
167-30	W-35-21	IV	口径(29.0) 器高(16.3)	土器	
167-31	V-35-10	III	口径(12.0) 器高(7.1)	土器	
167-32	X-34-16.17	III	口径(22.2) 器高(8.6)	土器	
168-33	V-36-03.07.08	IV	口径(21.6) 器高(7.0)	土器	
168-34	W-36-09	III	口径(17.5) 器高(4.2)	土器	
168-35	W-35-03	III	口径(12.0) 器高(4.8)	土器	
168-36	カクラン		胴径(18.2) 器高(8.3)	土器	
168-37	X-36-08一括	II	胴径(17.4) 底径5.4 器高(11.3)	土器	
168-38	X-35-02	III	口径(10.8) 器高(5.7)	土器	
168-39	カクラン		口径(11.8) 器高(5.3)	土器	
168-40	X-34-21	III	底径(13.4) 器高(6.4)	高台土器	
168-41	W-35-04	III	底径(14.9) 器高(6.8)	高台土器	
168-42	S-32-06	II	口径(3.0) 底径(1.2) 器高3.4	土器	

図版NO/ 遺物NO	出土グリット	層位	計測値(cm)(g)	名称/分類	備考
168-43	W-35-08	Ⅲ	口径(14.2) 底径3.5 器高10.2	片口土器	
169-44	W-35-04	Ⅲ	口径(10.0) 胴径(23.0) 器高(23.9)	土器	高台部
169-45	X-35-02	Ⅲ	口径(12.8) 底径2.5 器高5.7	土器	
169-46	T-32-16	Ⅳ	口径(10.0) 底径(5.2) 器高(5.9)	土器	
169-47	W-34-25	Ⅳ	胴径(25.4) 底径(10.8) 器高(11.1)	土器	
169-48	S-32-20.25	Ⅳ	口径(12.0) 胴径(13.8) 器高(13.7)	土器	
169-49	カクラン		胴径13.6 器高(12.9)	土器	
169-50	S-32-06	Ⅱ	口径(3.8) 胴径(9.0) 底径(4.4) 器高10.4	土器	
169-51	V-36-06	Ⅲ	底径(8.8) 器高(5.1)	土器	
169-52	R-32-10	Ⅱ	口径(19.0) 底径(9.0) 器高(7.5)	土器	
169-53	カクラン		底径8.2 器高(5.2)	土器	
169-54	S-32-10	Ⅱ	口径(25.5) 器高(20.6)	土器	
170-55	カクラン		口径5.2 胴径1.6 底径3.1 器高4.4	土器	1/2
170-56	W-35-03	Ⅲ	長さ(6.5)	土器	1/2 口縁部
170-57	カクラン		長さ(6.3)	土器	1/2 口縁部
170-58	W-35-10	Ⅲ	長さ(3.6)	土器	1/2 口縁部
170-59	カクラン		長さ(4.2) 幅(3.5)	土器	1/2 口縁部
170-60	X-34-13	Ⅱ	長さ(4.8)	土器	1/2 口縁部
170-61	X-35-22	Ⅲ	長さ(2.4) 幅2.0	土器	1/2 注口部
171-62	X-35-06	Ⅲ	拓本 口縁部	土器	口縁部
171-63	W-35-04	Ⅲ	拓本 口縁部	土器	口縁部
171-64	R-31	Ⅳ	拓本 口縁部	土器	口縁部
171-65	V-36-05	Ⅳ	拓本 口縁部	土器	口縁部
171-66	V-35-12	Ⅳ	拓本 口縁部	土器	口縁部
171-67	W-35-13	Ⅲ	拓本 口縁部	土器	口縁部
172-68	V-35-14	Ⅲ	拓本	土器	口縁部
172-69	X-34-12	Ⅲ	拓本	土器	口縁部
172-70	W-35-13	Ⅲ	拓本	土器	口縁部
172-71	X-34-23	Ⅲ	拓本	土器	口縁部
172-72	カクラン		拓本	土器	胴部
172-73	カクラン		拓本	土器	底部
172-74	X-35-06	Ⅲ	拓本	土器	口縁部
172-75	W-34-25	Ⅲ	拓本	土器	口縁部
172-76	W-35-05	Ⅲ	拓本	土器	口縁部
172-77	W-35-05	Ⅲ	拓本	土器	口縁部
172-78	カクラン		拓本	土器	口縁部
172-79	X-34-16	トレンチ	拓本	土器	口縁部
172-80	W-35-08	Ⅲ	拓本	土器	口縁部
172-81	V-36-06	Ⅲ	拓本	土器	口縁部
172-82	V-36-03	Ⅲ	拓本	土器	胴部
172-83	Y-35-11	Ⅲ	拓本	土器	口縁部
173-84	W-35-04	Ⅲ	拓本	土器	口縁部

図版NO/ 遺物NO	出土グリット	層位	計測値 (cm) (g)	名称/分類	備考
173-85	W-34-29	Ⅲ	拓本	土器	口縁部
173-86	W-36-09	Ⅱ	拓本	土器	口縁部
173-87	カクラン		拓本	土器	口縁部
173-88	W-35-05	Ⅲ	拓本	土器	口縁部
173-89	W-35-10	Ⅲ	拓本	土器	胴部
173-90	カクラン		拓本	土器	胴部
173-91	カクラン		拓本	土器	胴部
173-92	W-35-14	Ⅲ	拓本	土器	胴部
173-93	W-34-25	Ⅲ	拓本	土器	胴部
173-94	X-35-02	Ⅲ	拓本	土器	口縁部
173-95	X-35-02	Ⅱ	拓本	土器	胴部
173-96	X-35-17	Ⅲ	拓本	土器	胴部
173-97	W-35-03	Ⅲ	拓本	土器	口縁部
173-98	X-36-07	Ⅱ	拓本	土器	口縁部
173-99	W-34-22	Ⅱ	拓本	土器	胴部
173-100	W-35-05	Ⅱ	拓本	土器	口縁部
173-101	W-35-10	Ⅲ	拓本	土器	口縁部
174-102	W-34-22	Ⅱ	拓本	土器	口縁部
174-103	X-35-06	Ⅲ	拓本	土器	口縁部
174-104	W-35-09	Ⅲ	拓本	土器	胴部
174-105	W-35-10	Ⅲ	拓本	土器	口縁部
174-106	V-35-14	Ⅲ	拓本	土器	口縁部
174-107	W-34-22	Ⅲ	拓本	土器	口縁部
174-108	W-35-14	Ⅲ	拓本	土器	口縁部
174-109	W-35-15	Ⅲ	拓本	土器	口縁部
174-110	V-35-08	Ⅲ	拓本	土器	口縁部
174-111	カクラン		拓本	土器	口縁部
174-112	カクラン		拓本	土器	胴部
174-113	V-35-13	Ⅳ	拓本	土器	胴部
174-114	W-35-09	Ⅲ	拓本	土器	口縁部
174-115	カクラン		拓本	土器	口縁部
174-116	W-34-24	Ⅲ	拓本	土器	胴部
174-117	W-35-05	Ⅲ	拓本	土器	胴部
174-118	W-35-04	Ⅲ	拓本	土器	胴部
175-119	F-32-17	Ⅱ	拓本	土器	胴部
175-120	S-32-20	Ⅳ	拓本	土器	胴部
175-121	カクラン		拓本	土器	胴部
175-122	S-32-24	Ⅲ	拓本	土器	胴部
175-123	S-32-14	Ⅲ	拓本	土器	胴部
175-124	W-34-19	Ⅱ	拓本	土器	胴部
175-125	S-32-19	Ⅳ	拓本	土器	口縁部
175-126	カクラン		拓本	土器	胴部

図版NO/ 遺物NO	出土グリット	層位	計測値 (cm) (g)	名称/分類	備考	
175-127	カクラン	IV	拓本	土器	胴部	
175-128	カクラン		拓本	土器	口縁部	
175-129	R-33-04		拓本	土器	口縁部	
175-130	カクラン		拓本	土器	底部	
175-131	S-32-06		II	拓本	土器	口縁部
175-132	X-34		II	拓本	土器	胴部
175-133	T-32-07		II	拓本	土器	胴部
175-134	カクラン		拓本	土器	口縁部	
175-135	R-32-10		II	拓本	土器	口縁部
175-136	カクラン		拓本	土器	胴部	
176-137	W-34-20	III	長さ3.9 幅1.2 厚さ0.6 重さ1.2	石鏃	黒曜石	
176-138	X-35-13	III	長さ3.8 幅1.5 厚さ0.5 重さ1.3	石鏃	黒曜石	
176-139	X-36-07	II	長さ4.2 幅1.6 厚さ0.5 重さ2.0	石鏃	黒曜石	
176-140	X-35-03	II	長さ3.3 幅1.3 厚さ0.5 重さ1.2	石鏃	黒曜石	
176-141	X-34-21	III	長さ3.0 幅1.6 厚さ0.4 重さ1.1	石鏃	黒曜石	
176-142	V-35-09	III	長さ2.8 幅1.5 厚さ0.3 重さ0.7	石鏃	黒曜石	
176-143	W-35-05	II	長さ3.1 幅1.55 厚さ0.5 重さ1.0	石鏃	黒曜石	
176-144	V-35-20	II	長さ2.7 幅1.9 厚さ0.4 重さ1.3	石鏃	黒曜石	
176-145	W-35-08	III	長さ(2.1)幅1.4 厚さ0.3 重さ0.6	石鏃	黒曜石	
176-146	W-35-10	III	長さ2.7 幅1.6 厚さ0.2 重さ0.6	石鏃	黒曜石	
176-147	W-35-05	III	長さ(3.2)幅1.35 厚さ0.5 重さ1.6	石鏃	黒曜石	
176-148	W-35-03	III	長さ4.4 幅1.45 厚さ0.4 重さ2.2	石鏃	頁岩	
176-149	W-35-23	IV	長さ3.8 幅2.15 厚さ0.5 重さ3.6	石鏃	黒曜石	
176-150	X-35-02	II	長さ(3.3)幅(2.0)厚さ0.4 重さ1.9	石鏃	黒曜石	
176-151	V-35-07	III	長さ2.8 幅1.3 厚さ0.4 重さ1.0	石鏃	頁岩	
176-152	T-32-11	IV	長さ3.1 幅(1.6) 厚さ0.4 重さ1.3	石鏃	黒曜石	
176-153	X-34-21	III	長さ4.1 幅1.6 厚さ0.42 重さ1.7	石鏃	黒曜石	
176-154	W-35-20	III	長さ(4.2)幅1.6 厚さ0.45 重さ2.5	石鏃	黒曜石	
176-155	X-36-01	III	長さ3.6 幅(1.7)厚さ0.5 重さ1.9	石鏃	黒曜石	
176-156	W-35-15	II	長さ8.6 幅4.0 厚さ1.0 重さ26.2	石槍	頁岩	
176-157	W-35-10	III	長さ3.4 幅0.9 厚さ0.7 重さ2.5	石錐	頁岩	
176-158	X-35-12	III	長さ6.9 幅2.5 厚さ1.2 重さ17.2	ナイフ	頁岩	
176-159	S-32-20	IV	長さ6.3 幅3.2 厚さ0.9 重さ16.8	ナイフ	黒曜石	
177-160	X-36-07	II	長さ4.7 幅3.5 厚さ0.9 重さ11.4	削器	頁岩	
177-161	X-35-16	III	長さ6.1 幅2.5 厚さ0.6 重さ10.2	削器	玄武岩	
177-162	W-35-19	III	長さ5.6 幅3.5 厚さ0.7 重さ12.0	削器	頁岩	
177-163	V-34-24	III	長さ7.0 幅4.7 厚さ1.4 重さ25.0	削器	黒曜石	
177-164	V-34-23	III	長さ7.9 幅4.3 厚さ1.7 重さ34.0	削器	黒曜石	
177-165	X-35-13	III	長さ9.3 幅3.1 厚さ1.15 重さ36.2	削器	頁岩	
177-166	W-36-09	III	長さ13.1 幅4.9 厚さ1.4 重さ110.0	削器	玄武岩	
177-167	X-35-06	III	長さ8.3 幅7.2 厚さ1.4 重さ74.0	削器	玄武岩	
178-168	W-34		長さ3.1 幅3.5 厚さ0.8 重さ6.8	R・F	黒曜石	

図版NO/ 遺物NO	出土グリット	層位	計測値 (cm) (g)	名称/分類	備考
178-169	X-36		長さ3.5 幅2.1 厚さ0.4 重さ3.3	R・F	黒曜石
178-170	T-33-06	IV	長さ9.05 幅3.3 厚さ1.8 重さ85.0	石斧	泥岩
178-171	X-34-21	III	長さ10.5 幅7.55 厚さ2.9 重さ451.0	石斧	泥岩 1/3
178-172	X-35-06	II	長さ12.8 幅5.4 厚さ1.9 重さ250.5	石斧	泥岩
179-173	W-34-15	II	長さ9.8 幅4.0 厚さ1.2 重さ58.0	石斧	玄武岩
179-174	X-35-03	II	長さ9.0 幅4.1 厚さ1.2 重さ48.4	石斧	玄武岩
179-175	X-36		長さ13.2 幅7.75 厚さ3.9 重さ427.0	敲石	安山岩 1/3
179-176	W-36-09	III	長さ11.35 幅10.0 厚さ2.45 重さ230.0	砥石	砂岩 1/3
179-177	S-32-20-②	IV	長さ(15.9)幅16.0 厚さ5.1 重さ1440	砥石	砂岩 1/3

## 第V章 まとめ

今年度の発掘調査は現道下の発掘調査であるため、迂回道路を作る必要があった。しかし、迂回道路下も遺跡の包含層があるため、調査区はつながりがあるにもかかわらず工事日程との関係から3ヶ所が同時進行して発掘調査をしなければならず止むを得ず、地点名をつけてそれぞれの調査を実施している。そのために遺構番号などが地点ごとに付したためやや分かりにくい報告書になってしまったことをご了承願うしだいである。

さて、発掘調査によって縄文時代晩期、続縄文時代の墓壙群と中世から近世にかけての墓壙が発見された。

縄文時代晩期の墓壙においては、琥珀製装身具が多く検出されており、続縄文文化前半の恵山文化期の墓壙に伴う琥珀製平玉に至る変遷を見る上で貴重な資料となっている。

中世と思われる墓壙が4基検出され、和鏡、漆器、骨鏃、太刀などが出土している。

迂回路地点P-9では方形の土壙を掘り、遺体4~5体とともに和鏡、太刀を副葬して、火葬している。P-41は方形配石墓と称したもので、方形の土壙を掘り、平石を壙底に敷き、木棺と骨鏃、鉄製品、中国製青磁碗などを副葬して火葬しているものである。P-42は楕円形の土壙に和鏡、鉄製品が副葬されている。道道地点P-47は楕円形の土壙に和鏡、漆器が副葬されている。これらから中世には2つの形態の墓壙が存在していることが判明した。年代的な差なのか、民族的な相違なのか、身分によるものなのかは不明である。

このような墓の類例であるが迂回路地点P-9・41については伊達市オヤコツ遺跡と類似しており、近世のアイヌ墓には見ることのできないものである。

迂回路地点P-9、道道P-47については千歳市末広遺跡に類例があり、近世のアイヌ墓に類似しているように思える。

道内の中世墓については道南の上ノ国町の夷王山が著名であるが火葬後に遺骨を木箱に納骨して土壙に入れることが知られており、全く異質な感がある。被葬者についてはP-9の火葬人骨を札幌医科大学に依頼して鑑定中であるが、和人にしても、アイヌ民族にしても中世の北海道の実情を推測する上で非常に重要と言える。それはまた、民族の相違に限らず、道南と道央の習慣の相違であるかも知れない。

迂回路地点では壕の一部が検出されている。これは1992~1994年度に発掘されたMO-10と同一のものと思われ、覆土中に木炭層が確認されている。壕の年代については明確にすることはできなかったが、遺構の切り合い関係から中世墓P-9⇨掘立柱建物⇨壕⇨近世アイヌ墓の把握が可能となった。従前の漠然としていたこの壕の年代について遺構の新旧関係から15~17世紀頃のものとして推定しておきたい。しかし、この壕はどのような目的のものかについては判然としない。

次年度以降も隣接の発掘調査が予定されていることからこれらの問題を考慮しながら進めたいと考えている。



## 引用・参考文献（年代順）

- 名取武光他 1961年『大川遺跡』余市町教育委員会
- 久保 武夫 1966年「余市海岸の砂丘」『余市高校研究紀要』
- 竹田 輝雄 1969年「北海道」『新版日本の考古学』Ⅱ
- 野村 崇 1976年『札苺～上磯郡木古内町における縄文時代晩期土壙墓の調査』  
北海道開拓記念館
- 石橋孝夫他 1979年『SHIBISHIUSU』Ⅱ石狩町教育委員会
- 野村 崇 1981年「北海道南部・中部の土器」『縄文文化の研究』4
- 尻八館調査委員会編 1981年『尻八館調査報告書』
- 大谷敏三他 1981年『末広遺跡における考古学的調査（上）』千歳市教育委員会
- 種市幸生編 1982年『ママチ遺跡』北海道埋蔵文化財センター
- 大谷敏三他 1982年『末広遺跡における考古学的調査（下）』千歳市教育委員会
- 加藤 邦雄 1982年「道南・道央の墳墓」『縄文文化の研究』6
- 田村 俊之 1983年「北海道における近世の墓制」『北海道考古学』19
- 石橋孝夫編 1984年『紅葉山33号遺跡』石狩町教育委員会
- 石附喜三男 1984年「擦文式土器の編年的研究」『北海道の研究』2
- 加藤 邦雄 1984年「北海道の中世墓について」『北海道の研究』2
- 平川 善詳 1984年「近世アイヌ墓の考古学的研究」『北海道の研究』2
- 古泉 弘 1985年「江戸の街の出土遺物」『季刊考古学』13
- 宮 宏明編 1990年『1990年度大川遺跡発掘調査概報』余市町教育委員会
- 岡田淳子編 1991年『1991年度大川遺跡発掘調査概報』余市町教育委員会
- 岡田淳子編 1992年『1992年度大川遺跡発掘調査概報』余市町教育委員会
- 竹田輝雄編 1993年『伊達市有珠オヤコツ・ポンマ遺跡』伊達市教育委員会
- 岡田淳子編 1994年『1994年度大川遺跡発掘調査概報』余市町教育委員会
- 千代 肇 1995年「北海道と本州、北日本の現状」『北海道考古学』31
- 石川 直章 1998年「回転式銚先再考」『時の絆―道を辿る』
- 小柳リラ子 1998年「近世墓―カブト・ソーランラインの巻―」『時の絆―道を辿る』
- 内山 真澄 1998年「続縄文期における石鏃の変化」『時の絆―道を辿る』
- 青野 友哉 1999年「碧玉製管玉と琥珀製玉類からみた続縄文の特質」『北海道考古学』35
- 岡田淳子編 1999年『入舟遺跡における考古学的調査』余市町教育委員会
- 乾 芳宏編 2000年『大川遺跡』余市町教育委員会
- 乾 芳宏編 2000年『入舟遺跡』余市町教育委員会
- 岡田淳子編 2000年『大川遺跡における考古学的調査』Ⅰ余市町教育委員会
- 乾 芳宏編 2000年『大川遺跡における考古学的調査』Ⅱ余市町教育委員会

# 第VI章 分 析

## 付編 1 墓墳から出土した炭化材

三 野 紀 雄（北海道開拓記念館）

余市町大川遺跡の中世及び近世の土壌から出土した炭化木材について樹種同定を行った。

### 試料及び方法

樹種同定を行った試料は、中世及び近世の土壌墓から出土した炭化木材6点である。土壌墓のP-9及びP-41からの炭化木材は木棺と漆塗りの木製品である。P-38からの炭化材は中空の枝状、P-41からの炭化材は用途不明の炭化木の小片である。

試料は走査電子顕微鏡（JEOL-JSM-5200型）で木材組織を観察し樹種を同定した。その際、現生樹木の組織標本および記載文献を参照した。

### 結果及び若干の考察

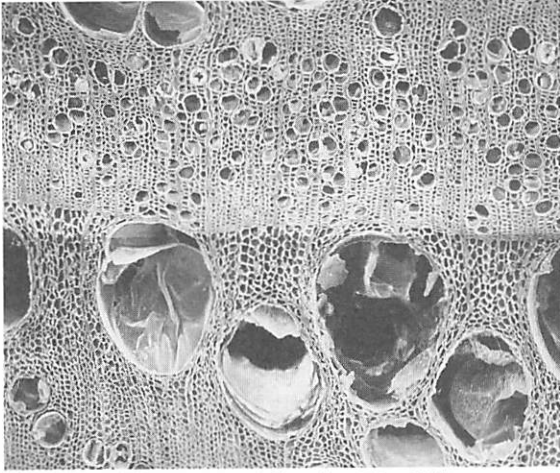
遺跡は余市川の右岸、河口近くの標高5mの河岸段丘上に位置する。検出した土壌墓からは多数の木質遺物が発見されているが、今回はそのうちの3基の土壌墓からの炭化した木質遺物について樹種同定を行った。

樹種の同定結果は、表に示すとおり、中世の土壌墓から発見された木棺と思われるものはモミ属材？、漆塗りの木片はモクレン属？、用途不明の小片はクリ、近世の土壌墓からの中空の枝状の木質遺物はササ属であった。モミ属（トドマツ）はこの地域に現在分布している、したがって当時も遺跡周辺に生育していたものと思われる。漆塗り木製品の材料に用いられたモクレン属材としてはハウノキやコブシなどが考えられ、それらは国内各所に生育する。クリは、現在、この地域にも生育していて、近くの山地にはほぼ純林に近いクリ林が見られる。

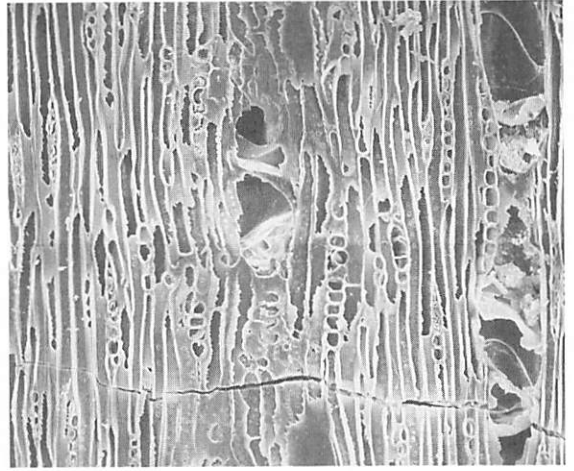
樹種の同定は次の木材組織の特徴によった。クリ (*Castanea crenata*) : 広葉樹環孔材、孔圏の導管は1~2列、孔圏外の小導管は火災状に配列する。射出線は1列。複合射出線を欠く。モクレン属 (*Magnolia* sp.) ? : 広葉樹散孔材、導管は散在状に配列し、分布は均一である。導管の輪郭は円形あるいは楕円形、あるいはやや多角形。単独あるいは放射方向あるいは接点方向に複合する。階段状穿孔。射出線は1~3列。モミ属 (*Abies* sp.) ? : 針葉樹材、春材から夏材への移行が緩やか、垂直樹脂溝を欠く、分野壁孔はトウヒ型。

### 墓墳内出土の炭化材の樹種同定

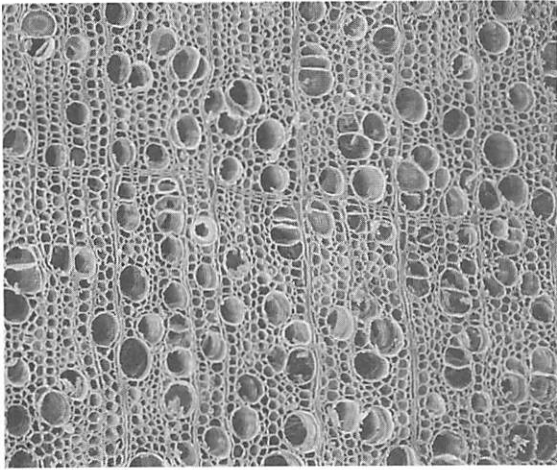
NO.	遺構時代	樹種	備考	NO.	遺構時代	樹種	備考
1	P-9 中世	モミ属 <i>Abies</i> sp.?	墓墳、木棺?	4	P-41 中世	モクレン属 <i>Magnolia</i> sp.?	墓墳、漆器?
2	P-38 近世	ササ <i>Sasa</i> sp.	墓墳	5	P-41 中世	クリ <i>Castanea crenata</i>	墓墳
3	P-41 中世	クリ <i>Castanea crenata</i>	墓墳	6	P-41 中世	クリ <i>Castanea crenata</i>	墓墳



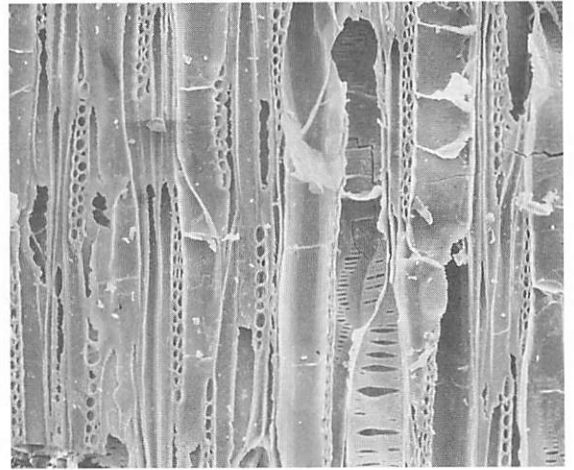
試料No.3 クリ科 木口面、75倍



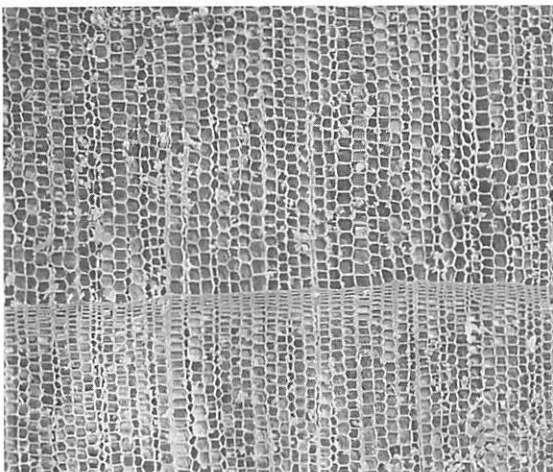
板目面、150倍



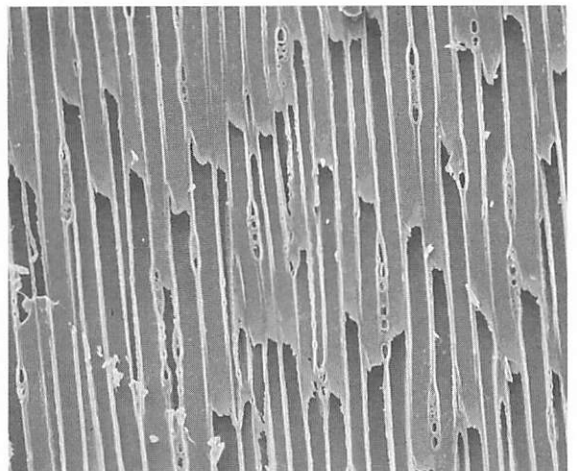
試料No.4 モクレン属材 木口面、75倍



板目面、150倍



試料No.1 モミ属材? 木口面、100倍



板目面、150倍

炭化木材の組織顕微鏡写真

## 付編 2 墓墳から出土した木製品の樹種調査結果

株吉田生物研究所 汐 見 真  
京都造形芸術大学 岡 田 文 男

### 1. 試 料

試料は大川遺跡迂回路地点P-42から出土した鏡箱1点である(第39図No2)。

### 2. 観察方法

剃刀で木口(横断面)、柾目(放射断面)、板目(接線断面)の各切片を採取し、プレパラートを作製した。このプレパラートを顕微鏡で観察して同定した(写真25参照)。

### 3. 結 果

樹種同定結果と顕微鏡写真を示し、以下に主な解剖学的特徴を記す。

ヒノキ科アスナロ属 (*Thujopsis* sp.)

(遺物NO. 1)

木口では仮道管を持ち、早材から晩材への移行は緩やかであった。樹脂細胞は晩材部に散在または接線配列である。柾目では放射組織の分野壁孔はヒノキ型からややスギ型で1分野に2~4個ある。板目では放射組織はすべて単列であった。数珠状末端壁を持つ樹脂細胞がある。種にはアスナロ(ヒバ、アテ)とヒノキアスナロ(ヒバ)があるが顕微鏡下では識別困難である。アスナロ属は北海道南部、本州、四国、九州に分布する。

#### ◆参考文献◆

島地 謙・伊東隆夫 「日本の遺跡出土木製品総覧」雄山閣出版(1988)

島地 謙・伊東隆夫 「図説木材組織」地球社(1982)

伊東隆夫 「日本産広葉樹材の解剖学的記載I~IV」京都大学木質科学研究所(1995~)

北村四郎・村田 源 「原色日本植物図鑑木本編I・II」保育社(1979)

#### ◆使用顕微鏡◆

N i k o n

MICROFLEEX UFX-DX Type 115

## 付編3 墓壙から出土した漆塗り木製品の塗膜構造分析

（株）吉田生物研究所

余市町大川遺跡迂回路地点P-42から出土した、中世の鏡箱に塗布された漆の塗膜構造を調査したので、以下にその結果を報告する（写真8参照）。

### 1. 資 料

資料は木板で、片面ほぼ全面に黒色の塗料が塗布されている。肉眼による外面観察によりその色調と光沢から、塗料は漆であると判断される。

### 2. 方 法

資料本体から、塗料が塗布された部分の数mm四方を剃刀を用いて採取した。これをエポキシ樹脂に包埋し、研磨により薄片プレパラートを作製して光学顕微鏡で観察した。

### 3. 観察結果

板の木胎と、下地、漆層が観察される。木胎は板目面の放射組織が数細胞認められ、黄褐色を帯びており、漆がしみ込んでいる様子が観察できる。黒色の炭化物の塊は下地の用材であるが、上層の漆層との境界が明瞭ではない。また炭化物の隙間にも黄褐色の漆がみられるため、下地の膠着剤は漆と判断する。黄褐色の漆層の上面は平滑で、層の厚さはほぼ一定である。

### 4. ま と め

漆がしみ込んだ木胎、漆下地、漆層が確認できた。中近世を通じて椀や皿などの大量生産品には、下地の膠着剤として漆ではなく柿渋などが用いられた。今回調査した資料の下地には柿渋ではなく漆が用いられており、櫛とともに出土したという状況も合わせると、この漆器は比較的丁寧なつくりの製品であった可能性がある。

# 写 真 图 版

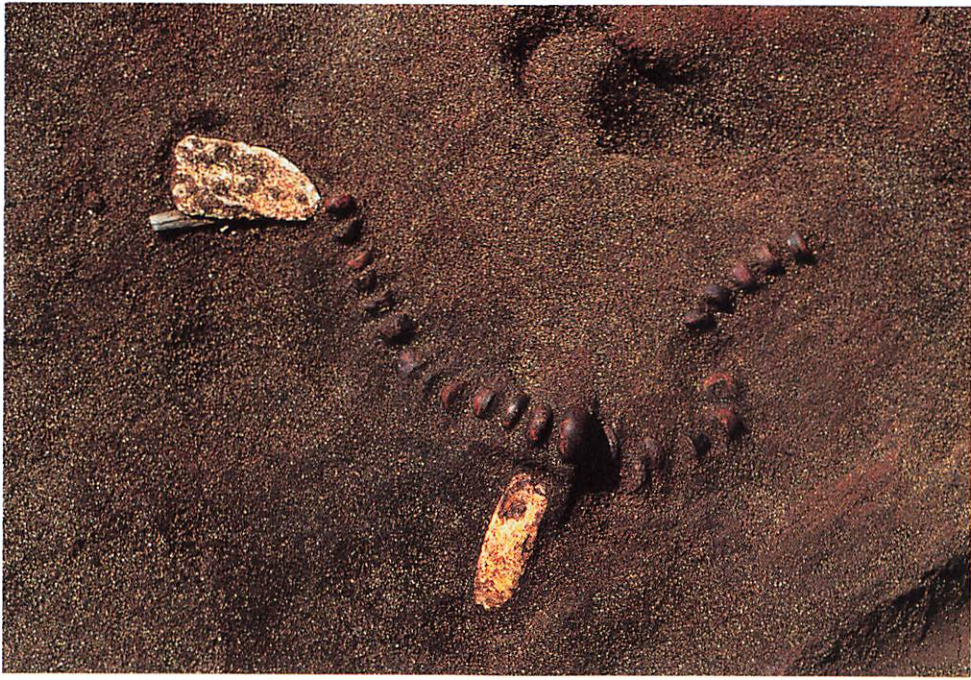


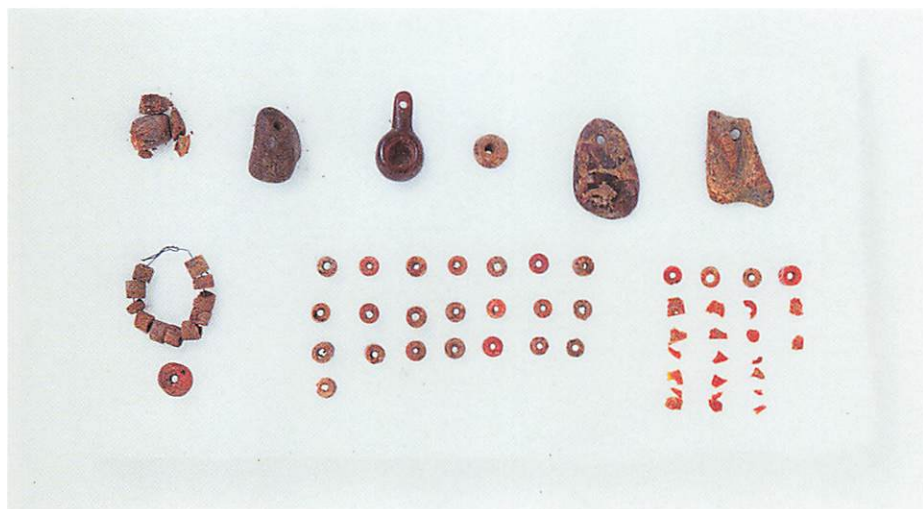
写真 1 道道地点 P - 11 出土状況と遺物



(P-5・P-8・P-21・P-23)



(P-37)



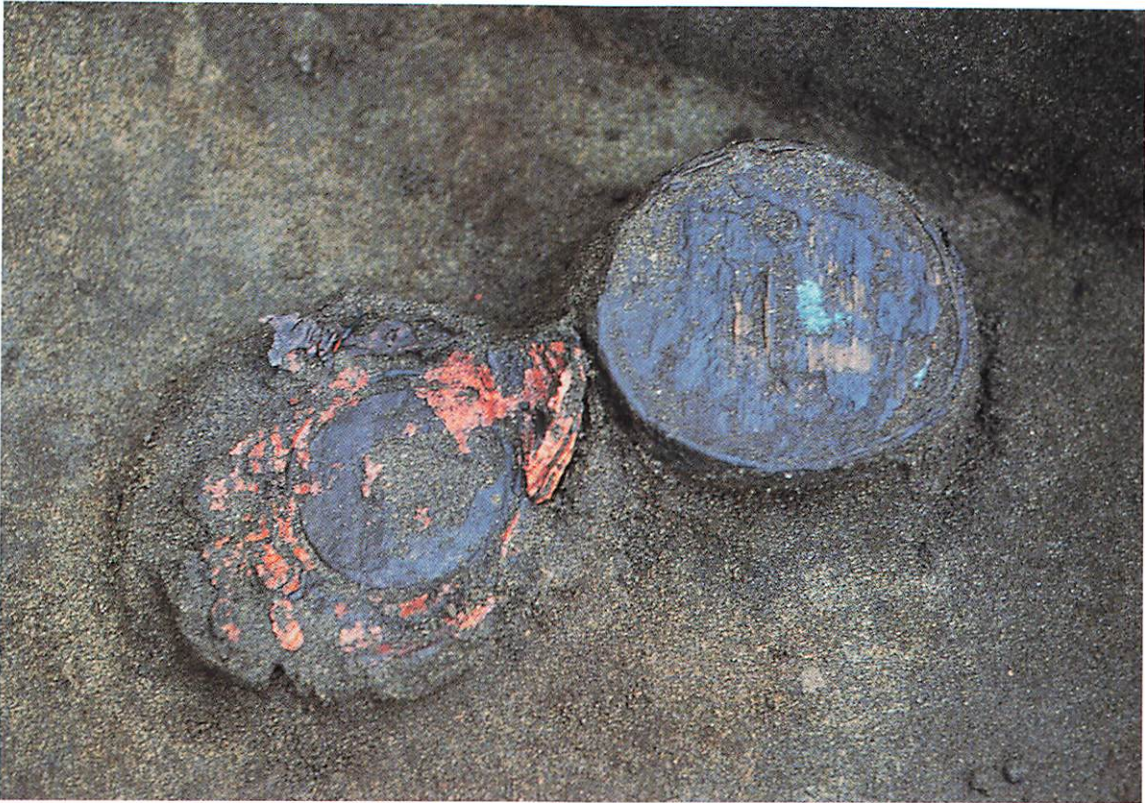
(P-49)

写真2 道道地点遺構出土のコハク製品





P-47



P-47

写真3 道道地点P-47出土の漆製品と鏡



P-1 出土の漆製品



P-2 出土の漆製品



P-6 出土の漆製品



P-10 出土の漆製品



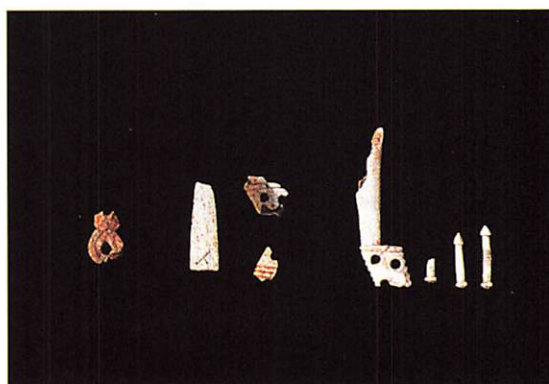
P-12 出土の漆製品



P-42 出土の漆製品

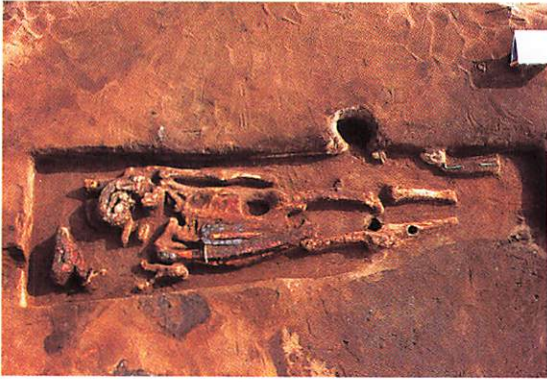


P-5 出土のガラス玉



P-41 出土の骨製品

写真4 迂回路地点遺構出土の遺物



P-1 全景 (北→南)



P-3 全景 (南→北)



P-6 (北→南)



P-9 全景 (北西→南東)



P-9



P-9 出土の鏡



P-10 (南→北)



P-12 (南→北)

写真5 迂回路地点遺構・遺物検出状況



P-38 (西→東)



P-41 壙底 (東→西)



P-41 刀と骨角品出土状況 (南→北)



P-41 出土の骨角器 (南→北)



P-42 (南→北)



MO-10 (東→西)



W-28・29グリット 柱穴群

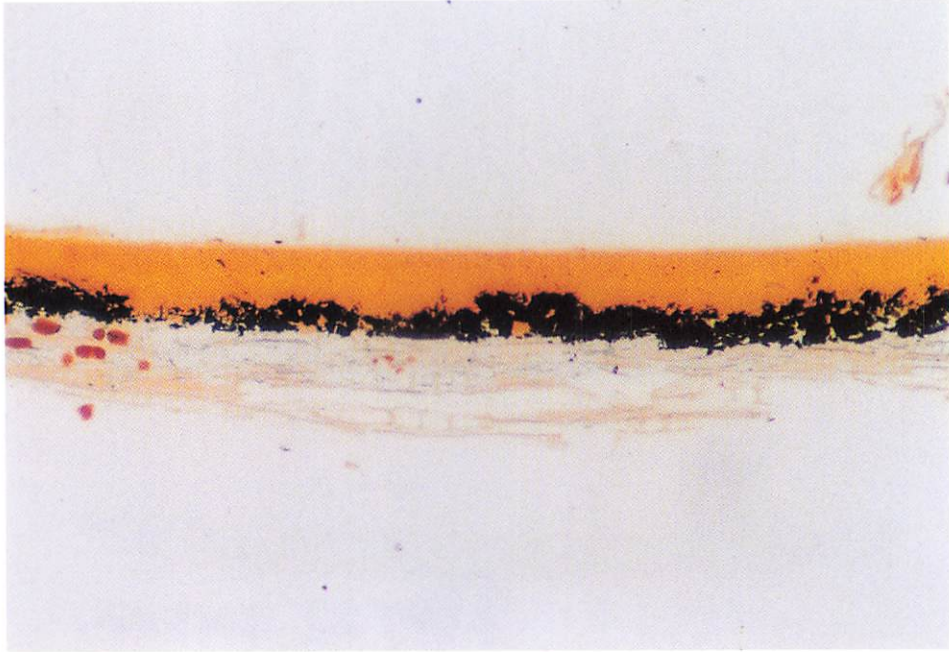


完掘全景

写真6 迂回路地点遺構・遺物検出状況と遺跡完掘状況



写真7 迂回路地点遺構（P-41）出土の遺物



透過光下での塗膜断面 (×200)

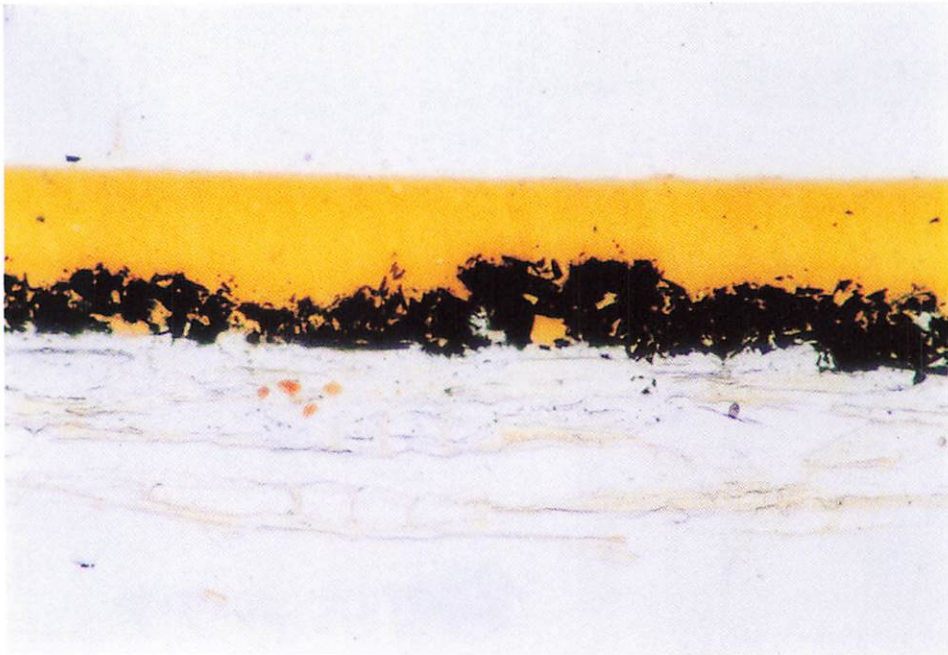
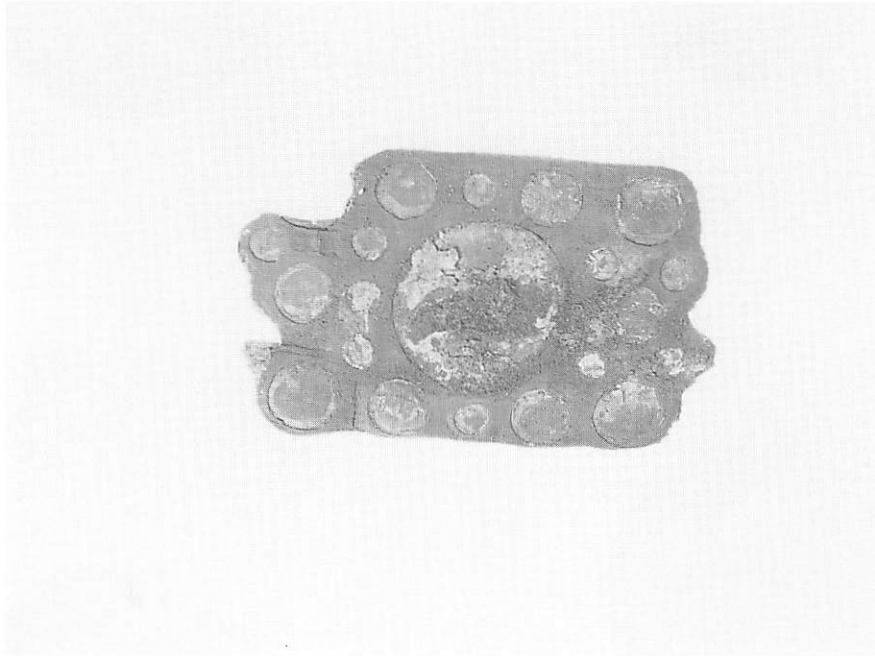
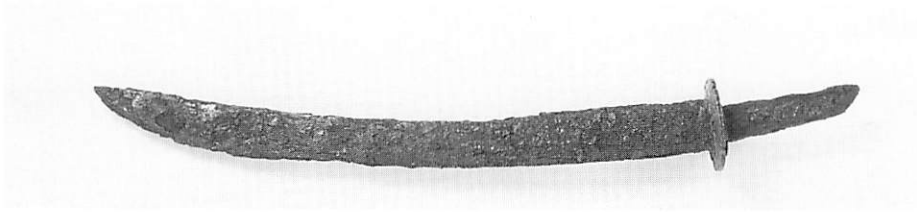
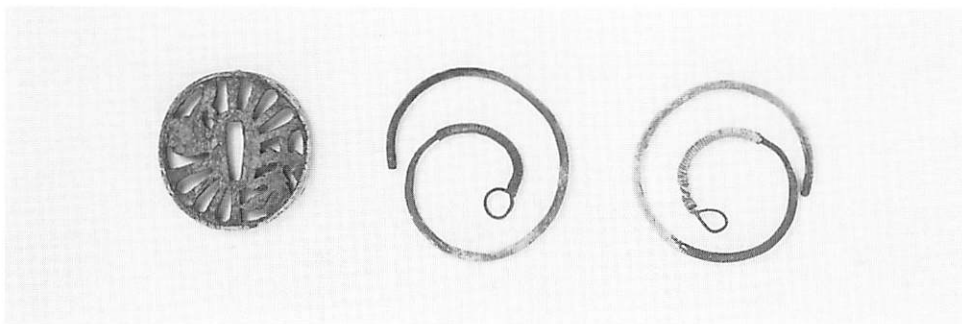


写真 8 透過光下での塗膜断面 (×400)



P-1 刀とイカヨブ



P-3

写真9 迂回路地点遺構出土の遺物

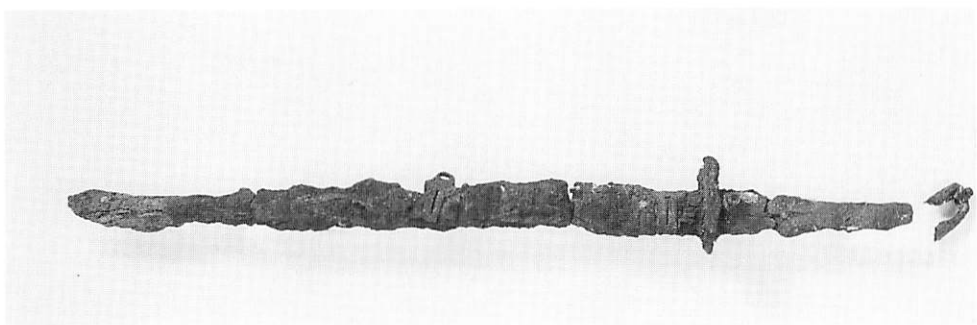
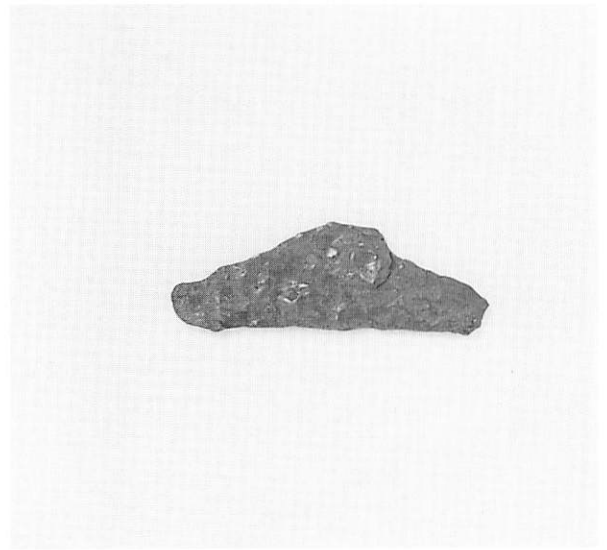
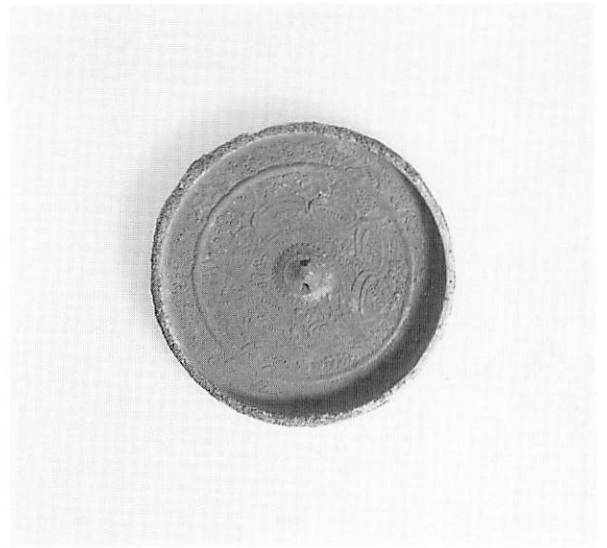


写真10 迂回路地点遺構（P-9）出土の遺物





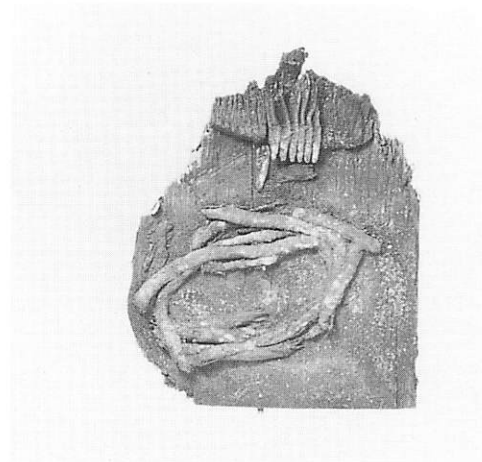
P-18



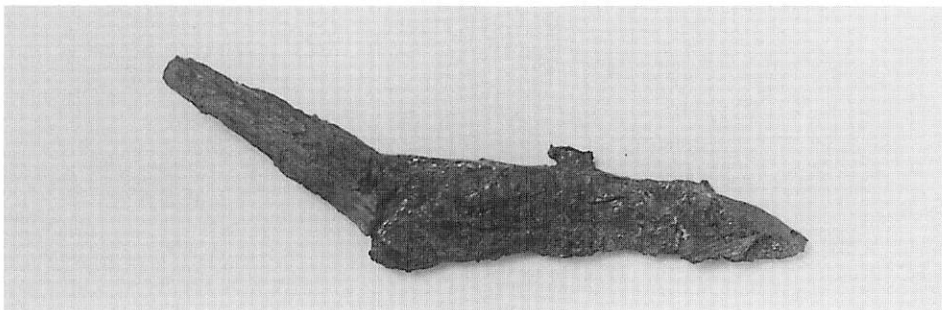
P-59



P-42



P-42

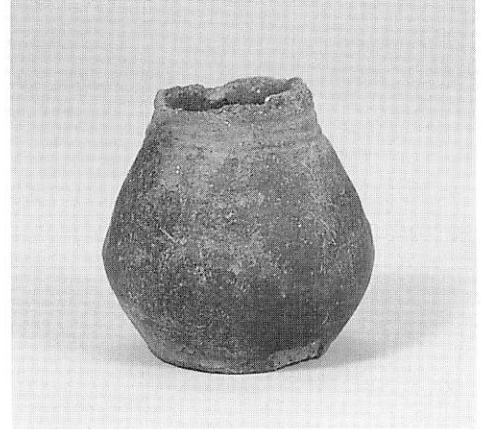


P-42

写真11 迂回路地点遺構出土の遺物



P-29



P-48



P-30



P-32

写真12 迂回路地点遺構出土の土器



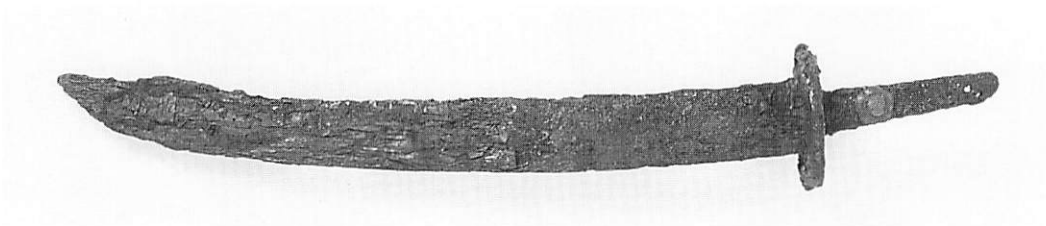
P-39



P-53



P-44



P-10

写真13 迂回路地点遺構出土の遺物

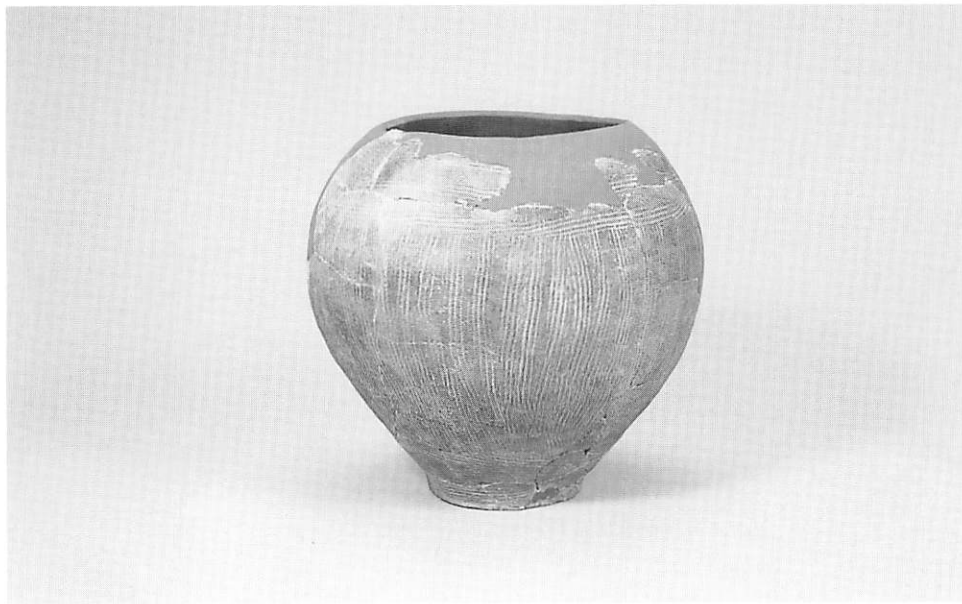


写真14 迂回路地点包含層出土の土器

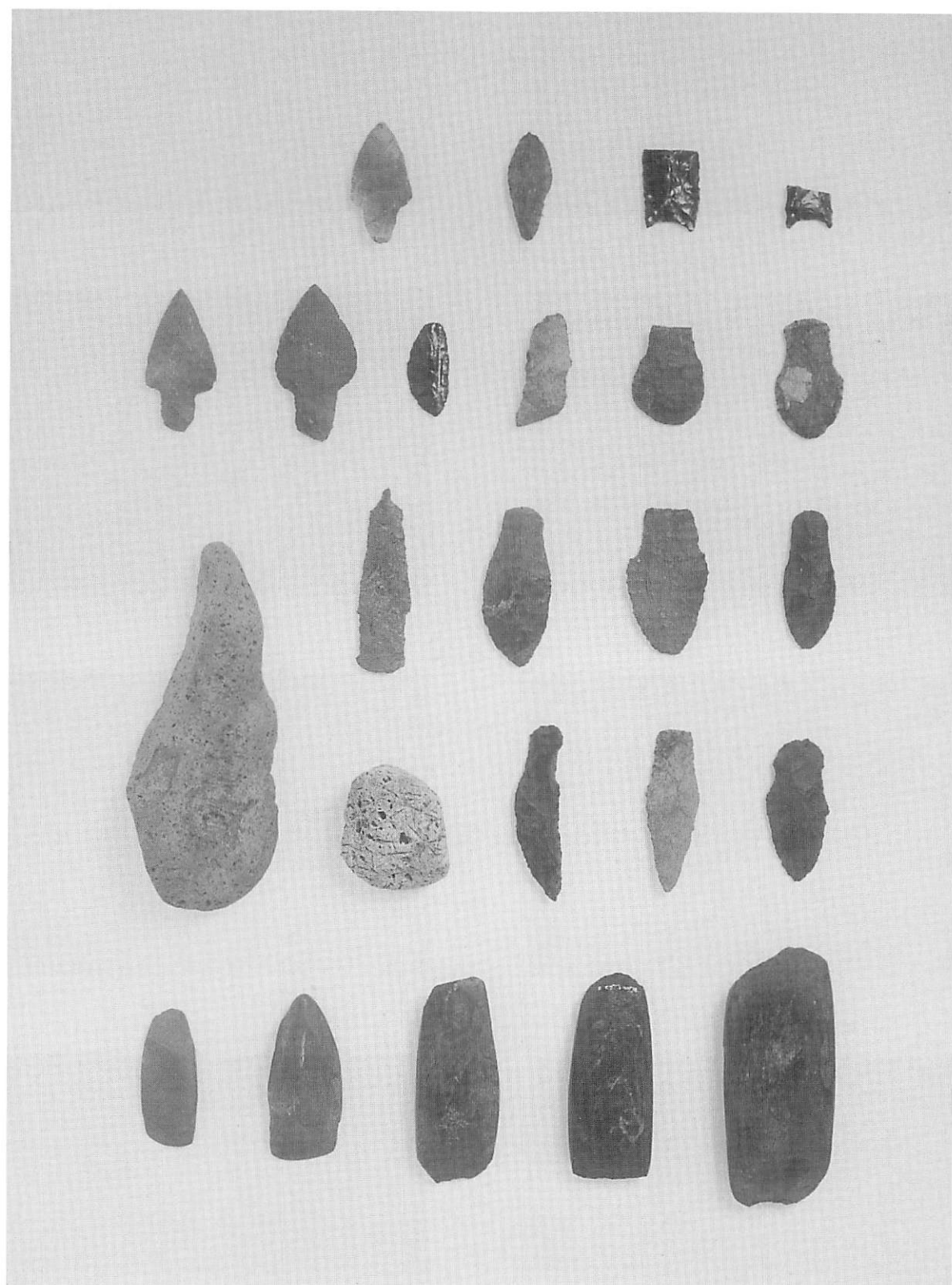
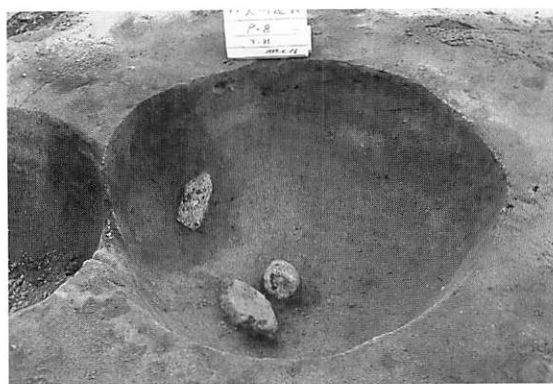


写真15 迂回路地点包含層出土の石器



P-8



P-13 壙土



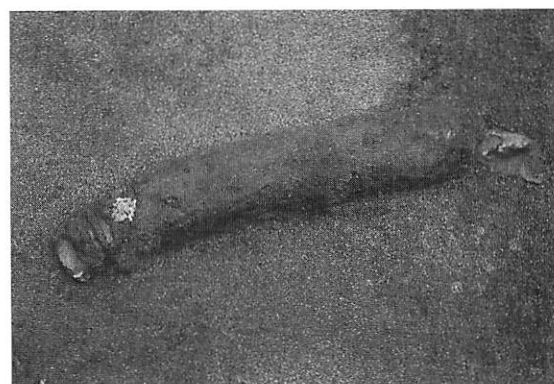
P-9



P-9 骨角器



P-10



P-10

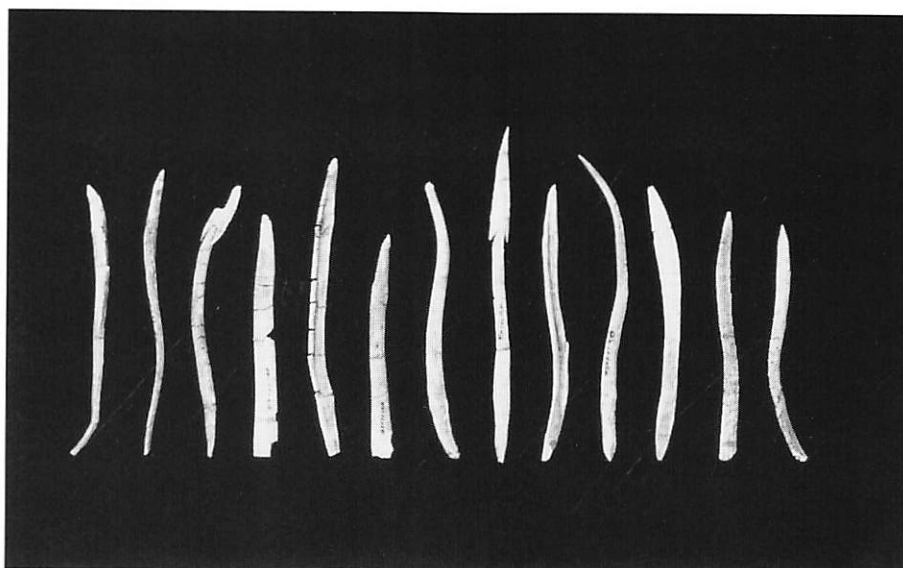


P-17

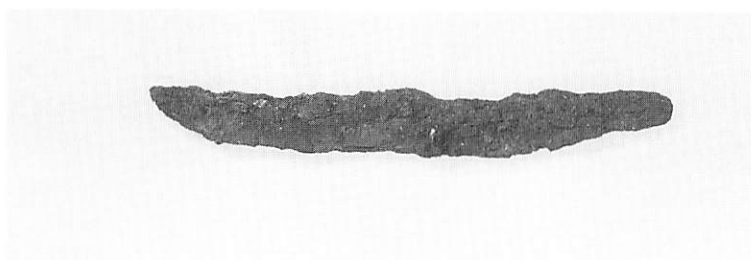


完掘全景 (北西→南東)

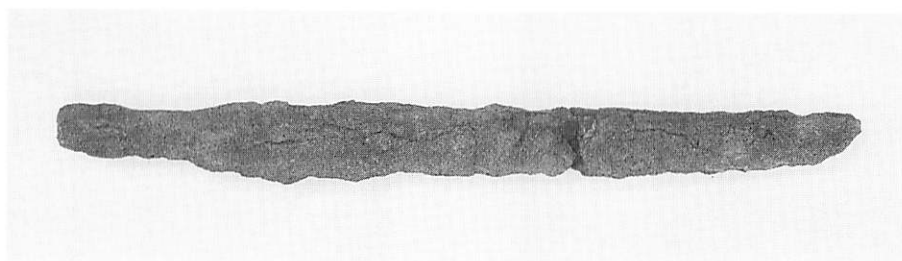
写真16 服部地点遺構・遺物検出状況と遺跡完掘状況



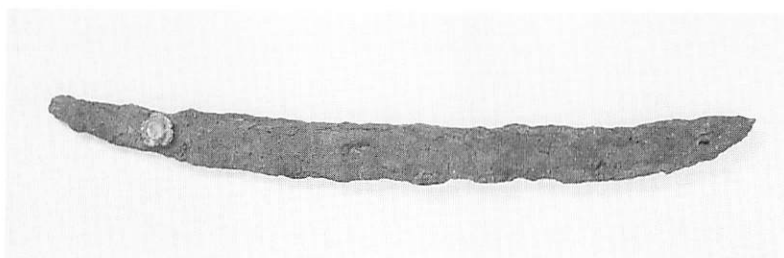
P-9



P-9



P-17

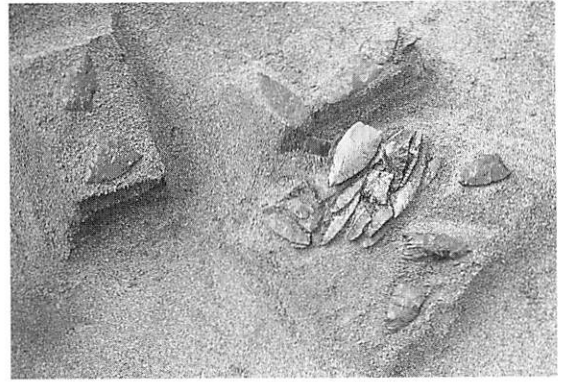


P-17

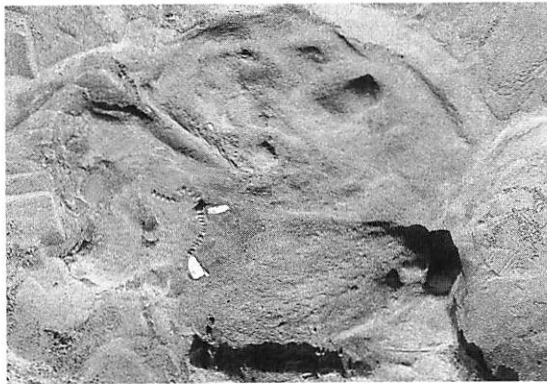
写真17 服部地点遺構出土遺物



P-4 (南→北)



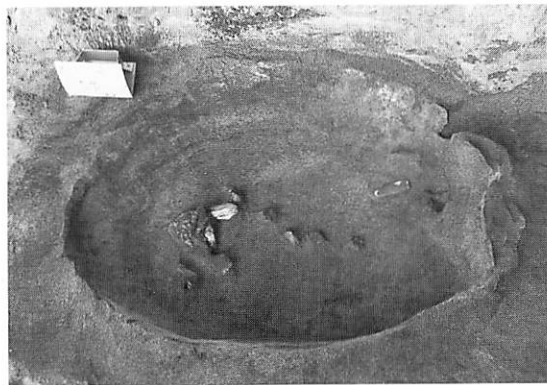
P-6 石鏃出土状況



P-11 (北→南)



P-17 (東→西)



P-14 (南→北)



P-14 石器出土状況



P-47 (北→南)



土器集中 (北→南)

写真18 道道地点遺構遺物検出状況





P-24



P-10



P-9



P-46



H-1

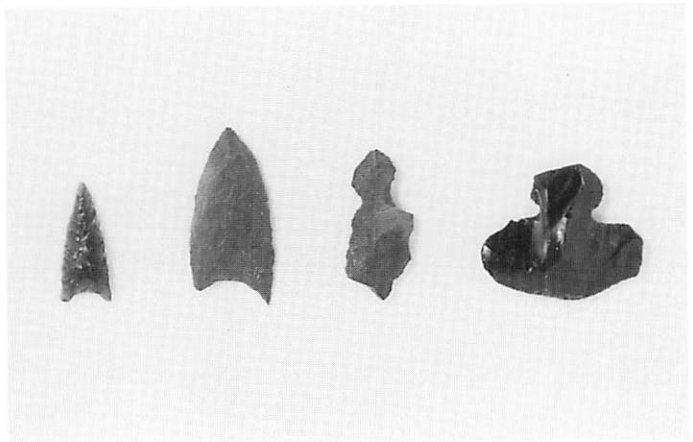


H-2

写真19 道道地点遺構出土の土器



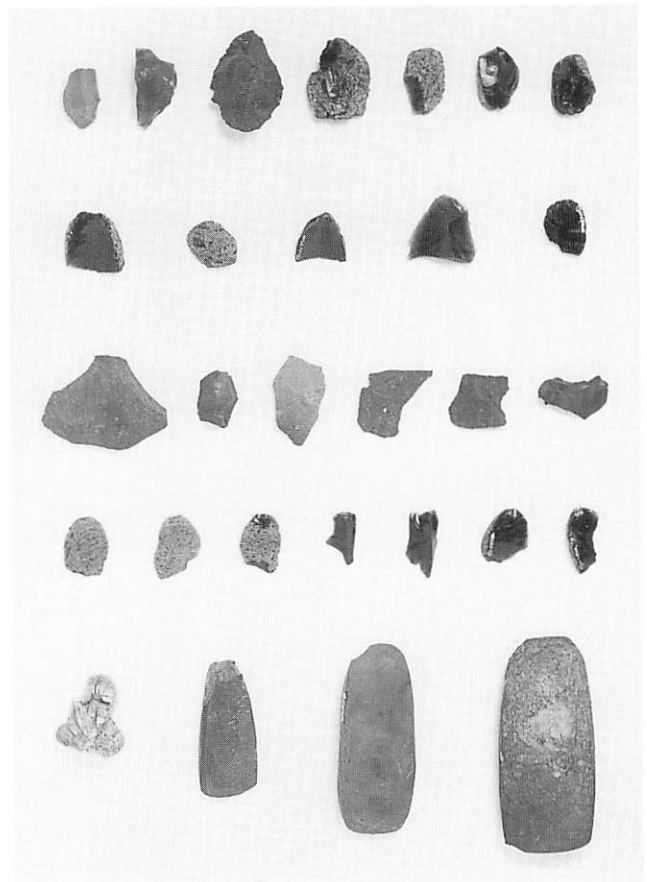
P-52



P-52



P-17



P-17

写真20 道道地点遺構出土の土器と石器

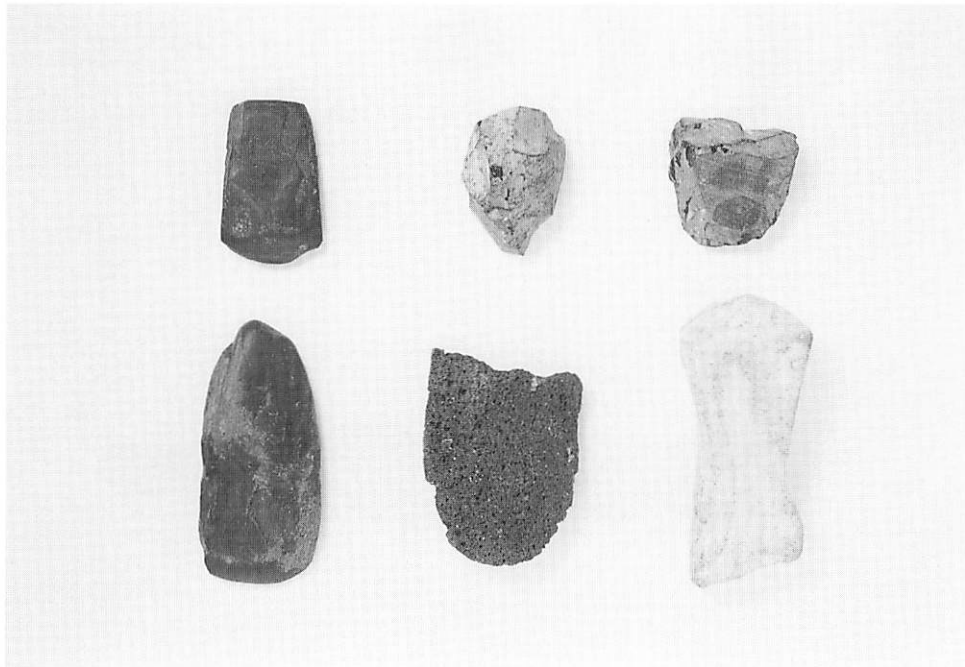
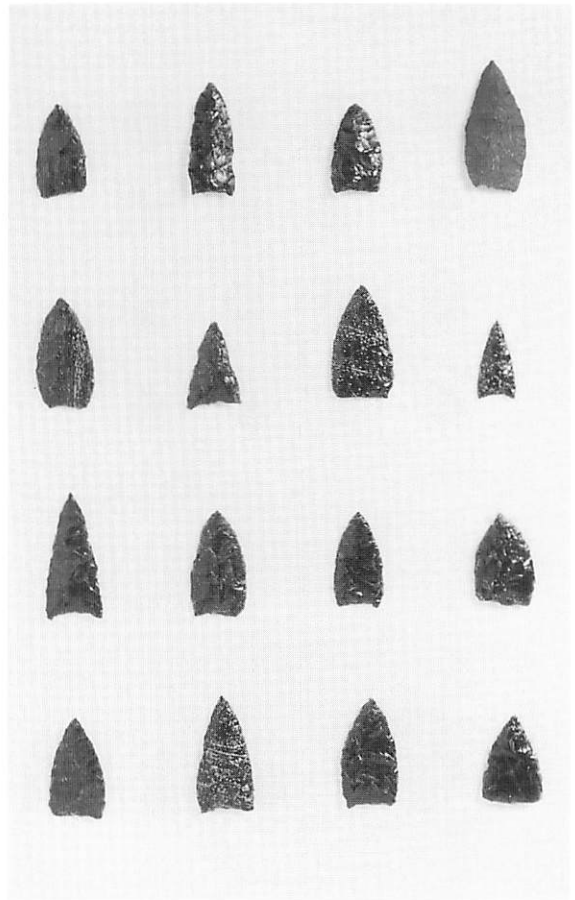
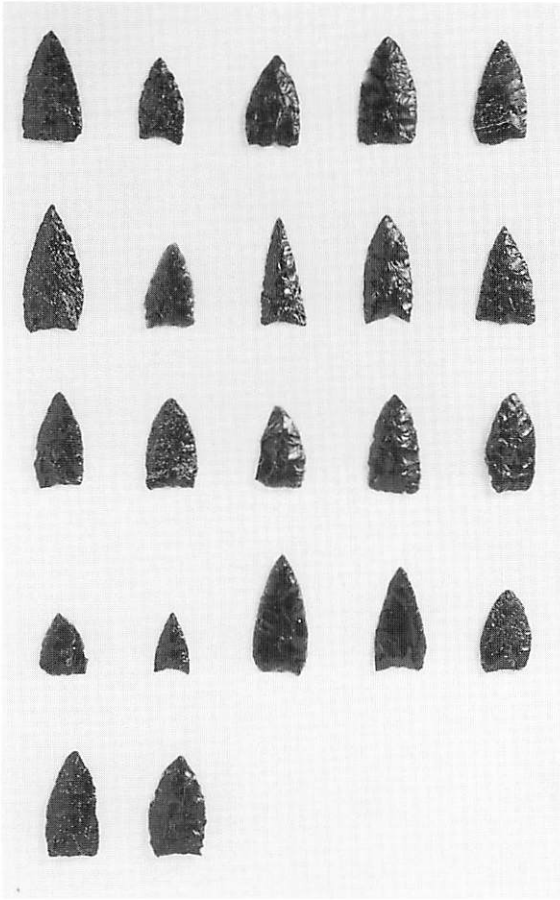
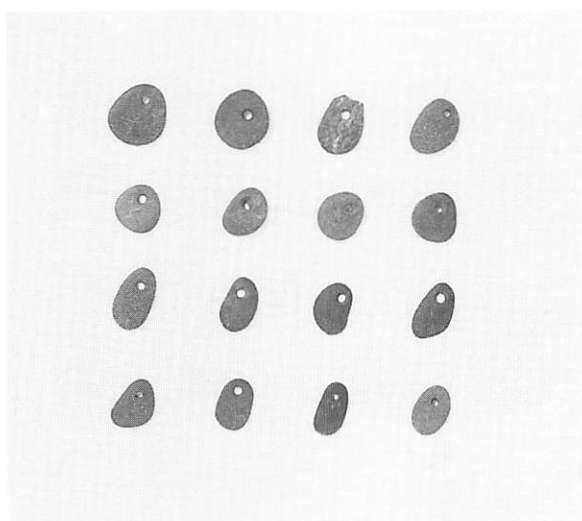


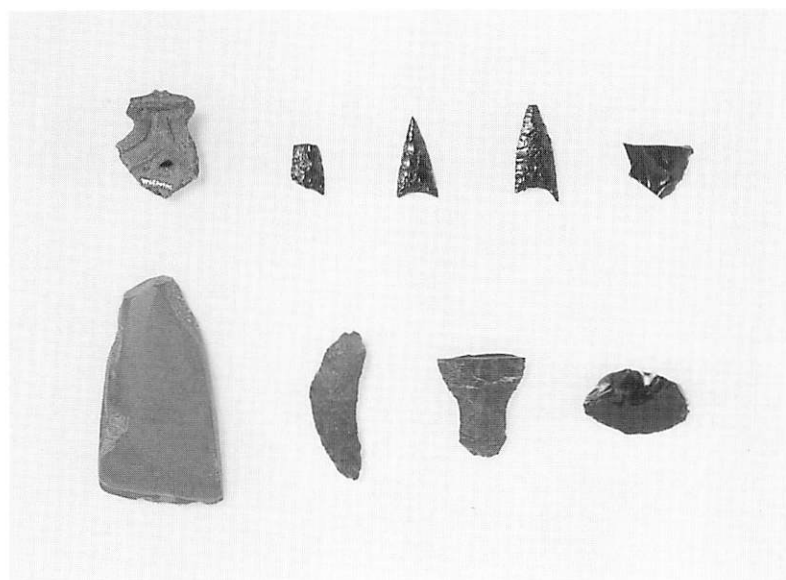
写真21 道道地点遺構（P-6）出土の石器



P-41 磔玉



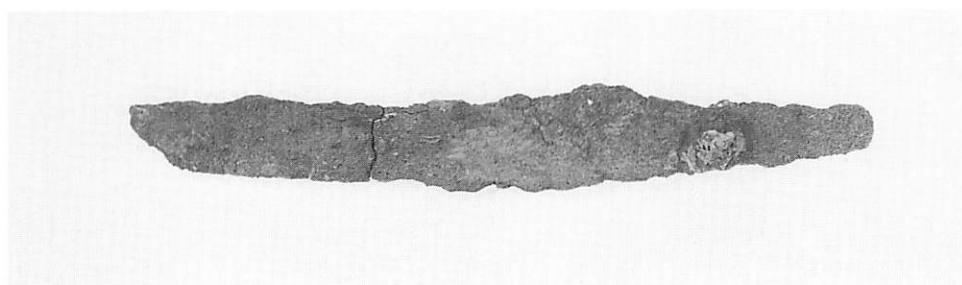
P-59 勾玉



P-49 石器



P-30 石製品



P-51 刀

写真22 道道地点遺構出土の遺物

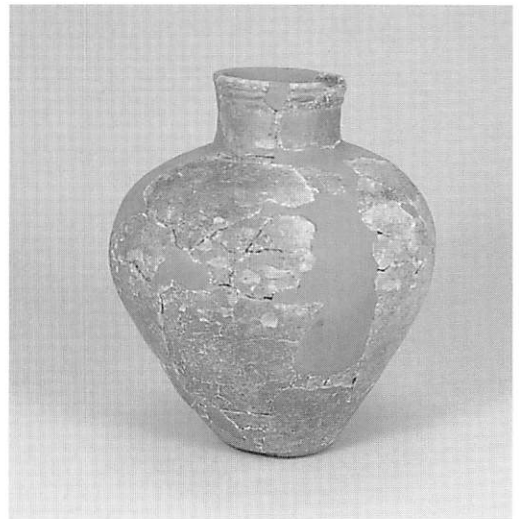
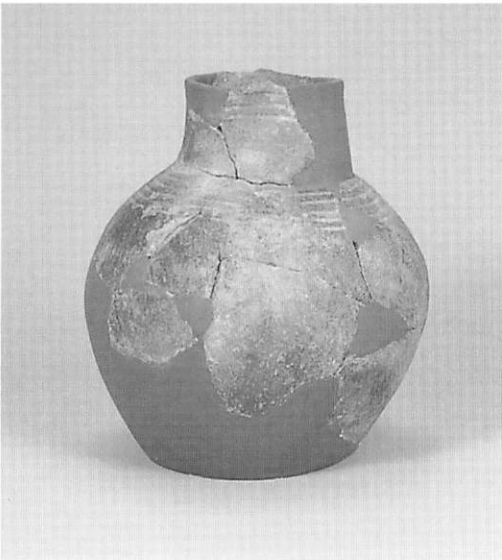
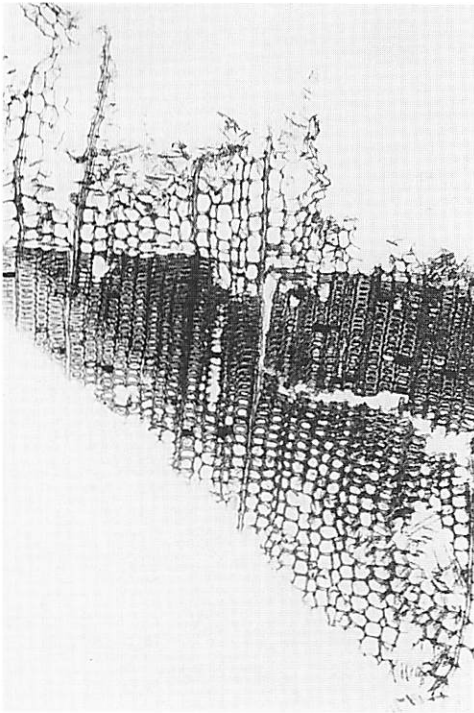


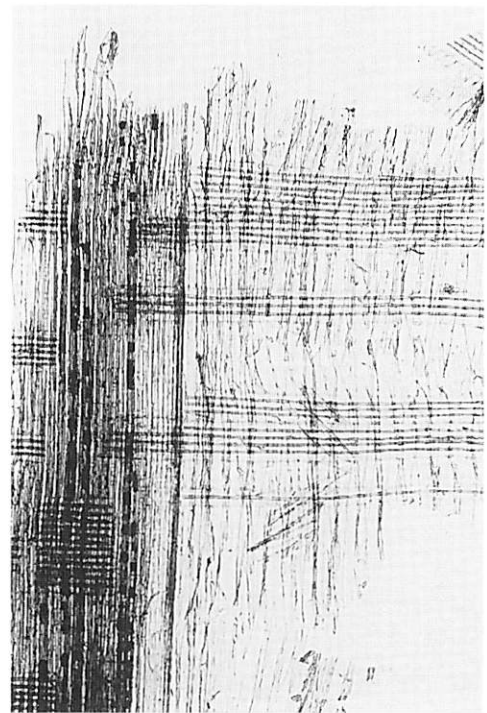
写真23 道道地点包含層出土の土器



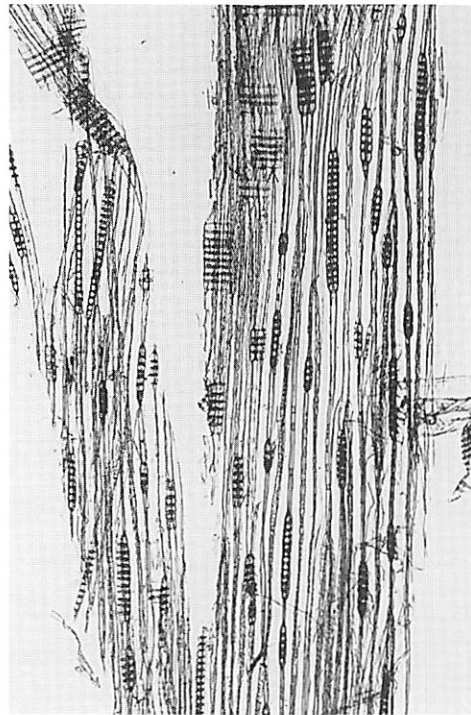
写真24 道道地点包含層出土の土器



木口×40



柁目×40



板目×40

写真25 ヒノキ科アスナロ属顕微鏡写真 (P-42)

# 報 告 書 抄 録

ふりがな	おおかわいせき							
書名	大川遺跡							
副書名	大川橋線街路事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書							
巻次								
シリーズ名								
シリーズ番号								
編著者名	安西雅希 岡崎次郎 乾 芳宏							
編集機関	北海道余市郡余市町教育委員会							
所在地	郵便番号046-0015 北海道余市郡余市町朝日町26番地 電話0135-21-2111							
発行年月日	西暦2001年3月15日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
	所在地	市町村	遺跡番号					
おおかわいせき 大川遺跡	ほっかいどう 北海道 よいちぐん 余市郡 よいちちょう 余市町 おおかわちょう 大川町	01408	D-19-6	43° 12′	140° 48′	1999. 5. 10 ↘ 1999. 10. 31	1, 120m <sup>2</sup>	大川橋線 街路事業
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項			
大川遺跡	包蔵地	縄文晩期 続縄文時代 中世 近世 近代	墓 墳 土 墳 住居址 壕状遺構 貝 塚 焼 土	土 器 石 器 骨角器 鉄製品 銅製品 陶磁器 漆 器	縄文時代晩期から続縄文時代、中世、近世の墓墳群である。 副葬品として、縄文時代晩期から続縄文時代の墓墳より平玉・管玉をはじめとする琥珀製装身具、中世墓としては火葬墓がみられ、和鏡・太刀・刀子・青磁碗・骨角器・櫛・漆器等が検出している。近世アイヌ墓より蒔絵等の漆器・太刀・煙管等が検出されている。			



---

# 大川遺跡発掘調査報告書（1999年度）

大川橋線街路事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

発行 余市町教育委員会

北海道余市郡余市町朝日町26番地

発行日 平成13年3月15日

印刷 株式会社 おおはし

北海道余市郡余市町大川町14丁目14番地

---